四国横断自動車道建設に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告

第四十六冊

池の奥遺跡
金毘羅山遺跡Ⅱ

2003.10

香川県教育委員会
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
日本道路公団

四国横断自動車道建設に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告

第四十六冊

池の奥遺跡
金毘羅山遺跡Ⅱ

2003.10

香川県教育委員会

財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

日本道路公団

序　　文

財団法人香川県埋蔵文化財調査センターでは、四国横断自動車道の建設やサンポート高松総合整備などの大規模開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査事業や出土文化財の整理事業を香川県教育委員会より受託して実施いたしております。

四国横断自動車道建設事業（津田～引田間）につきましても平成８年度から埋蔵文化財の発掘調査を、また平成11年度からは出土品の整理作業を行っております。

このたび、「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第四十六冊」として刊行いたしますのは東かがわ市白鳥の池の奥遺跡と東かがわ市水主の金毘羅山遺跡についてであります。

池の奥遺跡の調査では県下で調査例の少ない弥生時代中期の遺構と遺物が確認されております。なかでも磨製石斧をはじめとして多くの種類の石器が出土したことにより、香川県東部における石器の生産や生業のようすが明らかになってまいりました。

また、金毘羅山遺跡からは土器棺墓や方形台状墓、箱式石棺墓など弥生時代のさまざまな墓制が明らかになりました。

本報告書が香川県の歴史研究の資料として広く活用されますとともに埋蔵文化財に対する理解と関心が一層深められる一助となれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から出土品の整理・報告に至るまでの間、日本道路公団及び関係諸機関並びに地元関係者各位には多大なご援助とご協力をいただきました。ここに深く感謝の意を表しますとともに、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年10月

財団法人香川県埋蔵文化財調査センター

所長　中　村　　仁

例　　言

1．本報告書は四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の第四十六冊で、香川県東かがわ市白鳥に所在する池の奥遺跡（いけのおくいせき）と東かがわ市水主に所在する金毘羅山遺跡（こんぴらやまいせき）の報告を収録した。

2．発掘調査は香川県教育委員会が日本道路公団から委託され、香川県教育委員会が調査主体、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが調査担当者として実施した。

3．調査にあたっては下記の関係諸機関の協力を得た。記して謝意を表したい。（機関名は当時のもの。順不同、敬称略）

香川県土木部横断自動車道対策総室、同長尾土木事務所横断道対策課、大内町横断道対策室、白鳥町建設課、大内町教育委員会、白鳥町教育委員会、地元対策協議会、地元自治会

4．報告書の作成にあたっては下記の方々のご教示を得た。記して謝意を表したい。

元香川大学　谷山　穣、徳島大学　中村　豊、別府大学　本田光子

5．本報告書の作成は、財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが実施した。

本報告書の執筆・編集は西岡達哉が担当した。

6．本報告書で用いる方位の北は、国土座標系第Ⅳ系の北であり、標高はＴ．Ｐ．を基準としている。また、遺構は下記の略号により表示している。

ＳＤ：溝状遺構	ＳＨ：竪穴住居跡	ＳＫ：土　坑	ＳＰ：柱穴跡
ＳＲ：自然河川跡	ＳＴ：埋葬遺構	ＳＸ：不明遺構	

7．石器実測図中、トーンは摩滅範囲を、輪郭線の回りの実線は磨滅箇所を、破線は敲打痕や潰れ箇所を表す。なお、現代の欠損は濃く黒で潰している。

8．挿図の一部に国土地理院地形図「三本松及び引田」（１／25,000）を使用した。

9．報告にあたっては下記の機関に分析を委託した。

株式会社古環境研究所、別府大学文化財研究所

目　　次

序文

例言

第１部　池の奥遺跡の調査

第１章　調査の経緯と経過 …… 1
　第１節　調査に至る経緯 …… 1
　　1　遺跡の発見 …… 1
　　2　調査に至る経緯 …… 5
　第２節　調査の経過 …… 5
　　1　予備調査について …… 5
　　2　本発掘調査について …… 5
　　3　整理作業について …… 7
　第３節　調査の方法 …… 7
　　1　地区割について …… 7
　　2　記録類の作成について …… 8
第２章　遺跡の位置と環境 …… 9
第３章　調査の成果 …… 23
　第１節　土層序について …… 23
　第２節　主要遺構の検出状況 …… 23
　第３節　遺構と遺物 …… 24
　　1　弥生時代の遺構と遺物 …… 25
　　2　弥生時代以外の遺構と遺物 …… 148
第４章　自然科学的分析の成果 …… 151
第５章　まとめ …… 155
　第１節　集落について …… 155
　　1　竪穴住居跡の所属時期 …… 155

2　集落の変遷と形態 …… 156
第2節　弥生土器について …… 160
1　組　成 …… 160
2　「池の奥型土器群」の提唱 …… 163
第3節　石器・石製品について …… 167
1　組　成 …… 167
2　用途別のまとめ …… 169
3　石器生産について …… 171

第2部　金毘羅山遺跡の調査

第1章　調査の経緯と経過 …… 173
第1節　発掘調査について …… 173
第2節　整理作業について …… 174
第3節　調査の方法 …… 174
1　地区割について …… 174
2　記録類の作成について …… 175
第2章　調査の成果 …… 176
第1節　土層序について …… 176
第2節　遺構と遺物 …… 176
1　土器棺墓 …… 176
2　方形台状墓 …… 185
3　箱式石棺墓 …… 190
4　遺物包含層 …… 190
5　その他の遺構と遺物 …… 195
第3章　自然科学的分析の成果 …… 197
第4章　まとめ …… 201

挿 図 目 次

(池の奥遺跡)

第 1 図　遺跡位置図 …… 1
第 2 図　四国横断自動車(津田～引田間)埋蔵文化財包蔵地図 …… 2
第 3 図　予備調査位置図 …… 6
第 4 図　調査地区割図 …… 8
第 5 図　遺跡周辺地形図 …… 10
第 6 図　土層序断面実測図 1 …… 11～12
第 7 図　土層序断面実測図 2 …… 13～14
第 8 図　土層序断面実測図 3 …… 15～16
第 9 図　土層序断面実測図 4 …… 17～18
第 10 図　土層序断面実測図 5 …… 19～20
第 11 図　土層序断面実測図 6 …… 21～22
第 12 図　土層序断面位置図 …… 21～22
第 13 図　竪穴住居跡遺構実測図 1 …… 26
第 14 図　竪穴住居跡遺構実測図 2 …… 27
第 15 図　竪穴住居跡遺構実測図 3 …… 28
第 16 図　竪穴住居跡遺構実測図 4 …… 29
第 17 図　竪穴住居跡遺構実測図 5 …… 30
第 18 図　竪穴住居跡遺構実測図 6 …… 31
第 19 図　竪穴住居跡遺構実測図 7 …… 32
第 20 図　竪穴住居跡遺構実測図 8 …… 33
第 21 図　竪穴住居跡遺構実測図 9 …… 34
第 22 図　竪穴住居跡遺構実測図10 …… 35
第 23 図　竪穴住居跡遺構実測図11 …… 36
第 24 図　竪穴住居跡遺構実測図12 …… 37
第 25 図　竪穴住居跡遺構実測図13 …… 38
第 26 図　竪穴住居跡遺構実測図14 …… 39
第 27 図　竪穴住居跡遺構実測図15 …… 40
第 28 図　竪穴住居跡遺構実測図16 …… 41
第 29 図　竪穴住居跡遺構実測図17 …… 42
第 30 図　竪穴住居跡遺構実測図18 …… 43
第 31 図　竪穴住居跡遺物実測図 1 …… 44
第 32 図　竪穴住居跡遺物実測図 2 …… 45
第 33 図　竪穴住居跡遺物実測図 3 …… 46
第 34 図　竪穴住居跡遺物実測図 4 …… 47
第 35 図　竪穴住居跡遺物実測図 5 …… 48
第 36 図　竪穴住居跡遺物実測図 6 …… 49
第 37 図　竪穴住居跡遺物実測図 7 …… 50
第 38 図　竪穴住居跡遺物実測図 8 …… 51
第 39 図　竪穴住居跡遺物実測図 9 …… 52
第 40 図　竪穴住居跡遺物実測図10 …… 53
第 41 図　竪穴住居跡遺物実測図11 …… 54
第 42 図　竪穴住居跡遺物実測図12 …… 55
第 43 図　土坑遺構実測図 1 …… 61
第 44 図　土坑遺構実測図 2 …… 62
第 45 図　土坑遺構実測図 3 …… 63
第 46 図　土坑遺構実測図 4 …… 64
第 47 図　土坑遺構実測図 5 …… 65
第 48 図　土坑遺物実測図 1 …… 66
第 49 図　土坑遺物実測図 2 …… 67
第 50 図　土坑遺物実測図 3 …… 68
第 51 図　土坑遺物実測図 4 …… 69
第 52 図　土坑遺物実測図 5 …… 70
第 53 図　土坑遺物実測図 6 …… 71
第 54 図　土坑遺物実測図 7 …… 72
第 55 図　溝状遺構土層序断面実測図 …… 75
第 56 図　溝状遺構遺物実測図 1 …… 76
第 57 図　溝状遺構遺物実測図 2 …… 77
第 58 図　溝状遺構遺物実測図 3 …… 78
第 59 図　溝状遺構遺物実測図 4 …… 79
第 60 図　溝状遺構遺物実測図 5 …… 80
第 61 図　溝状遺構遺物実測図 6 …… 81
第 62 図　溝状遺構遺物実測図 7 …… 82
第 63 図　溝状遺構遺物実測図 8 …… 83
第 64 図　溝状遺構遺物実測図 9 …… 84
第 65 図　溝状遺構遺物実測図10 …… 85
第 66 図　溝状遺構遺物実測図11 …… 86
第 67 図　柱穴跡・不明遺構遺物実測図 1 …… 87
第 68 図　柱穴跡・不明遺構遺物実測図 2 …… 89
第 69 図　自然河川跡土層序断面実測図 …… 90

第 70 図　自然河川跡遺物実測図 1 …… 91
第 71 図　自然河川跡遺物実測図 2 …… 92
第 72 図　自然河川跡遺物実測図 3 …… 93
第 73 図　自然河川跡遺物実測図 4 …… 94
第 74 図　自然河川跡遺物実測図 5 …… 95
第 75 図　自然河川跡遺物実測図 6 …… 96
第 76 図　自然河川跡遺物実測図 7 …… 97
第 77 図　自然河川跡遺物実測図 8 …… 98
第 78 図　自然河川跡遺物実測図 9 …… 99
第 79 図　自然河川跡遺物実測図10 …… 100
第 80 図　自然河川跡遺物実測図11 …… 101
第 81 図　自然河川跡遺物実測図12 …… 102
第 82 図　自然河川跡遺物実測図13 …… 103
第 83 図　自然河川跡遺物実測図14 …… 104
第 84 図　自然河川跡遺物実測図15 …… 105
第 85 図　自然河川跡遺物実測図16 …… 106
第 86 図　自然河川跡遺物実測図17 …… 107
第 87 図　自然河川跡遺物実測図18 …… 108
第 88 図　自然河川跡遺物実測図19 …… 109
第 89 図　自然河川跡遺物実測図20 …… 110
第 90 図　自然河川跡遺物実測図21 …… 111
第 91 図　自然河川跡遺物実測図22 …… 112
第 92 図　自然河川跡遺物実測図23 …… 113
第 93 図　自然河川跡遺物実測図24 …… 114
第 94 図　自然河川跡遺物実測図25 …… 115
第 95 図　自然河川跡遺物実測図26 …… 116
第 96 図　自然河川跡遺物実測図27 …… 117
第 97 図　自然河川跡遺物実測図28 …… 118
第 98 図　自然河川跡遺物実測図29 …… 119
第 99 図　自然河川跡遺物実測図30 …… 120
第100図　自然河川跡遺物実測図31 …… 121
第101図　自然河川跡遺物実測図32 …… 122
第102図　自然河川跡遺物実測図33 …… 123
第103図　自然河川跡遺物実測図34 …… 124
第104図　自然河川跡遺物実測図35 …… 125
第105図　自然河川跡遺物実測図36 …… 126
第106図　自然河川跡遺物実測図37 …… 127
第107図　自然河川跡遺物実測図38 …… 128
第108図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図 1 …… 130
第109図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図 2 …… 131
第110図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図 3 …… 132
第111図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図 4 …… 133
第112図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図 5 …… 134
第113図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図 6 …… 135
第114図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図 7 …… 136
第115図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図 8 …… 137
第116図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図 9 …… 138
第117図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図10 …… 139
第118図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図11 …… 140
第119図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図12 …… 141
第120図　Ⅱ区遺物包含層遺物実測図 1 …… 142
第121図　Ⅱ区遺物包含層遺物実測図 2 …… 143
第122図　Ⅱ区遺物包含層遺物実測図 3 …… 144
第123図　Ⅱ区遺物包含層遺物実測図 4 …… 145
第124図　Ⅱ区遺物包含層遺物実測図 5 …… 146
第125図　Ⅱ区遺物包含層遺物実測図 6 …… 147
第126図　土坑遺構実測図 6 …… 149
第127図　弥生時代以外の遺物実測図 …… 149
第128図　Ⅰ区竪穴住居跡変遷図 …… 158
第129図　Ⅱ区竪穴住居跡変遷図 …… 159
第130図　「池の奥型土器群」実測図 1 …… 165
第131図　「池の奥型土器群」実測図 2 …… 166

（金毘羅山遺跡）

第132図　遺跡位置図 …… 173
第133図　遺跡周辺地形及び調査地区割図 …… 174
第134図　土層序断面実測図 1 …… 177～178
第135図　土層序断面実測図 2 …… 179～180
第136図　土器棺墓遺構実測図 1 …… 181
第137図　土器棺墓遺構実測図 2 …… 182
第138図　土器棺墓遺物実測図 1 …… 183
第139図　土器棺墓遺物実測図 2 …… 184

第140図　方形台状墓(ＳＴ06)遺構実測図１ …… 186
第141図　方形台状墓(ＳＴ06・ＳＤ01)遺構実測図２ … 187
第142図　箱式石棺墓(ＳＴ07)遺構実測図１ …… 188
第143図　箱式石棺墓(ＳＴ07)遺構実測図２ …… 189
第144図　ヤリガンナ・銅鏡実測図 …… 190
第145図　掘立柱建物跡・土坑墓・不明遺構遺構実測図１
…… 191～192
第146図　掘立柱建物跡・土坑墓・不明遺構遺構実測図２
…… 193～194
第147図　溝状遺構・不明遺構・柱穴跡・遺物
包含層遺物実測図 …… 195

表　目　次

(池の奥遺跡)

第１表　四国横断自動車道(津田～引田間)
建設に伴う埋蔵文化財発掘調査一覧表 …… 3
第２表　竪穴住居跡一覧表 …… 24
第３表　土坑一覧表１ …… 60
第４表　溝状遺構一覧表 …… 74
第５表　土坑一覧表２ …… 150
第６表　池の奥遺跡における樹種同定結果 …… 154
第７表　竪穴住居跡所属時期一覧表 …… 155
第８表　ＳＲ02出土弥生土器組成表 …… 162
第９表　石器・石製品組成表 …… 167
第10表　関連弥生時代遺跡石器・石製品組成表 …… 168
第11表　磨製石斧形態分類及び個体数等一覧表 …… 170
第12表　石器・石製品材質別個体数一覧表 …… 171

(金毘羅山遺跡)

第13表　調査組織一覧表(池の奥遺跡を含む) …… 175
第14表　土器棺墓一覧表 …… 176
第15表　掘立柱建物跡一覧表 …… 196
第16表　分析結果一覧表 …… 198

(付表)

第17表　池の奥遺跡出土位置別遺物内訳一覧表 …… 203
第18表　池の奥遺跡弥生土器・土師器・須恵器等一覧表　221
第19表　池の奥遺跡紡錘車・土製品等一覧表 …… 285
第20表　池の奥遺跡石器・石製品一覧表 …… 287
第21表　池の奥遺跡金属製品一覧表 …… 331
第22表　金毘羅山遺跡弥生土器・須恵器等一覧表 …… 332
第23表　金毘羅山遺跡金属製品・石製品・瓦一覧表 … 334

写 真 図 版 目 次

（池の奥遺跡）

図版 1　上：基本土層序
　　下：ＩＡ区西部
図版 2　上：ＩＡ区中央部
　　下：ＩＡ区東部
図版 3　上：ＳＨ01
　　下：ＳＨ09
図版 4　上：ＳＨ12・13
　　下：ＳＫ12遺物出土状態
図版 5　上：ＳＫ12
　　下：ＩＢ区西部
図版 6　上：ＩＢ区中央部
　　下：ＳＨ14
図版 7　上：ＳＨ15・16
　　下：ＳＨ17
図版 8　上下：ＳＫ19遺物出土状態
図版 9　上：ＩＣ区
　　下：ＳＨ18
図版 10　上：ＳＨ19
　　下：ＳＨ20
図版 11　上下：ⅡＡ区
図版 12　上下：ⅡＡ区西部
図版 13　上：ＳＲ02
　　下：ＳＨ21・22
図版 14　上：ＳＨ21・22
　　下：ＳＨ28
図版 15　上：ＳＨ24・25・26・27
　　下：ＳＫ29
図版 16　上：ⅡＢ区
　　下：ⅡＢ区西部
図版 17　上：ⅡＢ区東部
　　下：ＳＨ31・32・36
図版 18　上：ⅡＢ区
　　下：ＳＨ29
図版 19　上：ＳＨ23・30
　　下：ＳＨ33・34・35
図版 20　上：ＳＨ31
　　下：ＳＨ36
図版 21　上：ＳＫ31土層断面
　　下：ＳＫ36
図版 22　上下：ＳＫ39
図版 23　弥生土器１
図版 24　弥生土器２
図版 25　弥生土器３
図版 26　弥生土器４
図版 27　弥生土器５
図版 28　弥生土器６
図版 29　弥生土器７
図版 30　弥生土器８
図版 31　弥生土器９
図版 32　弥生土器10
図版 33　弥生土器11
図版 34　弥生土器12
図版 35　弥生土器13
図版 36　弥生土器14
図版 37　弥生土器15
図版 38　弥生土器16・鉄鏃・不明土製品・土師器・須恵器
図版 39　紡錘車１
図版 40　紡錘車２
図版 41　石鏃１
図版 42　石鏃２
図版 43　石鏃３
図版 44　石鏃４
図版 45　石鏃５
図版 46　石鏃６
図版 47　石鏃７
図版 48　石鏃８
図版 49　石鏃９
図版 50　石鏃10
図版 51　石鏃11
図版 52　石鏃12

図版 53　石鏃13
図版 54　石鏃14
図版 55　石鏃15
図版 56　石鏃16
図版 57　石鏃17
図版 58　石鏃18
図版 59　石鏃19
図版 60　石鏃20
図版 61　石鏃21
図版 62　石鏃22
図版 63　石鏃23
図版 64　石鏃24
図版 65　石鏃25
図版 66　石槍 1
図版 67　石槍 2
図版 68　石槍 3
図版 69　石槍 4
図版 70　石斧 1
図版 71　石斧 2
図版 72　石斧 3
図版 73　石斧 4
図版 74　石斧 5
図版 75　石斧 6
図版 76　石斧 7
図版 77　石斧 8
図版 78　石斧 9
図版 79　石斧10
図版 80　石斧11
図版 81　石斧12
図版 82　石斧13
図版 83　石斧14
図版 84　石斧15
図版 85　石斧16
図版 86　石斧17
図版 87　石斧18
図版 88　石斧19
図版 89　石斧20
図版 90　石斧21・石庖丁 1
図版 91　石庖丁 2
図版 92　石庖丁 3
図版 93　石庖丁 4
図版 94　石庖丁 5
図版 95　石庖丁 6
図版 96　石庖丁 7
図版 97　石庖丁 8
図版 98　石庖丁 9
図版 99　石庖丁10
図版100　石庖丁11
図版101　石庖丁12・石錐 1
図版102　石錐 2
図版103　石錐 3
図版104　石錐 4 ・刃器 1
図版105　刃器 2
図版106　刃器 3
図版107　刃器 4
図版108　刃器 5
図版109　刃器 6
図版110　刃器 7
図版111　刃器 8
図版112　刃器 9
図版113　刃器10
図版114　刃器11・楔形石器 1
図版115　楔形石器 2
図版116　楔形石器 3
図版117　楔形石器 4
図版118　楔形石器 5
図版119　楔形石器 6
図版120　楔形石器 7
図版121　楔形石器 8
図版122　楔形石器 9
図版123　楔形石器10
図版124　横長剥片を利用した石庖丁 1
図版125　横長剥片を利用した石庖丁 2
図版126　横長剥片を利用した石庖丁 3
図版127　刃器か石庖丁 1
図版128　刃器か石庖丁 2

図版129　刃器か石庖丁 3
図版130　両極打撃の石核に転用した石庖丁
図版131　磨石 1
図版132　磨石 2
図版133　磨石 3
図版134　磨石 4
図版135　磨石 5
図版136　磨石 6
図版137　磨石 7
図版138　磨石 8
図版139　磨石 9
図版140　磨石10
図版141　磨石11
図版142　磨石12
図版143　磨石13
図版144　磨石14
図版145　磨石15
図版146　磨石16
図版147　磨石17
図版148　磨石18
図版149　磨石19
図版150　磨石20
図版151　磨石21
図版152　磨石22
図版153　磨石23
図版154　磨石24
図版155　磨石25
図版156　磨石26
図版157　磨石27
図版158　磨石28
図版159　磨石29
図版160　磨石30
図版161　磨石31
図版162　磨石32
図版163　磨石33
図版164　磨石34
図版165　磨石35
図版166　磨石36
図版167　磨石37
図版168　磨石38
図版169　石皿か凹石 1
図版170　石皿か凹石 2
図版171　石皿か凹石 3
図版172　石皿か凹石 4
図版173　石皿か凹石 5・叩石 1
図版174　叩石 2
図版175　叩石 3
図版176　叩石 4
図版177　叩石 5
図版178　叩石 6
図版179　叩石 7
図版180　叩石 8
図版181　叩石 9
図版182　叩石10
図版183　叩石11
図版184　叩石12
図版185　叩石13・ハンマーか石器材料 1
図版186　ハンマーか石器材料 2
図版187　ハンマーか石器材料 3
図版188　ハンマーか石器材料 4
図版189　ハンマーか石器材料 5
図版190　ハンマーか石器材料 6
図版191　砥石(台石) 1
図版192　砥石(台石) 2
図版193　砥石(台石) 3
図版194　砥石(台石) 4
図版195　砥石(台石) 5
図版196　砥石(台石) 6
図版197　石錘 1
図版198　石錘 2
図版199　石錘 3・不明石製品
図版200　不明石製品・サヌカイトの大型剥片・
　　焼土・サヌカイトの原石

（金毘羅山遺跡）
図版201　上：遺跡遠景
　　下：調査地東部
図版202　上：調査地西部
　　下：ＳＴ06埋没状態
図版203　上：ＳＴ06側石
　　下：ＳＴ06土層断面
図版204　上下：ＳＴ06側石
図版205　上下：ＳＴ06側石
図版206　上：ＳＴ06床面
　　下：ＳＴ06ほりかた
図版207　上：ＳＴ06・ＳＤ01
　　下：ＳＴ07埋没状態
図版208　上：ＳＴ07蓋石
　　下：ＳＴ07埋没状態
図版209　上：ＳＴ07土層断面
　　下：ＳＴ07側石
図版210　上：ＳＴ07側石
　　下：ＳＴ07側石赤色顔料
図版211　上下：ＳＴ07床面赤色顔料
図版212　上：ＳＴ07側石
　　下：ＳＴ07ほりかた
図版213　上：ＳＴ07
　　下：ＳＴ01・02・03・04
図版214　上：ＳＴ01
　　下：ＳＴ01ほりかた
図版215　上：ＳＴ02
　　下：ＳＴ02ほりかた
図版216　上：ＳＴ03
　　下：ＳＴ03ほりかた
図版217　上：ＳＴ04
　　下：ＳＴ04ほりかた
図版218　上：ＳＴ08
　　下：ＳＴ09
図版219　上：ＳＫ01
　　下：銅鏡出土状態
図版220　調査地航空写真
図版221　調査地航空写真
図版222　弥生土器１
図版223　弥生土器２
図版224　弥生土器３
図版225　弥生土器４
図版226　銅鏡・ヤリガンナ

（自然科学的分析の成果）
図版227　池の奥遺跡炭化材Ⅰ
図版228　池の奥遺跡炭化材Ⅱ

付　　図

付図１　池の奥遺跡ⅠＡ・Ｂ区遺構配置図
付図２　池の奥遺跡ⅠＣ区遺構配置図
付図３　池の奥遺跡ⅡＡ・Ｂ区遺構配置図
付図４　金毘羅山遺跡Ⅲ・Ⅳ区遺構配置図

第１部　池の奥遺跡の調査

第１章　調査の経緯と経過

第１節　調査に至る経緯

１　遺跡の発見

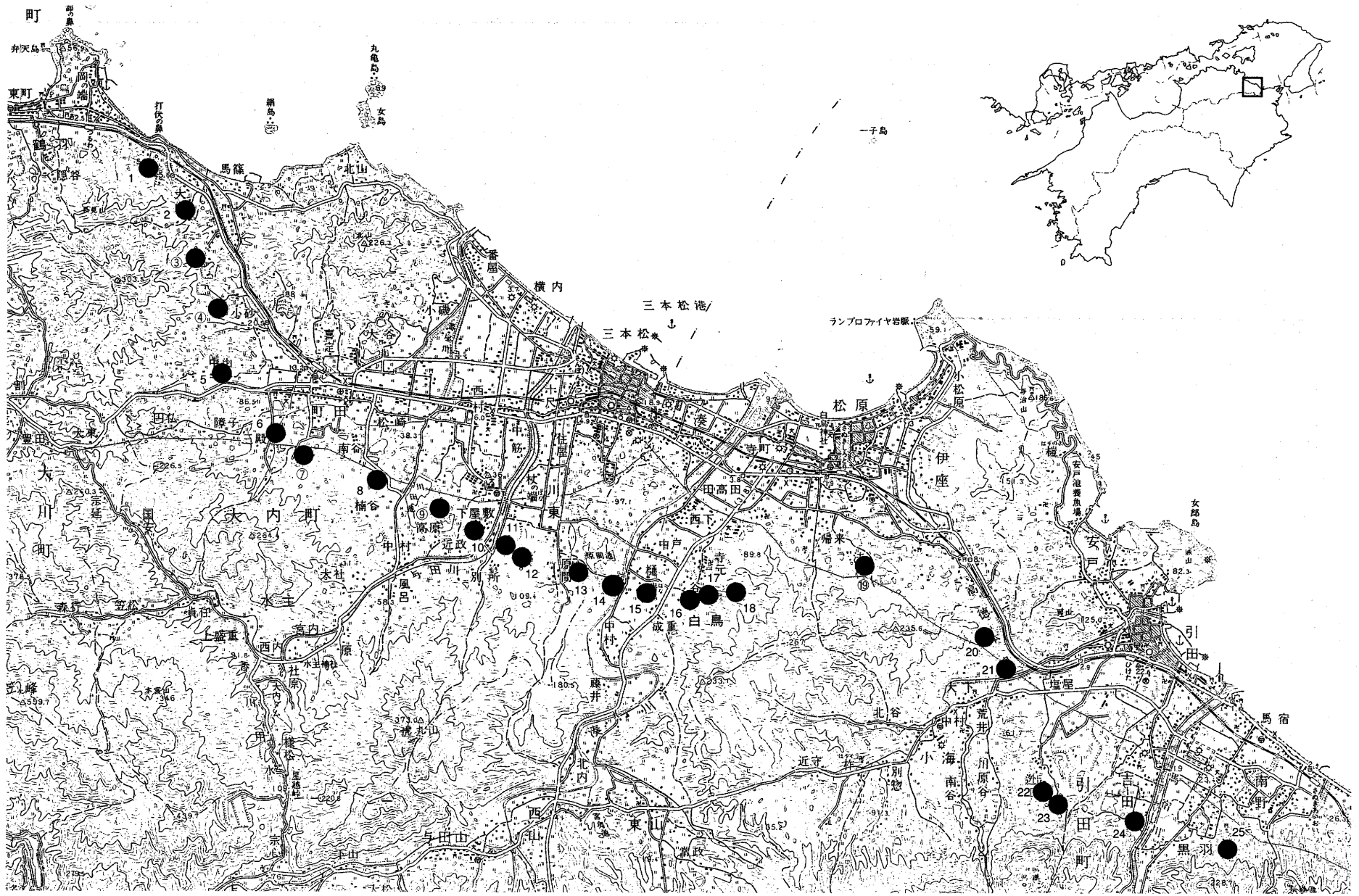
池の奥遺跡が所在する東谷川沿いの緩い傾斜地では、昭和30年代頃から土地所有者や教員、学生等によって弥生土器や石鏃、石斧等の石器類が頻繁に採集され始め、濃密な埋蔵文化財の包蔵地の存在が予想されるようになっていた。

昭和56年度から始まった旧白鳥町による白鳥町史編纂事業により、出土品の所在確認と出土箇所の観察が行われた結果、「千光寺池の奥遺跡」として遺跡の概要が初めて公表され、遺跡台帳に登載されたが、発掘調査の成果にもとづいていないために遺跡の範囲や内容については不明な点が多かった。

こうしたなか、平成５年度に四国横断自動車道（津田～引田間）の建設の決定を受けた香川県教育委員会では、平成７年度に路線内において埋蔵文化財の分布調査を実施した。その結果、旧白鳥町白鳥大字谷の新川東岸の水田地帯から、善門池を越えて東谷川東岸の丘陵の斜面に至る東西約500ｍの広範囲に埋蔵文化財が所在することを認めた。

しかしながら、同調査についても地表面の観察のみによる踏査であったために、遺跡の範囲等については依然として断定するには至らず、遺跡範囲の確定は平成９年度に財団法人香川県埋蔵文化財調査センターが実施した予備調査の結果を待つこととなった。

第１図　遺跡位置図



第２図　四国横断自動車道（津田～引田間）埋蔵文化財包蔵地図

第１表　四国横断自動車道（津田～引田間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査一覧表

遺跡名		地区名	所在地	調査面積（㎡）	調査期間	備考
1	中谷遺跡	中谷	さぬき市津田町鶴羽	518	8.10.1～9.1.31	平成15年度報告書刊行予定
2	大山遺跡	大山	さぬき市津田町鶴羽	2,113	8.10.1～9.1.31	平成15年度報告書刊行予定
③	－	馬篠	東かがわ市馬篠	620	9.7.1～9.8.31	平成９年度概報で報告完了
④	－	小砂	東かがわ市小砂	100	9.6.1～9.6.30	平成９年度概報で報告完了
5	坪井遺跡	中山	東かがわ市中山	6,566	10.9.1～11.3.31	平成13年度報告書刊行
6	三殿出口遺跡	三殿	東かがわ市三殿	135	11.7.1～11.7.31	未報告
				6,370	11.4.1～11.6.30	
					11.11.1～11.11.30	
⑦	－	町田	東かがわ市町田	69	10.9.1～10.9.30	平成10年度概報で報告完了
8	楠谷遺跡	楠谷	東かがわ市水主	1,000	11.3.1～11.3.31	未報告
				1,578	9.7.1～10.3.31	
				460	8.12.1～8.12.31	
⑨	－	高原	東かがわ市水主	11	9.9.1～9.9.30	平成９年度概報で報告完了
10	金毘羅山遺跡	下屋敷	東かがわ市水主	446	8.11.1～8.11.30	平成12年度報告書（Ⅰ）刊行。本書
				100	10.3.1～10.3.31	
				3,600	10.4.1～10.8.31	
				1,300	11.12.1～12.3.31	
11	塔の山南遺跡	別所	東かがわ市川東	15	9.9.1～9.9.30	平成12年度報告書刊行
				1,300	11.1.1～11.3.26	
12	西谷遺跡	杖の端	東かがわ市川東	2,092	9.6.1～10.3.31	平成９年度概報で報告完了
13	原間遺跡	原間	東かがわ市川東	500	9.2.1～9.2.28	平成13・14年度報告書刊行
				19,254	9.4.1～10.3.31	
				24,243	10.4.1～11.3.31	
14	樋端遺跡	樋端	東かがわ市西藤井	3,590	10.12.1～11.3.31	平成14年度報告書刊行
				1,647	11.9.1～11.10.31	
15	成重遺跡	成重	東かがわ市白鳥	1,500	9.2.1～9.2.28	未報告
				14,650	9.4.1～10.3.31	
				6,543	10.4.1～11.3.31	
				4,192	11.6.1～12.3.31	
16	谷遺跡	谷	東かがわ市白鳥	111	10.7.1～10.7.31	未報告
				2,741	11.9.1～12.3.31	
				900	12.4.1～12.8.31	
17	善門池西遺跡	池の奥	東かがわ市白鳥	3,566	9.11.17～10.3.31	未報告
				2,500	10.4.1～11.3.31	
				1,050	11.7.1～11.8.31	
18	池の奥遺跡	池の奥	東かがわ市白鳥	8,700	10.6.1～11.3.26	本書
⑲	－	法月	東かがわ市帰来	510	10.1.1～10.1.31	平成９年度概報で報告完了

遺跡名		地区名	所在地	調査面積（㎡）	調査期間	備考
20	天王谷遺跡	塩屋	東かがわ市引田	1,200	11. 1.22～11. 3.24	平成14年度報告書刊行
				1,475	11. 7. 1～11. 8.31	
21	川北遺跡	塩屋	東かがわ市小海	6,038	10. 8. 1～11. 3.31	未報告
22	迯田石垣遺跡	迯田	東かがわ市引田	554	10. 4. 1～10. 5.31	平成14年度報告書刊行
				2,300	11. 4. 1～11. 6.30	
23	迯田谷川下池遺跡	迯田	東かがわ市引田	1,450	10.12. 1～10. 1.29	平成14年度報告書刊行
24	鹿庭遺跡	鹿庭	東かがわ市吉田	310	9. 7. 1～9.10.31	平成14年度報告書刊行
				3,800	10. 4. 6～10. 8.31	
25	庵の谷遺跡	黒羽	東かがわ市黒羽	3,978	9.10. 1～10. 3.31	平成12年度報告書刊行
合計				145,724		

※遺跡名の数字は第２図の数字と対応する

※遺跡名の○数字は予備調査のみで調査が完了したものを表す

2　調査に至る経緯

香川県教育委員会による四国横断自動車道（津田～引田間）の路線内における分布調査の結果、旧白鳥町内では５箇所の遺跡（地区）について発掘調査等の保護措置が必要となった。この時点では池の奥遺跡は「池の奥地区」として複数の遺跡の発見を予想した広域を表す呼称で取り扱われている。

さて、四国横断自動車道（津田～引田間）の建設に伴う埋蔵文化財調査事業は、平成８年度からは香川県教育委員会から財団法人香川県埋蔵文化財調査センターへ再委託されることになり、旧津田町内から順次本格的な調査が開始された。

旧白鳥町内では平成８年度に「成重地区」の予備調査が行われ、平成９年度に湊川東岸の平野部に所在する成重遺跡の本調査が開始された。

「池の奥地区」については予備調査を平成９年度に実施した結果、善門池を挟んだ東西の地域で遺跡の内容が異なることが判明したため、善門池の東方を「池の奥（いけのおく）遺跡」、西方を「善門池西（ぜんもんいけにし）遺跡」に分割した。

第２節　調査の経過

1　予備調査について

平成９年11月10日に土地所有者を対象にした説明会を開催し、同月17日から12月10日までの期間で、新川東岸の水田地帯から東谷川東部の山間部へ向かって調査を進めた。調査の方法は、小型の重機と人力で遺構面及び基盤土まで掘削し、遺構配置図の作成と写真撮影を行った後に旧状に埋め戻すこととした。

調査の結果、水田地帯では耕作土直下0.3～0.4mの浅い箇所で遺構面を確認することができたのに対して、善門池東方の棚田地帯と山間部では、厚い流出土が遺跡を覆っていたために、地表面から遺構面までの深さが２mを越える箇所が存在することも明らかになった。

そして、水田地帯において検出された遺構は古墳時代の竪穴住居跡と中世の柱穴跡であることから複合遺跡の存在が予測されたが、棚田地帯と山間部では弥生時代の遺物が多量に出土し、同時代の竪穴住居跡を中心とする単一時期の集落跡の存在が予測される結果となった。

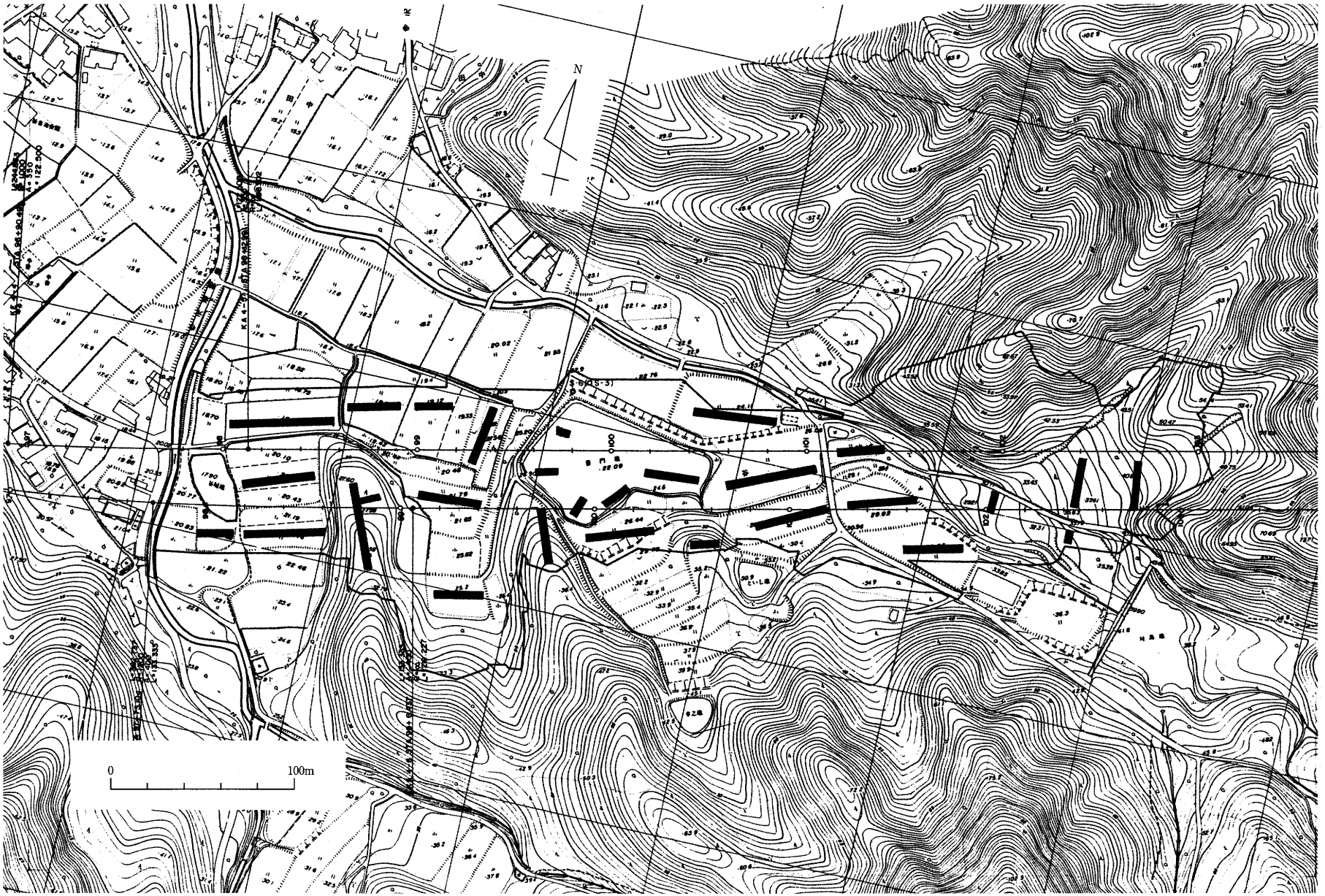
さらに、丘陵上の尾根の稜線部において墳墓の有無を主な目的とする確認調査を実施したが、遺構の存在は認められなかった。

調査結果により確定した調査対象面積（予備調査のみで終了した地区についてはトレンチ面積を含む）は善門池西遺跡7,116㎡、池の奥遺跡8,700㎡である。

2　本発掘調査について

調査は掘削工事を業者委託する工事請負方式をとり、工事名を「池の奥遺跡（四国横断自動車道）埋蔵文化財発掘調査掘削工事」、工期を平成10年５月８日～平成11年３月26日として本格的な調査に着手した。

現地作業は仮設道と安全柵の設置、除草、現況地盤の測量等を行った後、６月４日から表土の機械掘削に着手し、15日からは人力による掘削作業も開始した。地区割別の調査順序については遺跡の中心部と予想されていた棚田部分（Ⅰ区）を優先し、遺構密度が低いと考えられていた山間部（Ⅱ区）を後回しにする計画とした。



第３図　予備調査位置図

さてⅠ区においては、竪穴住居跡や土坑を中心とした生活遺構を多数検出した。ところが、対象範囲のほぼ全域が水田や果樹園としての開墾されていたために遺構の損壊が著しく、柱穴跡や土坑の位置から竪穴住居跡の存在を知り得るような事例が続発することとなった。また、遺物包含層は東谷川に近接した位置において小規模な状態で残存していることが判明した。

Ⅱ区の調査は谷部から開始した。生活遺構の密度は高くなかったが、集落からの廃棄あるいは転落と考えられる遺物が相当量出土した。これらの遺物は基盤土を形成する花崗岩の風化土壌中に埋没していたために、遺物表面の損傷が著しいことがわかった。

Ⅱ区の丘陵裾部では竪穴住居跡が重複する状態が認められたが、Ⅰ区と同様に果樹園の開墾により遺構の保存状態は不良であった。

調査は順調に進行して、機械及び人力による掘削作業が平成11年２月26日に、調査員による記録作業が３月４日に終了し、12日までには埋め戻し作業も完了した。

3　整理作業について

整理員１名、整理補助員２名、整理作業員５名の体制で、平成14年４月～11月の８ヶ月間で実施した。調査終了時点における出土品の量は233箱（28ℓ）であり、大部分が香川県では調査例の少ない弥生時代中期の土器や石器であったことから可能な限り多くの遺物を資料化しようと努めた結果、弥生土器（土製品を含む）1,277点、土師器４点、須恵器２点、石器（石製品を含む）369点、鉄製品１点の実測図を掲載することができた。さらに石器は本遺跡を特徴付ける遺物であることから、他の資料（1,173点）についても写真を掲載することにより全製品について報告した。

石器の石材については元香川大学教育学部谷山穣教授に鑑定を依頼した。

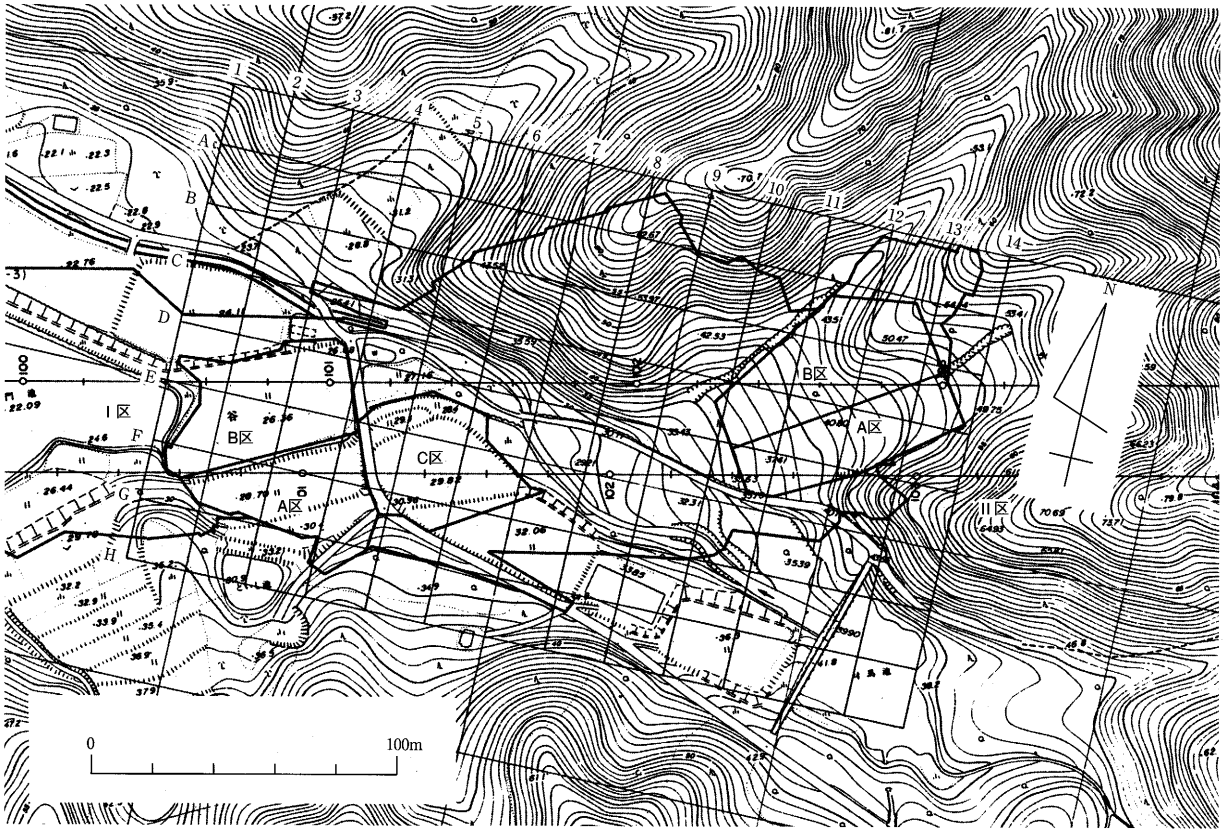
これら以外の遺物として、竪穴住居の柱材と考えられる炭化木材についての樹種の特定作業を専門業者に委託した。

第３節　調査の方法

1　地区割について

対象地が東西方向に長い上に、河川の両岸で地形が異なることから、西岸を「Ⅰ区」、東岸を「Ⅱ区」の２大区に大別し、さらに調査が進めやすく、用地の維持管理が容易な規模に応じて前者を「Ａ～Ｃ区」の３小区、後者を「Ａ～Ｂ区」の２小区に細別することにした。したがって、各小区については「ⅠＡ区（「区」は省略することがある）」のように大区と小区を組み合わせた名称で呼ぶことになる。

さらに国土座標系第Ⅳ系のＸ＝136.600、Ｙ＝78.680の地点を基点（「Ａ１ポイント」。以下「ポイント」は「pt」と略すため、「Ａ１ポイント」は「Ａ１pt」と記述する）として、南北方向にＡ～Ｈ、東西方向に１～14の各々20m間隔の基準点を設けることにより、20m四方の小区画を設定した。各区画の呼称はアルファベットとアラビア数字の組み合わせによる。



第４図　調査地区割図

2　記録類の作成について

検出した遺構については平板測量による１／100の縮尺の図面と、航空写真測量による１／50の縮尺の図面を作成した。さらに詳細な記録を要する竪穴住居跡のような遺構については、手書き作業により適宜１／10の縮尺の図面も作成した。各遺構の土層序断面図は１／20の縮尺の図面を作成した。

写真は35㎜サイズの白黒フィルム、リバーサルフィルム、カラーフィルムを用いて撮影したが、適宜６×７㎝サイズの白黒フィルムを用いた撮影も行った。また、航空写真測量の際には、空中からの斜め写真の撮影も委託して行った。

第２章　遺跡の位置と環境

本遺跡を取り巻く遺跡群については、本報告書シリーズや概要報告書に再三にわたり詳しく報告されているために再録を避け、ここでは、香川県の東部地方の歴史を考察する際に看過できない徳島県との関連について地形的な視野から概観することで遺跡の地理的・歴史的環境について理解することにする。特に本遺跡については、吉野川南岸の三波川変成帯で産出される緑色片岩を原材料とした石器が多く出土したことから、両県の交流の歴史の中に位置付けることが重要であると考えられる。

そこでまず香川県と徳島県を隔てる通称阿讃山脈についてみると、大川山（1,043m）と竜王山（1,013m）を除く大部分が標高500～700mの低山が続く山容である。このため近世の藩政下においては番所が設置されて旧国境を越えて往来する人や物資に対して間断のない警備が行われたり、いわゆる四国遍路の66番雲辺寺（徳島県池田町）から67番大興寺（香川県山本町）に至る行程が六地蔵越えと呼ばれる旧国境越えのルートがとられたように古くから山稜を越えての人々の往来が頻繁に行われていた形跡が各地に残っている。

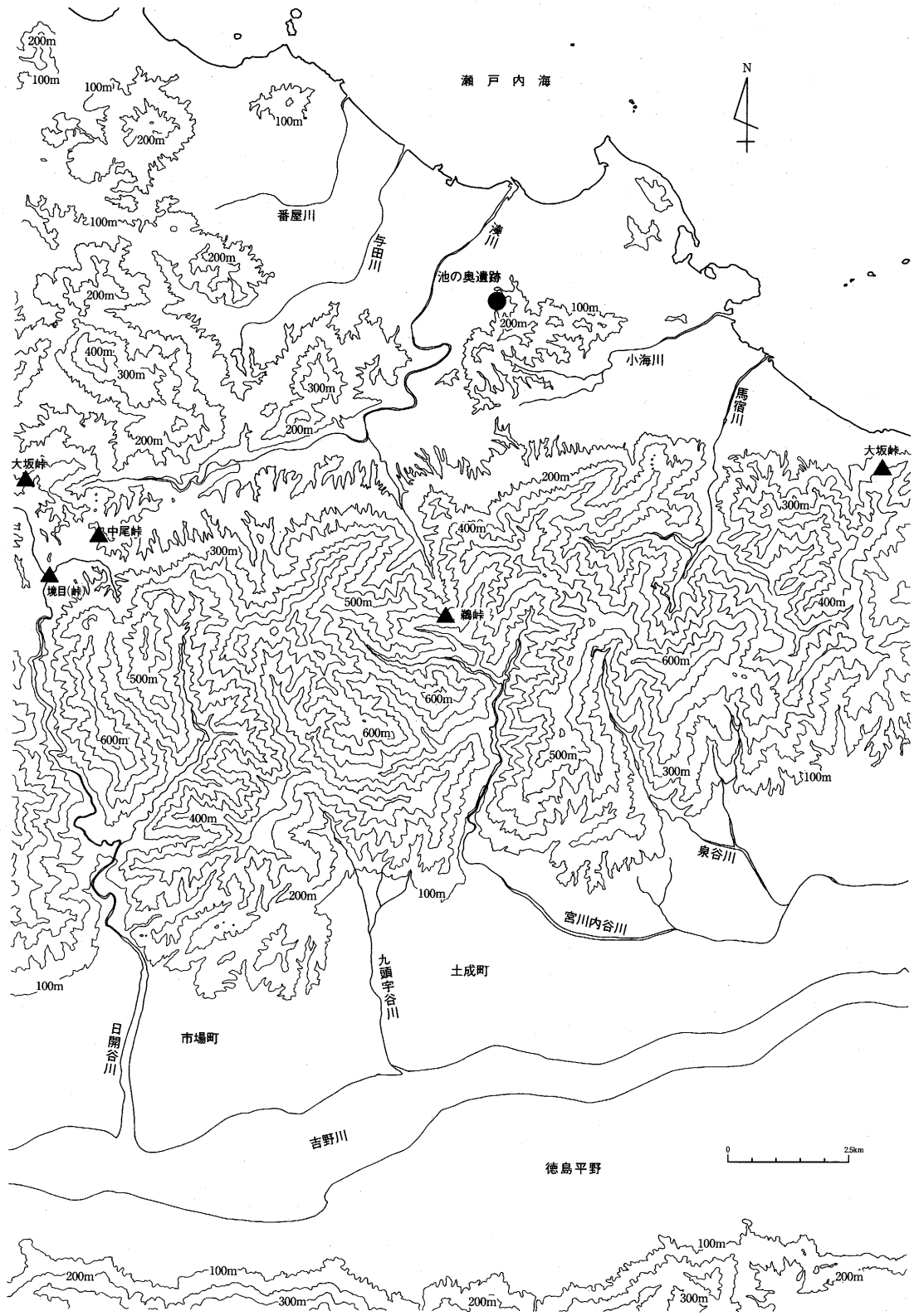
両県の山脈越の距離は香川県塩江町付近から徳島県脇町付近までの最も幅のある箇所でも直線距離で約17kmである。そして本遺跡の所在地である旧白鳥町については隣接する徳島県土成町までは約７kmと山脈の中でも最も距離が短い箇所のひとつである点において地形上の最大の特徴がある。しかも旧白鳥町側は湊川の支流、土成町側は宮川内谷川の支流の源が山稜近くにある上に谷地形の奥深くまで平坦な地形が続くことから各々の支流を辿ることによって容易に旧白鳥町あるいは土成町方面へ行き来することができる点も地形上の利点として注目される。

次に地形的な環境のなかで重要な位置にあるのは県境の峠道の存在である。峠道の整備は早くから行われていたと考えられ、近代の「借耕牛」の習慣のように近年まで人や物資の移動に大きい役割を担ってきたことが伝えられている。かつて県境では13箇所の峠の交通が活発であったことが伝承として残っているが、そのうち旧白鳥町内では現在の行政境に合致する阿波峠（鵜峠）と境目（峠）が重視される。

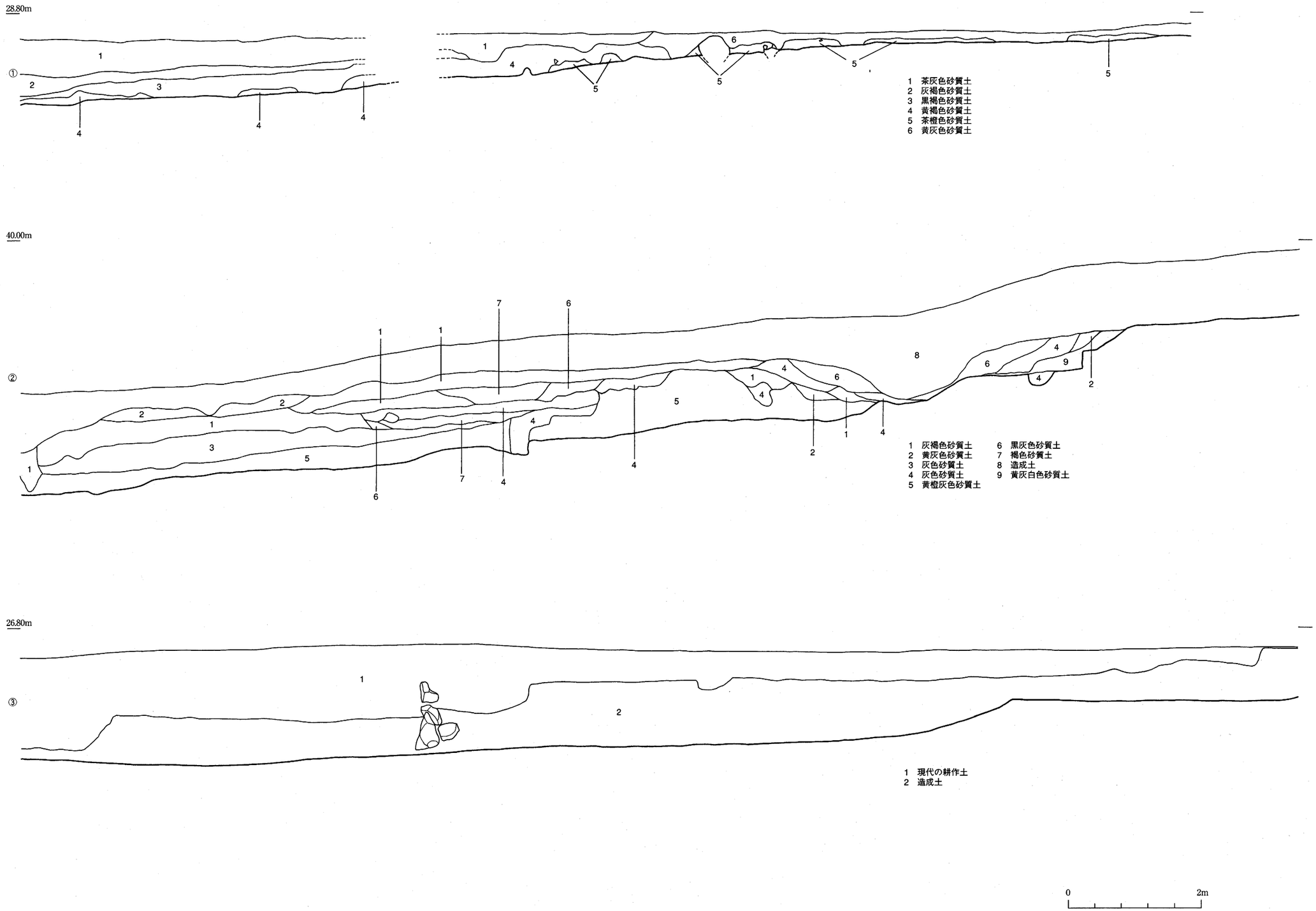
阿波峠については現在も直近に国道318号の鵜の田尾トンネルが貫通して旧白鳥町と土成町を結んでいることから古くからの交通の要衝であったことがわかる。香川県の東部地方においては旧南海道の参考地ともされる大阪峠越えの旧讃岐街道が文献資料に登場する頻度が高いことは周知のとおりであるが、同峠越えのルートは東に偏り過ぎているだけでなく、山脈を最短距離で往来するとすれば阿波峠越えのルートが最適であることは明らかである。近世の幕藩体制下において旧白鳥町西山にあった石井家が藩札交換所としての役割を担っていたこと等も当該地が往来の幹線であったことを実証するものである。

一方の境目（峠）についてみると、吉野川支流の日開谷川の源が同所を越えて旧白鳥町に特徴的な山間部に東西方向に発達した平地近くから発していることから、川の流れを辿ることにより必然的に旧同町と徳島県市場町を結ぶ役割をもっているのである。このことは四国遍路の最後の88番大窪寺から10番切幡寺への移動が同行程を経ること等からも確認できる。

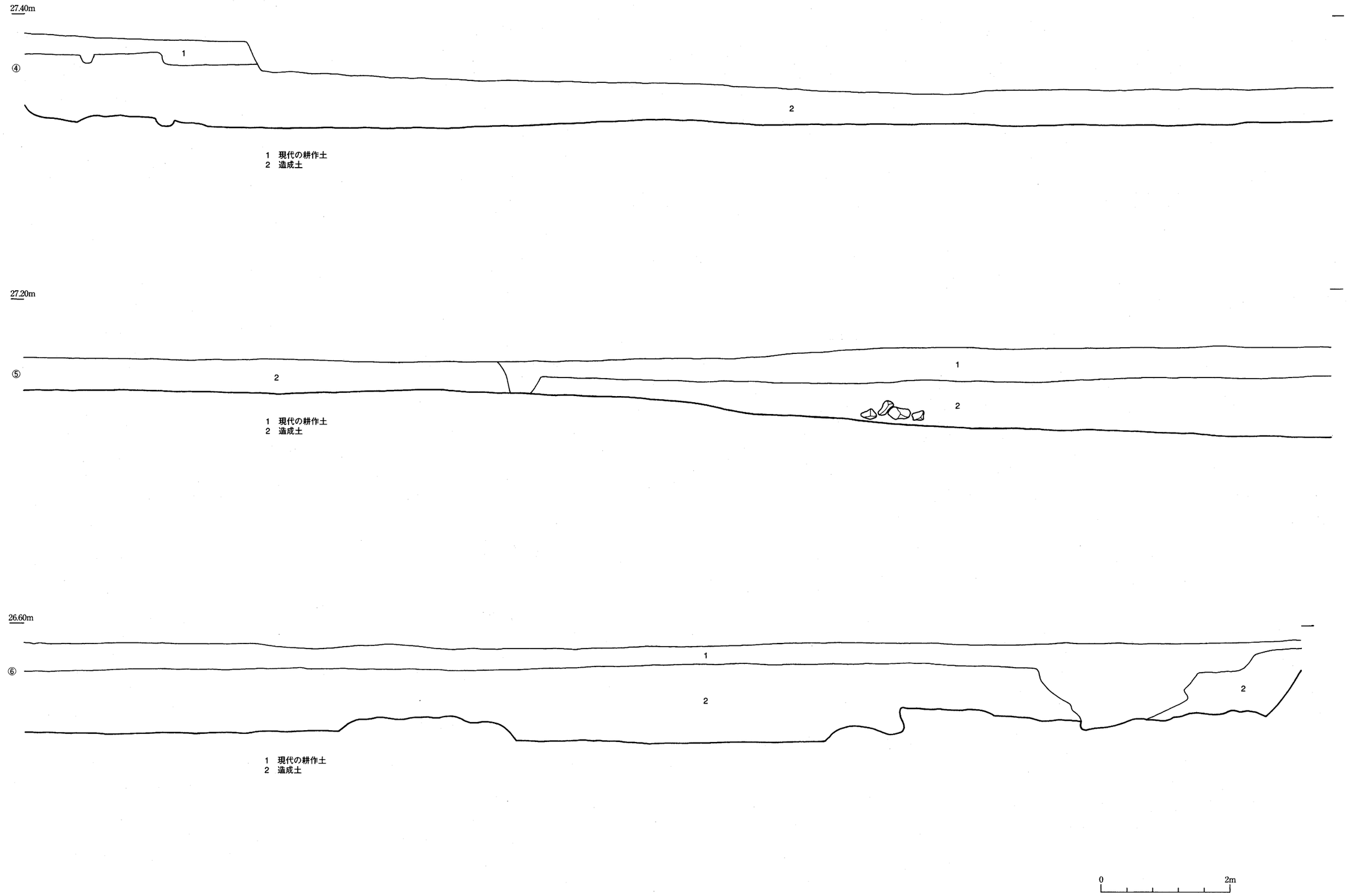
以上のように本遺跡の位置はその地形的な特色や古くから峠道が整備された事実等から、徳島県側と密接に関連し得る条件が整っていたことがあらためて実感できる。


瀬戸内海
N
番屋川
与田川
池の奥遺跡
小海川
馬宿川
大坂峠
中尾峠
境目(峠)
鵜峠
泉谷川
宮川内谷川
九頭宇谷川
土成町
日開谷川
市場町
吉野川
徳島平野
0
2.5km

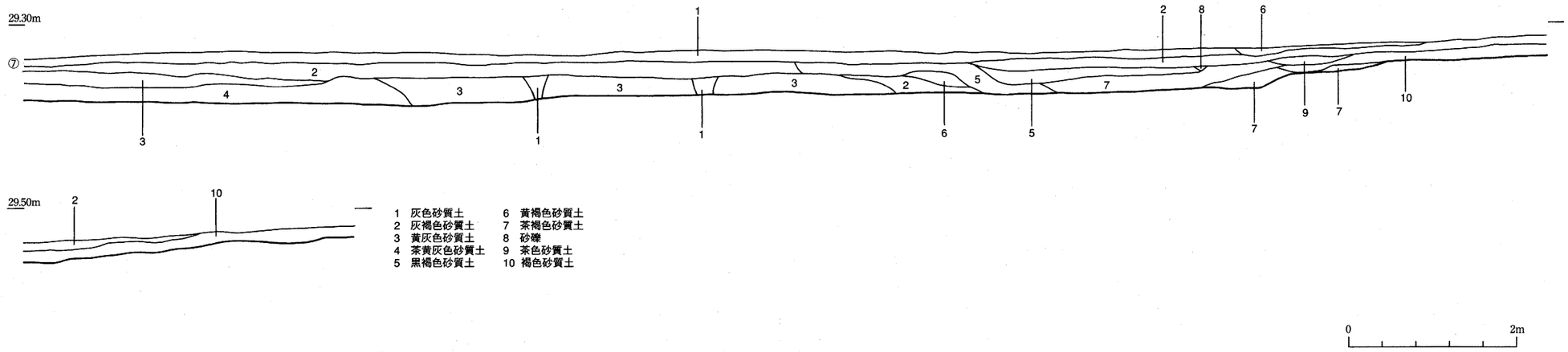
第5図　遺跡周辺地形図

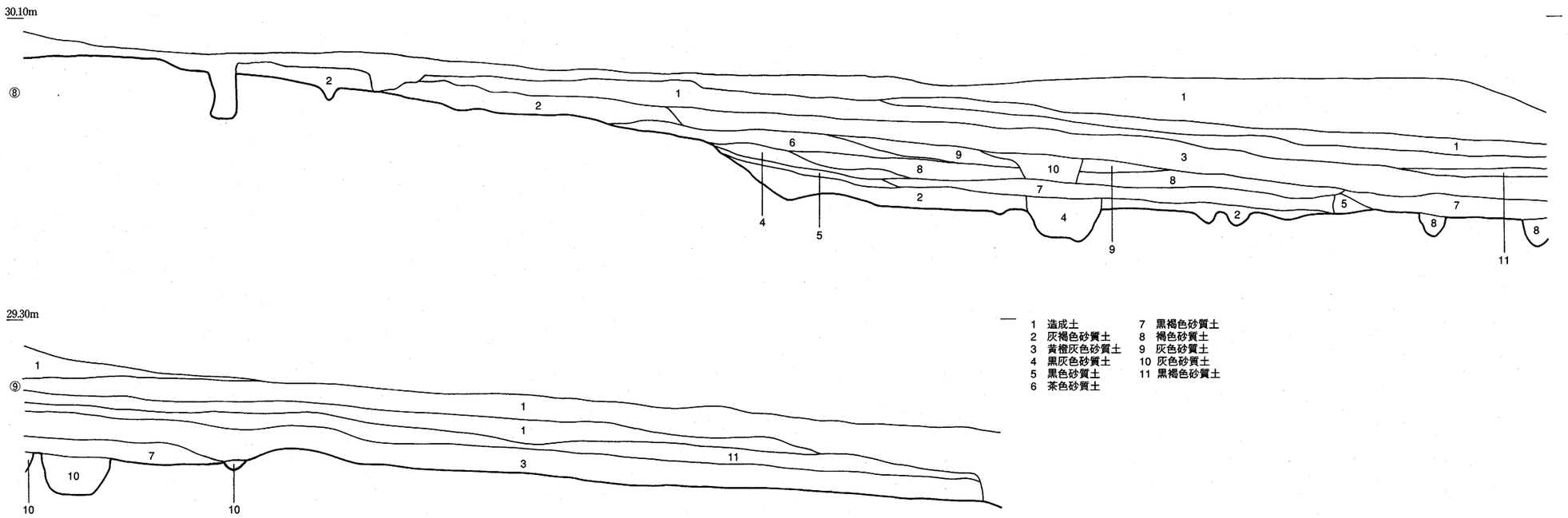


第６図　土層序断面実測図１

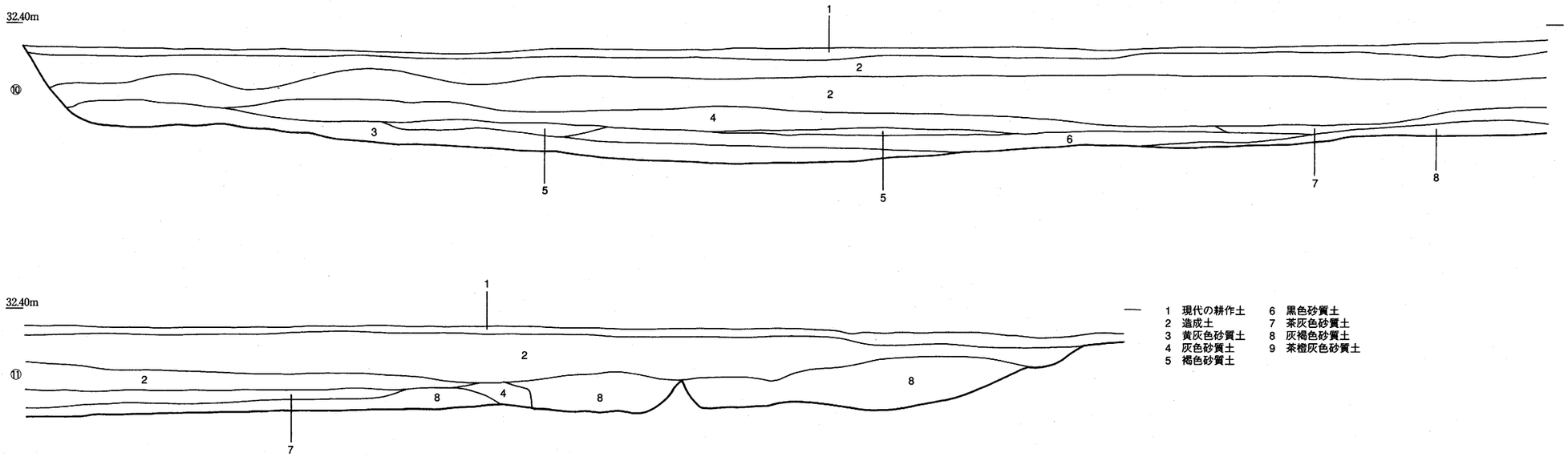


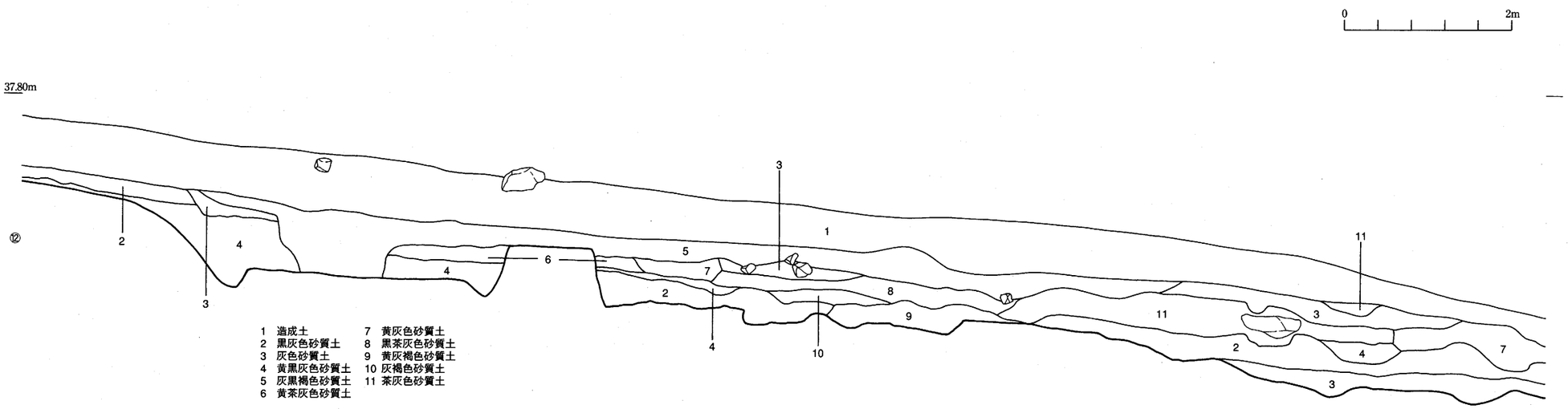
第７図　土層序断面実測図２



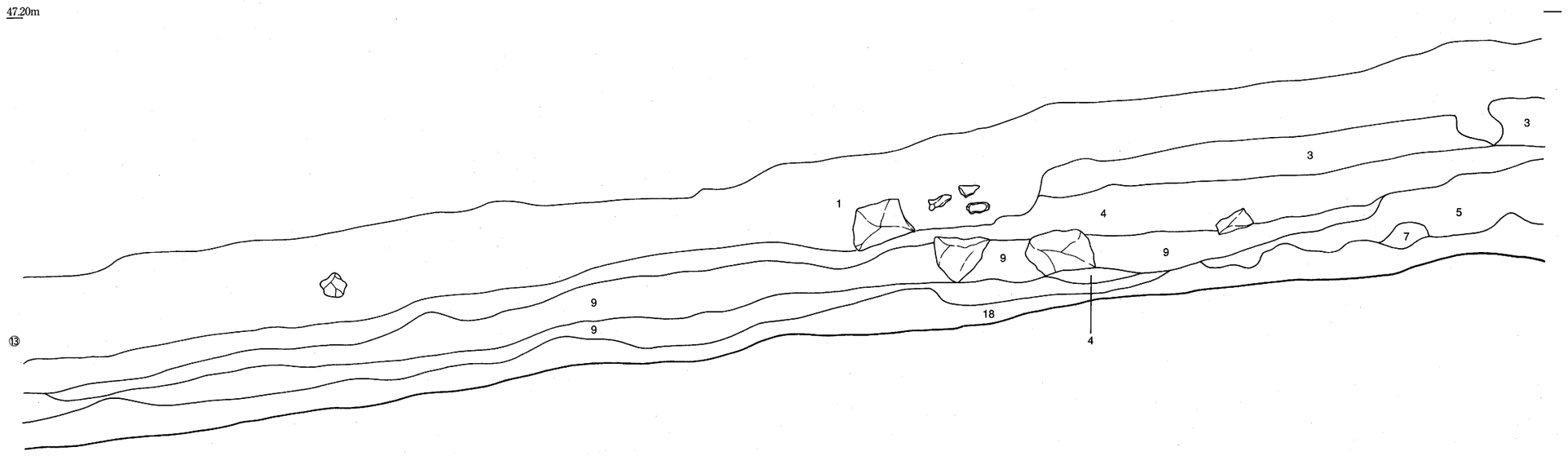


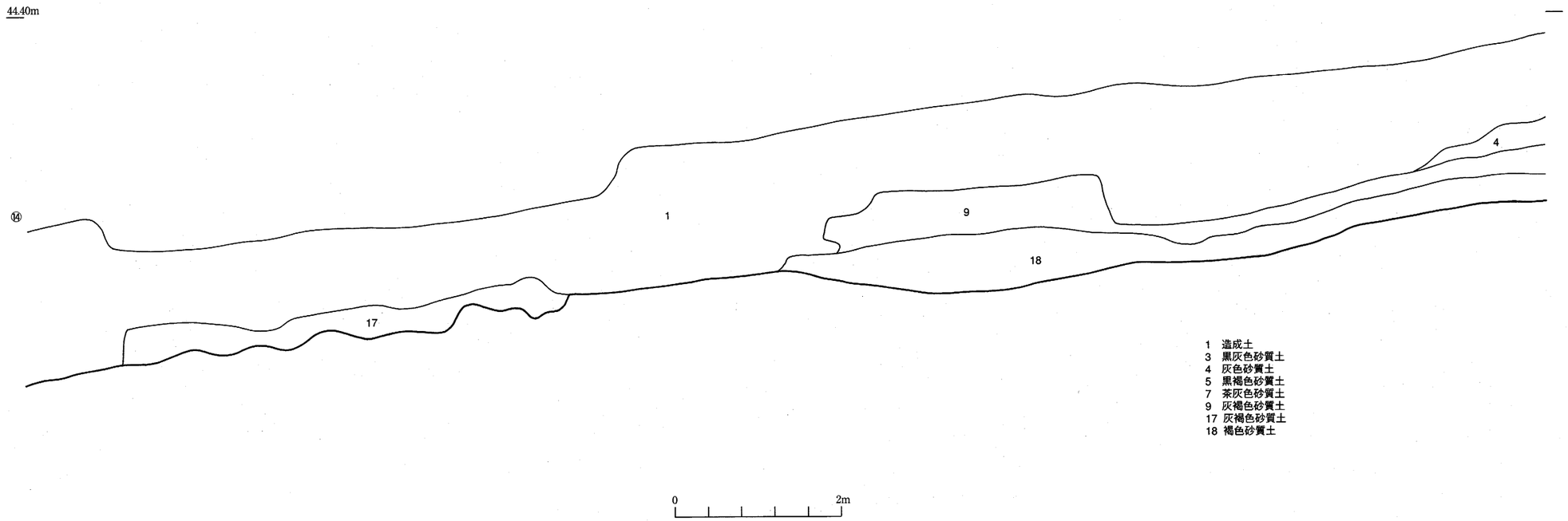
第 8 図　土層序断面実測図 3





第 9 図　土層序断面実測図 4





第10図　土層序断面実測図５

1 造成土
2 灰色砂質土
3 黒灰色砂質土
4 灰色砂質土
5 黒褐色砂質土
6 褐色砂質土
7 茶灰色砂質土
8 茶褐色砂質土
9 灰褐色砂質土
10 茶色砂質土
11 黄褐色砂質土
12 黒色砂質土
13 灰白色砂質土
14 黄灰白色砂質土
15 黒灰白色砂質土
16 灰黄白色砂質土
19 黄灰色砂質土

第12図　土層序断面位置図

第11図　土層序断面実測図 6

第３章　調査の成果

第１節　土層序について

水田や果樹園の開墾による掘削が著しいために、遺構の覆土の保存状態は不良であった。特にＩＡ区の南部、ＩＢ区、ＩＣ区の西部、ⅡＡ区、ⅡＢ区の生活遺構の検出箇所の大部分については、表土層の直下に遺構の基盤土が検出されている。

一方、覆土が良好に保存されている位置としては、小規模な範囲であるがＩＡ区とＩＣ区の境界部に認められる。当該箇所では遺跡南方の山塊から北方向に派生した丘陵の東斜面に丘陵の尾根上から東谷川方向へ流下した土砂が堆積する状態を見ることができる。

表土と基盤土を除いて、本遺跡内において確認することができる堆積層の大部分については、周辺の丘陵の基盤である花崗岩が崩落した結果形成されたと考えられる。

以下に上記の地点における土層序を観察して、基本となる土層序をまとめる。

第１層：現況における表土（現代の耕作土、山道あるいは里道等の造成に用いられた土壌）

第２層：灰色系砂質土（弥生時代～古墳時代の遺物包含層。上流から流出した花崗岩の風化土壌）

第３層：褐色系砂質土（遺構の覆土。花崗岩の風化土壌）

第４層：黄灰色砂質土（遺跡全体の基盤土。大部分の遺構の基盤土）

第２節　主要遺構の検出状況

本遺跡において確認した主要な遺構は弥生時代の竪穴住居跡、土坑、溝状遺構、柱穴跡、不明遺構、自然河川跡である。特に集落の構成要素として重要な竪穴住居跡と土坑、景観復元に有効な自然河川跡の検出状況についてまとめる。

まず竪穴住居跡についてはⅠ区に20棟、Ⅱ区に16棟が分布する。Ⅰ区においてはＡ区とＢ区に竪穴住居跡が密集しており、図上復元による遺構を含めると17棟の遺構が存在したことから集落の中心部分が当該地区にあったことがわかる。これはＣ区の大部分が東谷川の方向への傾斜地である上に、河川の増水時には冠水する状況下にあったことが推察されるために、居住域が限定された結果であると考えられる。

同遺構はⅡ区では丘陵尾根の稜線上に位置するＢ区に集中し、Ａ区への広がりは少ない。ただし、Ａ区東部の斜面部においても２棟を検出したことから、谷地形内部の狭隘な空間について全域を居住域として利用していたことがわかる。

土坑は全体で39基（弥生時代に所属する遺構は38基）検出している。これらの大部分は竪穴住居跡に近接した位置で検出されていることから、大部分が貯蔵穴様の生活遺構として利用されていたものと考えられる。しかし、遺構が著しい損傷を被っていることを考えると、竪穴住居跡の床面の土坑が含まれる可能性もある。

ＩＣ区とⅡＡ区において自然河川跡を検出した。前者の遺構は東谷川の流路が固定される以前に形成された河川跡で、川幅が最も広がった時期の状況を見ることができる。

後者の遺構の検出によって谷地形の原形を知り得る。周囲からの土砂の流入が著しかったことと、埋積過程において多量の生活遺物が集落から流入したために、厚い遺物包含層を形成している。本遺構によって破壊された竪穴住居跡が存在することから、自然災害を誘引する性格を有していたことがわかる。

第3節　遺構と遺物

遺構の報告に際しては、記述の重複を避けるために「平面形態」と「規模」については一覧表にまとめ、本文中には一切記述しないことにした。また、本文中に解説したものは一覧表以外に補足説明を必要とするものである。

遺物の報告に際しては、出土位置別に出土品の種類と個数を一覧表にまとめることにより検索の便宜を図り、本文中で解説を要する場合は一覧表との間で記述の重複がないようにした。なお遺物の大部分を占める弥生土器については、「弥生土器」の用語が頻出することを避けるために器種のみの記述とした。なお各遺物に併記した数字は個数を表している。

第2表　竪穴住居跡一覧表

遺構名	地区	平面形態	規模（cm）			挿図番号	図版番号
			長さ(最大径)	幅	深さ		
SH01	ⅠA	円形	684	−	64	13・31	3
SH02	ⅠA	円形か	−	−	−	31	−
SH03	ⅠA	円形か	−	−	−	13	−
SH04	ⅠA	円形か	780	−	8	14・31・38	−
SH05	ⅠA	円形	516	−	12	15	−
SH06	ⅠA	円形か	−	−	−	−	−
SH07	ⅠA	円形か	−	−	−	15・31	−
SH08	ⅠA	円形	416	−	48	16・31	−
SH09	ⅠA	長楕円形	724	−	24	16・31・38	3
SH10	ⅠA	円形	696	−	46	17・32・38・39	−
SH11	ⅠA	円形	648	−	18	17	−
SH12	ⅠA	円形か	740	−	12	18・33・39・40	4
SH13	ⅠA	円形か	668	−	6	18	4
SH14	ⅠB	円形	812	−	4	19・33	6
SH15	ⅠB	円形か	564	−	4	20・33	7
SH16	ⅠB	円形か	620	−	12	20	7
SH17	ⅠB	円形か	580	−	26	21・33・40	7
SH18	ⅠC	円形	522	−	24	21	9
SH19	ⅠC	円形	680	−	38	22・33・40	10
SH20	ⅠC	円形	548	−	12	22・33	10
SH21	ⅡA	円形	516	−	38	23・34・40・41	13・14
SH22	ⅡA	円形	520	−	24	23・34	13・14
SH23	ⅡA	円形	620	−	12	24・41	19
SH24	ⅡA	円形	736	−	32	25・34	12・15
SH25	ⅡA	円形か	−	−	−	26・34	12・15
SH26	ⅡA	円形	596	−	34	27・35・41	12・15
SH27	ⅡA	方形か	520	448	44	25・35	12・15
SH28	ⅡA・B	円形か	−	−	−	35	14
SH29	ⅡB	円形	772	−	46	27・35・36・41	18
SH30	ⅡB	方形	380	312	50	24・36・41	19
SH31	ⅡB	円形	608	−	22	28・36・41	17・20
SH32	ⅡB	円形	464	−	22	28・36	17
SH33	ⅡB	円形	276	−	14	29	19
SH34	ⅡB	円形か	544	−	16	29・37	19
SH35	ⅡB	円形	460	−	38	29・37・41	19
SH36	ⅡB	円形	788	−	30	30・37・41・42	17・20

1　弥生時代の遺構と遺物

(1)　竪穴住居跡

①ＳＨ01（第13・31図、図版３）

［遺構］Ｆ２pt の南方約10mに位置し、対象地の最も西部で検出された居住遺構である。棚田の造成により遺構の北半部が、ＳＫ39により南壁面の一部が失われているが、床面には南壁面に沿って円形に配列された柱穴跡が存在する。主柱穴跡は他に比べて直径が大きいＰ01とＰ09である。

［遺物］１は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。２は口縁端部が肥厚されて、２重線の斜格子文が施されている。

②ＳＨ02（第31図）

［遺構］ＳＨ01の東部に隣接して所在する。床面まで失われているために原形は明らかでないが、炉跡（Ｋ01）を中心として柱穴跡を円形に配列した構造が考えられる。主柱穴跡はＰ01、Ｐ03、Ｐ04、Ｐ12、Ｐ13、Ｐ14である。

［遺物］３は焼成前に穿孔されている。

③ＳＨ03（第13図）

［遺構］Ｇ３pt の北西方約５mに位置する。床面まで失われているが、土坑を中心として柱穴跡を円形に配列した構造が考えられる。

④ＳＨ04（第14・31・38図）

［遺構］Ｆ３pt の南西方約５mに位置する。東西の壁面の一部を検出したが、柱穴跡の配列箇所が東壁面側に偏向していることから、壁面の本来の位置はさらに東方に存在したことが推測できる。柱穴跡は円形の配列であり、主柱穴跡はＰ02、Ｐ07、Ｐ09、Ｐ12、Ｐ15、Ｐ18である。

［遺物］5, 6は口縁部の器壁が厚く、上端部がやや突出した形態である。８は口縁端部が肥厚された形態で、外面に細いヘラ状の工具による深いキザミメが施されている。

⑤ＳＨ05（第15図）

［遺構］Ｇ３pt の北方約８mに位置する。東・南の壁面の一部が検出されている。床面中央部の炉跡（Ｋ01）を中心として柱穴跡を円形に配列した構造である。主柱穴跡はＰ01、Ｐ04、Ｐ06、Ｐ15、Ｐ17、Ｐ22である。

⑥ＳＨ06

［遺構］ＳＨ05とＳＨ07の中間に位置する。床面まで完全に失われているが、柱穴跡が重複する状態で検出された。

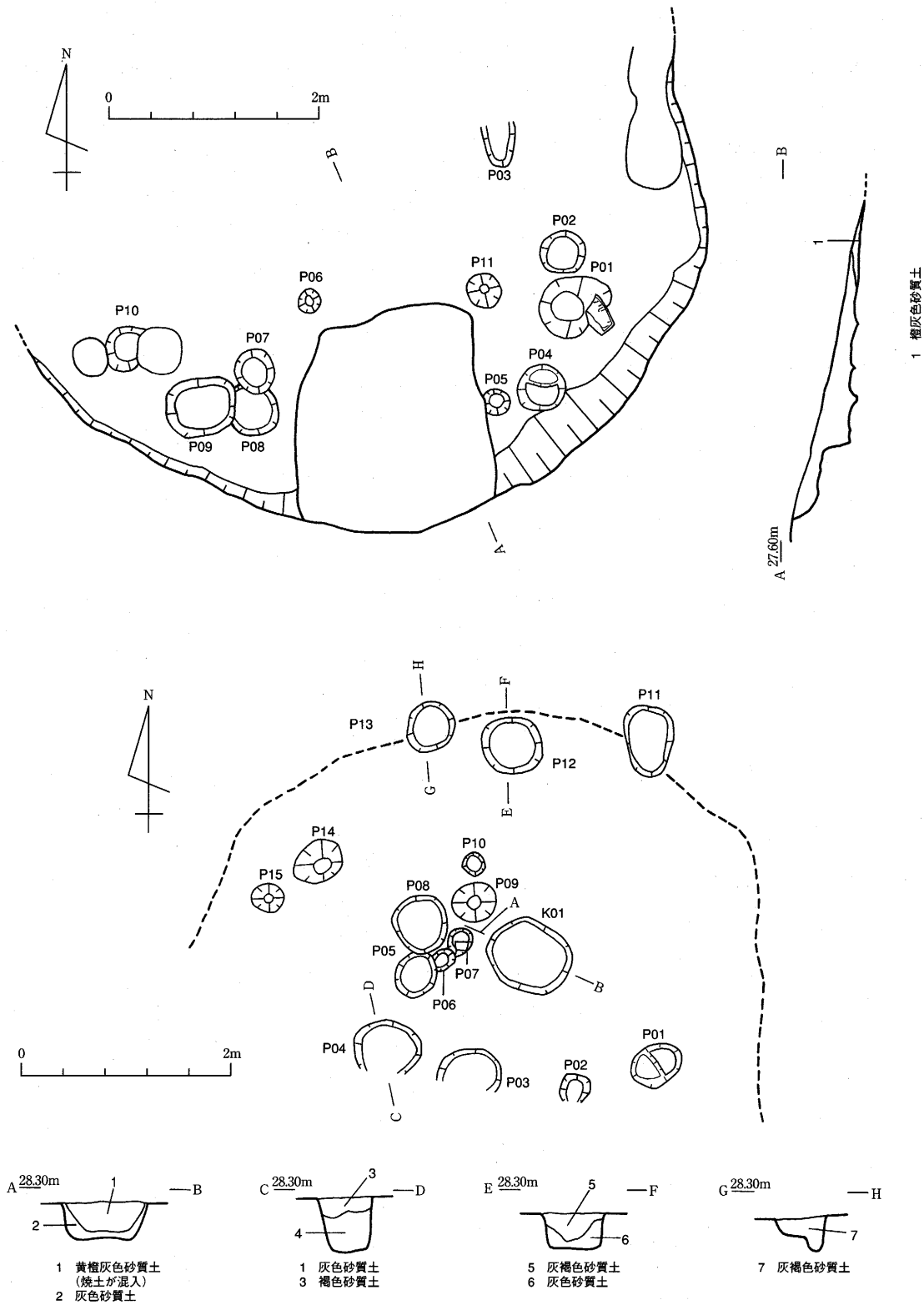
⑦ＳＨ07（第15・31図）

［遺構］Ｇ３pt の北東方約10mに所在し、ＳＨ06と重複した位置関係にある。柱穴跡の配列から床面の範囲を推測すると、土坑（ＳＫ01）が中心部から西に偏った構造が復元できる。柱穴跡は重複して密集するために主柱穴跡を特定することができない。

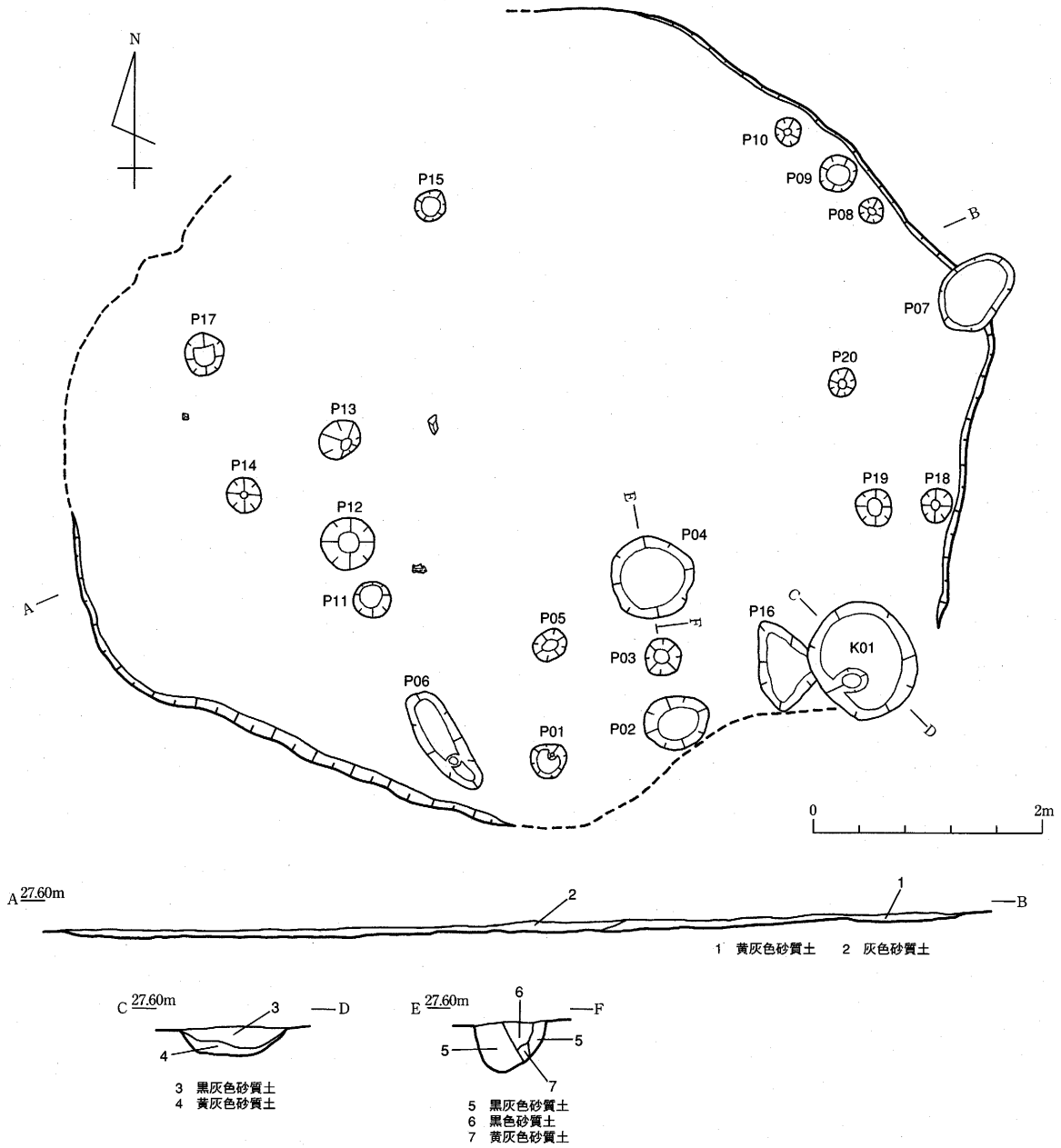
⑧ＳＨ08（第16・31図）

［遺構］Ｆ４pt の北東方約10mに位置する。対象地内の農道を維持したために西半部のみの調査となった。柱穴跡は中心部から壁面寄りの位置で検出されたことから壁面に沿って円形に配列されていたと考えられる。主柱穴跡はＰ01とＰ02である。

［遺物］10、11は頸部以上の部位を失っていることから、棺材として利用しようとした意図がみられる。



第13図　竪穴住居跡遺構実測図１（上：ＳＨ01、下：ＳＨ03）



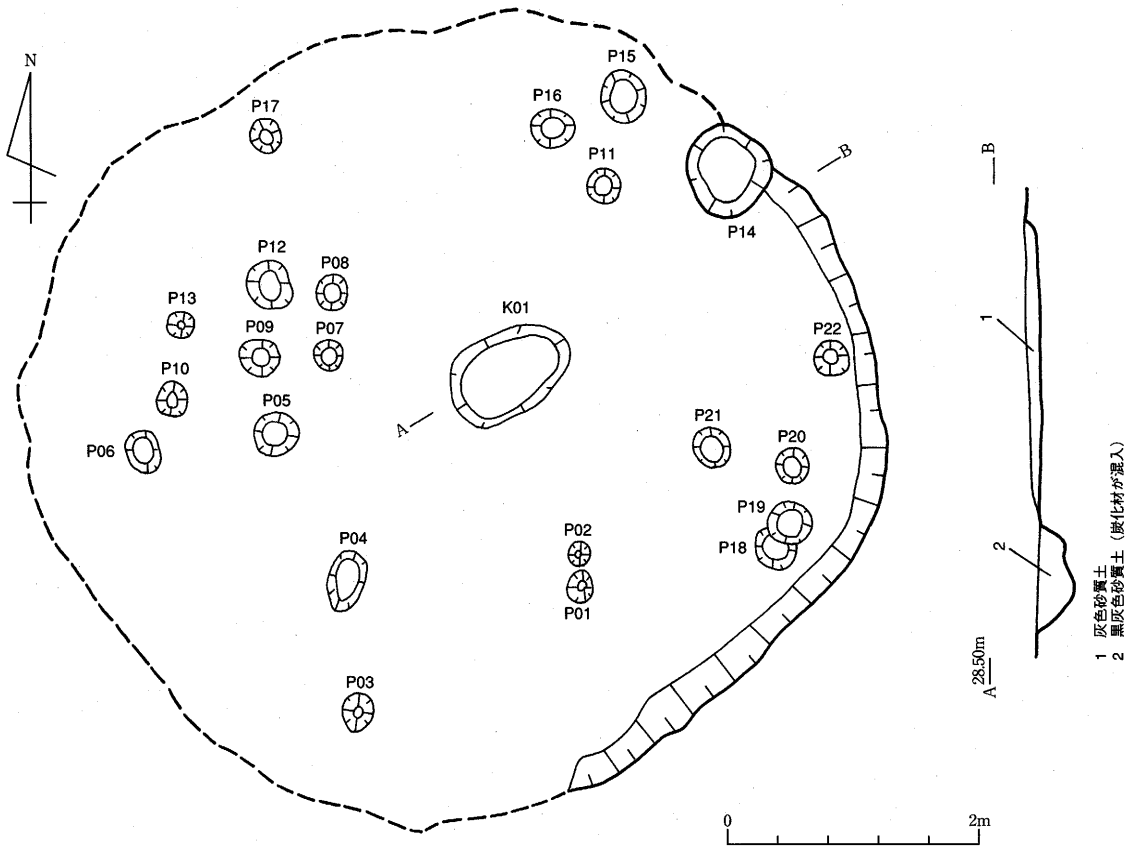
第14図　竪穴住居跡遺構実測図２（ＳＨ04）

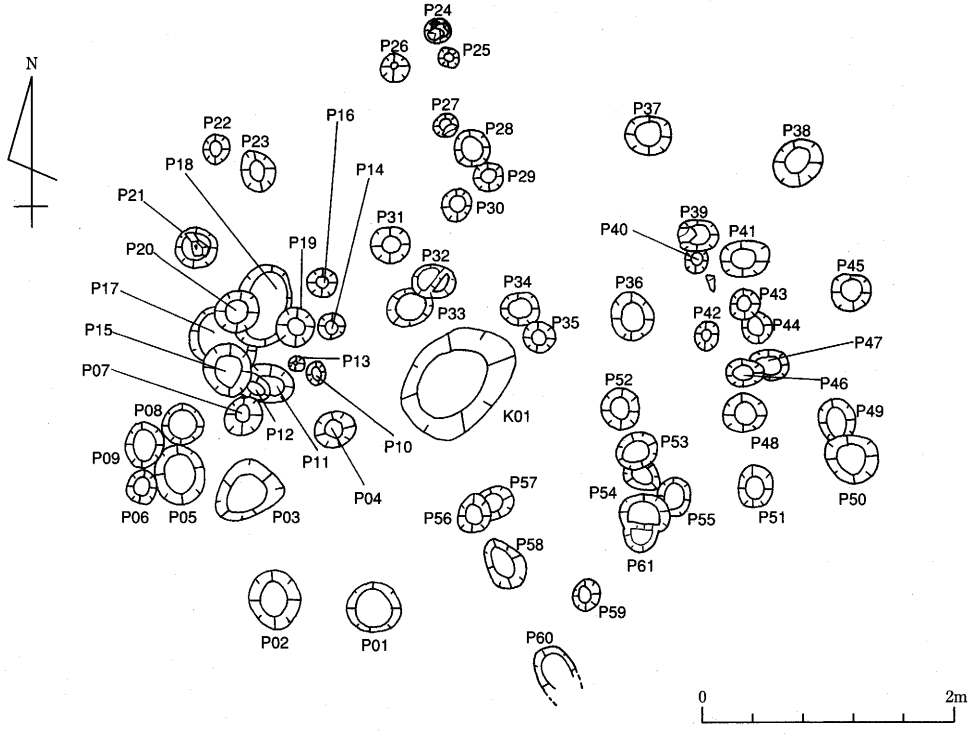
⑨ＳＨ09（第16・31・38図、図版３）

［遺構］ＳＨ08の北方に隣接して所在する。北壁面以外の壁面が完全に失われているために不整な平面形態である。床面中央部には長方形の土坑（K01）があり、北壁面に沿って壁溝（D04、D05）がある。柱穴跡はK01と壁面の間隙に円形に配列されていたことがわかる。主柱穴跡は他に比べて直径が大きいP07、P16、P19、P20、P27、P29、P32である。

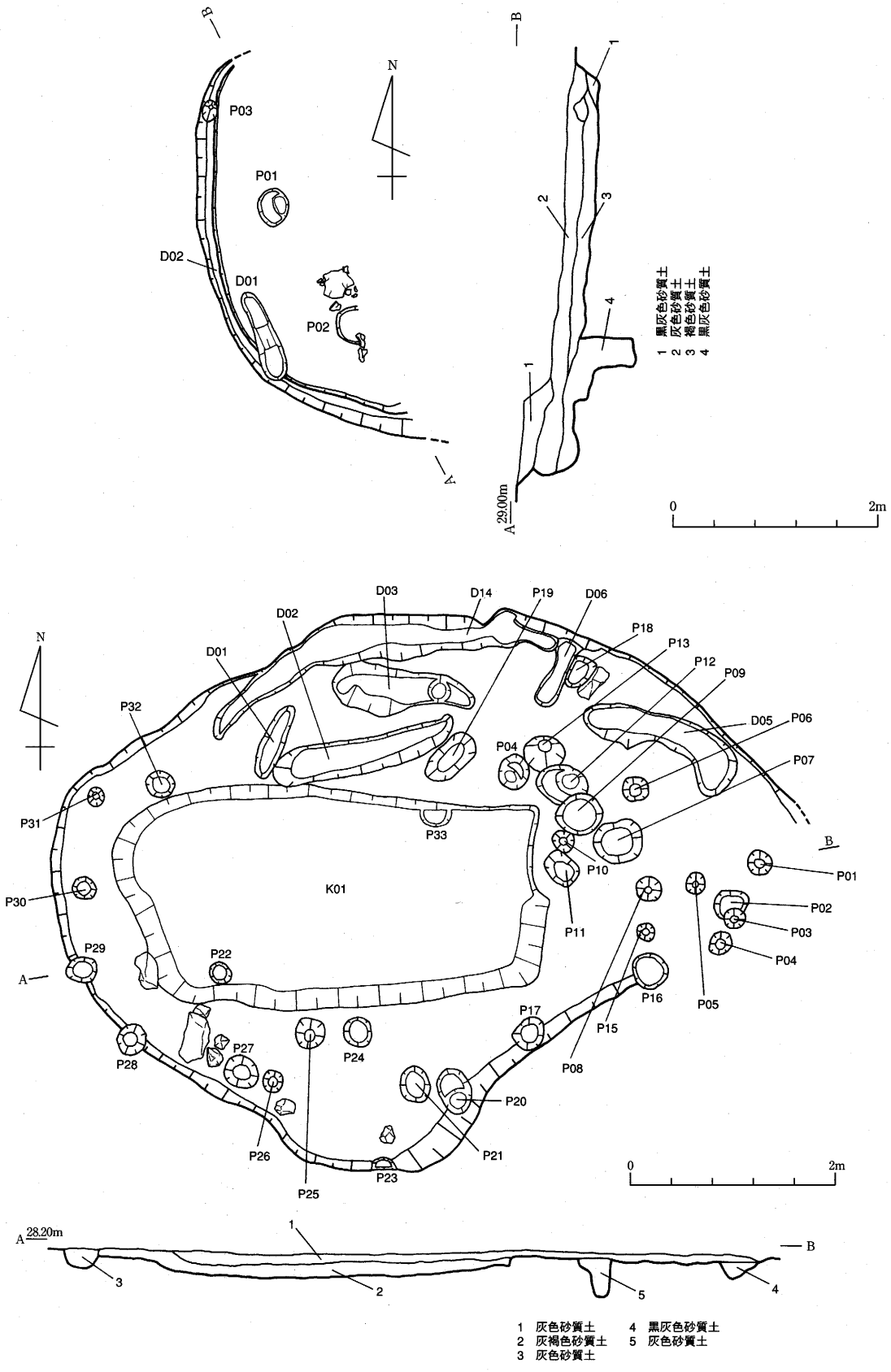
［遺物］13の口縁部は水平方向に開口する形態で、端面に細い工具による綾杉文が施されている。14は逆ハ字状に開口し、口縁端部が肥厚された形態である。18は口縁上端部がつまみ上げられているため、受け口状の形態である。20、21は口縁部の器壁が厚いことが特徴である。

231は腹背面及び側面に使用痕があることから使用中に破損しており、側面の使用痕の方向から斧が振り込まれた角度がわかる。転用の痕跡はない。

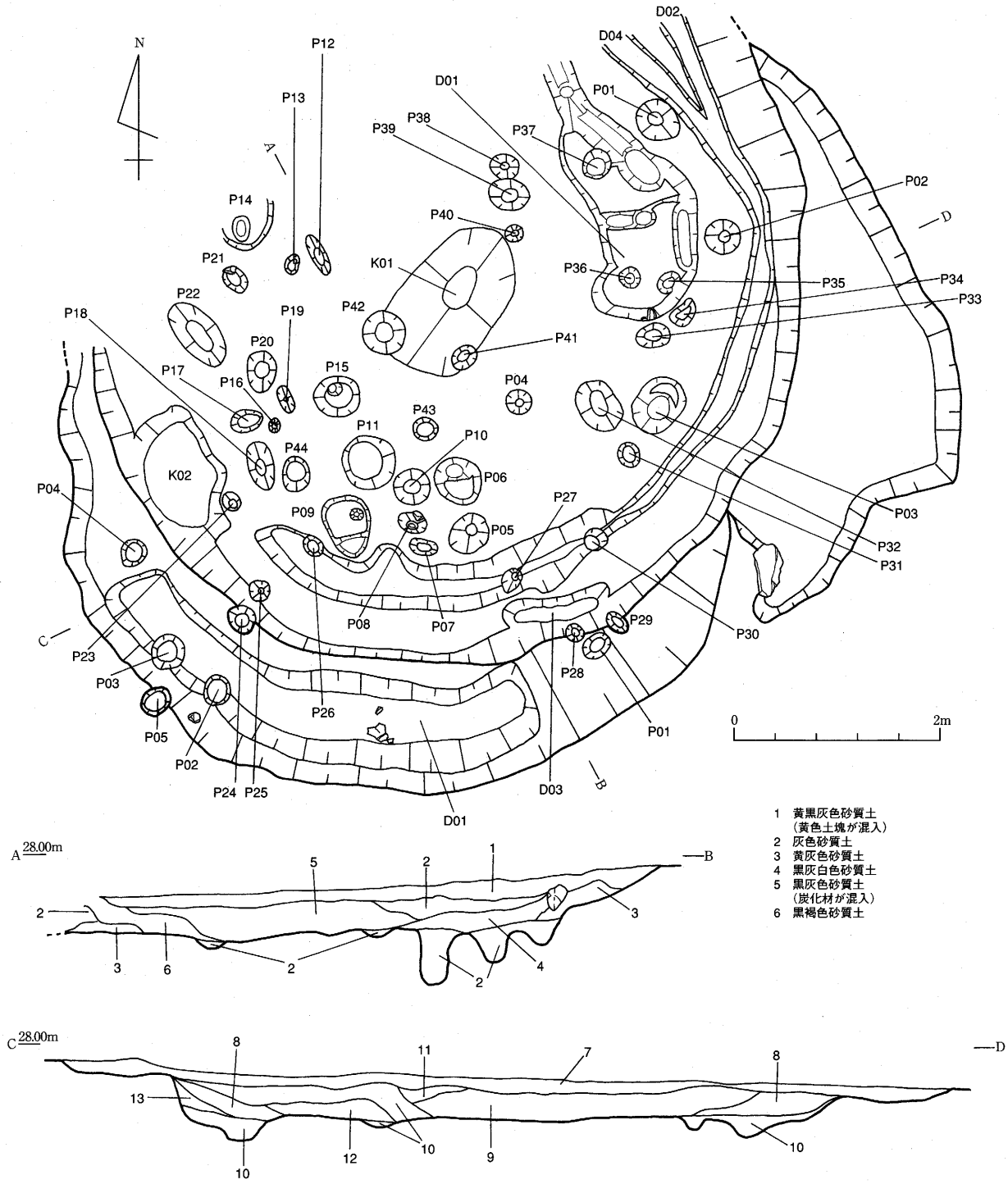




第15図　竪穴住居跡遺構実測図３（上：ＳＨ05、下：ＳＨ07）



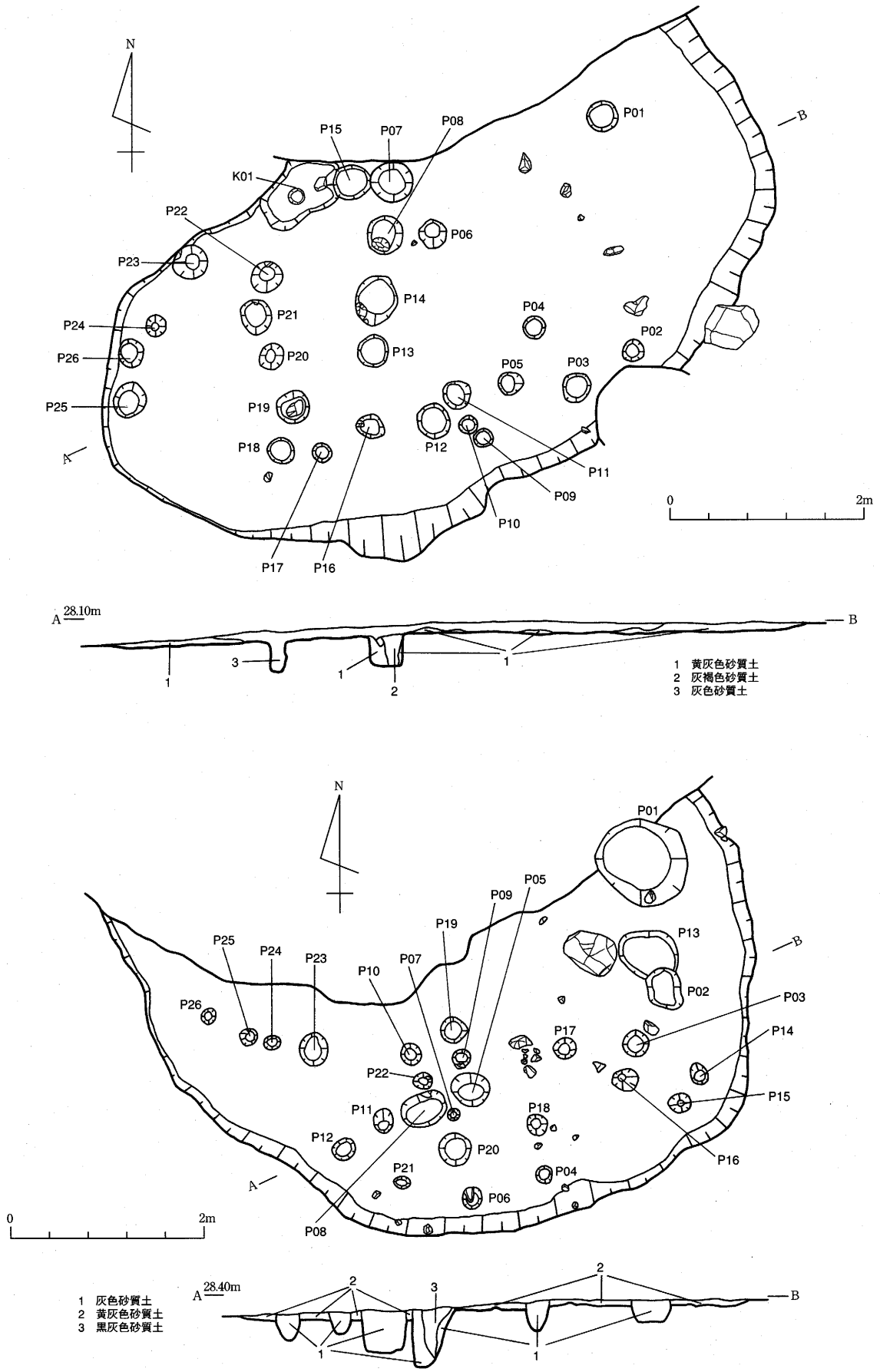
第16図　竪穴住居跡遺構実測図４（上：ＳＨ08、下：ＳＨ09）



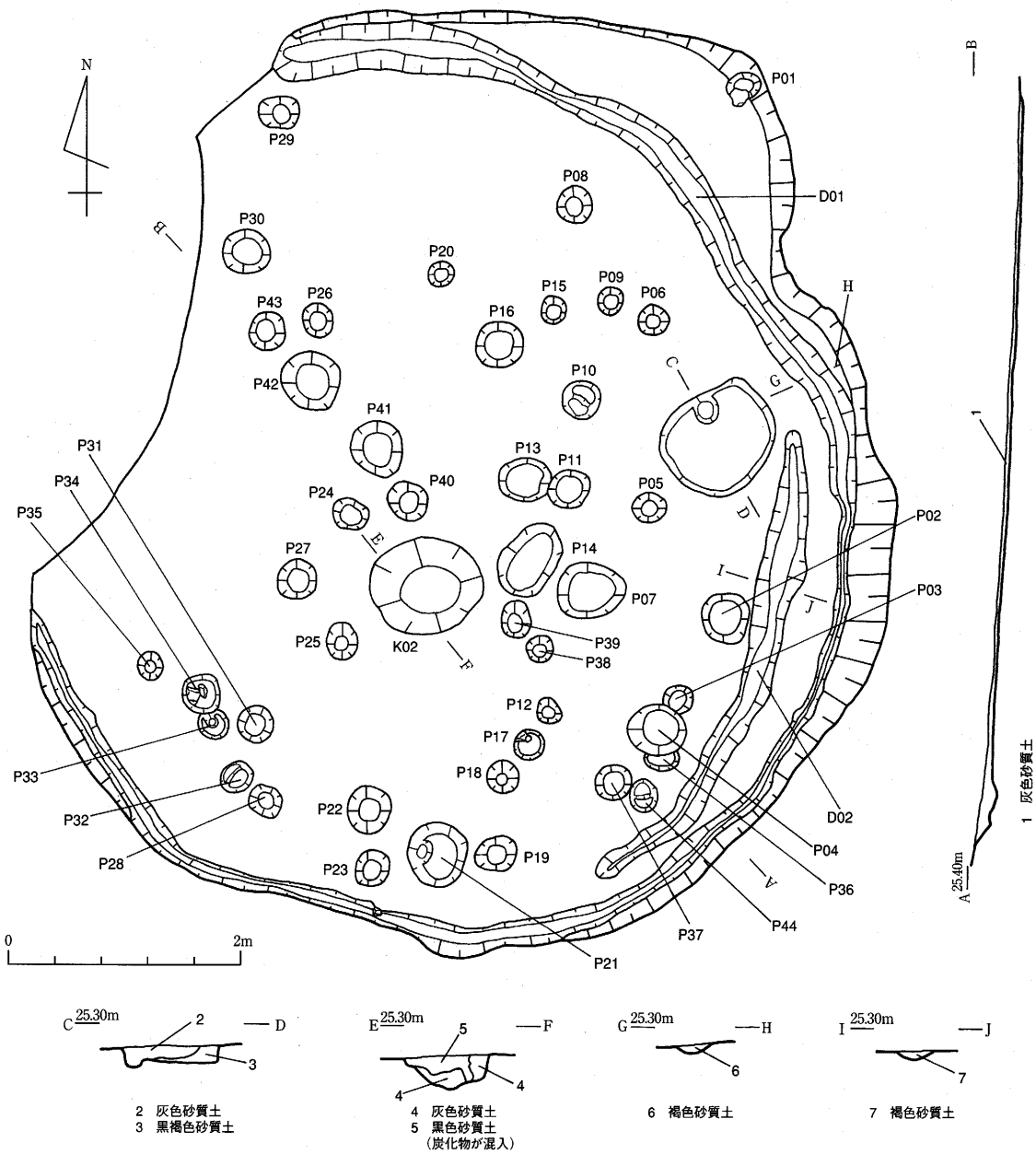
1 黄黒灰色砂質土
（黄色土塊が混入）
2 灰色砂質土
3 黄灰色砂質土
4 黒灰白色砂質土
5 黒灰色砂質土
（炭化材が混入）
6 黒褐色砂質土

7 黄黒灰色砂質土
8 黒灰色砂質土
9 黒灰色砂質土（炭化材が混入）
10 灰色砂質土
11 灰褐色砂質土
12 黒色砂質土（炭化材が混入）
13 褐色砂質土

第17図　竪穴住居跡遺構実測図５（ＳＨ10、ＳＨ11）



第18図　竪穴住居跡遺構実測図６（上：ＳＨ12、下：ＳＨ13）

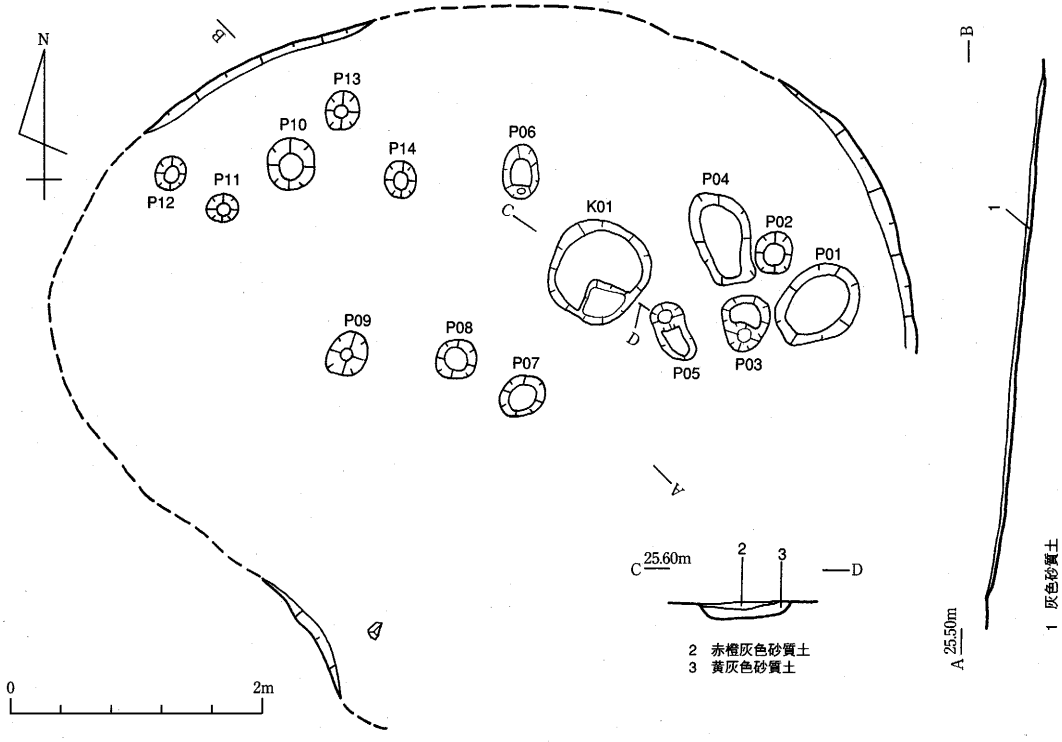


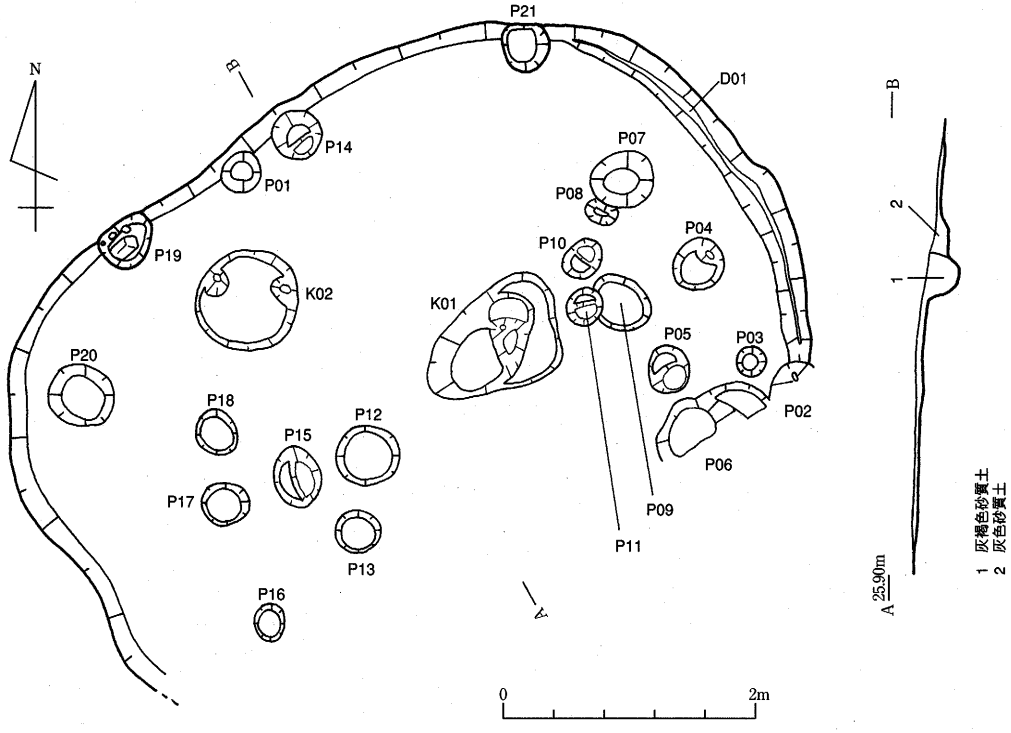
第19図　竪穴住居跡遺構実測図７（ＳＨ14）

⑩ＳＨ10（第17・32・38・39図）

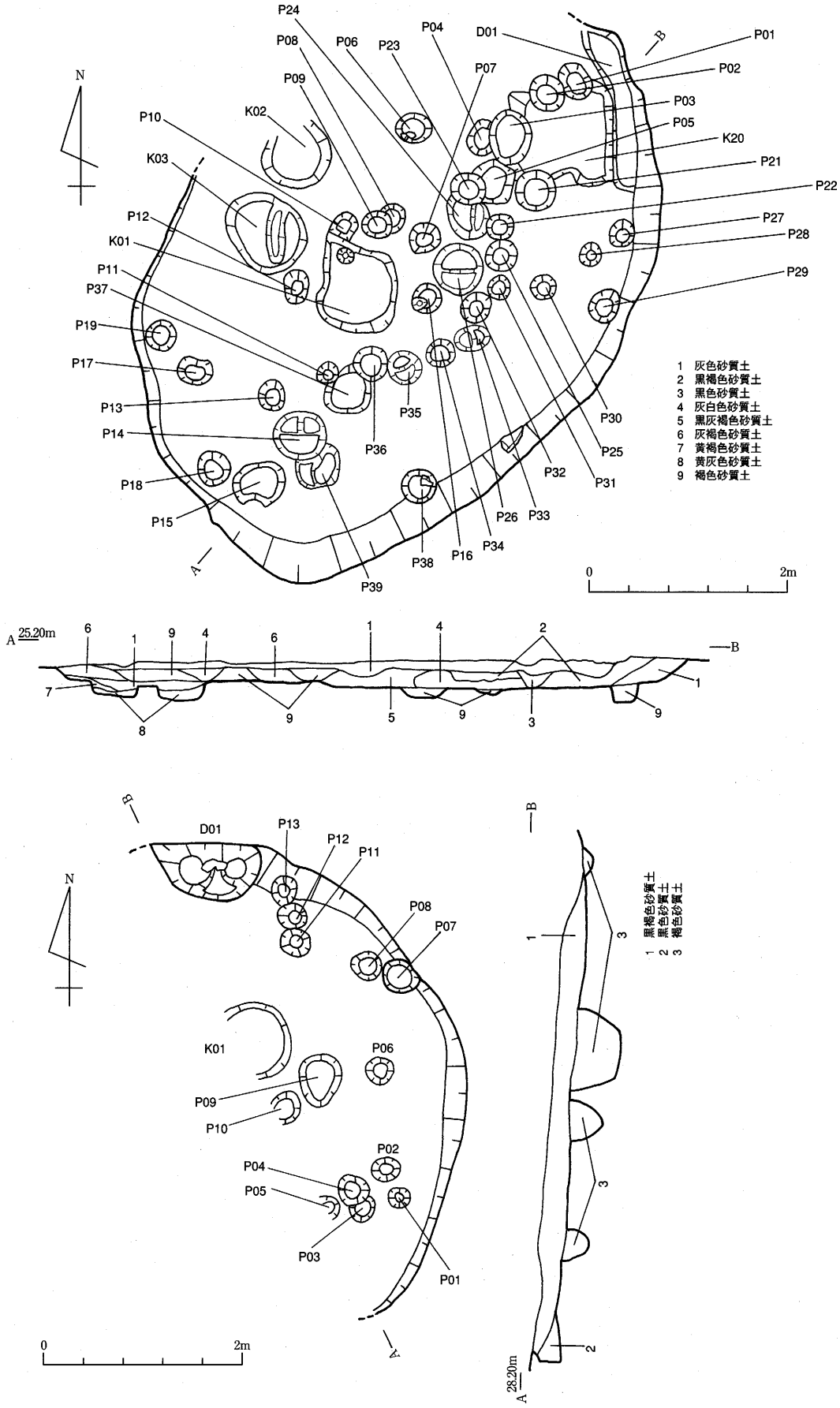
［遺構］Ｆ３ptの東方約５ｍに位置し、棚田の造成により遺構の北部が失われている。床面の保存状態は良好で、中央の炉跡（Ｋ01）を中心として柱穴跡が円形に配列されている。主柱穴跡はＰ01、Ｐ02、Ｐ03、Ｐ05、Ｐ18、Ｐ22である。南壁面沿いには壁溝（Ｄ01）がある。

［遺物］23～25は直立気味に開口し、28～32は口縁端部が水平方向に開口する点が特徴である。後者については広い端面が作り出されており、キザミメや波状文が施されたものがある。26は口縁部外面に凸帯が貼り付けられている。34～43は口縁上端部がつまみ上げられた形態であり、37や43のように端面に凹線文が施されたものが含まれる。44～46の口縁端部は上下に肥厚されている。51～58は口縁端部が肥

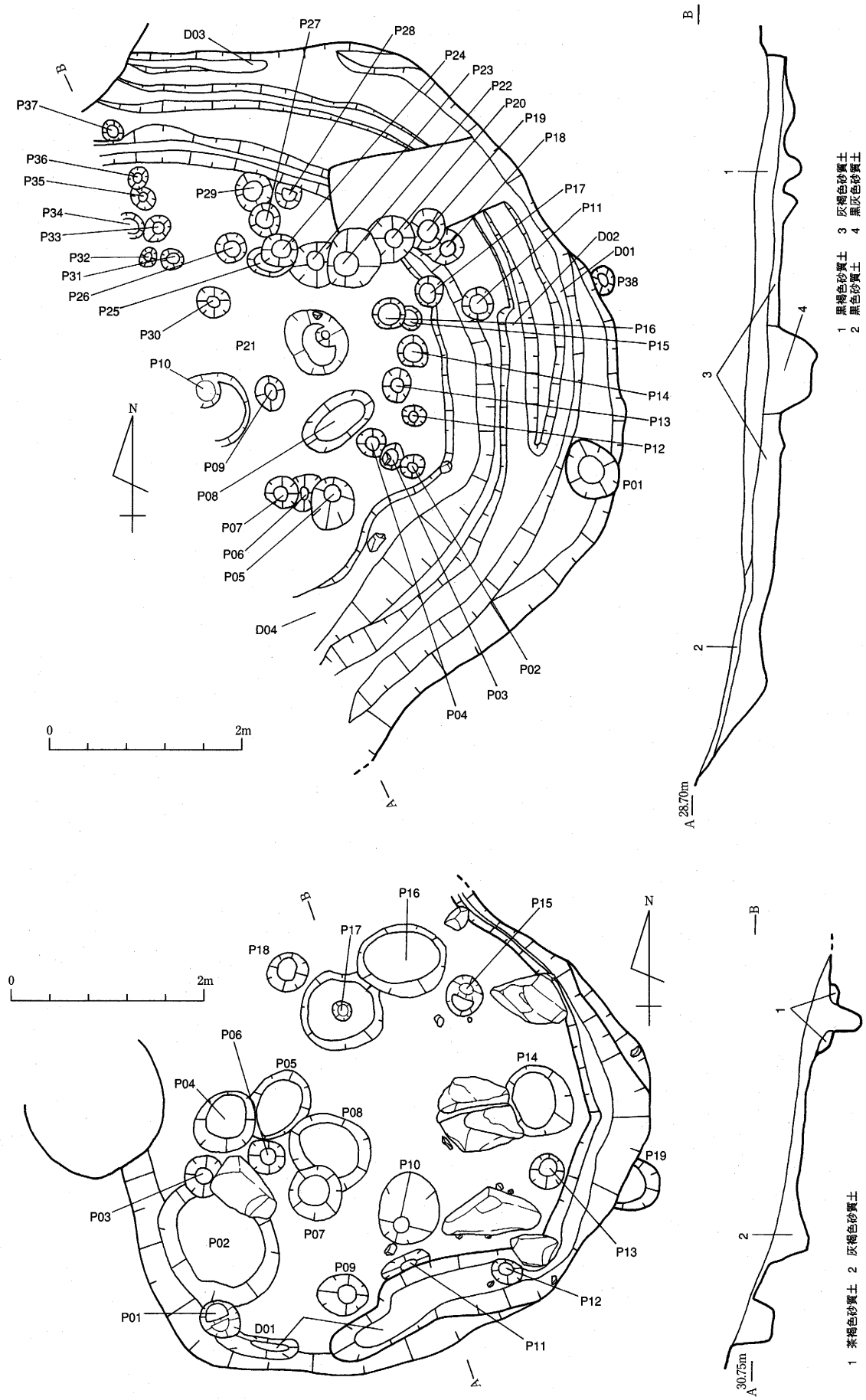




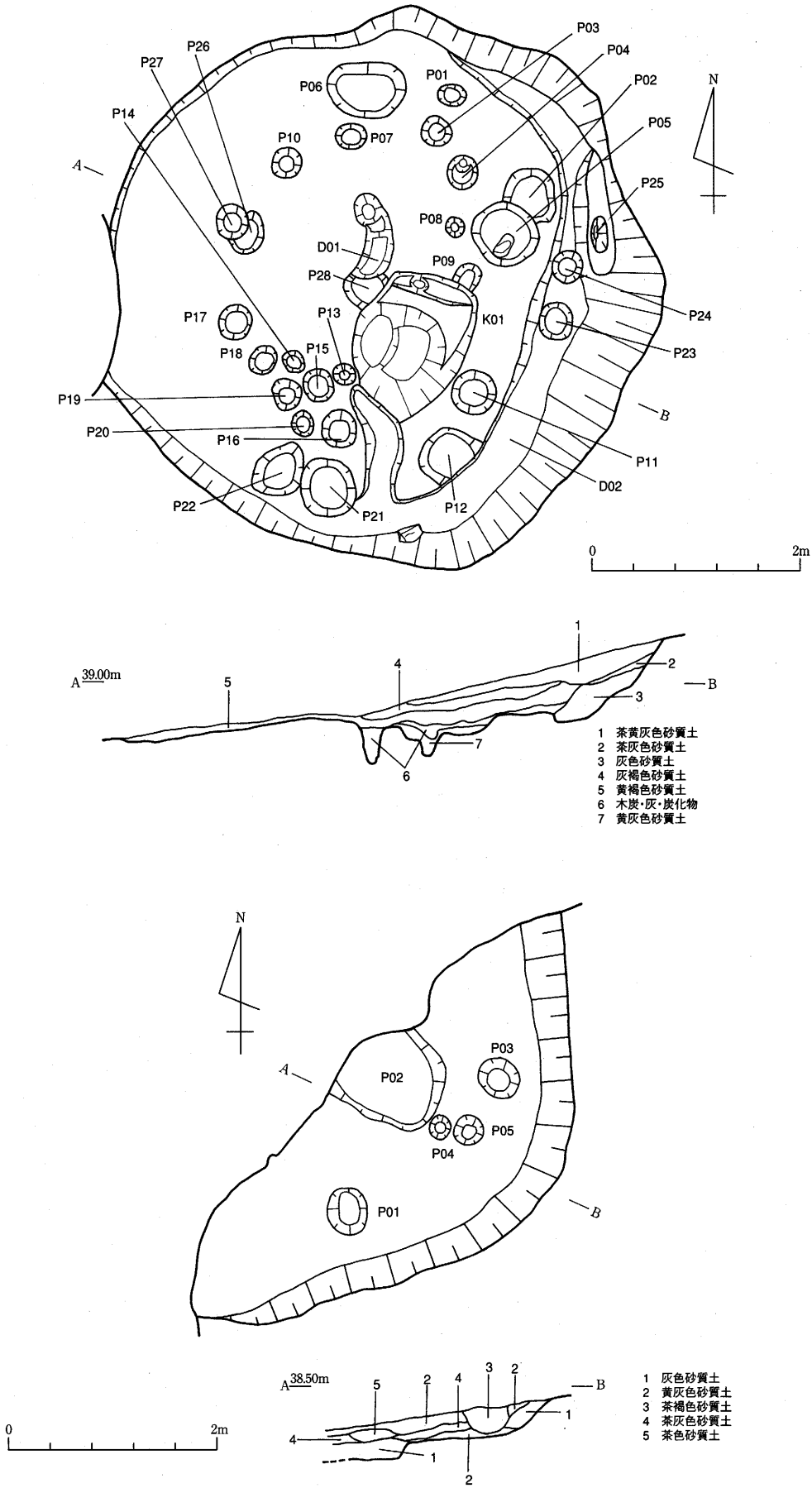
第20図　竪穴住居跡遺構実測図８（上：ＳＨ15、下：ＳＨ16）



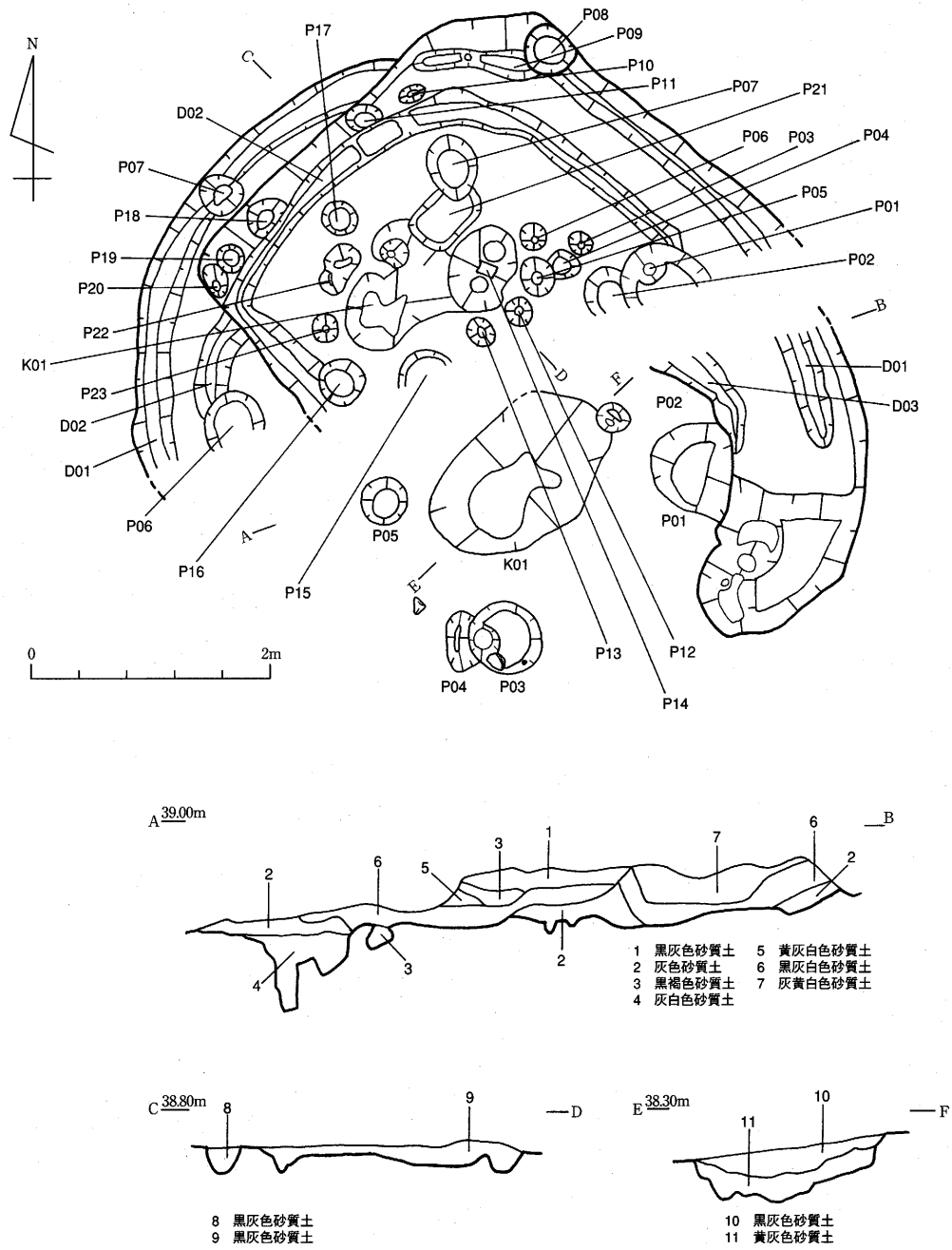
第21図　竪穴住居跡遺構実測図９（上：ＳＨ17、下：ＳＨ18）



第22図　竪穴住居跡遺構実測図10（上：ＳＨ19、下：ＳＨ20）



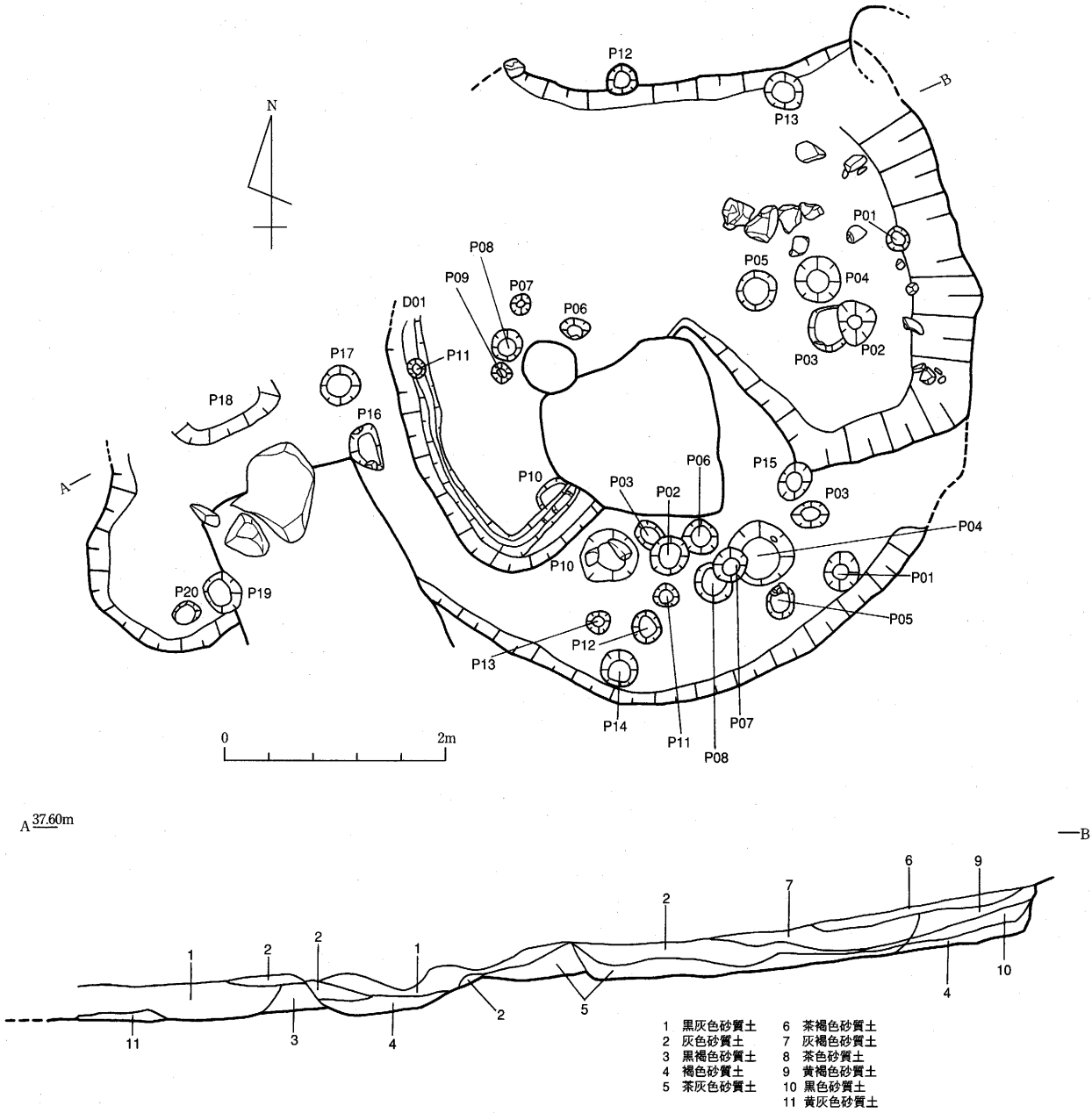
第23図　竪穴住居跡遺構実測図11（上：ＳＨ21、下：ＳＨ22）



第24図　竪穴住居跡遺構実測図12（ＳＨ23、ＳＨ30）

厚した形態であることと、内面が精緻に成形されている点に共通点がある。59は口縁部と杯部の接点が鋭角的に屈曲する形態である。

232が無茎平基式、240が柳葉形である以外、233～239は有茎凸基式の形態である。有茎凸基式は先端部の形態によって正三角形のもの（233、234）と二等辺三角形のもの（235～239）に大別できる。245は使用痕が破断箇所で途絶していることから使用中に破損したことがわかる。247は腹面と側面に比べて背面の石理の凹凸が明瞭であることから背部は原形を残しておらず、縦方向に破断した後に粗く研ぎ直されて再利用されたことがわかる。249は最大径の位置に横方向の帯状の敲打痕があることから紐掛けされて使用された可能性がある。



第25図　竪穴住居跡遺構実測図13（ＳＨ24、ＳＨ27）

⑪ＳＨ11（第17図）

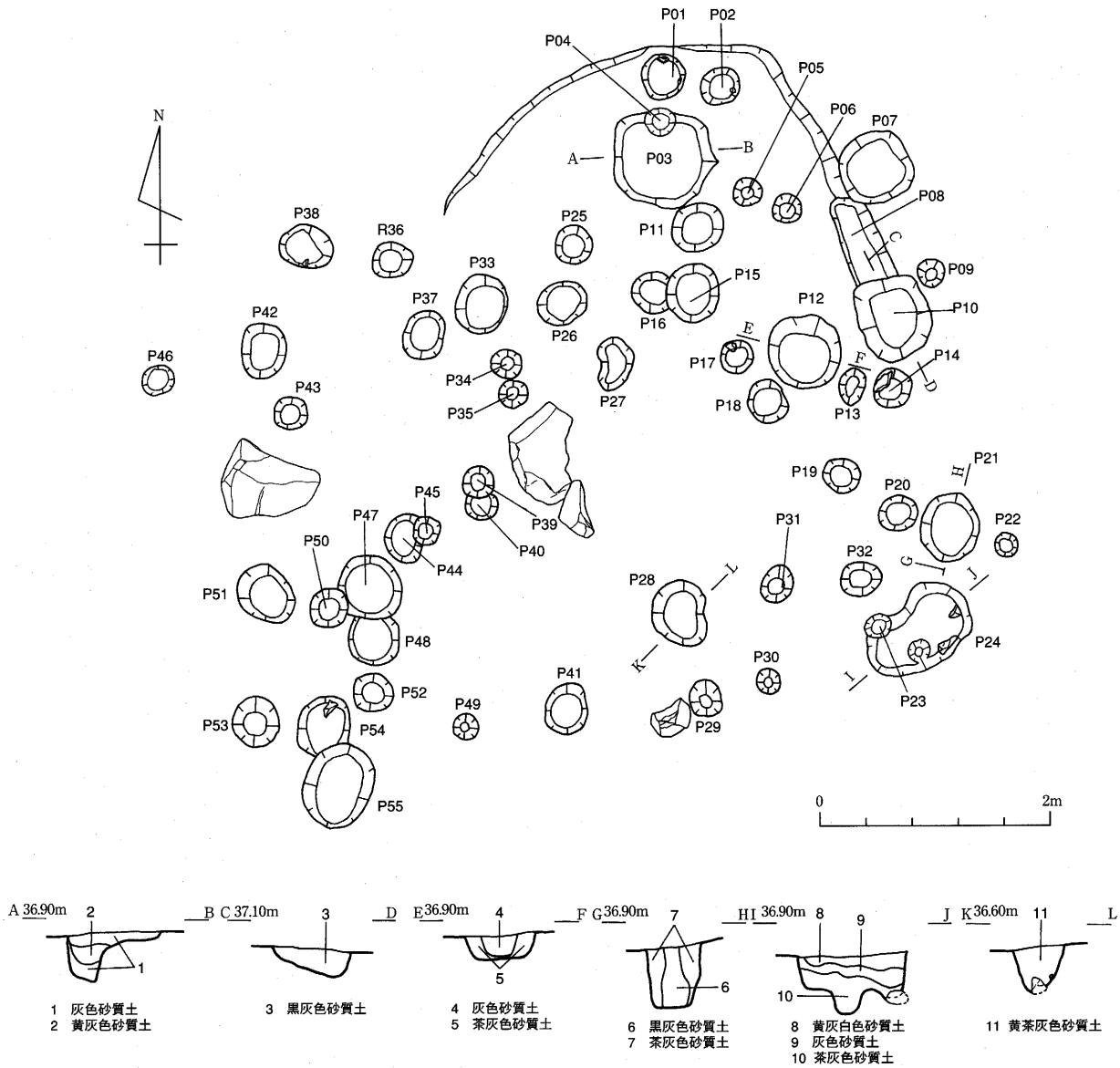
ＳＨ10の南部に隣接して所在する。南・西壁面とこれらに連続する床面の一部以外はＳＨ10の建築によって失われている。柱穴跡の配列は不明である。

⑫ＳＨ12（第18・33・39・40図、図版４）

［遺構］ＳＨ11の南部に隣接して所在する。壁面の一部を検出したが、開墾による遺構の損傷が著しいために原形を留めていない。柱穴跡は土坑（Ｋ01）を中心として円形の配列が考えられる。主柱穴跡はＰ01、Ｐ04、Ｐ16、Ｐ25である。

［遺物］63、64は口縁部が水平方向に開口し、端部が上下に肥厚されている。67は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。

250は有茎凸基式と柳葉形の中間的な形態である。252の背部には左上から右下方向へ振り込まれたこ



第26図　竪穴住居跡遺構実測図14（ＳＨ25）

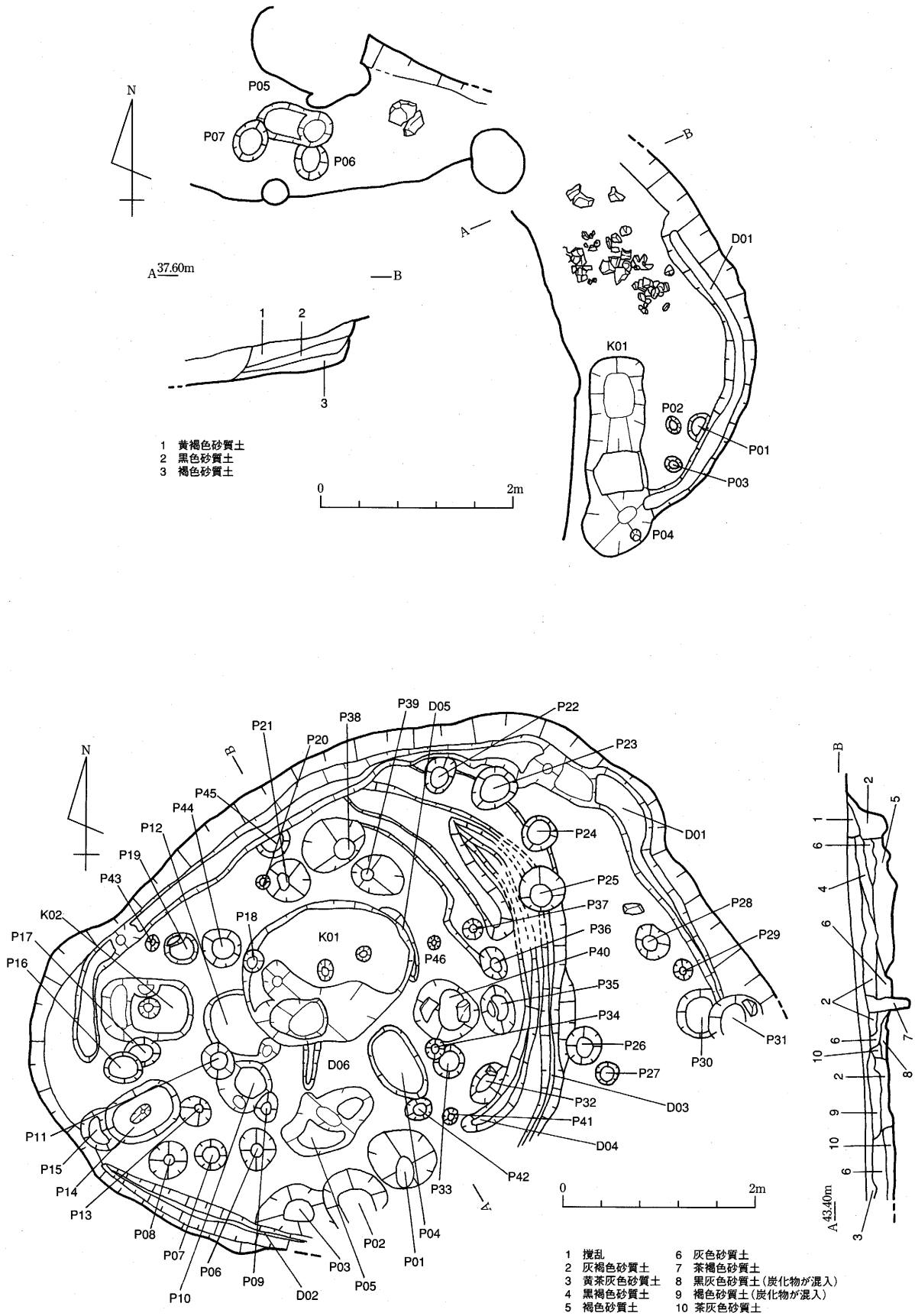
とを示す使用痕がある。

⑬ＳＨ13（第18図、図版４）

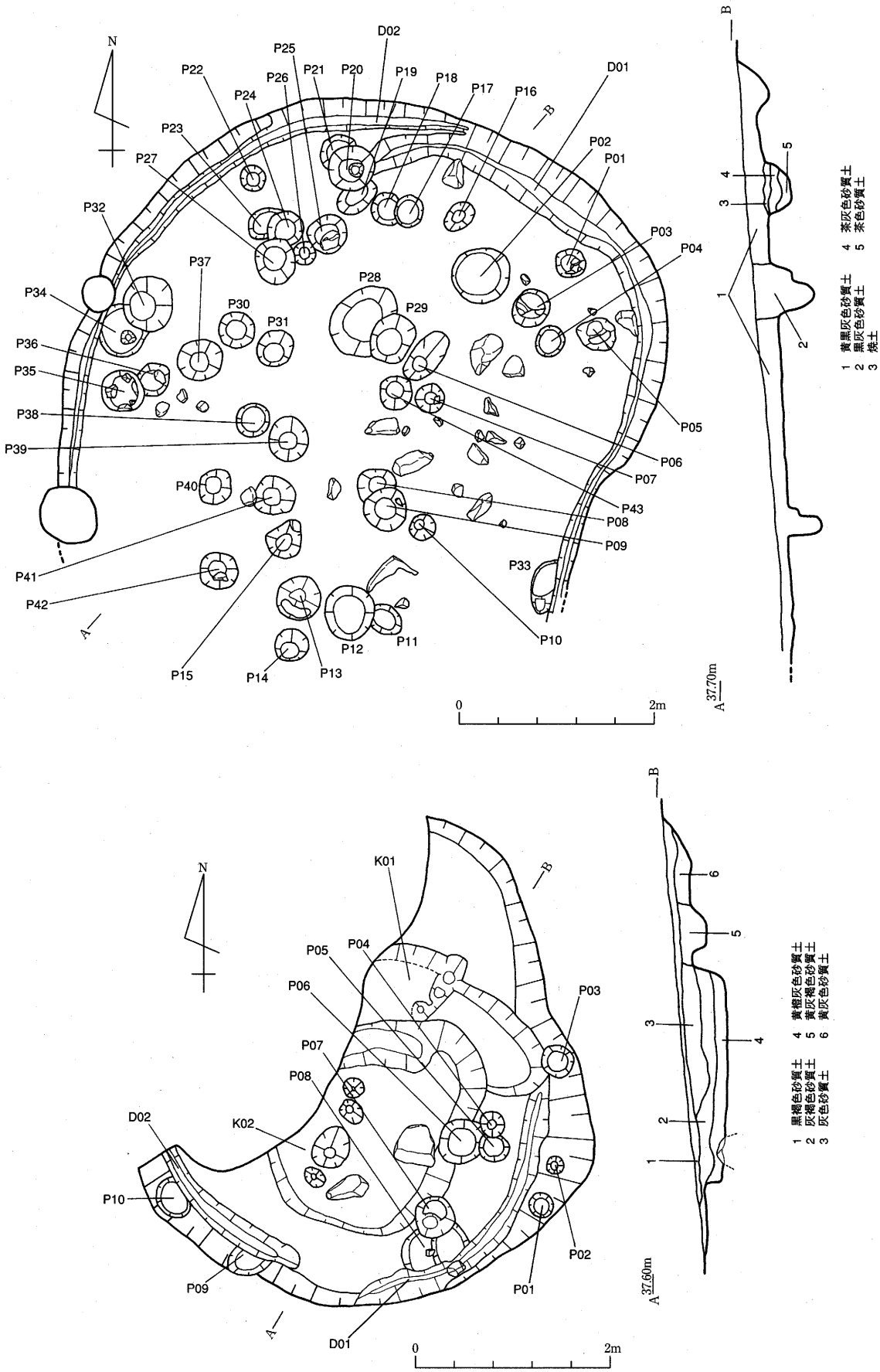
［遺構］ＳＨ12の南部に隣接して所在する。壁面の一部を検出したが、開墾による遺構の損傷が著しいために原形を留めていない。柱穴跡は壁面沿いに集中する状態が認められるためＳＨ12の内部に所在する遺構を含めて円形の配列が考えられる。主柱穴跡はＰ02、Ｐ12、Ｐ16、Ｐ20、Ｐ25である。

⑭ＳＨ14（第19・33図、図版６）

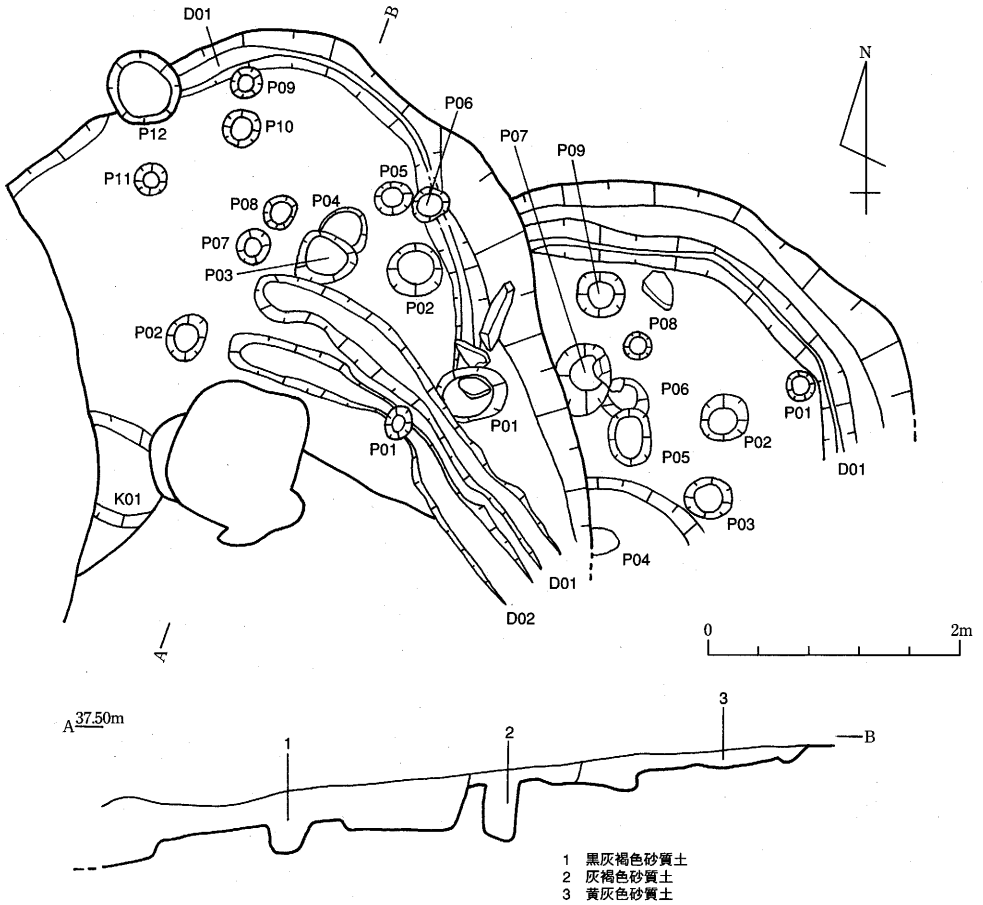
［遺構］Ｆ１ptの南方約12mに位置しており、西壁面の一部が失われているが、概ね原形を留めている。柱穴跡は床面中央の炉跡（Ｋ02）を中心とした円形の配列であり、主柱穴跡はＰ02、Ｐ06、Ｐ08、Ｐ21、Ｐ29、Ｐ34である。壁面に沿った位置には壁溝（Ｄ01）があり、東南壁面沿いのみ２重（Ｄ01、Ｄ02）に回る。



第27図　竪穴住居跡遺構実測図15（上：ＳＨ26、下：ＳＨ29）



第28図　竪穴住居跡遺構実測図16（上：ＳＨ31、下：ＳＨ32）



第29図　竪穴住居跡遺構実測図17（ＳＨ33、34、35）

［遺物］69は底面が突出する形態である。71はハ字形に開脚する形態であり、端部が大きく肥厚されている点が特徴である。

⑮ＳＨ15（第20・33図、図版７）

［遺構］Ｆ２ptの西方約５ｍに位置する。遺構の大部分が失われているために柱穴跡の配列は不明確である。

［遺物］72～75は胴が張らない形態であり、く字形に屈曲する小型の薄い口縁部が作り出されている点に特徴がある。

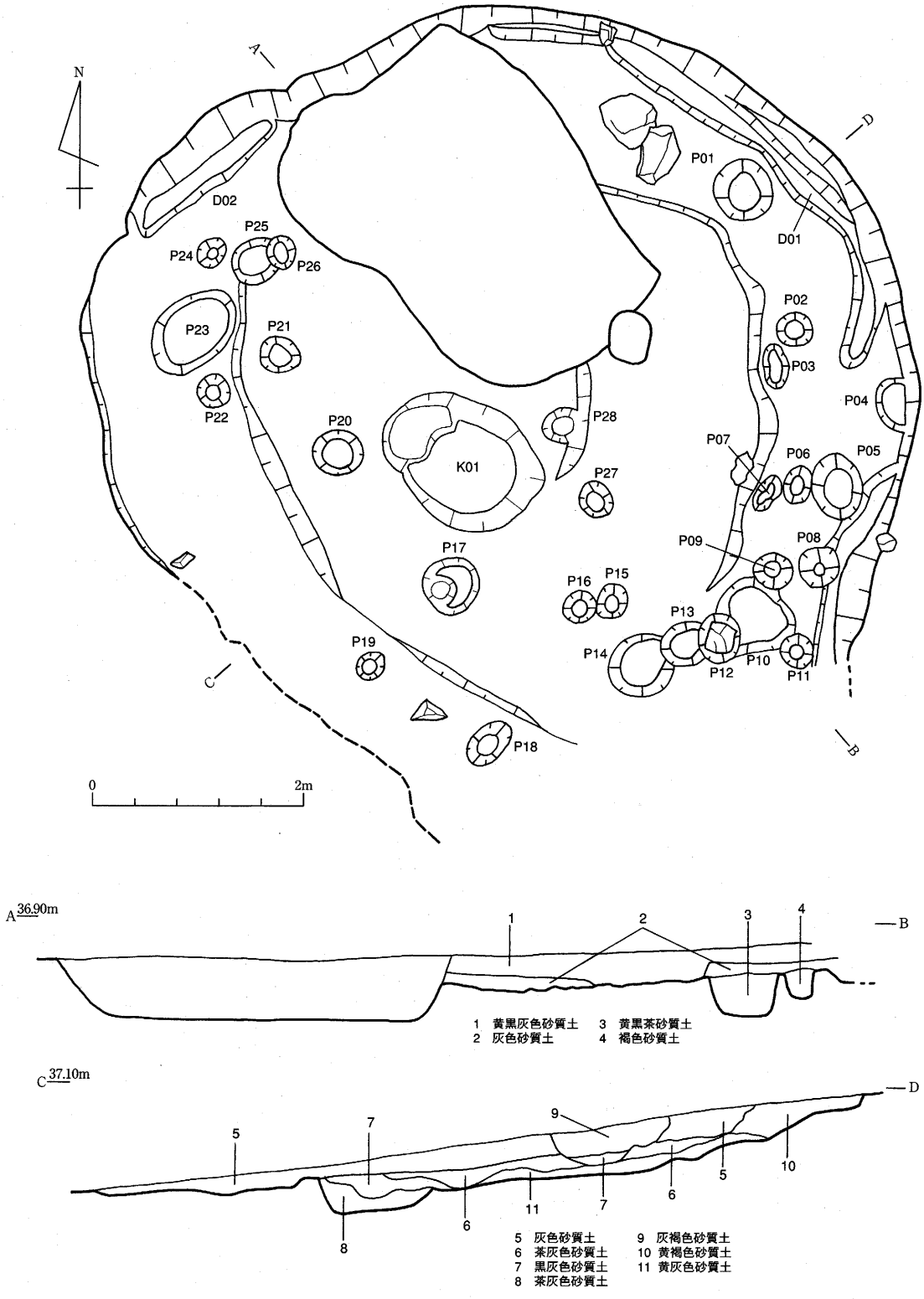
⑯ＳＨ16（第20図、図版７）

［遺構］ＳＨ15の南方に隣接して所在する。東壁面沿いに壁溝（Ｄ01）がある。柱穴跡は床面中央部の平面形態が不整長楕円形の土坑（Ｋ01）を中心とした円形の配列である。主柱穴跡はＰ03、Ｐ07、Ｐ14、Ｐ16、Ｐ20である。

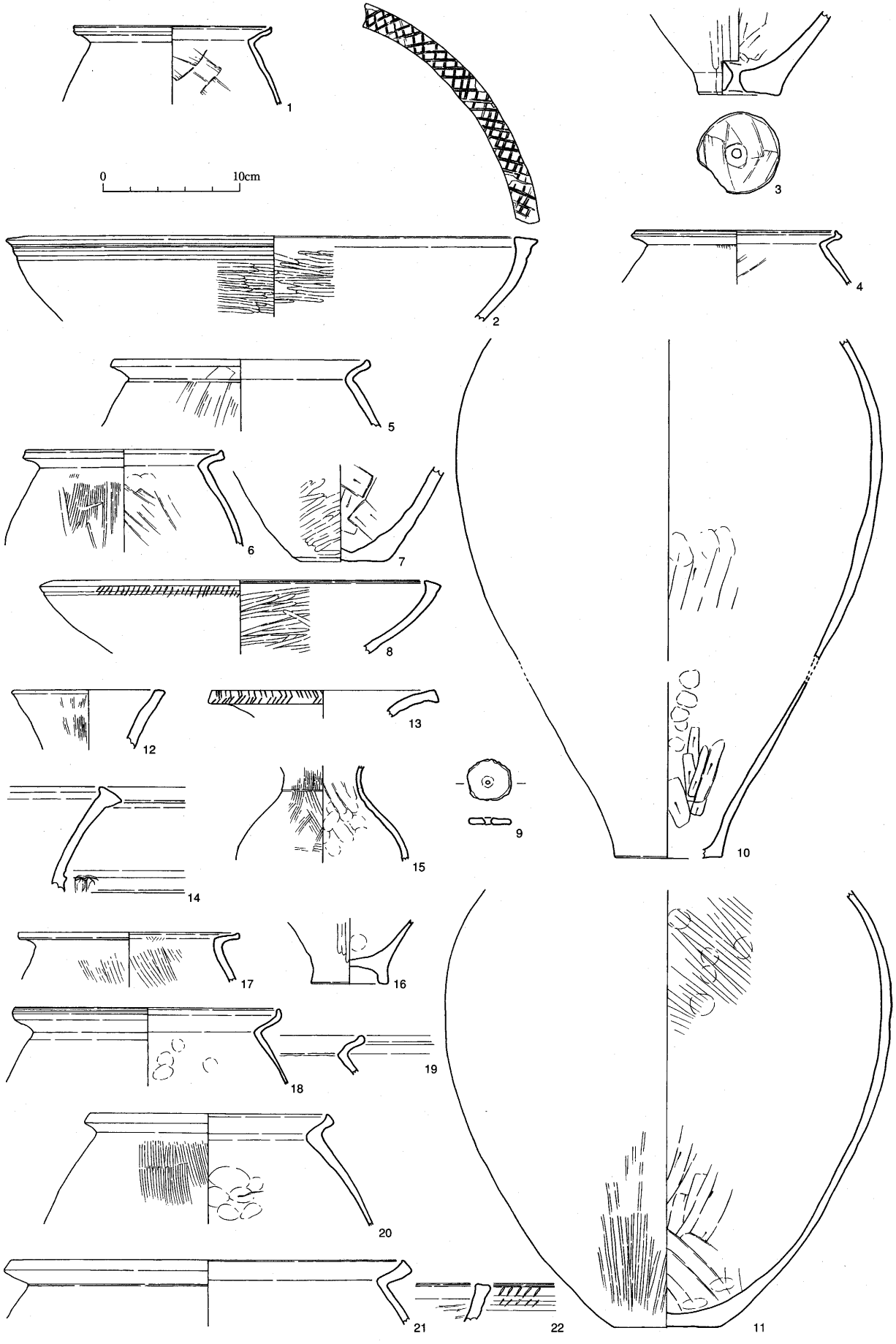
⑰ＳＨ17（第21・33・40図、図版７）

［遺構］ＳＨ14の西壁面を壊して建築されている。北半部が河川により削り取られたために不整な平面形態となっている。東壁面沿いに壁溝（Ｄ01）がある。柱穴跡は土坑（Ｋ01）の周囲に密集した状態を示すが、配列は明確でない。

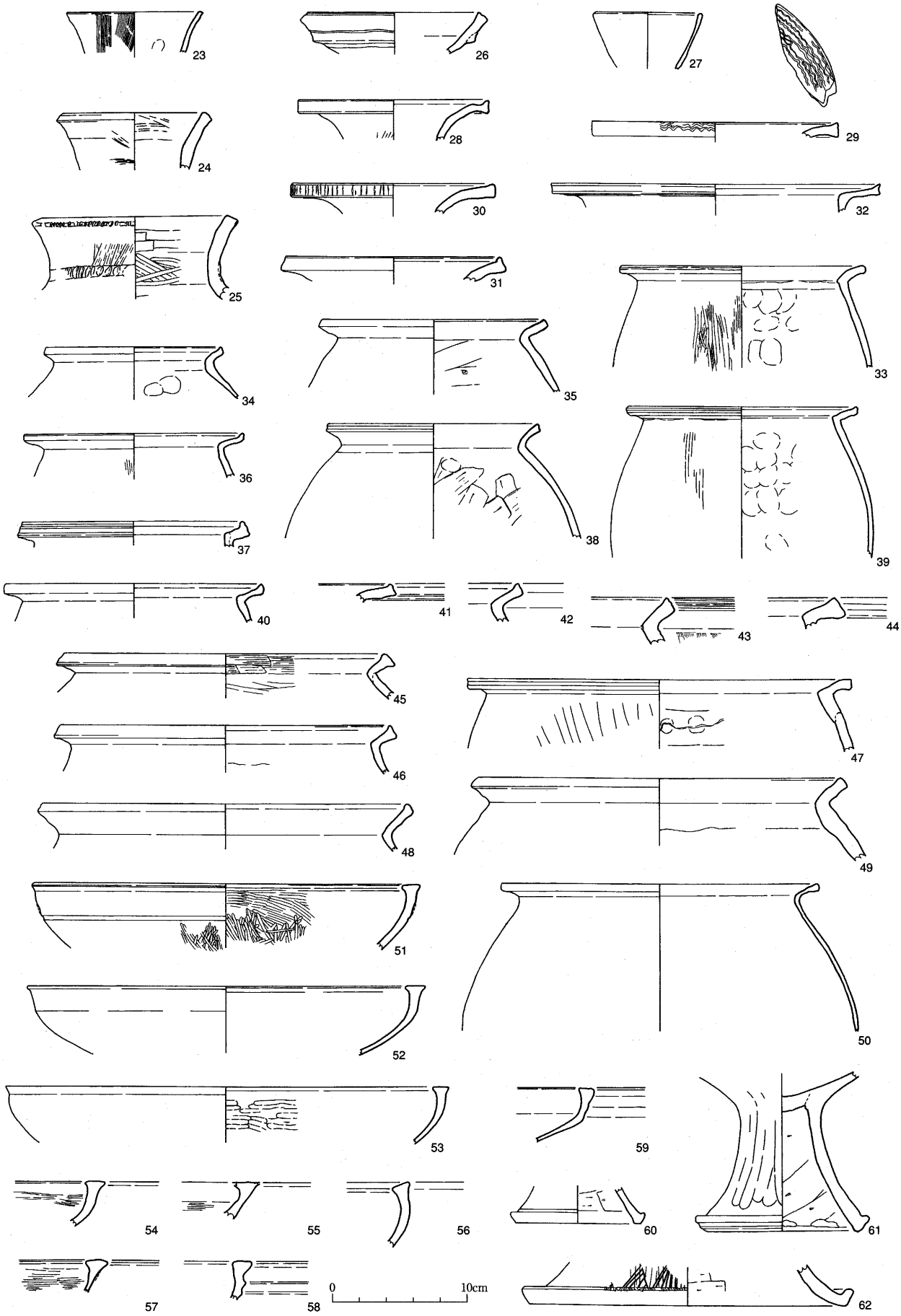
［遺物］76の口縁部は直立する形態であり、端部が肥厚されて外面にキザミメが施されている。



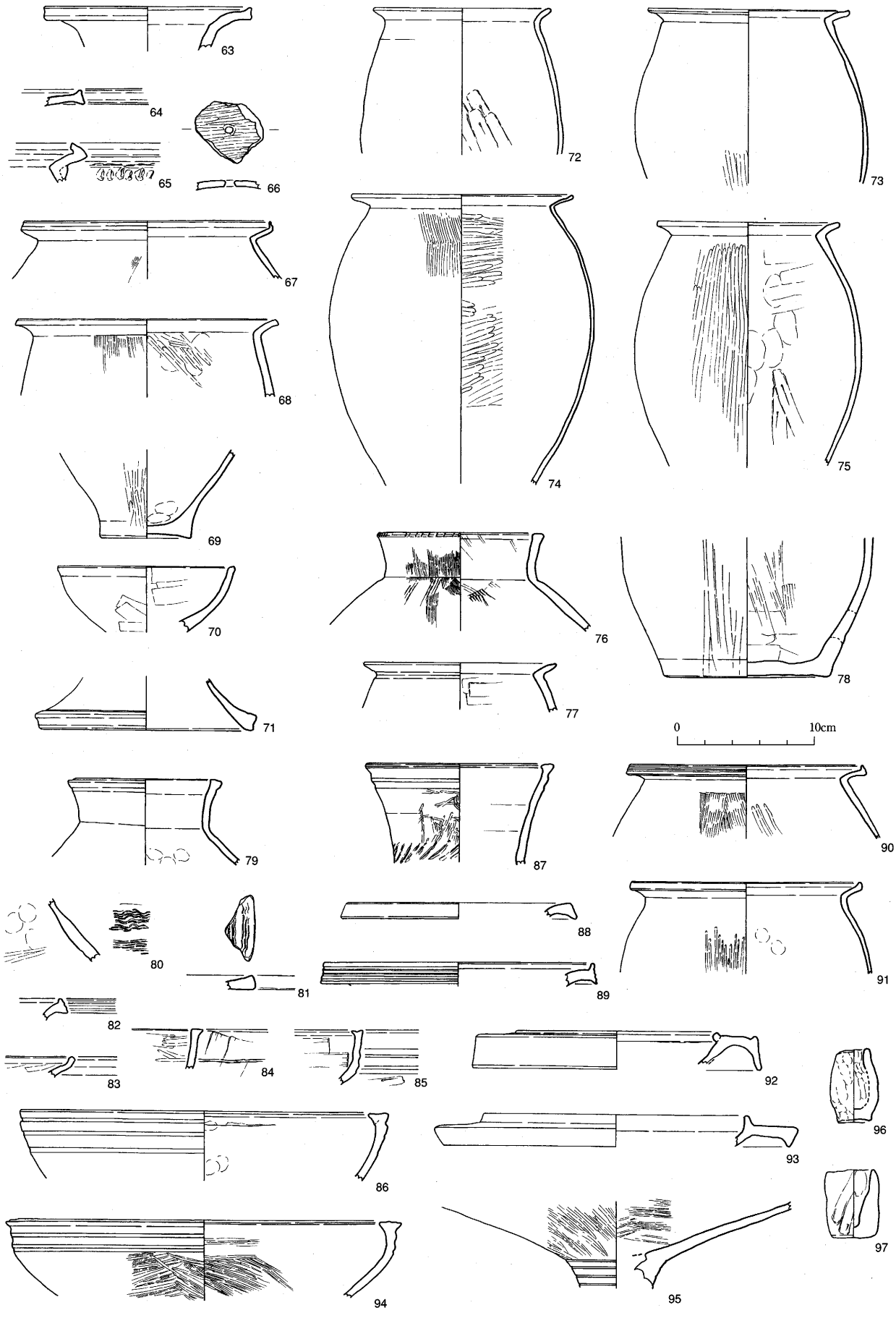
第30図　竪穴住居跡遺構実測図18（ＳＨ36）



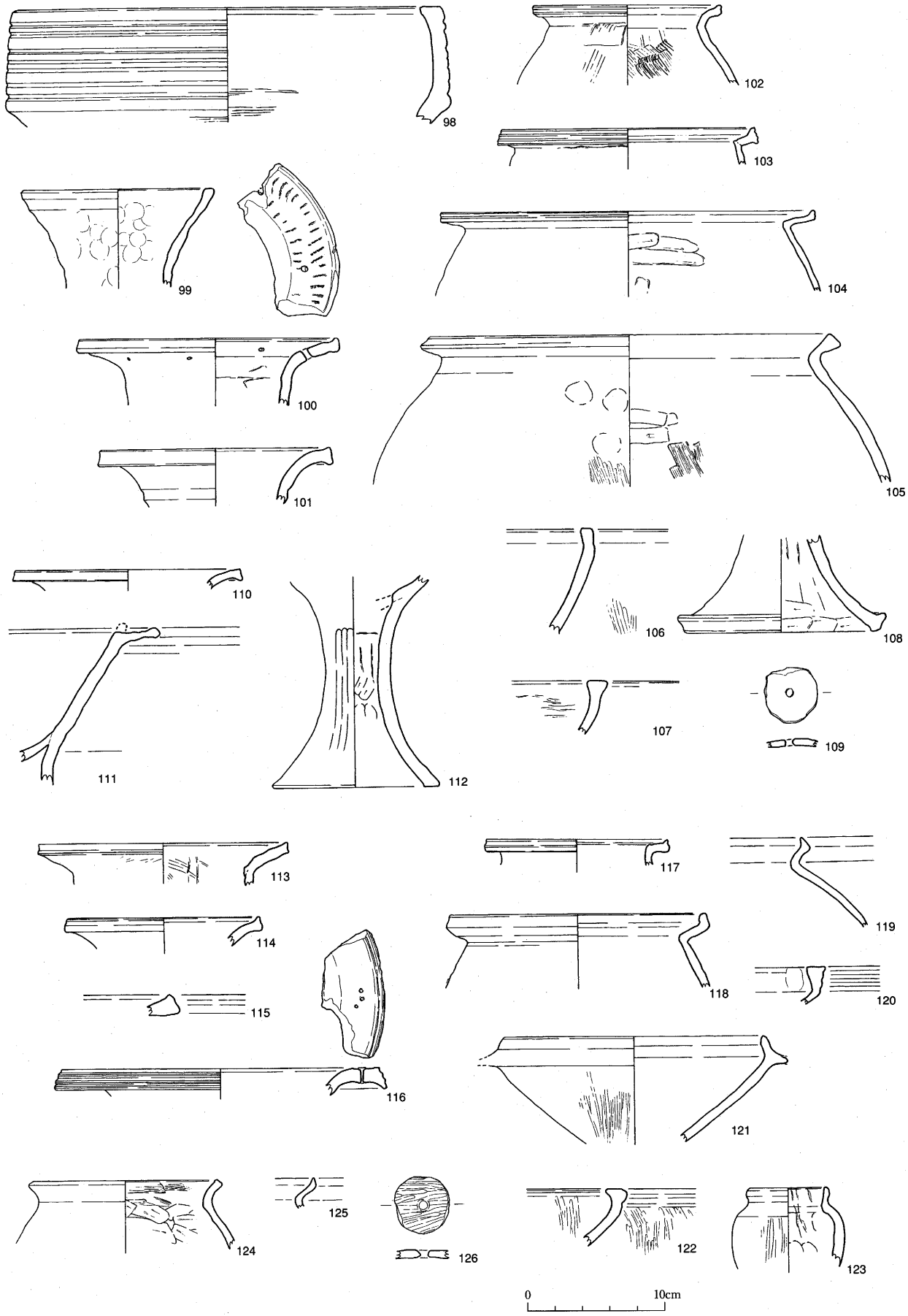
第31図　竪穴住居跡遺物実測図1(1・2：ＳＨ01、3：ＳＨ02、4～8：ＳＨ04、9：ＳＨ07、10・11：ＳＨ08、12～22：ＳＨ09)



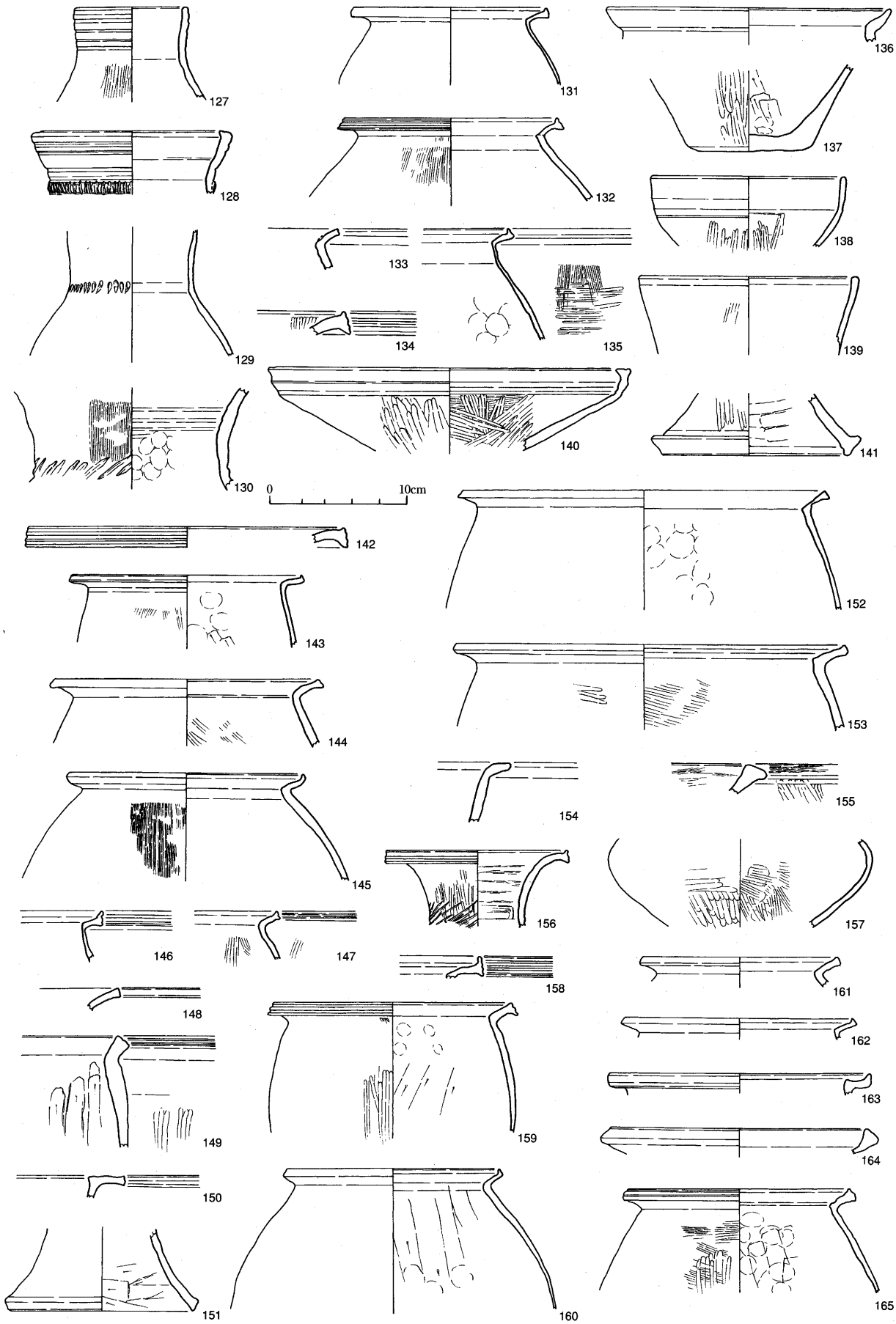
第32図　竪穴住居跡遺物実測図２（23～62：ＳＨ10）



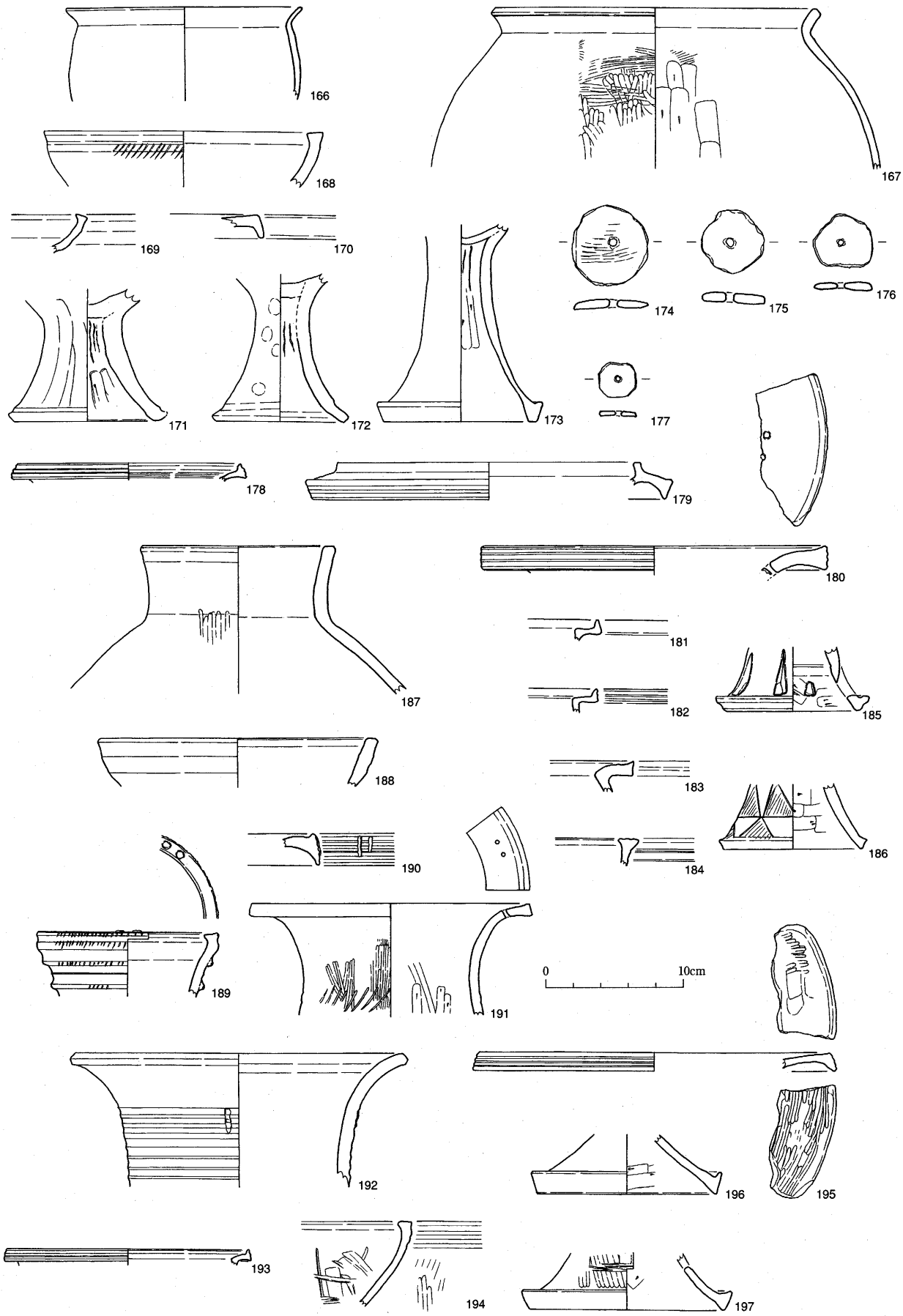
第33図　竪穴住居跡遺物実測図3(63～68：ＳＨ12、69～71：ＳＨ14、72～75：ＳＨ15、76～78：ＳＨ17、79～86：ＳＨ19、87～97：ＳＨ20)



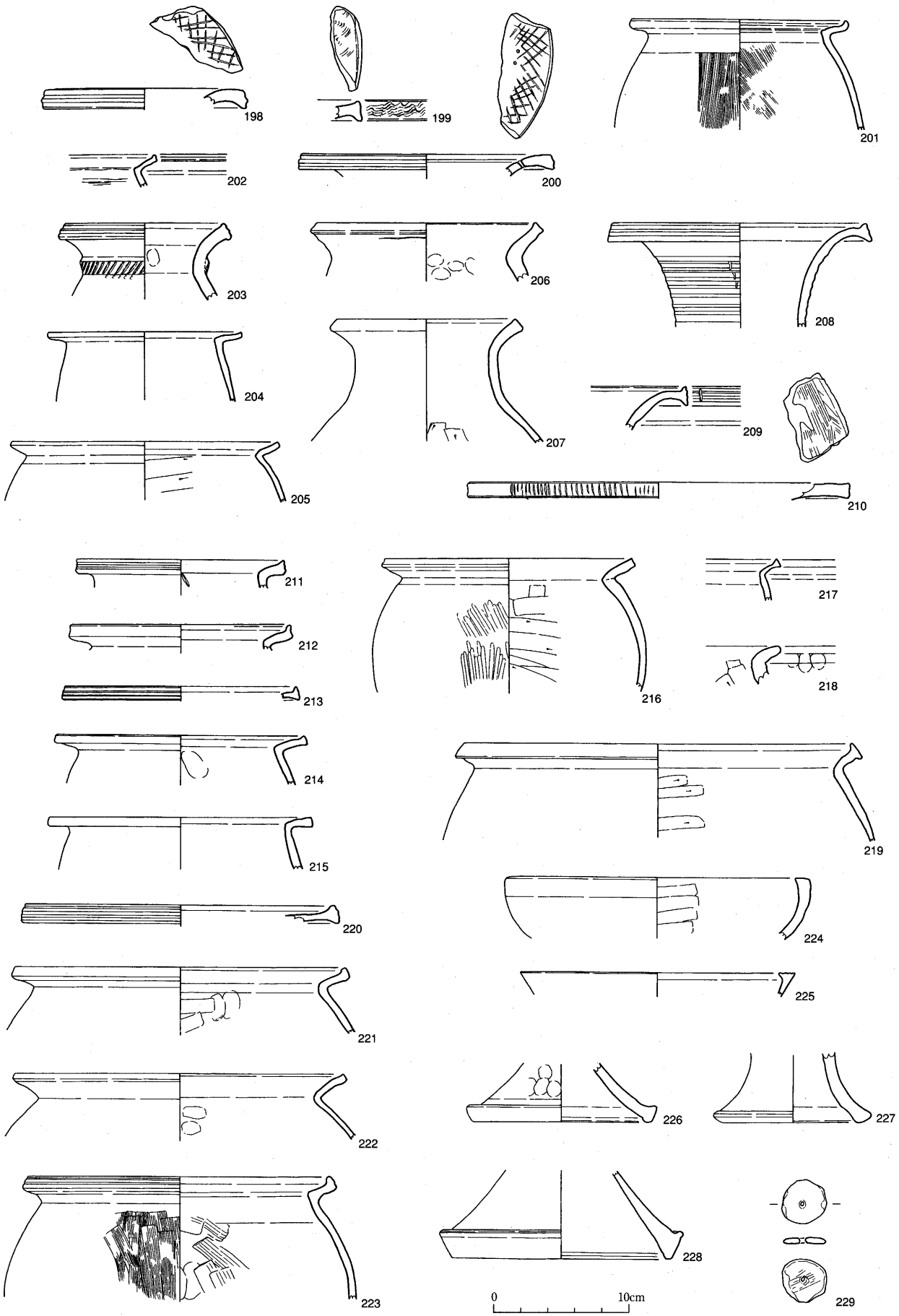
第34図　竪穴住居跡遺物実測図4(98～109：ＳＨ21、110～112：ＳＨ22、113～123：ＳＨ24、124～126：ＳＨ25)



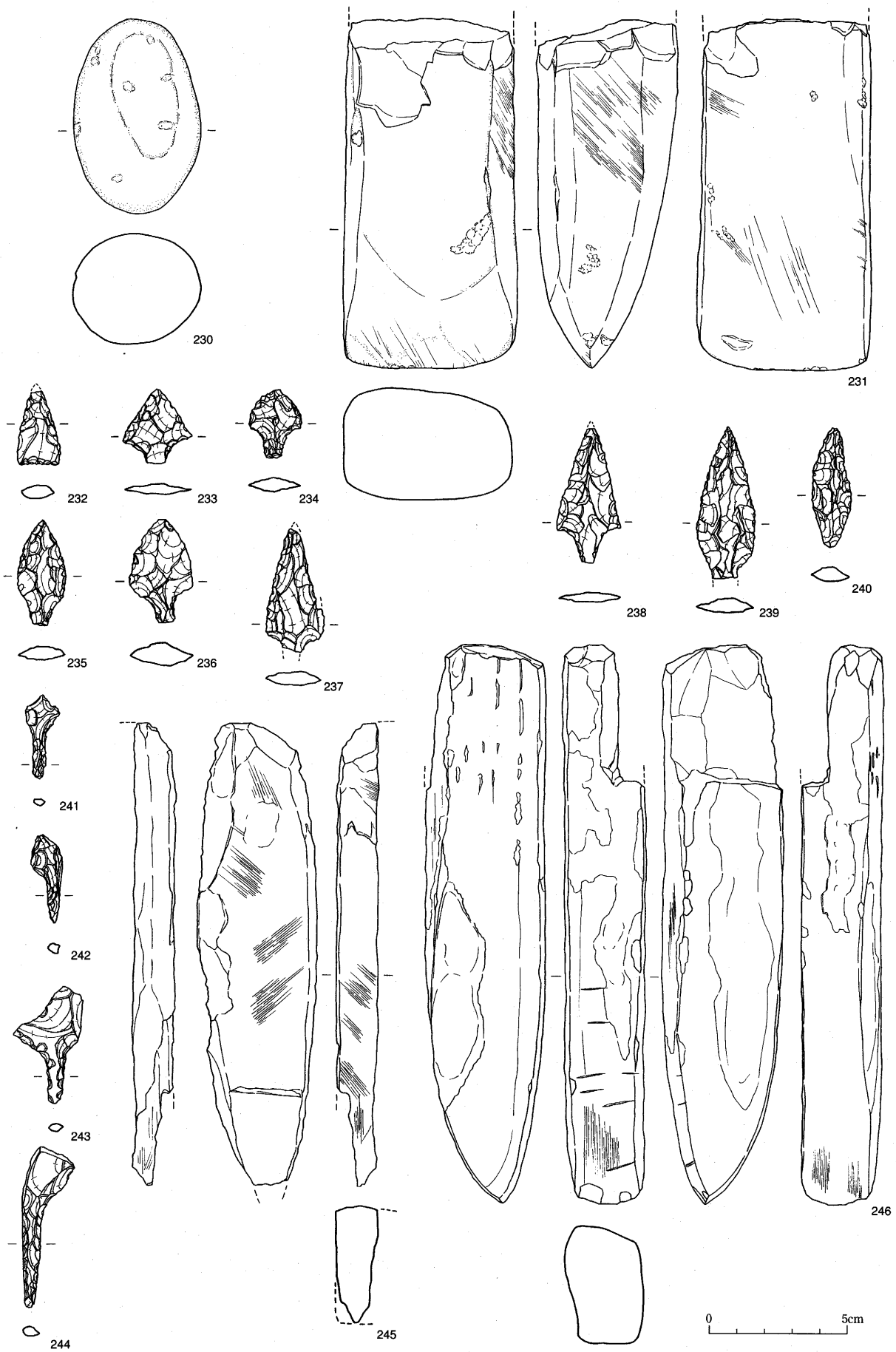
第35図　竪穴住居跡遺物実測図5(127～141：ＳＨ26、142～151：ＳＨ27、152～155：ＳＨ28、156～165：ＳＨ29)



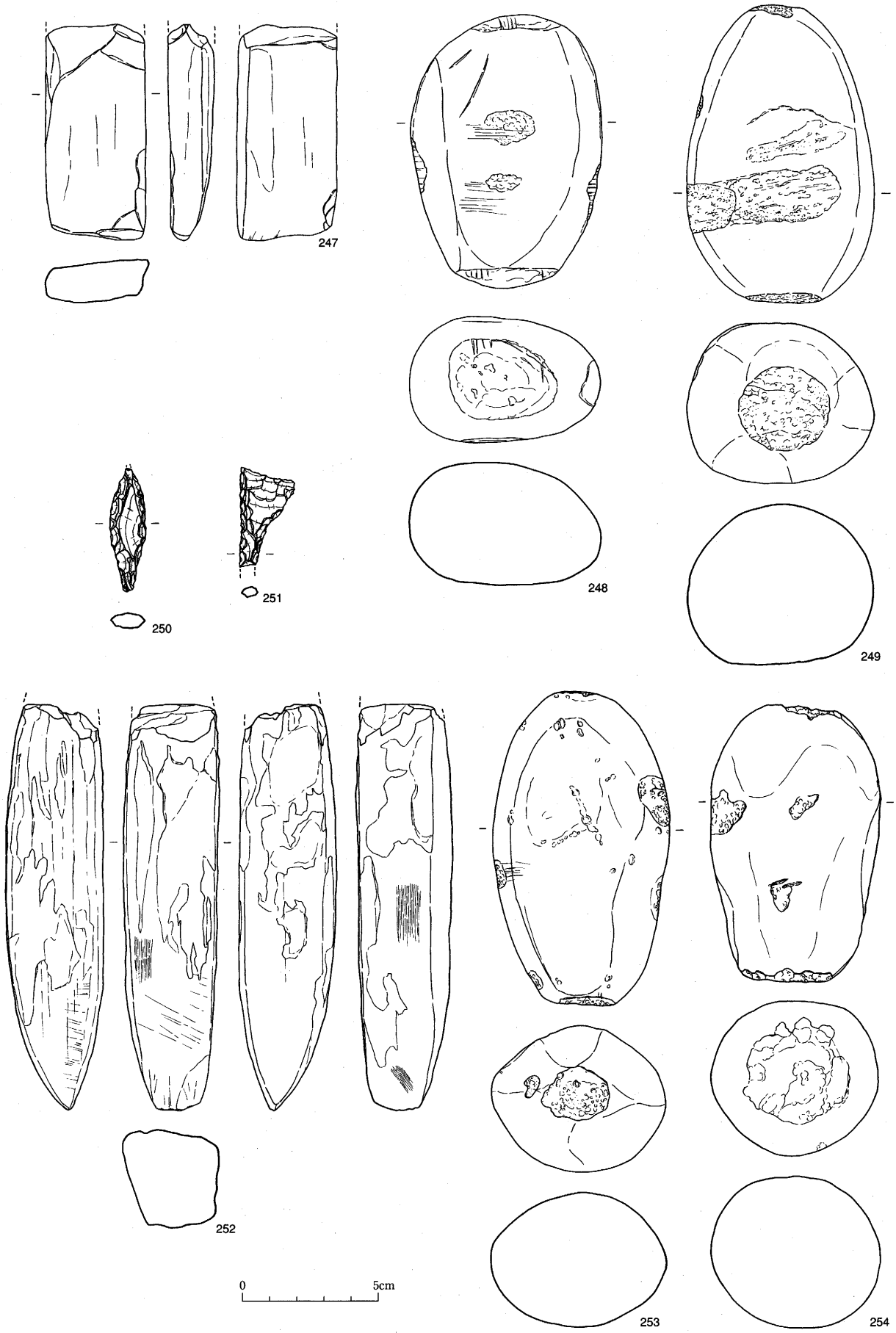
第36図　竪穴住居跡遺物実測図6(166～177：ＳＨ29、178・179：ＳＨ30、180～186：ＳＨ31、187～197：ＳＨ32)



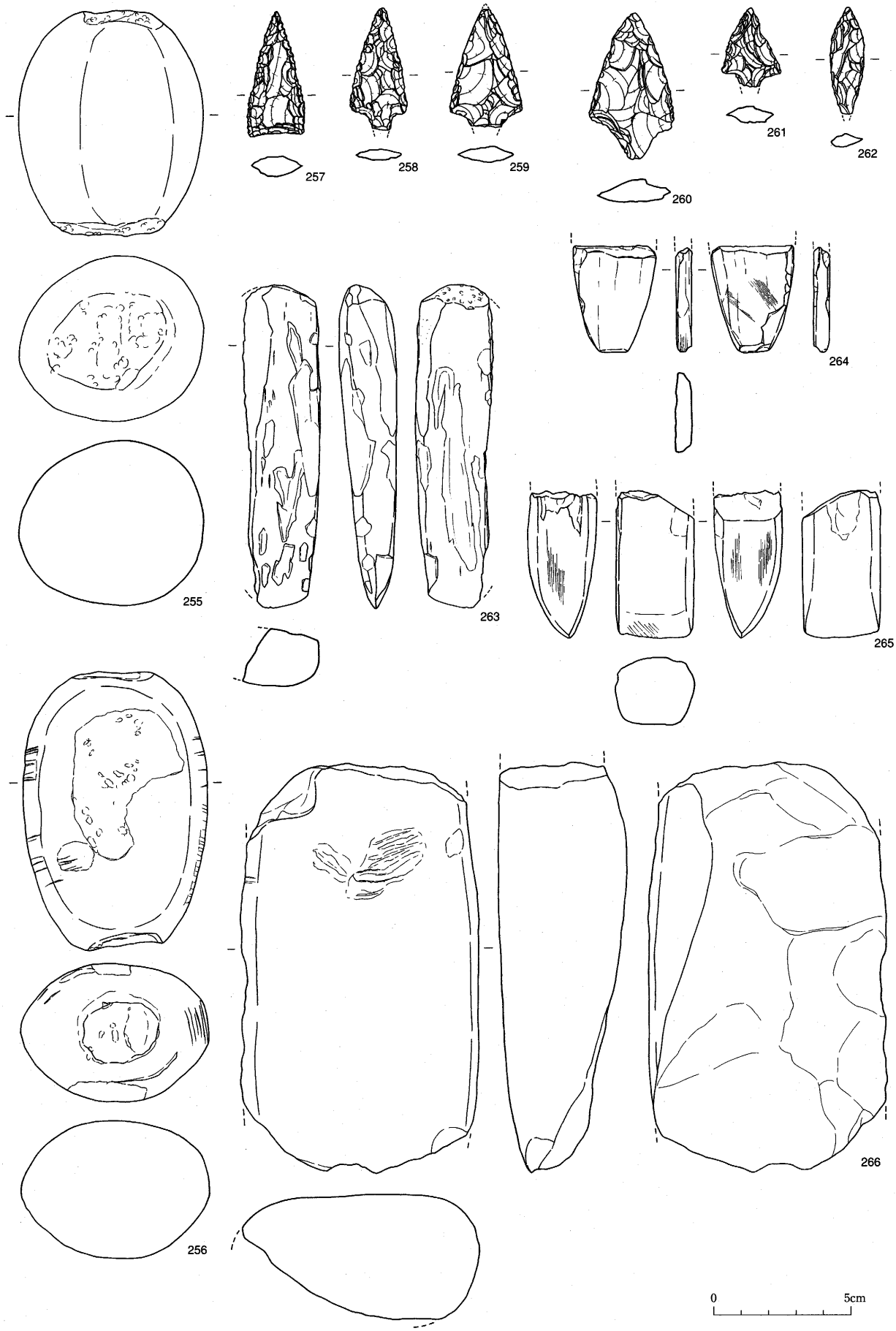
第37図　竪穴住居跡遺物実測図７（198～202：ＳＨ34、203～205：ＳＨ35、206～229：ＳＨ36）



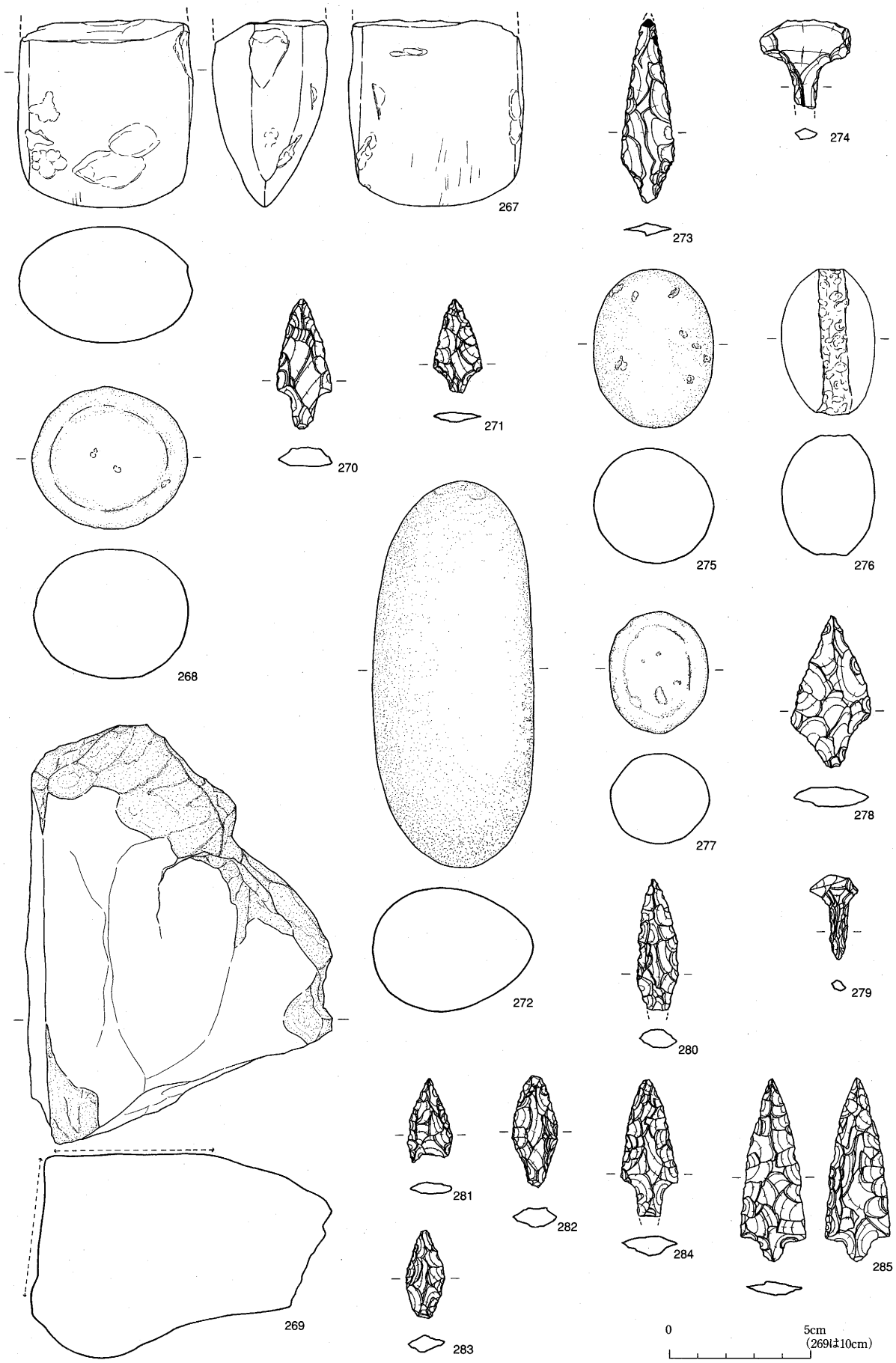
第38図　竪穴住居跡遺物実測図８（230：ＳＨ04、231：ＳＨ09、232～246：ＳＨ10）



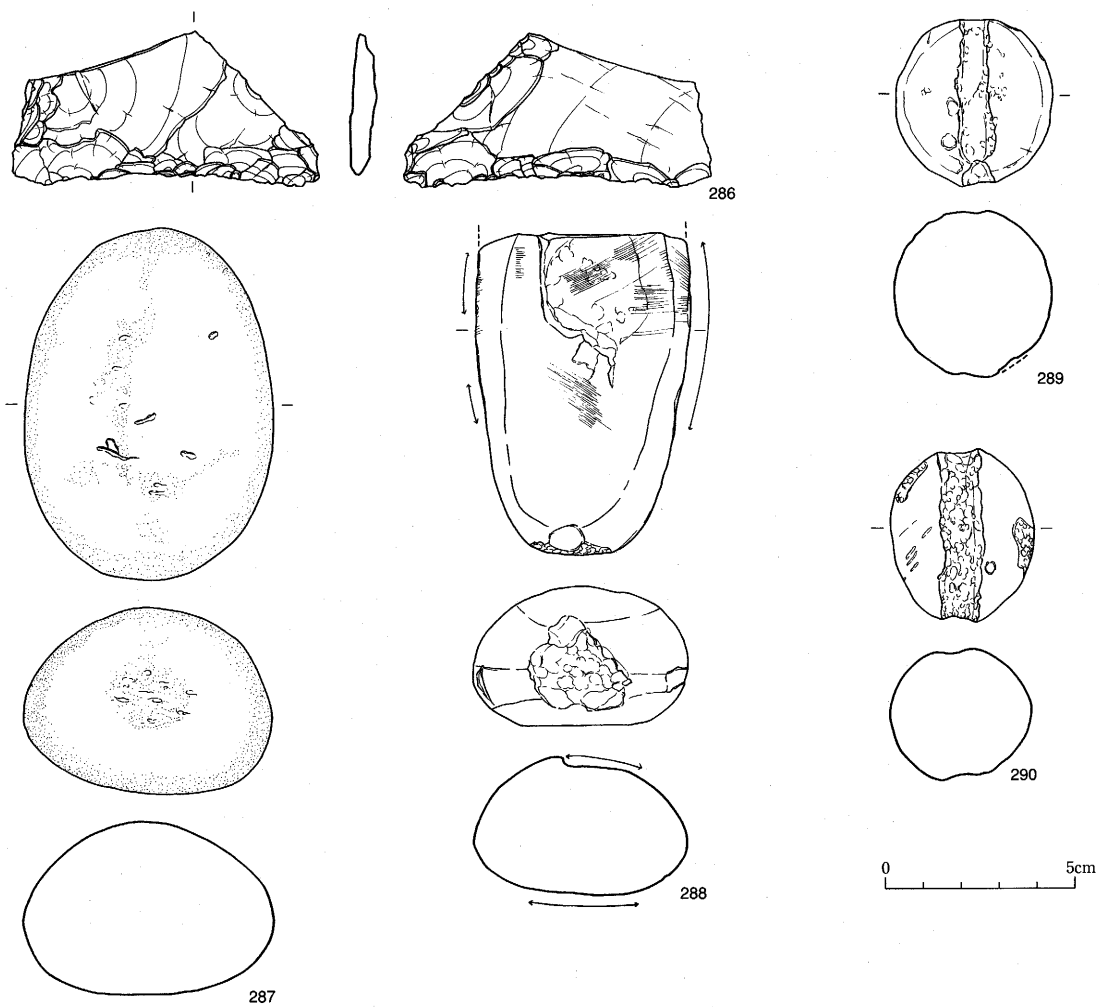
第39図　竪穴住居跡遺物実測図９（247～249：ＳＨ10、250～254：ＳＨ12）



第40図　竪穴住居跡遺物実測図10（255・256：ＳＨ12、257：ＳＨ17、258・259：ＳＨ19、260～266：ＳＨ21）



第41図　竪穴住居跡遺物実測図11(267～269：ＳＨ21、270：ＳＨ23、271・272：ＳＨ26、273～276：ＳＨ29、277：ＳＨ30、278・279：ＳＨ31、280：ＳＨ35、281～285：ＳＨ36)



第42図　竪穴住居跡遺物実測図12（286～290：ＳＨ36）

⑱ＳＨ18（第21図、図版９）

［遺構］ＳＨ19の北面の一部を壊して建築されている。柱穴跡は土坑（Ｋ01）を中心として円形に配列されており、主柱穴跡はＰ04、Ｐ06、Ｐ11である。

⑲ＳＨ19（第22・33・40図、図版10）

［遺構］Ｆ５ptの北西方約10mに位置する。農道を維持したために東半部のみの調査となった。床面は中心部が周辺部より深いため同心円状の２段構造である。壁面沿いには２重の壁溝（Ｄ01、Ｄ02、Ｄ03、Ｄ04）があり、上段の床面の中でも広い面積を占めている。柱穴跡は下段の床面中央部の遺構を中心とした円形の配列である。主柱穴跡はＰ05、Ｐ13、Ｐ22、Ｐ27、Ｐ35である。

［遺物］79は口縁端部が肥厚された形態である。82は口縁端部に凹線文が施されている。85は口縁部と体部の接点に屈曲点が存在する大型品であり、口縁部外面の幅広の凹線文が特徴的である。86の口縁部直下には間隔の広い凹線文が施されている。

⑳ＳＨ20（第22・33図、図版10）

［遺構］Ｆ６ptの東方約２mに位置する小型の遺構である。棚田の造成により遺構の北半部が失われている。西壁面以外の壁面沿いには壁溝（Ｄ01）があり、柱穴跡は壁面に沿った円形の配列である。主柱穴跡はＰ03、Ｐ09、Ｐ13、Ｐ15、Ｐ18である。

［遺物］88は口縁下端部が垂下気味の形態である。89は口縁端部が上下に肥厚され、外面に凹線文が施されている。90、91は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。92、93は張り出し部の下端部が垂下する形態である。

㉑ＳＨ21（第23・34・40・41図、図版13・14）

［遺構］Ｄ12ptの西方約５ｍに位置する。緩傾斜地に建築されているために斜面上方に当る東壁面が高い構造である。壁溝（Ｄ02）が東壁面沿いにのみ存在するが、これは斜面上方からの浸水を防ぐか壁面の崩壊を防ぐための板材を埋設する目的があったと考えられる。柱穴跡は炉跡（Ｋ01）を中心として円形に配列されており、主柱穴跡はＰ04、Ｐ10、Ｐ11、Ｐ16、Ｐ17である。

［遺物］98は２重口縁の形態の大型品である。100は口縁部の内面に２枚貝の殻を工具とした刺突文が施されている。103は口縁端部が上下に肥厚されて凹線文が施されている。104の口縁上端部はつまみ上げられた形態である。

262は柳葉形の形態である。264は左側面が破断面であるが、研ぎ直しによって再利用されている。265、267は使用痕があることから使用中に破損したことがわかる。269は大型品であるが、研磨に利用された箇所が狭い範囲であるために原形がわからない。

㉒ＳＨ22（第23・34図、図版13・14）

［遺構］ＳＨ21の西方に隣接して所在し、東壁面がＳＨ21の西壁面の一部を壊している。ＳＲ02により遺構の西半部が削り取られている。ＳＨ21と同様に斜面に建築されていることから、東壁面が高い構造である。主柱穴跡は２基（Ｐ01、Ｐ03）存在するが、配列を決定する根拠はない。

［遺物］111は張り出し部の先端部が垂下しないで丸く成形された形態である。112は脚端部の直径に比べて高さが高い点が特徴である。

㉓ＳＨ23（第24・41図、図版19）

［遺構］ＳＨ22の建築によって遺構の大部分が失われたために、東・西壁面と床面の一部が原形を留めるだけである。遺構の中心部から南寄りに炉跡（Ｋ01）があり、壁面沿いには壁溝（Ｄ01）が回る。さらに壁面から離れた位置にも溝（Ｄ02）が同心円状に回る。柱穴跡の配置は明確でないが、壁面に平行に円形の配列が考えられる。主柱穴跡はＰ01、Ｐ03、Ｐ06である。

㉔ＳＨ24（第25・34図、図版12・15）

［遺構］ＳＨ27の建築によって遺構の大部分が失われており、南壁面とそれに連続する床面の一部が原形を留める。炉跡の状態や柱穴跡の配置等は不明である。

［遺物］114は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。116の口縁部は水平方向に開口して下端部が垂下する。117～119は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。120の口縁部と体部の接点には屈曲点が存在する。121の張り出し部は幅の狭い形態が考えられる。

㉕ＳＨ25（第26・34図、図版12・15）

［遺構］Ｄ11ptの北方約４ｍに位置する。壁面の一部と考えられるほりかたが存在することと、柱穴跡が密集することから竪穴住居跡として報告するが、積極的な根拠はない。

［遺物］125は口縁上端部がつまみ上げられて受け口状の形態となっている。

㉖ＳＨ26（第27・35・41図、図版12・15）

［遺構］ＳＨ24とＳＨ27の建築によって遺構の大部分が失われており、東壁面と床面の一部が原形を留める。床面の構造としては壁面に沿った位置に壁溝（Ｄ01）があることがわかるが、柱穴跡の配置等は

不明である。東壁面に近い位置で床面に密着した状態の土器群を検出した。

［遺物］127は頸部から口縁部にかけて直立する形態であり、外面に幅の広い凹線文が施されている。128は直立する短い頸部と外方向に開口する短い口縁部が存在する形態であり、端部が肥厚されている。131～134は口縁端部が上下に肥厚され、132と134は端面に凹線文が施されている。135は受け口状の形態である。138は半球形の体部に直立気味の口縁部が作り出された形態である。

272は研磨痕や使用痕がないため使用方法が特定できないが、石器製作時のハンマーや磨石の材料として収拾された可能性がある。

㉗ＳＨ27（第25・35図、図版12・15）

［遺構］Ｄ11pt の北西方約10ｍに位置する。西壁面沿いに壁溝（Ｄ01）があり、柱穴跡は南東隅部と南西隅部において検出した２基（Ｐ02とＰ08）を含めた四角形の配列が考えられる。

［遺物］142は口縁下端部が垂下した形態である。143～147は口縁上端部がつまみ上げられた形態であり、146、147については端面に凹線文が施されている。150は口縁端部の突出が小さい形態である。

㉘ＳＨ28（第35図、図版14）

［遺構］Ｃ12pt に近接した位置にある。壁面と床面は完全に失われているが、床面の中央部に相当する位置で土坑を、その周囲で柱穴跡を検出した。柱穴跡は円形の配列が考えられる。

［遺物］152は口縁端部に強いヨコナデが施されたために縦断面が三角形になるように成形されている。153は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。

㉙ＳＨ29（第27・35・36・41図、図版18）

［遺構］Ｃ12pt の北東方約10ｍに位置し、対象地の最も東部で検出された居住遺構である。すべての居住遺構の中でも最高所（標高約43ｍ）に位置する。

西壁面の一部を除く全壁面沿いに壁溝（Ｄ01、Ｄ02）があり、東壁面に至っては床面の内部にも同心円状の溝（Ｄ03、Ｄ04）が存在する。柱穴跡は床面中央の炉跡（Ｋ01）を中心とした円形の配列であり、主柱穴跡はＰ02、Ｐ08、Ｐ16、Ｐ19、Ｐ21、Ｐ35、Ｐ39である。

［遺物］156、158は肥厚された口縁端面に凹線文が施されている。159は口縁下端部が垂下気味の形態である。160～163は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。165は口縁端部が肥厚されて凹線文が施されている。168の口縁部外面には細い棒状の工具で深いキザミメが施されている。170は口縁下端部が垂下する形態である。高杯の脚端部は細く成形されたもの(171、172)と大きく肥厚されたもの(173)がある。

273は有茎凸基式の形態であるが、茎部の成形は不完全である。

㉚ＳＨ30（第24・36・41図、図版19）

［遺構］Ｄ11pt の北方約11ｍに位置する。遺構の南半部が削り取られているが、北・東・西壁面沿いには壁溝（Ｄ01、Ｄ02）がある。なかでも東壁面については２重の構造である。柱穴跡は壁面の各隅部に四角形に配列されていたと考えられる。主柱穴跡はＰ02、Ｐ07である。

［遺物］179の口縁下端部の垂下は小さい。

㉛ＳＨ31（第28・36・41図、図版17・20）

［遺構］Ｃ10pt の南東方約10ｍに位置する。南壁面が失われているが、床面の保存状態は良好である。壁面沿いには壁溝（Ｄ01、Ｄ02）があり、柱穴跡は壁面に対して同心円状の配列を示す。主柱穴跡はＰ03、Ｐ11、Ｐ20、Ｐ32、Ｐ42である。

［遺物］180は口縁端部が上下に肥厚されて凹線文が施されている。181～183は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。

278は茎部を細く成形しない有茎凸基式の形態である。

㉜ＳＨ32（第28・36図、図版17）

［遺構］ＳＨ31の建築によって西半部が壊されている。南半部の壁面沿いには壁溝（Ｄ01、Ｄ02）があるが、南壁面に接する位置で断絶している。床面は中央部が一段低い形態で、周囲の高い部分に柱穴跡が円形に配列されている。主柱穴跡はＰ05、Ｐ07、Ｐ09である。

［遺物］187の頸部から口縁部にかけては直立気味の形態である。189は頸部に３本の貼り付け凸帯があり、凸帯上には小刻みなキザミメが施されている。191は口縁端部に強いヨコナデが施されることにより、同部が肥厚されたものである。192は頸部の長さに比べて口縁部の広がりが小さい形態である。194の外面の凹線文は幅広で間隔が広い。195の張り出し部は垂下が小さい。196、197は脚端部が上方へ肥厚された形態である。

㉝ＳＨ33（第29図、図版19）

［遺構］Ｄ11pt の北方約10ｍに位置する。ＳＨ26の建築やＳＲ02の形成によって遺構の大部分が失われたために、北東隅の壁面の検出に留まった。床面は中央部が一段低い形態であり、壁面沿いには壁溝（Ｄ01）が回る。柱穴跡の配列は不明確であるが、主柱穴跡はＰ02とＰ09である。

㉞ＳＨ34（第29・37図、図版19）

［遺構］ＳＨ33の西方に隣接して所在し、北・東壁面とこれらに連続する床面が保存されていた。北壁面に接した位置で壁溝（Ｄ01）と柱穴跡を検出した。後者の配列は不明確であるが、主柱穴跡はＰ02とＰ10である。

［遺物］198～200の口縁部は水平方向に開口し、下端部が垂下する形態である。198、200の口縁部内面の斜格子文は左下がりの線が後から施されている点が共通する。201の口縁上端部はつまみ上げられた形態である。

㉟ＳＨ35（第29・37・41図、図版19）

［遺構］ＳＨ34の建築によって遺構の大部分が失われたために、北東隅の壁面と壁溝（Ｄ01、Ｄ02）及び床面の土坑（Ｋ01）を検出したのみである。

［遺物］203は口縁部が短く逆ハ字形に開口し、端部が上下に肥厚する形態である。204、205は口縁部上端部がつまみ上げられた形態である。

㊱ＳＨ36（第30・37・41・42図、図版17・20）

［遺構］Ｄ10pt の北東方約10ｍに位置する。床面は中央部が一段低い形態で、壁面沿いにはベッド状遺構が形成されている。北・東壁面に沿った位置には断続的な壁溝（Ｄ01、Ｄ02）があり、床面中心部の西寄りに炉跡（Ｋ01）がある。柱穴跡はベッド状遺構上に円形に配列されている。主柱穴跡はＰ01、Ｐ05、Ｐ14、Ｐ19、Ｐ22である。

［遺物］206、207は短い口縁部が逆ハ字形に開口する形態であり、頸部は湾曲するために位置が不明瞭な点が特徴である。208、209の口縁部は水平方向に開口された後に、端部が上下に肥厚されて端面に凹線文が施されている。210は口縁部の器壁が一定の厚さに仕上げられた形態である。211～214の口縁上端部はつまみ上げられた形態である。216は球形の体部が特徴である。219、220は口縁端部が上下に肥厚された形態であり、220は端面に凹線文が施されている。221、223の口縁部は上端部が大きくつまみ

上げられて広い端面が成形されている。226、227は脚端部が下方へ突出する形態である。228の脚部は直線的に開脚する。

281は無茎凹基式、282、283は柳葉形、284、285は有茎凸基式の形態である。285の茎部は先端部に比べて小型である。287は軸端部に不明瞭な敲打痕があるが、作業によって生じたか埋没時に偶然生じたかは判定できない。288は側面の一部にも敲打痕があることから紐掛けして使用された可能性がある。

(2) 土　坑

①ＳＫ01（第43・48図）

［遺物］291は直立する頸部と水平方向に短く開口する口縁部が特徴である。口縁端部は上下に肥厚されて端面にキザミメと円形浮文が施されている。292は口縁部が水平方向に広く開口して上端部がつまみ上げられた形態である。293は２重口縁の形態であり、口縁端部が内外方向に肥厚されていることと外面に幅広の凹線文が広い間隔で施されていることに特徴がある。294はハ字形に開口する大型品であり、口縁端部が肥厚されている点が特徴である。295、297～299は口縁上端部が高くつまみ上げられた形態である。302は焼成前の穿孔である。303は口縁部から体部へかけて屈曲点が少ない形態で、口縁部が短い点が特徴である。

②ＳＫ02（第43・48図）

［遺構］Ｆ４ptの東方約10mに位置する。検出した部分は少ないが、底面に溝状遺構と小規模な柱穴跡が存在することから、竪穴住居跡の一部分と考えることも可能である。

［遺物］304は口縁端部に強いヨコナデが施されたために上下に肥厚された形態となっており、作り出された端面には波状文が施されている。さらに頸部には棒状の工具による刺突文が施されているために装飾性が豊かな器種である。頸部の位置は不明瞭である。305の頸部には３箇所の焼成前の穿孔がある。307～309は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。311は脚端部の直径に比べて高さが高い形態である。312の脚端部は上方につまみ上げられた形態である。

③ＳＫ06（第43・48図）

［遺物］313は口縁部が水平方向に開口した後に上端部が上方に屈曲するために受け口状の形態となっている。鉢は体部が直線的な形態のもの（314）と湾曲するもの（315）がある。口縁端部はいずれも内外方向に肥厚されている。

④ＳＫ12（第44・48～51・54図、図版４・５）

［遺構］Ｆ４ptの西方約７mに位置し、ＳＨ12・13に近接する。底面の中央部に直径約0.5mの範囲にわたって被熱跡が認められるが、埋土中に含まれていた炭化物はきわめて少量である。この点については燃焼量が少ないことや燃焼後の残滓が丁寧に排出されたことが原因として考えられる。

この被熱範囲を避けるような位置において遺物が密集して出土した。遺物の大部分は破砕されており、出土状態によって底面に密着していたものと遊離したものに分別することができるため、複数回にわたって投棄されたことがわかる。

［遺物］316～318は口縁端部が肥厚されてキザミメや凹線文が施された装飾性の豊かな器種である。頸部以上の部位が直立する形態の壺は口縁端部が細く成形されているもの（320）と、端面が成形されているもの（321～324）に分かれる。後者はやや受け口状の形態であり、口縁部外面に凹線文が施されているものが多い。322と323の頸部には二枚貝の殻を使用した刺突文が施されている。さらに頸部の付け根部分に凸帯が貼り付けられている点も特徴である。325は口縁部が内側へ傾く形態であり、外面に凹

第3表　土坑一覧表1

遺構名	地区	平面形態	規模（cm）			挿図番号	図版番号
			長さ(最大径)	幅	深さ		
ＳＫ01	ＩＡ	円形か	132	－	24	43・48	－
ＳＫ02	ＩＡ	円形か	276	－	52	43・48	－
ＳＫ03	ＩＡ	隅丸長方形	136	80	36	43	－
ＳＫ04	ＩＡ	隅丸長方形	116	92	20	43	－
ＳＫ05	ＩＡ	隅丸長方形か	144	120	48	43	－
ＳＫ06	ＩＡ	隅丸正方形	308	228	52	43・48	－
ＳＫ07	ＩＡ	隅丸長方形か	184	88	16	43	－
ＳＫ08	ＩＡ	隅丸長方形か	196	80	64	44・54	－
ＳＫ09	ＩＡ	長楕円形か	240	156	68	44	－
ＳＫ10	ＩＡ	長楕円形	128	100	20	44	－
ＳＫ11	ＩＡ	不整円形	96	88	40	44	－
ＳＫ12	ＩＡ	隅丸正方形	300	284	28	44・48～51・54	4・5
ＳＫ13	ＩＡ	円形	132	－	36	44	－
ＳＫ14	ＩＡ	長楕円形	336	272	24	44・51・54	－
ＳＫ15	ＩＢ	隅丸長方形	200	152	24	44	－
ＳＫ16	ＩＢ	不整円形	108	72	24	44	－
ＳＫ17	ＩＢ	円形	104	－	16	45	－
ＳＫ18	ＩＢ	隅丸長方形	104	64	12	45	－
ＳＫ19	ＩＢ	隅丸長方形	352	240	76	45・51・52	8
ＳＫ20	ＩＢ	長楕円形か	188	72	24	45	－
ＳＫ21	ＩＣ	長楕円形	228	172	64	45・52・54	－
ＳＫ22	ＩＣ	不整長楕円形	144	108	12	45	－
ＳＫ23	ＩＣ	長楕円形	116	80	28	45	－
ＳＫ24	ＩＣ	不整正方形	128	124	24	45	－
ＳＫ25	ＩＣ	長楕円形	120	68	32	46	－
ＳＫ26	ＩＣ	長楕円形	144	92	12	46	－
ＳＫ27	ⅡＡ	不整円形	172	152	32	46	－
ＳＫ28	ⅡＡ	不整長楕円形	128	96	40	46・52	－
ＳＫ29	ⅡＡ	隅丸長方形	124	96	32	46	15
ＳＫ30	ⅡＢ	隅丸長方形	360	216	52	46・52	－
ＳＫ31	ⅡＢ	隅丸長方形	240	212	40	46・52	21
ＳＫ32	ⅡＢ	隅丸長方形	200	140	32	46	－
ＳＫ33	ⅡＢ	隅丸長方形	152	108	32	47	－
ＳＫ34	ⅡＢ	不整円形	116	108	24	47	－
ＳＫ35	ⅡＢ	不整長方形	140	120	28	47・54	－
ＳＫ36	ⅡＢ	長楕円形	124	96	24	47	21
ＳＫ37	ⅡＢ	隅丸長方形	344	236	60	47・52・53・54	－
ＳＫ38	ⅡＢ	隅丸長方形	332	136	84	47・53	－

線文が施されている。331は小型品であるが、精良な材料を使用して製作されている。332の口縁部は受け口状の形態である。334～340は口縁部が水平気味に開口して上端部がつまみ上げられた形態であり、332～334に比べて335～339は胴が張る点が特徴である。340、341、343、345の体部は球状の形態である。347は小型品であるが、蓋を装着するために穿孔されている。351、352の口縁部は端部が内外方向に肥厚され、外面には凹線文が施されている。355、356の体部は半球状の形態であり、口縁部は受け口状に開口する。357、359の体部は算盤珠状の形態であり、360についてもこれらと同様の器種と考えられる。把手の状態を表現するために表面と断面を図化したが、本来は1個のみの装着である。362は注口である。高杯の口縁部（363～365）は端面が内外方向に肥厚された形態である。366のつまみ部には紐状の釣り手を装着するための穿孔がある。

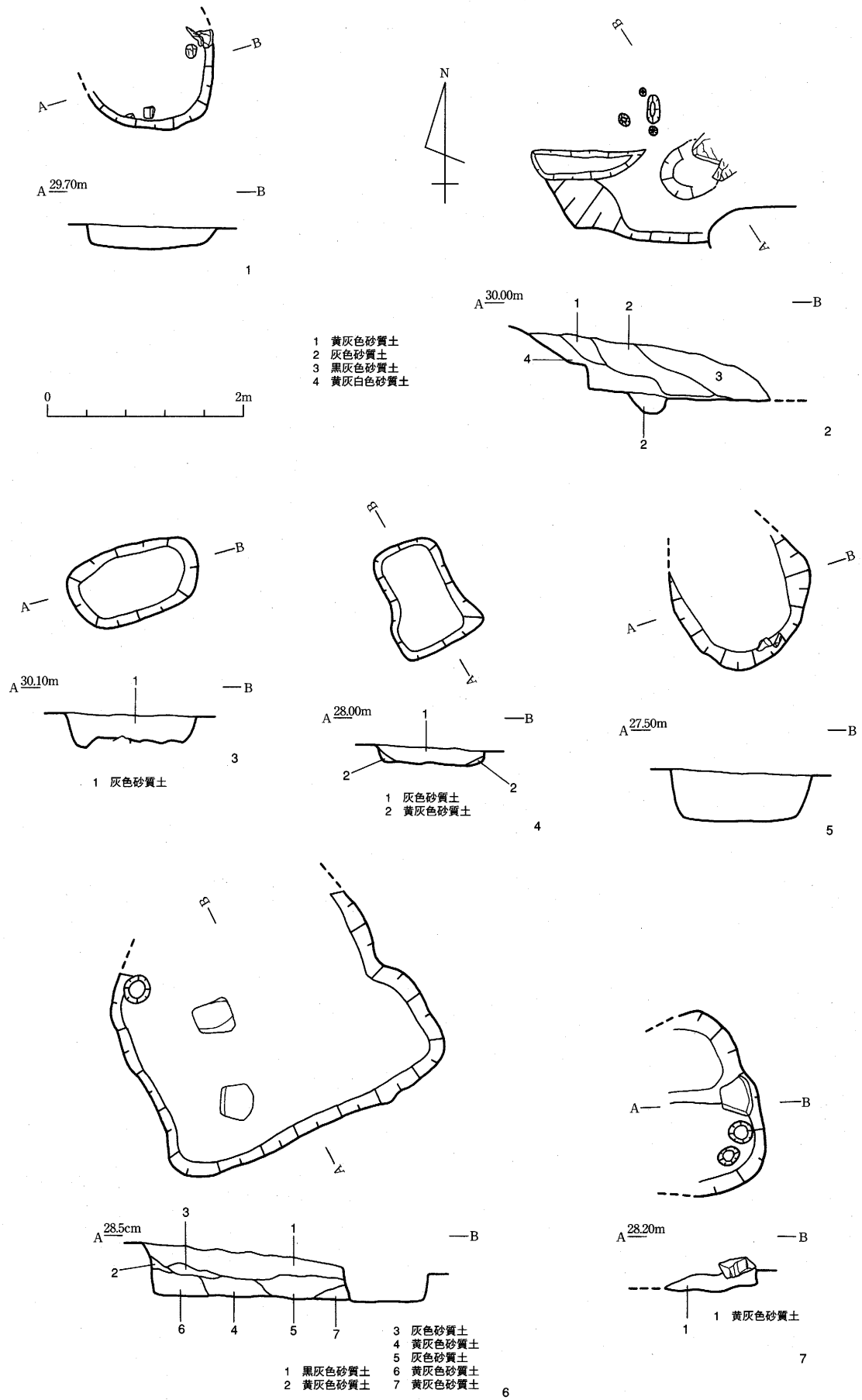
417は両側面が破断しているが、右側面については研ぎ直されて再利用されたことがわかる。

⑤ＳＫ14（第44・51・54図）

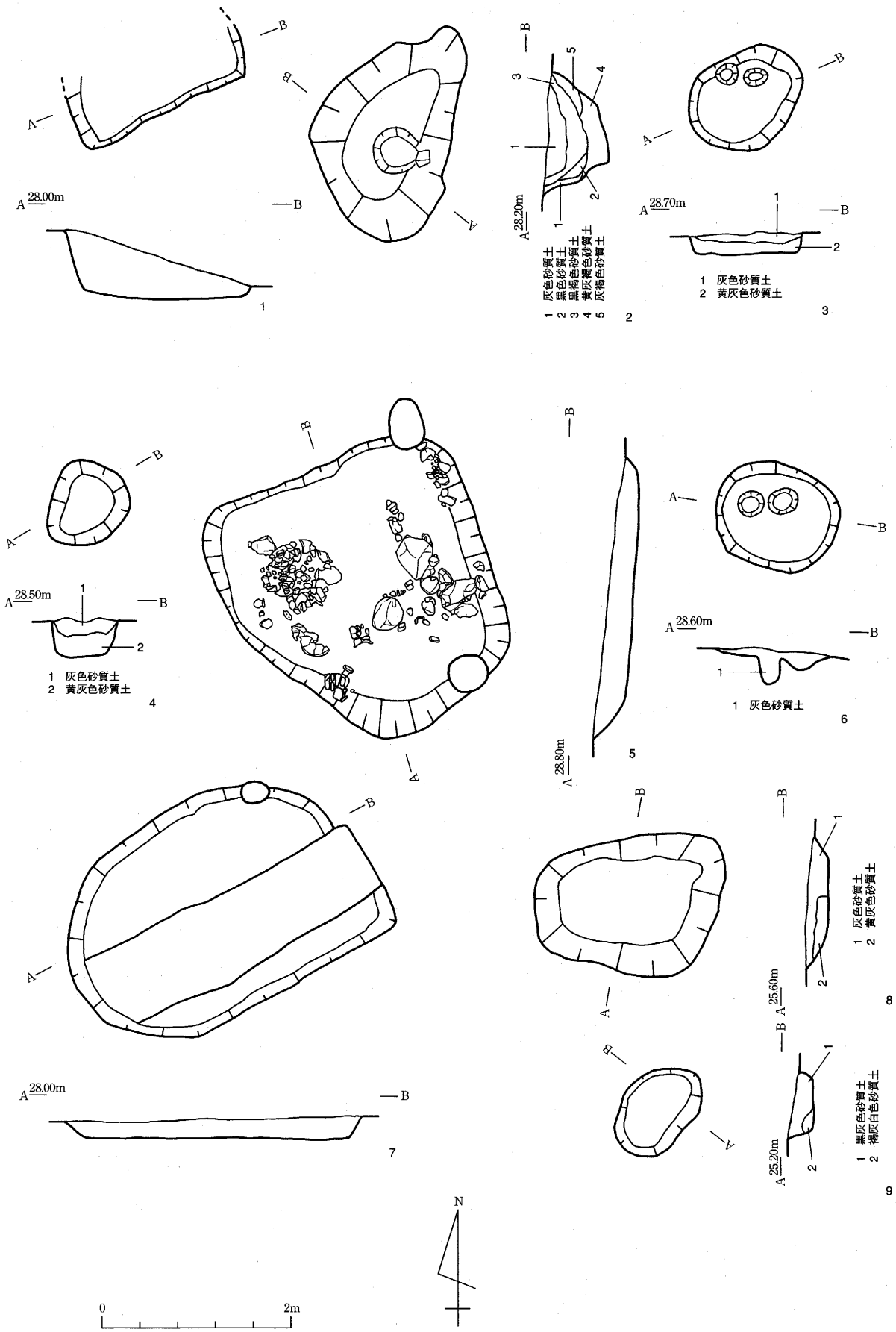
［遺構］Ｆ３ptの南方約５ｍに位置し、ＳＨ04とＳＨ12から等距離である。底面は平坦であり、柱穴跡等の遺構を伴わない。

［遺物］368の体部は中心部で屈曲するために算盤珠状の形態であり、口縁部は水平方向に広く開口する。369は胴が張らない形態であり、頸部から口縁部にかけては逆ハ字形に開口する。口縁上端部はつまみ上げられた形態である。

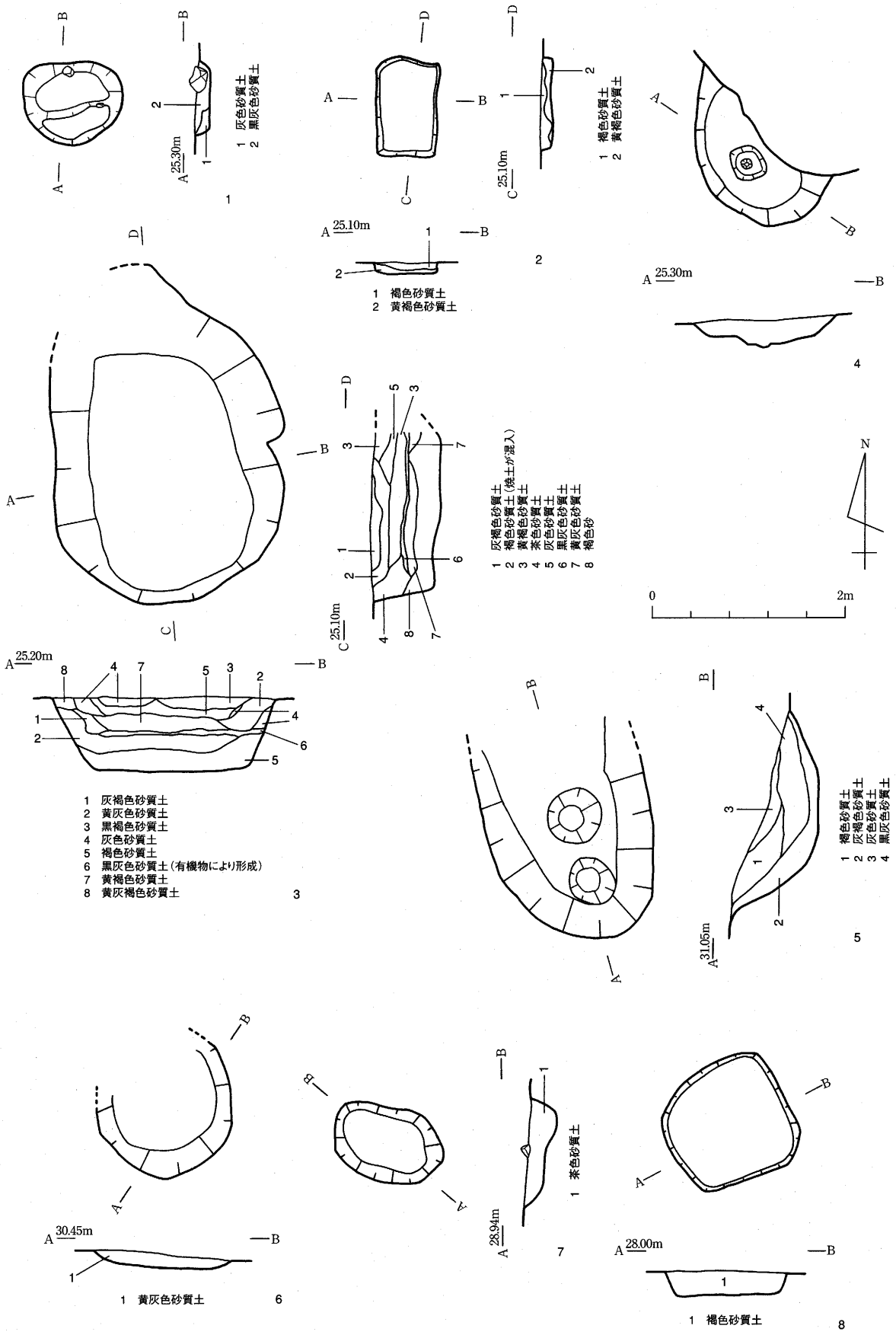
418は不整な剥片の長側縁部を加工している。



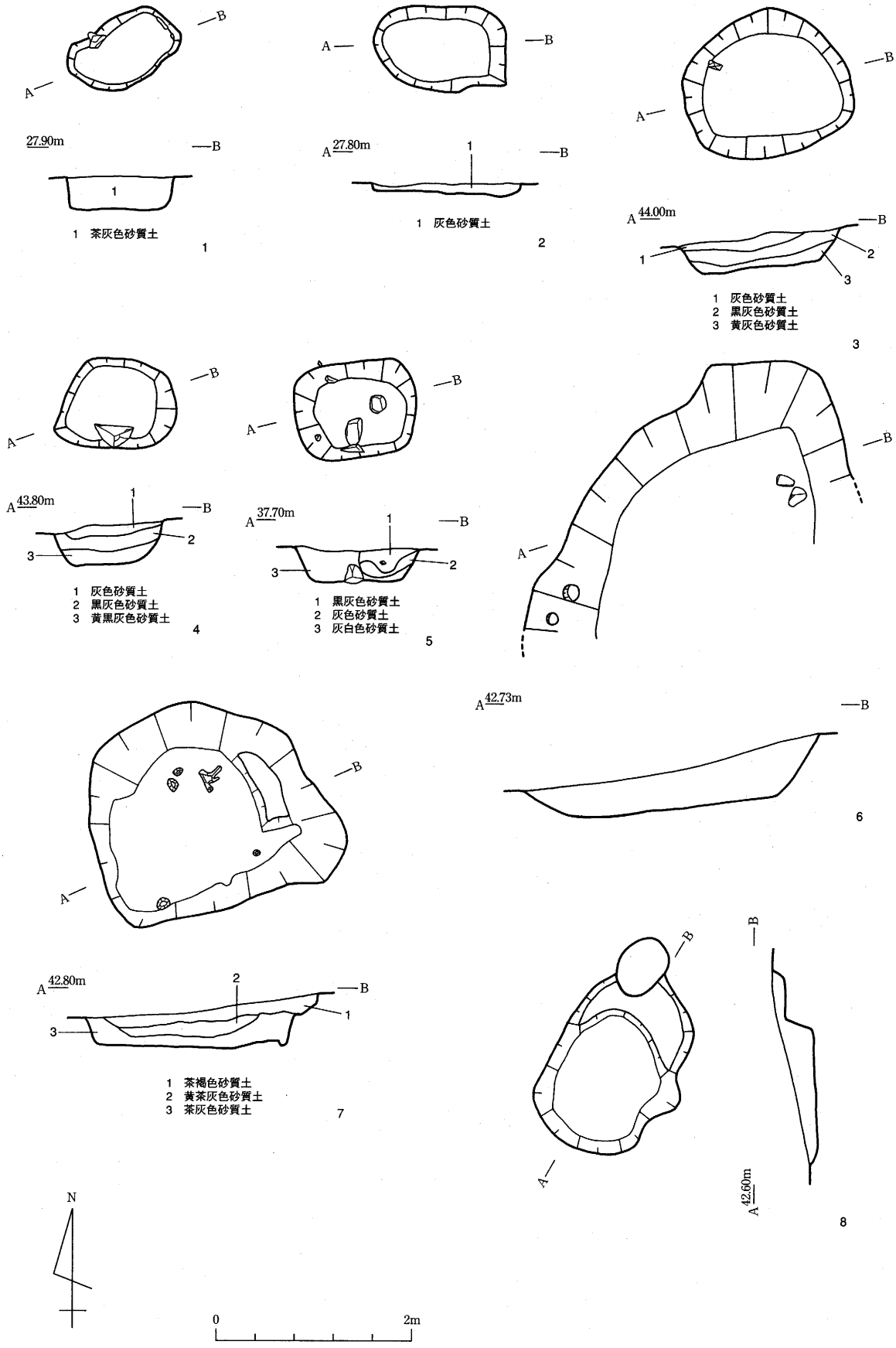
第43図　土坑遺構実測図１（1：ＳＫ01、2：ＳＫ02、3：ＳＫ03、4：ＳＫ04、5：ＳＫ05、6：ＳＫ06、7：ＳＫ07）



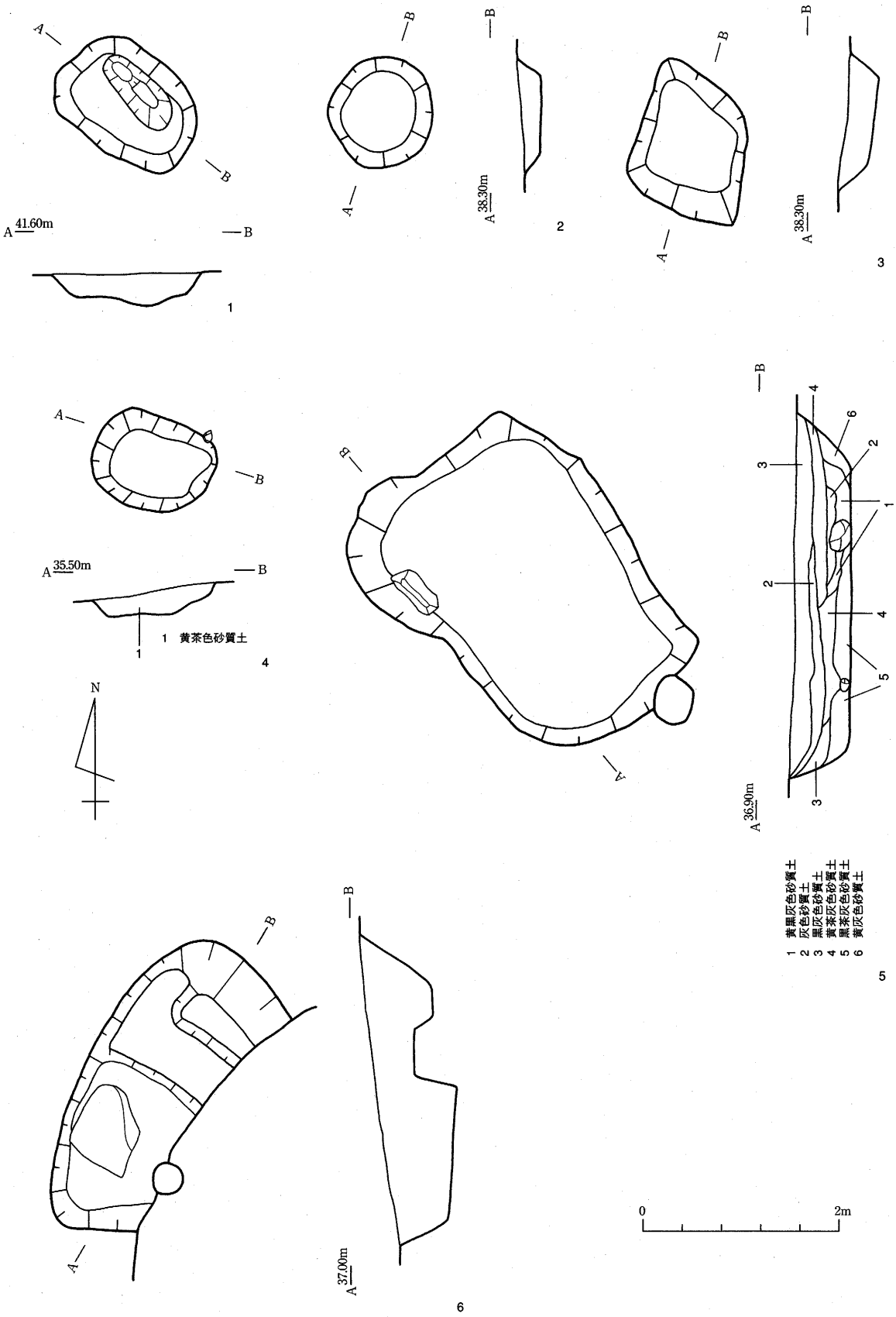
第44図　土坑遺構実測図２（1：ＳＫ08、2：ＳＫ09、3：ＳＫ10、4：ＳＫ11、5：ＳＫ12、6：ＳＫ13、7：ＳＫ14、8：ＳＫ15、9：ＳＫ16）



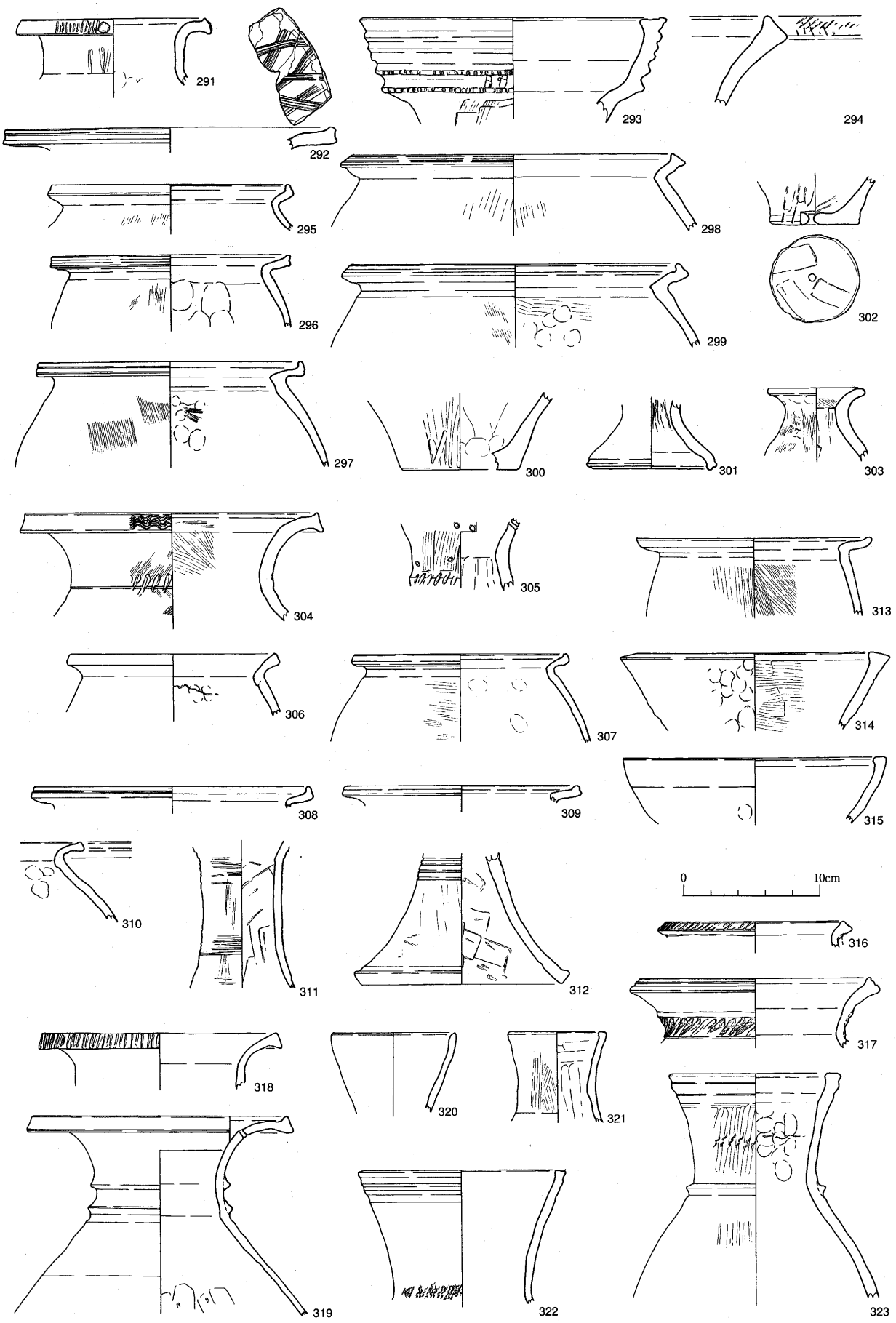
第45図　土坑遺構実測図３（1：ＳＫ17、2：ＳＫ18、3：ＳＫ19、4：ＳＫ20、5：ＳＫ21、6：ＳＫ22、7：ＳＫ23、8：ＳＫ24）



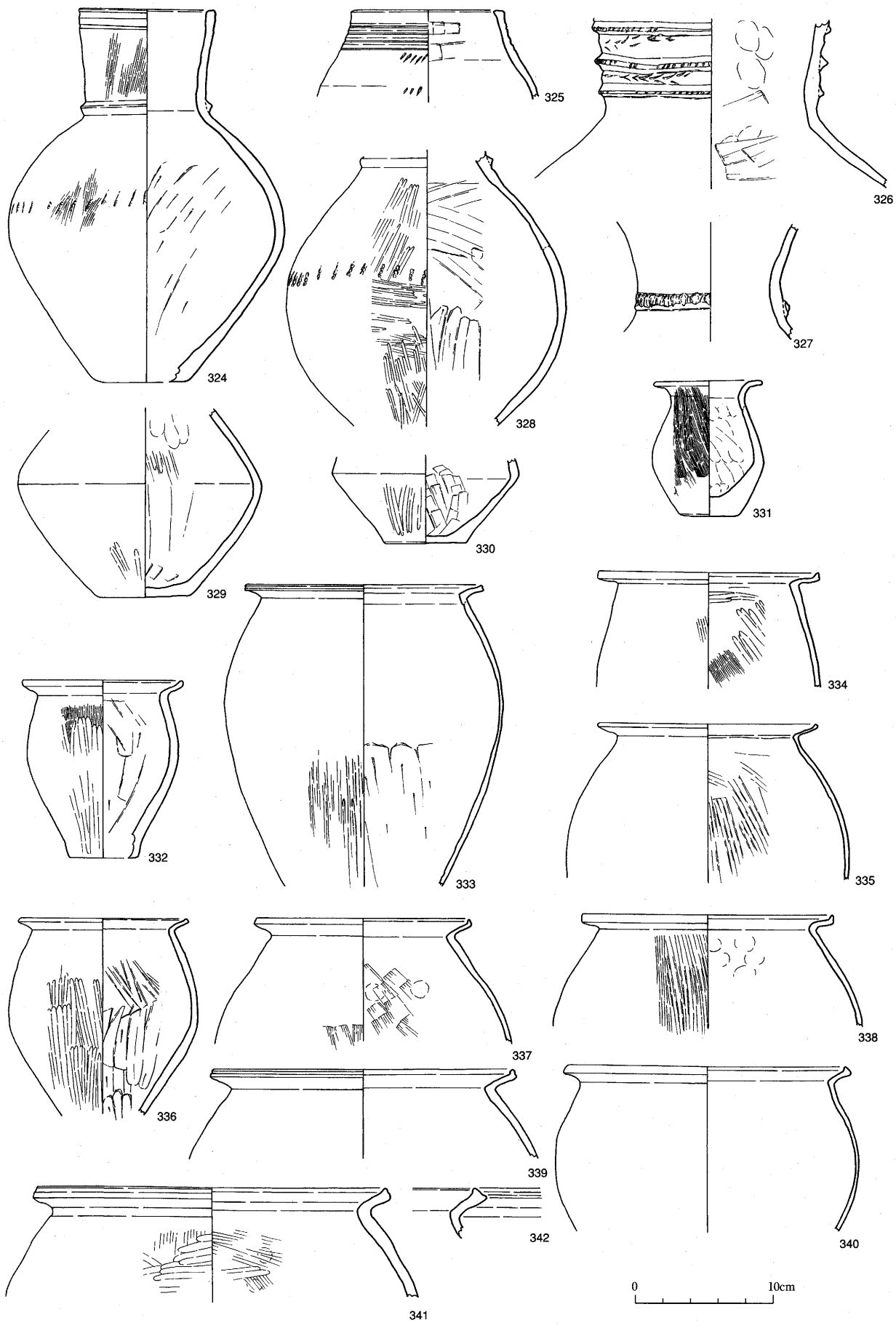
第46図　土坑遺構実測図４（1：ＳＫ25、2：ＳＫ26、3：ＳＫ27、4：ＳＫ28、5：ＳＫ29、6：ＳＫ30、7：ＳＫ31、8：ＳＫ32）



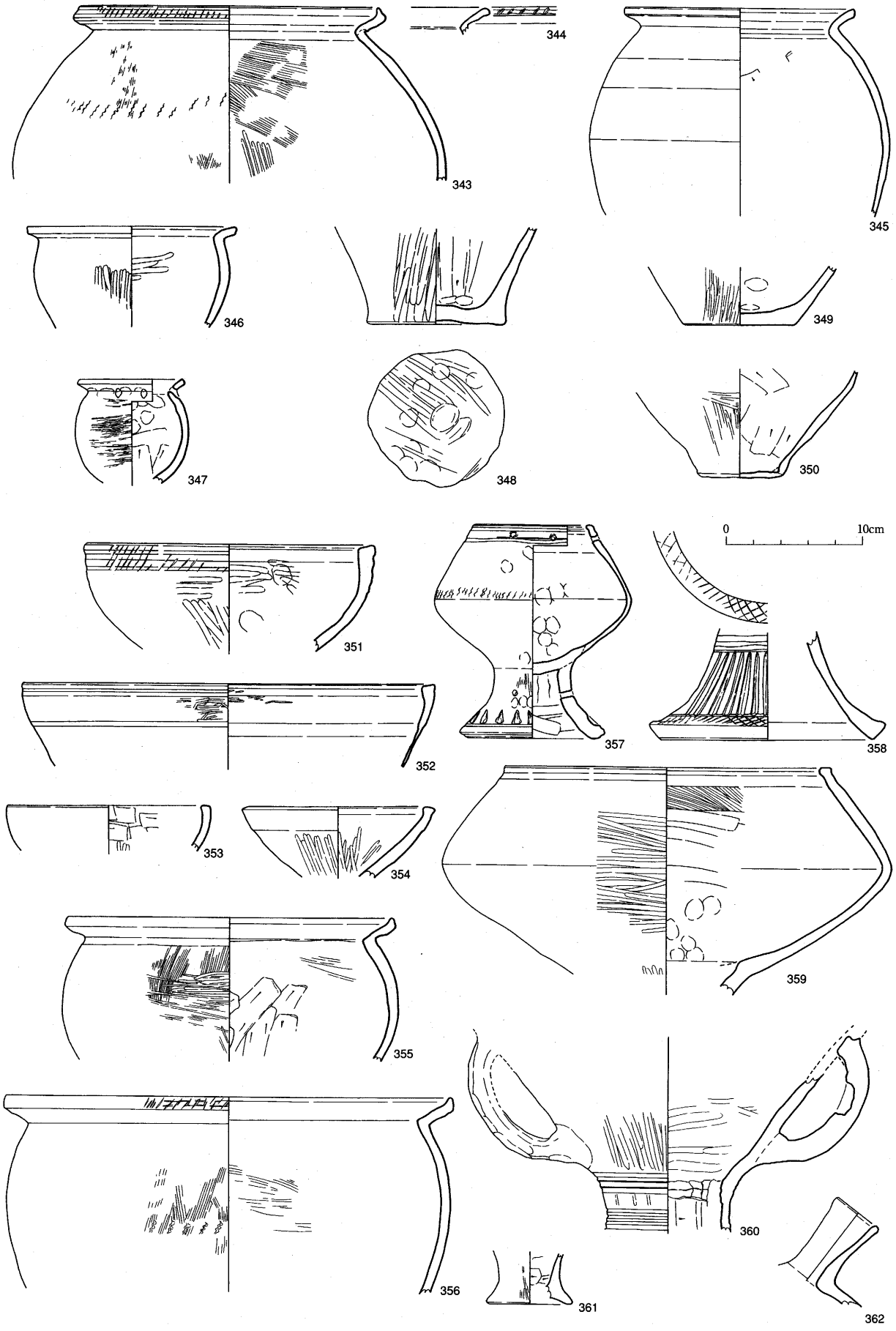
第47図　土坑遺構実測図５（1：ＳＫ33、2：ＳＫ34、3：ＳＫ35、4：ＳＫ36、5：ＳＫ37、6：ＳＫ38）



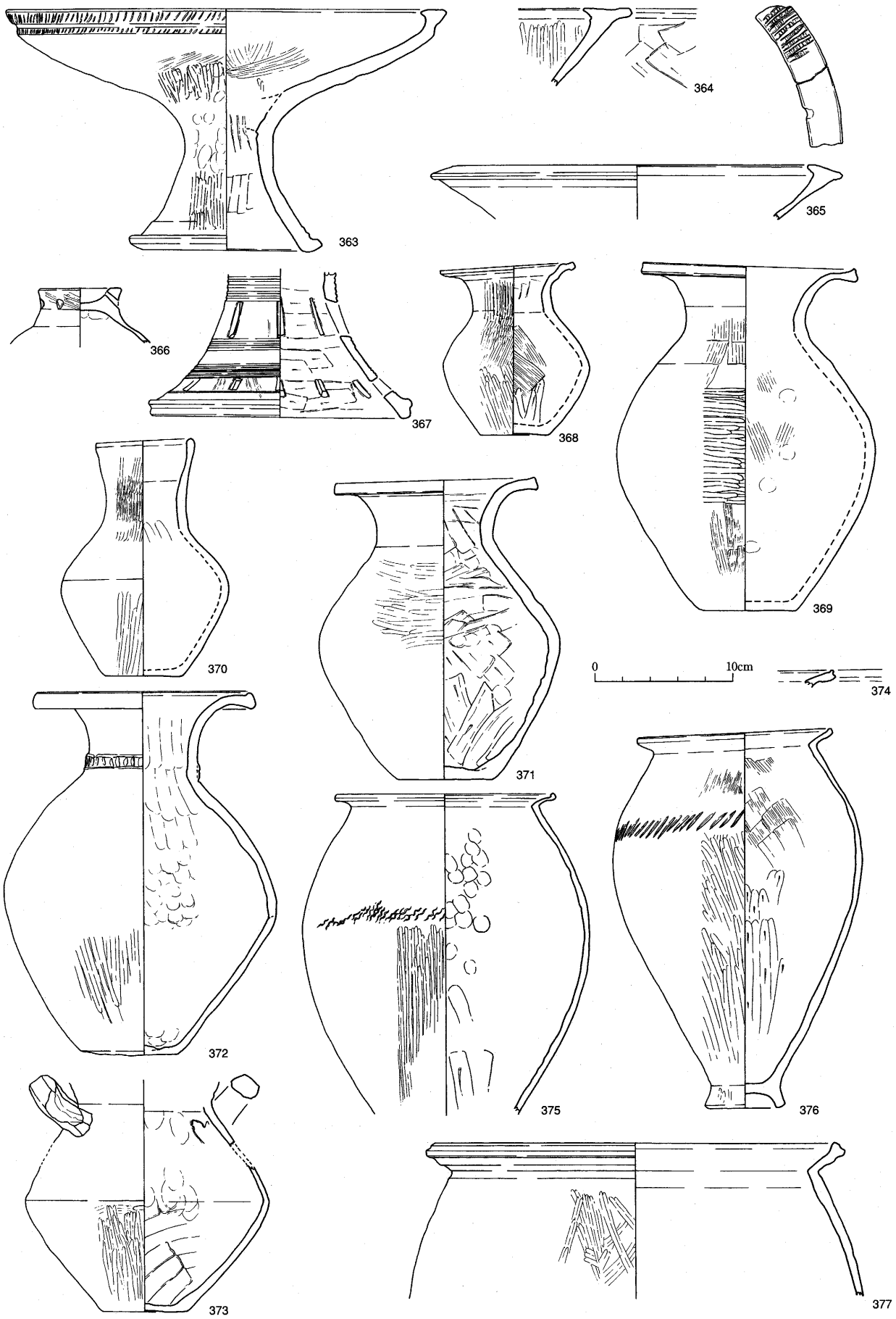
第48図　土坑遺物実測図１（291～303：ＳＫ01、304～312：ＳＫ02、313～315：ＳＫ06、316～323：ＳＫ12）



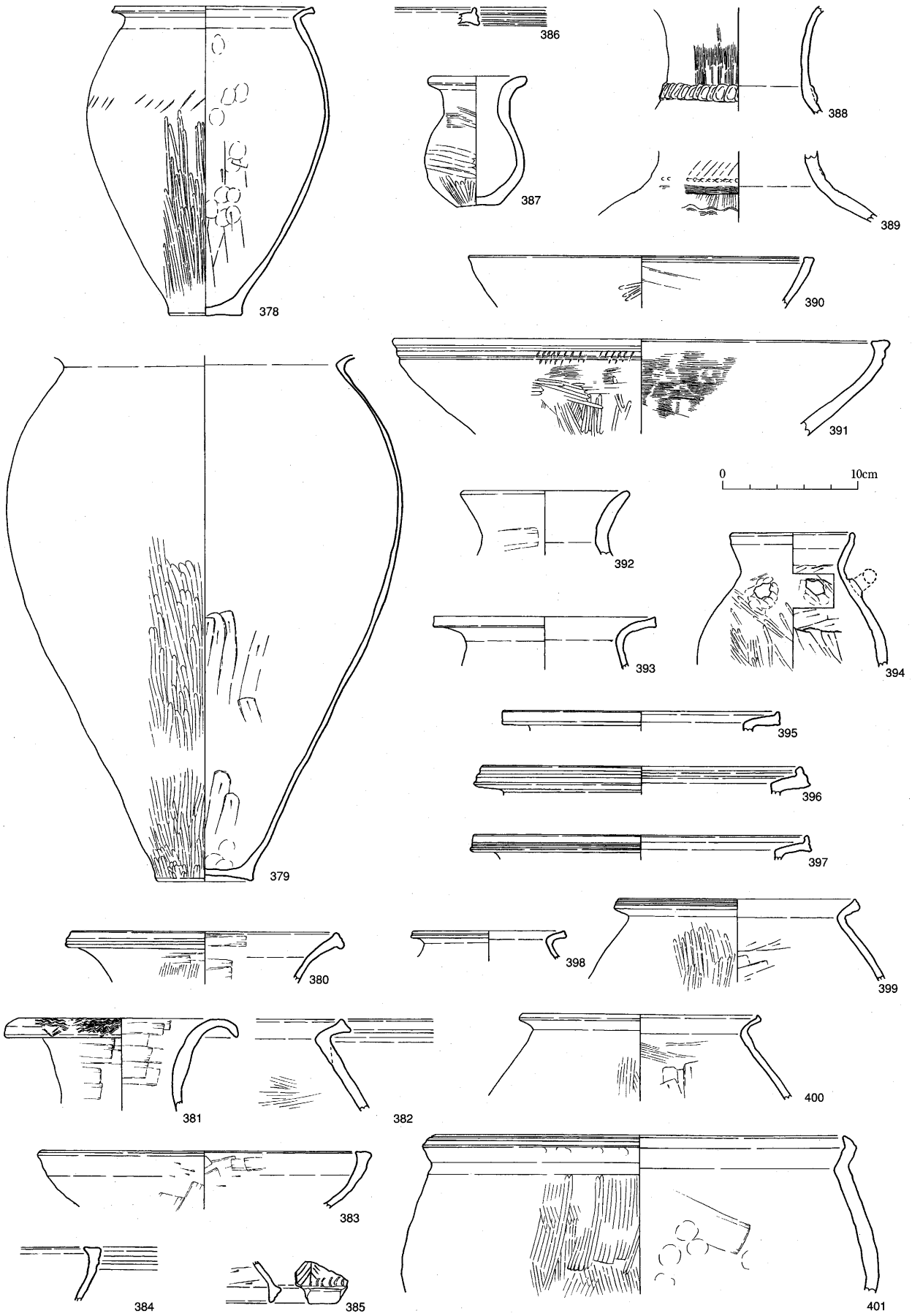
第49図　土坑遺物実測図２（324～342：ＳＫ12）



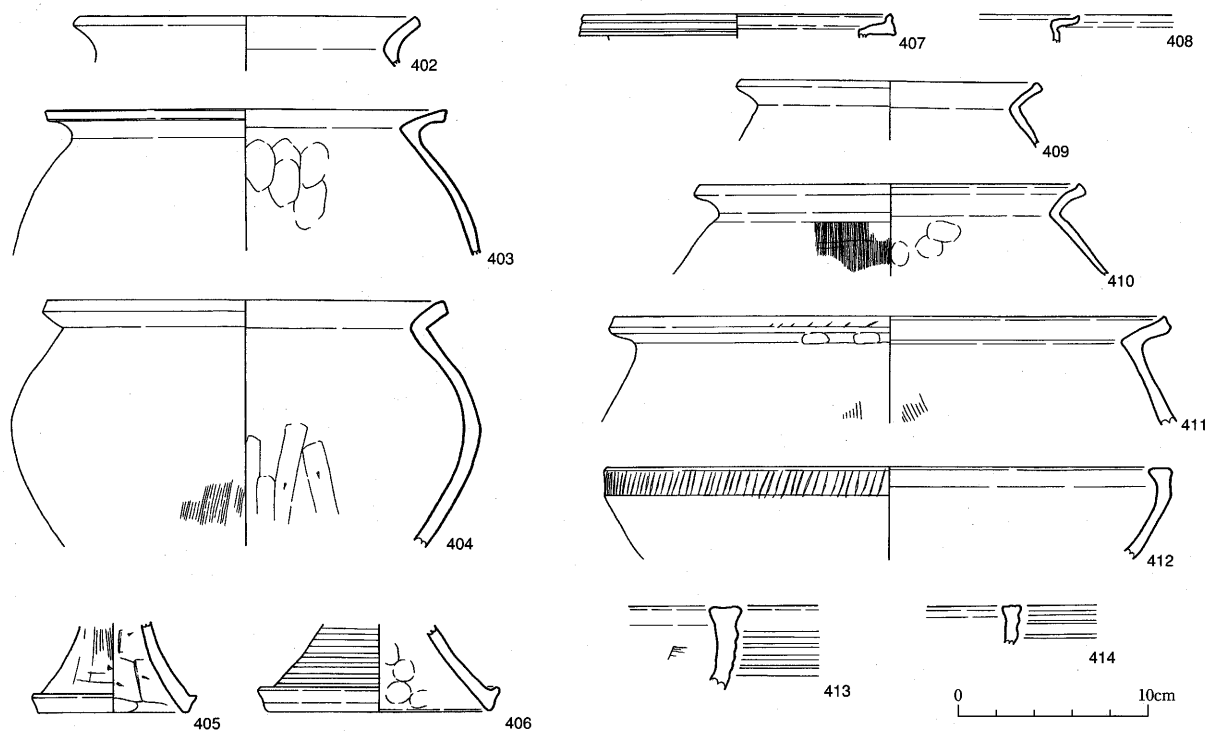
第50図　土坑遺物実測図３（343～362：ＳＫ12）



第51図　土坑遺物実測図４（363～367：ＳＫ12、368・369：ＳＫ14、370～377：ＳＫ19）



第52図　土坑遺物実測図５（378・379：ＳＫ19、380～385：ＳＫ21、386：ＳＫ28、387～391：ＳＫ30、392：ＳＫ31、393～401：ＳＫ37）



第53図　土坑遺物実測図６（402～406：ＳＫ37、407～414：ＳＫ38）

⑥ＳＫ19（第45・51・52図、図版８）

［遺構］Ｅ２ptの西方約３ｍに位置する。当該地は集落跡の西端部であり、最も近接したＳＨ15からも約15ｍ離れている。形態上の特徴は、壁面が垂直に近い急角度で直線的に掘り窪められていることと、底面が平坦なことである。埋土は主に基盤土が水平に堆積する状態を示し、間隙に有機物が腐食した土壌が少量存在する。

遺構の北半部において、底面から遊離した保存状態が良好な遺物を採取したことから、埋土が自然堆積の状態にない事実とともに人為的に埋め戻されたことがわかる。

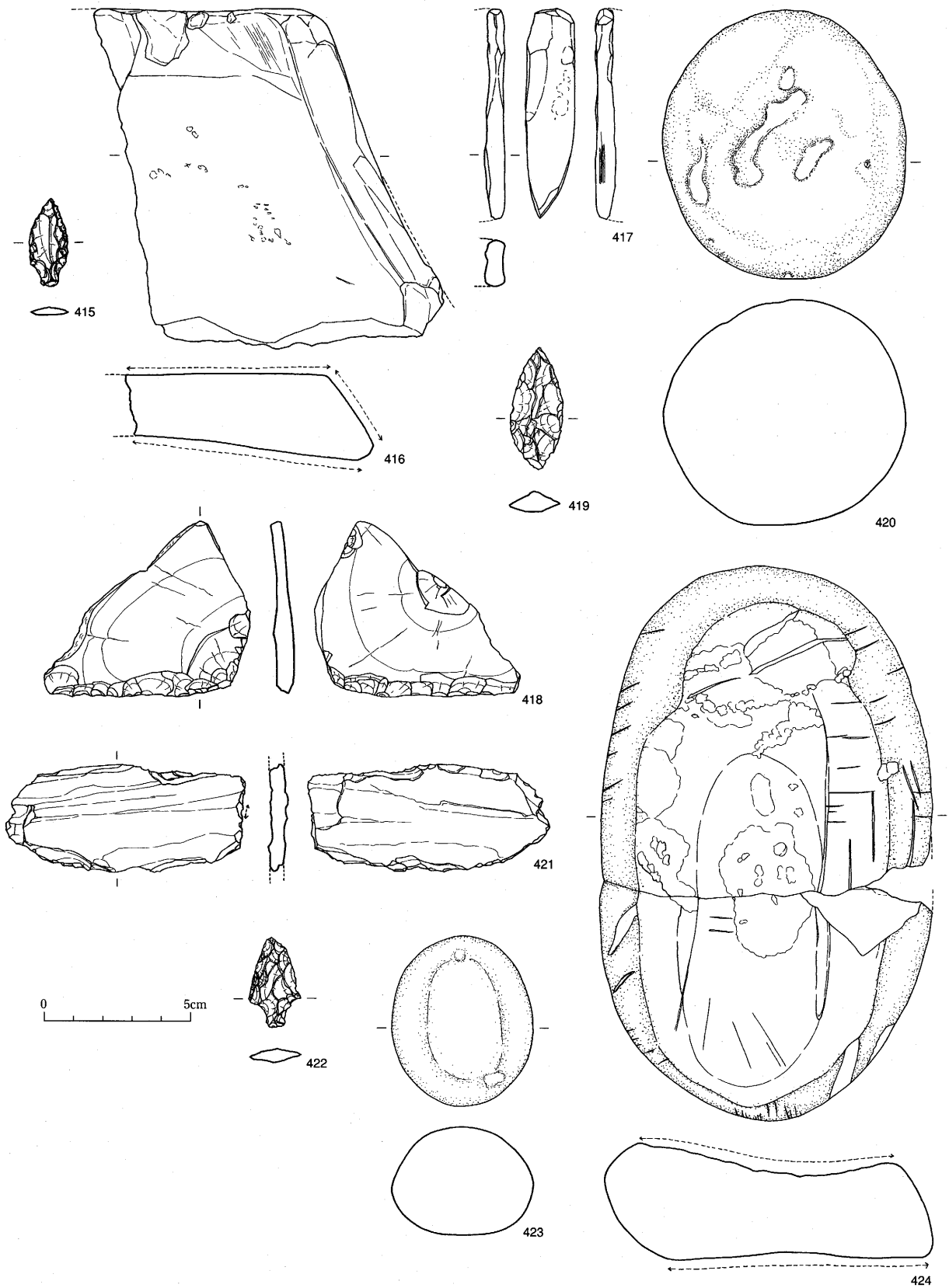
［遺物］370は頸部から口縁部にかけて直立し、端部は球状に丸く成形されている。体部は算盤珠状の形態である。371、372は体部が算盤形で、頸部から口縁部にかけて逆ハ字形に開口する形態である。373は把手が装着された水差し形の器種である。375、376、378、379は肩が張らない長い体部が特徴であり、前３者は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。375の肩部には二枚貝の殻を使用した刺突文があり、376の同部には棒状の工具による刺突文がある。

⑦ＳＫ21（第45・52・54図）

［遺構］Ｆ６ptの東方約２ｍに位置し、ＳＨ20に近接する。壁面は上部が緩く傾斜した後、底面中央部において下部が急傾斜に変化する。

［遺物］380の口縁部は逆ハ字形に開口して端部が肥厚されている。381の口縁部は端部が下方へ大きく垂下された形態である。383、384は口縁端部が内外方向へ肥厚されている。385は脚端部に広い端面が成形されている。

419は茎部の成形が不完全な形態である。



第54図　土坑遺物実測図７（415：ＳＫ08、416・417：ＳＫ12、418：ＳＫ14、419：ＳＫ21、420：ＳＫ35、421～424：ＳＫ37）

⑧ＳＫ28（第46・52図）

［遺物］385は口縁端部が上下方向に肥厚されて端面に凹線文が施されている。

⑨ＳＫ29（第46図、図版15）

［遺構］Ｄ11pt の北方約６ｍに位置する。整然とした平面形態を示すことと、底面が平坦であることから埋葬遺構の可能性もあるが、木棺跡等は存在しない。

⑩ＳＫ30（第46・52図）

［遺物］387は小型品であるが、精緻な成形である。388、389には直立する長い頸部があり、頸部の付け根には装飾のための凸帯が貼り付けられている。391は口縁端部が肥厚された形態であり、外面に凹線文が施されている。

⑪ＳＫ31（第46・52図、図版21）

［遺構］Ｃ12pt の北方約３ｍに位置し、ＳＨ29との距離は約２ｍである。整然とした平面形態を示すことと、底面が平坦なことが形態上の特徴であり、埋土の縦断面の観察により東壁面の下部に小規模な窪みが認められたことから木棺を使用した埋葬遺構と考えることが適当である。木棺の材料や遺体は残存しない。

［遺物］392は頸部の位置が不明瞭な器種で、短い口縁部が逆ハ字形に開口する形態である。

⑫ＳＫ37（第47・52～54図）

［遺構］Ｄ10pt の北東方約14mに位置し、ＳＨ36が埋没した後にその北半中央部の位置に掘り込まれている。平面形態と縦横断面が箱型の整然とした形態である点が特徴である。

［遺物］394は把手が装着された水差し形の器種である。395～401は口縁上端部がつまみ上げられた形態であり、395～397の口縁部が水平方向に開口するのに対して、399～401のそれはく字形に屈曲している。402～404の口縁部は端部が細く成形された形態である。405、406は脚上端部が突出して、広い端面が作り出されている。

421は長軸の両端部に抉りが成形されていたことがわかる。

⑬ＳＫ38（第47・53図）

［遺構］Ｃ10pt の東方約７ｍに位置し、ＳＨ31の建築によって東壁面が失われている。壁面の傾斜が急角度であることと、底面が南半部が深い２段構造であることが特徴である。

［遺物］407は口縁上端部が肥厚されて端面に凹線文が施されている。408～411は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。412の口縁部外面には細い棒状の工具を使用したキザミメがある。

(3) 溝状遺構

①ＳＤ02・03・04・05（第55図）

［遺構］ＩＡ区のＳＨ09の北壁面の外側で検出した。いずれも南西から北東方向へ地形の傾斜に沿って直線的に流下していることから、自然流路の可能性もあるが、集落外への排水を意図して開削されたことも考える必要がある。

②ＳＤ08（第56図）

［遺物］425は頸部から口縁部にかけての変化点が不明瞭な形態で、水平気味に開口した後に口縁上端部がつまみ上げられている。

③ＳＤ09（第56図）

［遺物］426は口縁端部が肥厚されて端面に波状文が施されている。428、429は口縁上端部がつまみ上

第４表　溝状遺構一覧表

遺構名	地区	方向性	規模（cm）			挿図番号	図版番号
			延長	幅	深さ		
ＳＤ01	ＩＡ	北東－南西	425	35	29	－	－
ＳＤ02	ＩＡ	南－北	230	40	19	－	－
ＳＤ03	ＩＡ	南－北	270	40	14	－	－
ＳＤ04	ＩＡ	北東－南西	250	40	30	55	－
ＳＤ05	ＩＡ	北東－南西	175	50	26	－	－
ＳＤ06	ＩＢ	北東－南西	790	220	27	－	－
ＳＤ07	ＩＢ	北東－南西	100	45	29	－	－
ＳＤ08	ＩＣ	北東－南西	435	90	23	56	－
ＳＤ09	ＩＣ	北東－南西	360	140	11	56	－
ＳＤ10	ⅡＡ	北東－南西	445	280	44	55	－
ＳＤ11	ⅡＡ	北西－南東	555	305	57	55・56・64	－
ＳＤ12	ⅡＡ	北東－南西	690	160	55	56・57・64	－
ＳＤ13	ⅡＡ	北東－南西	335	90	39	64	－
ＳＤ14	ⅡＡ	北東－南西	355	100	61	－	－
ＳＤ15	ⅡＢ	北東－南西	280	230	15	58	－
ＳＤ16	ⅡＢ	南－北	1650	460	90	58～61・64・65	－
ＳＤ17	ⅡＢ	北東－南西	820	370	35	62・65	－
ＳＤ18	ⅡＢ	北東－南西	1120	245	61	55・62	－
ＳＤ19	ⅡＢ	北東－南西	675	320	37	55	－
ＳＤ20	ⅡＢ	北東－南西	540	145	45	62	－
ＳＤ21	ⅡＢ	北東－南西	515	585	99	55・62・65	－
ＳＤ22	ⅡＢ	北東－南西	890	205	77	63・66	－

げられた形態である。

④ＳＤ11（第55・56・64図）

［遺物］431は口縁部が小さく開口して端部が受け口状の形態である。432、433は口縁下端部が垂下する器種である。434、435は肩が張らない形態で、短く屈折した口縁部が特徴である。438は半球形の体部で、口縁端部に小さい端面が成形されている。口縁部外面には幅広の凹線文が間隔を空けて施されている。441、442の脚端部は肥厚されて広い端面が成形されている。443は蓋様の粗製品である。

⑤ＳＤ12（第56・57・64図）

［遺物］444の口縁下端部が鉛直方向に大きく垂下されて広い端面が成形された理由は、刺突文や凹線文の施文を可能にして装飾性を高めるためである。445、446の口縁部は逆ハ字形に開口して端部が肥厚される形態であり、端面は円形浮文や凹線文で装飾される。446の頸部には幅広の凹線文が間隔を空けて施されている。451は短く頸部と水平気味に開口する口縁部が特徴である。452の口縁部は頸部の付け根部分から端部にかけて屈曲点がない逆ハ字形の形態である。頸部外面には凹線文や棒状浮文が施されている。453は直立気味に開口する口縁部である。454の口縁部は短く直立する形態である。456～460は口縁端部が肥厚された器種である。461、463は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。468は口縁端部が内外方向に肥厚されて端面が成形されている。474は張り出し部の下端部が垂下された形態である。477～479の脚端部は肥厚された形態で前２者は端面に凹線文が施されている。

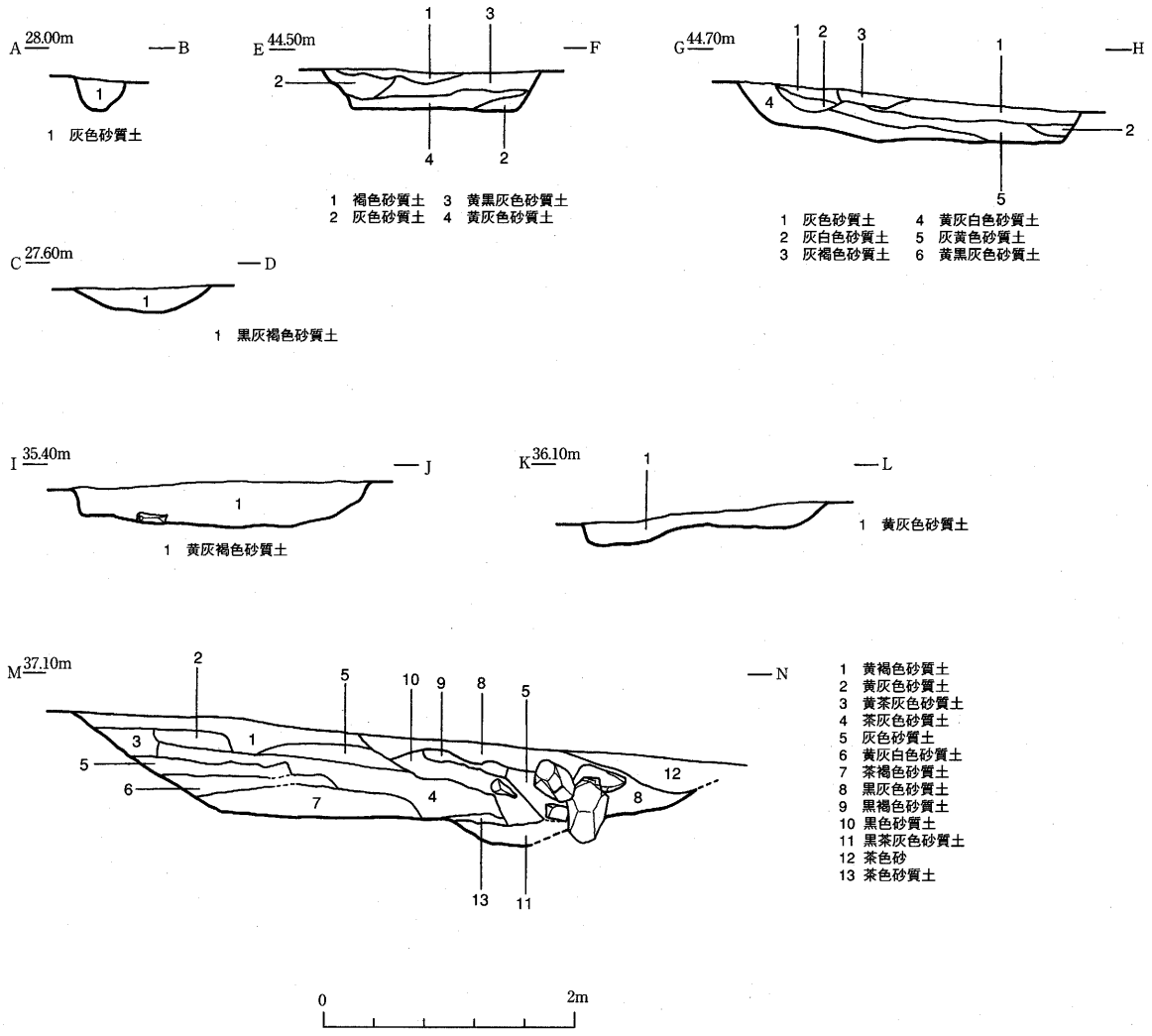
650は無茎凹基式、651～654は有茎凸基式の形態である。656、657は長側縁部を一部を刃部に加工した器種である。659は使用痕がないため製作中に破損した可能性がある。

⑥ＳＤ15（第58図）

［遺物］483は口縁部が高く直立する形態で外面に７条の凹線文が施される。器壁の厚さが均等な精巧な器種である。484の口縁部は水平方向に開口し端部が肥厚されて凹線文が施される。485は口縁部と頸部が直線的な形態であるために屈曲点が明瞭である。486の口縁部は受け口状であり、端部が肥厚されている。

⑦ＳＤ16（第58～61・64・65図）

［遺構］ⅡＢ区の最高所である丘陵の西側の裾部に沿って直線的に流下する遺構である。調査範囲が制限されたために全体の調査は行えなかったが、下流の竪穴住居跡群の出現前から存在し、同群の出現当時も規模が縮小しながら維持されていたことがわかる。



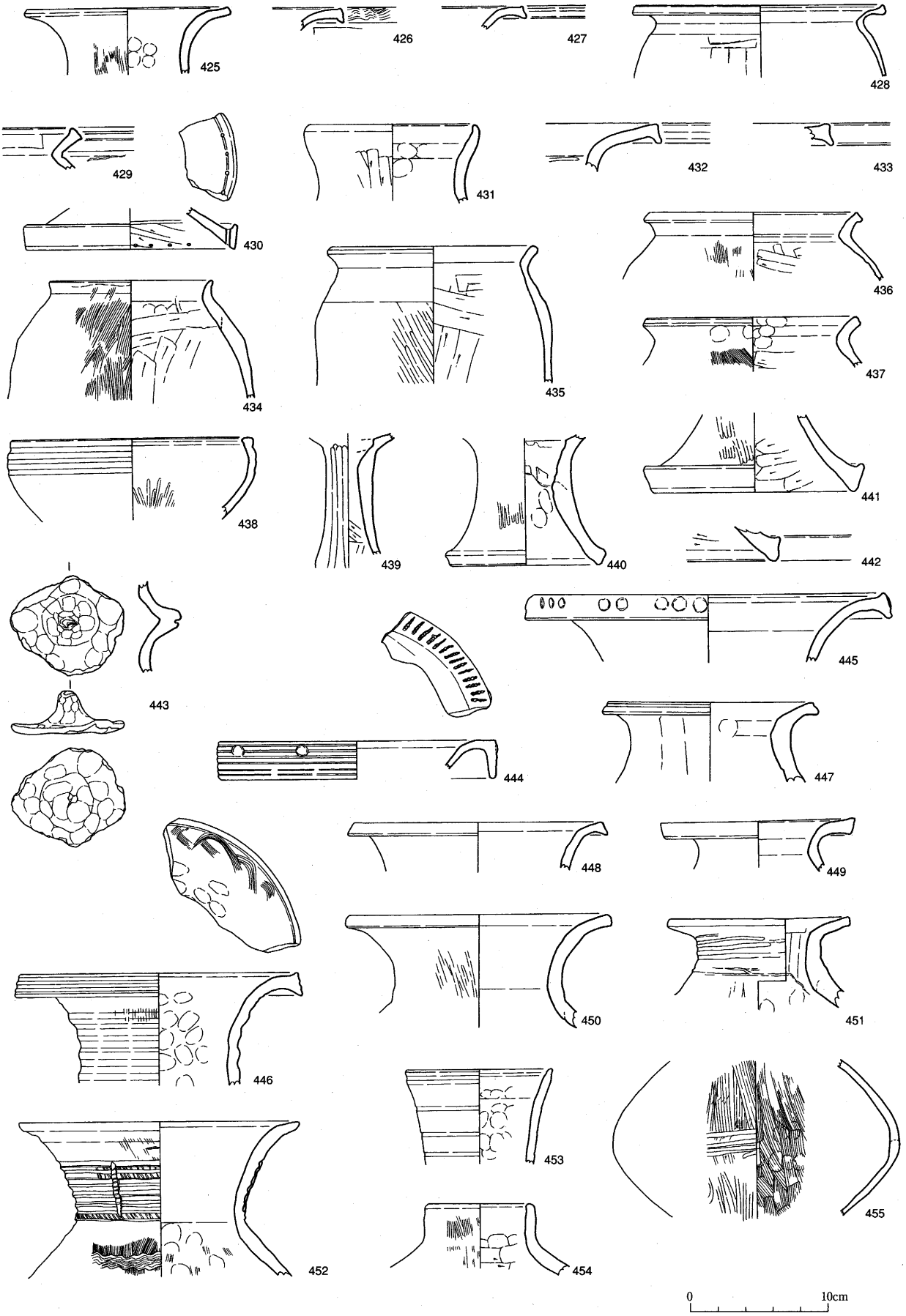
第55図　溝状遺構土層序断面実測図

［遺物］490は直立する頸部と短く外反する口縁部が特徴である。491～502は口縁部が水平方向に広く開口する形態で端部が肥厚されて凹線文が施されている。503～506の口縁下端部は垂下気味の形態である。口縁部内面に斜格子文があるように装飾性が高い器種である。508～510は頸部が不明瞭なことと短い口縁部が鋭角的に開口することが特徴である。512～514は口縁部が直立気味の逆ハ字形に開口する形態で頸部に幅広の凸帯が貼り付けられている。515～518は長い口縁部が直立あるいは受け口状に立ち上がる大型品で外面は幅広の凹線文やキザミメで飾られる。519～522は口縁端部が上下に肥厚された形態である。523～525の口縁部は水平方向に開口して上端部が高く引き上げられている。529～544は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。545～552は口縁端部の成形が簡素化されて先細か丸く仕上げられたものである。553～562は口縁上端部がつまみ上げられて端面が広く成形された大型品である。鉢には口縁端部が肥厚されたもの（566～569）と肥厚されないもの（570）がある。前者は口縁部外面に幅広で間隔の広い凹線文が施されている。高杯には口縁部外面の張り出し部の下端部が垂下された器種（572）と口縁部が内外方向に肥厚されて外面に凹線文が施される器種（573～579）があるが、後者の占める割合が多い。582は円盤充填の状態が明瞭である。583～537の脚端部は肥厚された形態である。590には紐掛けのための穿孔がある。

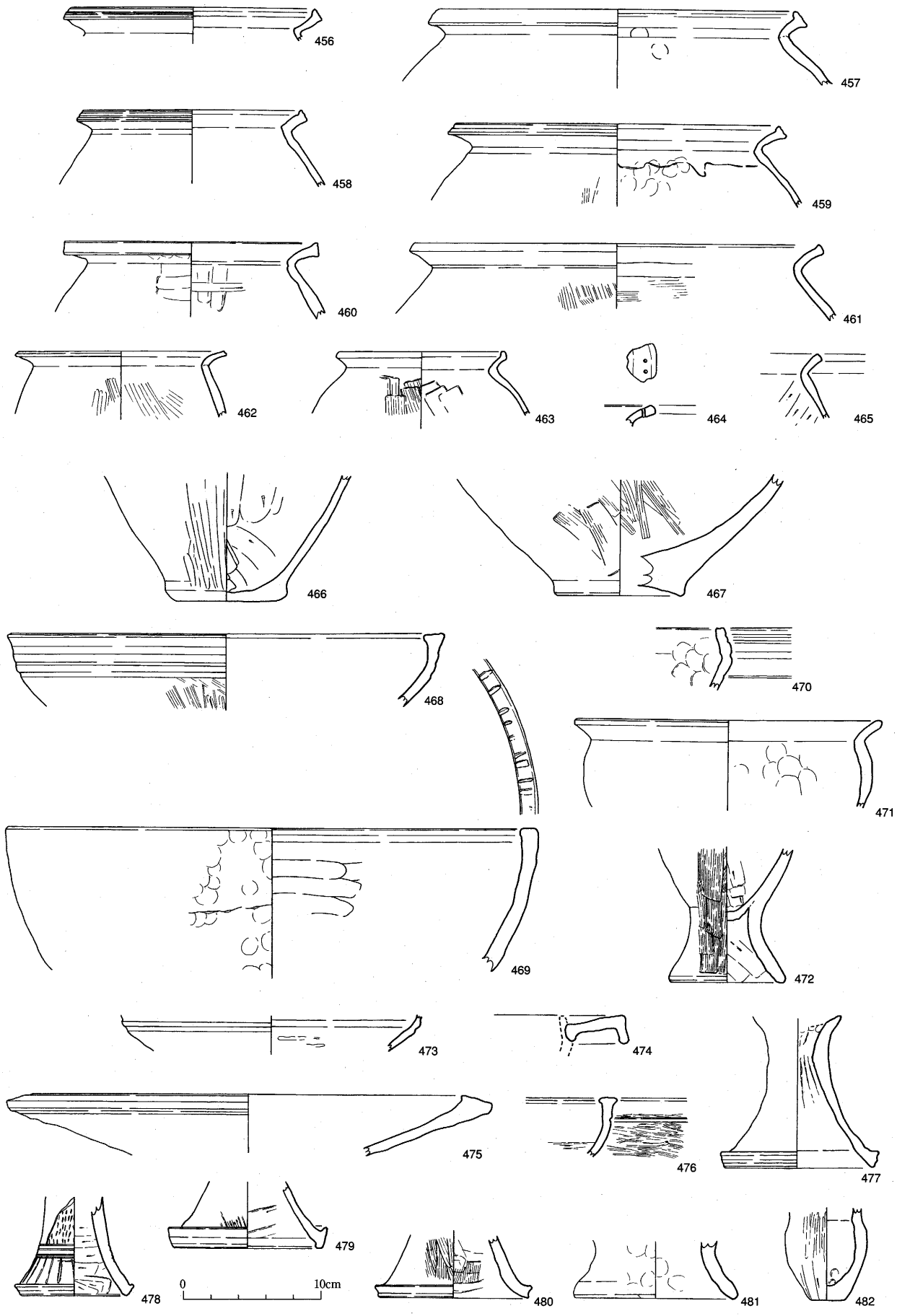
666は長軸の両端部に抉りを成形した器種である。

⑧ＳＤ17（第62・65図）

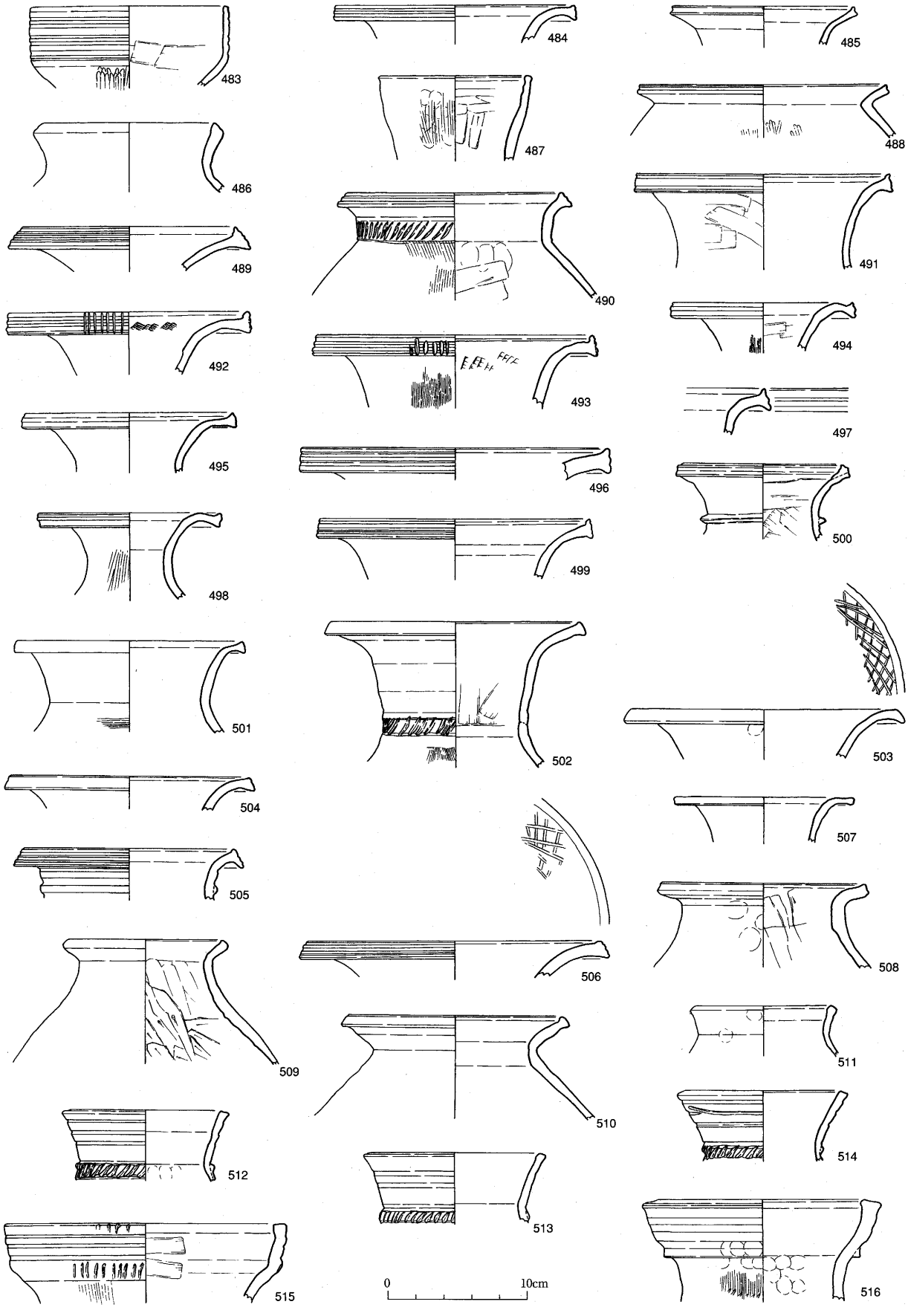
［遺物］592は頸部が直立し、口縁部が水平気味に開口する形態である。口縁端部は上下に肥厚されて



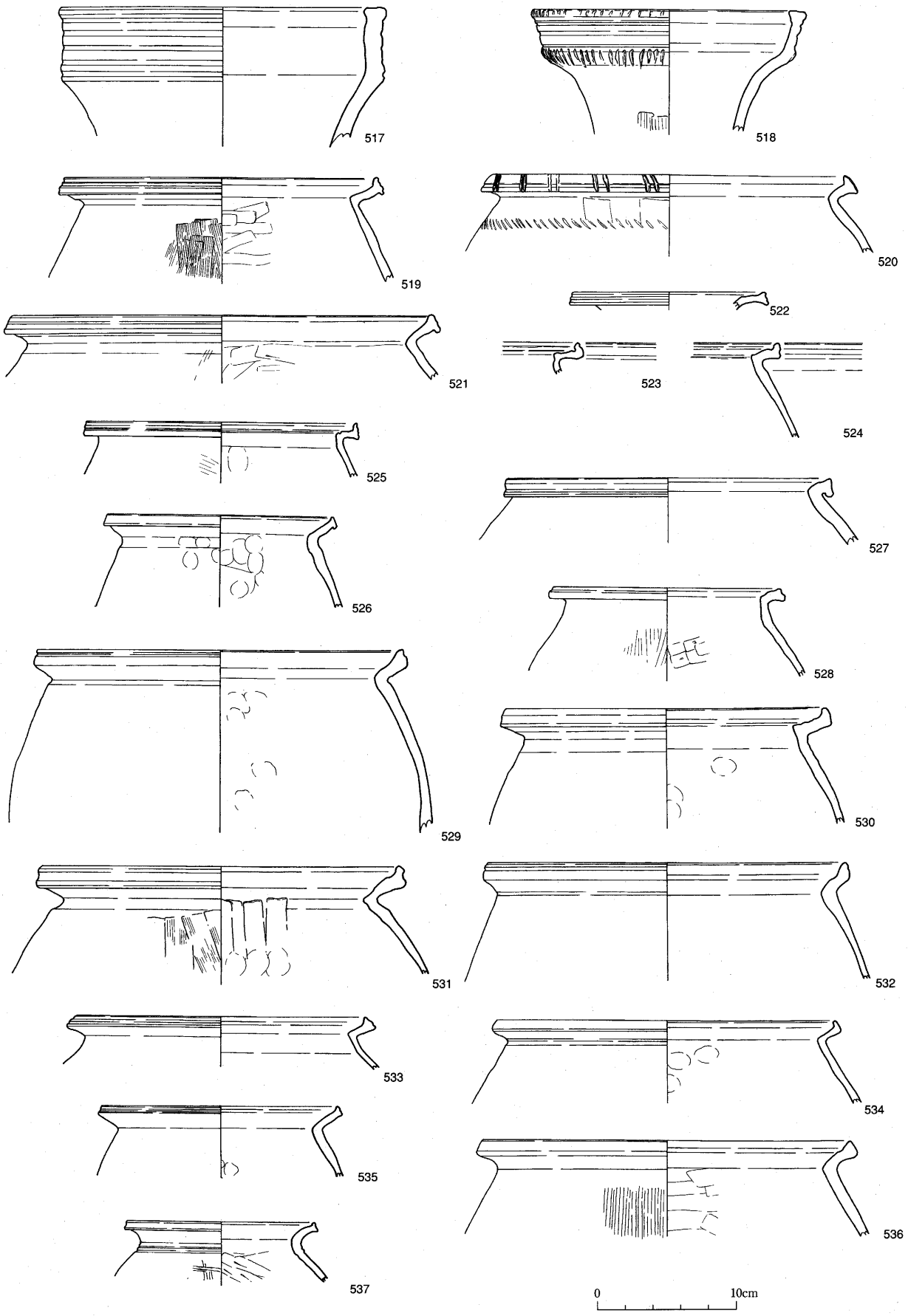
第56図　溝状遺構遺物実測図１（425：ＳＤ08、426～430：ＳＤ09、431～443：ＳＤ11、444～455：ＳＤ12）



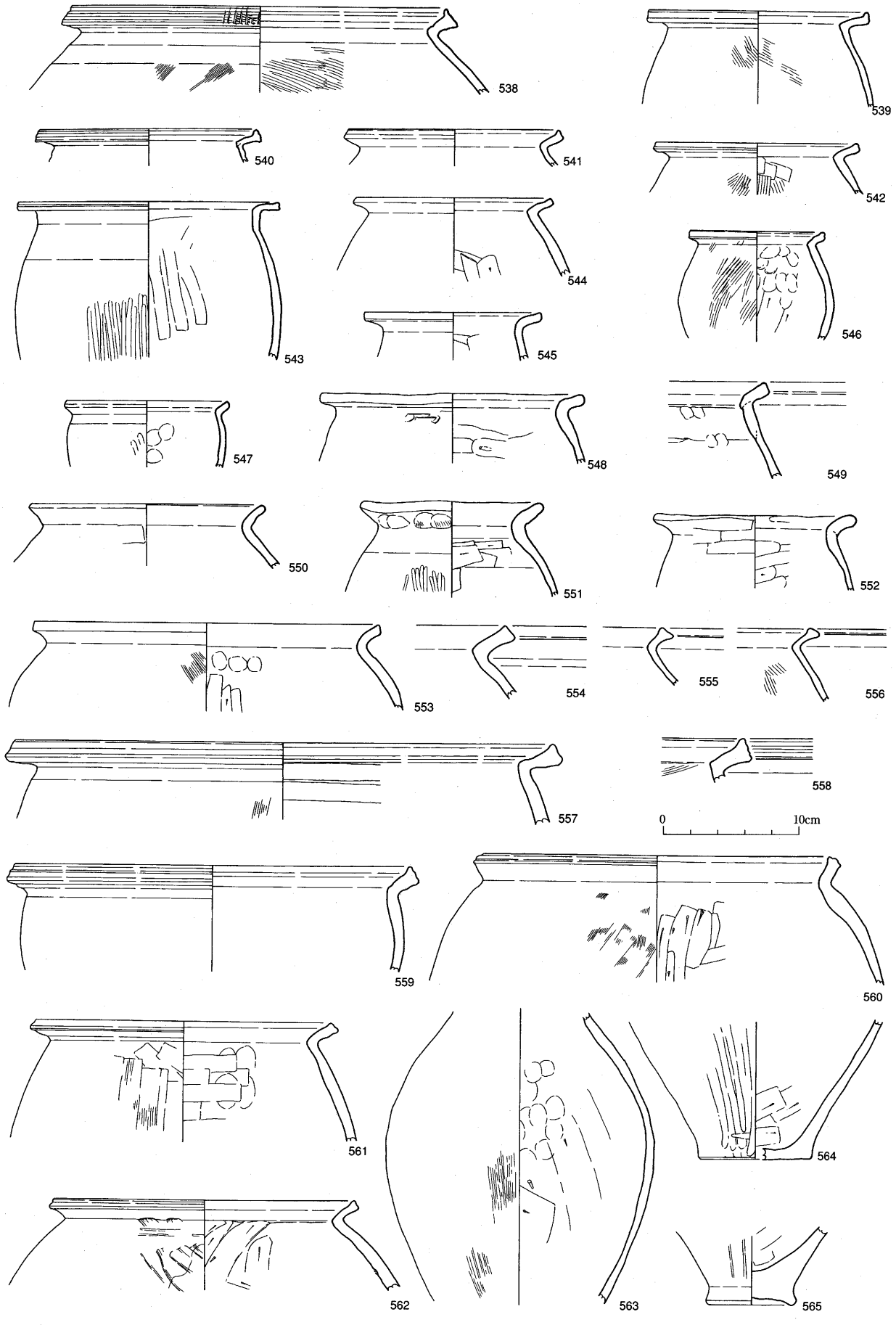
第57図　溝状遺構遺物実測図２（456～482：ＳＤ12）



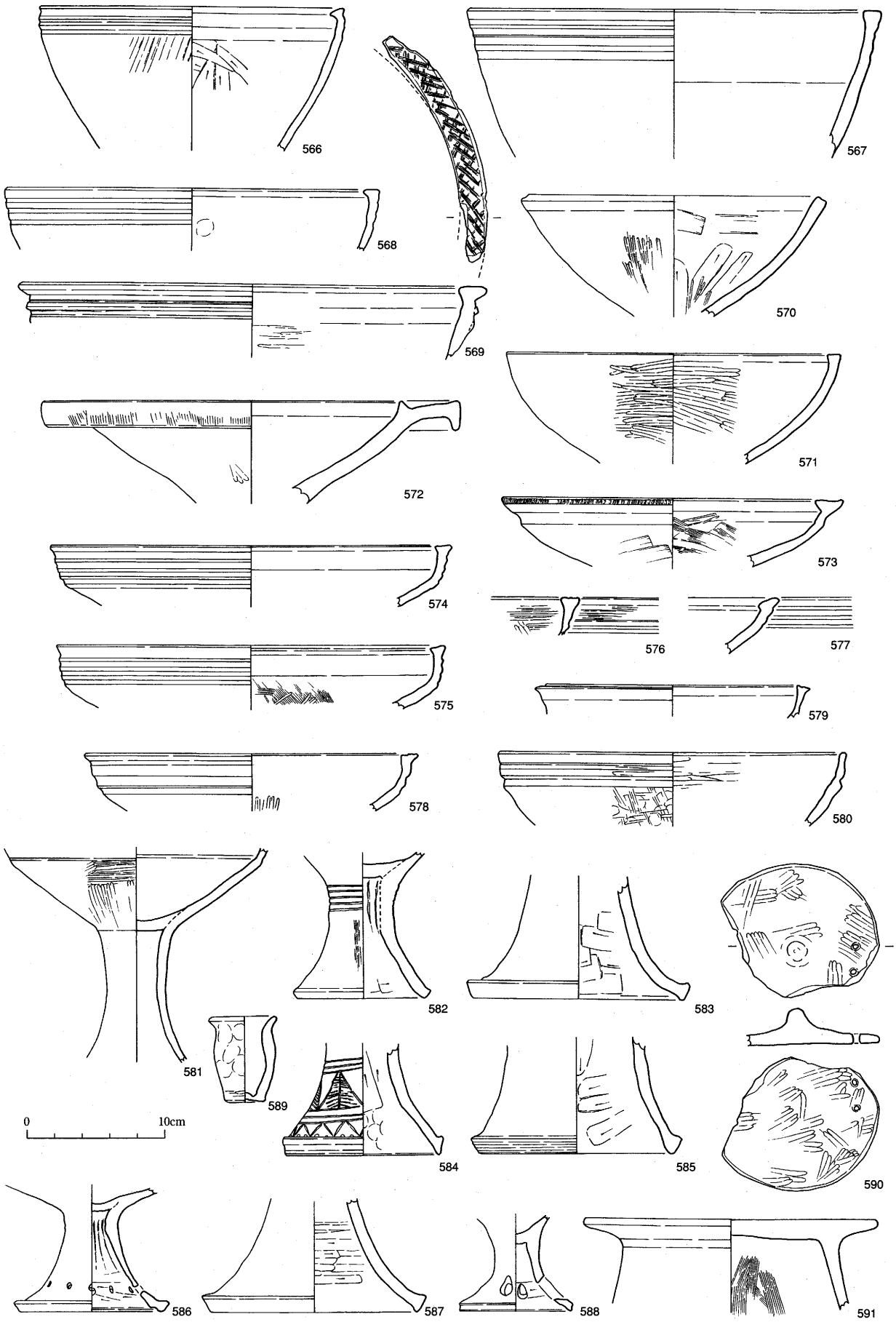
第58図　溝状遺構遺物実測図３（483～488：ＳＤ15、489～516：ＳＤ16）



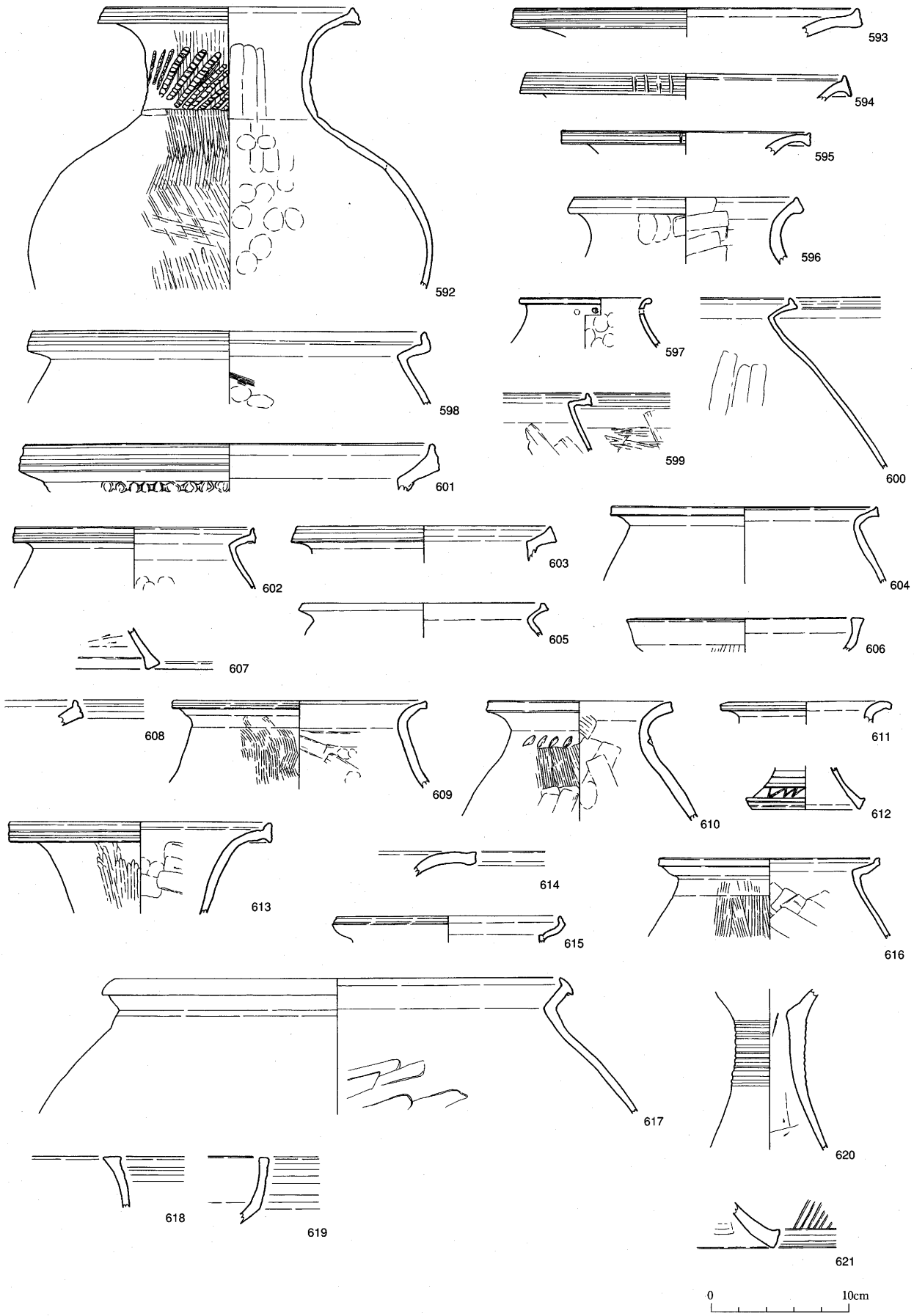
第59図　溝状遺構遺物実測図４（517～537：ＳＤ16）



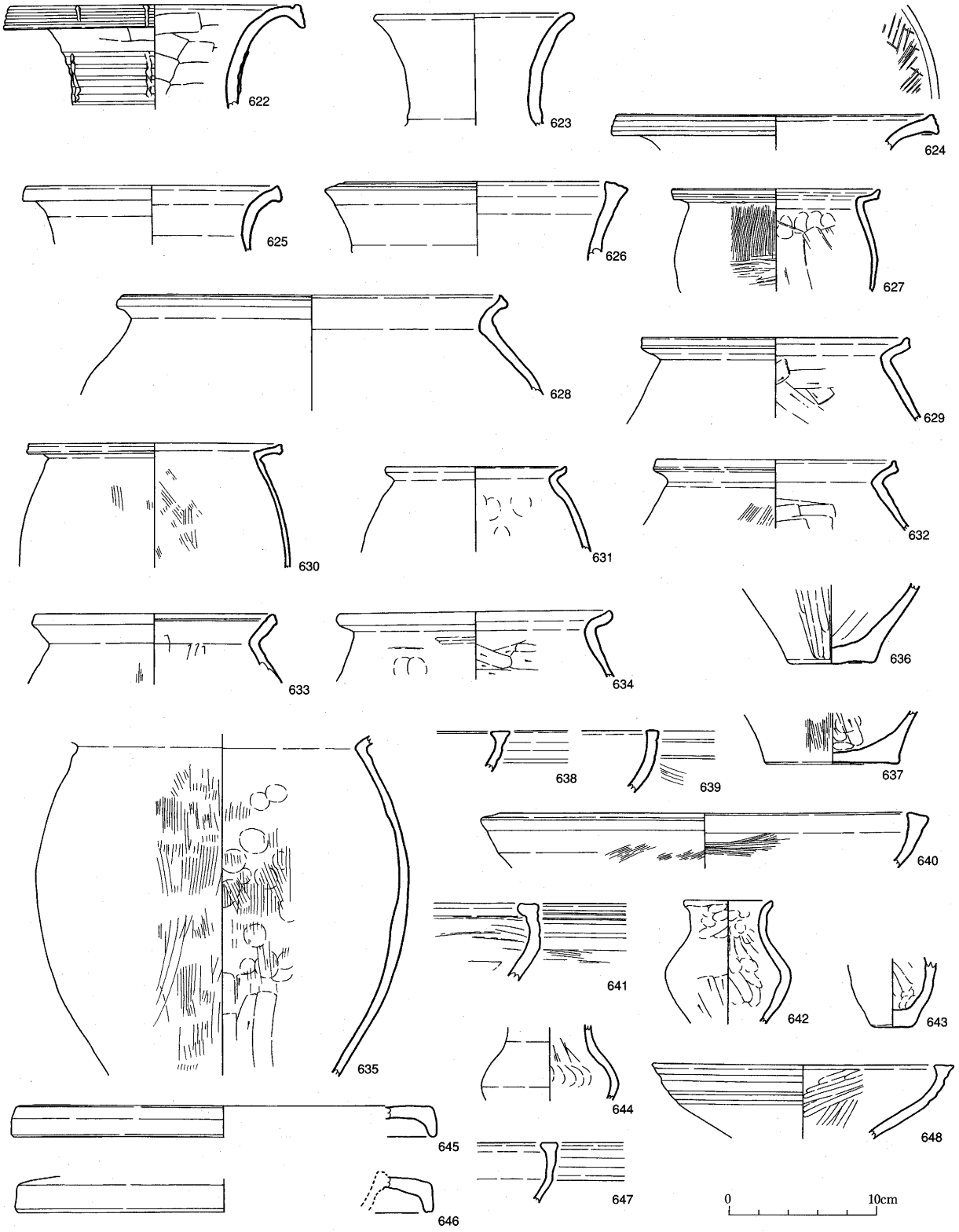
第60図　溝状遺構遺物実測図５（538～565：ＳＤ16）



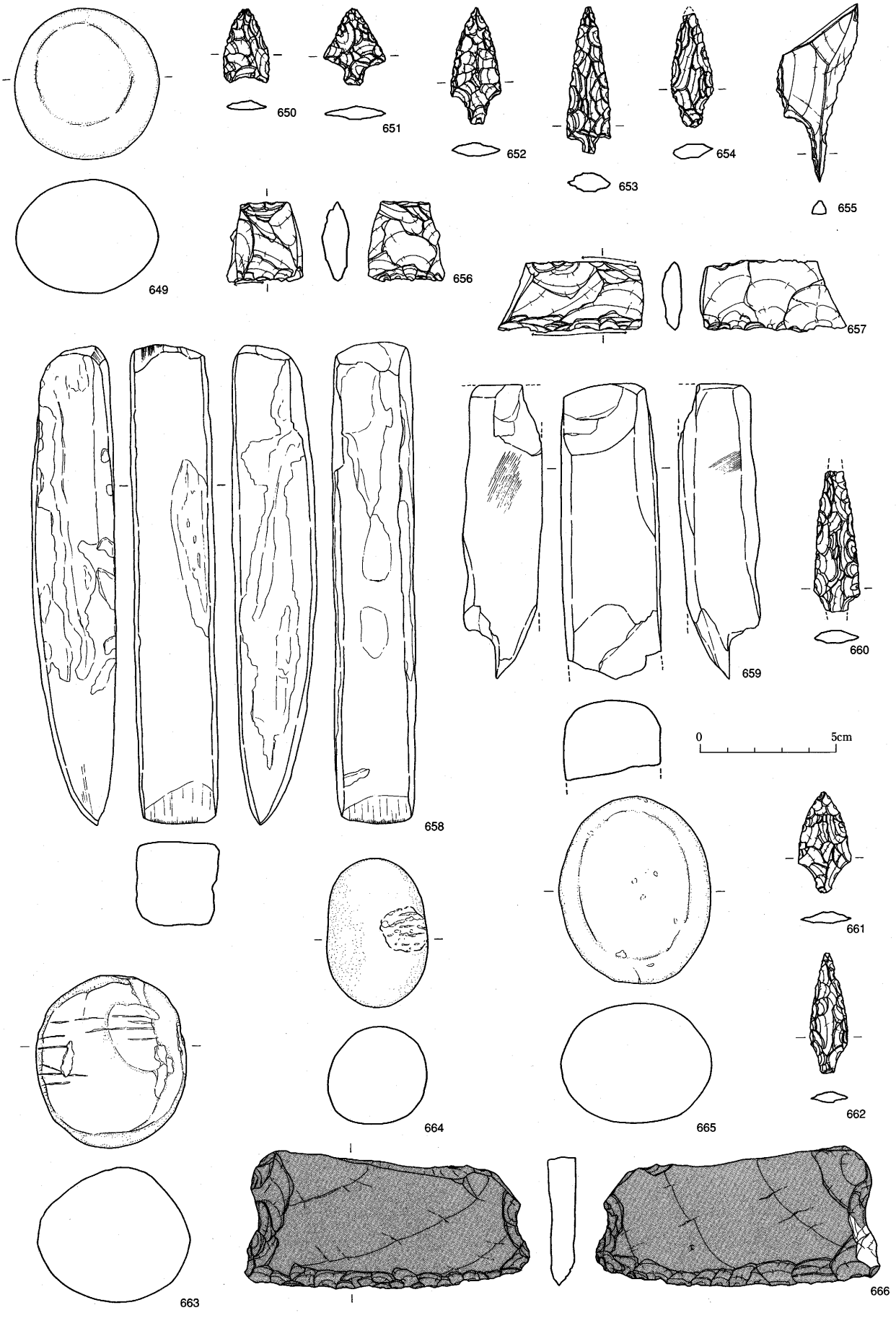
第61図　溝状遺構遺物実測図６（566～591：ＳＤ16）



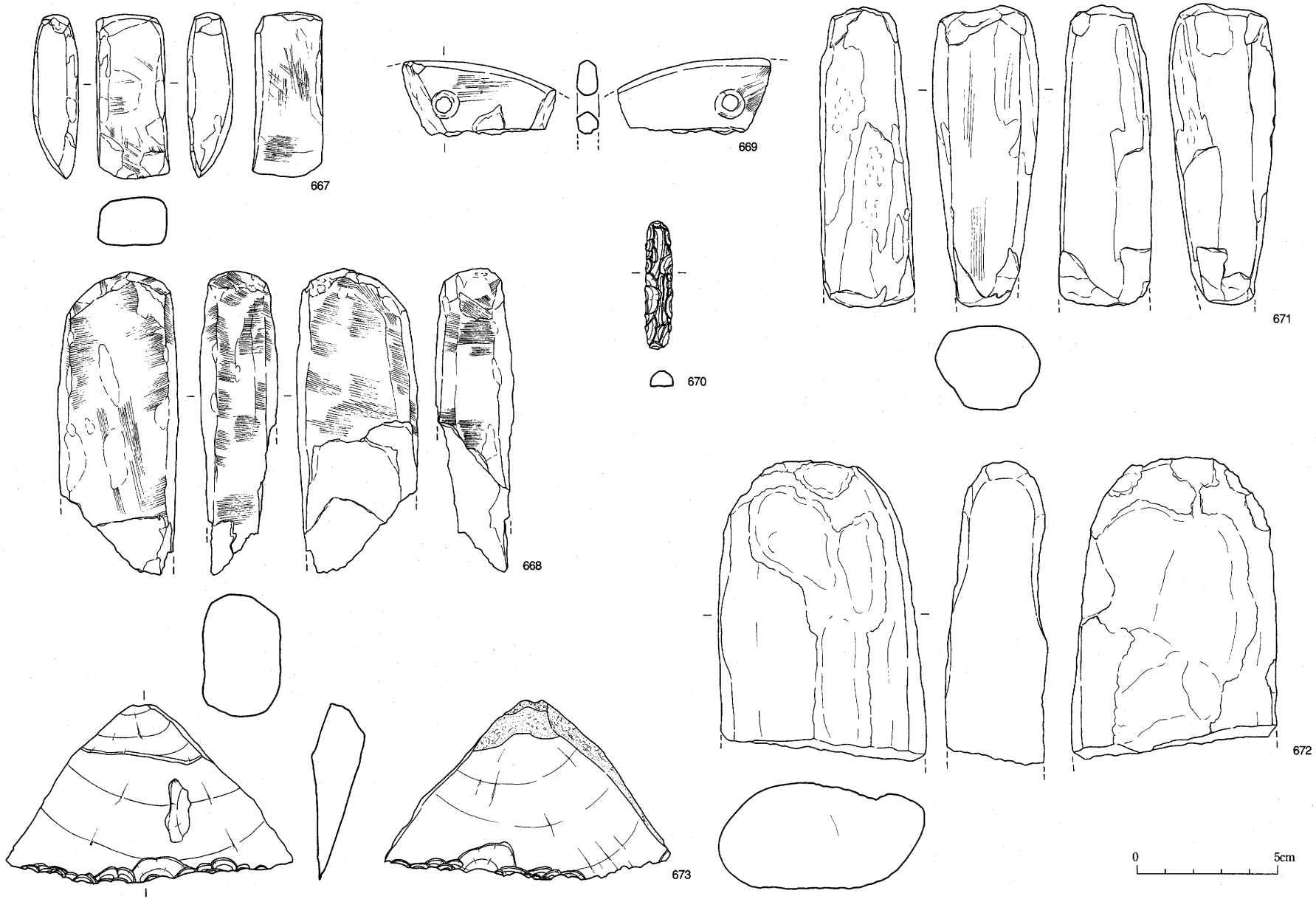
第62図　溝状遺構遺物実測図７（592～606：ＳＤ17、607：ＳＤ18、608～612：ＳＤ20、613～621：ＳＤ21）



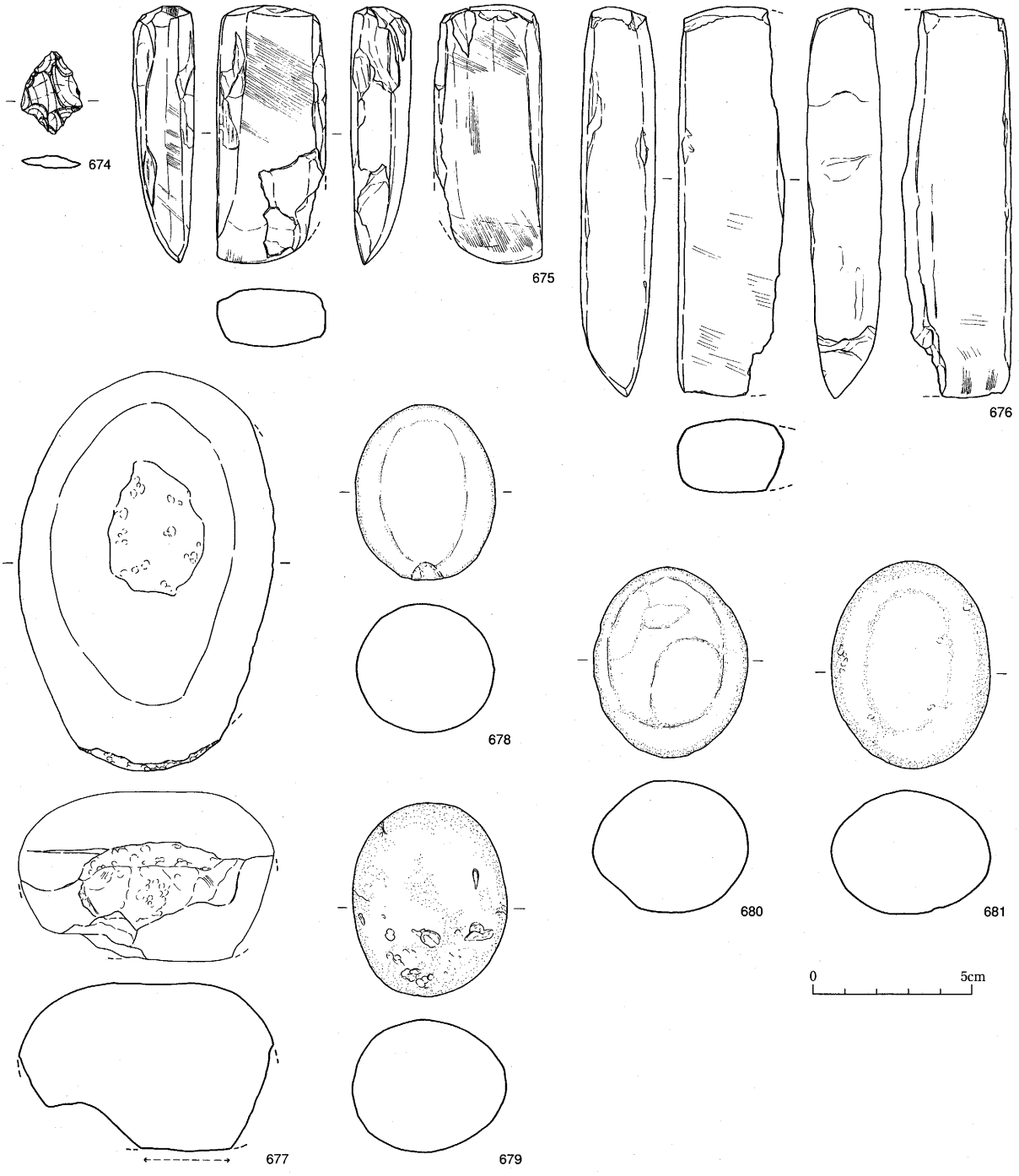
第63図　溝状遺構遺物実測図８（622～648：ＳＤ22）



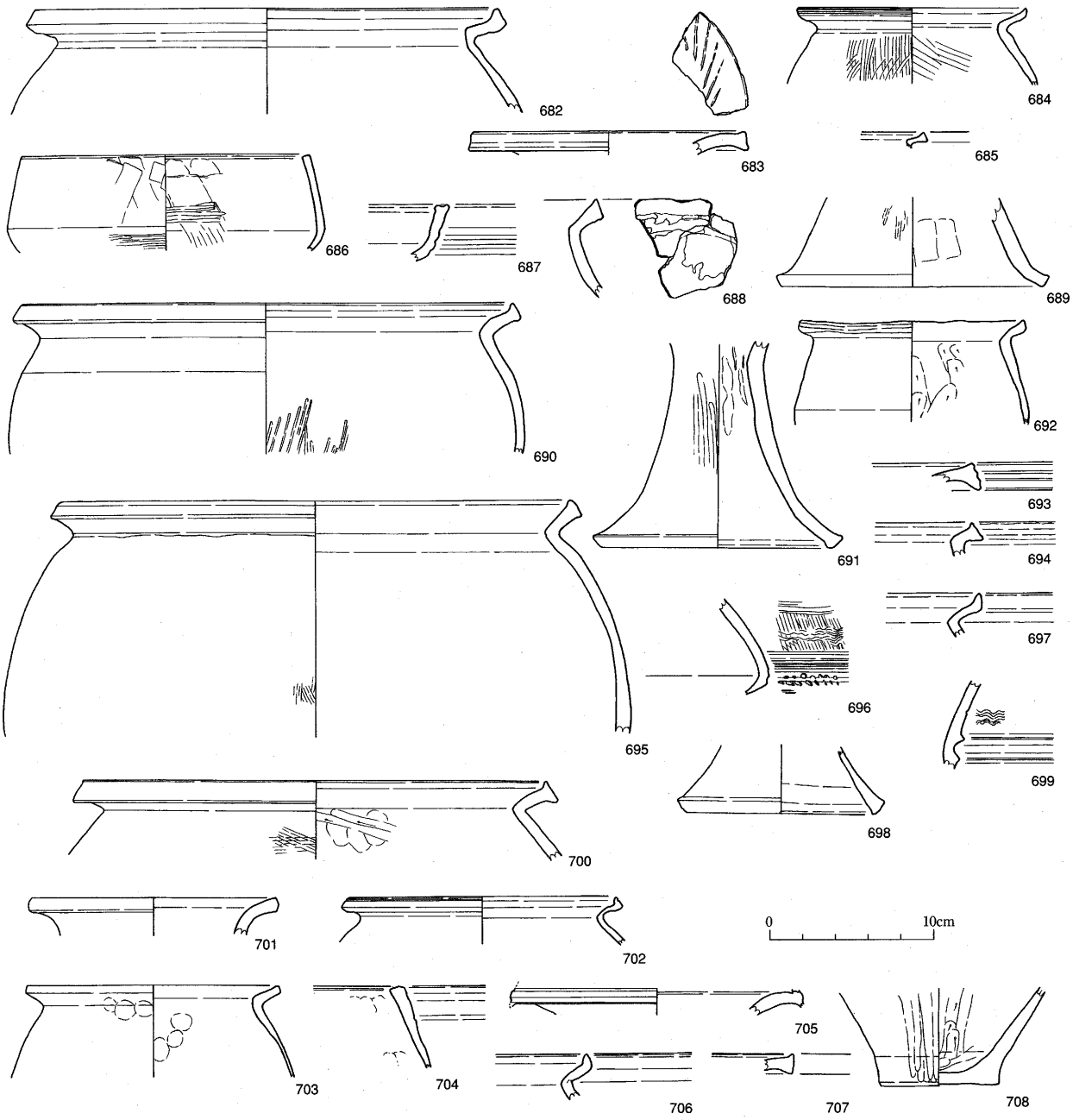
第64図　溝状遺構遺物実測図９（649：ＳＤ11、650～659：ＳＤ12、660：ＳＤ13、661～666：ＳＤ16）



第65図　溝状遺構遺物実測図10（667・668：ＳＤ16、669・670：ＳＤ17、671～673：ＳＤ21）



第66図　溝状遺構遺物実測図11（674～681：ＳＤ22）



第67図　柱穴跡・不明遺構遺物実測図１（682～702：柱穴跡、703・704：ＳＸ01、705～708：ＳＸ02）

端面に凹線文が施されている。体部は肩が張るため球形である。593～595の口縁部も水平に大きく開口して端部が広く肥厚されている。525は口縁部が短く外反する形態である。598～605はすべて口縁部がく字形に屈曲して上端部がつまみ上げられた形態である。

669は唯一の磨製石庖丁である。背部は両側面方向からの研磨により鋭角的な稜線が形成されている。670は棒状の形態である。

⑨ＳＤ20（第62図）

［遺物］610は口縁部の屈曲点が不明瞭な器種であり、端部は先細に成形されて凹線文が施されている。

⑩ＳＤ21（第55・62・65図）

［遺物］613、614は口縁部が逆ハ字形に大きく開口する器種で、前者は端部が上下に肥厚されて凹線文が施されている。615、616は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。617の口縁端部は上下に肥厚されている。

672の背腹両面の横方向の凹面は柄の装着のための紐掛けの痕跡と考えられる。

⑪ＳＤ22（第63・66図）

［遺物］622の口縁部は下端部が垂下されて広い端面が成形されている。頸部から口縁部にかけての変化は漸移的である。623の口縁部は逆ハ字形に開口して端部が丸く成形されている。628～634は口縁上端部がつまみ上げられた形態である。645、646は張り出し部の下端部が垂直に屈曲されている。

674は有茎凸基式の形態であるが、茎部の作り出しは不完全である。675の刃部は右側面が摩滅して変形しているが、これは腹面の使用痕が左上から右下方向へ刻まれていることから当該箇所に再三にわたり力が加わった結果であると考えられる。677は背面が研磨されて凹面化していることから石皿を転用したことがわかる。

(4) 柱穴跡（第67・68図）

Ⅰ区及びⅡ区の竪穴住居跡の検出箇所の周辺部において柱穴跡が密集して存在する。これらは規則的な配列を示さないために上部構造を復元することができないが、他の多くの遺構の上部が削り取られていることを考えると、いくつかの遺構が密集状態を示すものについては竪穴住居跡の床面に掘り込まれた柱穴跡あるいは土坑であった可能性がある。

［遺物］686は口縁部が長く内傾する形態であり、器壁が均等な厚さに仕上げられていることが特徴である。688は高熱が加えられたために胎土中の鉱物が溶解して空隙が生じた器種である。696は体部に鋭角的な屈曲部があるため重心の低い算盤珠形の形態である。

710は柳葉形の形態である。

(5) 不明遺構

ＳＸ01（第67・68図）

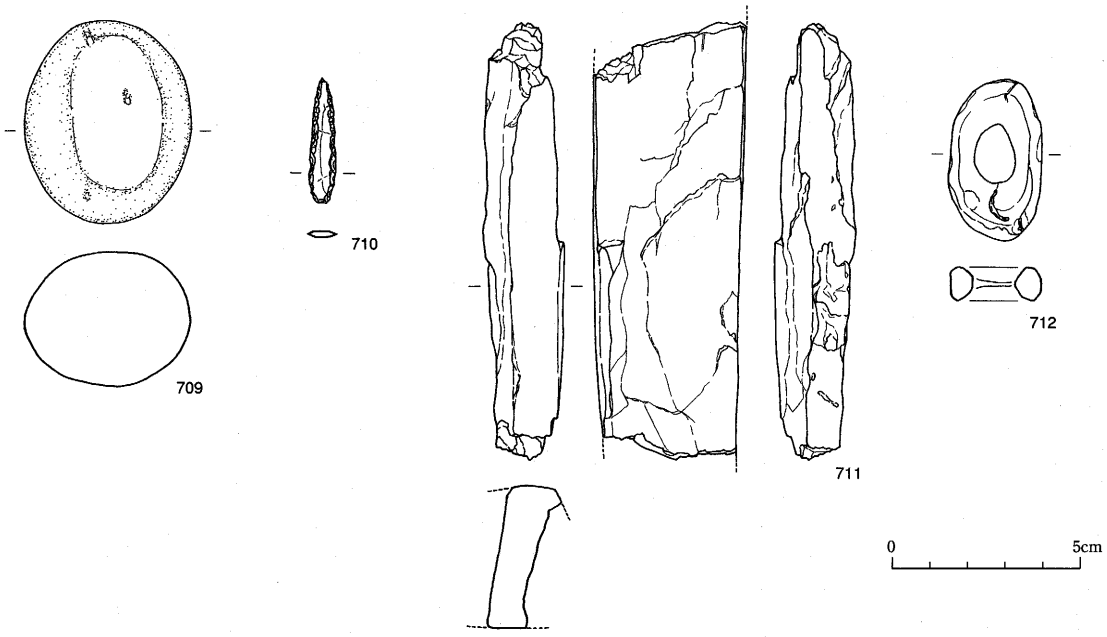
［遺構］Ｄ12pt の南東方約１ｍに位置し、ＳＨ21に近接して所在する。底面には柱穴跡を伴うが、配列には規則性がない。

［遺物］711は使用痕がないため製作中に破損した可能性がある。

(6) 自然河川跡

①ＳＲ01（第70～75図）

［遺構］ＩＣ区の広い範囲を東南から北西方向へ斜めに横切った後に、ＩＢ区の北端部を東から西方向へ横切って善門池の方向へ流下する自然流路である。本遺構については東谷川の原形であると推測され



第68図　柱穴跡・不明遺構遺物実測図２（709・710：柱穴跡、711：ＳＸ01、712：ＳＸ02）

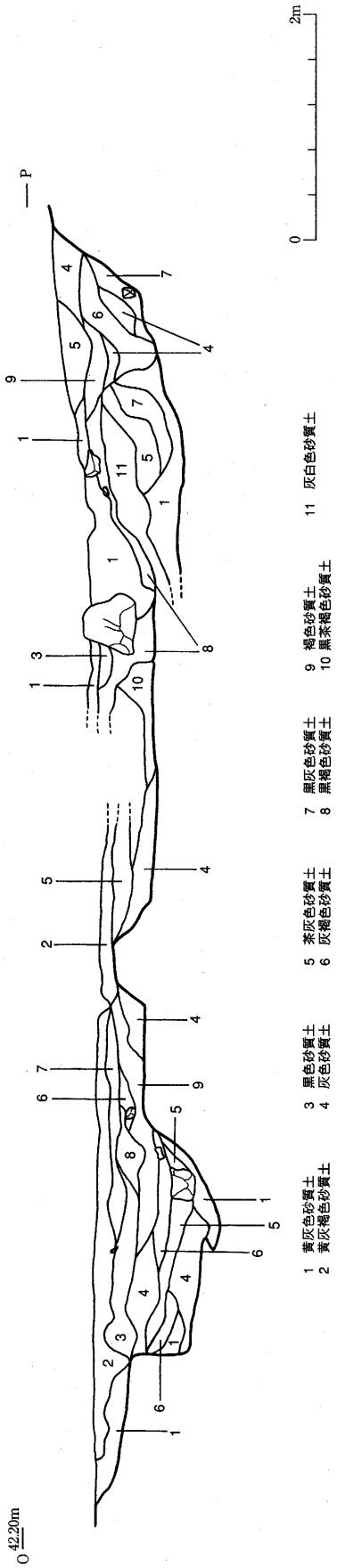
るが、ＩＣ区における横断面の形態が浅い皿状であることから、同川の氾濫によって一時的に生じた水量の少ない遺構であったと考えられる。ただし、ＩＢ区においては現存する河岸段丘崖の位置に一致するため、段丘崖形成の一因となったこともわかる。

［遺物］713～716は口縁部が水平方向に開口し、端部が上下に肥厚された形態である。端面は凹線文、頸部はキザミメや棒状浮文で飾られている。717～719は頸部が不明瞭な器種で体部は肩が張らない形態が考えられる。720、723～730は口縁上端部が小さくつまみ上げられ、同下端部が外方向に張り出された形態である。727、728については下端部が垂下している。733～735は頸部から口縁部にかけて外反気味に直立する器種で、外面に多くの凹線文が施されている。736は算盤珠形の器種で口縁端部が内外方向に大きく肥厚されている。737、738は２重口縁の形態である。739～741の口縁端部は上下に肥厚された形態である。742～755は口縁上端部がつまみ上げられた器種である。756～759の口縁端部は丸く成形されている。760～765は口縁端部が肥厚された大型品である。767の体部は肩が張らない形態で口縁部が直立するために長胴の器種が想像される。鉢は口縁端部が内外方向に肥厚されて外面に凹線文が施される器種（775～782）が占める割合が高い。784は高熱により胎土中に空隙が生じた器種である。高杯は口縁部外面に張り出し部がある器種（789、790）と口縁部が内傾気味に直立して端部が肥厚する器種（791、792、794、795）がある。797、798は円盤充填の痕跡が明瞭である。

802～808は有茎凸基式の器形であるが、803以外は茎部の作り出しは不完全である。809、810は長軸方向の端部に抉りがある。811は長側縁部が刃部に加工されている。814の左側面の摩滅が著しい点については、使用痕の方向が左上から右下方向であることから同側縁が下にして使用された結果である。

②ＳＲ02（第69・76～107図）

［遺構］ⅡＡ区の大部分の面積を占める遺構であり、斜面上部から東谷川へ向かって直線的に流下する。本遺構は現在の谷地形の原形であるが、遺物を包蔵する表層の堆積層のみの調査に留めたため、本来の地形はより谷底が深い状態であったことは明らかである。



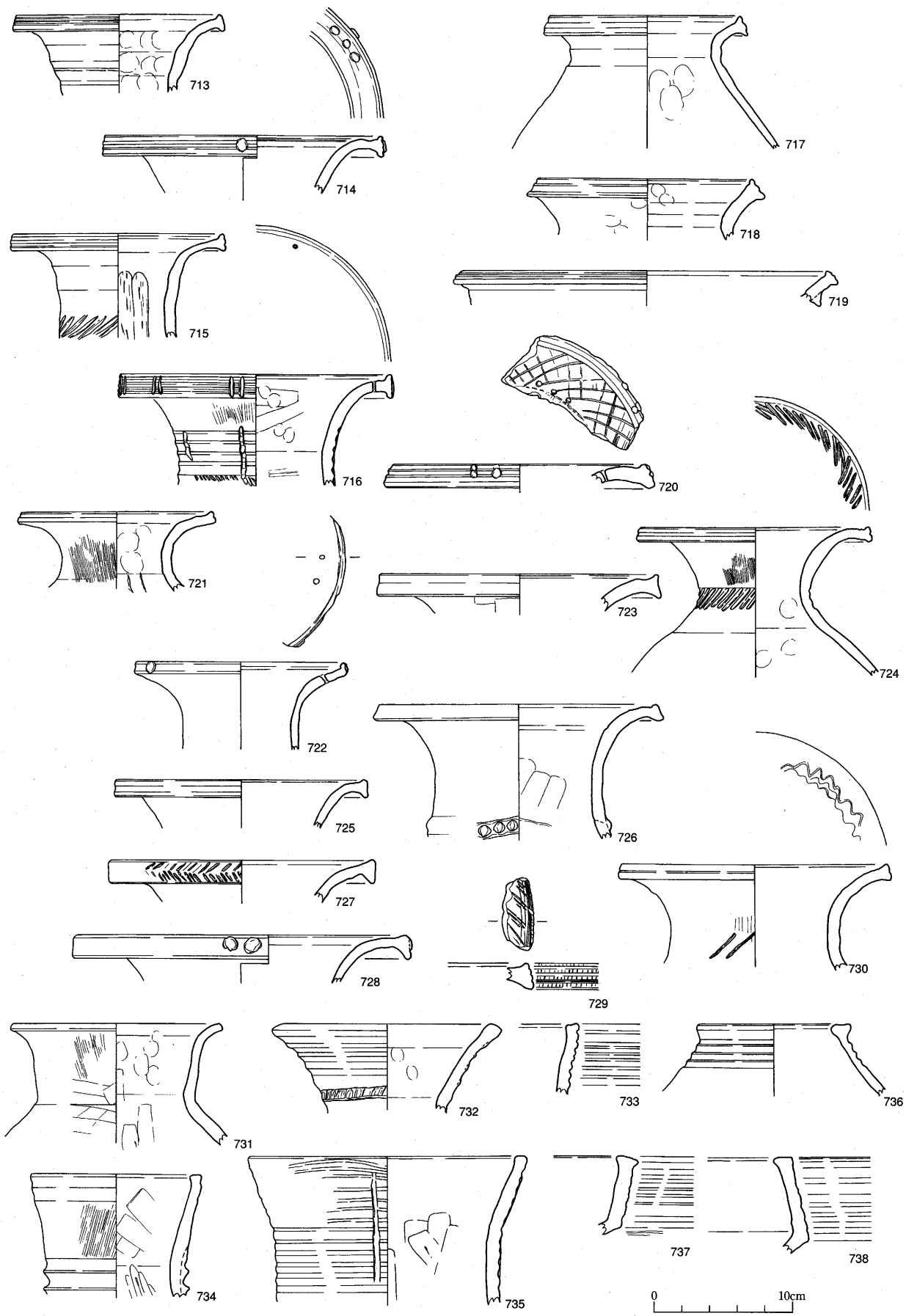
第69図　自然河川跡土層序断面実測図

［遺物］817～834は口縁上端部がつまみ上げ気味に上下に肥厚された形態であり、839～861の口縁端部についても肥厚されているが、特に下端部の外方向への張り出しが大きい点が特徴である。これらは頸部が外反気味に直立することと口縁部が水平方向に開口することが形態上の共通点であり、多くの資料に端面の凹線文と口縁部内面に斜格子文が認められる点においても共通する。後者のグループから発展したと考えられる資料が862～868である。このグループは口縁下端部が鉛直方向に大きく垂下されるために端面が大きく成形されて凹線文、波状文、浮文で飾られている。頸部から口縁部にかけては逆ハ字形に大きく開口する。

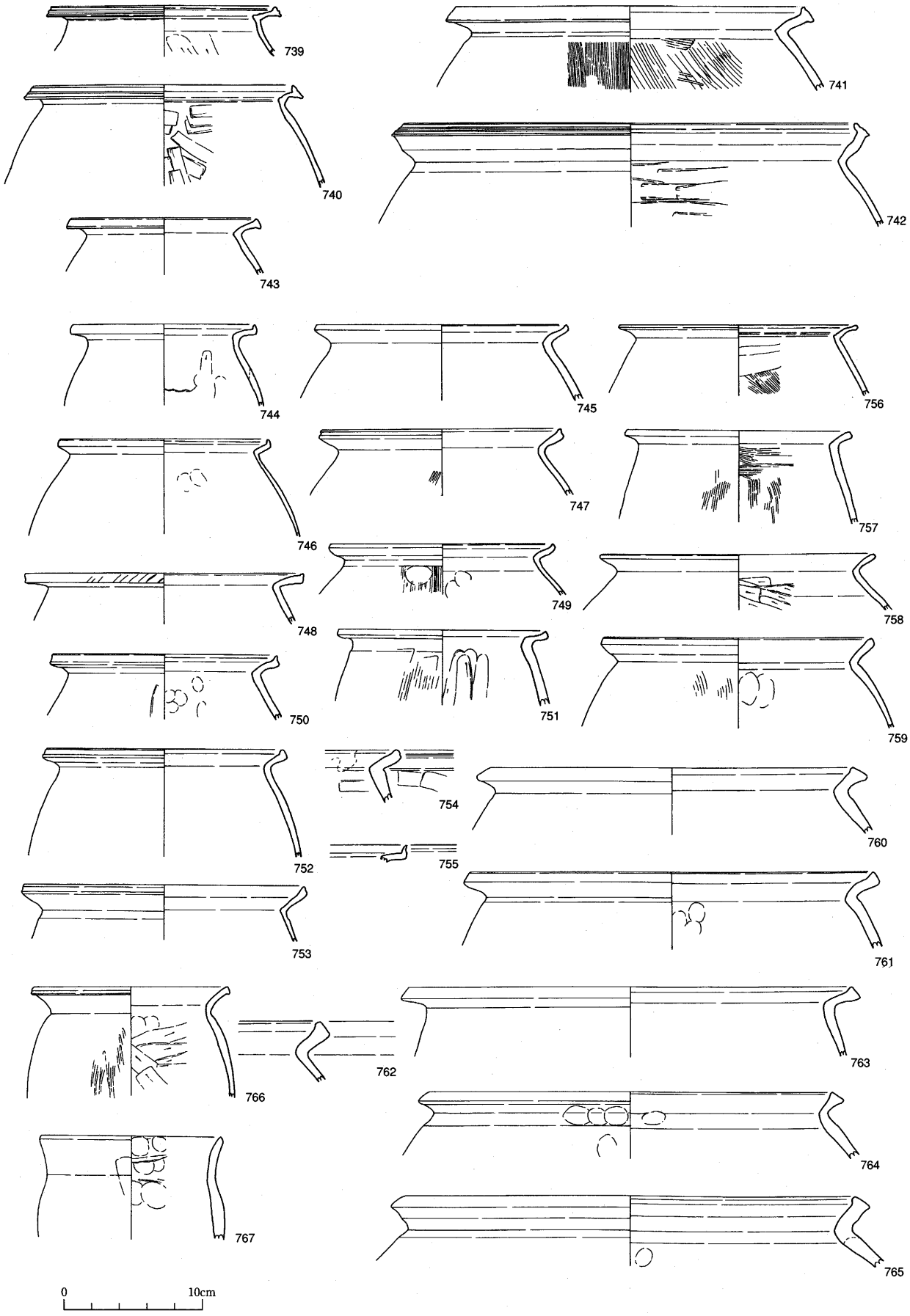
881は２重口縁の大型品である。886～888は頸部が直立して口縁部が外反する器種であるが、口縁部の湾曲は少ない。

889～895の口縁部は直線的に外反する形態で端部が肥厚されている。897～905についても上記のグループと同じ系譜にある資料である。頸部と口縁部外面に凹線文が施されている。908～918は口縁部が短い器種である。口縁端部が丸く簡素に仕上げられている点が特徴である。920～925は２重口縁の大型品である。口縁部は内傾か外反した形態であり、端部が肥厚されている。外面には幅広の凹線文が間隔を空けて施されている。927～929は算盤珠形の器種である。939は把手付の水差し形の器種である。940～950は口縁端部が上下に肥厚されて端面に凹線文が施された器種である。945のように体部の上位に最大径があるために肩が張る形態が特徴である。951～978は口縁上端部が立ち上がり受け口状の形態である。上記のグループと同様に体部は肩が張る形態である。979～1003の口縁部は上端部がつまみ上げられた形態で、体部は肩が張らない点が特徴である。1004～1015は口縁端部に施されたヨコナデにより同部が上下に少し肥厚された器種である。この器種は小型品の占める割合が高い。

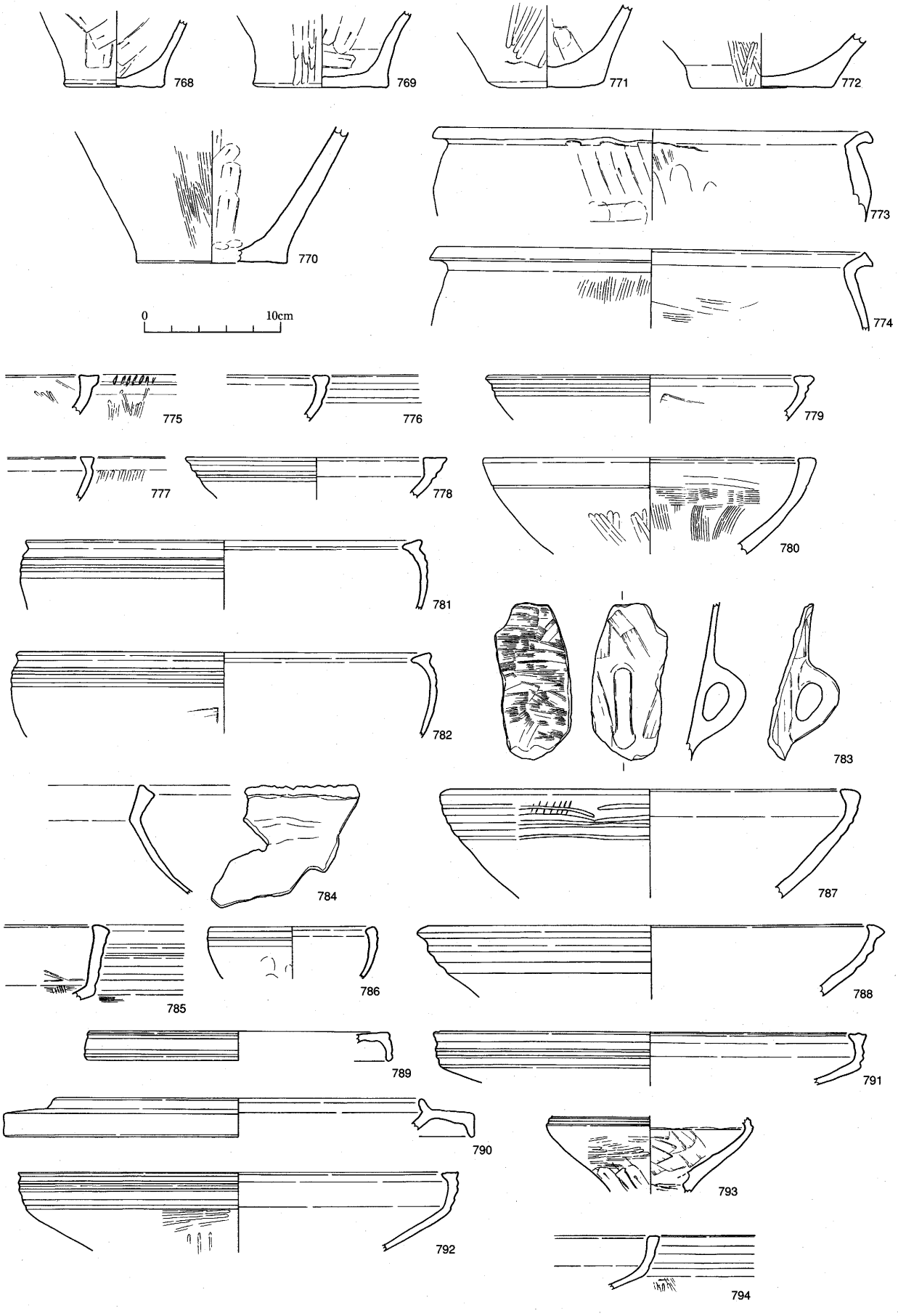
1016～1038は口縁部が短く外反して端部の仕上げが簡略化されている器種である。体部は肩が張らない長胴の形態である。1039～1054は口縁上端部がつまみ上げられた器種である。1053のように最大径の位置は体部の中位よりも下方にある。1055～1078は口縁端部が肥厚されて凹線文が施される器種で大型品が多い点が特徴である。1055～1069は凹線文が深いことがわかる。1080～1082は口縁部が短く外反した小型品である。1084については口縁部がＬ字形に屈曲するとともに体部



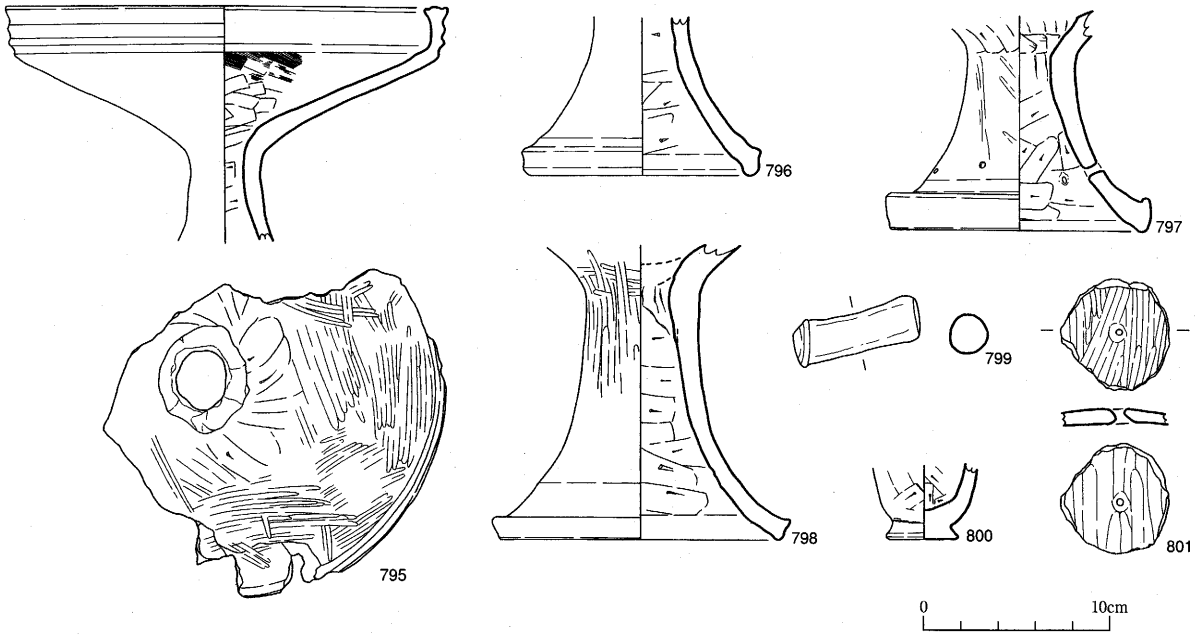
第70図　自然河川跡遺物実測図１（713～738：ＳＲ01）



第71図　自然河川跡遺物実測図２（739～767：ＳＲ01）



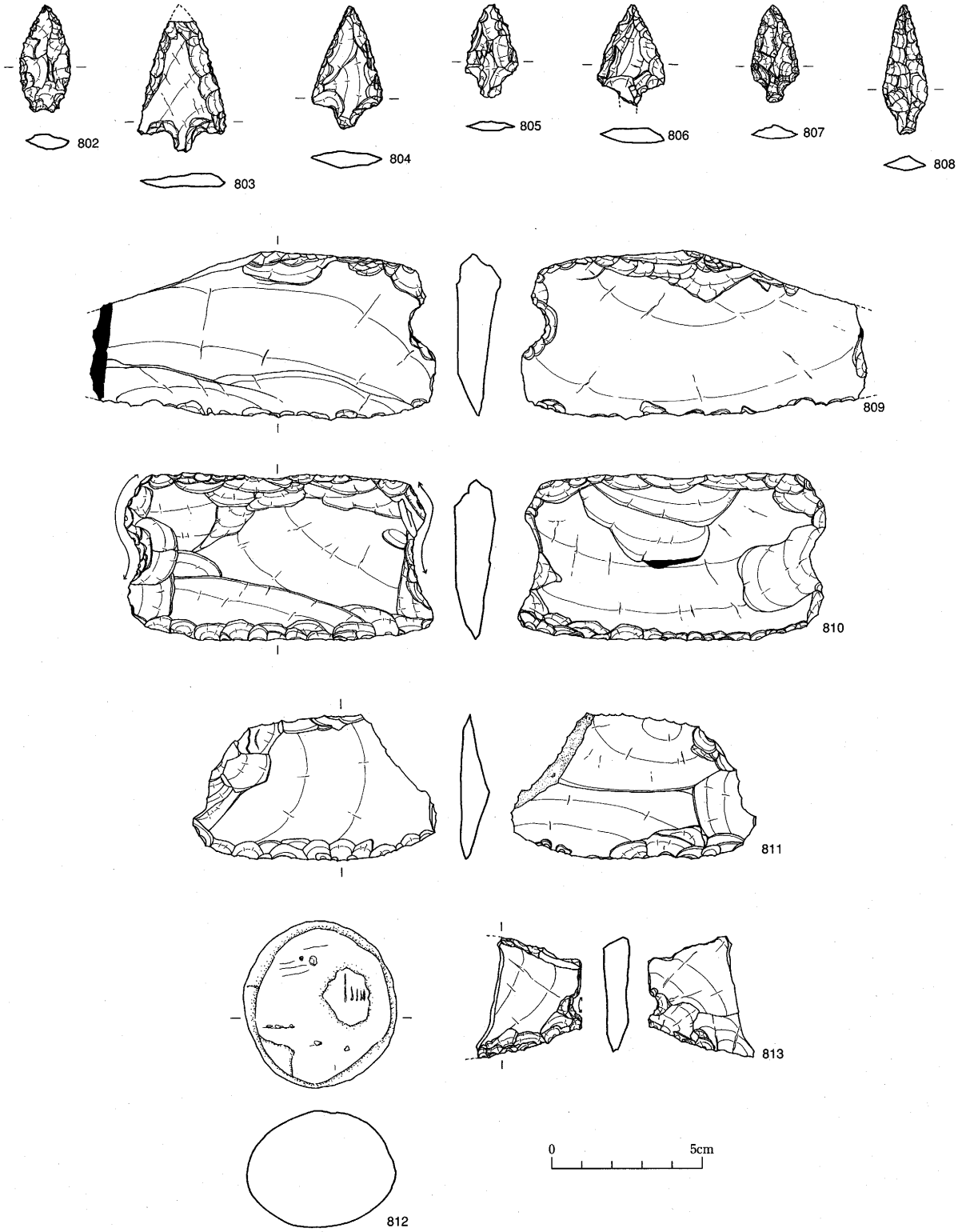
第72図　自然河川跡遺物実測図３（768～794：ＳＲ01）



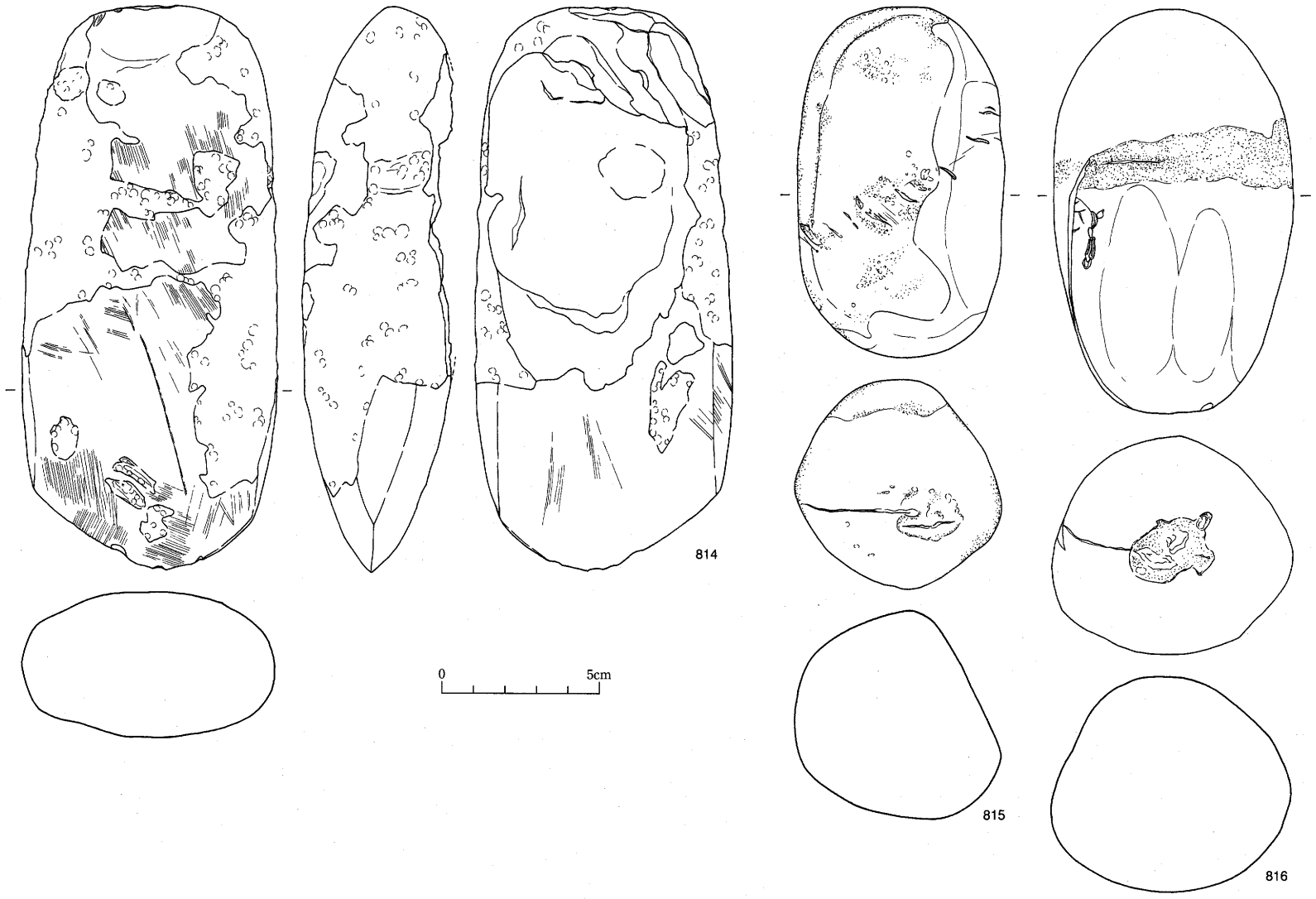
第73図　自然河川跡遺物実測図４（795～801：ＳＲ01）

がバケツ形であることから、これまでのグループよりも古い時期の所産と考えられる。1092～1107は口縁部外面に幅広の凹線文が間隔を空けて施された器種であり、口縁端部が内側へ肥厚されたもの（1092～1096）、外側へ肥厚されたもの（1097～1103）、両側へ肥厚されたもの（1104～1107）に分類することができる。1110～1114は半球形の体部が特徴である。1115～1122は口縁部がく字形に短く屈曲する器種である。1123は大型品で体部の上位に屈曲点がある。高杯は張り出し部の端部が垂下しない形態のもの（1125～1129）と垂下するもの（1130～1134）、口縁端部が内外に肥厚されたもの（1135～1157）、同端部が直立あるいは内傾するもの（1158～1171）に大別できる。脚端部の大部分は上下に肥厚されている（1172～1193）。1196、1197は脚部の下位が屈曲して水平方向に開脚する形態である。1203～1205は焼成前の穿孔である。1223は粘土板の上下面に縦方向の沈線が施されたものである。1224は脚状、1225は蓋か底状の資料である。1226は鉄鏃の茎部と考えられ、横断面の形態は長方形である。

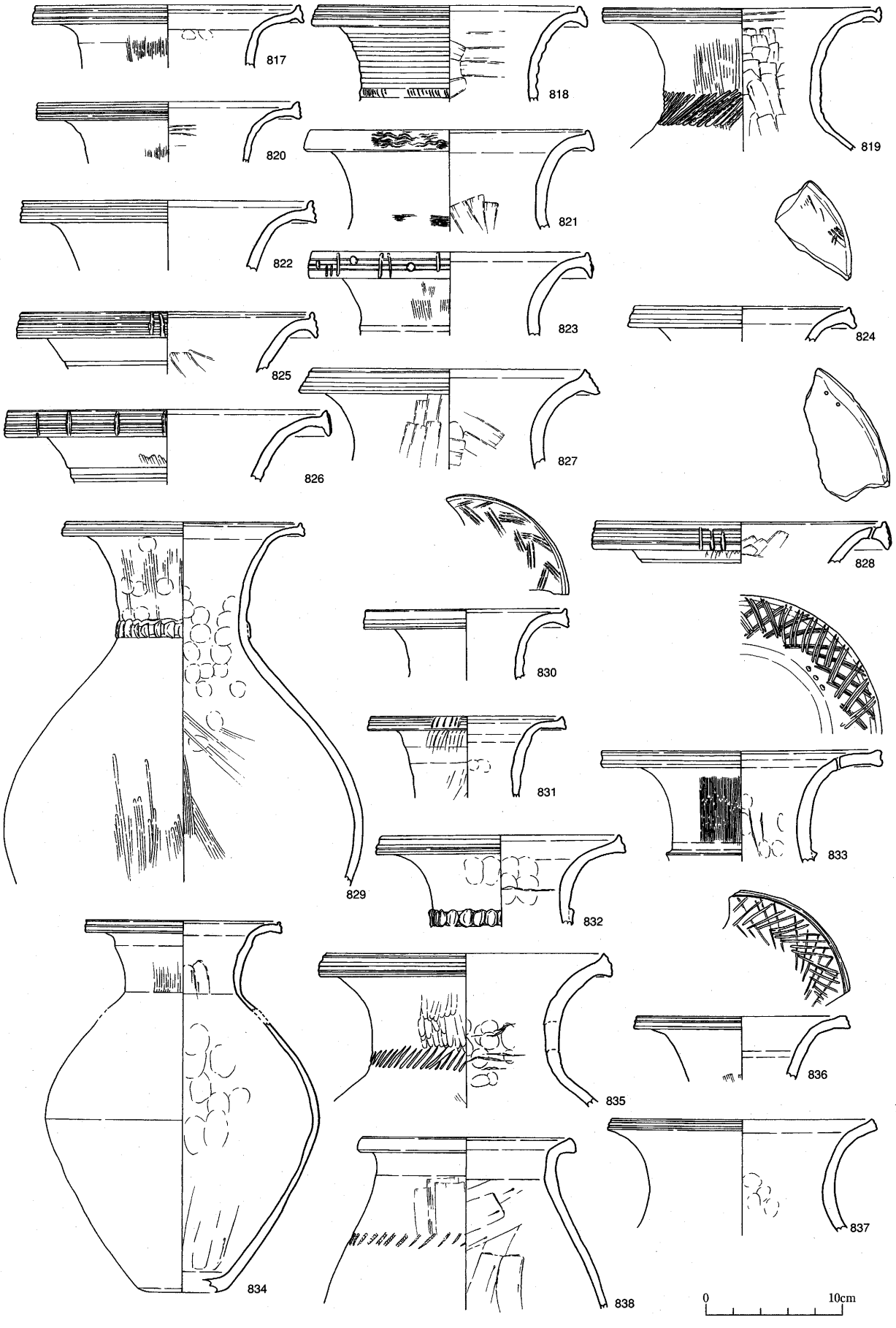
石鏃は有茎凸基式（1237～1258）が最も多く、柳葉形（1259～1266）が次に多い。1267は先端部から基部までの厚さが薄い形態であるのに対して、1268、1269は中央部が厚く成形された種類である。1270は有茎式の形態である。1271は長側縁部を刃部に加工した形態である。1272～1277は長軸の端部に抉りが施されている。1278～1282が針部のみの剥離調整であるのに対して、1283はつまみ部まで丁寧に成形されている。1293～1295は石器製作の早い段階で発生した大型の横長剥片を加工した資料である。いずれもポジティブな面にはバルブが認められる。1301は左右の側面を研ぎ直して使用されたことがわかる。1303は使用痕がないため製作中に破損した可能性がある。1304についても右側面に粗い石理があるため研ぎ直されたことが想像される。1307の背面の抉りは紐掛けの痕跡である。1311の右側面は研ぎ直されている。1316は未製品の可能性がある。1318については製作中に薄く破損したことが想像できる。1323、1325、1326の左側面及び1326の背面は研ぎ直されたことがわかる。1330の腹背面と両側面の抉りは紐掛けの痕跡である。1331は右側面に使用痕があるため破損後に再利用されている。1332の右側面は研ぎ直されている。1334の各面にある横長の裂傷は石器製作の挟み撃ちの際に生じたものである。1336の腹背



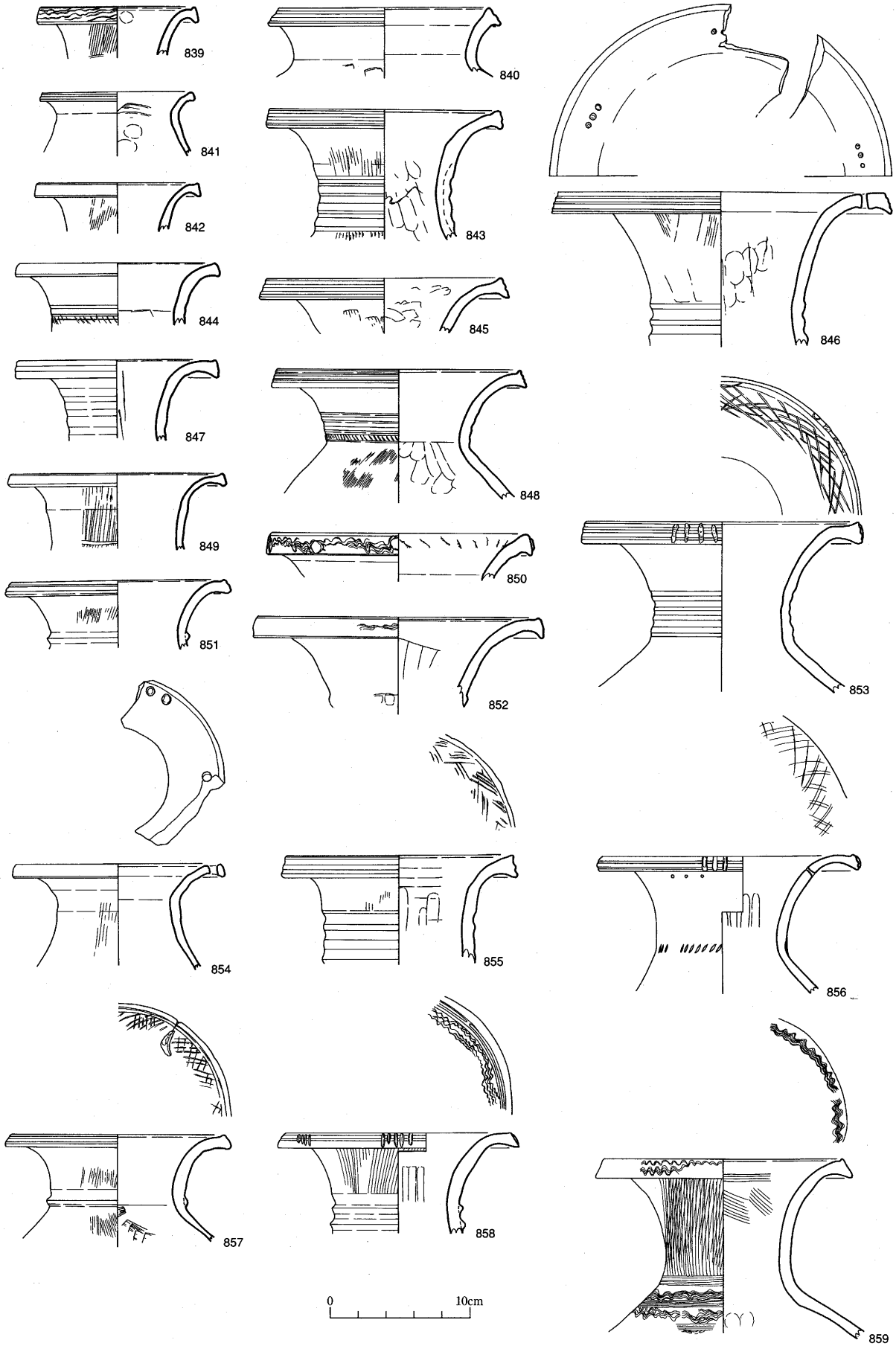
第74図　自然河川跡遺物実測図５（802～813：ＳＲ01）



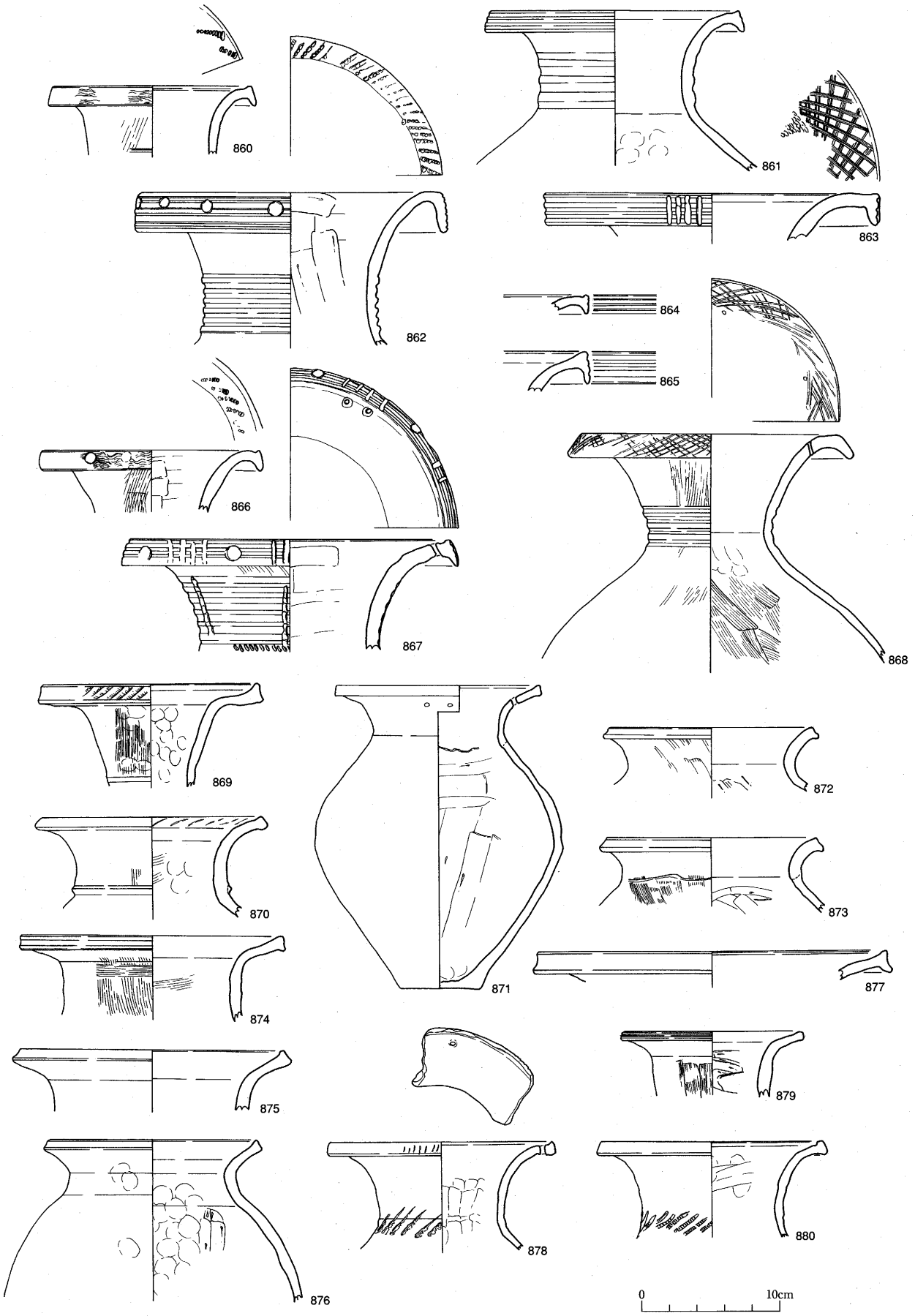
第75図　自然河川跡遺物実測図６（814～816：ＳＲ01）



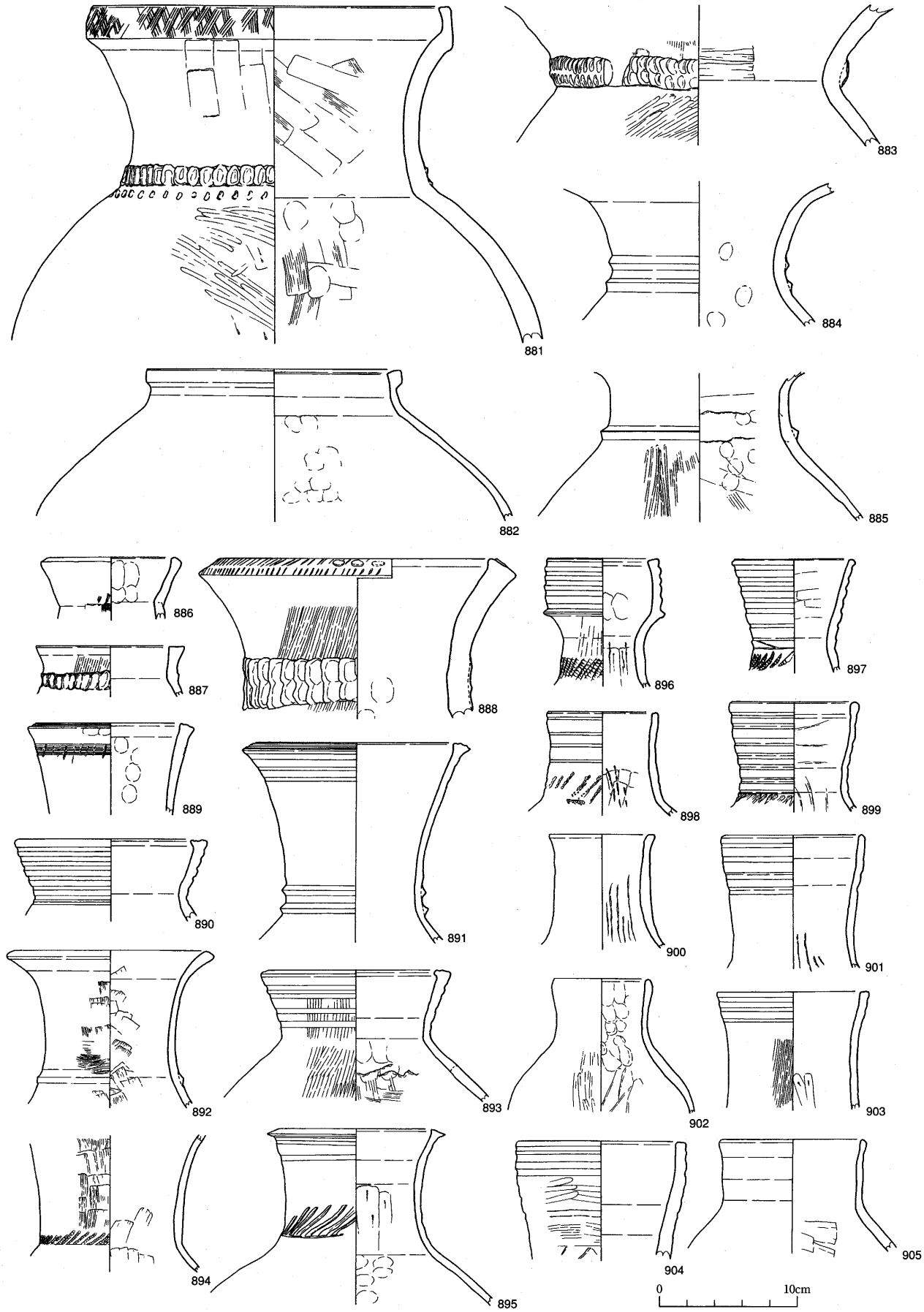
第76図　自然河川跡遺物実測図７（817～838：ＳＲ02）



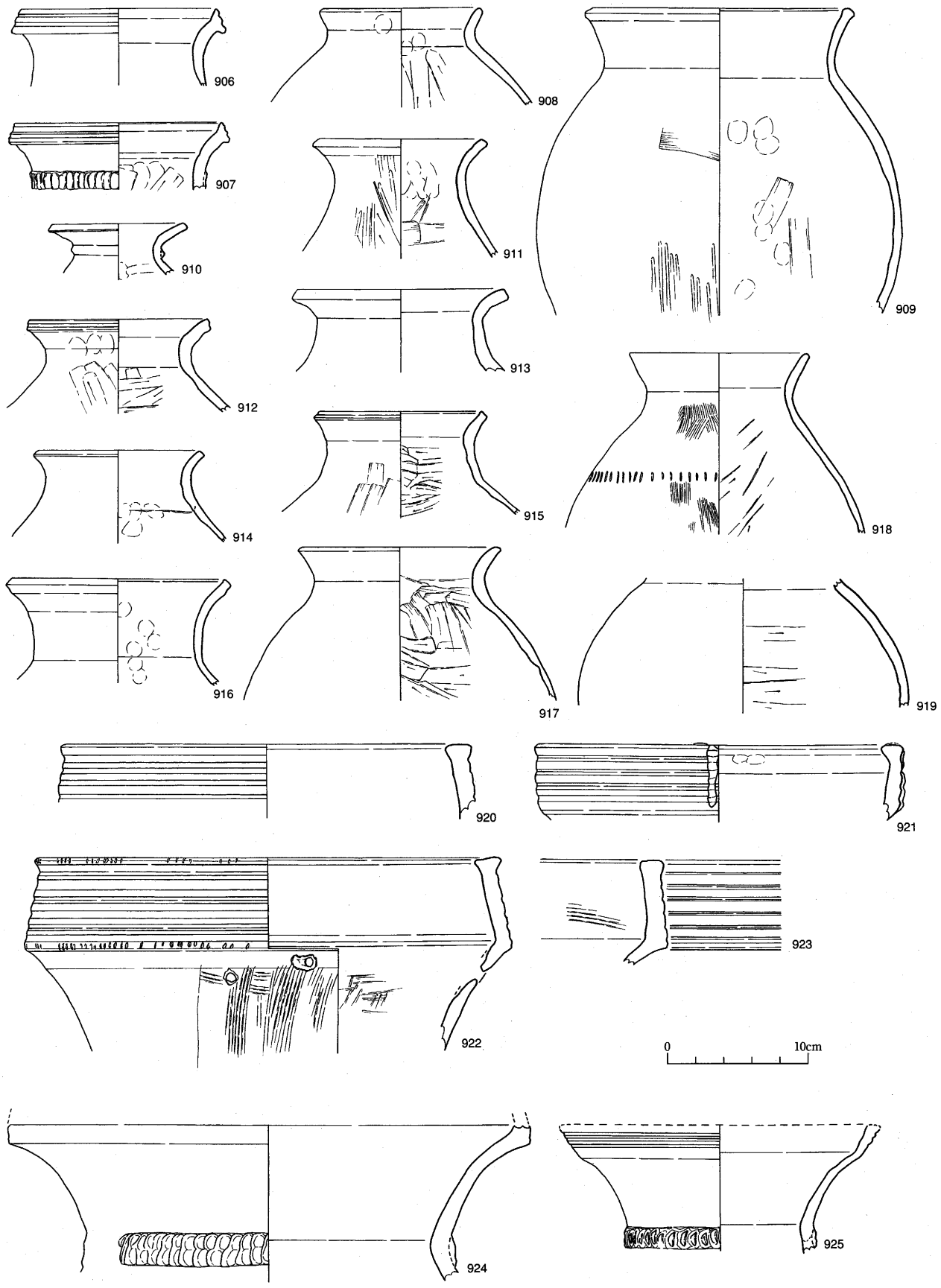
第77図　自然河川跡遺物実測図８（839～859：ＳＲ02）



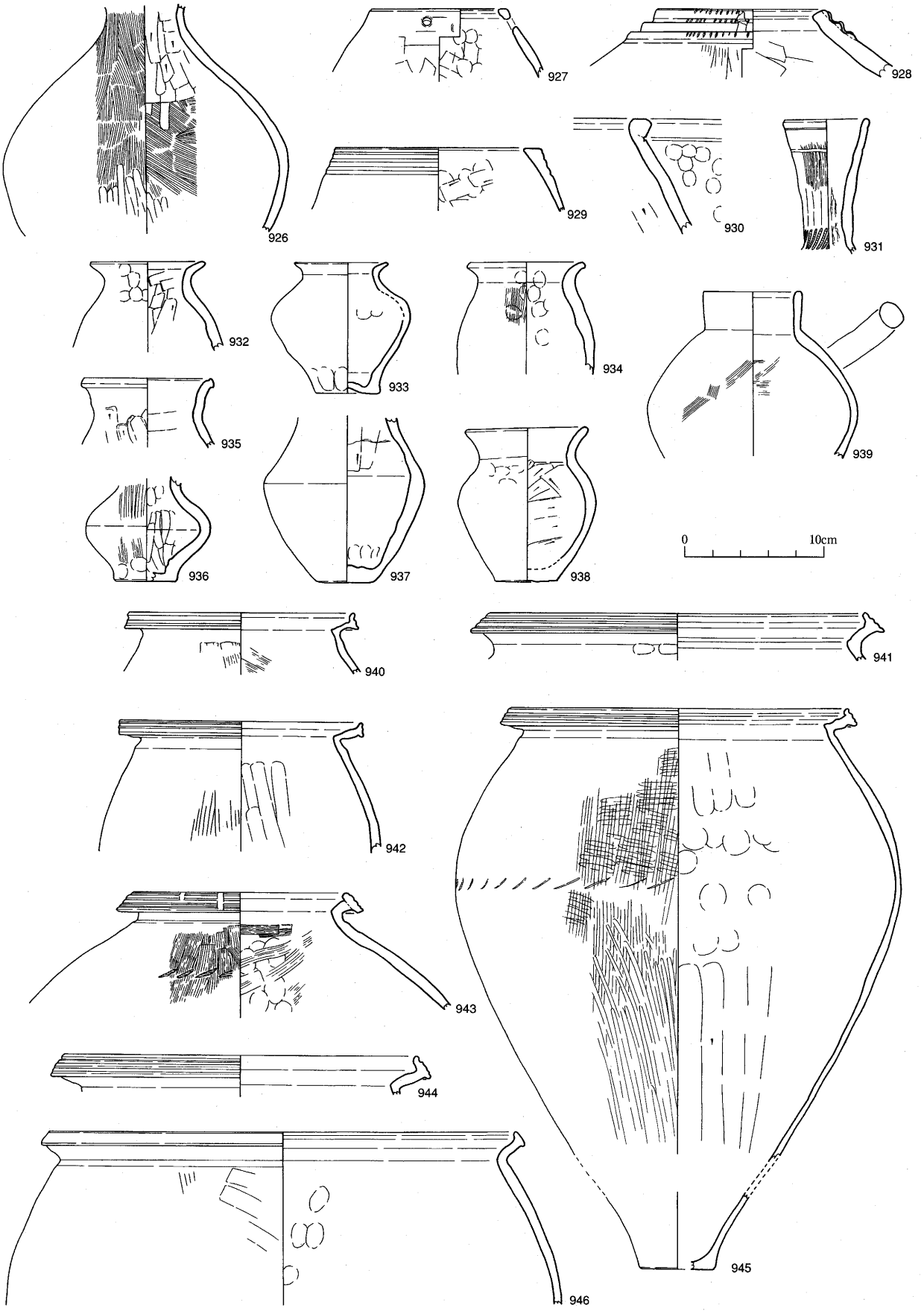
第78図　自然河川跡遺物実測図９（860～880：ＳＲ02）



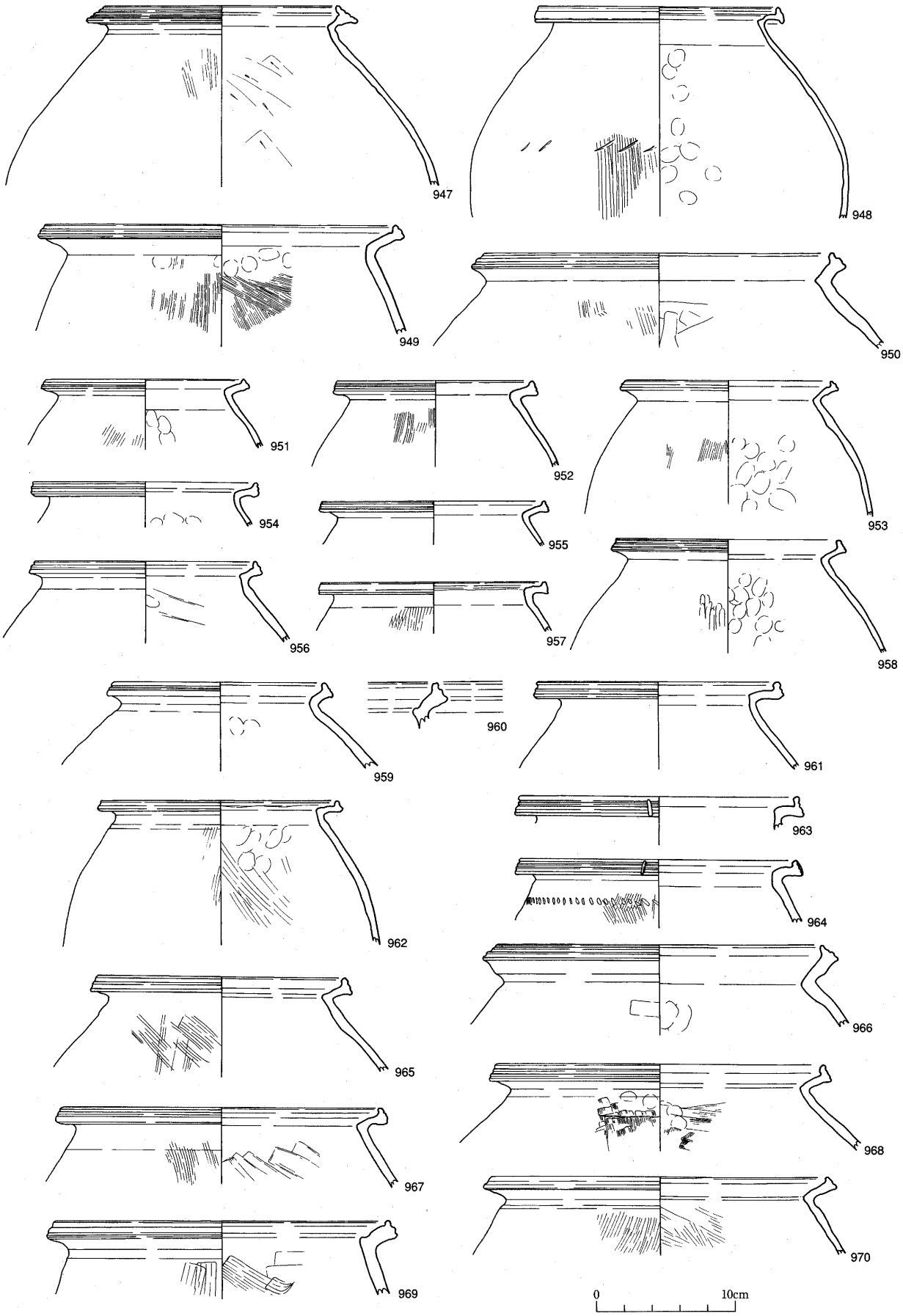
第79図　自然河川跡遺物実測図10（881～905：ＳＲ02）



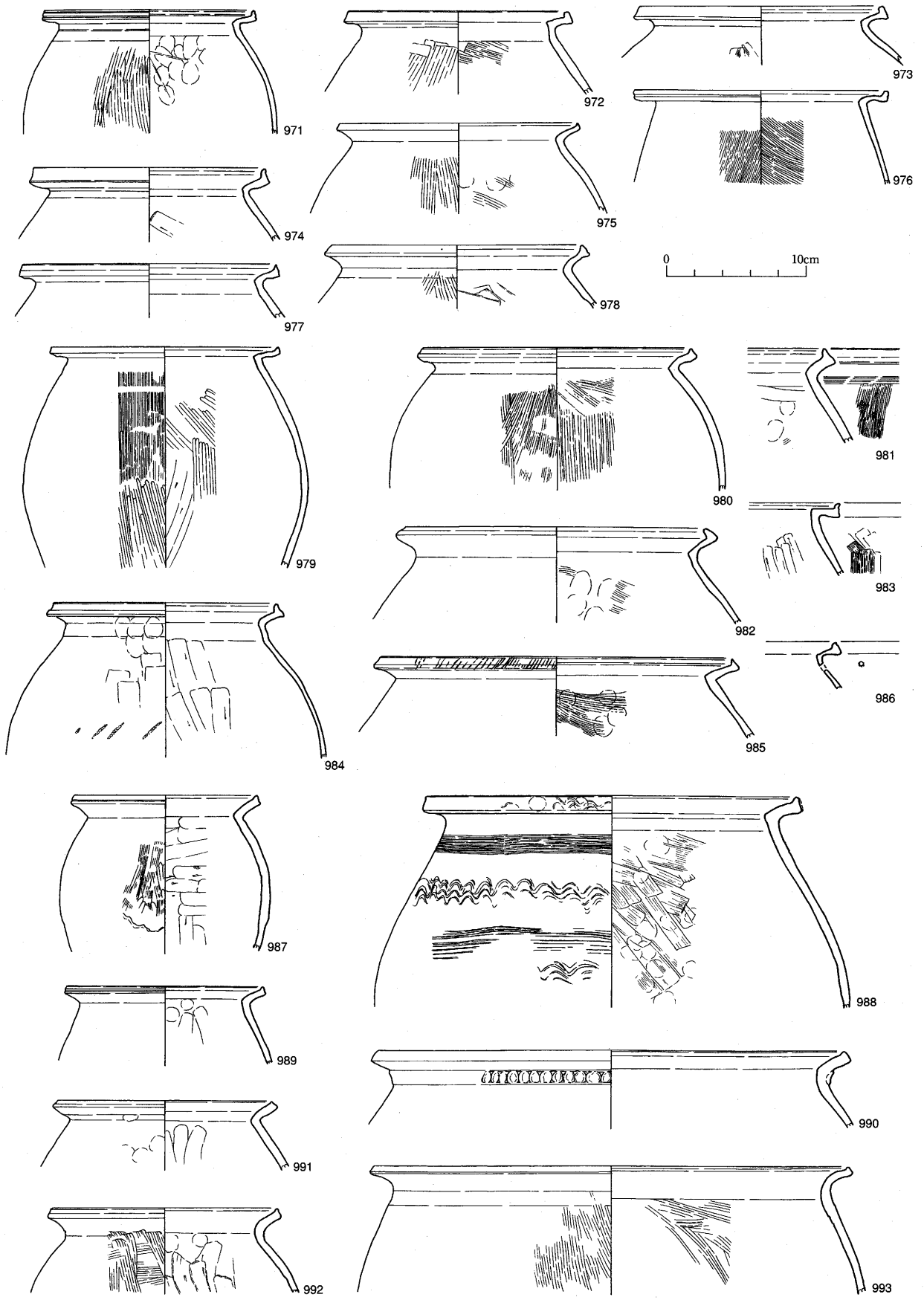
第80図　自然河川跡遺物実測図11（906～925：ＳＲ02）



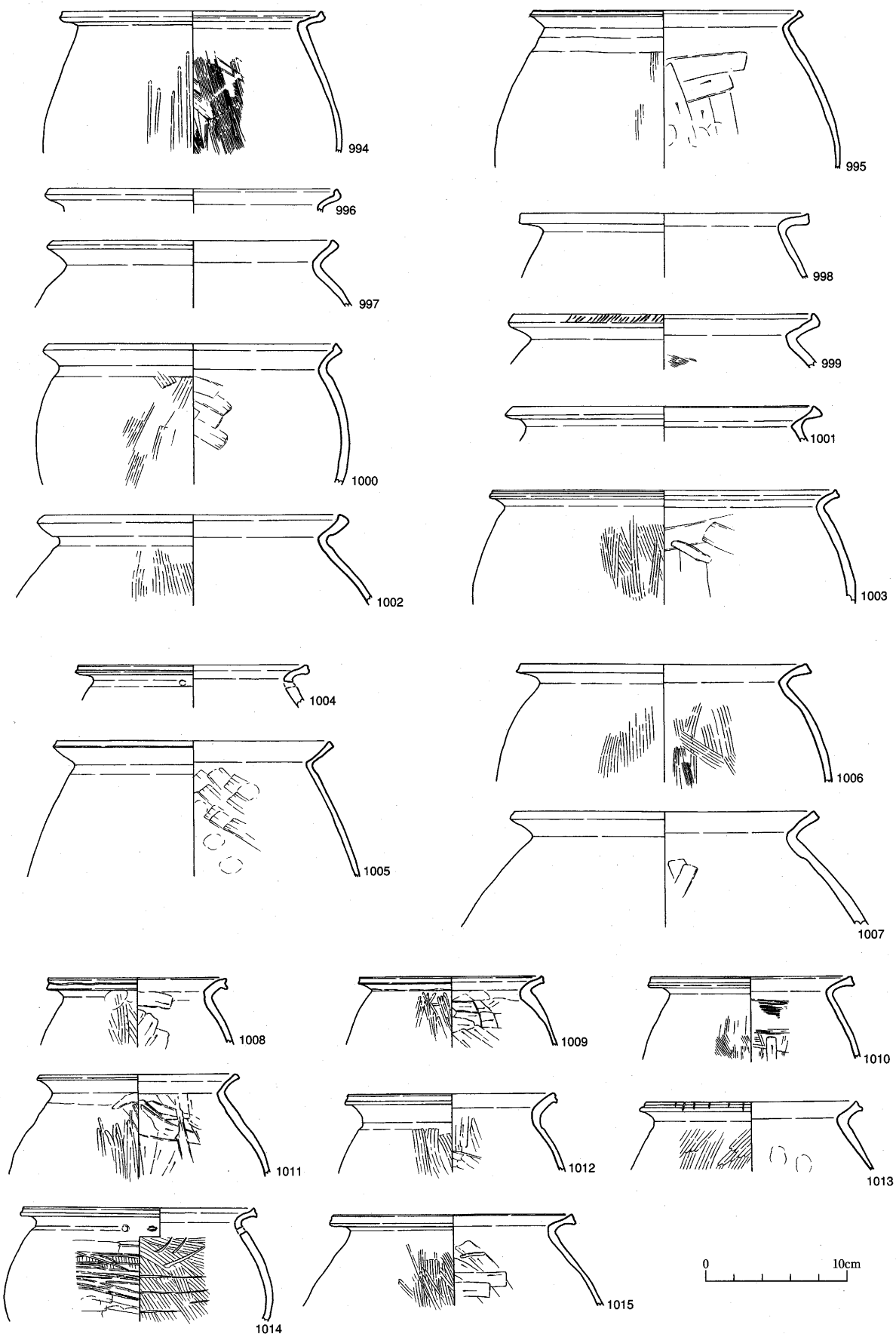
第81図　自然河川跡遺物実測図12（926～946：ＳＲ02）



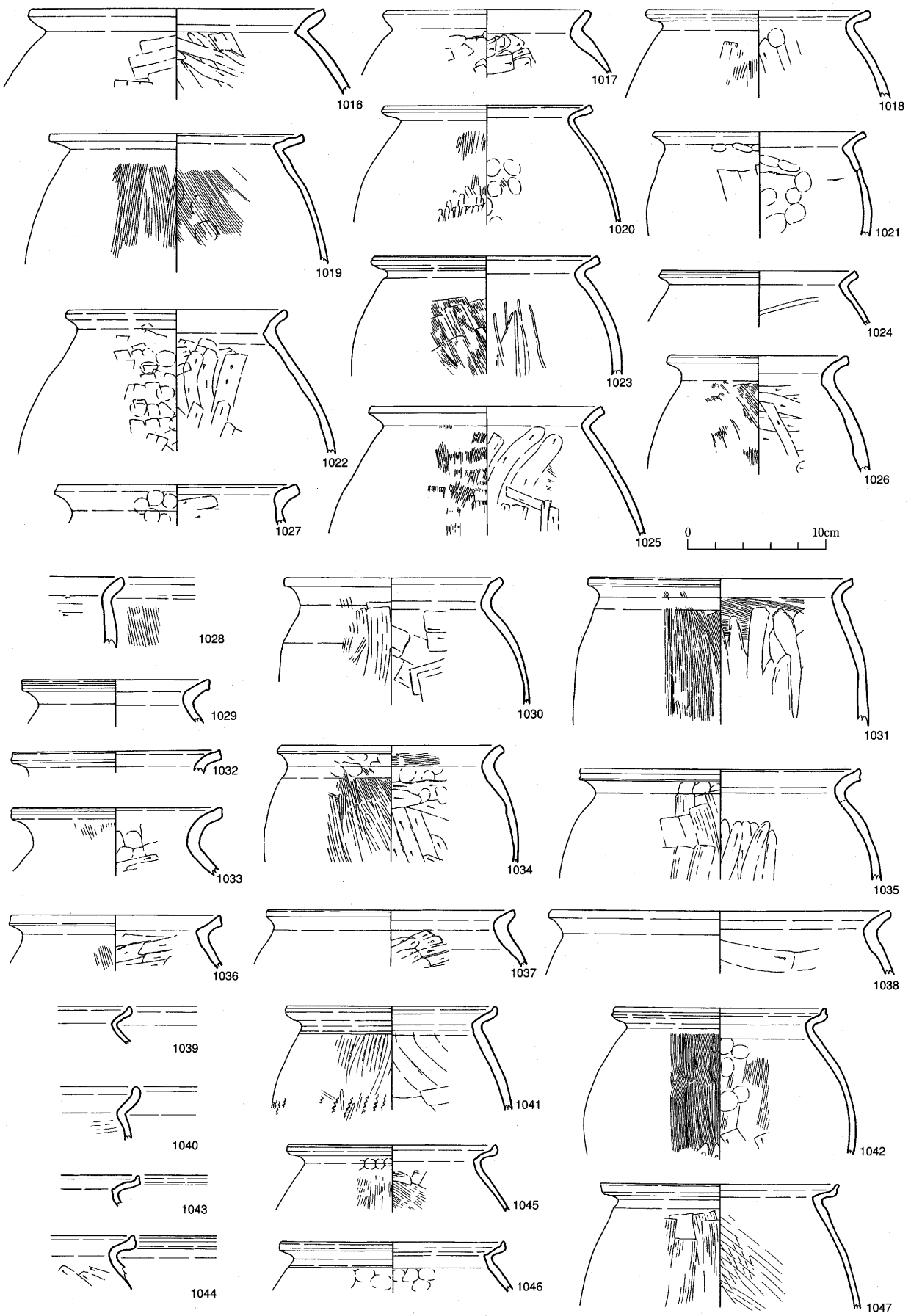
第82図　自然河川跡遺物実測図13（947～970：ＳＲ02）



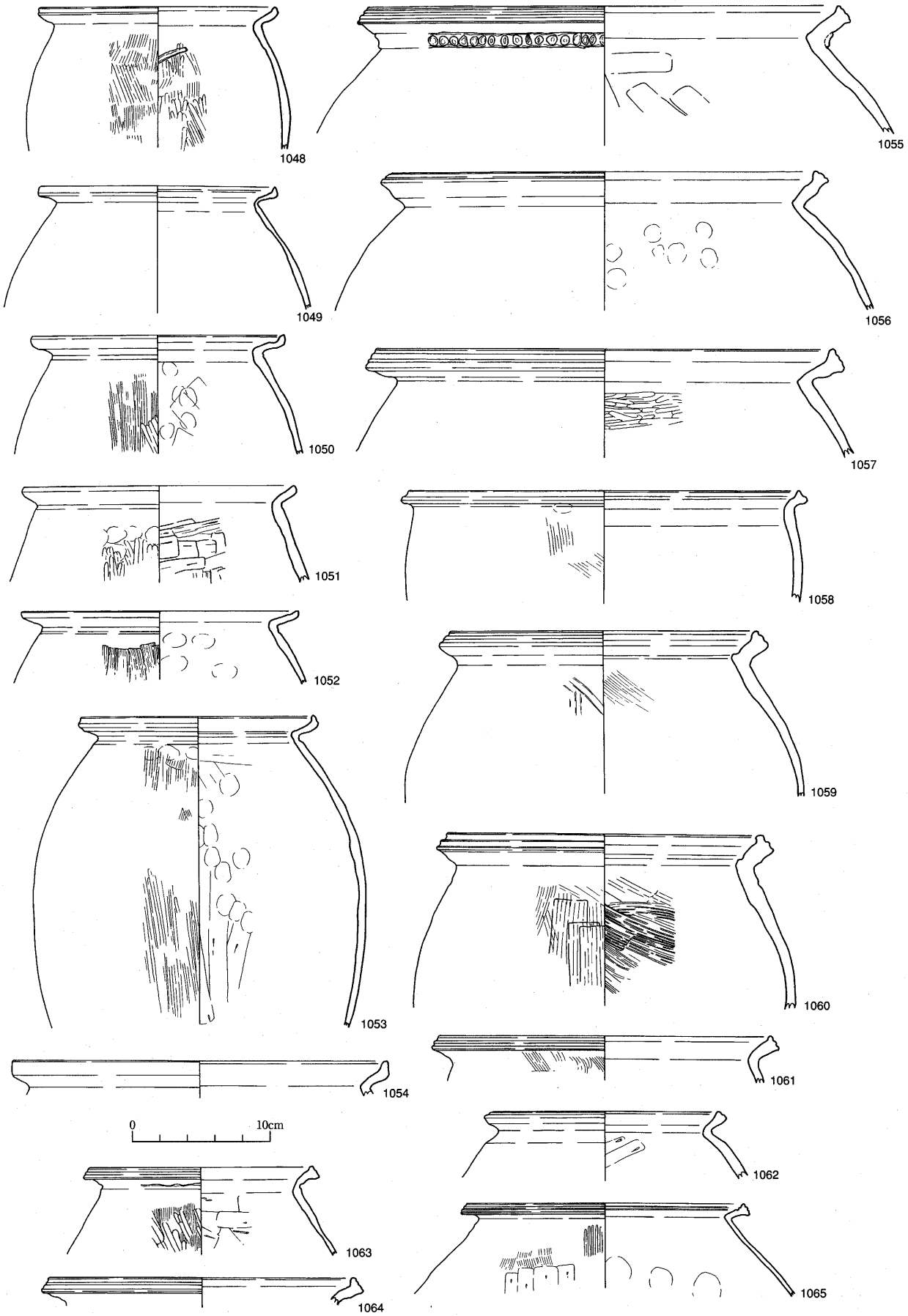
第83図　自然河川跡遺物実測図14（971～993：ＳＲ02）



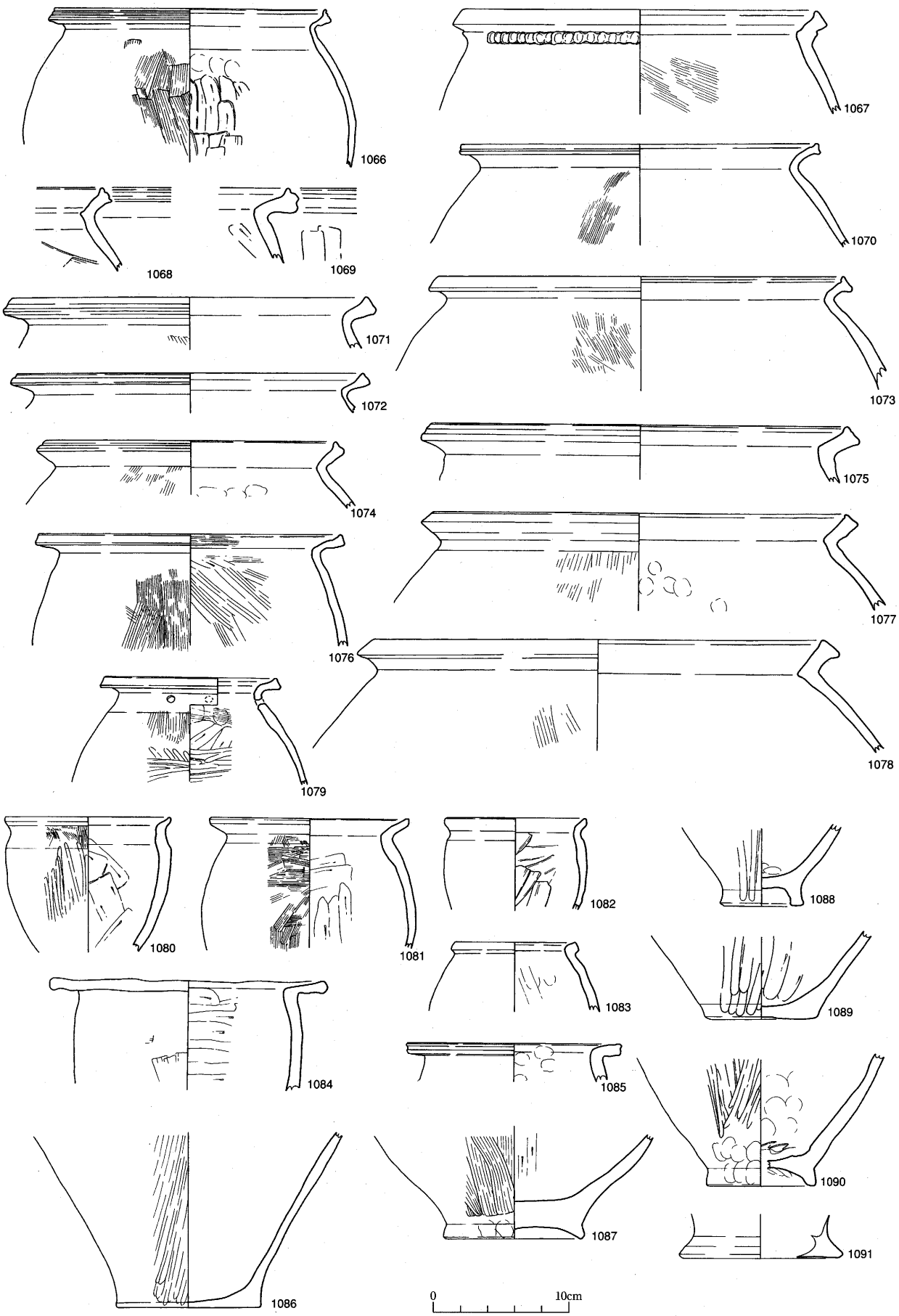
第84図　自然河川跡遺物実測図15（994～1015：ＳＲ02）



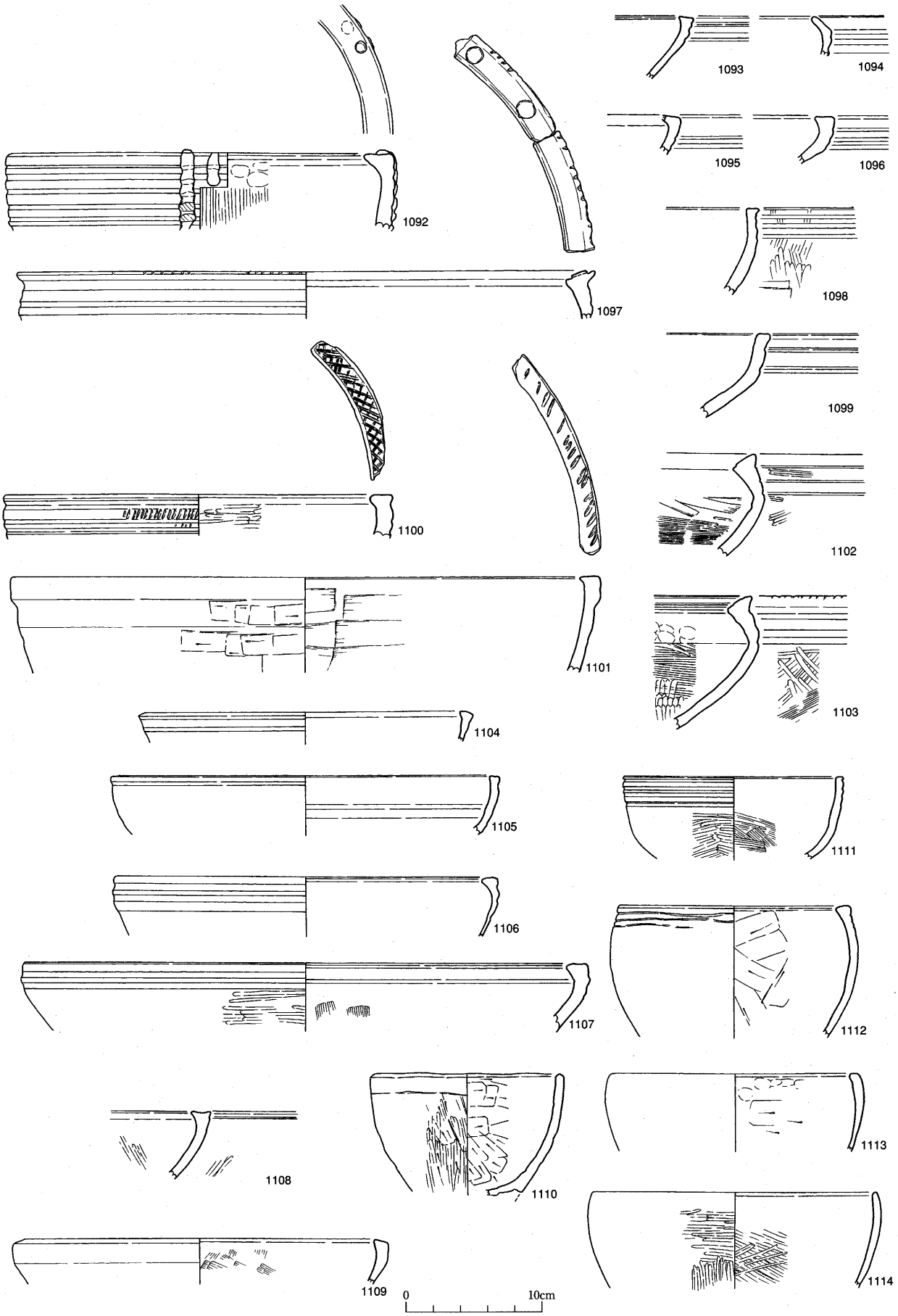
第85図　自然河川跡遺物実測図16（1016～1047：ＳＲ02）



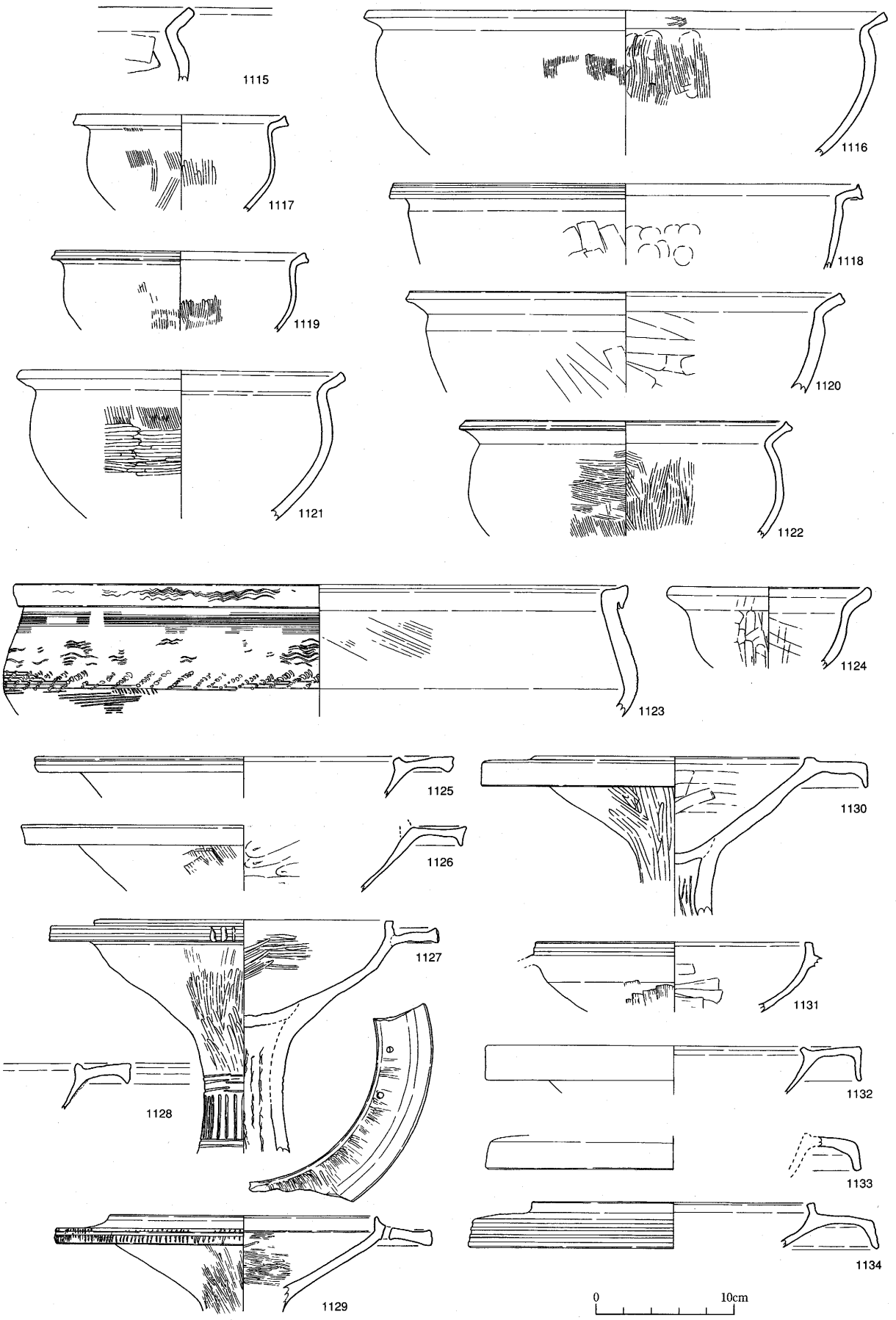
第86図　自然河川跡遺物実測図17（1048～1065：ＳＲ02）



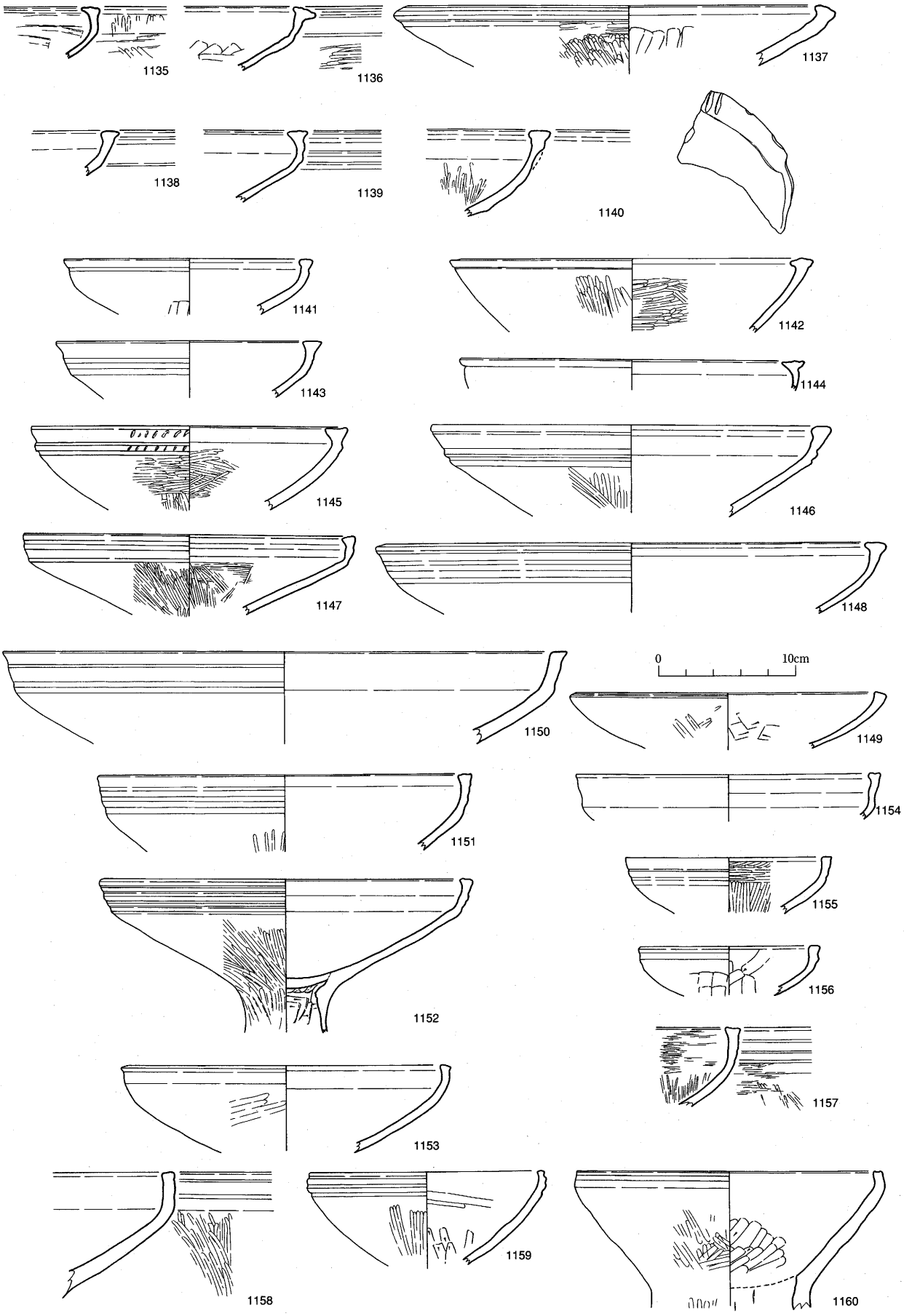
第87図　自然河川跡遺物実測図18（1066～1091：ＳＲ02）



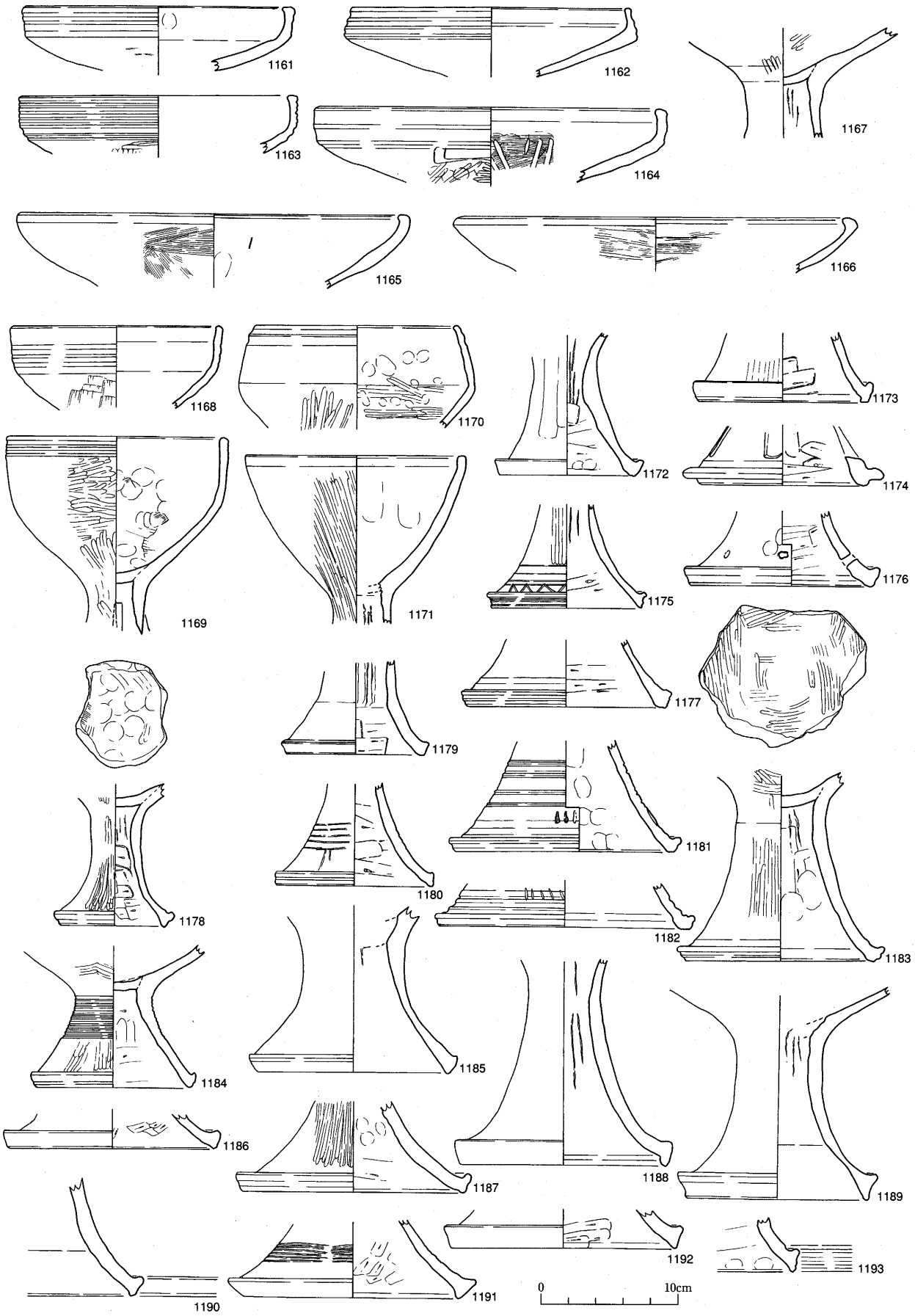
第88図　自然河川跡遺物実測図19（1092～1114：ＳＲ02）



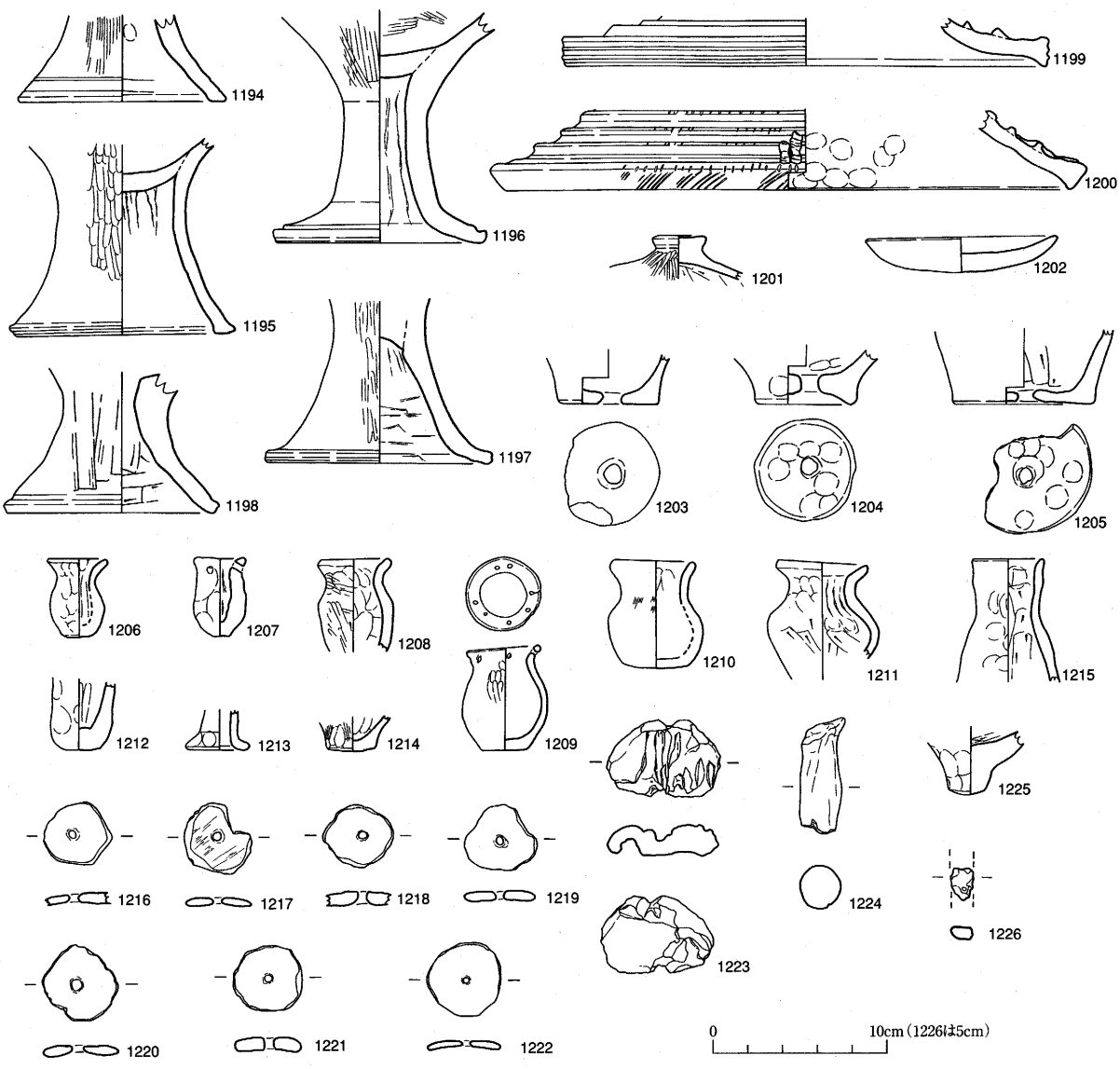
第89図　自然河川跡遺物実測図20（1115～1134：ＳＲ02）



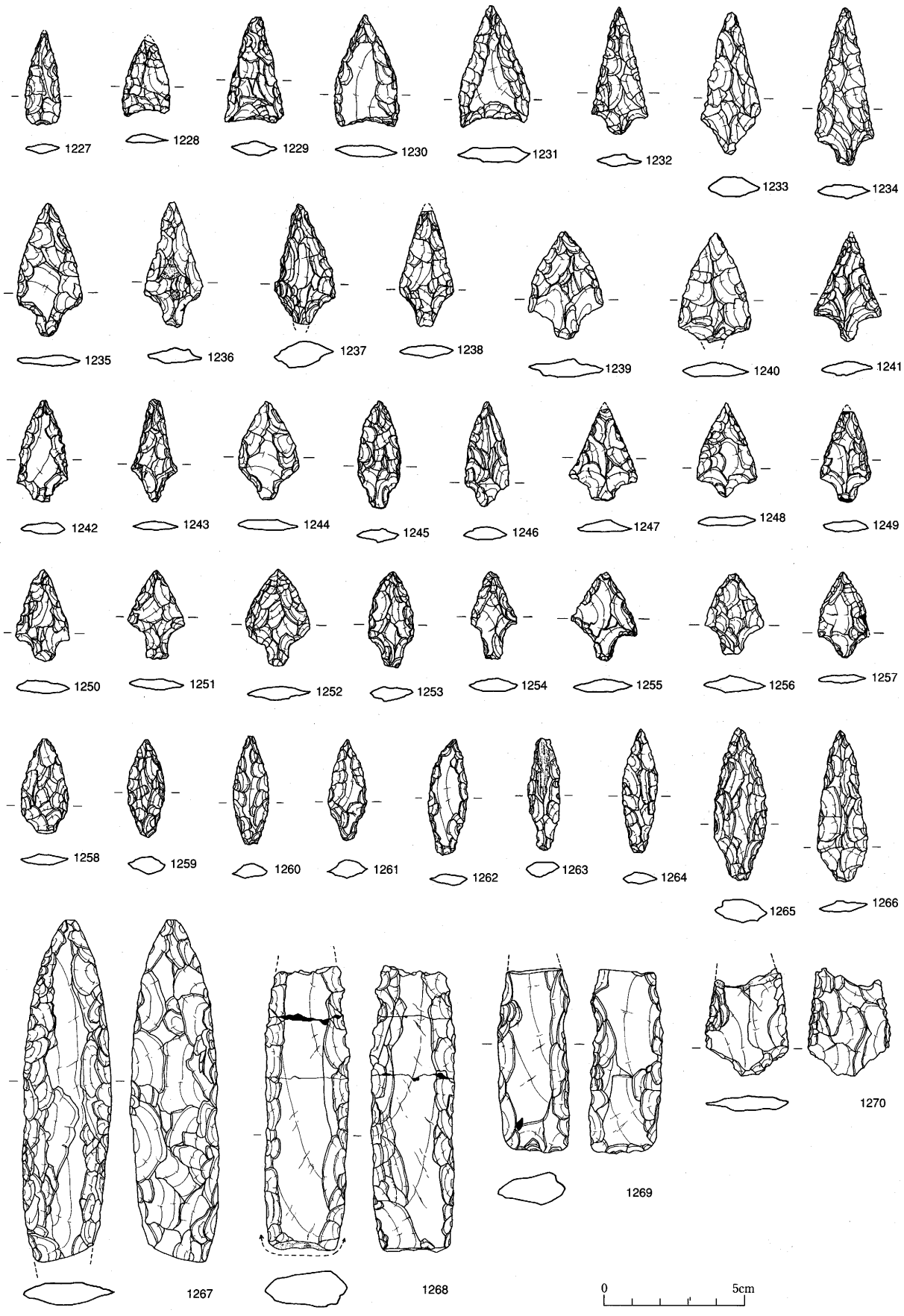
第90図　自然河川跡遺物実測図21（1135～1160：ＳＲ02）



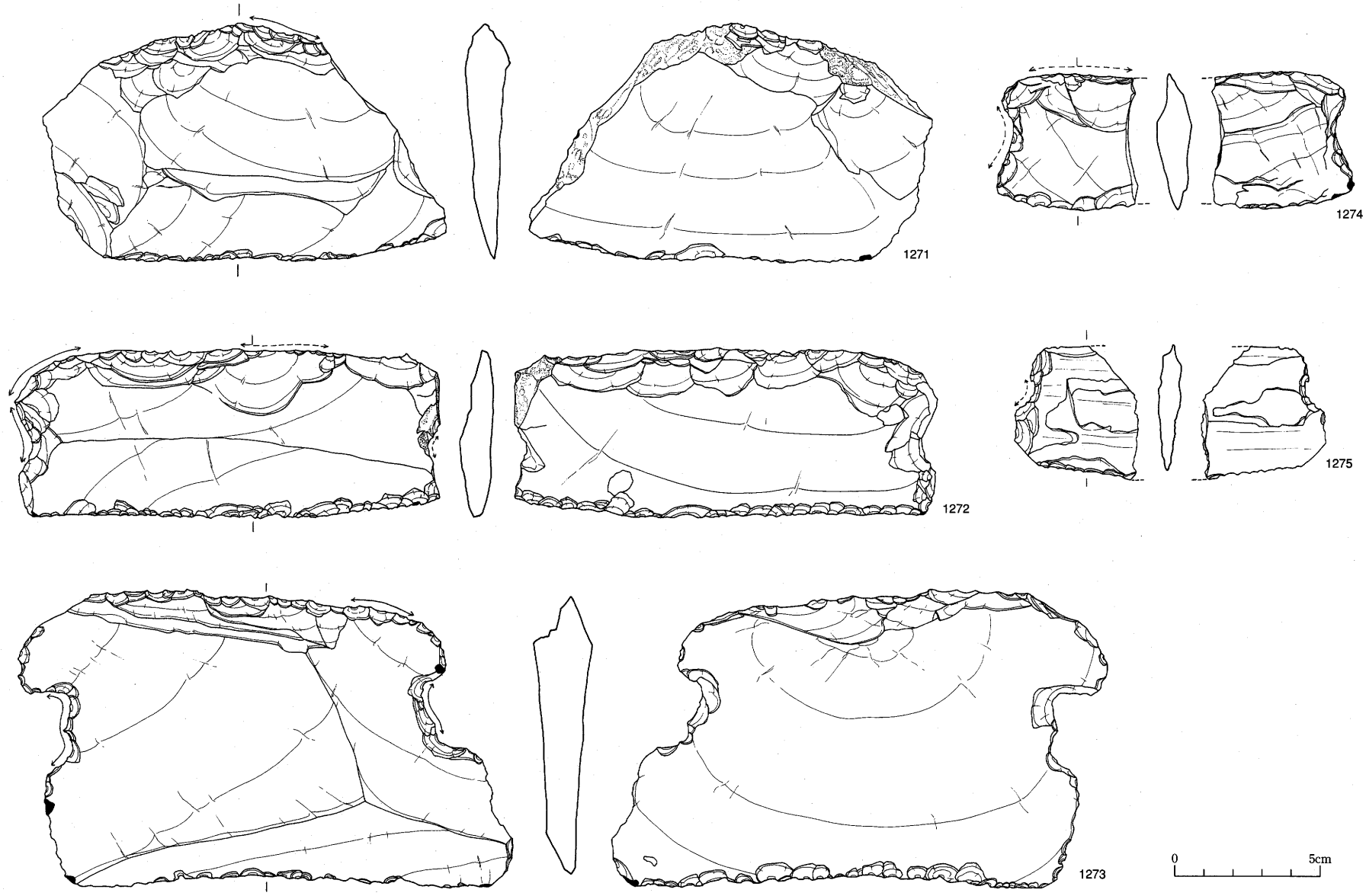
第91図　自然河川跡遺物実測図22（1161～1193：ＳＲ02）



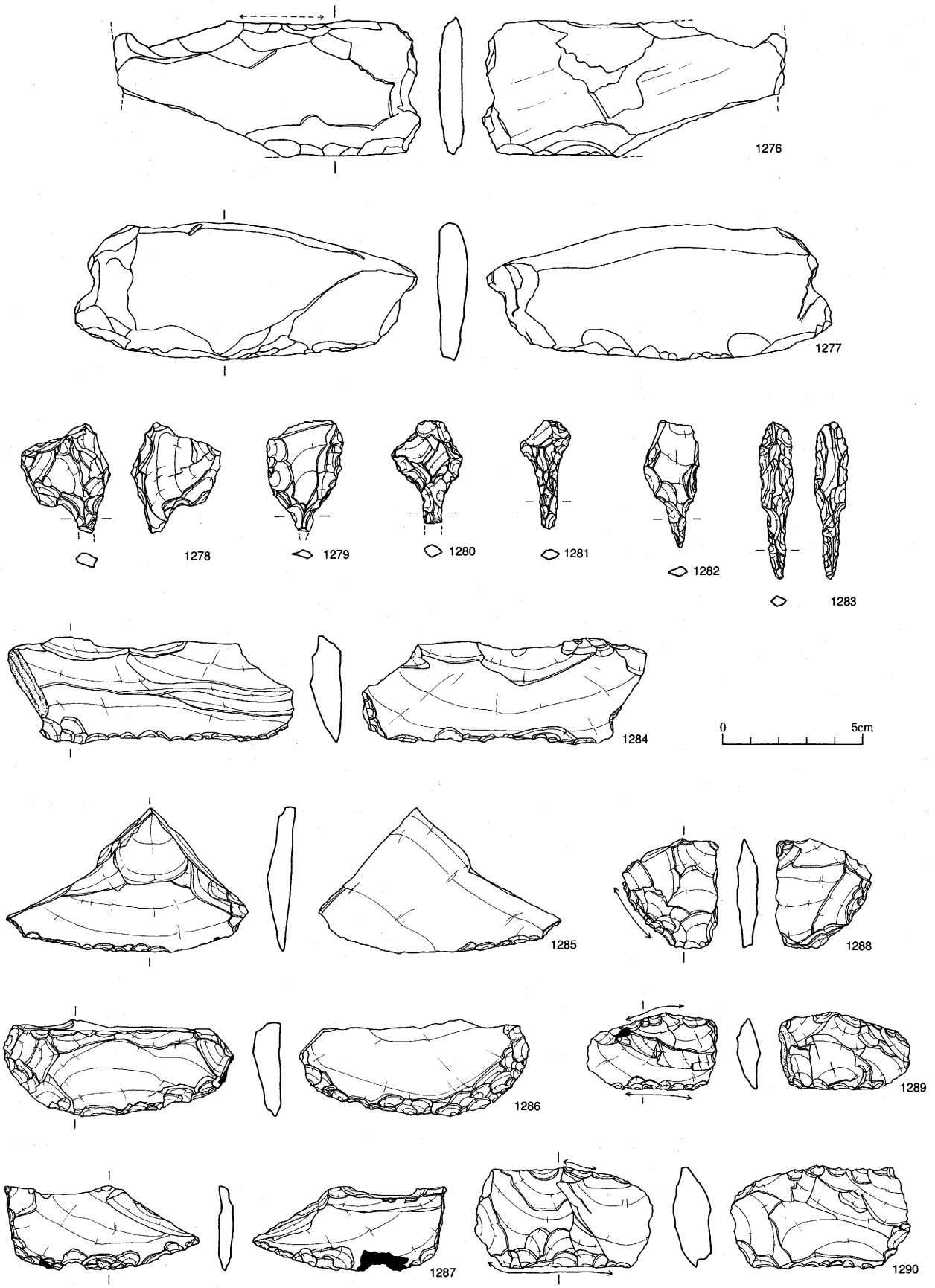
第92図　自然河川跡遺物実測図23（1194～1226：ＳＲ02）



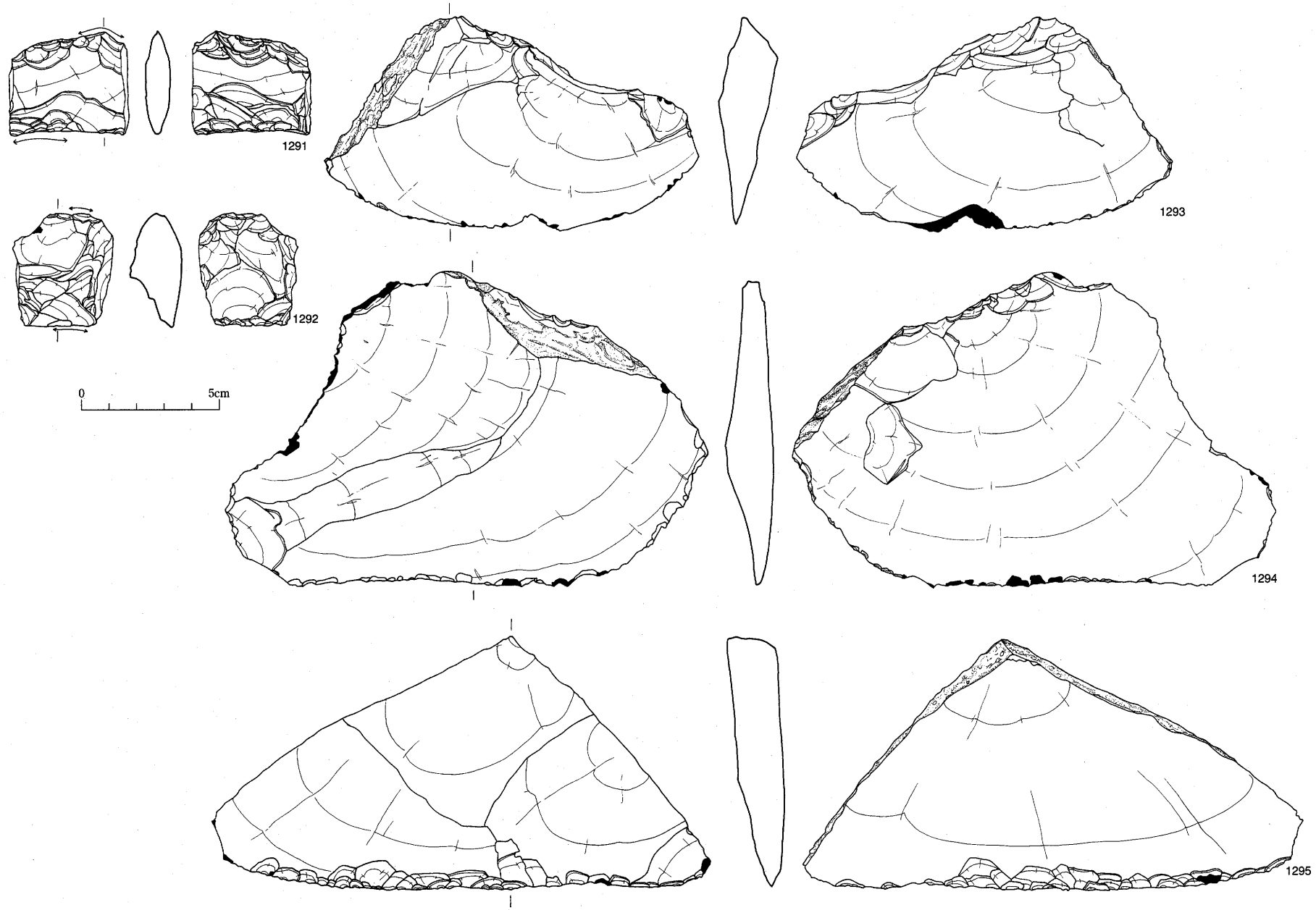
第93図　自然河川跡遺物実測図24（1227～1270：ＳＲ02）



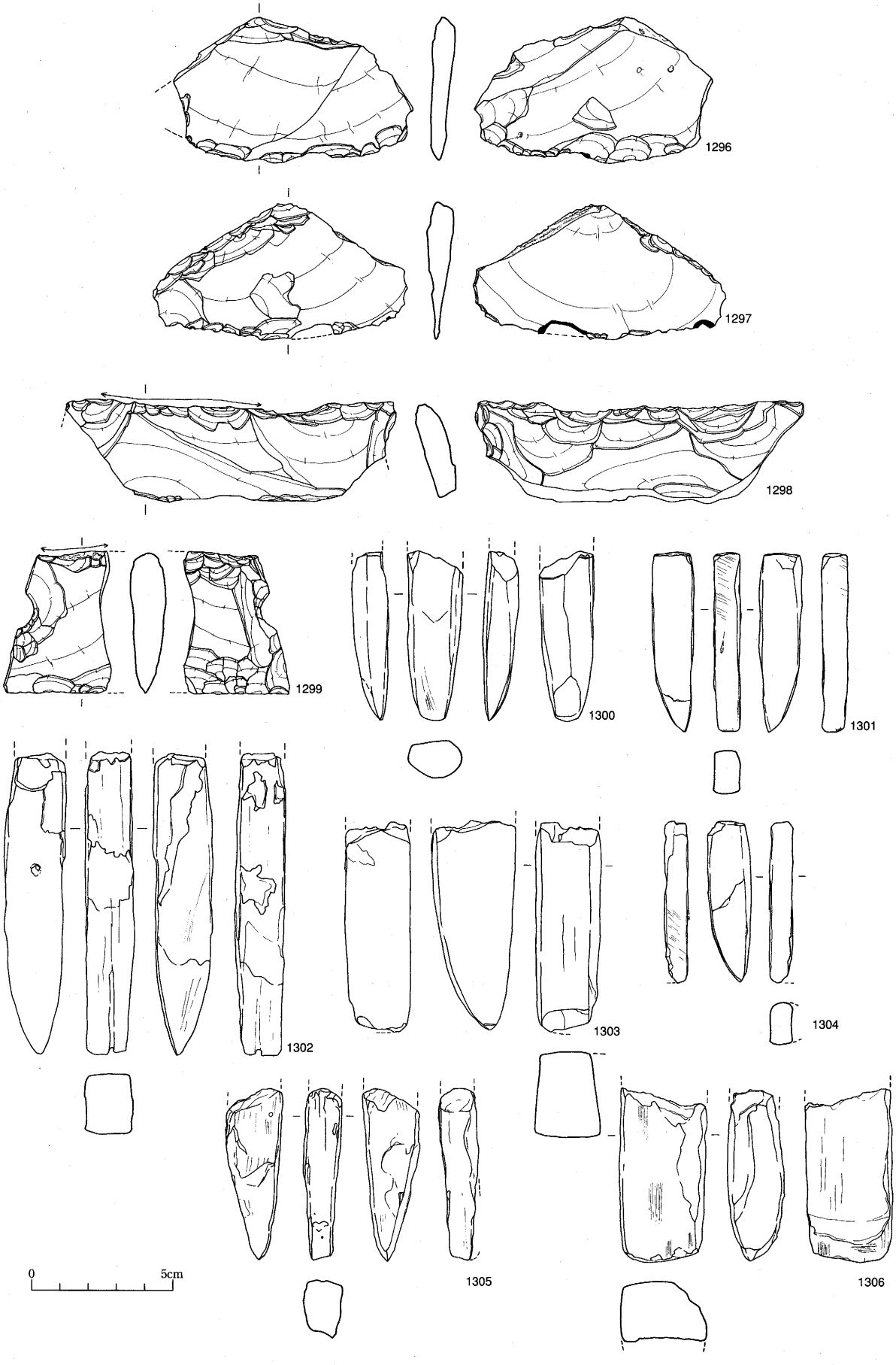
第94図　自然河川跡遺物実測図25（1271～1275：ＳＲ02）



第95図　自然河川跡遺物実測図26（1276～1290：ＳＲ02）

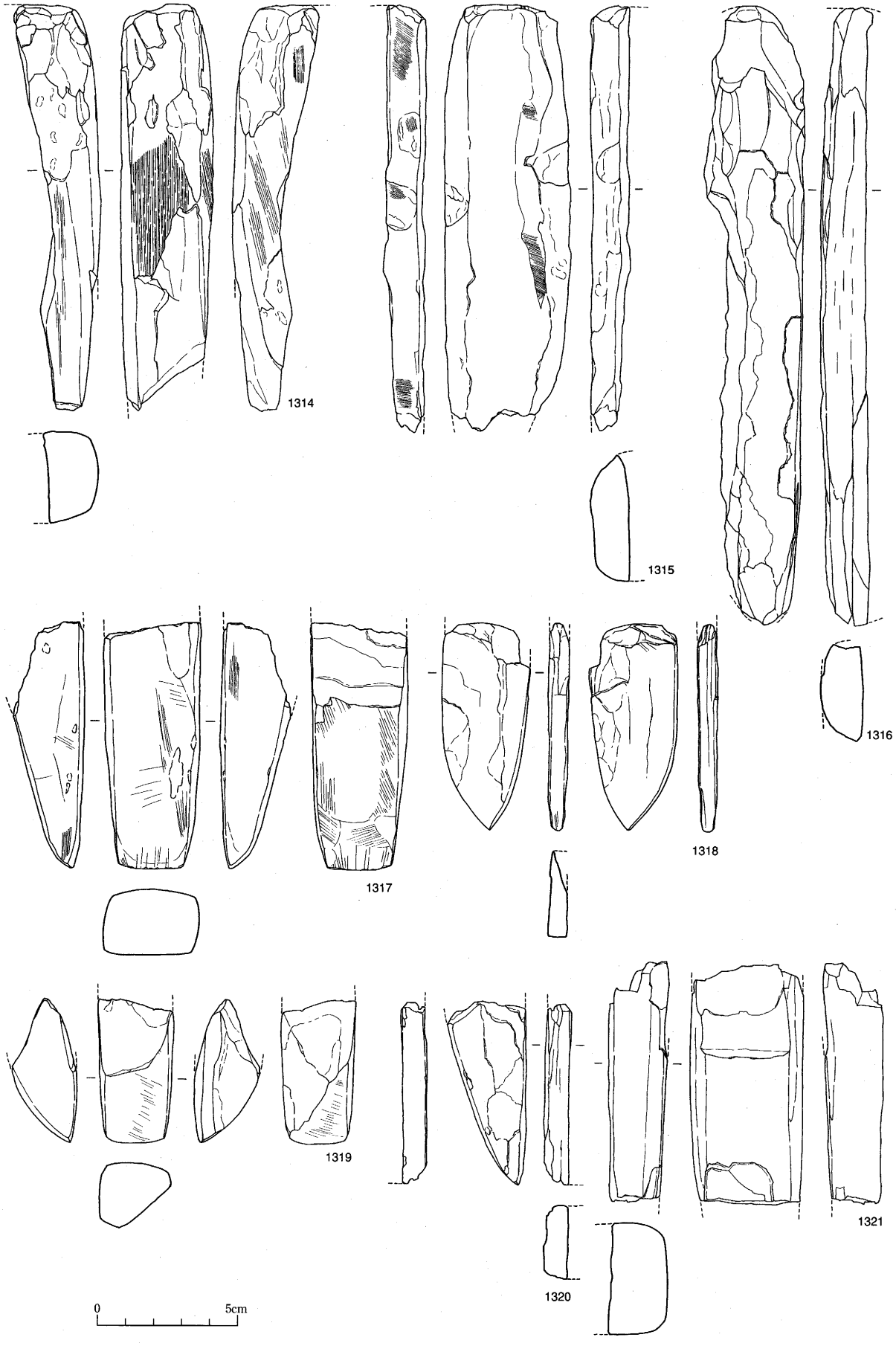


第96図　自然河川跡遺物実測図27（1291～1295：ＳＲ02）

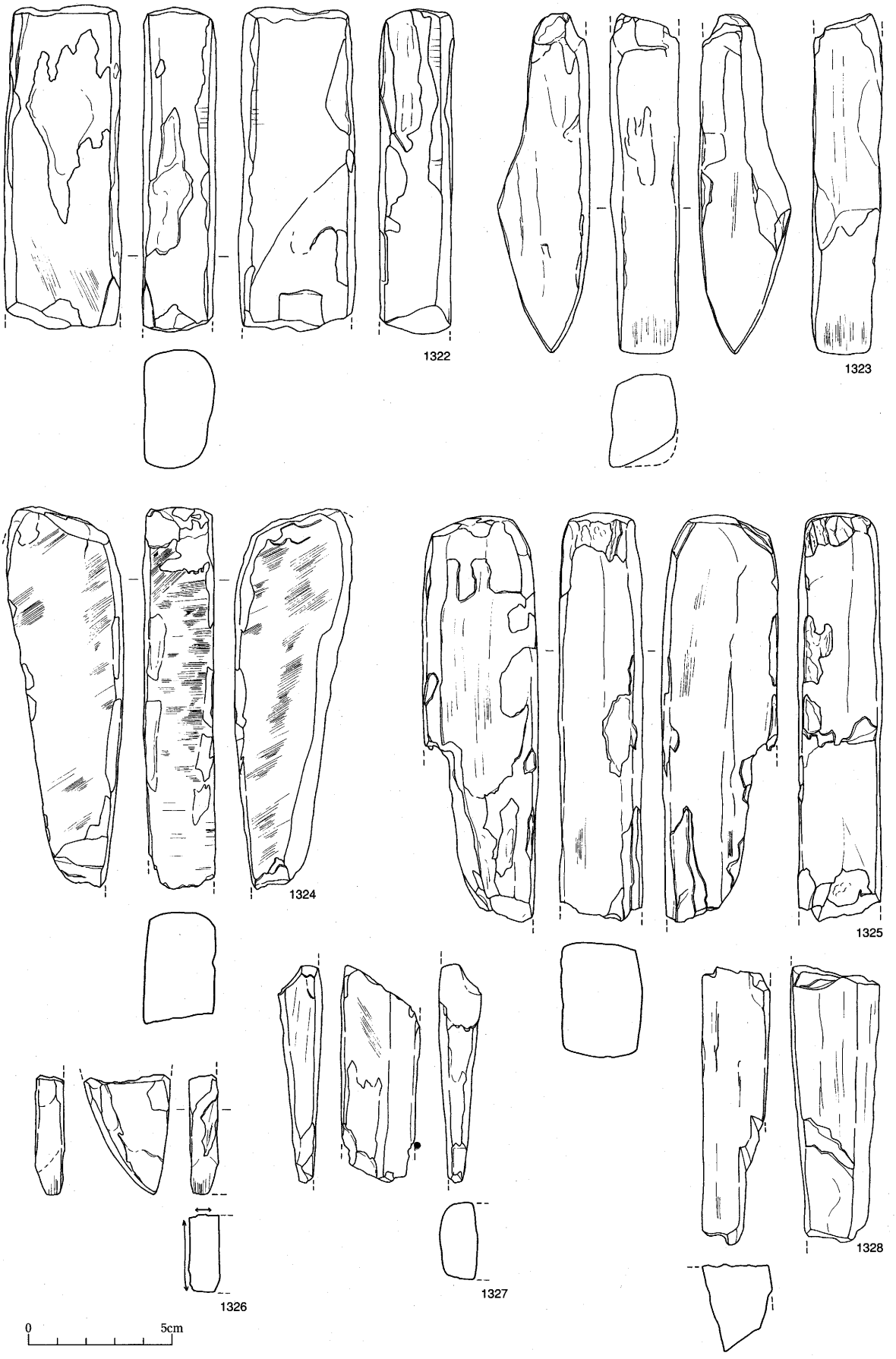


第97図　自然河川跡遺物実測図28（1296～1306：ＳＲ02）

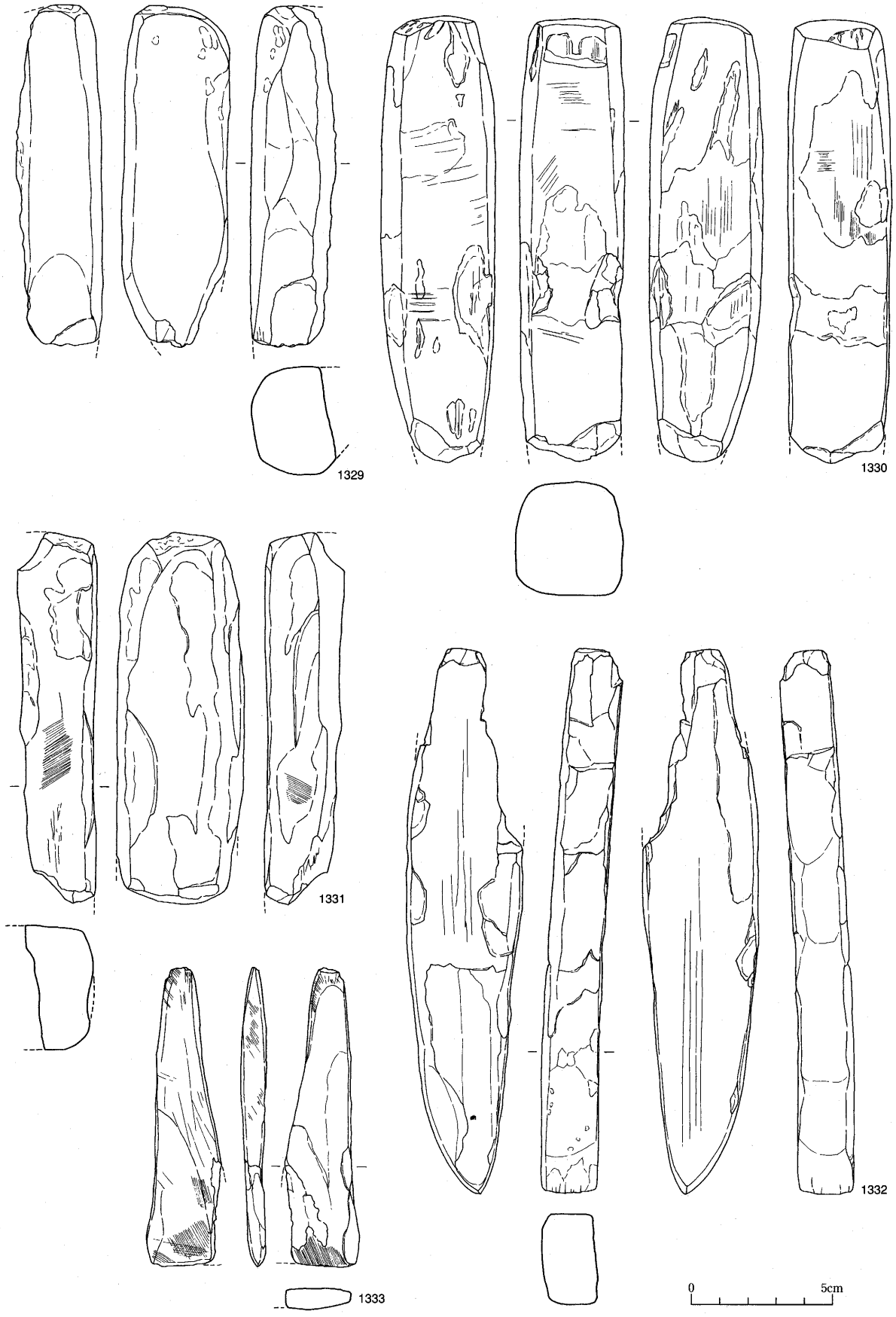
第98図　自然河川跡遺物実測図29（1307～1313：ＳＲ02）



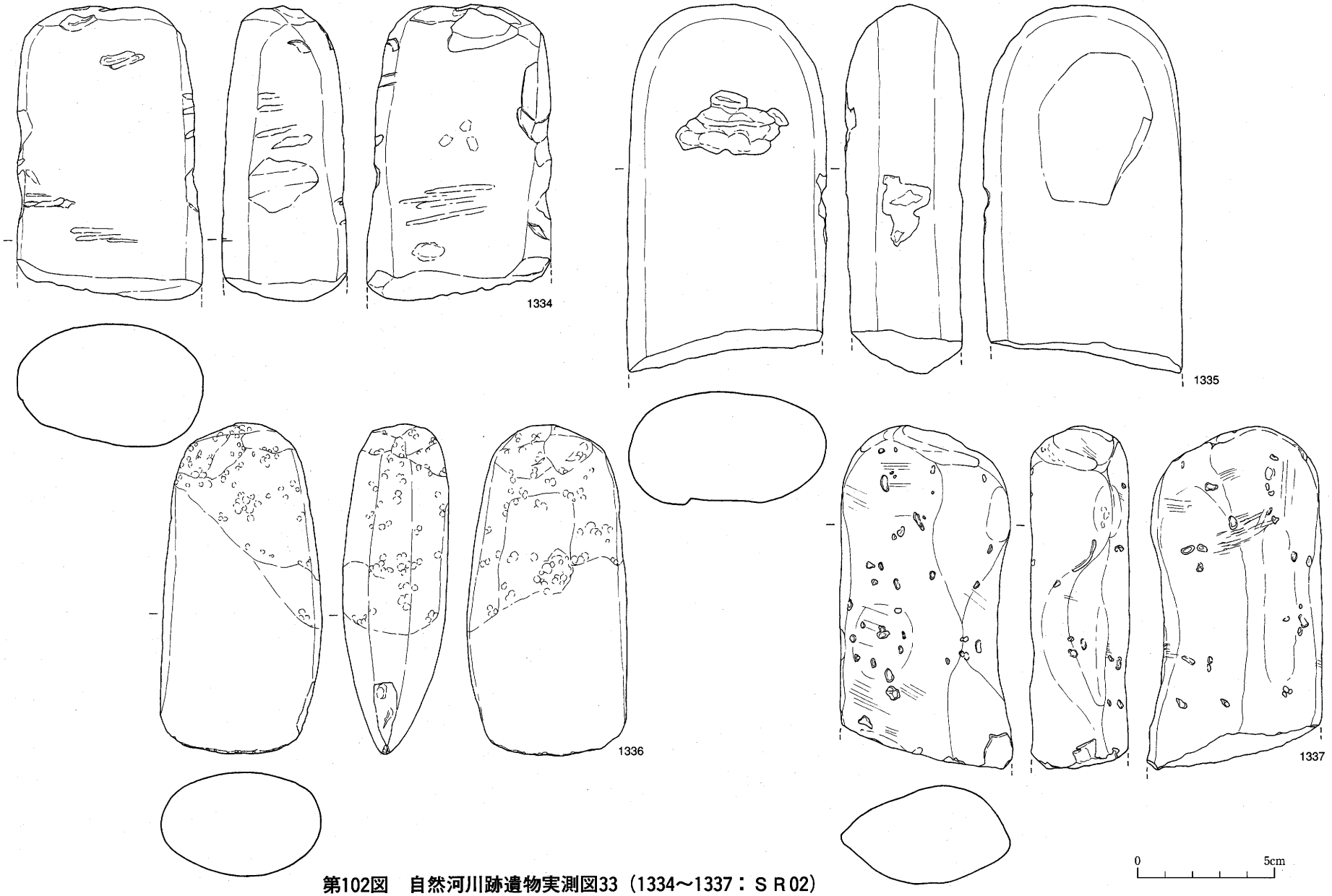
第99図　自然河川跡遺物実測図30（1314～1321：ＳＲ02）



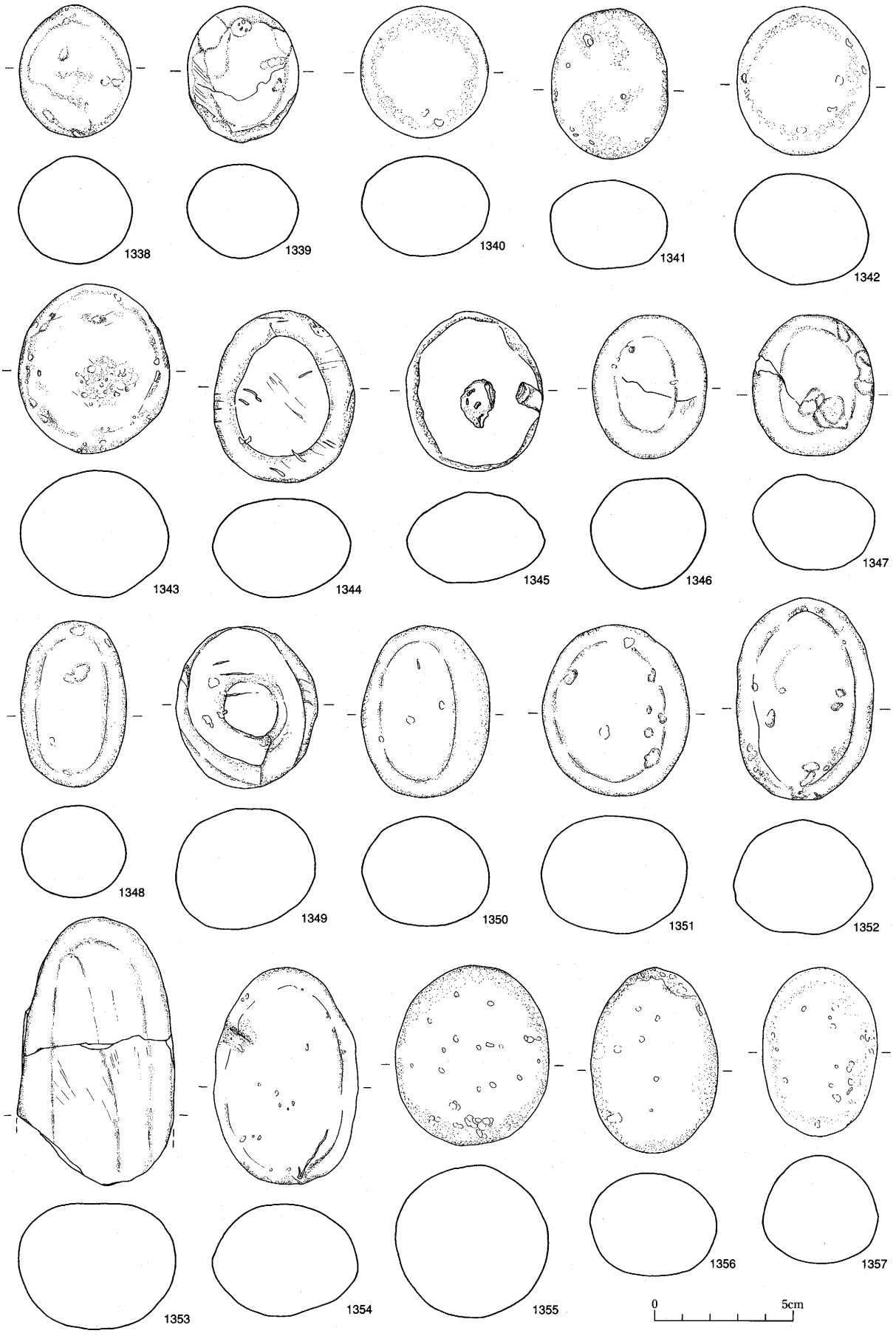
第100図　自然河川跡遺物実測図31（1322～1328：ＳＲ02）



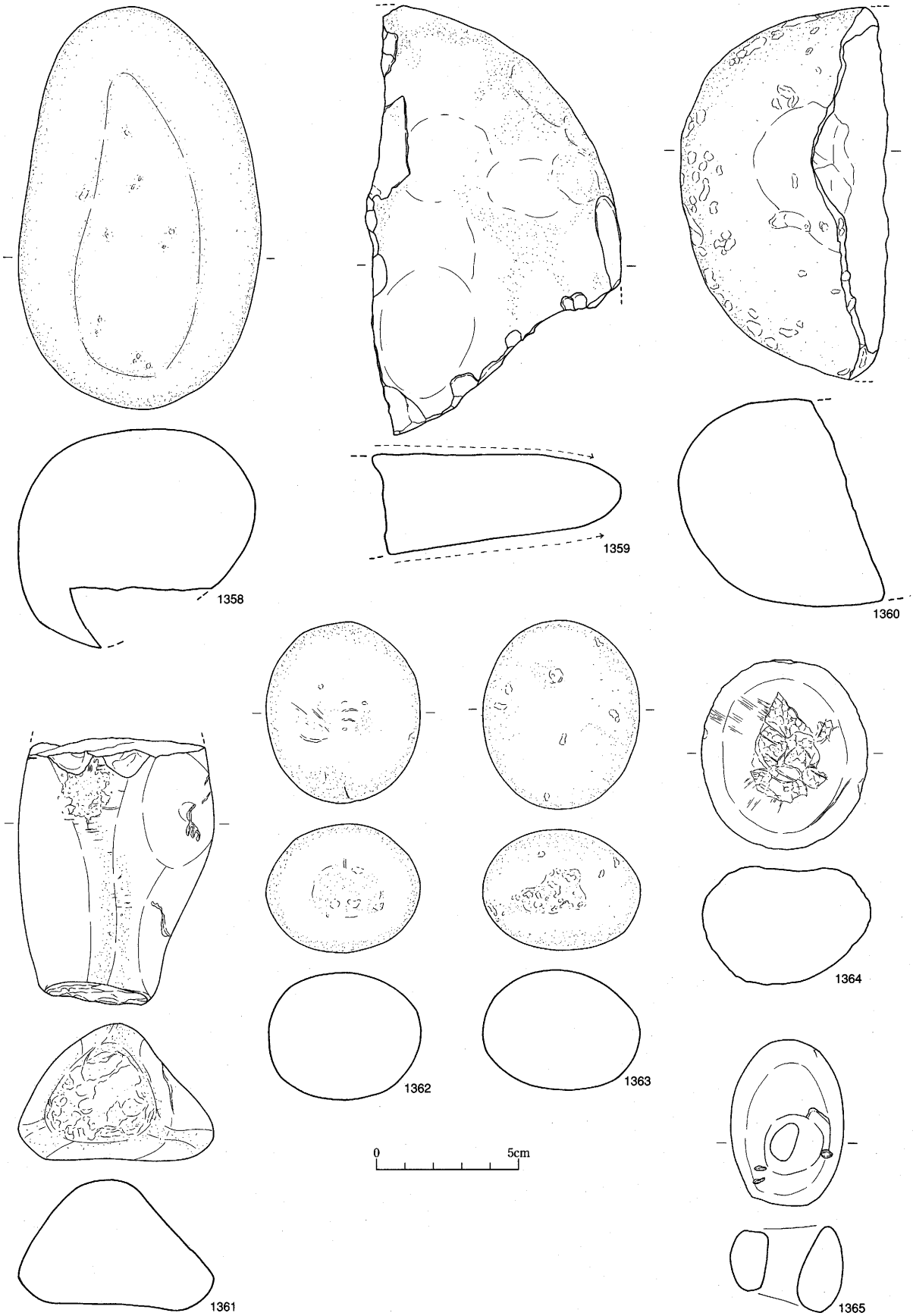
第101図　自然河川跡遺物実測図32（1329～1333：ＳＲ02）



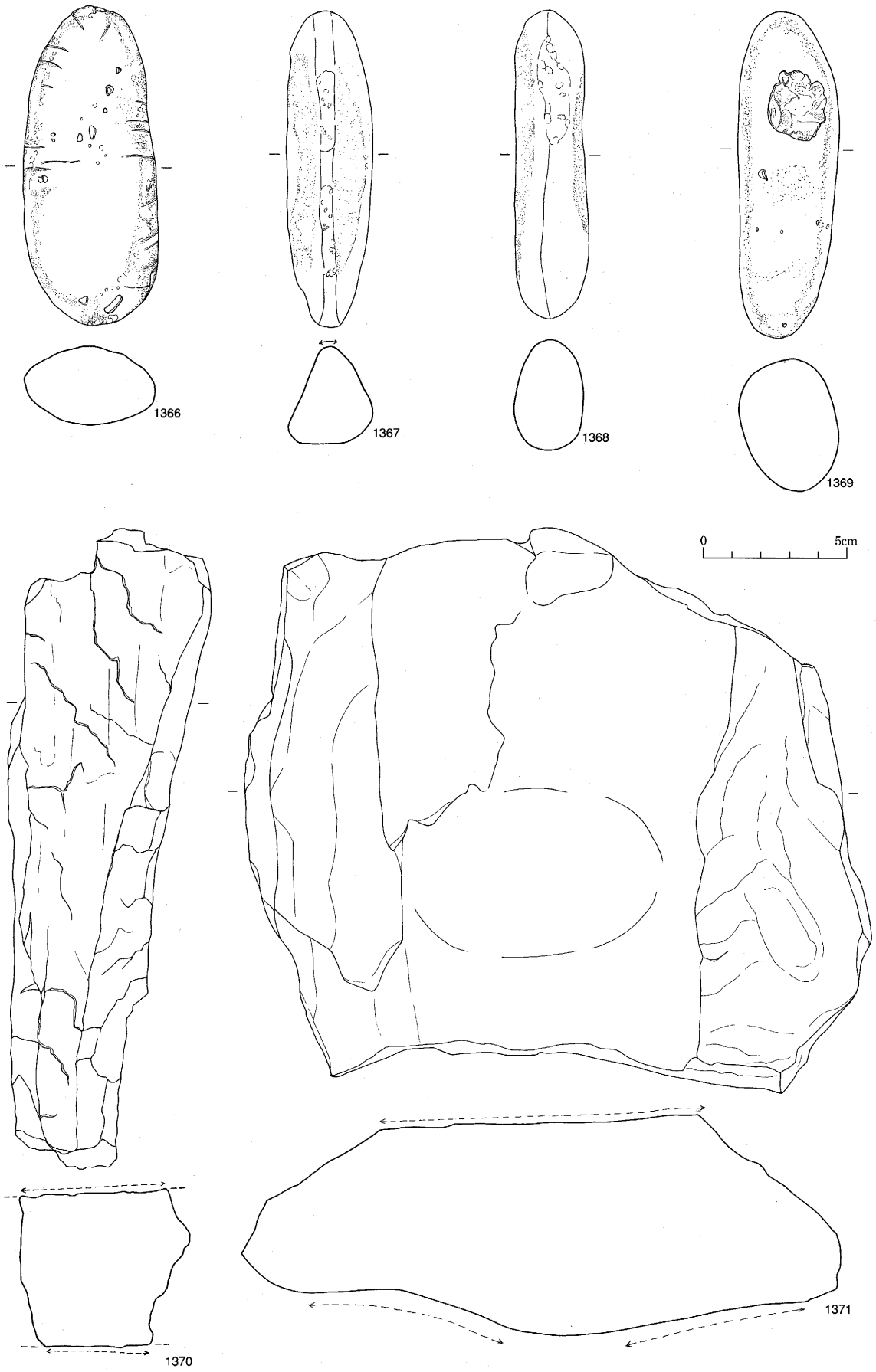
第102図　自然河川跡遺物実測図33（1334～1337：ＳＲ02）



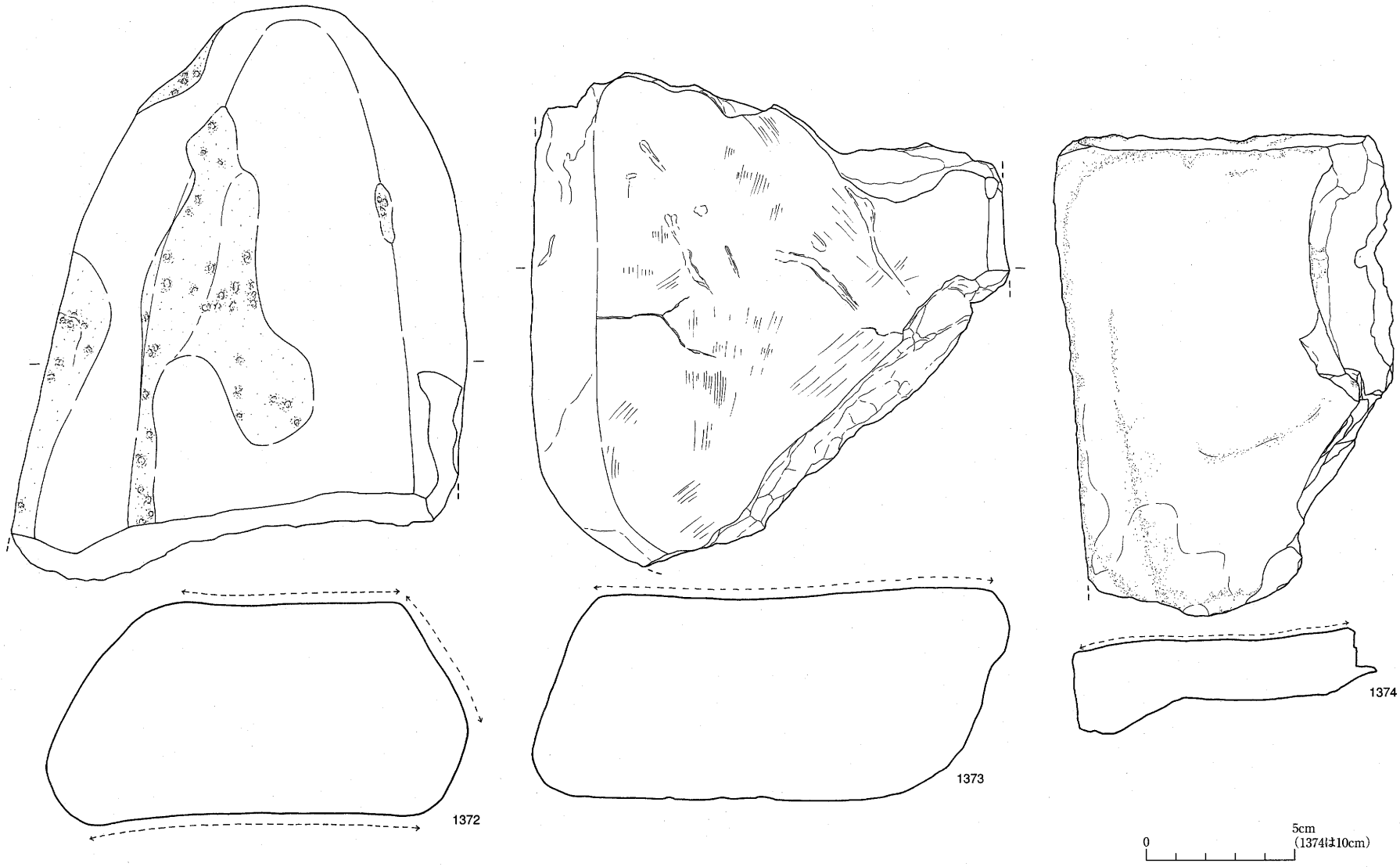
第103図　自然河川跡遺物実測図34（1338～1357：ＳＲ02）



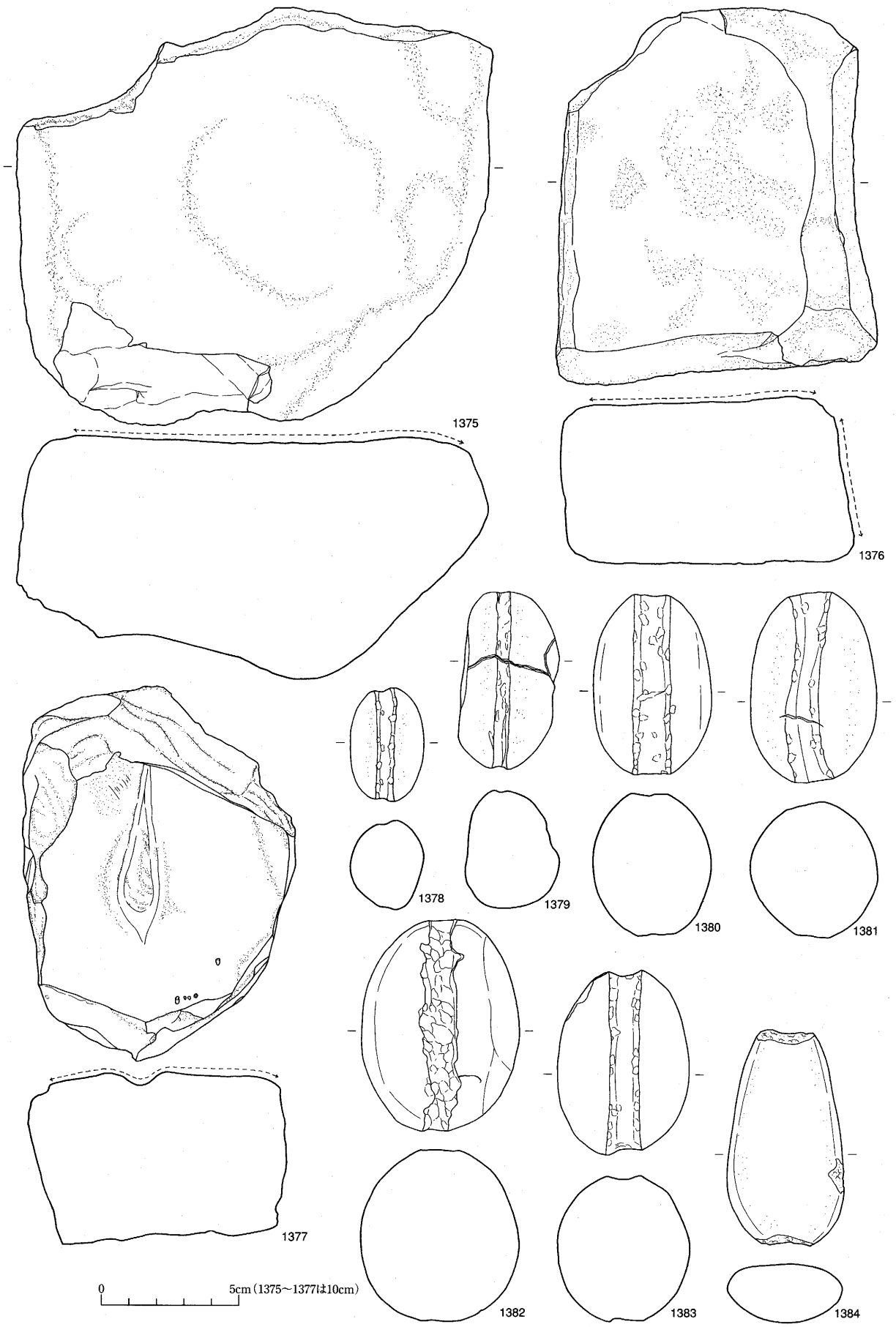
第104図　自然河川跡遺物実測図35（1358～1365：ＳＲ02）



第105図　自然河川跡遺物実測図36（1366～1371：ＳＲ02）



第106図　自然河川跡遺物実測図37（1372～1374：ＳＲ02）



第107図　自然河川跡遺物実測図38（1375～1384：ＳＲ02）

面の基部側にある斜め方向に荒れた箇所は柄に装着されていた範囲を示すものである。磨石は1353と1358を除いて大きさの均整がとれている。1361は使用面が完全に平坦化した資料である。1362、1363は磨石を叩石として転用したものであるが、叩石としての使用頻度は低い。1368、1369は一部に敲打痕があるため石器製作時のハンマーとして使用されたことが想像できる。1377は表面の中央部に幅の狭い窪みがあるため調理具以外の使いみちも考えられる。1378～1383は磨石を転用したものである。1384は長軸方向の両端部を打ち欠いて紐掛けしたものである。

(7) 遺物包含層

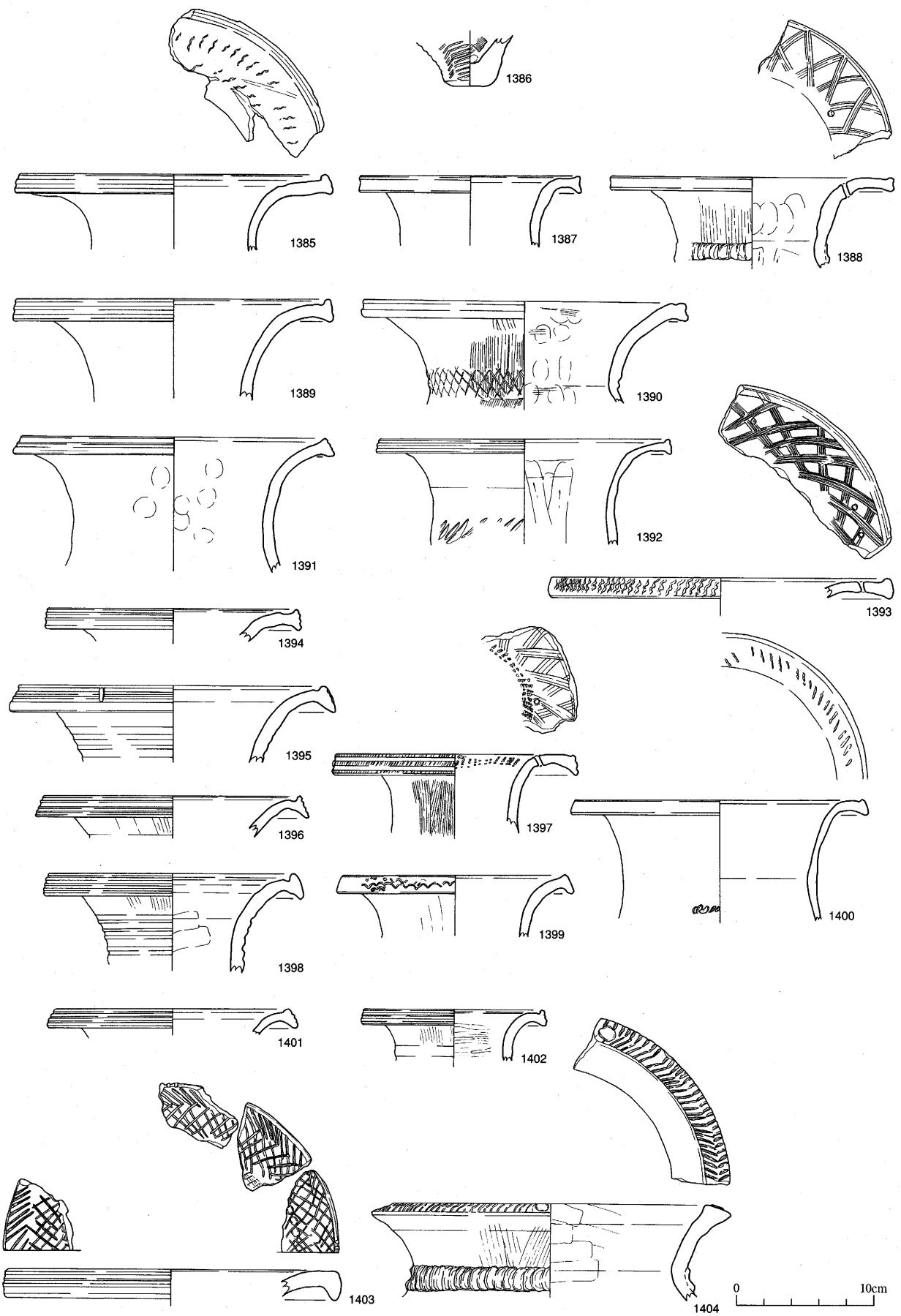
①Ⅰ区（第108～119図）

ⅠA区において微細な谷地形に相当する北半部の中央部と、ⅠC区の自然河川跡の検出箇所に相当する北・東半部において遺物包含層を検出した。後者の堆積層は河水によって運搬された岩石や砂を主成分とするため、包蔵されていた遺物は他所から運搬された可能性が高いが、前者は基盤土に類似した土壌によって形成されていることから、検出箇所に近い位置で発生した土壌が堆積したものと考えられる。すなわち当該箇所周辺には竪穴住居跡をはじめとする生活遺構が密集するため、主としてこれらの遺構群から掻き出された遺物を包蔵していたものと考えられる。

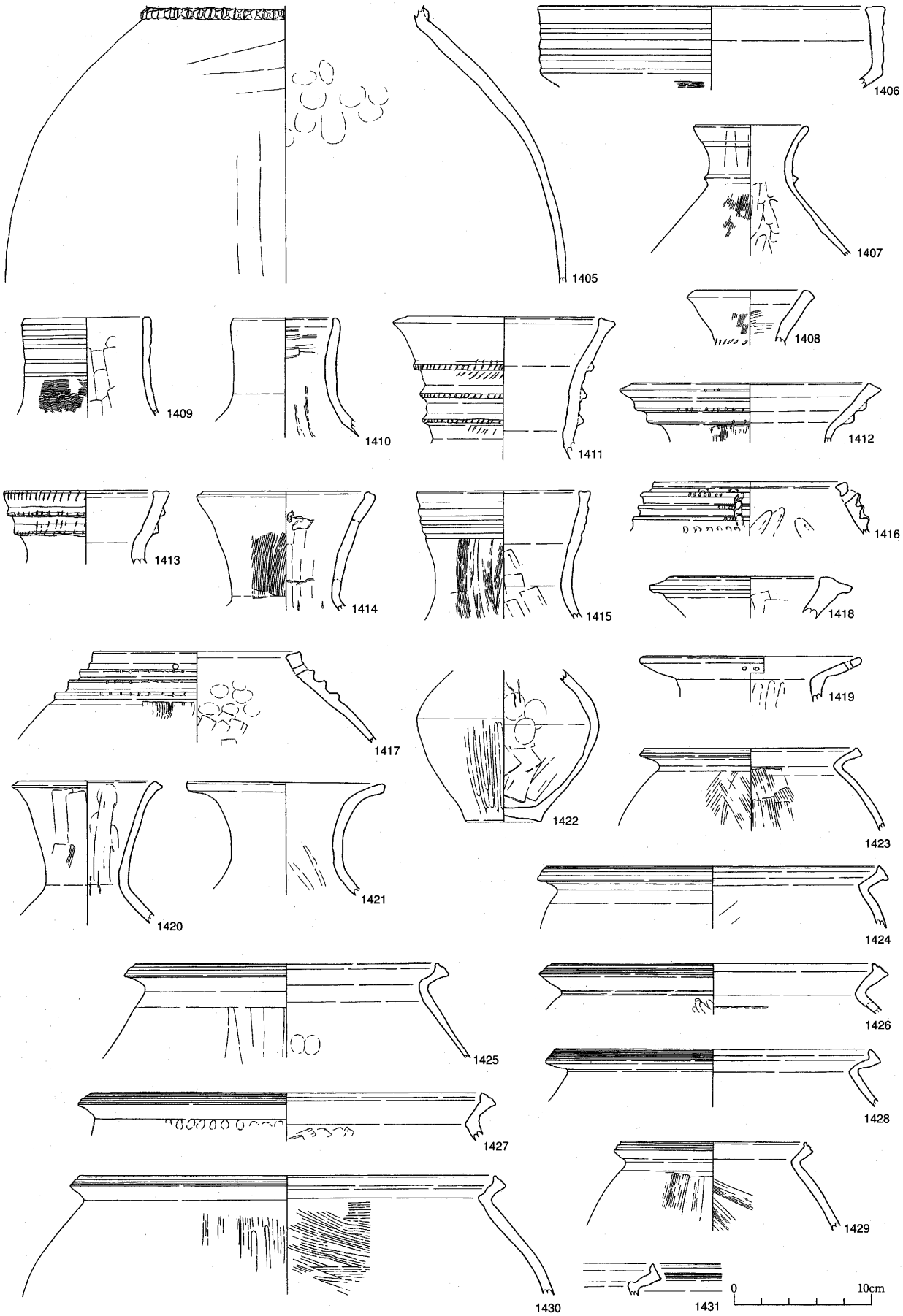
層序はⅠC区で4層に分別できる。

［遺物］1385～1402は口縁部が水平方向に開口する器種で、端部が上下に肥厚されるもの（1385～1394）と下端部が外方向に張り出すもの（1395～1402）に分類される。この器種は口縁端部の凹線文や口縁部内面の斜格子文が特徴である。1385の口縁部内面と1393の口縁端部には二枚貝の殻による刺突文がある。1403は口縁下端部が垂下する形態である。1404は口縁部が短く外反して端部が肥厚された大型の器種である。1406は2重口縁の形態である。1409、1410は頸部から口縁部にかけて直立して端部が丸く成形されている。1411～1415は頸部は直立するが、口縁部は内傾気味に外反する。1416、1417の体部は算盤珠形の形態である。1423～1427の口縁部は上下に肥厚されて端面に凹線文が施されている。1428～1433は口縁上端部が突出するために広い端面が生じた器種である。1434～1448は前記のグループに比べて口縁上端部のつまみ上げが少しだけに留まったグループである。1450～1453は口縁端部の仕上げが簡略化されている。1454～1456は肩が張らないために体部が長胴の形態である点が特徴である。1462～1466は口縁部を直立させて外面に凹線文を施した器種である。1467～1471は口縁端部が内外方向に肥厚された形態である。高杯の張り出し部は垂下しないもの（1477）と垂下するもの（1478）がある。1501、1502の口縁部は内傾気味に外反する。1503、1504は体部が球形で、口縁部が短くく字形に外反した形態である。

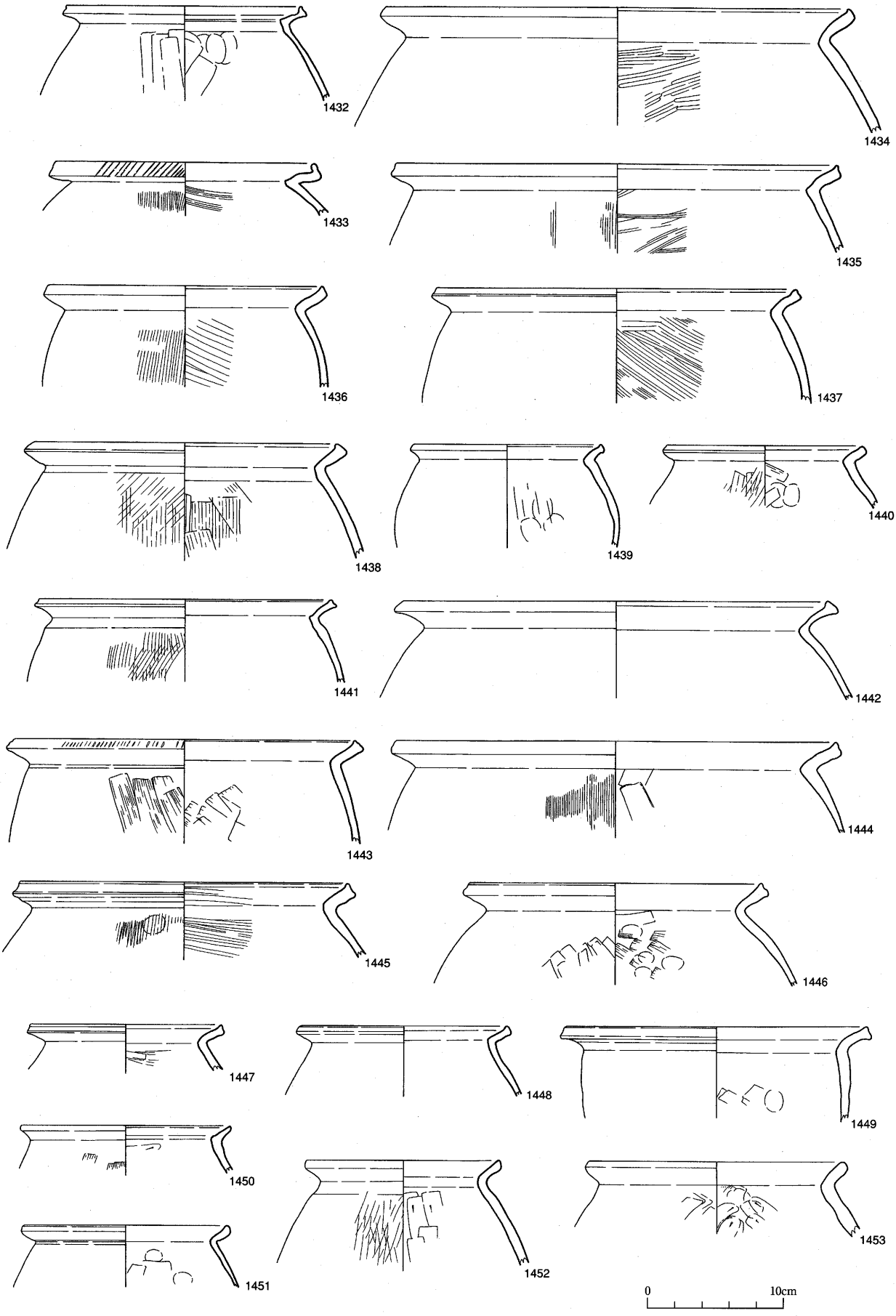
石鏃は無茎凹基式（1513、1514）と有茎凸基式（1515～1526）がある。1526は茎部の作り出しが不明瞭な器種である。1527は基部だけであるが、調整剥離を施した後に裏面の一部を研磨していることがわかる。1528、1529は石鏃の大型品の可能性もある。1530～1535は長軸方向の端部に抉りがある形態である。1539～1543は石器製作の早い段階で発生した横長剥片をそのまま利用した資料である。1544は横長の剥片の両側縁部が平行に成形された後、長側縁部が刃部として加工された資料である。1545は細かい調整剥離による成形の過程が見られない器種で、長側縁部が刃部として加工されている。1546は刃部に使用痕があるため使用時に破損したことがわかる。1547の中心部よりもやや上方にある横方向の窪みは柄に装着された際の紐掛けの痕跡である。1548の中心部にも紐掛けの痕跡がある。1550の基部の細くなった部位は柄に装着する際の紐掛けの位置を示すものである。1552の右側面には紐掛けのための抉りが施されている。1553の各面にある横方向の裂傷は石器製作時に行われた挟み撃ちの痕跡である。両側面



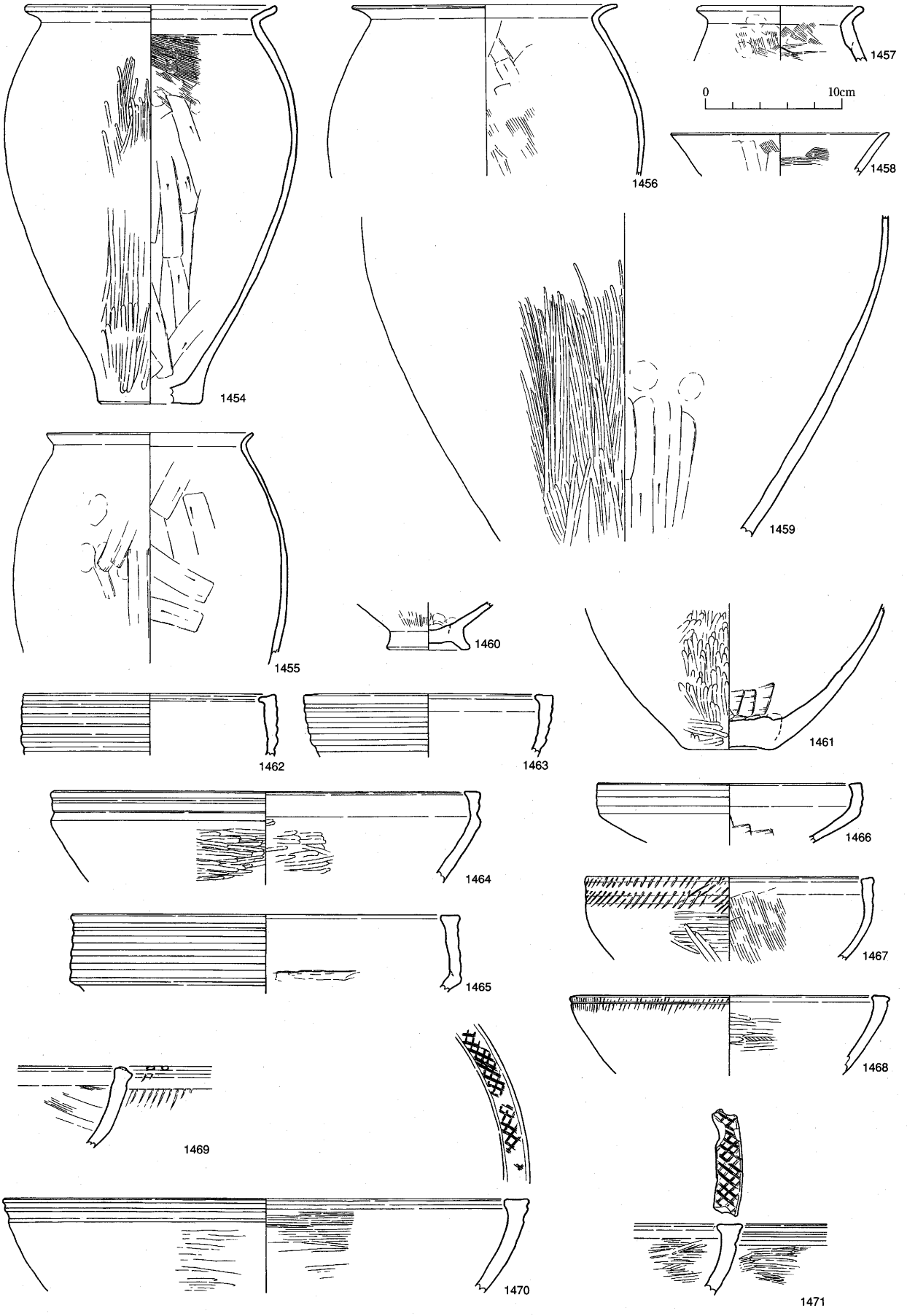
第108図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図１



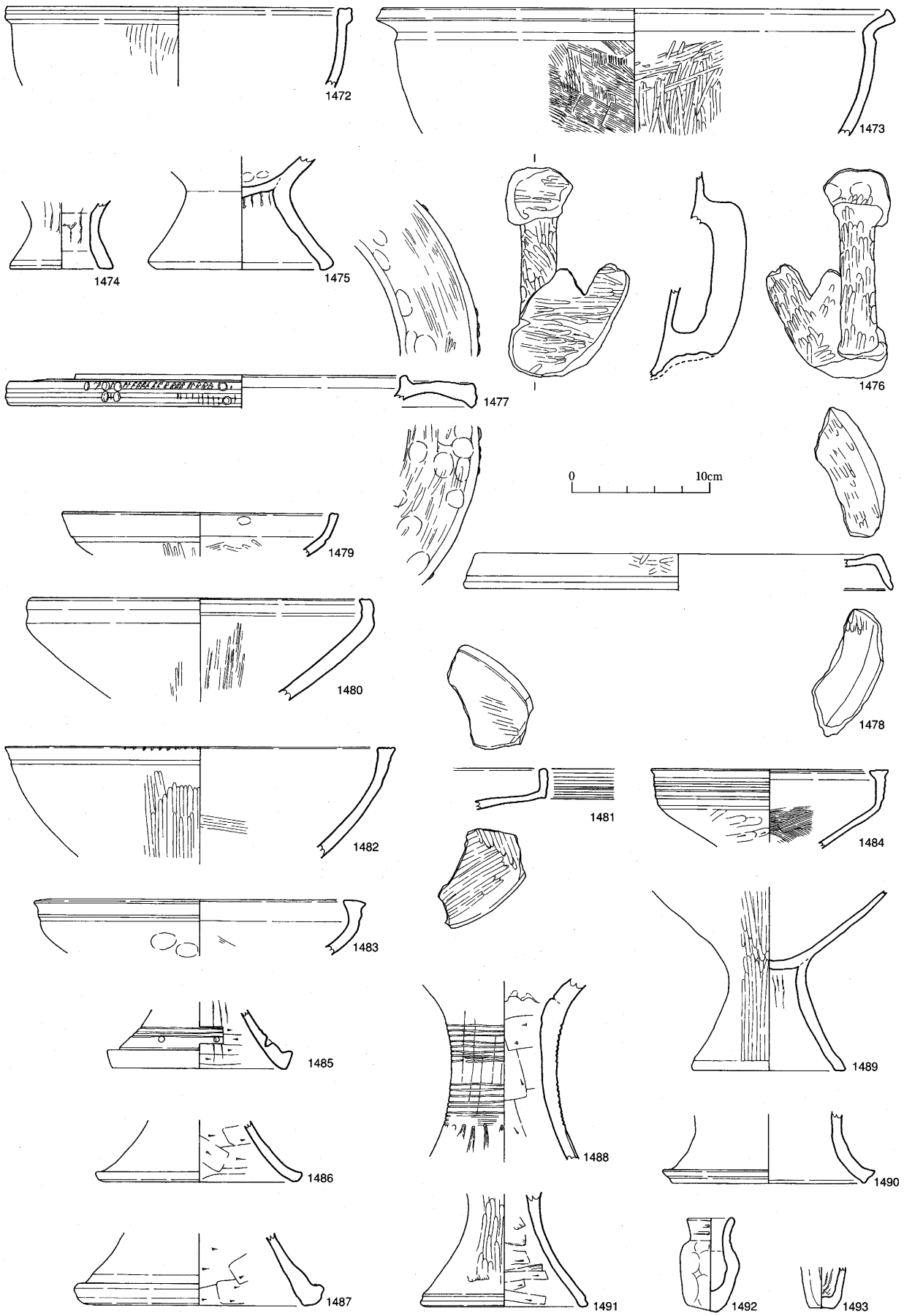
第109図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図２



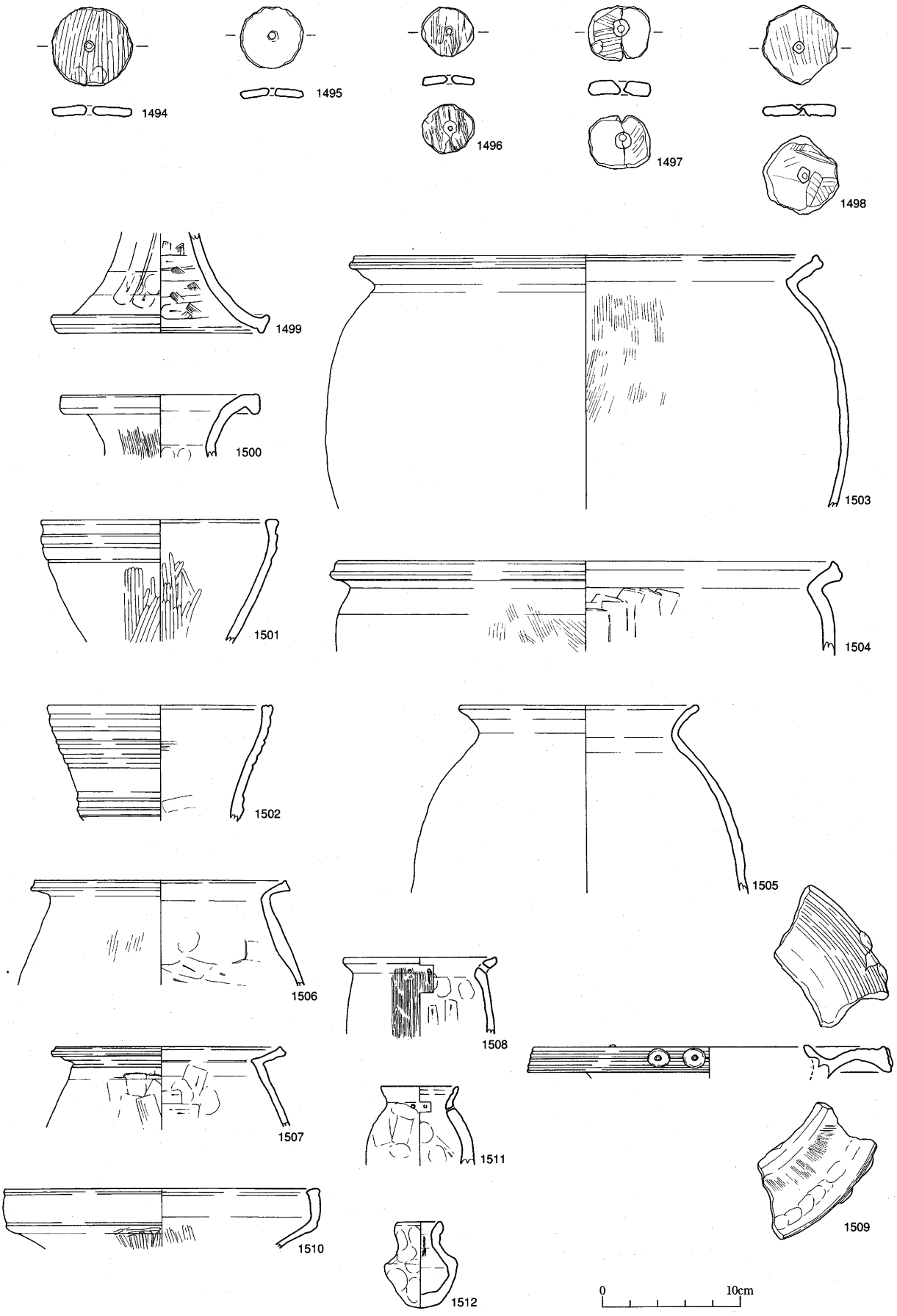
第110図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図 3



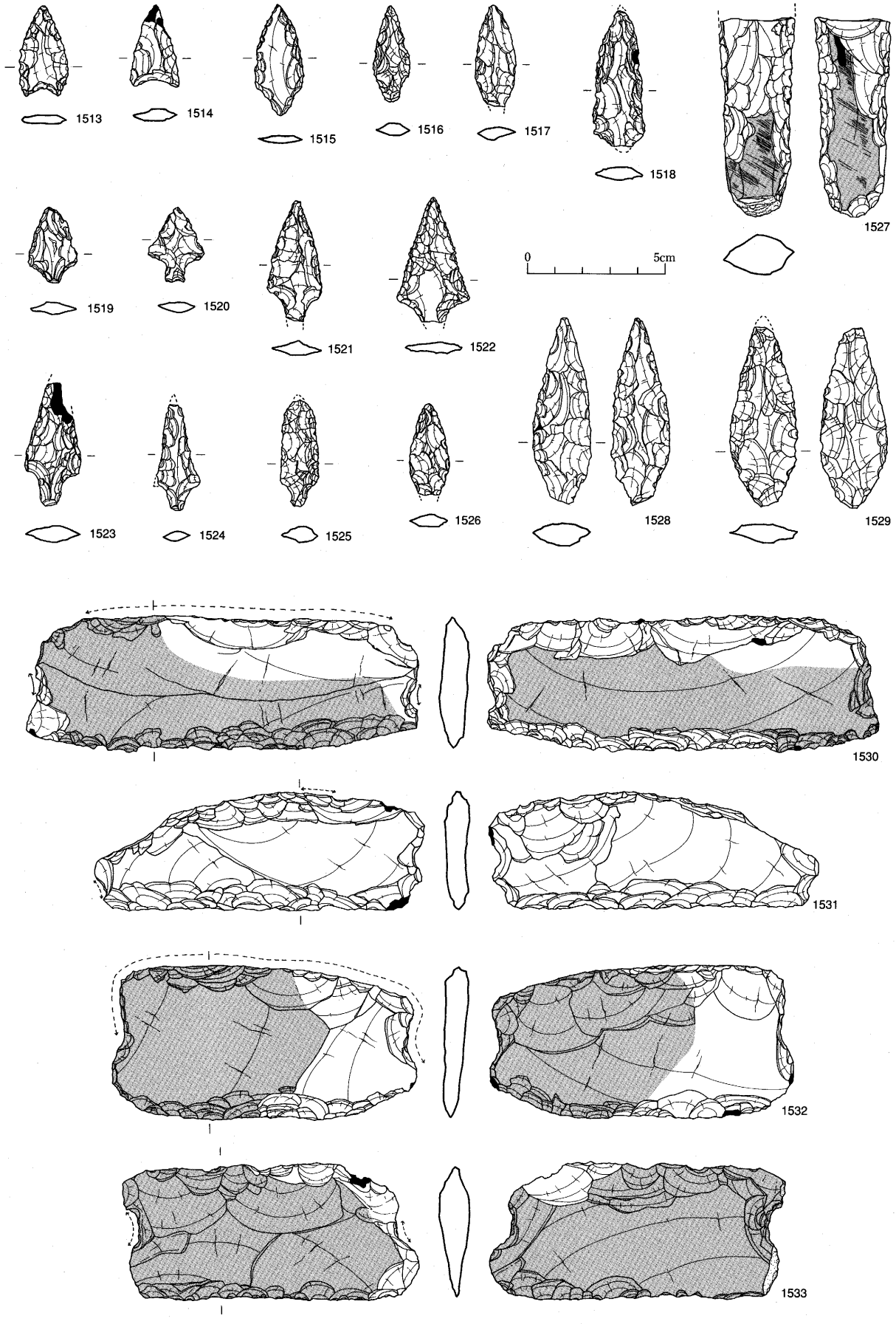
第111図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図４



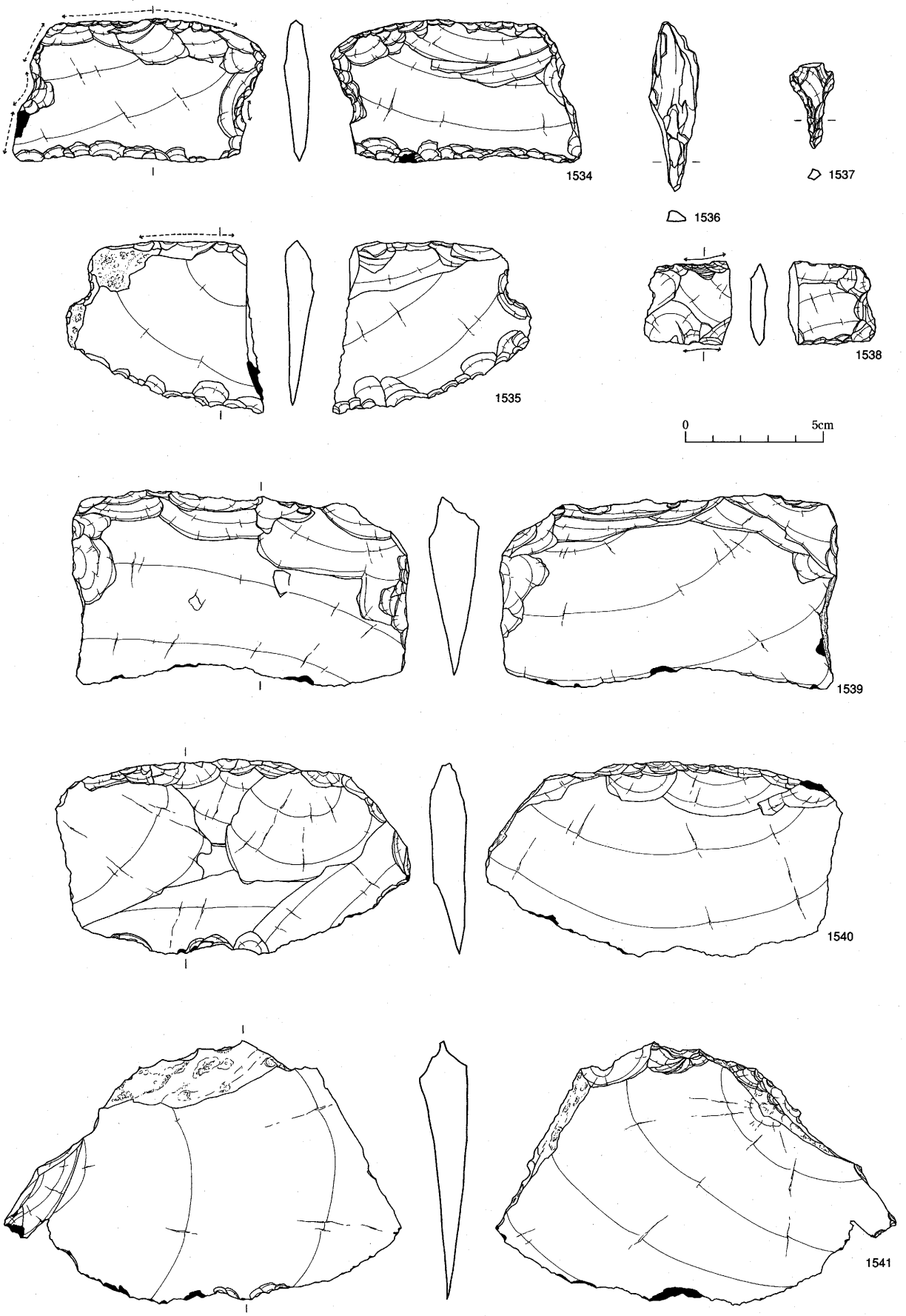
第112図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図５



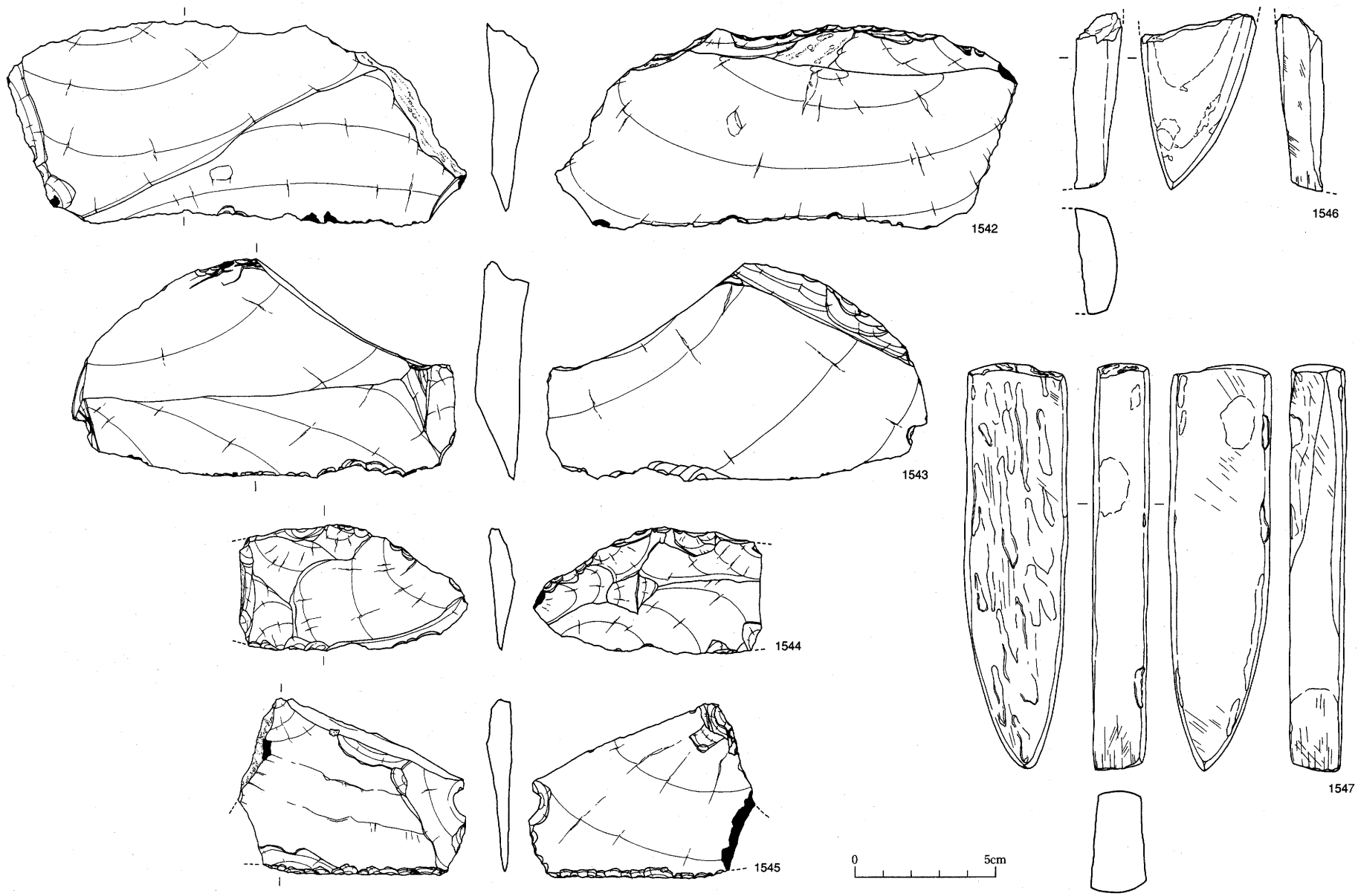
第113図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図 6



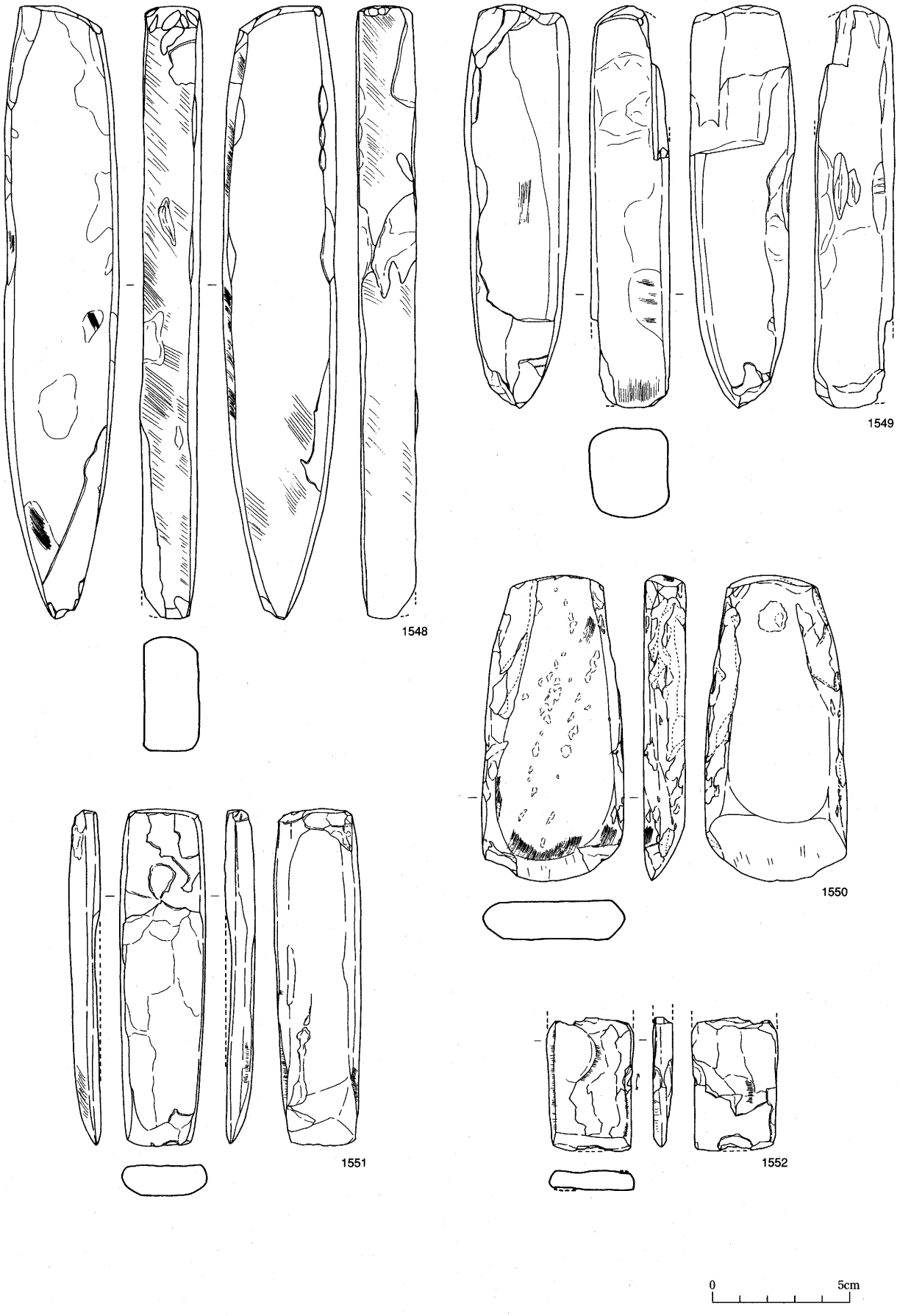
第114図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図７



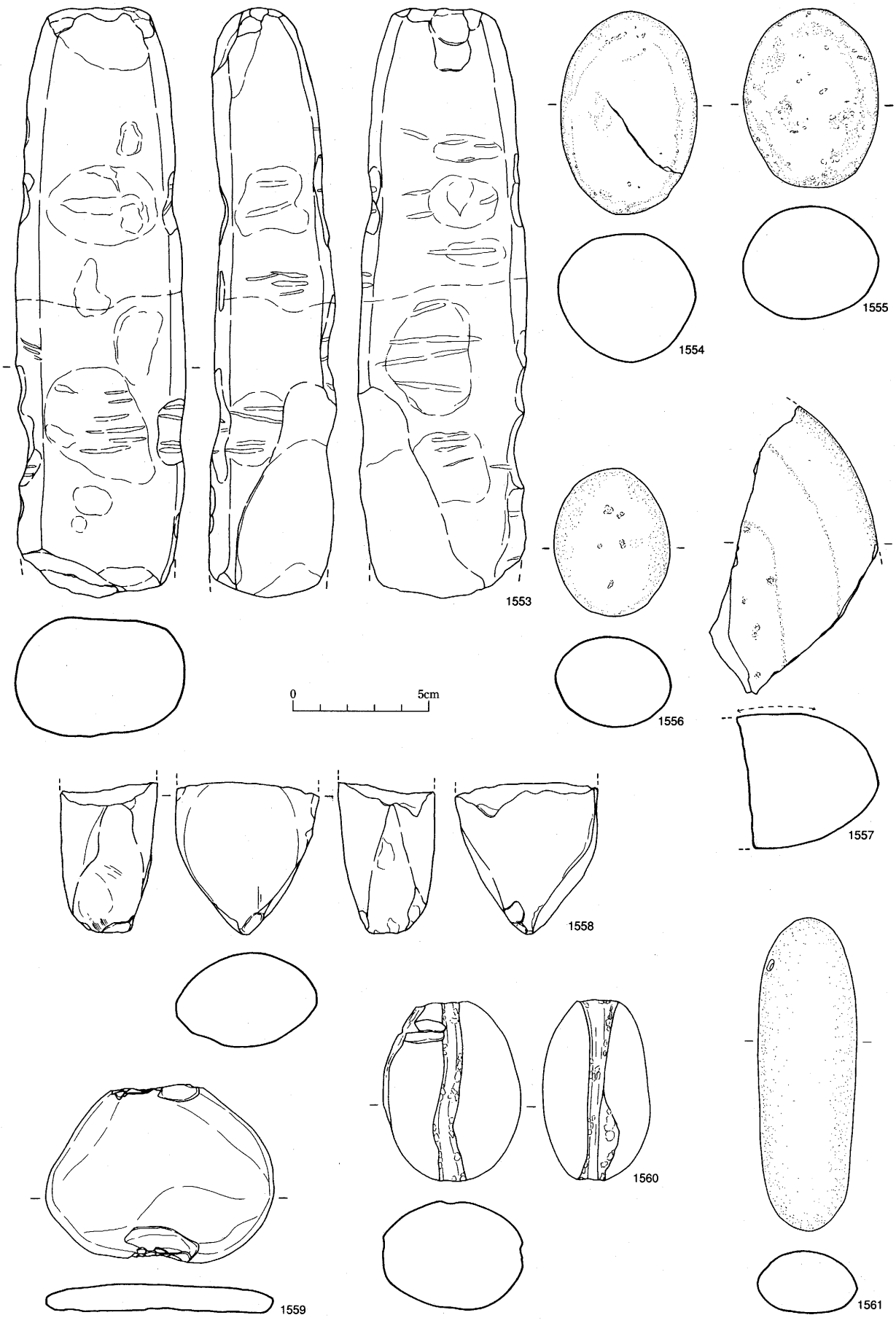
第115図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図 8



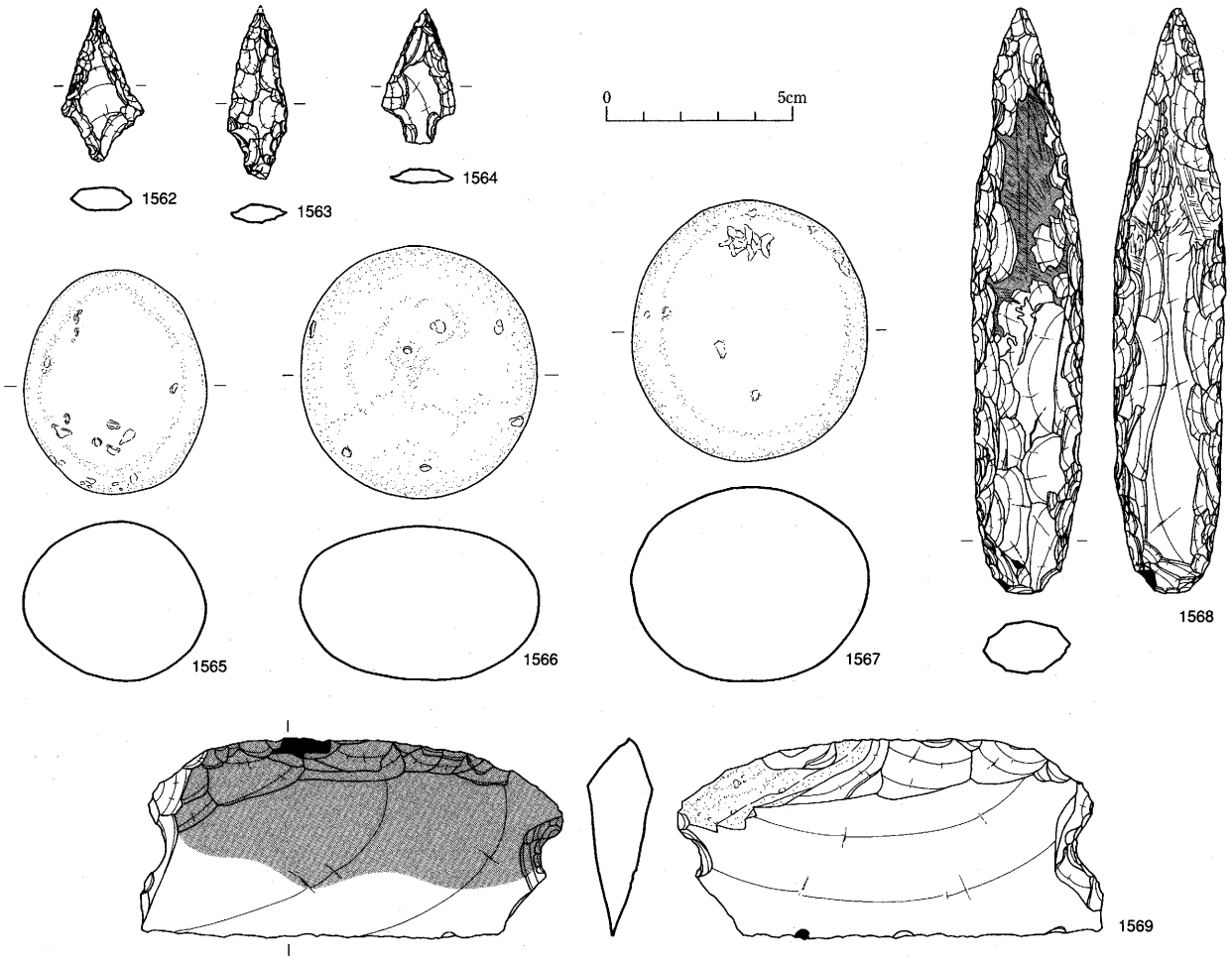
第116図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図９



第117図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図10



第118図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図11



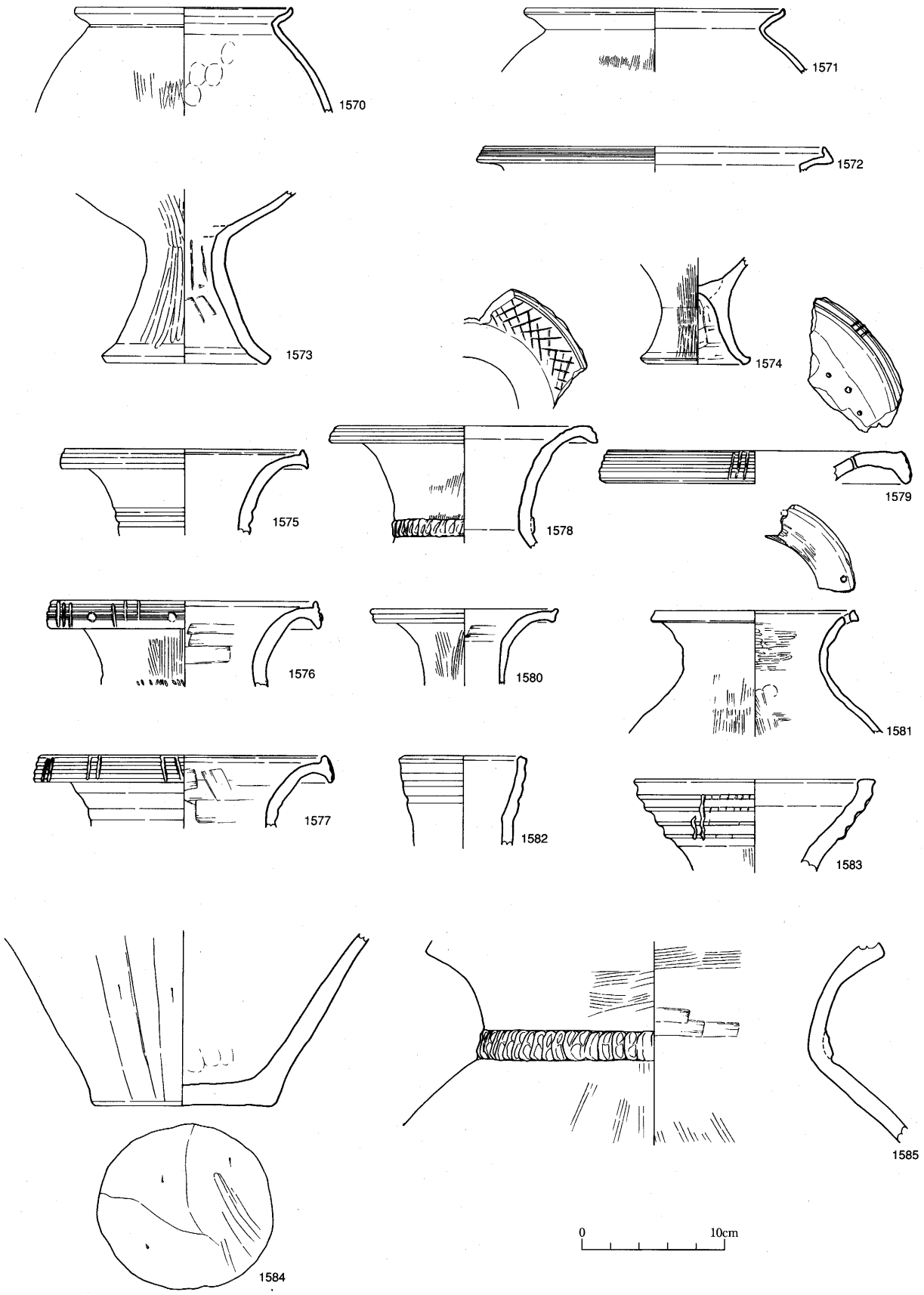
第119図　Ⅰ区遺物包含層遺物実測図12

には2箇所に紐掛けの抉りがある。1559は短軸方向の両端部が紐掛けのために打ち欠かれている。1568は基部に比べて先端部が先細りになった形態である。全体が丁寧な調整剥離によって成形された後に背面の先端部の中心部が研磨されている。1569は長軸方向の両端部に抉りが施された形態である。

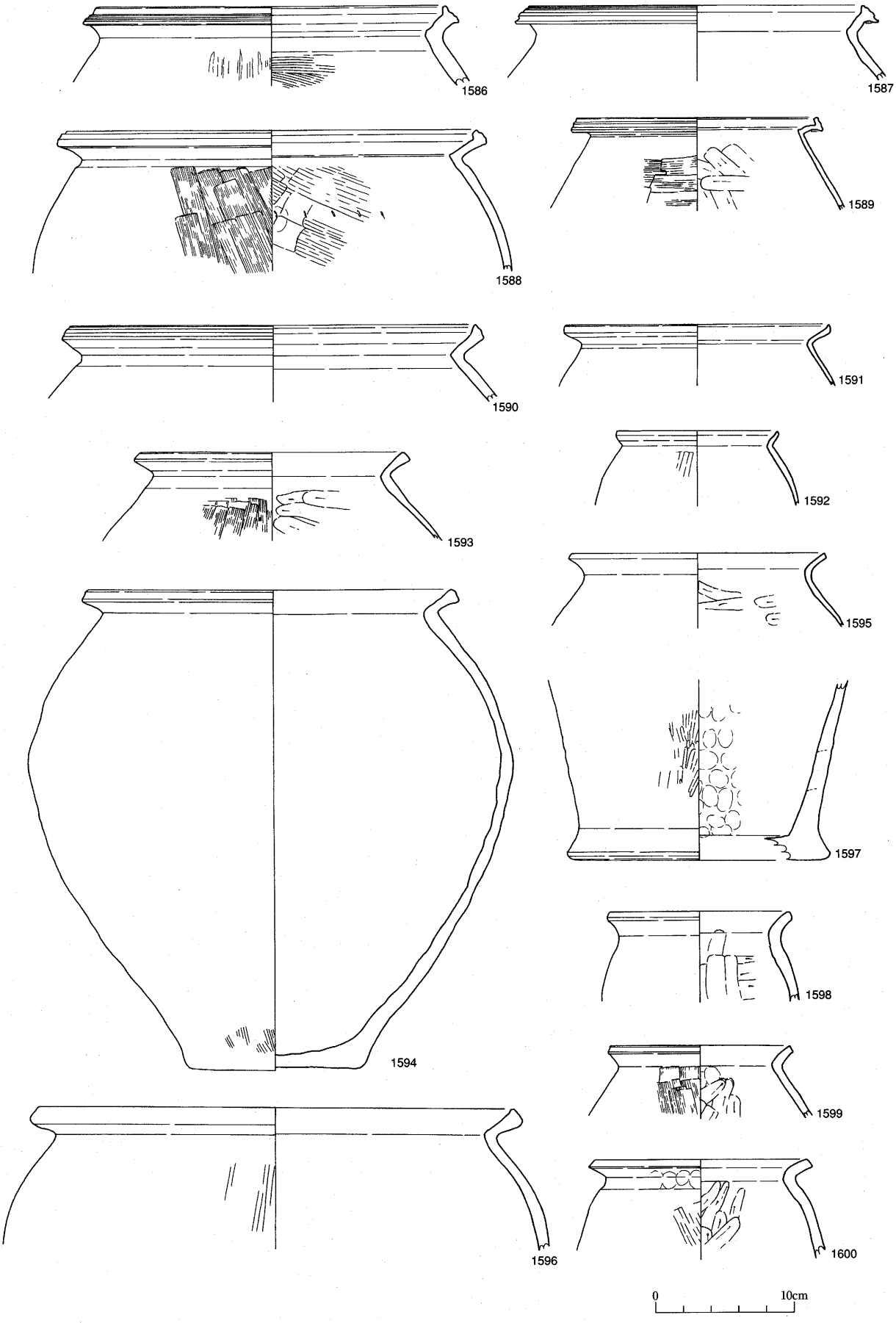
②Ⅱ区（第120～125図）

ＳＲ02の検出箇所を中心として、ⅡＡ区のほぼ全域からⅡＢ区東部までの広い範囲に堆積していた堆積層である。近接する竪穴住居跡群において使用された遺物が大部分を占めているものと考えられる。

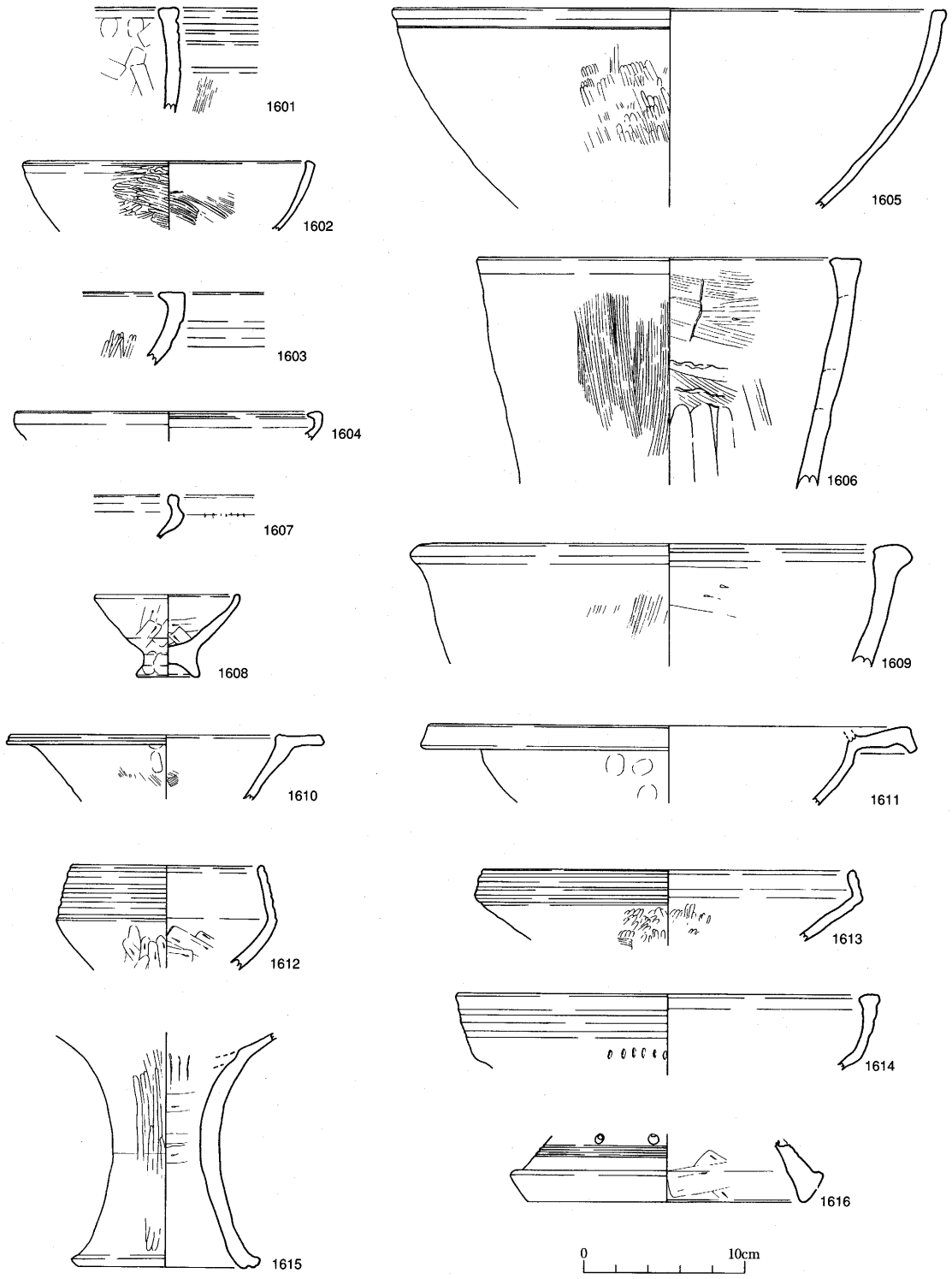
［遺物］1570、1571は口縁端部がつまみ上げられた形態である。1572の口縁部は上方に肥厚されて端面に凹線文が施されている。1573の脚部は下方に屈曲点があり、端部が細く仕上げられた形態である。1575～1577は口縁端部が上下に肥厚されて端面に凹線文と浮文が施された精緻な器種である。1578、1579の口縁端部は下端部が外方向に張り出した形態であり、広くなった端面には深い凹線文が施されている。さらに前者の口縁部内面には鋭利な道具による斜格子文があり、装飾性が高くなっている。1580は口縁部の端面が外反する器種で、直立気味の頸部が特徴である。1581の体部から口縁部にかけては緩く湾曲するため頸部の位置が不明瞭になっている。1582、1583は口縁部が内傾気味に外反する器種である。1585は2重口縁の大型品である。失われた口縁部は内傾する形態であったことがわかる。1586、1587は口縁端部が上下に肥厚されて端面に凹線文が施されている。1589は器壁が均整な厚さに仕上げられている点



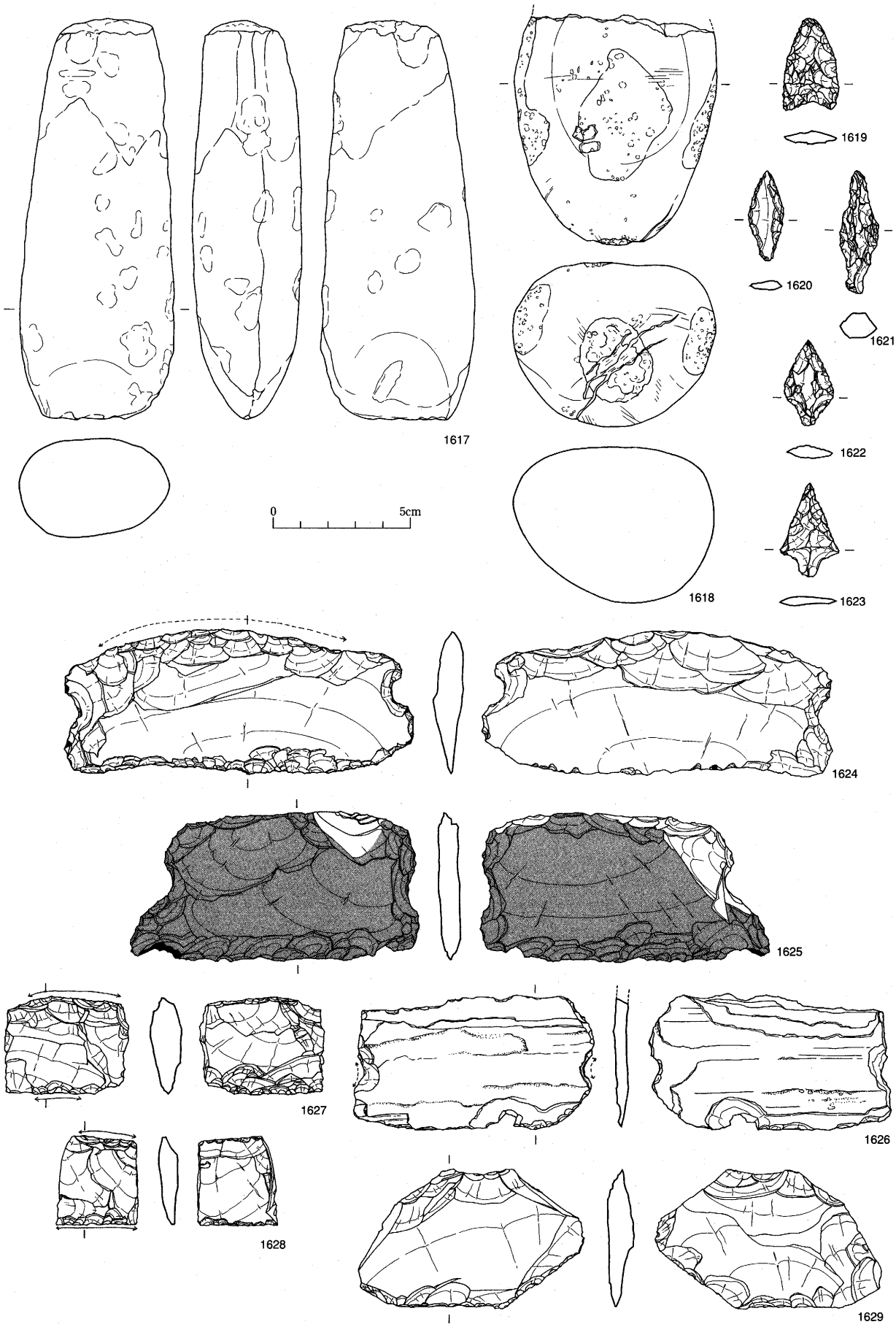
第120図　Ⅱ区遺物包含層遺物実測図１



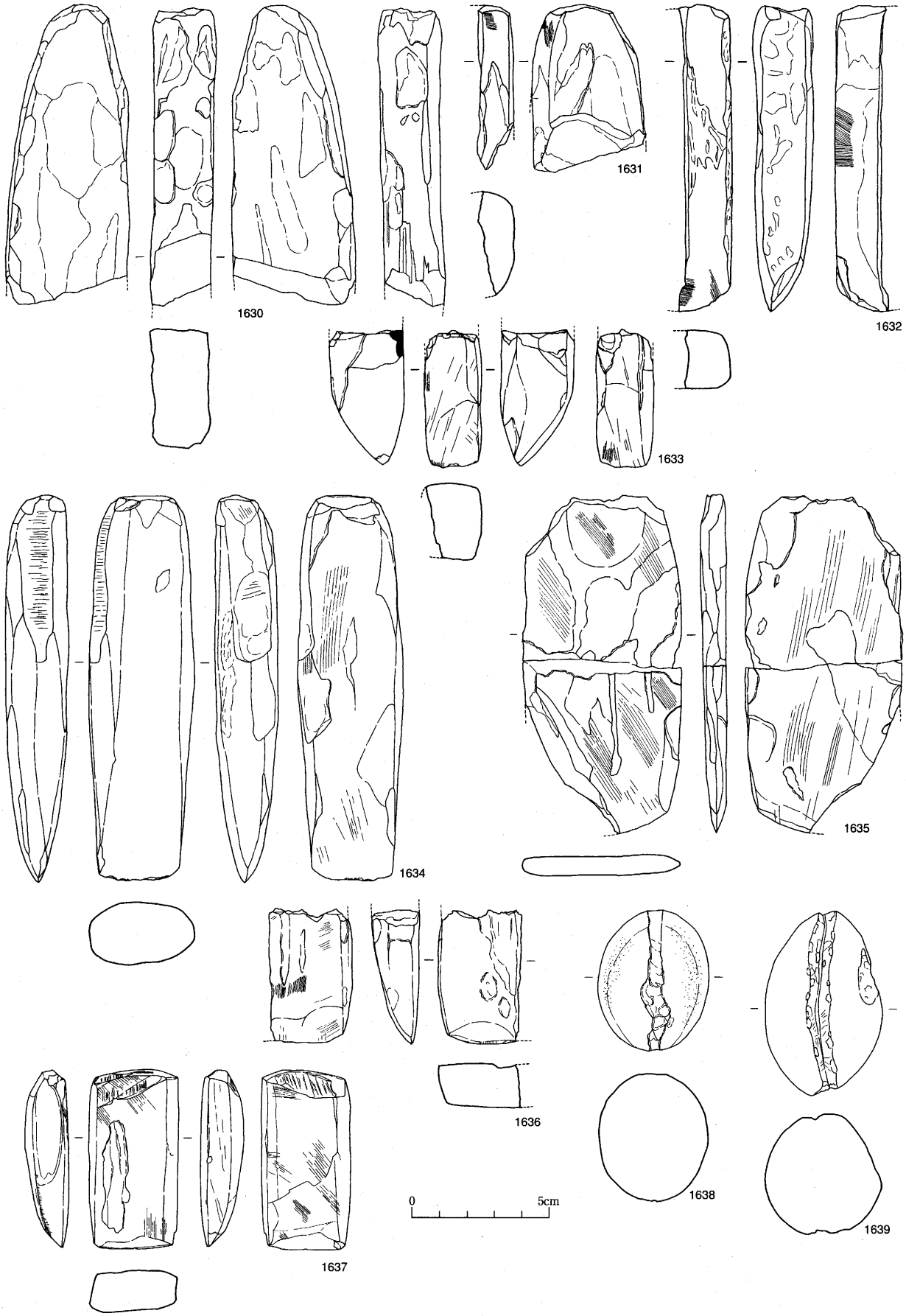
第121図　Ⅱ区遺物包含層遺物実測図２



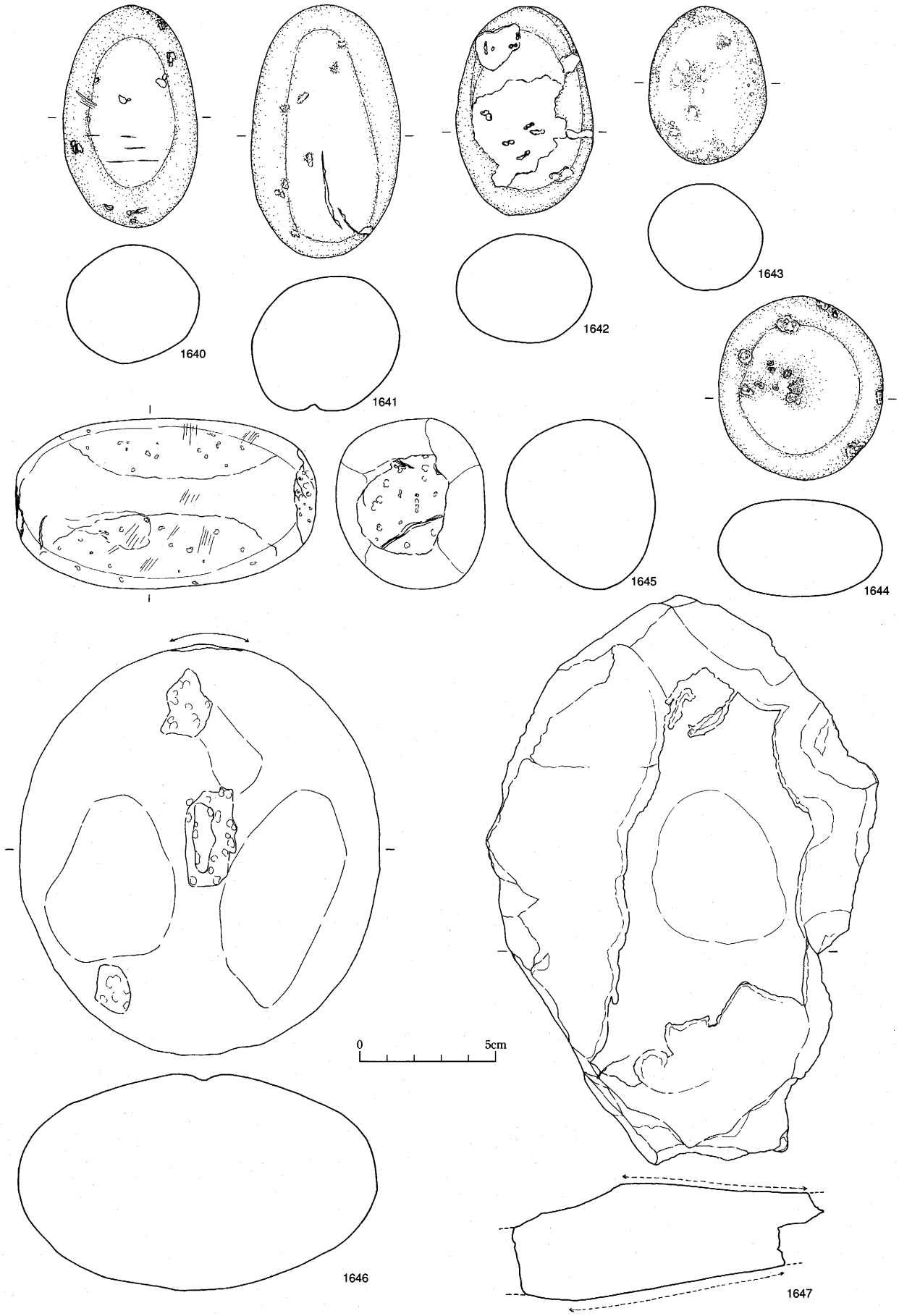
第122図　Ⅱ区遺物包含層遺物実測図 3



第123図　Ⅱ区遺物包含層遺物実測図 4



第124図　Ⅱ区遺物包含層遺物実測図５



第125図　Ⅱ区遺物包含層遺物実測図６

に特徴がある。1594は最大径が器高よりも大きいために体部が球体状の形態である。1596についても同様の形態が推測される。1597は底面の器壁が厚く大きく作られており、体部もバケツ形であるために安定感がある器種である。1598～1600は口縁部が短く外反する小型品であるが、器壁が厚いことが特徴である。1603、1604の口縁部は内側へ肥厚されて水平な端面が成形されている。1606は体部から口縁部まで直線的に連続するバケツ形の器種で器壁が厚く仕上げられている。1607の口縁部は断面形がＳ字形である。1610、1611には張り出し部があるが、後者は下端部が垂下する形態である。1612、1613は口縁部が内傾して外面の広い範囲に凹線文が施されている。

1618は破断面の磨耗が進んでいないため叩石としての使用中か廃棄後に破損したことがわかる。1620、1621は茎部が不明瞭な形態である。1624～1626は長軸方向の両端部に抉りが施されている。1627、1628は長軸方向の両側縁部が平行した長方形の形態の石庖丁か刃器を転用したものである。1629は不定形な剥片の鋭利な側縁のうちの１箇所を刃部としたものである。1630は背面に紐掛けの窪みがあることから使用中か廃棄後に破損したことが想像される。1631は基部の背面に擦痕があるが、使用痕かどうか判別できないため製品か未製品かの区別がつかない。1633の刃部には使用痕があるため製品であったことがわかる。1634の基部の両側面にある窪みは紐掛けの痕跡である。1638、1639は磨石を転用した可能性がある。1646は側縁部に敲打痕があることから叩石としての使途も考えられる。

2　弥生時代以外の遺構と遺物

(1)　土　坑

ＳＫ39（第126・127図）

［遺構］Ｆ２ptの南方約10mに位置し、ＳＨ01の上位から掘り込まれている。棚田の造成のために遺構の北部ほど保存状態が悪い。遺構は箱形の土坑の底面に上面の高さを揃えるように扁平な石を敷き詰め、壁面沿いには未加工の円礫を数段積み上げた構造である。

埋土には炭化した木材の小さい破片が含まれていたが、床面と壁面の石に被熱の痕跡がないため遺構内で火が使用されたことは考えられない。壁面と底面に自然石を貼り付けていた点については壁面の崩壊と底面の土壌の露出を防止した目的が考えられるため、水溜め様の使途が想像される。

(2)　柱穴跡（第127図）

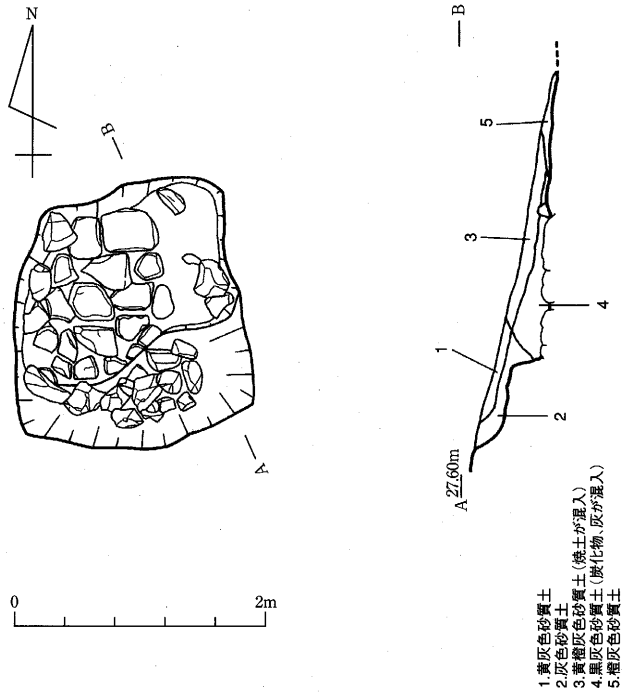
遺物が出土した遺構はＳＫ39に近接した位置で３基、ＩＡ区東部で１基である。当該時期の遺構は他に検出されていないことから建物の存在は考えられない。

(3)　自然河川跡（第127図）

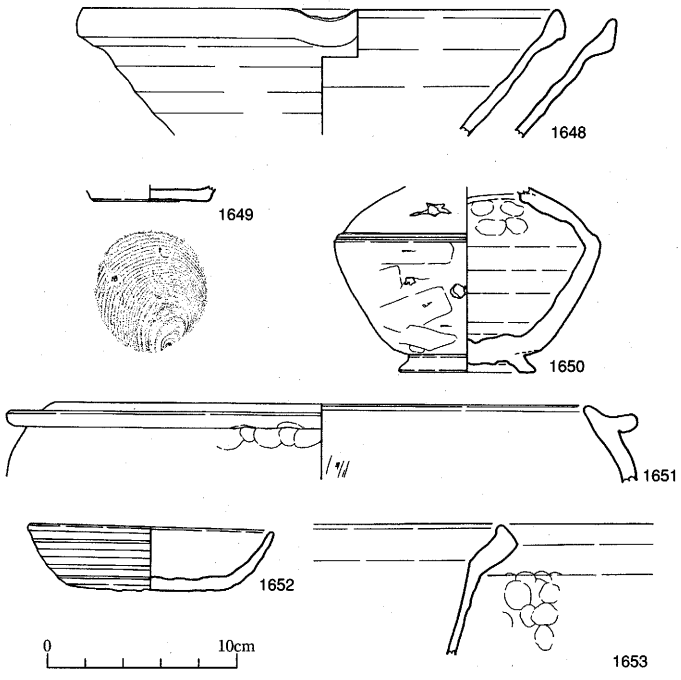
Ｉ区のＳＲ01から遺物が出土しているが、当該地区には建物跡等の生活遺構が存在しないためその量はわずかである。

(4)　遺物包含層（第127図）

Ｉ区からは須恵器、土師器、瓦器の生活雑器が少量出土しているが、Ⅱ区からは瓦のみである。後者はⅡＢ区の最高所にあったとされる祠様の建物に関連した遺物と考えられる。



第126図　土坑遺構実測図６（ＳＫ39）



第127図　弥生時代以外の遺物実測図

第５表　土坑一覧表２

遺構名	地区	平面形態	規模（cm）			挿図番号	図版番号
			長さ(最大径)	幅	深さ		
ＳＫ39	ＩＡ	隅丸長方形	216	180	32	126・127	22

第４章　自然科学的分析の成果

香川県池の奥遺跡における樹種同定

株式会社　古環境研究所

1　はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質の特徴から概ね属レベルの同定が可能である。木材は花粉などの微化石と比較して移動性が少ないことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

2　試　料

試料は、池の奥遺跡より出土した、柱材、建築部材、廃材の炭化材12点である。

3　方　法

試料を割折して新鮮な基本的三断面（木材の横断面、放射断面、接線断面）を作製し、落射顕微鏡によって75～750倍で観察した。同定は解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

4　結　果

結果は表１に示し、主要な分類群の顕微鏡写真を示す。以下に同定根拠となった特徴を記す。

マキ属　Podocarpus　マキ科　　図版１

仮道管、樹脂細胞および放射柔細胞から構成される針葉樹材である。

横断面：早材から晩材への移行は緩やかで、年輪界がやや不明瞭である。樹脂細胞が散在する。

放射断面：放射柔細胞の分野壁孔は、ヒノキ型で１分野に１～２個存在する。樹脂細胞が散在する。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型で、１～20細胞高である。樹脂細胞が多く見られる。

以上の形質よりマキ属に同定される。マキ属には、イヌマキ、ナギがあり、関東以西の本州、四国、九州、沖縄に分布する。常緑高木で、通常高さ20m、径50～80cmである。材は、耐朽性が強く、耐水性も高い。建築、器具、桶、箱、水槽などに用いられる。

マツ属複維管束亜属　Pinus subgen. Diploxylon マツ科　　図版２

仮道管、放射柔細胞、放射仮道管及び垂直、水平樹脂道を取り囲むエピセリウム細胞から構成される針葉樹材である。

横断面：早材から晩材への移行は急で、垂直樹脂道が見られる。

放射断面：放射柔細胞の分野壁孔は窓状である。放射仮道管の内壁には鋸歯状肥厚が存在する。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型であるが、水平樹脂道を含むものは紡錘形を呈する。

以上の形質より、マツ属複維管束亜属に同定される。マツ属複維管束亜属には、クロマツとアカマツがあり、どちらも北海道南部、本州、四国、九州に分布する。常緑高木である。材は水湿によく耐え、広く用いられる。

針葉樹　conifer

横断面：仮道管と放射組織が存在する。

放射断面：放射柔細胞の分野壁孔の型及び１分野に存在する個数が不明瞭である。樹脂細胞が存在する。

接線断面：仮道管と単列の放射組織が存在する。

以上の形質より針葉樹に同定される。なお本試料は樹脂細胞が存在する事から、マキ属、スギ、ヒノキ科のいずれかである可能性が高い。

シイ属　Castanopsis　ブナ科　　図版３

横断面：年輪のはじめに中型から大型の道管がやや疎に数列配列する環孔材である。晩材部で小道管が火炎状に配列する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型のものが存在する。

以上の形質よりシイ属に同定される。シイ属は本州（福島県、新潟県佐渡以南）、四国、九州に分布する。常緑高木で、高さ20m、径1.5mに達する。材は耐朽、保存性やや低く、建築、器具などに用いられる。

コナラ属アカガシ亜属　Quercus subgen. Cyclobalanopsis　ブナ科　　図版４

横断面：中型から大型の道管が、１～数列幅で年輪界に関係なく放射方向に配列する放射孔材である。道管は単独で複合しない。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属アカガシ亜属に同定される。コナラ属アカガシ亜属にはアカガシ、イチイガシ、アラカシ、シラカシなどがあり、本州、四国、九州に分布する。常緑高木で、高さ30m、径1.5m以上に達する。材は堅硬で強靭、弾力性強く耐湿性も高い。特に農耕具に用いられる。

コナラ属クヌギ節　Quercus sect. Aegilops　ブナ科　　図版５

横断面：年輪のはじめに大型の道管が、１～数列配列する環孔材である。晩材部では厚壁で丸い小道管が、単独でおよそ放射方向に配列する。早材から晩材にかけて道管の径は急激に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものと大型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質よりコナラ属クヌギ節に同定される。コナラ属クヌギ節にはクヌギ、アベマキなどがあり、本州、四国、九州に分布する。落葉の高木で、高さ15m、径60cmに達する。材は強靭で弾力に富み、器具、農具などに用いられる。

広葉樹　broad-leaved tree

横断面：やや小型の道管が存在する。

放射断面：道管と放射組織が存在する。

接線断面：道管と多列幅の放射組織が存在する。

以上の形質より広葉樹に同定される。なお本試料はきわめて小片の為、広範囲の観察が困難なので、広葉樹の同定にとどまる。

5　所　見

同定の結果、池の奥遺跡の炭化材は、マキ属１点、マツ属複維管束亜属１点、針葉樹１点、シイ属１点、コナラ属クヌギ節１点、コナラ属アカガシ亜属６点、広葉樹１点であった。柱材はいずれもコナラ属アカガシ亜属で建築部材もコナラ属アカガシ亜属が最も多く主要材であったとみられる。コナラ属アカガシ亜属は硬堅な材であり建築材にも用いられる。

参考文献

佐伯浩・原田浩（1985）針葉樹材の細胞．木材の構造，文永堂出版，p.20－48.

佐伯浩・原田浩（1985）広葉樹材の細胞．木材の構造，文永堂出版，p.49－100.

島地謙・伊東隆夫（1988）日本の遺跡出土木製品総覧，雄山閣，296p.

第６表　池の奥遺跡における樹種同定結果

No.	出土位置	種類	備考	結果（和名／学名）	
2	ＩＡ区第２層	廃材	炭化材	コナラ属クヌギ節	*Quercus* sect. Aegilops
3	ＳＨ01	建築部材	炭化材	マツ属複維管束亜属	*Pinus* subgen. Diploxylon
4	ＳＨ04－Ｐ04	柱材	炭化材	コナラ属アカガシ亜属	*Quercus* subgen. Cyclobalanopsis
5	ＳＨ10埋土	建築部材	炭化材	マキ属	*Podocarpus*
6	ＳＨ12埋土	建築部材	炭化材	コナラ属アカガシ亜属	*Quercus* subgen. Cyclobalanopsis
7	ＳＨ23	建築部材	炭化材	コナラ属アカガシ亜属	*Quercus* subgen. Cyclobalanopsis
8	ＳＨ27埋土	建築部材	炭化材	広葉樹	broad-leaved tree
9	ＳＨ29埋土	建築部材	炭化材	針葉樹	conifer
10	ＳＨ29埋土	建築部材	炭化材	コナラ属アカガシ亜属	*Quercus* subgen. Cyclobalanopsis
11	ＳＨ36埋土	建築部材	炭化材	シイ属	*Castanopsis*
12	ＳＨ26埋土	柱材	炭化材	コナラ属アカガシ亜属	*Quercus* subgen. Cyclobalanopsis
13	ＳＫ19	廃材	炭化材	コナラ属アカガシ亜属	*Quercus* subgen. Cyclobalanopsis

第5章　ま　と　め

第1節　集落について

1　竪穴住居跡の所属時期

池の奥遺跡の集落を構成する主要な遺構は36棟の竪穴住居跡である。これらの多くは後世の農作業に伴う土地改変による損壊が著しかったために、遺構の所属時期を特定できる良好な資料が入手できた例が少ない。

以下に限られた資料から導き出した各竪穴住居跡の所属時期の特定結果についてまとめる。なお、比較資料には真鍋昌宏氏が提示した資料を使用することにより氏の編年観（以下「土器編年」と略す）に準じた。また、資料が入手できなかった遺構については重複関係から所属時期を推測した。

第7表　竪穴住居跡所属時期一覧表

遺構名	土器編年による所属時期	重複関係及び所属時期	所属時期の特定の根拠
ＳＨ01	Ⅳ－1	—	鉢（2）の口縁端部外面の凹線文
ＳＨ02	Ⅳ－1	ＳＨ01以前か Ⅳ－1以前か	甑（3）の突出気味な底部
ＳＨ03	—	ＳＨ05以前か	—
ＳＨ04	Ⅳ－1	—	鉢（8）の口縁部端部外面のキザミメ
ＳＨ05	—	—	—
ＳＨ06	—	ＳＨ05以前か	—
ＳＨ07	—	ＳＨ05以前か	—
ＳＨ08	Ⅳ－2	—	甕（10）の最大径が体部上位にあること。突出気味な底部
ＳＨ09	Ⅳ－1	—	鉢（22）の口縁端部外面のキザミメ
ＳＨ10	Ⅳ－1	—	貼付け突帯のある壺（26）
ＳＨ11	—	ＳＨ10以前 Ⅳ－1以前	—
ＳＨ12	Ⅳ－1	ＳＨ11以前 Ⅳ－1以前	口縁部上端部がつまみ上げられた甕（67）
ＳＨ13	—	ＳＨ12以前 Ⅳ－1以前	—
ＳＨ14	Ⅳ－2	ＳＨ17以前 Ⅳ－2以前	甕（69）の突出気味な底部
ＳＨ15	Ⅲ－2	ＳＨ16以前	甕（72～75）が肩が張らない形態であること
ＳＨ16	—	—	—
ＳＨ17	Ⅳ－2	—	口縁部が直立気味に開口する壺（76）
ＳＨ18	—	—	—

ＳＨ19	Ⅳ－２	ＳＨ18以前	口縁部が直立気味に開口する壺（76）。甕（82）の口縁端部外面の凹線文。鉢（86）の外面の凹線文
ＳＨ20	Ⅳ－２	—	甕（89）の口縁端部外面の凹線文。高杯（94）の外面の凹線文
ＳＨ21	Ⅳ－１	ＳＨ22以前 Ⅲ－２以前	壺（98）の口縁部外面の凹線文。甕（103）の口縁端部外面の凹線文
ＳＨ22	Ⅲ－２	—	口縁部外面に張り出し部がある高杯（111）
ＳＨ23	—	ＳＨ30以前 Ⅳ－１以前	—
ＳＨ24	Ⅳ－１	ＳＨ27以前 Ⅳ－２以前	壺（116）の口縁端部外面の凹線文。鉢（120）の口縁部外面の凹線文
ＳＨ25	Ⅴ－４	—	口縁部が短く外反する甕（124）
ＳＨ26	Ⅳ－２	ＳＨ27以前 Ⅳ－２以前	壺（127、128）と甕（132、134）の口縁部外面の凹線文
ＳＨ27	Ⅳ－２	ＳＨ36以前 Ⅳ－２以前	甕（142、146、147）と鉢（149）の口縁部外面の凹線文
ＳＨ28	Ⅲ－３	—	甕（152、153）が肩が張らない形態であること
ＳＨ29	Ⅳ－２	—	壺（156）と甕（158、159、165）の口縁部外面の凹線文
ＳＨ30	Ⅳ－１	—	甕（178）の口縁部外面の凹線文
ＳＨ31	Ⅳ－２	—	壺（180）と甕（182）の口縁部外面の凹線文
ＳＨ32	Ⅳ－２	ＳＨ31以前 Ⅳ－２以前	壺（192）の頸部外面の凹線文
ＳＨ33	—	ＳＨ34以前 Ⅳ－１以前	—
ＳＨ34	Ⅳ－１	ＳＨ35以前 Ⅳ－２以前	壺（198、200）の口縁部外面の凹線文
ＳＨ35	Ⅳ－２	ＳＨ26以前 Ⅳ－２以前	頸部に粘土紐が貼付けられた壺（203）
ＳＨ36	Ⅳ－２	—	壺（208）の頸部外面の凹線文。甕（211、213、220）の口縁部外面の凹線文

上記の表にみるように、出土資料にもとづいて所属時期が特定できた遺構は26棟で、重複関係から所属時期が推測できるものが４棟である。

前者の出土資料については「所属時期の特定の根拠」として多く掲げたように、「凹線文」の有無に特別の注意を払い、凹線文の出現前のものをいわゆる弥生土器のⅢ様式に、凹線文が施文されたものをⅣ様式に区分した。小期はⅢ様式、Ⅳ様式ともに３期区分である。この基準による内訳はⅢ－２期２棟、Ⅲ－３期１棟、Ⅳ－１期10棟、Ⅳ－２期12棟、Ⅴ－４期１棟であり、遺構の重複関係を考慮するとⅢ－２期３棟、Ⅳ－１期９棟、Ⅳ－２期11棟となる。

2　集落の変遷と形態

本遺跡は東谷川を挟んで、居住地が東西に２分される。西側の棚田（Ⅰ区）は南から北へ傾斜し、東側の山間地（Ⅱ区）は北から南へ傾斜するという対照的な地形である。そこで先に行った竪穴住居跡の所属時期によって設定できる諸段階ごとに、両地域における時期別の集落の変遷を見ながら住居のありかたをまとめる。

(1)　第１段階（土器編年Ⅲ－２期：弥生時代中期中頃）

遺跡内に初めて竪穴住居が建築された時期であり、Ⅰ区にＳＨ15が、Ⅱ区にＳＨ21とＳＨ22が現れる。これらに共通する特徴としては後出する住居に比べて小規模なことであるが、これは最初の居住者の員数が少なかったことの表れと言える。これらの住居のうちＳＨ21とＳＨ22は重複関係にあることから、並存した遺構はＳＨ15とⅡ区の２棟のうちの１棟である。したがって、最初の居住者同士の結びつきは弱く、東谷川を挟んで異なる場所に離れて生活を始めたことがわかる。

住居の立地について見ると、まずＳＨ15は南から北へ延びる埋没尾根の北西斜面のＳＲ01に近接した位置に所在する。当該地は森林の末端部に位置することから当時は疎林の状態であったと考えられ、少ない労働力でも容易に開発が行えるために少人数の居住に適した場所であったと推測できる。

次にＳＨ21とＳＨ22については東方の丘陵から南西方向に派生した尾根の北斜面の末端部に立地することがわかる。この原因はＳＨ15と同様に森林開発の手間を省略したためであると考えられ、ＳＨ21に至っては未加工のままの斜面を利用して建築されている。

(2) 第２段階（土器編年Ⅲ－３期：弥生時代中期中頃から後半にかけての頃）

Ⅱ区のＳＨ21及びＳＨ22とＳＲ02を挟んだ対岸の尾根の末端部にＳＨ28が出現しており、個々の遺構の所属時期に大差がないため、ＳＲ02の両岸に２棟が並存していた可能性がある。前の段階と異なる場所に住居が建築された原因には依然として森林開発が不活発であったために、居住地として利用できる場所に限りがあったことが考えられる。

いずれの遺構ともに標高39m前後の場所に所在しており、当該地区における次期段階の住居の立地場所の標高が36～38mになることを考えると、この段階は依然として高い地点に集合していることがわかる。

その原因については明らかにできないが、少人数による集落の経営段階では河川を管理するまでに至らなかったために、河川の影響を受け易い標高の低い場所を開発することが困難であったと考えることが適当であろう。

(3) 第３段階（土器編年Ⅳ－１期：弥生時代中期後半の始まりの頃）

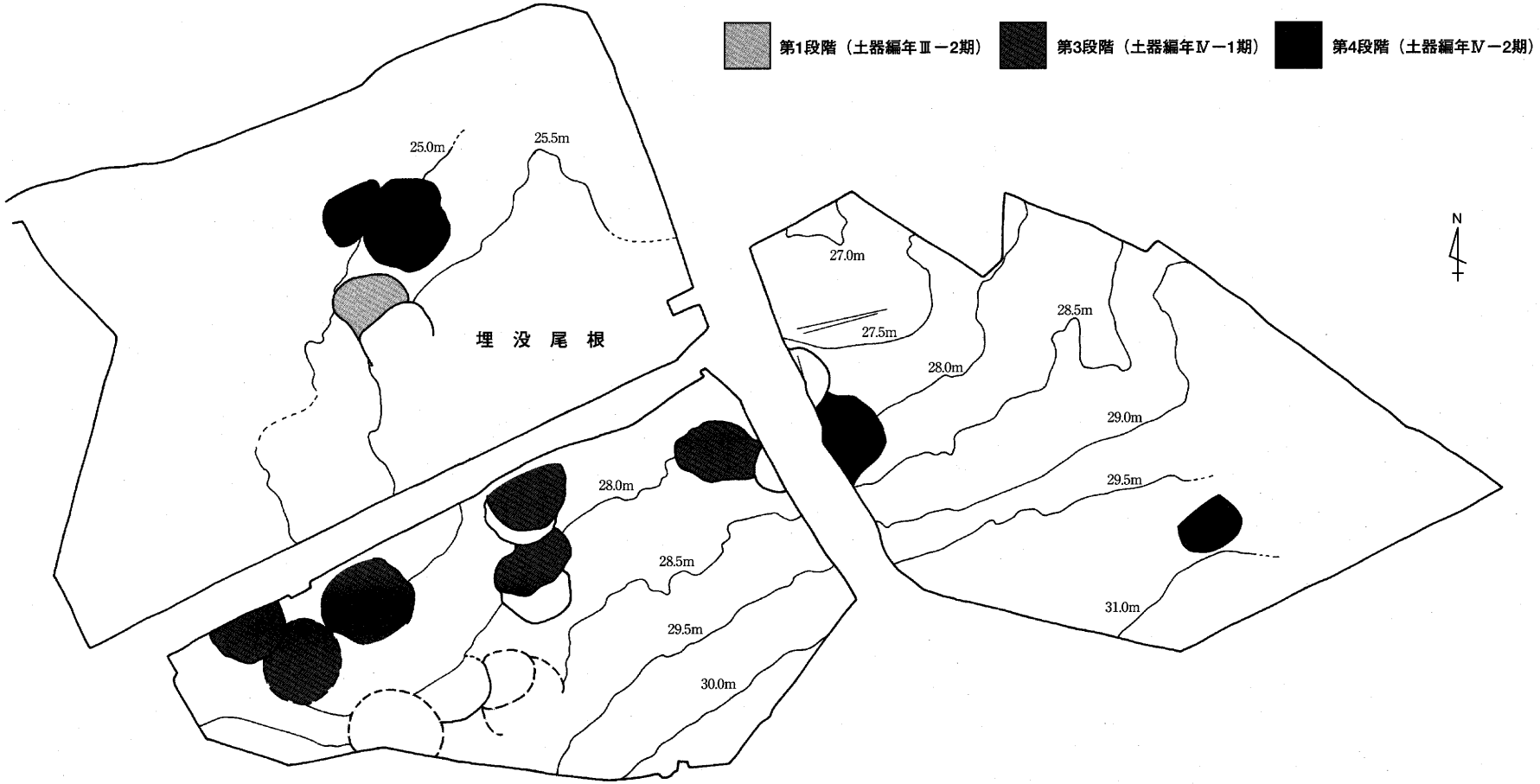
Ⅰ区にＳＨ01、ＳＨ02、ＳＨ04、ＳＨ09、ＳＨ10、ＳＨ12の６棟、Ⅱ区にＳＨ24、ＳＨ30、ＳＨ34の３棟が建築され、集落の規模が飛躍的に拡大した時期に当る。

まずⅠ区では調査地南方の斜面上方に住居が集合している点が特徴である。すなわち前段階までは森林開発が未発達であったために尾根の末端部を居住地とする以外は集落の拡大が抑制されていたのに対して、この段階では森林内部まで居住空間が拡がったことがわかる。さらにＳＨ09のように旧状では尾根に相当する場所が平坦地化されて建築された遺構が存在することから、多人数が共同することにより建築に当って広い範囲の地形の改変を含む基盤の整備が行われた可能性もある。この点については、木材の伐採及び加工道具としての磨製石斧の相当な出土量から木材利用が盛んで、森林伐開が飛躍的に進んだという推測からも言及できる。ただし、各住居が傾斜に対して直交する方向に横に並んでいる現象は、開発が森林の奥深くまで達しなかったことを示唆している。

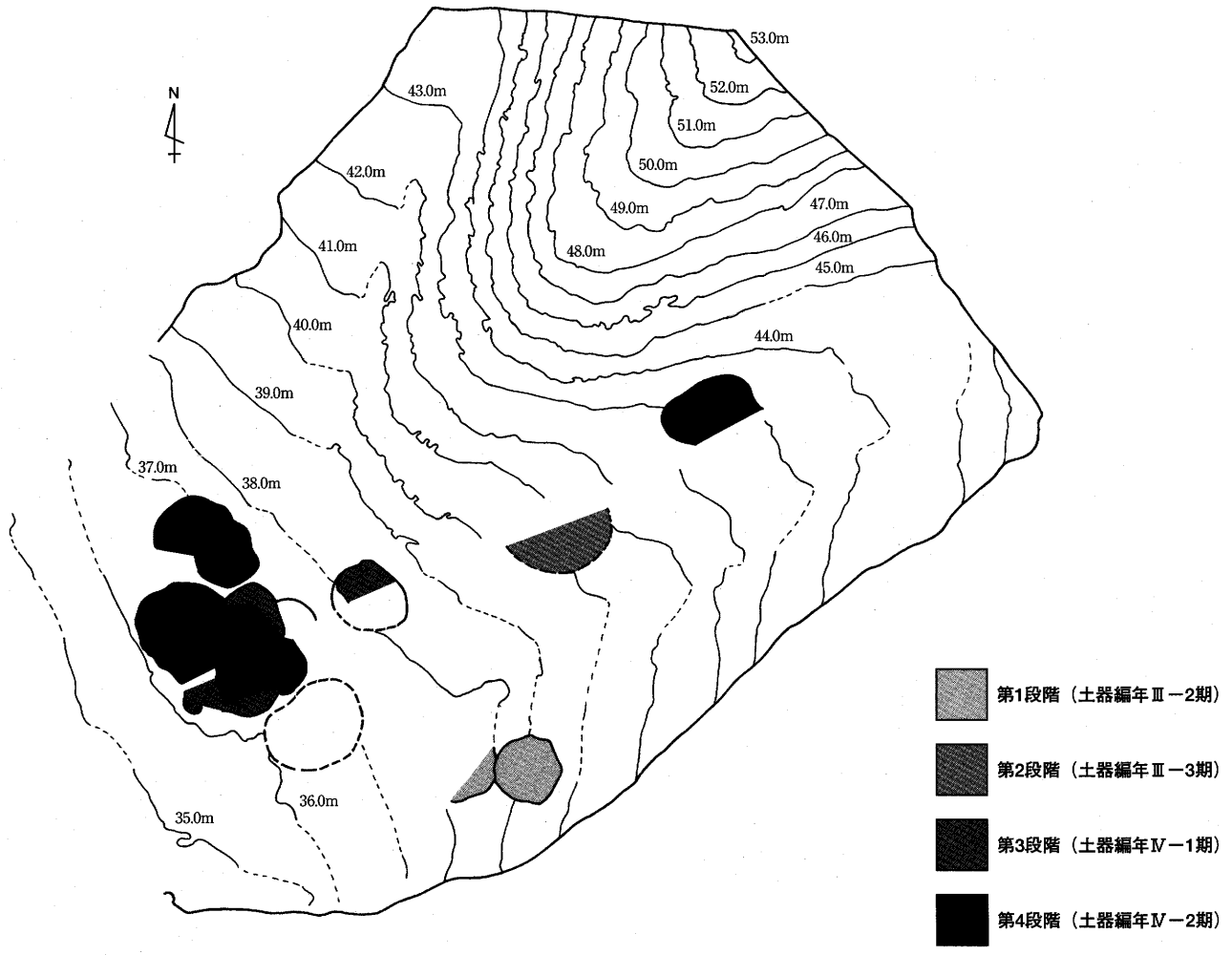
一方Ⅱ区では前記のように住居が斜面下部の平坦地に立地するようになる。特に石器生産が盛んになるのに伴い、住居の近隣に作業空間が必要になったことが主な要因と考えられる。

(4) 第４段階（土器編年Ⅳ－２期：弥生時代中期後半の中頃）

Ⅰ区では前段階までに開発された空間の中でも埋没尾根のさらに北方にＳＨ14とＳＨ17が現れるとともに、ＳＨ19とＳＨ20に見るように東側の斜面が新たに居住空間としての利用が始まったために集落の



第128図　Ⅰ区竪穴住居跡変遷図



第129図　Ⅱ区竪穴住居跡変遷図

範囲は埋没尾根を挟んだ2つの谷部を包括した規模にまで拡大する。しかもこの東谷川沿いの傾斜地については、調査地から上流へ遡った砂防ダム周辺からも遺物が出土したことが伝えられていることから、開発の規模は調査成果以上に大きかった可能性がある。

Ⅱ区においてもＳＨ26、ＳＨ27、ＳＨ29、ＳＨ31、ＳＨ32、ＳＨ35、ＳＨ36と丘陵の下の平坦地を中心に住居が頻繁に建築されて、常時3棟程度が並存していたことが推測できる。ところで、これらの住居の中でＳＨ29が他から離れた標高43mの高所に建築されている点については、見張り所的な機能があったことも考えられるが、遺構の構造も他と変わらないために断定を避ける。

さて、当該時期以降は弥生時代終末期頃（Ｖ－４期）にＳＨ25が突然に出現した以外は無住の状態になるが、その原因としてＳＨ20の内部から大型の岩石が検出されたように、河川の氾濫あるいは山崩れによる土砂と岩石によって集落が押し潰されたことが考えられる。

第2節　弥生土器について

1　組　成

出土品の大部分を占める弥生土器と土製品のうち、若干の回転台形土器、不明土製品、紡錘車を除く他のすべての資料は壺、甕あるいは鉢、高杯、器台、蓋、ミニチュア土器のいずれかに分類することができる。そこで本項では器種分類にもとづいて、弥生時代中期中頃から同中期後半の中頃にかけての器種組成を整理する。

ところで、当該時期の器種組成をまとめる作業の際に見落とせないのは大久保徹也氏の業績である。氏は高松市上天神遺跡の弥生時代後期初期の土器の起源を追跡する作業中に、弥生時代中期後半段階に高松平野を中心とする地域にすでに存在していたことがわかる器種を抽出している。抽出された器種による分類が香川県下全域にわたって普遍化できるか否かはさらなる資料の増加を待つ必要があるが、善通寺市から旧大内町に及ぶ広い地域の出土品にもとづく分類であることを勘案すると池の奥遺跡の資料に対しても準用できると考えられるため、ここでは氏が抽出した器種を参照する。

なお、再三にわたって記述したが、本遺跡の弥生土器は後述する一部の土坑の出土品を除いて、竪穴住居跡や溝状遺構等の生活遺構からの出土品の保存状態は不良である。そこで使用する資料には生活遺構に比べると2級資料となることを前提にして、Ⅱ区のＳＲ02から出土した豊富な弥生土器群を対象にした。ＳＲ02は居住地に近接した位置にあるため、出土品の大部分は生活遺物と考えられ、日常生活の様態を如実に反映した資料と言える。

整理の手順として最初にＳＲ02の主要な遺物を器種分類し、その後に大久保氏の分類に当てはめる。

(1)　ＳＲ02出土弥生土器の器種分類

資料数が豊富で、多様な器種が認められる壺、甕、鉢、高杯について分類する。

①壺　一部の特殊な器種を除いて、Ａ～Ｎ類までの13種類に分類することができる。

［Ａ類］817～828。逆ハ字形の頸部と短い口縁部が特徴である。口縁端部は上下端部が突出気味の形態であるために端面が形作られている。大部分の資料が端面に凹線文が施されている。

［Ｂ類］829～834。Ａ類に類似した器種であるが、口縁上下端部の突出が弱いために端面が狭くなっている。さらにＡ類に比べて口縁部が長い特徴がある。口縁部内面に斜格子文が施されるものがある。

［Ｃ類］835～838。短い頸部と斜め上方へ開口する短い口縁部が特徴である。口縁部の端面は狭いが、凹線文が施されている。

［D類］839～861。口縁端部が肥厚されているが、特に下端部の外方向への張り出しが大きい点が特徴である。これらは頸部が外反気味に直立し、口縁部が水平方向に開口する。多くの資料に端面の凹線文と口縁部内面に斜格子文が認められる。

［E類］862～868。D類から発展したと考えられる資料である。このグループは口縁下端部が鉛直方向に大きく垂下されるために端面が大きく成形されて凹線文、波状文、浮文で飾られている。頸部から口縁部にかけては逆ハ字形に大きく開口する。

［F類］869～880。口縁部が斜め上方へ短く開口して、下端部が外方向へ突出気味になる器種である。口縁端面には凹線文が認められない。

［G類］881。2重口縁の大型の器形である。

［H類］886～888。頸部が直立して口縁部が外反する器種であるが、口縁部の湾曲は少ない。

［I類］889～895。口縁部は直線的に外反する形態で端部が肥厚されている。端面には凹線文が施されるものが多い。

［J類］896～905。I類と同じ系譜にある資料である。頸部と口縁部外面に凹線文が施されている。

［K類］906、907。口縁部の屈曲が認められない器種である。口縁上端部が上方につまみ上げられて広い端面が作り出されている。端面には凹線文が施される。

［L類］908～919。口縁部が短い器種である。口縁端部が丸く簡素に仕上げられている点が特徴である。

［M類］920～925。2重口縁の大型品である。口縁部は内傾か外反した形態であり、端部が肥厚されている。外面には幅広の凹線文が間隔を空けて施されている。

［N類］927～929は算盤珠形の器種である。

②甕　一部の特殊な器種を除いて、A～H類までの8種類に分類することができる。

［A類］940～950。口縁端部が上下に肥厚されて端面に凹線文が施された器種である。945のように体部の上位に最大径があるために肩が張る形態が特徴的である。体部は内面にヘラケズリが施されて器壁が薄く成形されている。

［B類］951～978。口縁上端部が立ち上がり受け口状の形態である。A類と同様に体部は肩が張る形態である。体部内面にはハケメが施される。

［C類］979～1003。口縁部は上端部がつまみ上げられた形態で、端面に凹線文が施されるものが少ない。

A類及びB類に比べて体部は肩が張らない点が特徴である。

［D類］1004～1015。口縁端部に施されたヨコナデにより同部が上下に少し肥厚された器種である。この器種は小型品の占める割合が高い。

［E類］1016～1038。口縁部が短く外反して端部の仕上げが簡略化されている器種である。体部は肩が張らない長胴の形態であり、内面にヘラケズリが施されるものが多い。

［F類］1039～1054。口縁上端部がつまみ上げられた器種である。1053のように最大径の位置は体部の中位よりも下方にあるものが含まれる。

［G類］1055～1078。口縁端部が肥厚されて凹線文が施される器種で大型品が多い点が特徴である。特に1055～1069は凹線文が深いことがわかる。

［H類］1080～1082。口縁部が短く外反した小型品である。

③鉢　一部の特殊な器種を除いて、A～C類までの3種類に分類することができる。

［A類］1092～1107。口縁部外面に幅広の凹線文が間隔を空けて施された器種であり、口縁端部が内側へ肥厚されたもの（1092～1096）、外側へ肥厚されたもの（1097～1103）、両側へ肥厚されたもの（1104～1107）に細分することができる。

［B類］1110～1114。半球形の体部が特徴である。

［C類］1115～1122。口縁部がく字形に短く屈曲する器種である。

④高杯　一部の特殊な器種を除いて、杯部はA～E類までの5種類に分類することができる。脚部の大部分は端部が肥厚されて、端面に凹線文が施される器種である。

［A類］　1125～1129。張り出し部の端部が垂下しない器種である。

［B類］　1130～1134。張り出し部の端部が垂下する器種である。

［C類］　1135～1157。口縁端部が内外に肥厚された器種であり、端面に凹線文が施されるものが存在する。

［D類］1158～1166。口縁端部が短く直立する器種であり、外面に凹線文が施される。

［E類］1168、1169。口縁端部が内傾する器種であり、外面に凹線文が施される。器壁が薄く成形されたものが多い。

以上の分類を大久保氏の分類と対照させると第8表のようになる。（　）がないものが弥生時代中期後半段階に高松平野を中心とする地域にすでに存在していたことがわかる器種で、（　）が弥生時代後期初期には存在するが、中期後半段階では抽出されていない器種を表す。大久保氏による上天神遺跡の器種分類に類似資料がない場合は他の遺跡の資料を対比させた。

第8表　ＳＲ02出土弥生土器組成表

種類	ＳＲ02出土弥生土器器種分類	大久保氏器種分類（（　）は未抽出資料）	上天神遺跡以外の類似資料	遺物番号
壺	A	（広口壺C）	—	817～828
	B	該当なし	名東遺跡ＳＤ－02	829～834
	—	広口壺A	—	—
	C	広口壺B	—	835～838
	D	（広口壺C）	—	839～861
	E	（広口壺D）	—	862～868
	F	短頸壺B	—	869～880
	G	該当なし	未検出	881
	H	該当なし	名東遺跡ＳＡ02内ＳＫ－05	886～888
	I	直口壺B	—	889～895
	J	（直口壺A）	—	896～905
	K	（短頸壺A）	—	906、907
	L	該当なし	未検出	908～919
	M	該当なし	名東遺跡ＳＤ－02	920～925
	—	直口壺D	—	—
	—	直口壺F	—	—
	N	無頸壺	—	927～929
甕	A	甕A	—	940～950
	B	甕A	—	951～978
	C	（甕F）	—	979～1003
	D	（甕C）	—	1004～1015
	E	（甕C）	—	1016～1038
	F	（甕E）	—	1039～1054

甕	G	大型甕	—	1055～1078
	H	該当なし	未検出	1080～1082
	—	甕B	—	—
鉢	A	大型鉢A	—	1092～1107
	B	該当なし	未検出	1110～1114
	C	(大型鉢F)	—	1115～1122
	—	大型鉢D	—	—
	—	大型鉢E	—	—
高杯	A	該当なし	名東遺跡ＳＢ2004	1125～1129
	B	該当なし	名東遺跡ＳＬ18	1130～1134
	C	高杯A	—	1135～1157
	D	(高杯D)	—	1158～1166
	E	該当なし	久米池南遺跡 第２号テラス状遺構	1168～1169
	—	高杯B	—	—
	—	高杯C	—	—
	脚	脚A	—	1172～1193

(2) 分類結果から

壺、甕、鉢、高杯ともに器種分類した資料の大部分が大久保氏の抽出資料の中に存在することがわかった。すなわち、香川県の東部に位置する池の奥遺跡においても、高松平野を中心とした地域の中期後半段階の弥生土器と同じ型式のものが普及していたことが証明できたと言えるであろう。

ところが、４種類の器形のそれぞれについて同段階に高松平野を中心とする地域には存在していなかった器種が１～５種類あることも判明した。そのうちのいくつかについては高松市久米池南遺跡と徳島県名東遺跡の出土品の中に類似資料があることを認めたため、今後は香川県内の既存の出土品あるいは香川県東部の遺跡に特有の資料の中から類似資料が発見される可能性を秘めながらも、徳島県側から土器そのものあるいは土器製作技術が相当量搬入されている可能性が濃厚になったと言える。

なおこれまでの作業の結果、特別な器種として分類できなかった弥生土器についてもその起源が香川県外に求められることも考慮する必要があるであろう。

2 「池の奥型土器群」の提唱

弥生土器が良好な状態で出土した遺構にＳＫ12とＳＫ19がある。前者はＩ区の第３段階の集落に伴う遺構であり、集落の中央部に位置することから共同施設の可能性がある。また後者は同区の第４段階の集落に伴い、竪穴住居跡に隣接する井戸様の生活遺構である。したがって、両遺構ともに集落が拡大した時期に所属し、出土品は特殊な器形を含まない生活遺物が主体であると考えられるため、日常的に使用されていた土器の様相を把握する一括資料として有効である。

そこでＳＲ02出土弥生土器について器種分類した観点から、ＳＫ12とＳＫ19の一括資料のうち器形にまとまりのあるものを器種分類して土器群に共通する特徴を見出す。

(1) 器種分類

①ＳＫ12出土資料　壺が３種類、甕が２種類、鉢が２種類、高杯が１種類に分類できる。

［壺Ｄ類］316～319。口縁端部が肥厚されてキザミメや凹線文が施された装飾性の豊かな器種である。

［壺Ｊ類］320～324。頸部以上の部位が直立する形態であり、口縁端部が細く成形されているもの（320）と、端面が成形されているもの（321～324）に分かれる。後者はやや受け口状の形態であり、

口縁部外面に凹線文が施されているものが多い。322と323の頸部には二枚貝の殻を使用した刺突文が施されている。さらに頸部の付け根部分に凸帯が貼り付けられている点も特徴である。

［壺N類］325。口縁部が内側へ傾く形態であり、外面に凹線文が施されている。

［甕F類］334～340。口縁部が水平気味に開口して上端部がつまみ上げられた形態である。

［甕G類］341、342。口縁端部に強いヨコナデが施されることにより、広い端面が作り出されるが、凹線文等の装飾性は弱い。

［鉢A類］351、352。口縁部は端部が内外方向に肥厚され、外面には凹線文が施されている。

［鉢C類］355、356。体部が半球状の形態であり、口縁部は受け口状に開口する。

［高杯C類］363～365。口縁部の端面が内外方向に肥厚された形態である。

②SK19出土資料　壺が1種類、甕が3種類に分類できる。

［壺D類］371、372。体部が算盤珠形で、頸部から口縁部にかけて逆ハ字形に開口する形態である。

［壺J類］370。頸部から口縁部にかけて直立し、端部は球状に丸く成形されている。体部は算盤珠状の形態である。

［甕D類］378、379。短い口縁部と肩が張らない長い体部が特徴である。

［甕F類］374～376。口縁上端部がつまみ上げられた形態である。

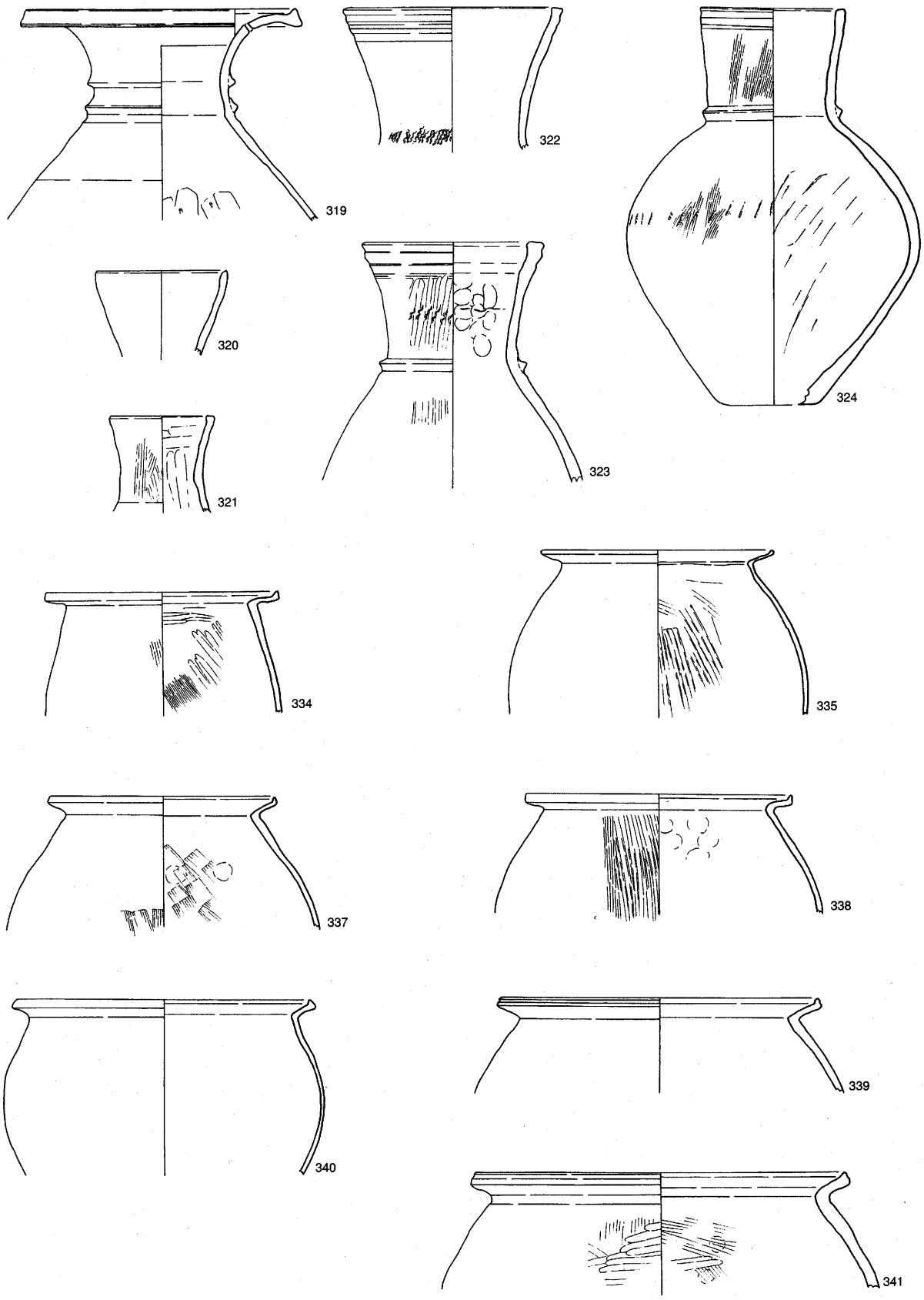
［甕G類］377。口縁端部に強いヨコナデが施されることにより、広い端面が作り出された器形である。

(2)　分類結果から

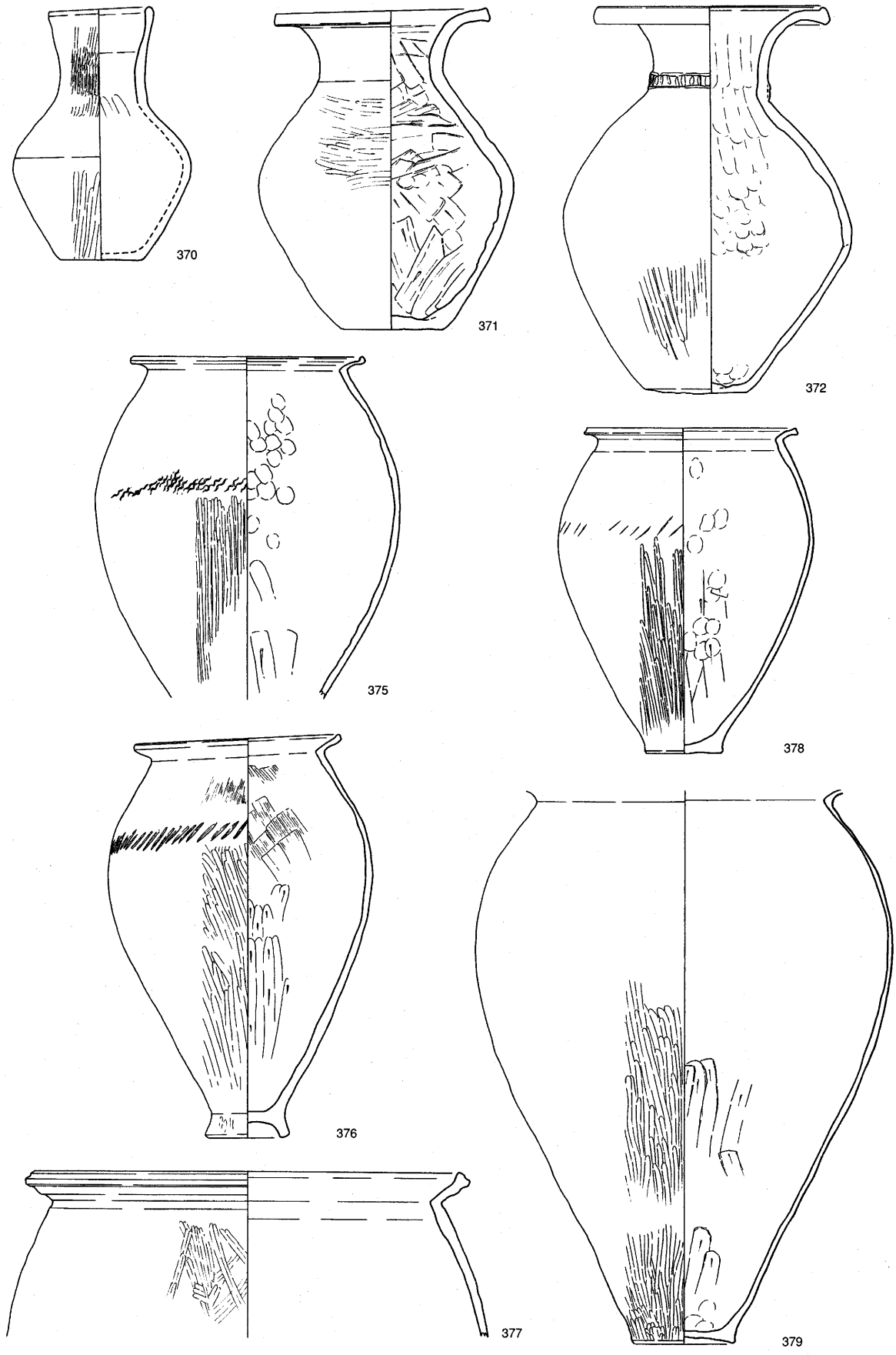
上記のとおり、SK12とSK19の主要な弥生土器の分類結果は壺でD類とJ類、甕でF類とG類を共有するというきわめて似通った状態を示した。

すなわち、遺物の保存状態が良好であるとともに、複数の器種が混在するという理由だけで無作為に選んだ資料にもとづく結果であることから、共通するそれぞれの器種については本遺跡の弥生時代中期後半頃の弥生土器の中でも最も普遍的であり、遺跡のモデルとなり得る土器群と考えられる。

そこで本項では壺のD類とJ類、甕のF類とG類を一括した「池の奥型土器群」（仮称）というまとまりを設定して、香川県の東部地方における今後の弥生時代中期後半頃の弥生土器の様相を知る上でのメルクマールとすることを提案する。



第130図　「池の奥型土器群」実測図１



第131図　「池の奥型土器群」実測図 2

第3節　石器・石製品について

1　組　成

石器及び石製品は製品と未製品を合わせて総数1,542点が出土した。これらのうち、竪穴住居跡や土坑から出土した一部の遺物以外は詳細な所属時期は明らかでないが、大部分がＳＲ01及びＳＲ02の埋積土と遺物包含層から出土したことから、弥生時代中期中頃から後半の中頃にかけて集落が拡大した時期の短期間の所産と考えられる。したがって、全個体を概ね同一時期に所属するものとして総括して比較検討することは同時期の石器及び石製品の組成を把握する上で不都合はないと判断できる。

そこで、弥生時代用途別区分、遺物種類、製品及び未製品、各遺物種類の総数に占める比率の内訳をまとめて組成を明らかにする。

なお遺物種類のうち転用品については、最終の使用形態で分類した。

第9表　石器・石製品組成表

用途別区分	遺物種類	個体数（点）			総数に占める個体数比率（%）
		製品	未製品	合計	
狩猟具	石鏃	417	80	497	32.2
漁労具	石錘	14	－	14	0.9
農耕具	石庖丁	－	－	77	5.0
調理具	磨石か叩石	－	－	293	19.0
	石皿か凹石	－	－	22	1.4
	叩石	－	－	66	4.3
	小計	－	－	381	24.7
工具	刃器か石庖丁	－	－	142	9.2
	石斧	－	－	168	10.9
	石錐	52	6	58	3.8
	ハンマーか石器材料	－	－	41	2.7
	砥石か台石	－	－	12	0.7
	楔形石器	－	－	112	7.3
	小計	－	－	533	34.6
武器	石槍	16	2	18	1.2
不明		－	－	22	1.4
合計		－	－	1,542	100.0

第10表　関連弥生時代遺跡石器・石製品組成表

個体数：点　比率：%

	浴・長池遺跡（高松市林町）		久米池南遺跡（高松市新田町・東山崎町）		摺鉢谷遺跡（高松市峰山町）		矢ノ塚遺跡（善通寺市吉原町・碑殿町）	
所属時期	中期・中頃		中期・後半					
立地	平野		丘陵尾根		丘陵山上		丘陵斜面	
標高	11m前後		30m前後		150～160m		19～28m	
個体数	個体数	比率	個体数	比率	個体数	比率	個体数	比率
狩猟具	22	15.8	65	47.1	46	52.9	10	32.2
農耕具	36	25.8	22	15.9	15	17.2	3	9.7
漁労具	0	0	0	0	0	0	0	0
調理具	0	0	6	4.3	1	1.2	5	16.1
工具	70	50.4	35	25.4	25	28.7	7	22.6
武器	8	5.8	0	0	0	0	0	0
その他・不明	3	2.2	10	7.3	0	0	6	19.4
合計	139	100.0	138	100.0	87	100.0	31	100.0

	庵の谷遺跡（東かがわ市黒羽）		多肥松林遺跡（高松市多肥上町・多肥下町）		上天神遺跡（高松市上天神町）	
所属時期	中期・終末～後期・初頭		中期・中頃～後期・中頃		後期・初頭	
立地	丘陵斜面		平野		平野	
標高	30m前後		21m前後		16m前後	
個体数	個体数	比率	個体数	比率	個体数	比率
狩猟具	767	44.5	104	3.2	29	16.1
農耕具	12	0.7	64	2.0	88	48.9
漁労具	7	0.4	不明	不明	3	1.7
調理具	24	1.4	不明	不明	11	6.1
工具	753	43.7	228	7.1	33	18.3
武器	0	0	9	0.3	0	0
その他・不明	161	9.3	不明	不明	16	8.9
合計	1,724	100.0	3,208	－	180	100.0

※多肥松林遺跡の個体数はサヌカイト製品と磨製石器の合計数であるため、比率はおよその数値である。

組成表を作成した結果、用途別区分では狩猟具、調理具、工具を合計した比率が総数の91.5%を占めることが判明した。この数値は一見、本遺跡が農耕と漁労に積極的でなかったことを表すもののようであり、その原因が耕地の少ない環境下にあったことと、海岸まで離れた地理的条件下にあったことにもとめることができるように考えられる。

そこで香川県下の弥生時代中期中頃から後期中頃の立地条件の異なる遺跡群のまとまりのある石器・石製品の組成を例にして、上記の現象が全県的に普遍的なものか否かを確かめてみると、多肥松林遺跡を除外して丘陵山上・尾根・斜面に立地する遺跡では狩猟具等が農耕具を上回る量で出土し、平野の遺跡では逆の現象が生じたことから、池の奥遺跡の現象は普遍的なものである可能性が高まったと言える。ただし、一集落当りの狩猟具と農耕具の通常比率が明らかにできていない現状では、上記の現象が生業の実態をそのまま表すとは言い切れない。

2　用途別のまとめ

(1)　狩猟具

石鏃は長さが2～6㎝の範囲に広がり、規格性は認められない。

形態は茎部の有無によって有茎式と無茎式に大別し、前者のうちの逆刺（かえし）がない棒状のものを柳葉形に、後者は基部の形態により平基式、凹基式、凸基式に細別した。ただし、これらの分類は便宜上のもので、各形態の発生原因や捕獲対象物との関係等は全くわかっていない。特に動物遺体が皆無であったために実用化されたか否かについても不明である。

全資料における製品と未製品の割合は約5：1である。これは従来すべての打製石器の中でも石鏃の製作が最も平易であると理解されていることを勘案すると、かなりの割合で未製品が発生しているように思われ、見解の見直しの必要もあると考えられる。

(2)　漁労具

釣針やヤス等が存在しない点は香川県内の同時期の遺跡群と共通する内容である。石錘の内訳は有溝石錘12点と礫石錘2点であり、前者は香川県内の弥生時代中期の遺跡から頻繁に出土する資料であるが、後者は従来縄文時代の遺物とされてきたものである。本遺跡では縄文土器は全く出土しなかったことから弥生時代に所属することは確実で、2種類以上の漁法が存在したことも想定可能であるが、形態面と製作技術面における差異が大きいために礫石錘については編み具の錘として分離する方が妥当に思われる。

(3)　農耕具

鍬や鋤等の木製農耕具や土掘り具としての打製石斧が存在しないことから、石庖丁を使用しての収穫だけを行った可能性がある。すなわち、遺跡の立地環境から集落の近接地に耕地をもとめることは難しいと考えられるため、実質的な水田経営は他の集落に委ねて、収穫を分与される権利だけを有していたと想定してはどうか。そして、代償として大量の磨製石斧の確保にもとづく木製農耕具の製作と供給の役割を担っていたと考えることは無理であろうか。

石庖丁の内訳は磨製のもの1点を除いて、他はすべて打製のものである。磨製石庖丁は損傷が著しい上にほとんど原形を失っているために、長期間にわたって使用されたことがわかる。打製石庖丁はサヌカイトと結晶片岩を利用したものに2分されるが、両者とも大部分が直線的な刃部を作り出した横長の長方形の形態に仕上げられていることから、材料の差異が形態に与えた影響はないことがわかる。

(4) 調理具

特に個体数の多さが目立つのが磨石である。同資料は従来石皿と合わせて使用されるため、各々の出土数量は近似することが予測されるが、石皿の個体数に対して約13倍の個体数が存在しており、加工対象物の種類に応じた使い分けを想定しても、必要以上の数量であると考えられる。

そこで、この資料には河原や海岸等で採取された転石が利用されるため、表面に認められる擦痕を根拠とした製品と未製品の区別は意味をなさないが、実用品と代替のための予備品が混在する状態にあると考えたい。

磨石の材料の特徴として半深成岩の安山岩質斑岩や花崗岩質斑岩が多く含まれていることから、採集に当っては意識的に選択されたことがわかる。

石皿あるいは凹石は扁平な形態の材料が使用される以外、定型化していない点が特徴である。

叩石は磨石の転用によるものが見られる。

(5) 工　具

石器製作時に必要な剥片を剥ぎ取った結果生じた小型の剥片の側縁部に調整剥離を施した不定形な刃器が112点を占める中で、原材料が大きい段階で生じた大型の横長剥片を未加工のまま利用した大型の刃器が13点含まれる事実は、石器製作の役割を担っていたという遺跡の特性から、材料の消費に関して比較的制限が少ないという有利な位置にあったことに起因するものである。

磨製石斧は伐採具としての太型蛤刃石斧と加工具としての柱状石斧と扁平片刃石斧があり、個体数は圧倒的に加工具が占める割合が高い。この比率を弥生時代前期の石器製作遺跡のさぬき市鴨部・川田遺跡の磨製石斧の内訳で見ると伐採具99点に対して加工具98点と近似値を示すことがわかる。両遺跡の差異については、本遺跡では加工具は破損後も徹底的に再利用が続けられたために、分化した小型品の出現頻度が高まったのに対して、伐採具は一定の重量を保持することが重要なために破損後再利用されることなく廃棄された可能性があることに起因するものと考えられる。

磨製石斧の材料は中央構造線と御荷鉾構造線の間の三波川帯で産出される緑色片岩と、御荷鉾構造線仏像構造線の間の秩父帯で産出される輝緑岩の占める割合が高い。

第11表　磨製石斧形態分類及び個体数等一覧表

	個体数（点）	比　率（%）
柱状(片刃)石斧	131	78.0
小型方柱状(片刃)石斧	6	3.6
扁平(片刃)石斧	16	9.5
(太型)蛤刃石斧	15	8.9
合　計	168	100.0

石錐の中にも未製品が約10%の比率で含まれるが、石鏃に比べて低率であるのは、針部以外は形態にとらわれない器種のため、同部が破損しない限り製品化した結果と考えられる。

棒状の自然石のうち側面に敲打痕がある資料は石器製作用のハンマーと考えられるが、敲打痕がないものについては叩石等の材料の可能性がある。破損や消耗に備えて常時余分に確保されていたものであろう。

楔形石器は石鏃や石錐等の小型品製作のための石核として使用されたものと思われる。このような両極打撃の痕跡は打製石庖丁の破損品のうち８点についても認められることから、廃物を転用してサヌカイトを無駄なく消費していたことがわかる。

砥石（台石を含む）は12点ある。金属器は鉄鏃１点が出土したのみであるため、主な用途は磨製石器の研磨であったと思われる。特に大型品については、相当の重量があり移動が容易でないことから石器製作場所に常時固定されて使用されていた可能性がある。

(6) 武　器

石槍は狩猟用と戦闘用があると考えられるが、ここでは石鏃との区別を明確にするために後者の武器としてまとめた。出土品は18点であるが、大型化した石鏃形のもの、扁平な薄い形態の剣形のもの、厚みのある棒状のものの３種類に分類することができる。

第12表　石器・石製品材質別個体数一覧表

用途別区分	遺物種類	サヌカイト	安山岩	安山岩質斑岩（半深成岩含む）	花崗岩質斑岩（半深成岩含む）	結晶片岩・緑色片岩	輝緑岩	砂岩	花崗岩	アプライト	閃緑岩	流紋岩
狩猟具	石　鏃	497	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漁労具	石　錘	0	0	2	1	0	0	5	0	3	0	3
農耕具	石庖丁	66	1	0	0	18	0	0	0	0	0	0
調理具	磨石か叩石	1	2	128	24	0	0	138	2	0	1	1
	石皿か凹石	0	0	8	0	0	0	14	0	0	0	0
	叩　石	0	1	39	8	0	0	11	3	0	0	0
工　具	刃器か石庖丁	134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石　斧	0	0	1	0	158	7	1	0	0	0	1
	石　錐	57	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	ハンマーか石器材料	0	2	5	3	0	0	31	0	0	0	0
	砥石か台石	0	0	1	0	0	0	10	0	0	0	1
	楔形石器	112	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
武　器	石　槍	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計		885	6	184	36	177	7	210	5	3	1	6

※種類が不明のもの（サヌカイト製品20点と凝灰岩製品２点）を除く

3　石器生産について

本遺跡ではサヌカイトと結晶片岩を材料として打製石器の生産が行われていた。前者からは主に石鏃、石錐、石庖丁、刃器、石槍が、後者からは石庖丁が生産されているが、未製品は石鏃、石錐、石槍のみに認められる。これは石庖丁が製作中及び使用中の破損後も楔形石器や石核等として小型品に再加工されるために未製品の状態で廃棄されることが少なかったことが原因であろう。

出土品には打製石器の敲打用のハンマーと磨製石器の研磨用の砥石と考えられる資料が含まれるが、石器生産を具体的に示す資料としては生産段階で生じた原材料の剥片が有効である。

調査地全域から出土したサヌカイトと結晶片岩の剥片（未加工の原石は含まない）の総重量は55,415.42ｇ

である。このうち結晶片岩の占める割合はわずかに0.47%（261.83ｇ）と微少なため偶発的な生産行為と考えるべきであろう。

一方サヌカイトについては、相当量の製品、未製品、剥片が採取されたことから集落の存続時期を通じた継続的な生産活動が行われていたと考えられる。出土した製品と未製品の合計重量は11,746.5ｇ（製品7,300.4ｇ、未製品4,446.1ｇ）であり、上記の剥片との重量比は１：4.7（サヌカイト全重量に占める製品率は17%）となる。さらにこの値に遺跡外へ持ち出されたり、居住域外で紛失したりした製品の数量を加算するならば、剥片との重量の差はさらに縮まるであろう。この点を弥生時代前期の石器生産遺跡である鴨部・川田遺跡におけるサヌカイト石器の製品率が12%であることと比較するならば、生産効率は本遺跡の方が高いことがわかる。これはサヌカイトの主要な産出地である坂出市金山からの距離が同遺跡よりも遠方にある本遺跡の方が材料を無駄なく有効に加工した結果であると考えられ、この推測は本遺跡よりも産出地からさらに離れた庵の谷遺跡における金山産サヌカイトの製品率が37%（製品重量7,746.56ｇ／総重量20,660.55ｇ）にも上る事実からも裏付けられる。

参考文献（発行順）

寺川史郎・尾谷雅彦・他『亀井・城山－寝屋川南部流域下水道事業長吉ポンプ場築造工事関連埋蔵文化財発掘調査報告書』、1980年

渡部明夫・薦田耕作　『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第三冊　矢ノ塚遺跡』、1987年

藤井雄三・古瀬清秀　『久米池南遺跡発掘調査報告書』、1989年

大久保徹也・森　格也・他『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第６冊　上天神遺跡』、1995年

森　格也　『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第７冊　鴨部・川田遺跡Ⅰ』、1997年

森下英治・他『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第二十九冊　龍川五条遺跡Ⅱ・飯野東分山崎南遺跡』、1998年

禰宜田佳男　「石器から鉄器へ」『古代国家はこうして生まれた』、1998年

山下平重　『高校新設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第１冊　多肥松林遺跡』、1999年

真鍋昌宏・他『弥生土器の様式と編年　四国編』、2000年

山下平重・他『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第三十六冊　金毘羅山遺跡Ⅰ・塔の山南遺跡・庵の谷遺跡』、2000年

田崎博之・他『遺跡出土の焼成粘土塊・焼成剥離土器片からみた弥生土器の生産・供給形態』、2000年

森下友子　『高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第10冊　鴨部・川田遺跡Ⅲ』、2002年

高田浩司　「中部瀬戸内海と畿内の打製石剣－その経済的側面と観念的側面－」『考古学研究』第49巻　第１号、2002年

第２部　金毘羅山遺跡の調査

第１章　調査の経緯と経過

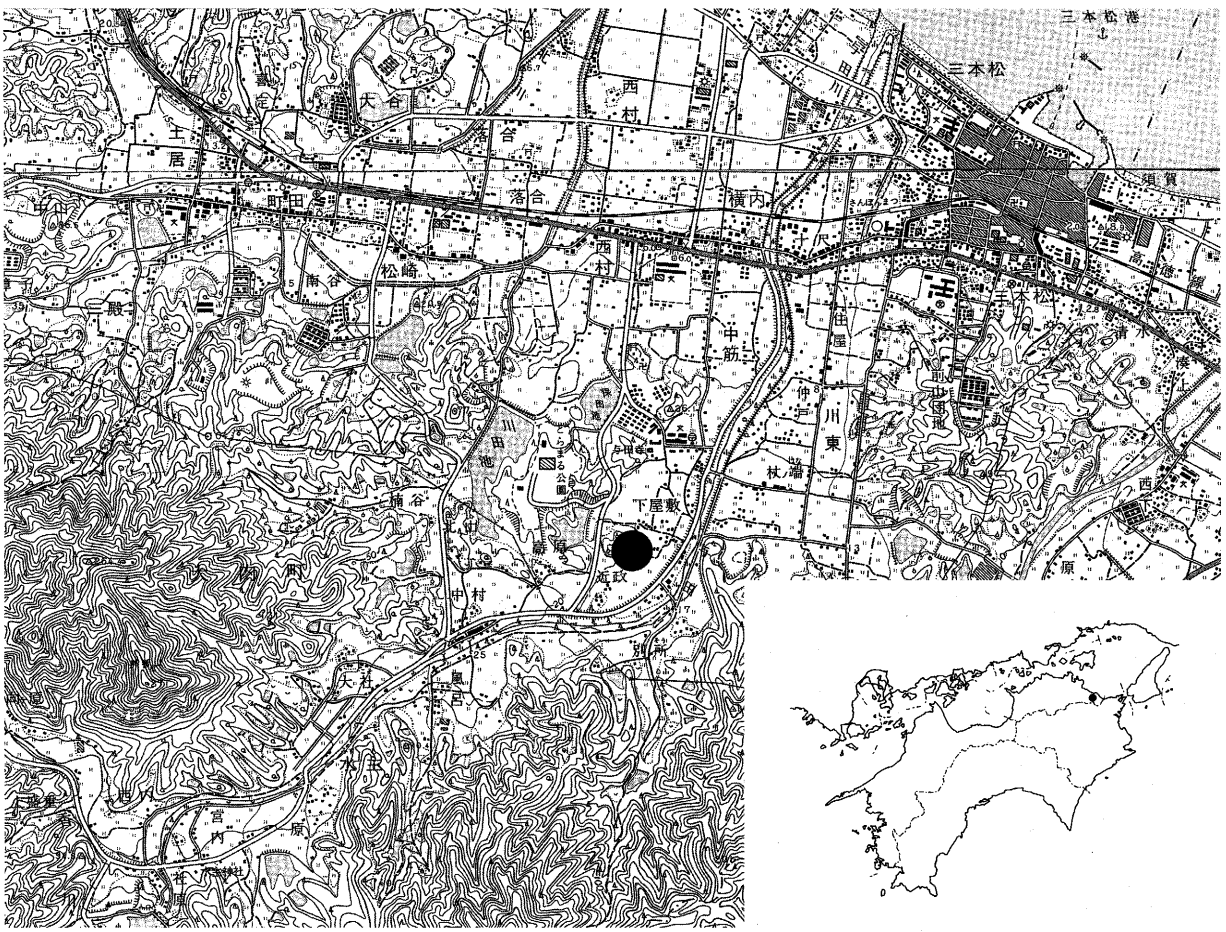
金毘羅山遺跡の調査全体の経緯と経過については本報告書シリーズの第36冊で報告を終えているため、ここでは今回の報告に係る調査と資料整理の経過について報告する。

第１節　発掘調査について

本書に収録した調査箇所は、平成10年度調査のⅢ区と同11年度調査箇所（以後「Ⅳ区」と呼称する）の全域であり、通称金毘羅山の東斜面と南斜面にかけての位置に当たる。調査期間は前者が平成10年５月～８月、後者が平成11年12月と同12年２・３月である。

Ⅲ区は面積が200㎡の地区であり、調査開始前は急斜面の一部に狭小な平坦地が存在する地形であった。このため検出された遺構は土器棺墓１基であったが、転落を防止するための安全管理に配慮した慎重な作業が行われた。

Ⅳ区の面積は1,300㎡であり、土器棺墓４基、方形台状墓１基、箱式石棺墓１基の調査が中心となった。このうち箱式石棺墓は保存状態が良好で、内部から赤色顔料が検出されたために特に慎重に作業が進められた。また、土器棺墓は急斜面に所在していたことから、足場を確保しながらの難しい調査となったが、当初の計画どおりの工程で調査を終えることができた。



第132図　遺跡位置図

第133図　遺跡周辺地形及び調査地区割図

第２節　整理作業について

整理員１名、整理補助員２名、整理作業員４名の体制で、平成14年12月～平成15年３月の４ヶ月間で実施した。報告書に掲載した遺物は弥生土器５点、土師器２点、須恵器３点、陶磁器10点、瓦１点、石製品２点（墨書のある自然石を含む）、鉄製品５点、銅鏡１点、銅銭１点である。

遺物のうち箱式石棺墓の側石と床面に塗布されていた赤色顔料については希少な資料であったために、別府大学文化財研究所に分析を委託して、同大学文学部文化財学科本田光子教授から資料の意義付けに関する教示を得た。

第３節　調査の方法

１　地区割について

当該調査地区についてはⅠ・Ⅱ区の報告に使用した20m四方を基準とする小区割りは行わず、大区の名称（Ⅲ区、Ⅳ区）をそのまま使用することにした。また遺構名称については、Ⅰ・Ⅱ区の報告の際には略称と01から始まる数字にⅠ区とⅡ区の名称を付して、「Ⅰ区ＳＨ01」、「Ⅱ区ＳＨ01」のように表記したが、今回はⅢ区の遺構が土器棺墓１基であることから、地区別に表記することによる混乱を避けるために略称と01から始まる数字のみで表記した。

2　記録類の作成について

検出した遺構については平板測量による１／100の縮尺の図面と、航空写真測量による１／50の縮尺の図面を作成した。さらに詳細な記録を要する土器棺墓、竪穴石室形埋葬遺構、箱式石棺墓のような遺構については、手書き作業により適宜１／10の縮尺の図面も作成した。

写真は35㎜サイズの白黒フィルム、リバーサルフィルム、カラーフィルムを用いて撮影したが、適宜６×７㎝サイズの白黒フィルムを用いた撮影も行った。また、航空写真測量の際には、空中からの斜め写真の撮影も委託して行った。

第13表　調査組織一覧表（池の奥遺跡を含む）

	平成10年度	平成11年度	平成14年度
香川県教育委員会 事務局文化行政課	課長　小原　克己 課長補佐　北原　和利 副主幹兼係長　西村　隆史 係長　中村　禎伸 主査　三宅　陽子 主査　松村　崇史 副主幹　渡部　明夫 係長　西村　尋文 主任技師　塩崎　誠司	課長　小原　克己 課長補佐　小国　史郎 係長　中村　禎伸 主査　三宅　陽子 主査　松村　崇史 副主幹　廣瀬　常雄 係長　西村　尋文 文化財専門員　森　格也 主任技師　塩崎　誠司	課長　北原　和利 課長補佐　渡邊　勇人 副主幹　香川　浩章 主査　須崎　陽子 主事　亀田　幸一 副主幹　大山　眞充 主任　片桐　孝浩 文化財専門員　古野　徳久 文化財専門員　佐藤　竜馬
財団法人香川県埋蔵 文化財調査センター	所長　菅原　良弘 次長　小野　善範 副主幹兼係長　田中　秀文 主査　新　一郎 (6.1～) 主任主事　西川　大 (～5.31) 主任文化財専門員　大山　眞充 (池の奥遺跡) 文化財専門員　西岡　達哉 技師　野崎　隆亨 調査技術員　正山　泰久 整理作業員　渡辺冨美枝 整理作業員　河野　聖子 (金毘羅山遺跡) 文化財専門員　植松　邦浩 技師　豊島　修 調査技術員　陶山　仁美 調査技術員　香川　直孝 整理作業員　國信　亜季	所長　菅原　良弘 次長　川原　裕章 副主幹兼係長　田中　秀文 主査　新　一郎 主任文化財専門員　大山　眞充 主任文化財専門員　長元　茂樹 主任技師　松岡　宏一 調査技術員　中山　尚子 整理作業員　渡辺冨美枝	所長　小原　克己 次長　渡部　明夫 副主幹　野保　昌弘 係長　多田　敏弘 主任文化財専門員　真鍋　昌宏 文化財専門員　西岡　達哉 整理員　山下登志子 整理補助員　三谷　和子 整理補助員　鈴木奈穂子 整理作業員　岩崎由紀子 整理作業員　渡辺　美穂 整理作業員　木下　祐美 整理作業員　安藤　真澄 整理作業員　境　敦子

第２章　調査の成果

第１節　土層序について

当該地区は風雨等の気候の影響を受けやすい丘陵の頂部周辺と傾斜面に当たる上に、調査前における落葉樹の繁茂が少なかったために腐植土の堆積が少なかった。さらに、集落に近い低丘陵であるために古くから人の出入りも多く、とりわけ山頂部は信仰の場として開発が進んでいた。したがって、表土の形成が抑制され、基盤土が露出するか、浅い位置で検出される状態がみられた。

基本的な土層序は以下のとおりである。

第１層：現況における表土（腐植土）

第２層：灰色系砂質土（花崗岩の風化土壌）

第３層：黄灰色砂質土（花崗岩の風化土壌）

第２節　遺構と遺物

１　土器棺墓

ＳＴ01～04は丘陵南西斜面の頂上寄りの標高42m前後の高所に群集して所在し、ＳＴ05は南東斜面の標高約29.4mの丘陵中腹に所在する。

すべての遺構について表土を除去した時点で土坑のほりかたが検出された点や、棺材のうちの棺蓋が残存していたものがなく、棺身についても大部分が破損していた点から遺構の上部は失われたと考えられるため、その有無や構造は明らかでない。

(1)　ＳＴ01（第136・138図、図版213・214）

［遺構］最も保存状態が良好な遺構である。土坑の大きさは棺材の高さと最大径よりもやや大きい程度で、壁面は棺材を斜めに設置するために南壁の傾斜が緩く、他は急な傾斜である。棺身の保存状態も良好で、壺の中心軸を南方の斜面下側に向けて、口縁部が斜め上方を向くように設置されている。棺材を支持するための詰石はない。遺体は残存しない。

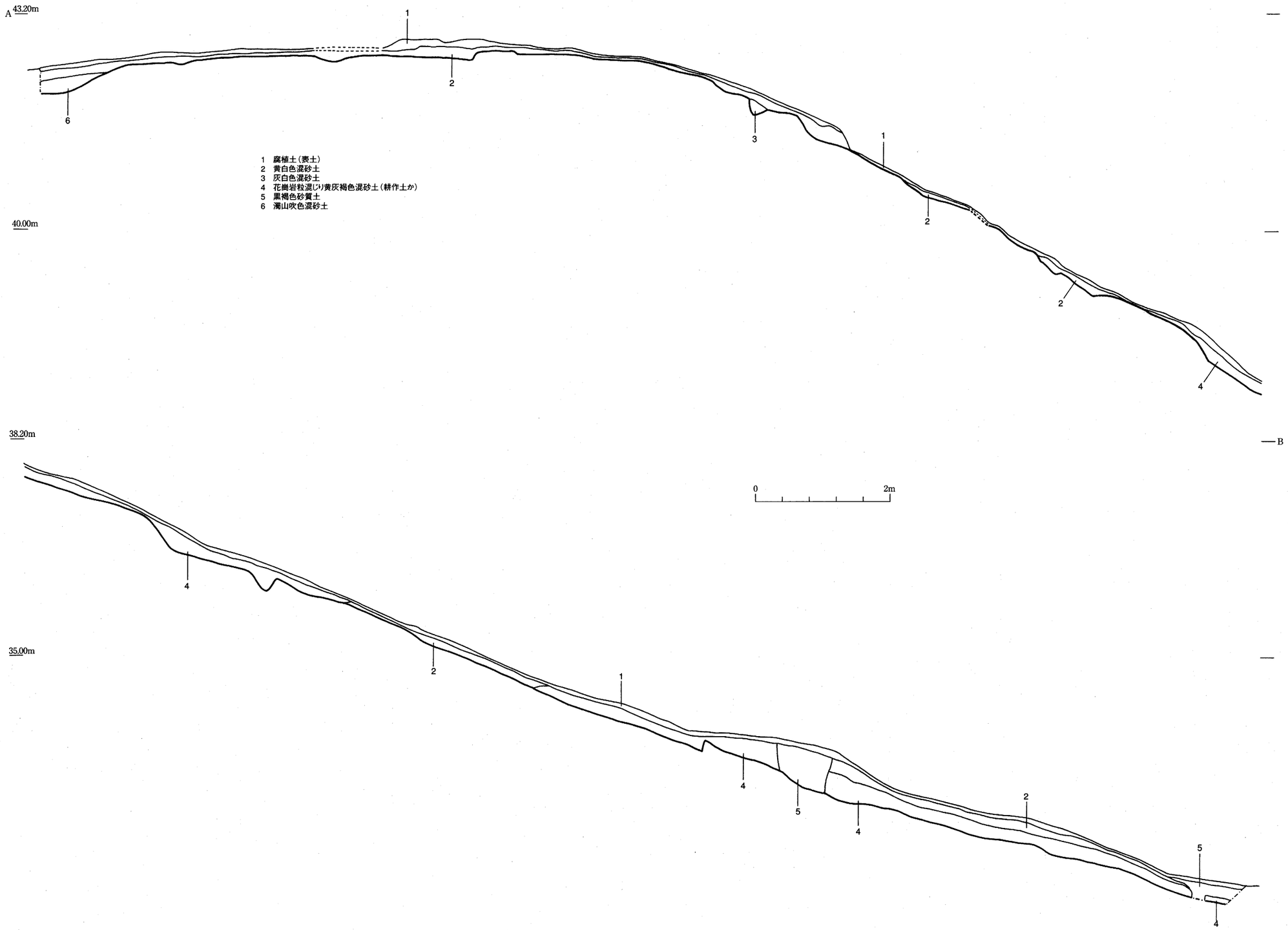
［遺物］１は最大径が体部の上位にあり、底部が窄まるために無花果形の形態である。口縁部は短く外反して下端部が外方向に張り出す特徴がある。

(2)　ＳＴ02（第136・138図、図版213・215）

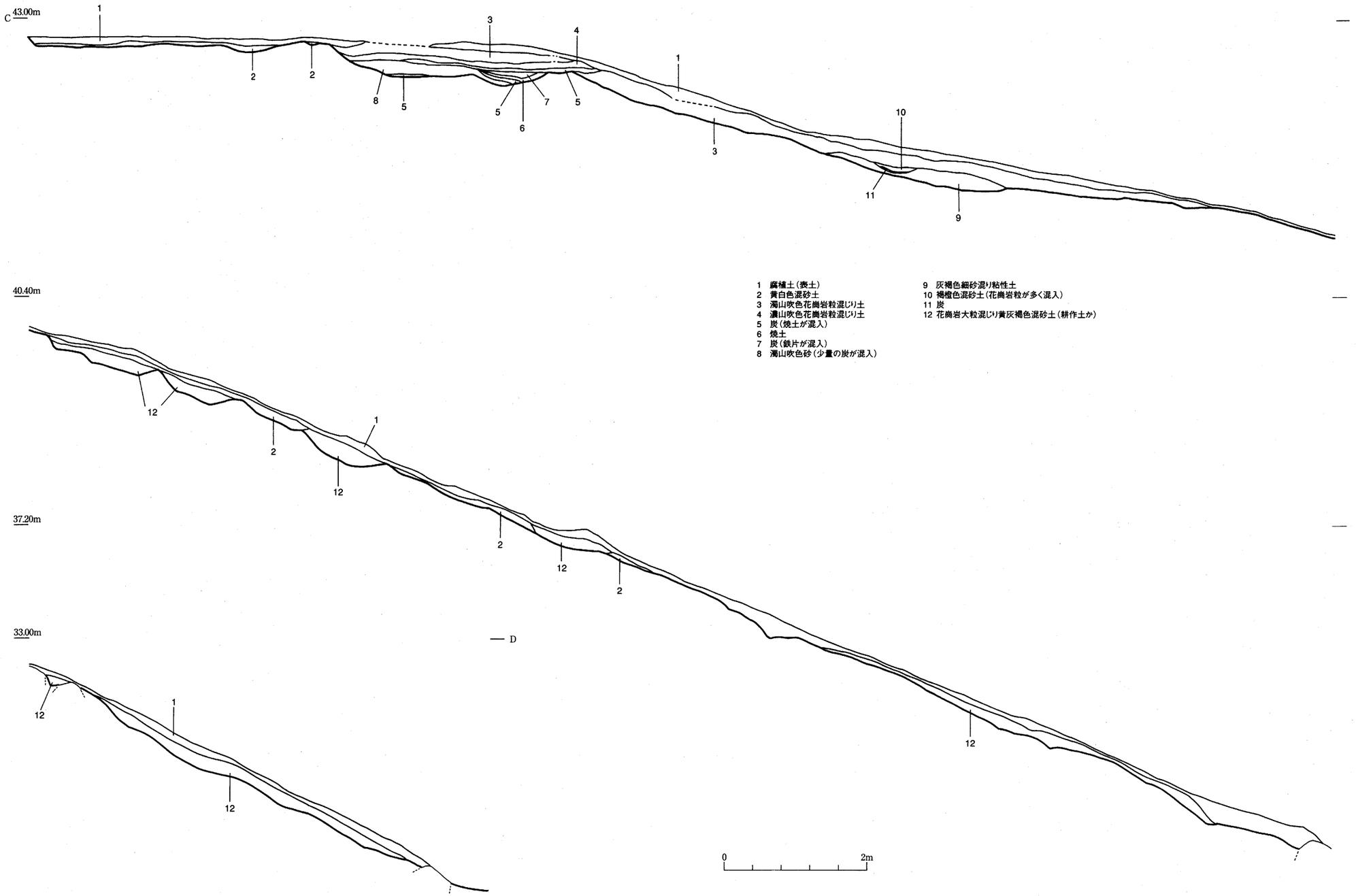
［遺構］上位が削り取られているために土坑は浅いボウル形の形態である。残存する棺身の位置から原形の中心軸は南西方に向けられていたことがわかる。棺材を支持する詰石はない。遺体は残存しない。

第14表　土器棺墓一覧表

遺構名	地区	土坑規模（cm）			主軸方位	挿図番号	図版番号
		長さ	幅	深さ			
ＳＴ01	Ⅳ区	76	69	59	Ｓ－45°－Ｗ	136・138	213・214
ＳＴ02	Ⅳ区	51	50	18	Ｎ－50°－Ｅ	136・138	213・215
ＳＴ03	Ⅳ区	68	66	44	Ｓ－45°－Ｗ	136・139	213・216
ＳＴ04	Ⅳ区	97	75	26	不明	137・139	213・217
ＳＴ05	Ⅲ区	60	51	18	Ｓ－17°－Ｗ	137・139	－

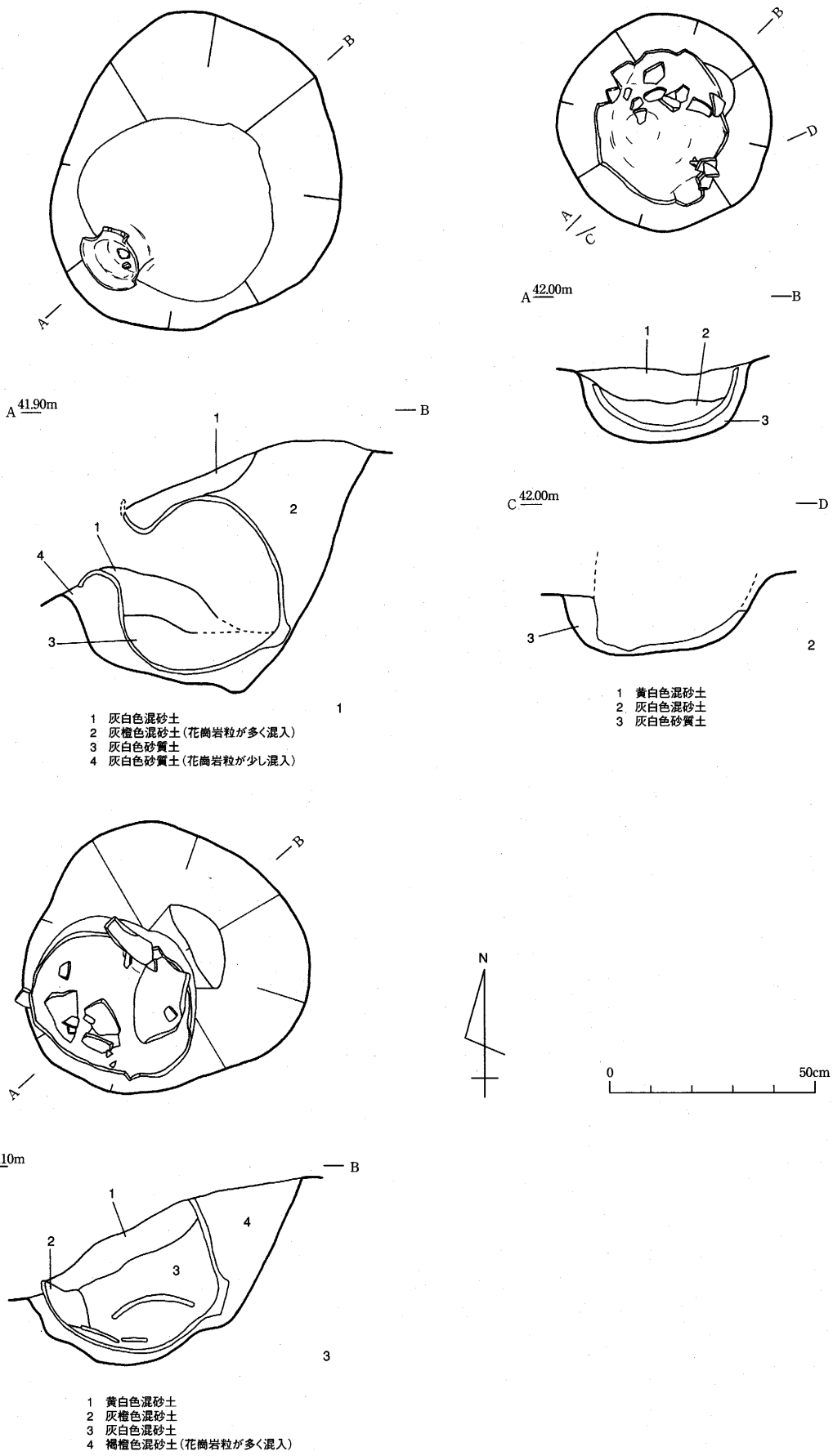


第134図　土層序断面実測図１

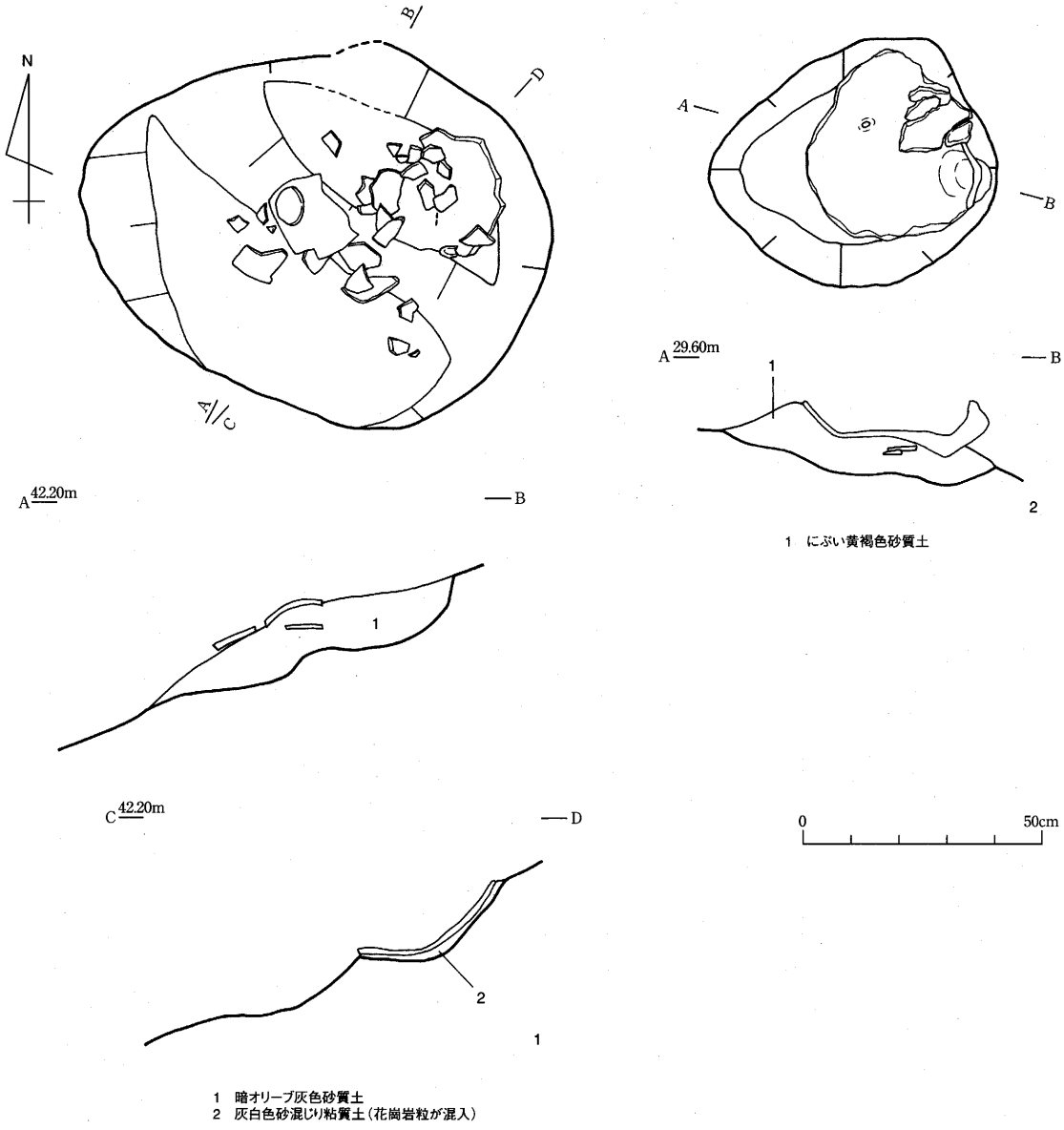


1　腐植土（表土）
2　黄白色混砂土
3　濁山吹色花崗岩粒混じり土
4　濃山吹色花崗岩粒混じり土
5　炭（焼土が混入）
6　焼土
7　炭（鉄片が混入）
8　濁山吹色砂（少量の炭が混入）
9　灰褐色細砂混り粘性土
10　褐橙色混砂土（花崗岩粒が多く混入）
11　炭
12　花崗岩大粒混じり黄灰褐色混砂土（耕作土か）

第135図　土層序断面実測図 2



第136図　土器棺墓遺構実測図１（１：ＳＴ01，２：ＳＴ02，３：ＳＴ03）



第137図　土器棺墓遺構実測図２（１：ＳＴ04，２：ＳＴ05）

［遺物］２は１と同様に無花果形の体部である。

(3)　ＳＴ03（第136・139図、図版213・216）

［遺構］上位が削り取られているために土坑は浅いボウル形の形態である。残存する棺身の位置から原形の中心軸は北東方に向けられていたことがわかる。棺材を支持する詰石はない。遺体は残存しない。

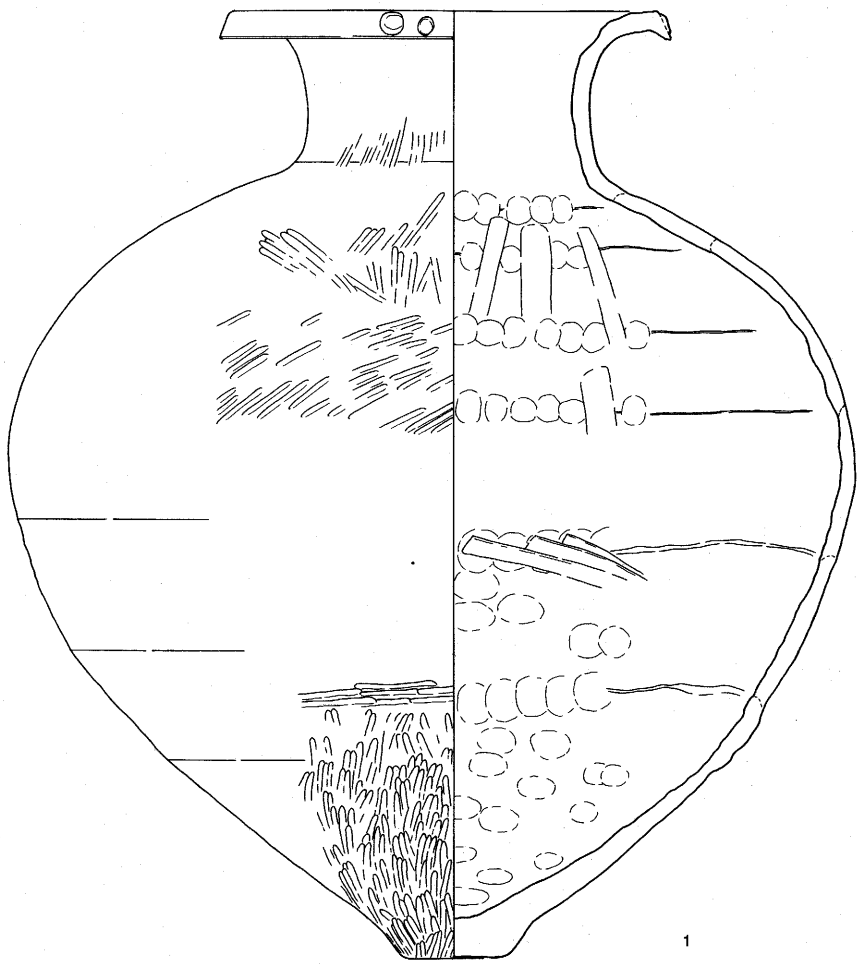
［遺物］３は最大径が体部の中央部にあるため肩が張らない形態である。

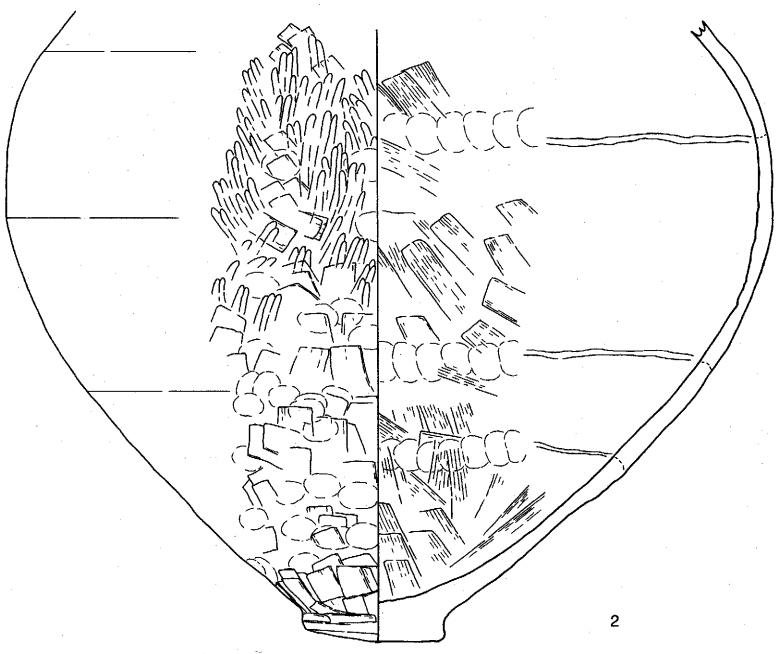
(4)　ＳＴ04（第137・139図、図版213・217）

［遺構］土坑の底面が残存するだけで、ほとんど原形を留めない。棺材と考えられる壺の底部は底面を上にした状態で検出されているが、棺身が存在しないため完全に掘り返された後に再度埋め戻されたことがわかる。棺材を支持する詰石はない。遺体は残存しない。

(5)　ＳＴ05（第137・139図）

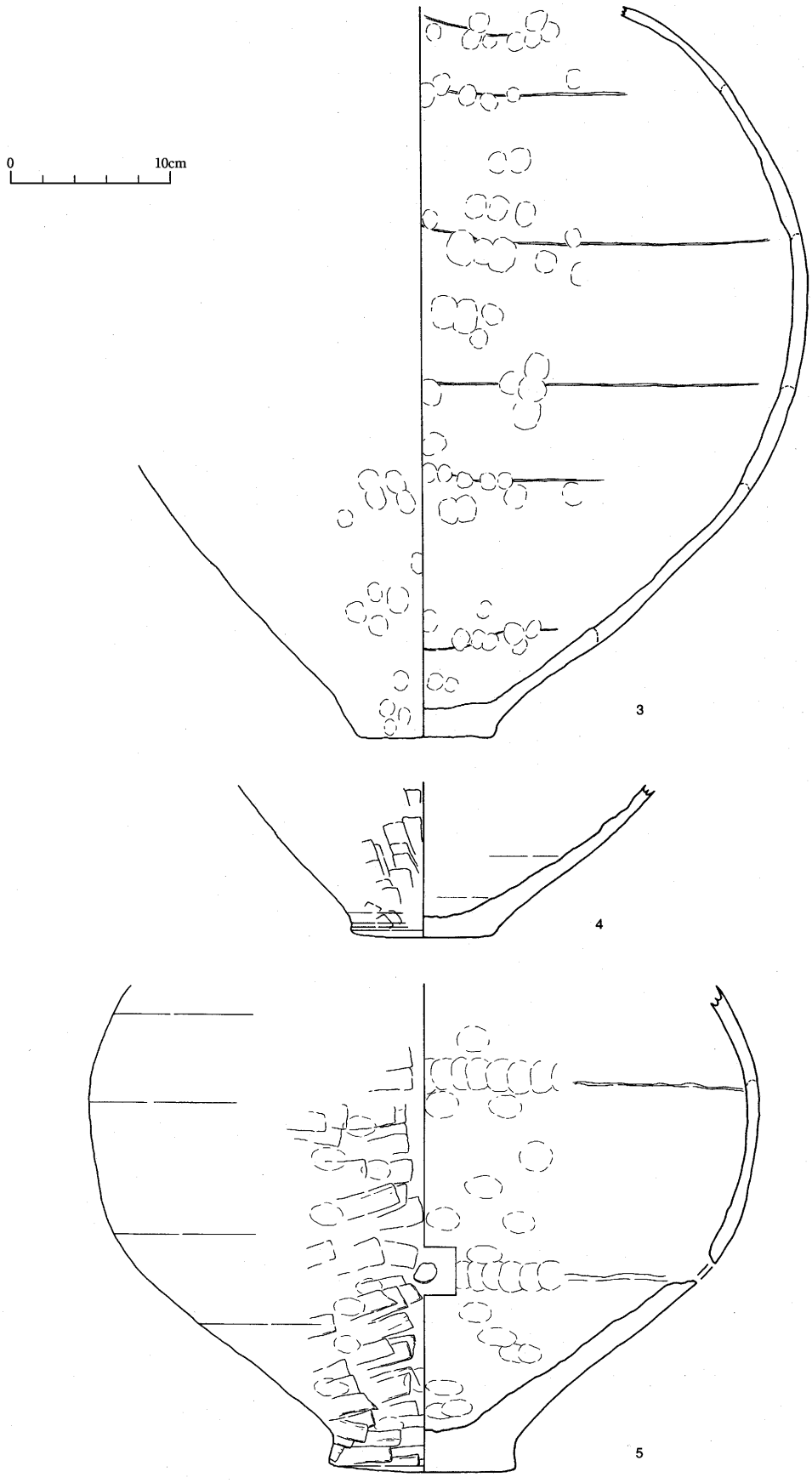
［遺構］土坑の底面と棺材の一部が検出された。棺身の壺の形態から棺材は中心軸を傾斜方向に平行するように設置され、斜面上側に開口していたことがわかる。棺材を支持する詰石はない。遺体は残存し





0　10cm

第138図　土器棺墓遺物実測図１（１：ＳＴ01，２：ＳＴ02）



第139図　土器棺墓遺物実測図２（３：ＳＴ03，４：ＳＴ04，５：ＳＴ05）

ない。

［遺物］５は器高に比べて最大径が大きいために体部が扁平な形態である。底部に近い位置に外側からの穿孔がある。

2　方形台状墓（ＳＴ06、ＳＤ01）（第140・141図、図版202～207）

［立地］標高39～41ｍの丘陵頂上の平坦地と南東方向へ派生する尾根の連結点に位置する。

遺構からは与田川中流の川沿いに開けた旧大内町水主の狭小な平地が眼下に望めるとともに、北方の旧大内町三本松を中心とする現在の市街地や瀬戸内海までも遠望することができる。とりわけ、本遺構と同時期もしくは後出する与田川東岸の塔の山南遺跡や原間遺跡等の丘陵上にある遺跡群を望むことができることと、それらの埋葬遺構の構築場所が本遺跡とほぼ同じ高さにあることは注意すべき点である。

［形状］調査開始時点においては墳丘様の地表面の隆起は認められなかったが、地形測量の結果、遺構の範囲内の等高線は南南東方向へ矩形に張り出すことがわかった。そして等高線の間隔が尾根部分に比べて広いことからこの矩形の範囲内は平坦面に近い状態であることも判明した。表土が薄いことや開墾による基盤土の掘削が著しいために盛り土や基盤土の成形の痕跡は明瞭ではないが、遺構の位置が尾根の中心軸から外れている上に、傾斜が尾根上に比べて緩い点において方形に地形が改変されていることが考えられる。

ＳＤ01は長さ506cm、最大幅211cm、深さ24cmの小規模なものであるが、矩形に張り出した等高線の先端部に平行する位置関係にある。したがって、同遺構によって張り出しの斜面上側が切断されたことにより、見かけ上は張り出しが独立した四角形の隆起に見える効果が得られている。こうして成形された隆起の一辺は約８ｍとなる。

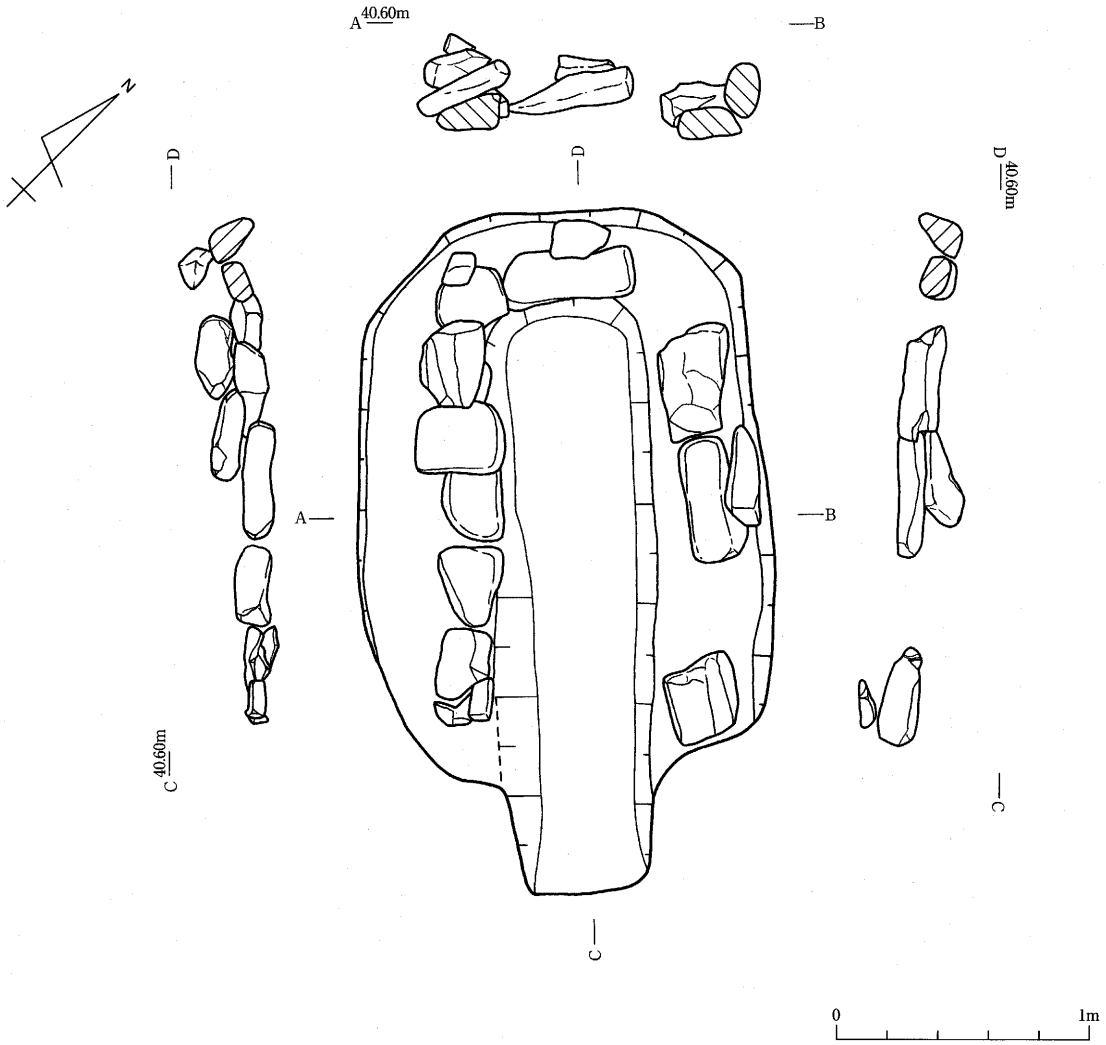
［構造］表土を除去した時点で主体部の長側壁と斜面上側の小口に当る短側壁の石材の上部が露出したため、蓋あるいは天井施設の存否は不明である。

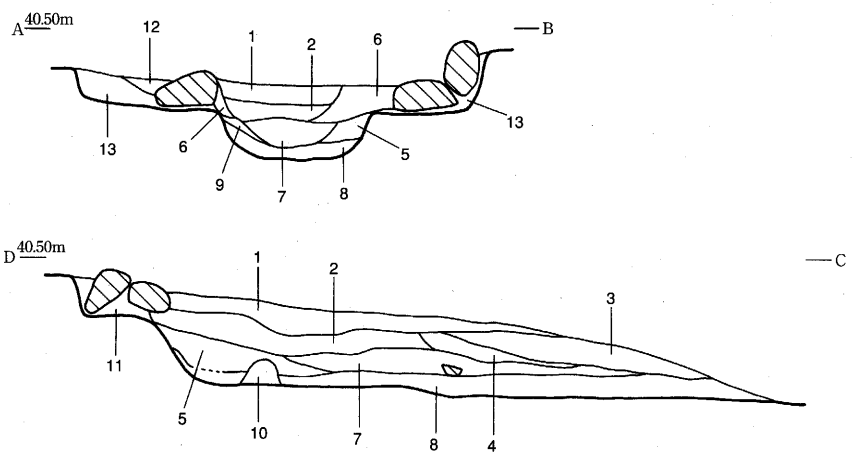
墓坑は長軸の長さが268cm、短軸の長さが162cmの規模であり、平面形態は長軸方向の斜面下側が舌状に張り出した隅丸長方形である。斜面下側が舌状に掘り広げられている点については、主体部内の排水を目的としたことも想像できる。底面は側石の設置箇所が１段高く、粘土床の下部に相当する位置が深いために２段構造となっている。排水溝は存在しない。

側石は斜面下側の小口を除いてコ字形に存在する。個々の側石の下部からは石材を固定するための掘り込みが検出されなかったことから、側石が検出されなかった斜面下側の小口については構築時には存在した可能性もある。側石は安山岩と花崗岩の大型の自然石が使用されており、各石材の平滑な面が内側に揃うように並べていることがわかる。側石は基底を形成している石材の数が長側壁の北側３個、その南側５個、西側の短側壁１個であり、南側の長側壁西部の３個の石材の上部だけに２個の石材が積み上げられている。また北側の長側壁の中央部と短側壁の石材の背後には各１個ずつ裏込めの石材があった。遺構の上部が破損しているために側壁の石材がより高く積み上げられていたか否かは不明であるが、木棺の高さを復元すると側壁にはより一層の高さが必要になることが考えられる。

側石で囲まれた床面の規模は長軸長224cm、短軸長44cmで、横断面が基底の石材の下部同士を結んでＵ字形になるように白色系の粘土で形成されている。このことから使用された木棺は直径約40cm前後の割竹形の円形のものであったことがわかる。ただし、木棺そのものは残存していなかった。

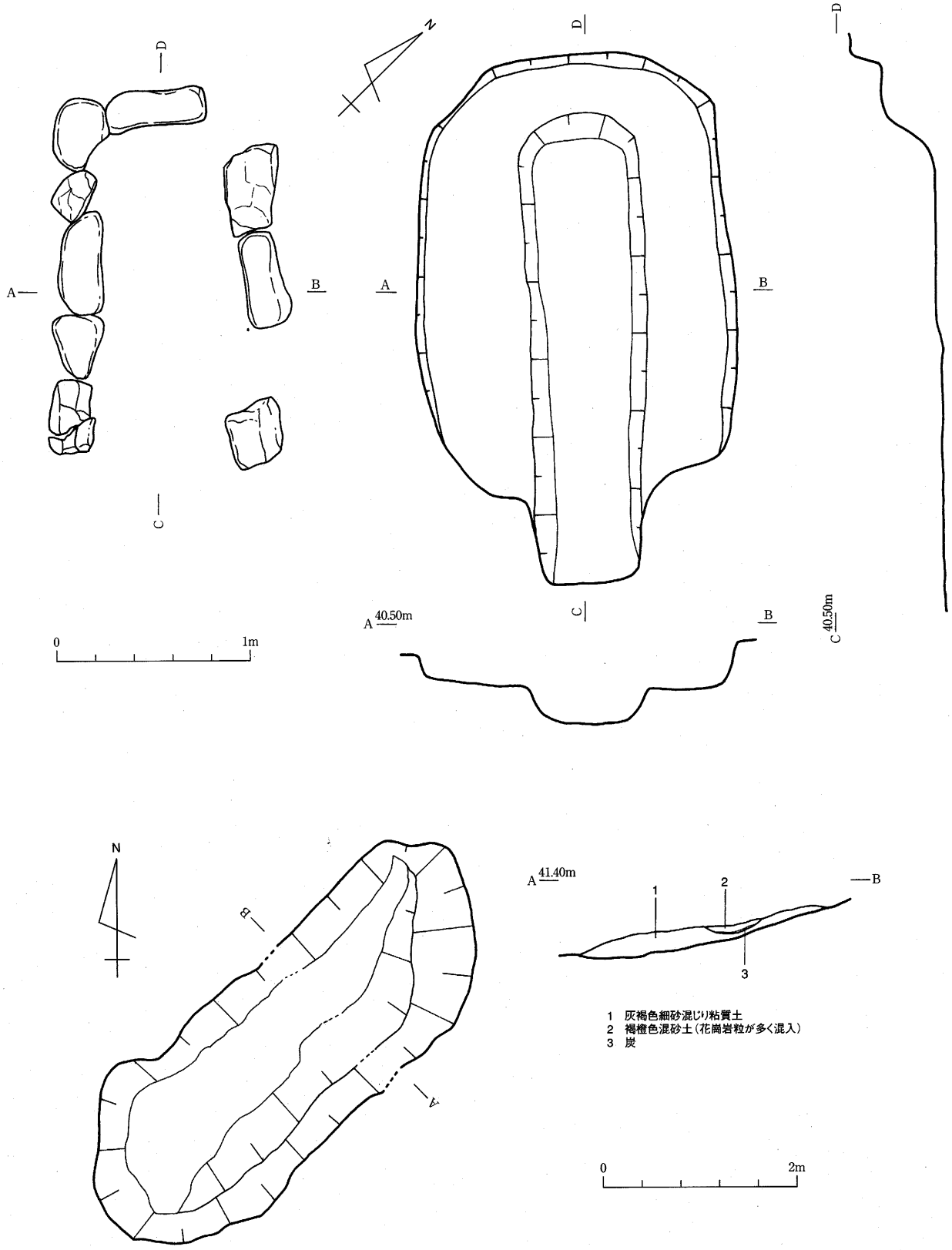
［遺物］本遺構に伴う遺物は全く存在しない。



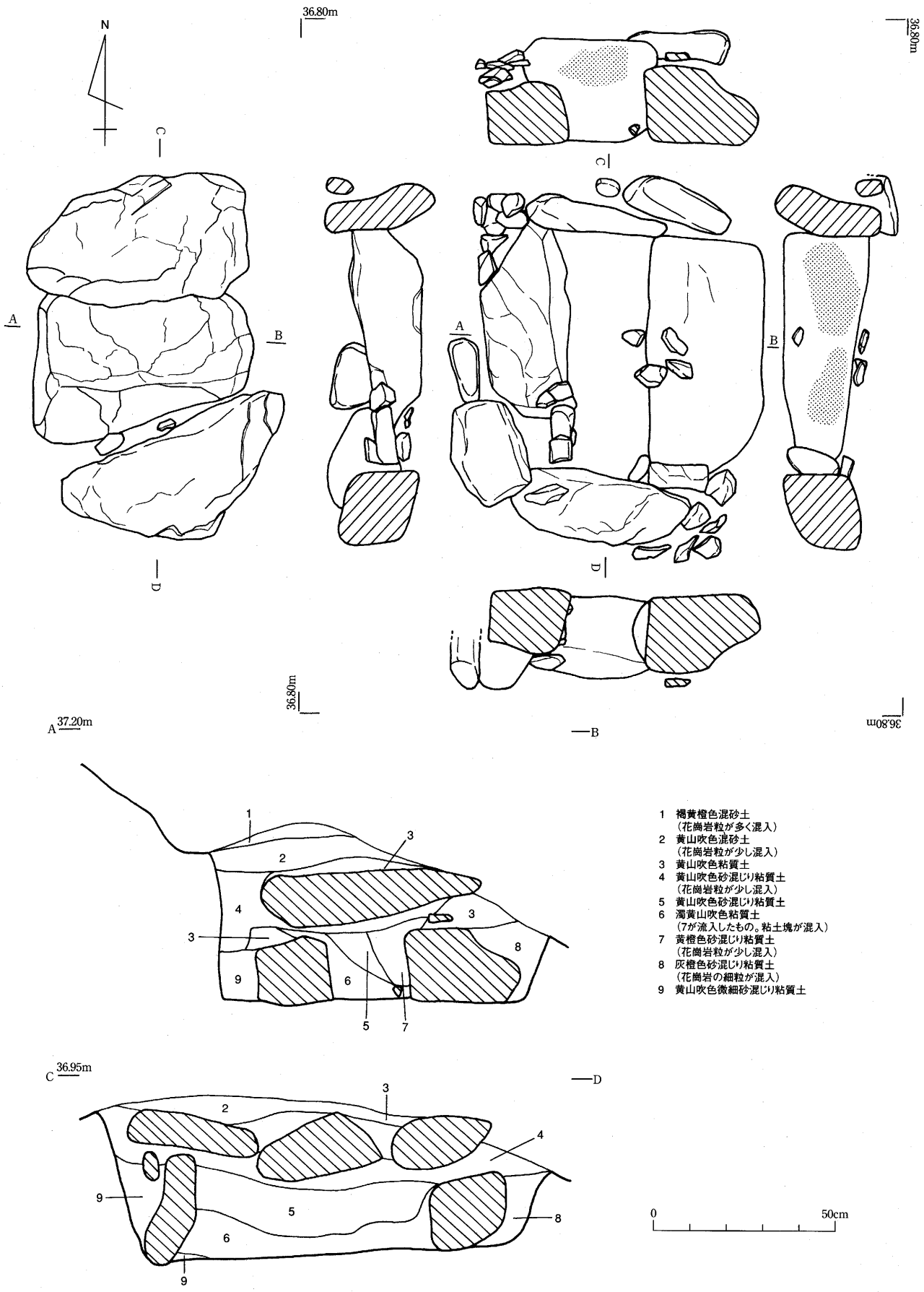


1 オリーブ灰色砂混じり粘質土（花崗岩粒が多く混入）
2 灰橙色砂混じり粘質土（花崗岩粒が少し混入）
3 灰橙色砂混じり粘質土
4 オリーブ灰色微細砂混じり粘質土
5 褐橙色粘質土（粘土塊）
6 黄山吹色微細砂混じり粘質土
7 黄山吹色砂混じり粘質土（花崗岩粒が混入）
8 暗灰色砂混じり粘質土
9 黄白色砂混じり粘質土
10 暗灰白色砂質土
11 オリーブ灰色粗砂（花崗岩粒が少し混入）
12 暗灰黒色砂質土
13 灰白色微細砂質土

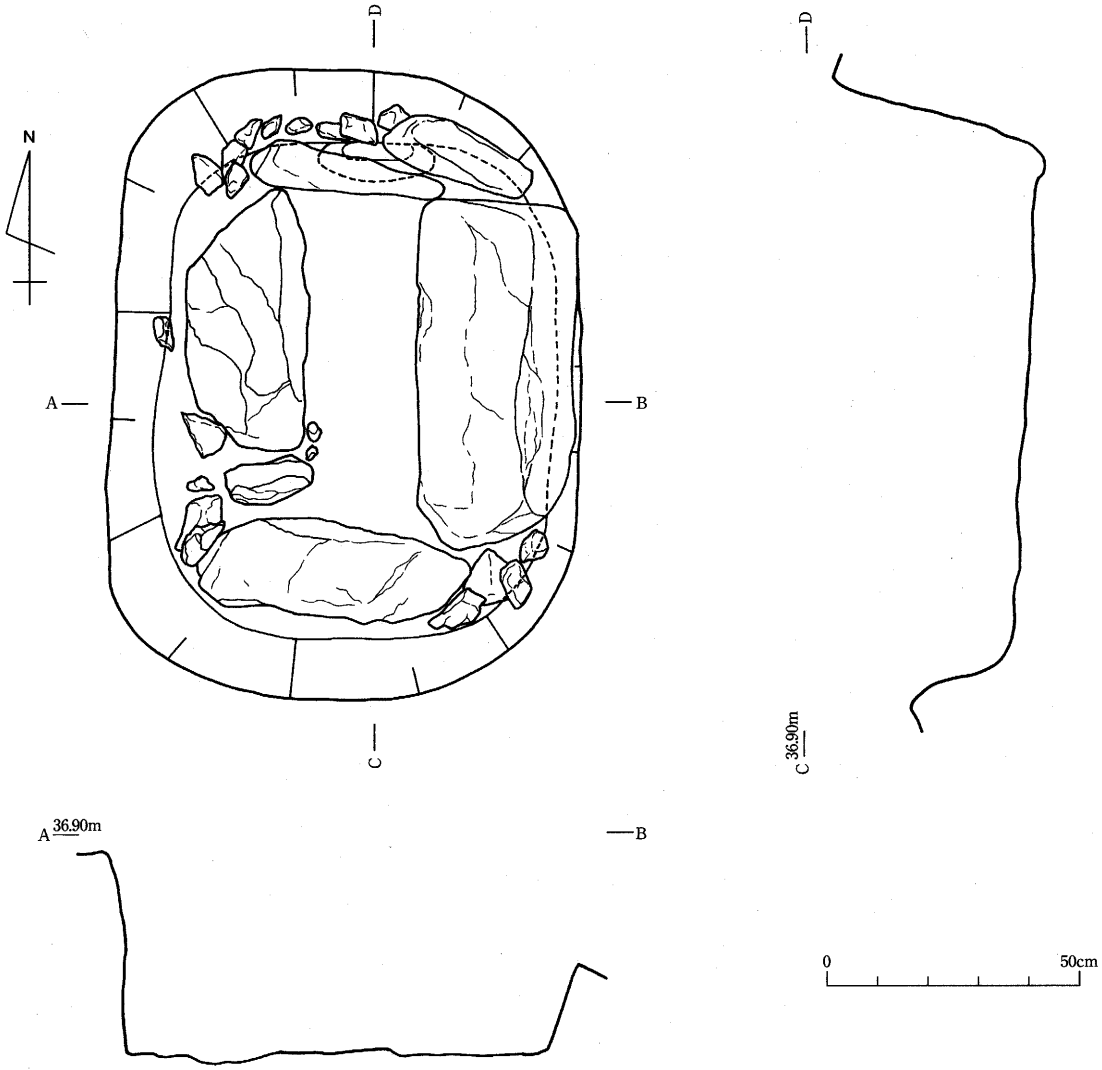
第140図　方形台状墓（ＳＴ06）遺構実測図１



第141図　方形台状墓（ＳＴ06・ＳＤ01）遺構実測図２



第142図　箱式石棺墓（ＳＴ07）遺構実測図１



第143図　箱式石棺墓（ＳＴ07）遺構実測図２

3　箱式石棺墓（ＳＴ07）（第142～144図、図版207～213・226）

［立地］頂上から東方に下る傾斜面の標高37ｍの地点に所在する。当該地はＳＴ06から直線距離で約９ｍ離れており、比高差が約３ｍである。眺望はＳＴ06と同様である。

［構造］調査開始時点においては地表面の隆起は認められず、表土を除去した時点で蓋石が露出したことから、墳丘等の上部構造の存否は不明である。

蓋石には３個の花崗岩の自然石が使用され、遺構の長軸に対して直交する角度で横並びに設置されていた。中央の石材が重厚な角礫であるのに対して、両端の石材が扁平な形状である点については交互に異なる形状の石材が並ぶように意図的に配列されたことが考えられる。蓋石と側石の間隙には大型の扁平な石材や小型の石材が挟まれており、蓋石を安定させるために利用されたことがわかる。

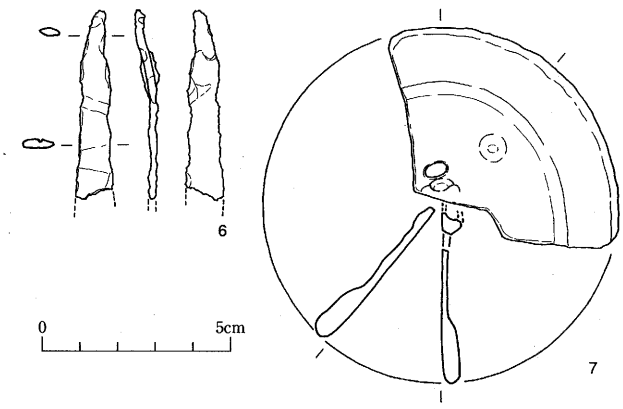
側石は長側壁の斜面上側が２個、斜面下側が１個、短側壁に当る小口は各１個ずつの石材で構築されていた。このうち小口の斜面上側の石材のみが板状の扁平な安山岩で、他はいずれも大型の花崗岩である。

墓坑は隅丸長方形の平面形態で、規模は長軸の長さ122cm、短軸の長さ91cm、深さ43cmで、斜面上側の長側壁と小口については墓坑と側石の間隙が大きいために、裏込めの石材が存在する。

床面は基盤土の掘削面がそのまま使用されており、粘土の貼り床構造は認められなかった。側石内部の規模は長軸の長さ63cm、短軸の長さ22cmである。

蓋石、両長側壁、斜面上側の小口の各内面と床面の一部に赤色顔料が塗布されており、その検出位置から遺体は斜面上側の小口方向に頭部を向けて埋葬されたことが考えられる。遺体は残存しない。

［遺物］６は幅が狭い小型品であり、先端部は片刃で反りがもたされている。

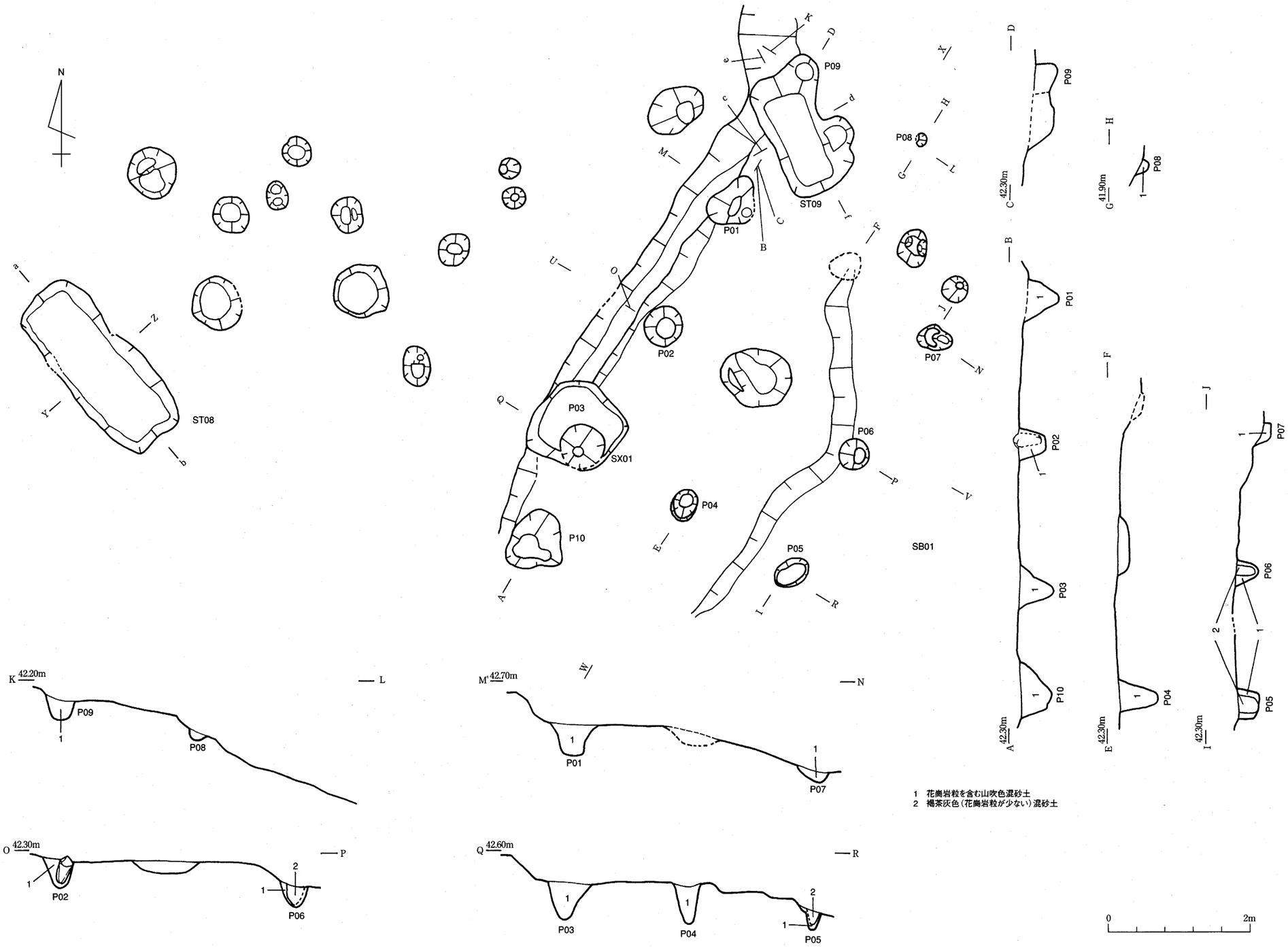


第144図　ヤリガンナ・銅鏡実測図
（６：ＳＴ07，７：遺物包含層）

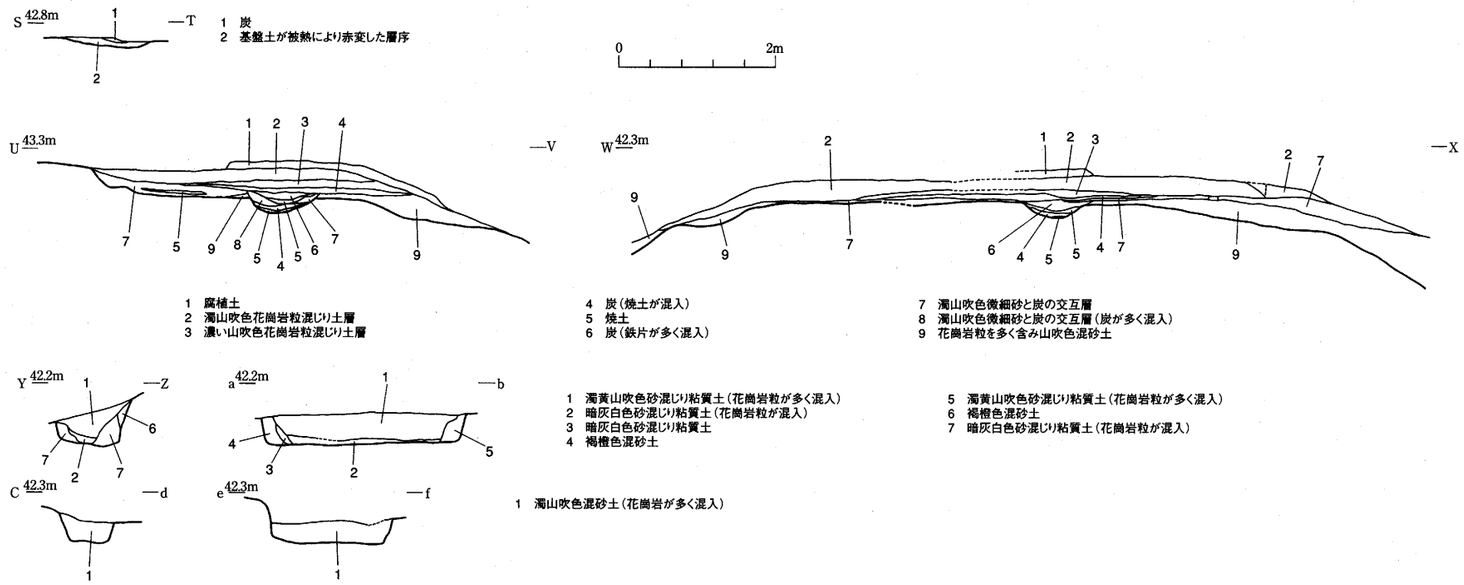
4　遺物包含層（第144図、図版226）

丘陵の頂上から東方に下る斜面に堆積していた黄色系粘性土中から銅鏡が出土した。出土位置は標高37.8ｍの地点で、遺物の直下に柱穴跡が検出されたため同遺構内に包蔵されていた可能性もあるが、追検証することができない。

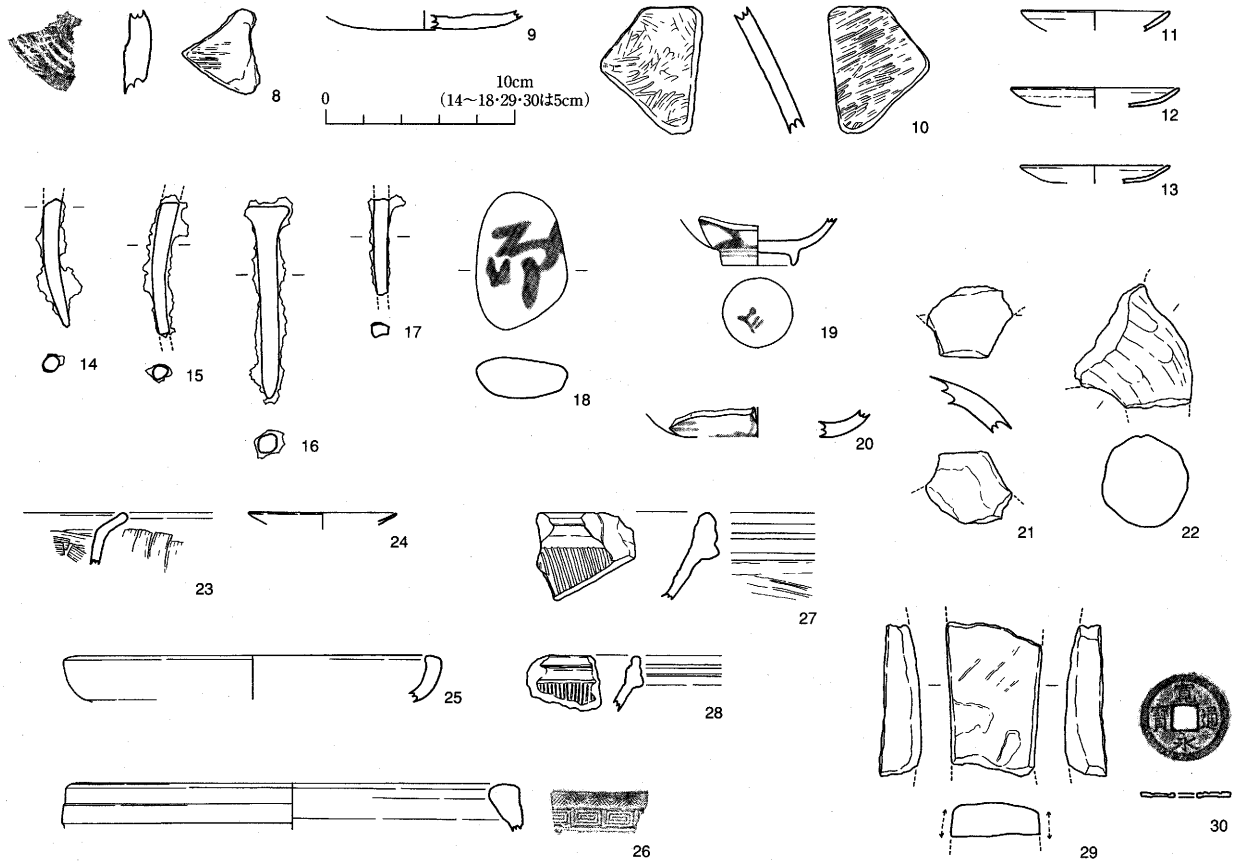
銅鏡は復元した直径が約9.4cmの小型品で、全体の約４分の１の部分である。表面の磨耗と劣化の程度が著しいために文様は全く認められず、外区と内区の区別、紐と珠文の存在が確認できるのみである。破断面の一部に鋭利な道具による裂傷が認められることから、紐の位置を基準に人為的に分断したことがわかる。紐に近い位置には懸垂のための穿孔がある。



第145図　掘立柱建物跡・土抗墓・不明遺構遺構実測図１



第146図　掘立柱建物跡・土抗墓・不明遺構遺構実測図 2



第147図　溝状遺構・不明遺構・柱穴跡・遺物包含層遺物実測図

5　その他の遺構と遺物

(1)　ＳＴ08（第145・146図、図版218）

丘陵頂上の平坦地の南西側の縁辺部に所在し、土器棺墓群に隣接する。平面形態は隅丸長方形、縦横断面は箱形の形態であり、規模は長さ259cm、幅118cm、深さ35cmである。遺構の主軸は等高線に平行する方向に合わせられている。

遺体や副葬品は出土していない。

(2)　ＳＴ09（第145・146図、図版218）

頂上の平坦地の北東側の縁辺部に所在し、平坦面を挟んでＳＴ08と対称な位置に所在する。平面形態は隅丸長方形で、縦横断面の形態は箱形である。規模は長さ176cm、幅76cm、深さ29cmである。ＳＴ08と同様に主軸は等高線に平行する方向である。

遺体や副葬品は出土していない。

(3)　ＳＸ01、ＳＢ01（第145～147図、図版201）

頂上の平坦地の東南部において長径３～５cmの自然の円礫が長さ約11m、幅約４mの範囲にわたって地表面に散布する状態が認められた。これらの円礫は当該地からは産出しないものであることと、採取した円礫の中に文字が墨書されたもの（第147図18）が含まれていることから、人為的に丘陵外から運ばれたことがわかる。とりわけ堆積量が多いことから長時間にわたって運搬されたことが考えられ、その原因としては信仰によることが想定できる。

円礫の下位において掘立柱建物跡（ＳＢ01）を検出した。床面中央部の基盤土上には炉跡様の土坑が存在するが、本遺構が建物に附設されていた遺構か建物の廃絶後に柱穴跡を炉跡として利用した別遺構かの特定はできない。

円礫の分布範囲が建物跡の範囲に完全に合致している点については、建物が存在した場所が信仰上の重要地点で、その範囲に限定して散布を続けることに宗教的な意味があったためであると考えている。

第15表　掘立柱建物跡一覧表

遺構名	地　区	桁行	梁間	主軸方位	挿図番号	図版番号
		間数・規模（cm）	間数・規模（cm）			
ＳＢ01	Ⅳ区	4・765	2・353	N－40°－E	145～147	201

(4)　ＳＸ02（第145～147図）

ＳＸ01の下位で検出した横断面が皿形の土坑状の遺構である。埋土中から焼土塊と炭化物が出土している。

第３章　自然科学的分析の成果

金毘羅山遺跡出土の赤色顔料

志賀智史・本田光子（別府大学）

1　はじめに

香川県東かがわ市金毘羅山遺跡出土の赤色顔料について調査する機会を得たので、その方法と結果を報告し、若干の考察を加えたい。

現在までの知見によれば、墳墓出土赤色顔料は酸化第二鉄（Fe_2O_3）等を主成分とするベンガラと赤色の硫化水銀（HgS）を主成分とする朱の二種が用いられている。これ以外に古代の赤色顔料としては、四酸化三鉛（Pb_3O_4）を主成分とする鉛丹がある。これら３種類の赤色顔料を念頭におき分析調査を実施した。

2　試　料

試料は、箱式石棺ＳＴ07から出土した２点である。所属時期は弥生時代後期と考えられている。

3　方　法

①実体顕微鏡観察　６～40倍の倍率で直接に遺物を観察する。赤色物がある場合は、その状態を調べる。また、光学顕微鏡および電子顕微鏡用の試料を作成するために針先に付く程度の赤色部分をサンプリングする。三者の赤色顔料はそれぞれ特徴を持った外観を有しているので、この実体顕微鏡による観察と次の生物顕微鏡による観察から、試料の材質や状態などについてはほぼ経験的に見極めがつく。

②生物顕微鏡観察　50～400倍の倍率でサンプリングした赤色物を観察する。透過光および反射光で粒子の状態、形状、粒度等を精査する。ベンガラは多くの場合粒子が１㎛以下と非常に小さいので、粒子形態の把握には次の電子顕微鏡による観察が必須である。なお、粒子径が１㎛以下の朱粒子の場合、光学顕微鏡観察でベンガラ粒子との区別を付けることは非常に難しい。

③電子顕微鏡観察　20～100000倍の倍率でサンプリングした赤色物を観察する。主としてベンガラ粒子の形状を観察する。この顕微鏡での観察は白黒での観察のみとなるので、確実に赤色部分を観察できるように、試料の作成と観察には十分な注意を行っている。

④蛍光Ｘ線分析　赤色物の主成分元素の検出を目的に、エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析装置（堀場製作所製ＭＥＳＡ500及び電子顕微鏡付属ＥＤＡＸ社製）を用い、試料を直接測定した。赤色の由来となる元素として、朱は水銀（Hg）が、ベンガラは鉄（Fe）が検出される。ただし、土壌や土器にはもともと元素としての鉄（Fe）が含まれているので、この方法で検出された元素の種類からだけで朱かベンガラかの判別を行うことは危険である。

以上の工程を適宜ふまえ、分析依頼を受けた赤色物が、考古学的に意味のある赤色物、すなわち赤色顔料であるか否かを判断し、同時にその赤色顔料の考古学的な評価をおこなった。

4　結果と考察（第16表）

試料１と２はベンガラであった。

第16表　分析結果一覧表

試料	遺物種類	出土位置	時期	顕微鏡観察		蛍光X線分析		赤色顔料の種類	備考
				朱	ベンガラ	Hg	Fe		
1	石棺石材	ＳＴ07	弥生時代後期	×	○	×	○	ベンガラ	パイプ状粒子を微量に含む
2	石棺床面	ＳＴ07	弥生時代後期	×	○	×	○	ベンガラ	パイプ状粒子を微量に含む

弥生時代後期から古墳時代にかけて、一般的に朱は遺骸の頭胸部から出土し、ベンガラは埋蔵施設に塗布されたり、床面全体から検出される場合が多い（本田1988,1995）。本石棺の試料からは朱は確認できなかったが、ベンガラは石棺の壁体および床面から検出されており、埋葬施設に塗布されたものと考えられる。

ベンガラは、いずれも顆粒状の粒子（写真7,8,13,14）を主体とし、若干のパイプ状粒子（写真９）を含んでいる。このパイプ状粒子は集合することなく、短いもののみが散在しており、光学顕微鏡下では透明度が低い。さらにパイプ自体の壁体には、一般的に認められる空間が存在せず、顆粒状の粒子の集合で構成されている。したがって、顆粒状の粒子の一部にはパイプ状粒子の潰れたものが含まれている可能性が考えられる。

パイプ状粒子をもつベンガラは、中空の鞘をもつ鉄バクテリアを焼成して残った鞘であることが判明しており（岡田1997）、これらの試料の原料となったベンガラ素材の生成には、生物が関与していることがわかる。しかし、岡田の復元したそれは長く、光学顕微鏡下では透明度が高いため、今回確認されたパイプ状粒子とは若干形態が異なっている。

パイプ状粒子を持つベンガラの生物顕微鏡による分類は、本田によって行われており、規格性の高いパイプ状粒子を含む物と、透明度が低いパイプ状粒子が束のように集まっている物の二者に分けられている（本田1997）。今回の例は後者に類似するが、束にはなっていない。この点は今後ベンガラの原料や製造方法を考えるうえで大変興味深い。

今回、調査の機会を戴きました財団法人香川県埋蔵文化財調査センターおよび西岡達哉氏に深く感謝いたします。

＜参考・引用文献＞

岡田文男　1997「パイプ状ベンガラ粒子の復元」『日本文化財科学会　第14回大会研究発表要旨集』，38－39頁，日本文化財科学会

本田光子　1988「弥生時代の墳墓出土赤色顔料」『九州考古学』第62号，39－46頁，九州考古学会

本田光子　1995「古墳時代の赤色顔料」『考古学と自然科学』第31,32号（合併号），63－79頁，日本文化財科学会誌

本田光子　1997「出土ベンガラの多様性について」『日本文化財科学会　第14回大会研究発表要旨集』，78－79頁，日本文化財科学会

写真１　試料の出土状態

写真２　サンプリング位置

写真３　試料１

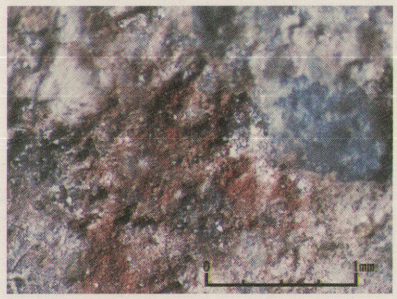


写真４　写真３拡大

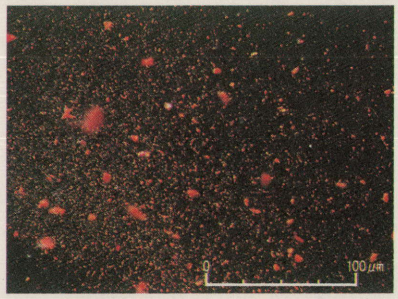


写真５　試料１赤色顔料粒子
（光学）

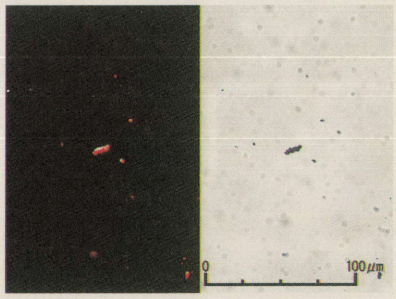


写真６　試料１赤色顔料粒子
（光学）

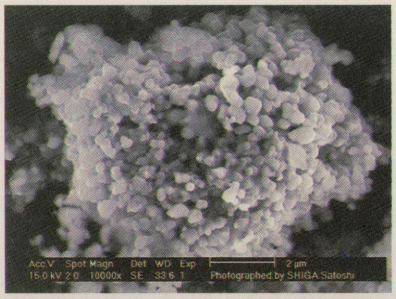


写真７　試料１赤色顔料粒子
（ＳＥＭ）

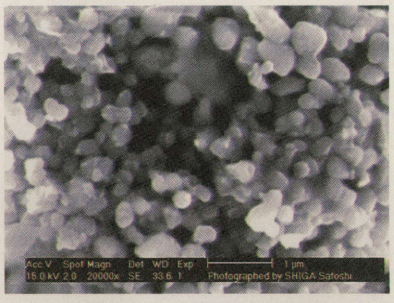


写真８　写真７拡大

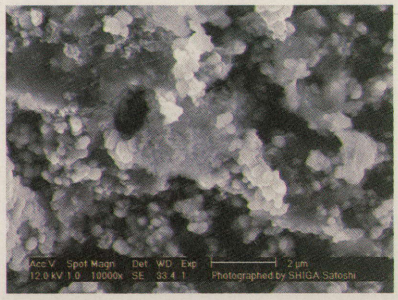


写真９　試料１赤色顔料粒子
（ＳＥＭ）

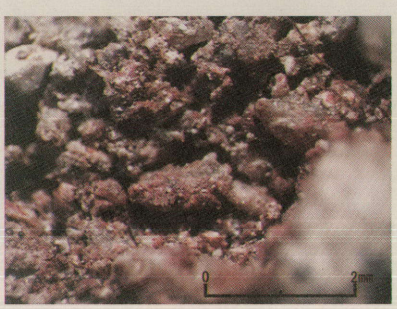


写真10　試料２

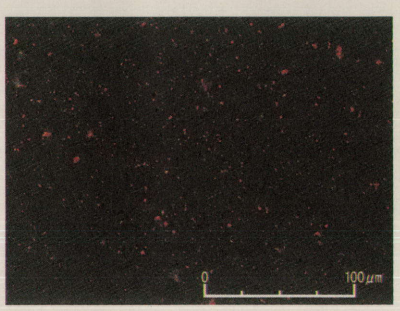


写真11　試料２赤色顔料粒子
（光学）

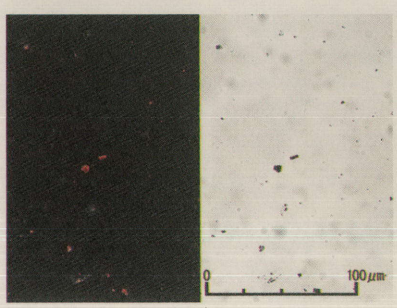


写真12　試料２赤色顔料粒子
（光学）

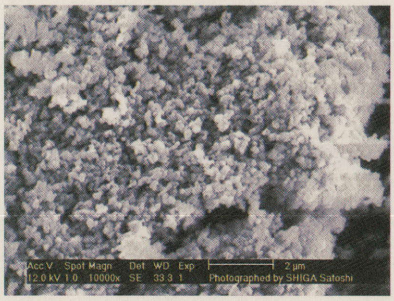


写真13　試料２赤色顔料粒子
（ＳＥＭ）

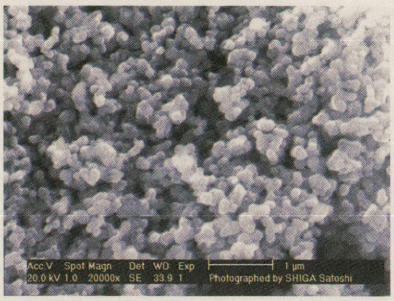


写真14　写真13の拡大

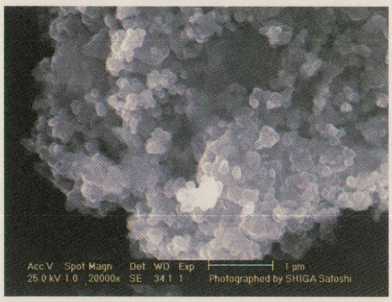


写真15　試料２赤色顔料粒子
（ＳＥＭ）

赤色顔料写真

第4章　ま　と　め

発掘調査の結果、金毘羅山遺跡の丘陵部は墓地から信仰の場所へと変遷を遂げたことがわかった。まず5基の土器棺墓（ＳＴ01～05）は棺材に使用された弥生土器の形態からいずれも後期後半頃に所属し、このうちＳＴ01～04が頂上部の南斜面側に集中するという位置関係から構築時期は接近することが推測される。

次に方形台状墓（ＳＴ06）と箱式石棺墓（ＳＴ07）について見ると、所在地は東斜面に偏っており、上記の4基の土器棺墓の位置とは明確な隔たりがある。この2遺構については所属時期を決定付ける資料が伴っていないが、意図的に土器棺墓群との立地場所の混同が避けられていると看取されるため、同遺構群と大差ない時期の構築と考えられる。

なおＳＴ06の主体部についてはいわゆる石槨の構造に似ると思われる。しかしながら、得られた情報からは側石の積み上げによる壁面構造の形成の意図が不明確であり、さらに蓋石の存否についても判然としないことから石槨構造とは断定できない。

ところで、本遺跡が所在する東かがわ市水主の与田川沿岸から同市川東の原間池周辺にかけての低丘陵上では塔の山南遺跡、樋端遺跡、樋端墳丘墓に見るように弥生時代後期～終末期の墳墓が群集して発見されている。その内訳は無蓋土坑墓、石蓋土坑墓、土器棺墓、箱式石棺墓、墳丘墓と多岐にわたり、遺跡ごとに遺構の構成内容に差異がある点が特徴である。この特徴については被葬者が所属していた集団の性格の相違に起因することが考えられるが、本遺跡を含めて平野部の集落との直接的な関連性を示す資料が少ないために母集団の実態はほとんど解明できていない。

参考文献（発行順）

森下英治・他『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第二十八冊　国分寺六ツ目古墳』、1997年

近藤義郎　『前方後円墳と弥生墳丘墓』、1998年

白石太一郎　『古墳とヤマト政権』、1999年

白石太一郎　『古墳と古墳群の研究』、2000年

山下平重・他『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第三十六冊　金毘羅山遺跡Ⅰ・塔の山南遺跡・庵の谷遺跡』、2000年

近藤義郎　『前方後円墳と吉備・大和』、2001年

片桐孝浩・他『四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　第四十三冊　樋端遺跡』、2002年

付　　表

第17表　池の奥遺跡出土位置別遺物内訳一覧表

表の記述方法は以下のとおりである。
- ・番号は遺物番号である
- ・弥生土器の器種は「壺」、「甕」、「高杯」、「鉢」、「甑」とする
- ・土師器は「土」、須恵器は「須」、瓦器は「瓦」とする
- ・口縁部は「口」、頸部は「頸」、体（胴）部は「体」、底部は「底」、高杯等の脚部は「脚」、土師器土釜の脚部は「足」とする
- ・土鍋は「鍋」、土釜は「釜」とする
- ・東播磨系須恵器こね鉢は「東播鉢」とする
- ・剥片及び原石のうちサヌカイトは「サ」、結晶片岩は「結」とする
- ・器種あるいは部位の後の数字は破片数を表し、個体数ではない。特に数量が多いものは「多」とする
- ・完形品は「完」とする

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錐	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核を転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石		
SH01	埋土	類1	1 体多	2				土鍋足3 土釜5 須甕3 東播鉢1																			サ2			
SH01－P01		体3																												
SH01－P02			口2																											
SH01－P11			体2																											
SH02	埋土																													
SH02－K01			体4																											
SH02－P05			体1																											
SH02－P10			体1											2673																
SH02－P11			体多				3																							
SH03－P04			体4																											
SH03－P16		口1	体2																											
SH04	埋土	口1	5 7 口1 体多 底多	8							2055			230						2440							サ11 結1			
SH04－P01			体7	口2							2056																サ2			
SH04－P04			6 体7 底1																											
SH04－P06			体1																											
SH04－P07			4 口3 体10 底2	口1																							サ2			
SH04－P08			体9																											
SH04－P09			体9																											
SH04－P12			体2																											
SH04－P15			体2																											
SH04－P17			体5																											
SH04－P18			体1																											
SH05	埋土		体7																								サ2			

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錐	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃による石核に転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石		
SH05－K10																											サ1			
SH05－P18			体1																								サ1			
SH05－P19			体2 底1																											
SH05－P21			体1																								サ1			
SH07	埋土		体14																											
SH07－P01			体2				9																							
SH07－P06			体2																											
SH07－P23																											サ1			
SH07－P37																	2143										サ1			
SH07－P62																											サ1			
SH07－P63			体1																											
SH07－P64			体1																											
SH07－P65			体1																											
SH07－P66			体1																											
SH07－P67			体1																											
SH07－P68			底1																											
SH07－P69																											サ2			
SH07－P70																											サ1			
SH08	埋土	体1	10 11 体多																											
SH09	埋土	12 口1	16～19 口1 体多													2761											サ2			
SH09－K01		13 15 体2	16 20 口2 体多 底1			脚1								2657～ 2659						231										
SH09－P06			体2																											
SH09－P08			体2																											
SH09－P09			21 口1 体5	口1																										
SH09－P12				体4																										
SH09－P14			底1																											
SH09－P17			体5																											
SH09－P19			体1																											
SH09－P23			体2	22 口1																										
SH09－P24			体3																											
SH09－P32			体1																											
SH09－P34		14	体2 底1																											

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錐	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核を転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石鍐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
SH10	埋土	24～32	33～35 37～45 47 50 口多 体多 底14	51 52 54 56～58		59 61 脚1	62		232～234 237 238 1665～1690 1977				2364	2660		249	2144			246 2374～2378	241～244 2099 2100 2127～2129			2251～2255	2046		サ784		炭化物
SH10－K01		23	36 46 48 49 体多	55					236 239 240 1691 1692					2661 2662		248					2101 2102			2256			サ151		
SH10－D01		頸1	体2 底1																	245							サ1		
SH10－D02			体1																								サ1		
SH10－D03																											サ6		
SH10－P01																											サ2		
SH10－P04			体2																										
SH10－P05			体8	53		口1			235 1693																		サ3		
SH10－P06			体8																										
SH10－P07			体3																								サ3		
SH10－P08			体2																										
SH10－P09			体1																										
SH10－P10			口1 体12						1694																				
SH10－P11			体9						1695																				
SH10－P13																											サ3		
SH10－P14			体5																	247							サ2		
SH10－P15																											サ1		
SH10－P16		口1	口1 体1			60																					サ3		
SH10－P17			体2																								サ3		
SH10－P19																											サ2		
SH10－P20			体2																								サ5		
SH10－P21			体1																										
SH10－P22			体2																										
SH10－P23																											サ4		
SH10－P29		頸1	体32																								サ9		
SH12	埋土	63 65	67 68 口2 体多 底3				66		250 1696 1697							253～256 2722	2145			252	251 2103						サ62		
SH12－P01			体1																										
SH12－P02			体2																										
SH12－P07			体2						1988																				
SH12－P09		64 口1	体3																										
SH12－P10			体1																										
SH12－P17			体3																										

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錐	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核を転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
SH12－P23			口1 体5																											
SH12－P26			体2 底1			脚1																								
SH13－P01			体2																											
SH14	埋土		口1 体19 底1	70																	2132～ 2134									
SH14－K01			体4				甑底1																							
SH14－K02			体5			脚1																								
SH14－P02			体1			71																								
SH14－P03			体3																											
SH14－P05			体1																											
SH14－P13			体7																											
SH14－P19			69																											
SH14－P27		口1																												
SH14－P28			体2																											
SH14－P31			体1																											
SH14－P37			体1 底1						1989												2131									
SH15	埋土		74　口1 体多																											
SH15－K01			口1 体7																											
SH15－P01			74　口2 体9																											
SH15－P03			体2																											
SH15－P04			74　体1																											
SH15－P09		体1	75																											
SH15	土器溜り		72　73 体10																											
SH16	埋土		体16																											
SH16－P06			体8																											
SH16－P07			体2																											
SH17	埋土	76	77　口11 体多 底10						257																					
SH17－K03				体1																										
SH17－P19																											サ1			
SH17	南部土器集中		78　体多																											
SH18	埋土		口5 体28 底1																											
SH18－D01			体22																											
SH18－P01			体1																											
SH18－P08			体4																											

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																				自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錘	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核に転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
SH18－P13			体1																										
SH19	埋土	79	82 口117 体多 底8	85 86					259 1698 1973							2723	2146～ 2152					2771		2257～ 2259			サ42		
SH19－D01		81 口1	体2																										
SH19－D02			体10																										
SH19－D05			体12																										
SH19－P01																											サ6		
SH19－P06			体1																								サ2		
SH19－P08			体1																								サ2		
SH19－P09			口3 体12	84					1699																		サ6		
SH19－P10		80	体6						258																				
SH19－P12			体1																										
SH19－P14			体1																								サ7		
SH19－P21			83 体16 底1																								サ1		
SH19－P24			体2																										
SH19－P28			体2																								サ1		
SH19－P33			体2																										
SH20	埋土	87～89 完2	90 91 口28 体多 底17			92～95	96 97		1868～ 1872					2686			2208										サ45		
SH20－D01			口3 体78 底1						1873																		サ4		
SH20－P01			体4																										
SH20－P02			口1 体9														2209										サ3		
SH20－P05			口2 体3																										
SH20－P07			体1																										
SH20－P08			体3																										
SH20－P09			体5																										
SH20－P10			体3																										
SH20－P13			体5																										
SH20－P15			口1 体6																										
SH20－P16			体1																										
SH20－P17			体1																										
SH21	埋土	98～101	103～105 口57 体多 底26	106			109		260～262 1700～ 1704 1990		2057			2481～ 2485	2708	2724 2725				263～267 2379 2380	2104	2772	269		2047		サ181 結1		
SH21－K01			102 体22						1705					268			2153										サ28		
SH21－D02			体2																										
SH21－D03			体1	口1		107 108 脚1																							

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錐	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核を転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
SH21－P05			体1																											
SH21－P08		口1	体2																											
SH21－P10			体1																											
SH21－P12			体6																											
SH21－P13			体2																											
SH21－P17			体2																											
SH22	埋土		110 口4 体44 底2			111 112														2441										
SH22－P01			体5																											
SH23	埋土		口2 体20	口1					270 1706 1707								2154										サ44			
SH23－P01			底1																											
SH23－P07			底1 体6						1708 1709																	2808	サ17			
SH24	埋土	114～116 口1	117 118 口50 体多 底6	120		121																					サ31			
SH24－K01		113	口1 体19			122	123		1991																					
SH24－P01			体1																											
SH24－P02			体1																											
SH24－P03			体3																											
SH24－P10			口1 体4																											
SH24－P13			体2																											
SH24－P16														2486																
SH25	埋土																													
SH25－P03							126																							
SH25－P06			124 口1 体3																											
SH25－P08			体4																											
SH25－P10			体2																											
SH25－P14			体3																											
SH25－P15			125 口2 体7 底1																											
SH25－P16			体1																											
SH25－P18			体2																											
SH25－P19															2709															
SH25－P20			体12																											
SH25－P24		体1	体1																											
SH25－P33			体2																											

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																				自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錐	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核に転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
SH25－P35			体1																										
SH25－P40																											サ1		
SH25－P44			底1																										
SH25－P49			体1																										
SH25－P53			体3																										
SH25－P54			体1																										
SH25－P56			体1 底1																										
SH26	埋土								271 1710～1712													272					サ93		
SH26	床面	127～130	131～137 口25 体多 底12	138		140 141											2155												
SH26－K01		類1	体15 底1	139 口1																									
SH26－D01																2726											サ1		
SH26－P03																											サ2		
SH27	埋土	142	143～148 口23 体多 底14	149		150 151																							
SH27－P01			体4																										
SH27－P03									1713																		サ10		
SH27－P13			口1 体8																										
SH28	埋土																												
SH28－K01			152 口3 体63 底1		154 155																								
SH28－P01			体2																										
SH28－P05			体2																										
SH28－P06		類1	口1 体2 底1																										
SH28－P11			体2																										
SH28－P12			153 口2 体15																										
SH28－P13			底1																										
SH28－P14			体3																										
SH28－P15		体1	体1																										
SH28－P16			体1																										
SH28－P17			体1																										
SH28－P18																											サ1		
SH29	埋土	156 157 口1 類1	159～162 165 167 口39 体多 底36	168		169 172 173	175～177		273 2006～2010	276				2669 2670						2442 2445	274	2805							

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																				自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錐	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃による石核の転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
SH29－K01			口4 体42			171			1992 1993					2664			2241			2443									
SH29－K02			166 口1 体4																										
SH29－D01			158 口1 体16 底1				174																						
SH29－D03			163 体2																										
SH29－D05		体2																											
SH29－P01			体2																										
SH29－P02		頸1	体1																										
SH29－P04		頸3	体8																										
SH29－P06			体5																										
SH29－P07																											サ1		
SH29－P08			底1																										
SH29－P09			口1																										
SH29－P10																											サ1		
SH29－P14			体1																										
SH29－P15																											サ1		
SH29－P18			164 口2 体8 底2	口2		170																							
SH29－P25			体4																										
SH29－P32			体1																										
SH29－P33																											サ1		
SH29－P34			底1																										
SH29－P35		頸1	体1																										
SH29－P36			体4																										
SH29－P37			体3																										
SH29－P38			体2			脚1																							
SH29－P39			体5	口1																									
SH29－P40						脚1								275 2498 2663		2753													
SH29－P62																											サ1		炭化物
SH30	埋土	頸1	178 口3 底3 体33			179								2665															
SH30－K01			体2											277															
SH30－D01																											サ1		
SH30－P01																													
SH30－P02			体1																										

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錘	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核を利用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
SH30－P05			体1																											
SH30－P07		頸1																												
SH30－P13			体3																											
SH30－P14			体5																											
SH30－P19																											サ72 結1			
SH31	埋土	180 頸1	181 口28 体多 底8	184		186 脚1		東播鉢1	278 1714 1715 1994												279								
SH31－D01		口1	182 183 底2 体14						1716 1717					2487										2260					
SH31－D02		頸1	口1 体5																											
SH31－P05			体3																											
SH31－P08			体1																											
SH31－P09			体1																											
SH31－P10			体1																											
SH31－P12			体2																											
SH31－P20			体1																											
SH31－P22			底1																											
SH31－P24			体8																											
SH31－P25			体1																											
SH31－P26			体1																											
SH31－P27			体1																											
SH31－P28			体1			185																								
SH31－P29		口1	口1 体1																											
SH31－P30			体1																											
SH31－P37			体2 底1																											
SH31－P38			体1																											
SH31－P39			口1 体4																											
SH31－P40			体1 底1														2242													
SH31－P42			体3																											
SH31－P42			体1																											
SH31－P43			体3																											
SH32	埋土	189 192	193 口10 体106 底8			195～197					2088			2666						2444										
SH32－K01		188	底2 体5																											
SH32－K02		187	口3 体30 底2	194																										
SH32－D01			体1																											

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錐	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核に転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
SH32－P01			体1																											
SH32－P06		190	体3																											
SH32－P07		191																												
SH32－P09																											サ1			
SH33－P05			体1																											
SH34	埋土	198～200	201 202 口4 体33						1995																					
SH34－P10			体1																											
SH35	埋土	203 類1	204 205 口7 体多 底5	口1		脚3			280 1996～ 1998																		サ336 結1			
SH35－D01			口1 体1																											
SH36	埋土	207～210 類6	211～223 口76 体多 底33	224		225 227 228 脚7	229		281～284 1718～ 1726 1999 2004 2005	289 290				287 2488～ 2493 2668		288 2762	286 2156～ 2163			2381	2105	2773～ 2775		2261～ 2263	2048				
SH36－K01		210 類3	口75 体多 底49			228 脚3			1727～ 1729																		結1			
SH36－K02			口2 体多 底1																											
SH36－K03									2001 2002													2804				2820				
SH36－D01		体1																									サ246 結1			
SH36－D02			体2																											
SH36－P12		類1	体4 底1																											
SH36－P13			口2 体6 底1																						285					
SH36－P14		206	口2 体8																											
SH36－P15				体1																										
SH36－P17		口1	口1			226																								
SH36－P18																											サ1			
SH36－P20			口1 体2																											
SH36－P21			体2																											
SH36－P23			体3 底1						2003																					
SH36－P25			体3																											
SH36－P28			体3																											
SH36－P30			体1																											
SK01		291～294 口4 類5	295～300 口3 体多 底1	301 口1		脚1	302 303																				サ1			
SK02		304 305	306～310 体多 底1			311 312 脚4																					サ6			
SK05			体2																											

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錐	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核に転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
SK06			313 体多	314 315																							サ1		
SK07			口1 体4																										
SK07－P01			体4																										
SK08			体5						415																		サ2		
SK09			体27																								サ2		
SK12		316～331 完2	332～350 口23 体多 底13	351～356 359～362	357 358	363～365 脚1	366 367									2747 2748	2165			417			416				サ3		
SK14		368 369 完1																	418								サ5		
SK17			口3 体26 底1																										
SK19		370～373 完1	374～379 口2 体47			脚2																							
SK20			体3 底1						2014																				
SK21		380 381	382 口8 体多	383 384			385		419																		サ17		
SK24			体7																										
SK25			体2																										
SK26			体4																										
SK28		386	口1 体1																										
SK29			体2											2671															
SK30		387～389 類1	口4 体70 底2	390		391			2011 2012					2672															
SK31		392 口1	口5 体46 底1																										
SK35		口1	体6						2013					420															
SK37		393 394	395～404 口18 体多 底5			405 406			422 2000		421 2058			423 2494～2497 2667	424		2164			2382 2383	2106								
SK38			407～411 口2 体20 底1	412～414																									
SK39								1648 土甕7 土釜1 土皿2																					
SD01			体1																										
SD08		425	体28																										
SD09		426 427	428 429 口6 体多 底5			430								2639															
SD11		431～433 口1	434～437 口26 体多 底20	438		439～442	443		1655 1656		2053			649 2460 2461 2656															
SD12		444～455 口2	456～467 口86 体多 底32	468～472		473～481 体1 脚1	482		650～654 1657		2052			2462～2465	2705	2721 2749	2141			658 659	655			656 657 2247～2250		2807	サ107		

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																				自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錘	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核に転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
SD13									660										2354								サ6		
SD15		483～487	488 口2 底1 体多			脚1					2083																		
SD16		489～518 頸16	519～565 口多 体多 底多	566～571		572～588 体2 脚4	589～591		661 662 1658 1659 1978～1982		666 2084			663～665 2640～2649		2760	2142 2232～2235 2237～2239			667 668 2370～2372 2438		2803				2819			
SD17		592～596	597～605 口40 体多 底18			606 脚1		須杯2 須壺1	670 1984		669 2085			2650			2240												
SD18			体10			607			1985																				
SD19			体4																								サ19		
SD20		608	609～611 口2 体26 底1			612			1983 1986								2236											サ1	
SD21		613 614	615～617 口8 体多 底12	618 619 口1		620 621 脚1			1660								673			671 672									
SD22		622～626 口4	627～637 口103 体多 底59	638～641		645～648	642～644	土甕1 須甕1	674 1661～1664 1987		2054 2086 2087			678～681 2466～2477 2651～2655	2706 2707	677 2750～2752				675 676 2373 2439									
SP001			体2																										
SP002			体1																										
SP003								土甕1 土皿1																					
SP004			体1																										
SP005			口1																										
SP006			体1																										
SP007			口1 体1																								サ1		
SP008								土皿1																					
SP009								1649 土皿1																					
SP010								土甕2																					
SP011			体10	口1																							サ1		
SP012			体1																										
SP013		頸1	口1																										
SP014			体6																										
SP015			体1																										
SP016			体2																										
SP017			体4																										
SP018			体11																										
SP019			体3																										
SP020			体4																										

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石鏃	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核に転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
S P021			体4																											
S P022																														焼土 炭化物
S P023			体1																											
S P024			682 口1 体10																								サ2			
S P025			体2																											
S P026			体2																											
S P027			口1 体2																								サ1			
S P028			体6																								サ1			炭化物
S P029			体3																											
S P030		683	口1 体3																											
S P031		類1	684																											
S P032			体9																								サ1			
S P033			体2																								サ1			
S P034			体1																											
S P035			体5																								サ2			
S P036			体3	686		口1																								
S P037			体1																											
S P038			体1																											
S P039																											サ1			
S P040			体10																											
S P041			体15 底2																											
S P042			底1 体11																											
S P043			体14	690																										
S P044			体5																											
S P045			体3																								サ2			
S P046		類1	体5																								サ1			
S P047														2674													サ1			
S P048			体1 底1																											
S P049			底1																											
S P050																											サ1			
S P051			体3																	2446										
S P052			体2																								サ1			
S P053			体6																											
S P054			口1 体1	695																										
S P055			体1																											

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錐	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核を利用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石		
SP056			体20 底1																											
SP057			体17																											
SP058			口1 体6																											
SP059			体12																											
SP060			体6	687		脚1																								
SP061		口1	体11																											
SP062			体11 底1																											
SP063			体16 底1																											
SP064			体11																											
SP065			体3																											
SP066			体1																											
SP067			体1																								サ1			
SP068			体1						1730																		サ1			
SP069			体8																											
SP070			体4																											
SP071			体4																											
SP072			体1																								サ1			
SP073																											サ1			
SP074			体5																											
SP075			体4																											
SP076			体4																											
SP077			688 体6																								サ1			
SP078			体4																								サ1			
SP079			体4																											
SP080			体1																											
SP081			体5																											
SP082		底1	体1 底1						2015																					
SP083			体1																											
SP084			685 口1 体3 底1																											
SP085			体2																											
SP086			体1																											
SP087		口1	体8			689																								
SP088			体1			691 脚1																								
SP089			体1																											

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錘	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核にした転用石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
SP090			体5																											
SP091			口1 体12 底1																											
SP092			体1																											
SP093			体2 底1																											
SP094									1731																		サ1			
SP095			体3																											
SP096			体4																											
SP097		体1																												
SP098																											サ1			
SP099			体2																											
SP100		693 696 口1	体3																											
SP101		口1	694 697 口1 体6						2016																					
SP102																											サ1			
SP103			692 口1 体4																											
SP104			体2																							2821				
SP105			口1 体1																											
SP106		701 口1																												
SP107			体3																											
SP108			体1																											
SP109			体1																											
SP110			体1 底1																											
SP111			体2																											
SP112			体17 底2																											
SP113			体1																											
SP114			体2																											
SP115			体1																											
SP116			700 口1 体1																											
SP117		体1																												
SP118			体2																											
SP119			体1																											
SP120			口1 体5																											
SP121			体21																											
SP122																											サ1			

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錘	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核を転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
S P123		口1 体1	体12																											
S P125			体2																											
S P126														709																
S P127																														
S P128																											サ1			
S P129																											サ1			
S P130		体1	体1						2017							2763														
S P131			体2																											
S P132																2769											サ1			
S P133			体1																											
S P134																											サ1			
S P135			体4																											
S P136			体2																											
S P137			体2																											
S P138			体14 底1																											
S P139		体1	体26			698 脚1																								
S P140			口1 体9																											
S P141																											サ1			
S P142			体2																											
S P143			体2						710																					
S P144			体2																											
S P145			体1																											
S P146			体7																											
S P147			体3																											
S P148			体1																											
S P149			体7 底1																											
S P150			体1																											
S P151			体1																											
S P152		699 頸1	体11																											
S P153			体3																											
S P154																											サ1			
S P155		頸1	体3																							2822				
S P156			体3 底1																											
S P157			体1																											

出土位置		弥生土器							石器・石製品																					自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他	土師器、須恵器、等	石鏃	石錘	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核に転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
SP158			体2																											
SP159			体1																											
SP160			702 口1 体21 底1																											
SP161			体3																											
SX01			703 口6 体81 底7																	711		2793					サ13 結1		
SX01－P01			体3																											
SX01－P02			体2																											
SX01－P03			底1																											
SX01－P05									2033																		サ1		
SX01－P07			体1																											
SX01－P08		704 口1																												
SX02		口1 類1	706～708 口1 体多 底1	口1					1874 1875																	712	サ8		
SX02－P01		705																												
SR01		713～728 730～738 口39 類71	739 741～774 784 口205 体多 底215	775～782 785～788 口1		789～798 口5 体2 脚29	783 799 800 801	1650 1651 土鍋足1 土釜1 土杯1 須杯1 須甕1	802～808 1732～1757 2018～2022		809 810 2089		813 2365	812 815 2499～2505 2675～2678		816 2764	2166～2170 2243		811 2355 2356	814 2384～2386 2447		2776		2264～2270		2809～2811 2823 2824	サ310 結1		
SR01	第2層	729	740																											
SR02		817～828 830～939 口334 類269	940～979 981～1091 口1612 体多 底1382	1092～1124 口15		1125～1182 1184～1198 口124 脚169 体多	1199～1225 把手5	須甕1 須壺2 平瓦1 土壺1	1227～1231 1233～1247 1249～1256 1258～1266 1654 1758～1805 1817～1867 1972 1974 2023～2032	1378～1384	1271～1277 2059～2077 2082 2090～2093	1293～1295	1298 1299 2366 2367	1338～1358 1362 1363 2506～2603 2637 2679～2685 2704	1359 1360 1364 2710～2716 2718	1361 2727～2741 2754～2758 2770	1284～1287 2171～2186 2189～2207	2349	1296 1297 2357 2358	1300～1337 2387～2420 2436 2448～2453 2459	1278～1283 2107～2115 2135～2137	1366～1369 2777～2792	1370～1377	1288～1292 2271～2295 2297～2305	1267～1270 2043～2045	1365 2812～2814	サ2073 サ大211 サ小170 結18		
SR02	土器溜り	829 口3 類6	980 口24 底27 体多	口1		1183 口5 脚8			1232 1248 1257 1806～1816								2187 2188				2130			2296			サ73		
IA区	第1層	口13 類3	口5 体多 底27			口1 体1 脚7		須甕1	1930～1932 1934～1938						2719												サ15		

出土位置		弥生土器						土師器、須恵器、等	石器・石製品																				自然遺物等
遺構名	層位	壺	甕か鉢	鉢	鉢か高杯	高杯	その他		石鏃	石錘	石庖丁	横長剥片を利用した石庖丁	両極打撃の石核に転用した石庖丁	磨石か叩石	石皿か凹石	叩石	刃器	横長剥片を利用した刃器	刃器か石庖丁	石斧	石錐	ハンマーか石器材料	砥石か台石	楔形石器	石槍	不明	剥片	原石	
ⅠA区	第2層（土器溜り）	1387 1388 1393 1395 1397 1403～1405 1407 1408 1410 1411 1413 1415 1416 1419 1420 口88 頸90	1424 1426 1427 1429 1431 1433 1434 1436 1437 1439～1441 1443 1446 1447 1450～1455 1457～1459 1461 口521 体多 底458	1462～1464 1467～1475		1478 1480 1485 1486 1488 1490 1491	1492 1493 1495～1497	瓦椀1 土鍋足4 須甕2 土釜1	1513～1515 1517 1524 1525 1876～1909 1975 1976 2034 2035	1559	1530 1531 1535 2094 2095			1554 1556 2478 2479 2604～2611 2687 2701 2702		2742～2744	2210～2218		1545 2359～2361	1546 1547 1549 1550 1553 1558 2421～2423 2437 2454 2455	1536 2116～2118	1561 2794～2797		2306～2317	1527 1528	2815	サ498 結2		
ⅠA区	第3層		体13			口1体1 脚2		土釜1																					
ⅠB区	第1層	口2	1386 口4 体多 底8				把手1	土鍋足2 土釜1	1910					2688～2690													サ5		
ⅠB区	第2層	1401 1417 1421 1422 口8 頸3	1423 1435 口34 体多 底38	1476		1477 口5 脚9	1494		1516 1911～1915		1532～1534	1539～1543		2691				2350	1544	1548 1552 2424 2425 2456 2457		2798		2318～2321	1529	2825	サ107		
ⅠC区	第1層	1385 口2 頸2	口12 体129 底8						1916 1926 1927							2745								2324 2325			サ5		
ⅠC区	第2層	1389～1392 1394 1396 1398～1400 1402 1406 1409 1412 1414 1418 口196 頸47	1425 1428 1430 1432 1438 1442 1444 1445 1448 1449 1456 1460 口258 体多 底227	1465 1466		1479 1481～1484 1487 1489 口34 脚42	1498 把手1	1652 須甕1	1518～1523 1526 1917～1925 1928 1929 1933 1939 2036～2038	1560	2096			1555 2480 2612～2625 2638 2692～2698	1557	2759 2765	2219 2220 2244	2351 2352	2362	1551 2426	2119 2120	2799 2800		1538 2322 2323 2326～2332		2826			
ⅠC区	第3層	口3 頸1	口14 体多 底12			1499 口2 脚4	蓋つまみ1							2699						2458									
ⅠC区	第4層	1500～1502 口36 頸20	1503～1508 口110 体多 底95			1509 1510 口4 脚28	1511 1512	須杯蓋2 須杯身8 須甕1	1562～1564 1940～1949		1569		2368	1565～1567 2626 2627			2221 2222	2353	2363	2427 2428 2434 2435	1537 2121 2122	2801		2333 2334	1568 2050 2051	2816	サ211		
ⅡA区	第1層	口1 頸4	1570 口2 体22 底5			1573 1574										1618													
ⅡA区	第2層	1575～1582 1584 1585 口49 頸44	1586～1593 1595～1600 口190 体多 底230	1602～1605 1607～1609 口3		1610～1614 1616 口31 体2 脚62	紡錘車1	丸瓦1 平瓦1	1619 1620 1623 1950～1961	1638 1639	1624 1626 2079～2081 2098			1641 1642 1644 2628～2632 2700 2703	1646 2720	1645 2746 2766	2223～2227 2231 2245		1629	1630～1637 2369 2429～2432	2123～2125 2138～2140		1647 2806	1627 1628 2335～2342		2817 2818	サ215		
ⅡB区	第1層	頸3	1571 1572 口15 体多 底17			脚2			2039 2040							2767 2768	2246			1617 2433				2343					
ⅡB区	第2層	1583 口8 頸2	1594 口126 体多 底23	1601 1606		1615 口3 脚13		1653	1621 1622 1962～1971 2041 2042		1625 2078 2097			1640 1643 2633～2636	2717		2228～2230				2126	2802		2344～2348	2049		サ200 結2		

第18表　池の奥遺跡弥生土器・土師器・須恵器等一覧表

表の記述方法は以下のとおりである。
・遺物種類のうち、弥生土器の器種は「壺」、「甕」、「高杯」、「鉢」、「甑」とする
・口径、器高、底径の（　）は復元値である
・胎土の特徴は砂の粒子が目立たないものを「精緻」とし、粒子が観察できるものについてはその大きさ、量の多寡、特に目立つ鉱物の順で記述する
・焼成の程度のうち焼成が不十分なものや壊れやすいために取り扱いが難しいものを「軟質」、焼き締まっているために石や金属的な触感があるものを「硬質」とし、それ以外を「普通」に区分した
・色調は農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖』を使用して決定した
・残存量は完全に残存する部位か、原形の復元の手がかりとした部位がその部位全体に占める割合である

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1	31	－	弥生土器　甕	(14.2)	－	－	0.5～2mm多 石英、雲母	軟質	内面:灰黄褐10ＹＲ6/2 外面:にぶい黄橙10ＹＲ7/2	口縁部1/8	内面:マメツ、板ナデ 外面:マメツ	ＳＨ01	埋土
2	31	31	弥生土器　鉢	(38.2)	－	－	0.2～1mm少 長石、石英	普通	内外面:橙5Ｙ7/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	ＳＨ01	埋土
3	31	－	弥生土器　甑	－	6.1	5.7	0.2～0.5mm 長石	硬質	内面:黒褐5ＹＲ2/1 外面:橙2.5ＹＲ6/8	底部8/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ、板ナデ、ヨコナデ	ＳＨ02－Ｐ11	－
4	31	－	弥生土器　甕	(14.3)	－	－	0.2～0.5mm少 長石	硬質	内面:にぶい黄橙10ＹＲ6/3 外面:にぶい橙7.5ＹＲ6/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ナデ	ＳＨ04－Ｐ07	－
5	31	－	弥生土器　甕	(16.4)	－	－	1～2mm多 石英	軟質	内面:浅黄橙10ＹＲ8/4 外面:にぶい黄橙10ＹＲ7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＳＨ04	埋土
6	31	－	弥生土器　甕	(14.0)	－	－	精緻	硬質	内面:灰黄褐10ＹＲ6/2 外面:にぶい黄橙10ＹＲ7/4	口縁部1/8	内面:ユビオサエ、ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	ＳＨ04－Ｐ04	－
7	31	－	弥生土器　甕	－	6.8	5.9	0.2～2mm多 長石、石英	硬質	内面:灰黄褐10ＹＲ5/2 外面:橙5ＹＲ7/6	底部8/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ、マメツ	ＳＨ04	埋土
8	31	－	弥生土器　鉢	(26.6)	－	－	0.5～1mm 長石、石英	硬質	内面:橙2.5ＹＲ7/6 外面:褐灰10ＹＲ4/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ	ＳＨ04	埋土
10	31	－	弥生土器　甕	－	－	(8.0)	0.5～1mm少 長石、石英	普通	内外面:明黄褐10ＹＲ7/6	底部3/8	内面:マメツ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:マメツ	ＳＨ08	埋土
11	31	－	弥生土器　甕	－	31.5	7.6	1～1.5mm多 長石、石英	硬質	内外面:にぶい赤橙5ＹＲ5/4	底部8/8	内面:ハケメ、ヘラケズリ、板ナデ、ユビオサエ 外面:ヘラミガキ	ＳＨ08	埋土
12	31	－	弥生土器　壺	(10.8)	－	－	1～2mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10ＹＲ7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ハケメ、ナデ	ＳＨ09	埋土
13	31	－	弥生土器　壺	(16.0)	－	－	1～2mm多 長石、石英	軟質	内面:にぶい黄褐10ＹＲ5/4 外面:橙5ＹＲ6/6	口縁部2/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ	ＳＨ09－Ｋ01	－
14	31	－	弥生土器　壺	－	－	－	1～2mm 長石	普通	内面:にぶい黄橙10ＹＲ7/3 外面:にぶい黄橙10ＹＲ6/3	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	ＳＨ09－Ｐ34	－
15	31	－	弥生土器　壺	－	－	－	0.5～1mm少 石英	普通	内外面:にぶい黄橙10ＹＲ7/3	頸部2/8	内面:ユビオサエ 外面:ハケメ	ＳＨ09－Ｋ01	－
16	31	－	弥生土器　甕	－	4.4	5.6	0.1～2mm少 石英	普通	内面:灰黄褐10ＹＲ4/2 外面:にぶい黄橙10ＹＲ6/4	底部5/8	内面:ナデ、ユビオサエ 外面:ヘラミガキ、マメツ	ＳＨ09、 ＳＨ09－Ｋ01	埋土

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
17	31	−	弥生土器　甕	(17.8)	−	−	精緻	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SH09	埋土
18	31	−	弥生土器　甕	(19.0)	−	−	0.5~1.5mm多 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ	SH09	埋土
19	31	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.3~1mm多 長石	軟質	内面:にぶい黄2.5Y6/3 外面:暗灰黄2.5Y5/2	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SH09	埋土
20	31	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.5~1mm 石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH09-K01	−
21	31	−	弥生土器　甕	(28.4)	−	−	1~1.5mm多 石英	軟質	内外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH09-P09	−
22	31	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.3~1mm多 石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8 未満	内面:板ナデ、ヨコナデ 外面:マメツ	SH09-P23	−
23	32	−	弥生土器　壺	(10.0)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ハケメ	SH10-K01	−
24	32	−	弥生土器　壺	(10.5)	−	−	1~3mm少 長石	硬質	内外面:黄灰2.5Y4/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH10	埋土
25	32	−	弥生土器　壺	(13.6)	−	−	0.3~1mm 石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR5/4 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH10	埋土
26	32	−	弥生土器　壺	(12.7)	−	−	1~2mm多 長石、雲母	軟質	内面:灰黄褐10YR5/2 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH10	埋土
27	32	−	弥生土器　壺	(7.6)	−	−	0.3~1.5mm多 石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:暗灰黄2.5Y5/2	口縁部2/8	内外面:マメツ	SH10	埋土
28	32	−	弥生土器　壺	(13.8)	−	−	1~2mm少 石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH10	埋土
29	32	−	弥生土器　壺	(18.0)	−	−	1~1.5mm 石英	普通	内外面:にぶい橙10YR6/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH10	埋土
30	32	−	弥生土器　壺	(14.8)	−	−	1~1.5mm少 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ	SH10	埋土
31	32	−	弥生土器　壺	(15.6)	−	−	1~3mm 石英	普通	内外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH10	埋土
32	32	−	弥生土器　壺	(24.0)	−	−	0.8~1mm多 長石、石英	軟質	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH10	埋土
33	32	−	弥生土器　甕	(17.7)	−	−	1~3mm少 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SH10	埋土
34	32	−	弥生土器　甕	(12.6)	−	−	1~1.5mm 石英	軟質	内外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:ナデ、マメツ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH10	埋土
35	32	−	弥生土器　甕	(16.1)	−	−	0.5~2mm多 長石、石英	軟質	内外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ナデ	SH10	埋土
36	32	−	弥生土器　甕	(16.1)	−	−	1~2mm少 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH10-K01	−
37	32	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	精緻	普通	内面:浅黄橙7.5YR8/6 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH10	埋土

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
38	32	−	弥生土器　甕	(15.4)	−	−	0.3〜2mm 石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:オリーブ黒5YR3/1	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ナデ	SH10	埋土
39	32	−	弥生土器　甕	(16.7)	−	−	0.3〜1mm多 長石	硬質	内外面:にぶい黄2.5Y6/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ナデ	SH10	埋土
40	32	−	弥生土器　甕	(18.8)	−	−	0.7〜1mm多 石英、雲母	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SH10	埋土
41	32	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.5〜1mm少 長石、雲母	硬質	内外面:灰褐7.5YR5/3	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SH10	埋土
42	32	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.5〜0.7mm 長石、石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SH10	埋土
43	32	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH10	埋土
44	32	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.1〜1mm多 長石、石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SH10	埋土
45	32	−	弥生土器　甕	(23.2)	−	−	精緻	普通	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、板ナデ 外面:ヨコナデ	SH10	埋土
46	32	−	弥生土器　甕	(24.1)	−	−	0.1〜2mm少 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH10−K01	−
47	32	−	弥生土器　甕	(28.0)	−	−	0.5〜1mm 石英	硬質	内面:浅黄橙7.5YR8/4 外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SH10	埋土
48	32	−	弥生土器　甕	(26.6)	−	−	0.2〜2mm多 長石、石英	軟質	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH10−K01	−
49	32	−	弥生土器　甕	(26.3)	−	−	1〜2mm少 長石	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SH10−K01	−
50	32	−	弥生土器　甕	(23.0)	−	−	1〜3mm多 長石、石英	軟質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部2/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH10	埋土
51	32	−	弥生土器　鉢	(28.0)	−	−	0.5〜1mm多 長石、雲母	硬質	内面:にぶい赤褐5YR5/4 外面:明赤褐2.5YR5/6	口縁部1/8 未満	内面:ヘラミガキ、ハケメ、ヨコナデ 外面:ヘラミガキ、ヨコナデ	SH10	埋土
52	32	−	弥生土器　鉢	(29.0)	−	−	精緻	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH10	埋土
53	32	−	弥生土器　鉢	(30.0)	−	−	精緻	軟質	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:にぶい橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ユビオサエ、ヘラミガキ 外面:マメツ	SH10−P05	−
54	32	−	弥生土器　鉢	−	−	−	精緻	硬質	内面:橙5YR7/6 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8 未満	内面:ヘラミガキ、マメツ 外面:マメツ	SH10	埋土
55	32	−	弥生土器　鉢	−	−	−	精緻	硬質	内面:褐7.5YR4/3 外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH10−K01	−
56	32	−	弥生土器　鉢	−	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8 未満	内面:ナデ 外面:ヨコナデ	SH10	埋土
57	32	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.5〜3mm多 長石、石英	硬質	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ	SH10	埋土
58	32	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.1〜1mm 長石、石英	軟質	内外面:明黄橙10YR7/6	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SH10	埋土

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
59	32	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.2〜2mm多 長石	軟質	内面:明赤褐5YR5/6 外面:明赤褐2.5YR5/6	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SH10	埋土
60	32	−	弥生土器 高杯	−	−	(9.2)	1〜2mm 石英	硬質	内外面:にぶい黄2.5Y6/3	脚部1/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH10−P16	−
61	32	34	弥生土器 高杯	−	11.7	10.5	2〜3mm多 長石、石英	軟質	内外面:淡赤橙2.5YR7/4	脚部8/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ、ナデ	SH10	埋土
62	32	−	弥生土器 器台	−	3.1	(23.0)	0.5〜1mm少 長石	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	脚部1/8	内面:ヘラケズリ、剥離 外面:ヘラミガキ、ヨコナデ	SH10	埋土
63	33	−	弥生土器　壺	(15.0)	−	−	0.1〜2mm 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH12	埋土
64	33	−	弥生土器　壺	−	−	−	精緻	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SH12−P09	−
65	33	−	弥生土器　壺	−	−	−	1〜1.5mm 石英	普通	内外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SH12	埋土
67	33	−	弥生土器　甕	(17.9)	−	−	精緻	硬質	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	SH12	埋土
68	33	−	弥生土器　甕	(18.6)	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH12	埋土
69	33	−	弥生土器　甕	−	6.6	(6.5)	0.2〜0.7mm 石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:橙5YR7/6	底部8/8	内面:ユビオサエ、ナデ 外面:ヘラミガキ、ナデ	SH14−P19	−
70	33	−	弥生土器　鉢	13.0	−	−	0.1〜1mm少 長石	軟質	内面:褐灰10YR4/1 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ、板ナデ	SH14	埋土
71	33	−	弥生土器 高杯	−	3.8	(15.8)	1〜3mm多 長石、石英	軟質	内外面:灰白10YR8/2	脚部1/8	内外面:マメツ	SH14−P02	−
72	33	−	弥生土器　甕	(12.5)	−	−	0.2〜3mm 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH15	土器溜り
73	33	30	弥生土器　甕	14.8	−	−	0.5〜1mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい橙10YR7/3	口縁部7/8	内面:マメツ 外面:マメツ、ヘラミガキ	SH15	土器溜り
74	33	31	弥生土器　甕	(16.2)	−	−	1〜3mm多 長石、石英	硬質	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部4/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ、	SH15、 SH15−P01、 SH15−P04	埋土
75	33	30	弥生土器　甕	(13.4)	−	−	0.5〜3mm多 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:橙5YR6/6	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SH15−P09	−
76	33	26	弥生土器　壺	(10.6)	−	−	1〜3mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい橙10YR7/3	口縁部2/8	内外面:ハケメ、ヨコナデ	SH17	埋土
77	33	−	弥生土器　甕	(14.0)	−	−	1〜2mm 長石	硬質	内外面:にぶい褐7.5YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH17	埋土
78	33	−	弥生土器　甕	−	10.3	12.2	0.2〜2mm 長石、石英	硬質	内面:にぶい赤褐5YR5/4 外面:明赤褐2.5Y5/6	底部8/8	内面:ハケメ、板ナデ 外面:ヘラミガキ、板ナデ	SH17	南部土器集中
79	33	−	弥生土器　壺	9.8	−	−	0.7〜1.5mm多 長石、石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:にぶい橙10YR7/4	口縁部8/8	内面:マメツ、ユビオサエ 外面:マメツ	SH19	埋土

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
80	33	−	弥生土器　壺	−	−	−	精緻　石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	体部1/8未満	内面:ユビオサエ、ヘラミガキ 外面:マメツ	SH19−P10	−
81	33	−	弥生土器　壺	−	−	−	1〜2mm 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8未満	内外面:マメツ	SH19−D01	−
82	33	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.1〜1mm 石英	普通	内外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1/8未満	内外面:ヨコナデ	SH19	埋土
83	33	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.5〜1mm多 石英	軟質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ	SH19−P21	−
84	33	−	弥生土器　鉢	−	−	−	精緻　石英	軟質	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SH19−P09	−
85	33	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.5〜3mm 長石、石英	軟質	内外面:明黄褐10YR7/6	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラケズリ	SH19	埋土
86	33	−	弥生土器　鉢	(26.8)	−	−	0.3〜2mm多 石英	軟質	内外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部1/8	内面:ユビオサエ 外面:マメツ	SH19	埋土
87	33	27	弥生土器　壺	(13.5)	−	−	0.2〜0.5mm少 石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:にぶい黄橙7.5YR7/4	口縁部6/8	内面:ヨコナデ 外面:ヘラミガキ、ヨコナデ	SH20	埋土
88	33	−	弥生土器　壺	(16.2)	−	−	1〜2mm 長石、石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH20	埋土
89	33	−	弥生土器　甕	(19.7)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/3	口縁部1/8未満	内外面:ヨコナデ	SH20	埋土
90	33	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.2〜0.5mm 石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SH20	埋土
91	33	−	弥生土器　甕	(16.6)	−	−	0.5〜1mm 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SH20	埋土
92	33	−	弥生土器 高杯	(14.6)	−	−	0.1〜1mm 長石、雲母	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:マメツ	SH20	埋土
93	33	−	弥生土器 高杯	(26.6)	−	−	0.3〜1mm多 石英	軟質	内外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH20	埋土
94	33	−	弥生土器 高杯	(26.4)	−	−	精緻　石英	硬質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SH20	埋土
95	33	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.1〜1mm 石英	軟質	内面:黒褐2.5Y3/1 外面:にぶい黄橙10YR7/3	脚部2/8	内面:ヘラミガキ、マメツ 外面:ヘラミガキ	SH20	埋土
96	33	−	弥生土器　ミニチュア土器	2.1	5.5	2.4	1〜2mm 石英	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	完形品	内外面:ユビオサエ、ナデ	SH20	埋土
97	33	37	弥生土器　ミニチュア土器	3.5	5.0	3.2	0.2〜1mm 長石	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	完形品	内面:ユビオサエ 外面:ヘラケズリ	SH20	埋土
98	34	−	弥生土器　壺	(28.2)	−	−	0.5〜1mm多 長石、石英	軟質	内外面:黄橙10YR8/6	口縁部1/8	内外面:ハケメ、マメツ	SH21	埋土
99	34	−	弥生土器　壺	(13.6)	−	−	1〜2mm 石英	軟質	内外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SH21	埋土
100	34	−	弥生土器　壺	(18.4)	−	−	0.1〜0.7mm 石英	軟質	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH21	埋土
101	34	−	弥生土器　壺	(16.6)	−	−	1〜2mm 石英	軟質	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH21	埋土

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
102	34	－	弥生土器　甕	(13.6)	－	－	0.5～1mm 長石	軟質	内外面:灰白10YR8/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、板ナデ、ハケメ	SH21-K01	－
103	34	－	弥生土器　甕	(18.2)	－	－	精緻	硬質	内外面:明赤褐10YR6/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ナデ	SH21	埋土
104	34	－	弥生土器　甕	(27.0)	－	－	0.2～1mm多 長石、石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH21	埋土
105	34	－	弥生土器　甕	(28.7)	－	－	0.2～2mm多 石英	普通	内面:橙5YR6/6 外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、マメツ、ハケメ	SH21	埋土
106	34	－	弥生土器　鉢	－	－	－	0.2～4mm 長石、石英、雲母	軟質	内外面:褐灰10YR6/1	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ、ヘラミガキ	SH21	埋土
107	34	－	弥生土器 高杯	－	－	－	1～2mm多 長石、石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8未満	内面:ヘラミガキ、マメツ 外面:マメツ	SH21-D03	－
108	34	－	弥生土器 高杯	－	－	(13.2)	0.1～3mm多 長石、石英	軟質	内面:橙5YR7/6 外面:浅黄橙10YR8/4	脚部2/8	内面:ヘラケズリ、マメツ 外面:マメツ	SH21-D03	－
110	34	－	弥生土器　甕	(16.3)	－	－	1～2mm多 石英	軟質	内外面:明黄褐10YR7/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SH22	埋土
111	34	－	弥生土器 高杯	－	－	－	1～2mm多 長石、石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8未満	内外面:ヨコナデ、マメツ	SH22	埋土
112	34	35	弥生土器 高杯	－	15.3	(12.0)	1～2mm 長石、石英	軟質	内外面:灰白10YR8/2	脚部5/8	内面:板ナデ、ヘラケズリ、ユビオサエ、マメツ 外面:ヘラミガキ	SH22	埋土
113	34	－	弥生土器　壺	(18.0)	－	－	精緻	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SH24-K01	－
114	34	－	弥生土器　壺	(13.3)	－	－	0.2～1mm 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH24	埋土
115	34	－	弥生土器　壺	－	－	－	1～1.2mm多 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:マメツ	SH24	埋土
116	34	－	弥生土器　壺	(23.1)	－	－	0.7～1.5mm多 長石、石英	軟質	内外面:淡赤橙2.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH24	埋土
117	34	－	弥生土器　甕	(13.0)	－	－	0.3～1mm 石英	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:黒褐2.5Y3/1	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH24	埋土
118	34	－	弥生土器　甕	(18.4)	－	－	精緻　雲母	軟質	内外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、剥離	SH24	埋土
119	34	－	弥生土器　甕	－	－	－	1～2mm 石英	軟質	内外面:黄橙10YR8/6	口縁部1/8未満	内外面:マメツ	SH24-P10	－
120	34	－	弥生土器　鉢	－	－	－	0.2～3mm多 長石、石英	軟質	内面:明黄褐10YR7/6 外面:黄灰2.5Y4/1	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ナデ	SH24	埋土
121	34	－	弥生土器 高杯	(18.8)	－	－	0.7～1mm多 長石、石英	軟質	内面:浅黄2.5Y7/4 外面:にぶい橙7.5YR7/3	口縁部4/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SH24	埋土
122	34	－	弥生土器 高杯	－	－	－	1～2mm 石英、雲母	普通	内面:浅黄橙7.5YR8/4 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SH24-K01	－
123	34	－	弥生土器　ミニチュア土器	(5.6)	－	－	精緻　長石、石英、雲母	硬質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH24-K01	－
124	34	－	弥生土器　甕	(13.4)	－	－	0.5～1mm 長石	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:板ナデ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SH25-P06	－

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
125	34	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.7〜1mm 石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SH25−P15	−
127	35	−	弥生土器　壺	(7.5)	−	−	1〜2mm多 長石、石英	軟質	内面:灰黄2.5Y7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH26	床面
128	35	−	弥生土器　壺	(12.6)	−	−	精緻	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部2/8	内外面:マメツ	SH26	床面
129	35	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.5〜1mm少 石英	軟質	内外面:橙5YR6/6	頸部3/8	内外面:マメツ	SH26	床面
130	35	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.1〜0.5mm 長石	硬質	内外面:にぶい褐7.5YR5/4	頸部2/8	内面:ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH26	床面
131	35	−	弥生土器　甕	(14.0)	−	−	0.2〜2mm多 石英	普通	内外面:明赤褐2.5YR5/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:マメツ	SH26	床面
132	35	−	弥生土器　甕	(15.4)	−	−	精緻	軟質	内外面:浅黄橙7.5YR8/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH26	床面
133	35	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.1〜3mm 長石、石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ	SH26	床面
134	35	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.2〜1mm少 長石	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ	SH26	床面
135	35	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.3〜1mm多 長石	硬質	内外面:明赤褐2.5YR5/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、ハケメ	SH26	床面
136	35	−	弥生土器　甕	(20.4)	−	−	1〜1.2mm多 石英	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH26	床面
137	35	−	弥生土器　甕	−	6.3	7.2	0.5〜1mm多 長石、石英	硬質	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:明黄褐10YR7/6	底部8/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ、ナデ、マメツ	SH26	床面
138	35	−	弥生土器　鉢	(14.0)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SH26	床面
139	35	−	弥生土器　鉢	(15.7)	−	−	0.5〜1mm多 長石、石英	普通	内外面:褐灰10YR4/1	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:ハケメ	SH26−K01	−
140	35	−	弥生土器 高杯	(24.2)	−	−	0.2〜2mm多 長石	普通	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:明赤褐5YR5/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SH26	床面
141	35	−	弥生土器 高杯	−	4.5	(14.4)	0.5〜1mm多 長石、石英	軟質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR6/4	脚部1/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ヘラミガキ、ヨコナデ	SH26	床面
142	35	−	弥生土器　甕	(22.7)	−	−	0.3〜1.5mm多 長石、石英	硬質	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ	SH27	埋土
143	35	−	弥生土器　甕	(16.6)	−	−	精緻 石英、雲母	硬質	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH27	埋土
144	35	−	弥生土器　甕	(19.0)	−	−	0.3〜0.7mm 長石	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH27	埋土
145	35	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.2〜0.5mm少 長石	軟質	内面:浅黄2.5Y7/3 外面:橙2.5YR7/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SH27	埋土
146	35	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.2〜0.5mm 長石	軟質	内外面:橙5YR7/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ナデ	SH27	埋土

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
147	35	−	弥生土器　甕	−	−	−	精緻	硬質	内外面:褐灰7.5YR5/1	口縁部1/8未満	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SH27	埋土
148	35	−	弥生土器　甕	−	−	−	精緻	軟質	内外面:浅黄橙7.5YR8/3	口縁部1/8未満	内外面:ヨコナデ	SH27	埋土
149	35	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.3〜1.2mm長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ナデ、ヘラミガキ	SH27	埋土
150	35	−	弥生土器 高杯	−	−	−	1〜3mm多石英	普通	内面:にぶい黄2.5Y6/4 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8未満	内外面:マメツ	SH27	埋土
151	35	−	弥生土器 高杯	−	5.8	13.1	0.5〜2mm長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:浅黄橙10YR8/3	脚部1/8	内面:ヘラケズリ 外面:マメツ	SH27	埋土
152	35	−	弥生土器　甕	(16.2)	−	−	1〜1.2mm長石、石英	軟質	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:マメツ	SH28-K01	−
153	35	−	弥生土器　甕	(28.0)	−	−	0.3〜1mm長石	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SH28-P12	−
154	35	−	弥生土器　鉢	−	−	−	精緻　長石	軟質	内外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8未満	内外面:マメツ	SH28-K01	−
155	35	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.5〜1mm石英	硬質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8未満	内面:ハケメ 外面:ヘラミガキ	SH28-K01	−
156	35	−	弥生土器　壺	(12.0)	−	−	0.5〜2mm長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SH29	埋土
157	35	−	弥生土器　壺	−	−	−	1〜1.2mm石英	硬質	内外面:黒褐2.5Y3/1	体部3/8	内面:マメツ、ユビオサエ、ハケメ 外面:マメツ、ヘラミガキ	SH29	埋土
158	35	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.2〜2mm多石英、雲母	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ	SH29-D01	−
159	35	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.2〜1mm多長石	普通	内面:灰白10YR8/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ、ヘラミガキ	SH29	埋土
160	35	−	弥生土器　甕	(15.2)	−	−	1〜7mm少長石、石英	軟質	内外面:暗灰黄2.5Y5/2	口縁部1/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SH29	埋土
161	35	−	弥生土器　甕	(14.0)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH29	埋土
162	35	−	弥生土器　甕	(16.3)	−	−	0.5〜2mm多石英	普通	内外面:黒褐10YR3/2	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH29	埋土
163	35	−	弥生土器　甕	(18.8)	−	−	0.1〜1mm長石	普通	内面:黒褐2.5Y3/1 外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH29-D03	−
164	35	−	弥生土器　甕	(18.4)	−	−	0.2〜1mm石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:灰白10YR7/1	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH29-P18	−
165	35	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	精緻　長石	硬質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、ユビオサエ	SH29	埋土
166	36	−	弥生土器　甕	(16.9)	−	−	0.5〜2mm長石、石英	軟質	内面:暗灰N3/1 外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH29-K02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
167	36	－	弥生土器　甕	(23.0)	－	－	1～1.5mm 石英	普通	内面:灰白2.5Y8/1 外面:灰白10YR8/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SH29	埋土
168	36	－	弥生土器　鉢	(20.0)	－	－	0.2～2mm多 石英	普通	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:灰褐7.5YR6/2	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SH29	埋土
169	36	－	弥生土器 高杯	－	－	－	1～1.5mm多 石英	普通	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SH29	埋土
170	36	－	弥生土器 高杯	－	－	－	0.3～0.7mm 石英	普通	内面:灰褐7.5YR6/2 外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SH29-P18	－
171	36	34	弥生土器 高杯	－	9.6	10.4	0.2～1mm 長石、雲母	軟質	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	脚部8/8	内面:シボリメ、ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:板ナデ、ヨコナデ	SH29-K01	－
172	36	35	弥生土器 高杯	－	10.7	9.1	1～2mm少 石英	軟質	内面:浅黄橙7.5YR8/3 外面:灰白2.5Y8/2	脚部8/8	内面:シボリメ 外面:ユビオサエ	SH29	埋土
173	36	－	弥生土器 高杯	－	14.3	(11.0)	1～1.5mm 石英	軟質	内外面:淡黄2.5Y8/3	脚部5/8	内面:シボリメ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SH29	埋土
178	36	－	弥生土器　甕	(16.0)	－	－	0.2～0.7mm 長石、石英	硬質	内面:黒褐10YR3/1 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH30	埋土
179	36	－	弥生土器 高杯	(21.8)	－	－	0.2～1mm 長石	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH30	埋土
180	36	－	弥生土器　壺	(24.6)	－	－	1～2mm多 石英	普通	内外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH31	埋土
181	36	－	弥生土器　甕	－	－	－	0.1～1mm 長石	普通	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SH31	埋土
182	36	－	弥生土器　甕	－	－	－	1～1.2mm 長石、石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SH31-D01	－
183	36	－	弥生土器　甕	－	－	－	1～1.2mm多 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8 未満	内面:マメツ 外面:マメツ、ヨコナデ	SH31-D01	－
184	36	－	弥生土器　鉢	－	－	－	0.1～0.5mm 石英	普通	内面:明赤褐5YR5/6 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ 外面:マメツ	SH31	埋土
185	36	－	弥生土器 高杯	－	4.6	(9.4)	0.5～1mm 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	脚部2/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヨコナデ	SH31-P28	－
186	36	－	弥生土器 高杯	－	4.7	(10.0)	0.5～1mm 石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR6/4	脚部1/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ヨコナデ	SH31	埋土
187	36	－	弥生土器　壺	(13.6)	－	－	1～2mm 石英	普通	内面:黄灰2.5Y5/1 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部2/8	内面:マメツ 外面:ヘラミガキ	SH32-K02	－
188	36	－	弥生土器　壺	(18.9)	－	－	0.5～2mm 長石、石英	硬質	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH32-K01	－
189	36	24	弥生土器　壺	(12.9)	－	－	精緻　雲母	軟質	内外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH32	埋土
190	36	－	弥生土器　壺	－	－	－	0.5～3mm多 石英	普通	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8 未満	内面:マメツ 外面:ヨコナデ	SH32-P06	－
191	36	－	弥生土器　壺	(20.0)	－	－	0.3～0.7mm少 長石	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:にぶい橙7.5YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SH32-P07	－

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
192	36	−	弥生土器　壺	(23.6)	−	−	0.5〜2mm多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:浅黄2.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH32	埋土
193	36	−	弥生土器　甕	(17.4)	−	−	0.1〜0.5mm 長石、石英	硬質	内面:明褐7.5YR5/6 外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH32	埋土
194	36	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.8〜1mm 石英	普通	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ　板ナデ ヘラミガキ 外面:剥離、ハケメ、ヘラミガキ	SH32-K02	−
195	36	−	弥生土器 高杯	(25.6)	−	−	精緻　石英	硬質	内面:にぶい橙5YR7/4 外面:にぶい橙5YR6/3	口縁部1/8	内面:板ナデ、ヘラミガキ 外面:ヘラミガキ	SH32	埋土
196	36	−	弥生土器 高杯	−	4.3	(12.9)	0.5〜1.5mm 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/3	脚部1/8	内面:ヘラケズリ 外面:マメツ	SH32	埋土
197	36	−	弥生土器 高杯	−	4.1	(14.0)	精緻	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	脚部1/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ヘラミガキ、ヨコナデ	SH32	埋土
198	37	−	弥生土器　壺	(14.4)	−	−	0.5〜3mm少 石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH34	埋土
199	37	−	弥生土器　壺	−	−	−	1〜1.5mm 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8 未満	内面:マメツ 外面:ヨコナデ	SH34	埋土
200	37	−	弥生土器　壺	(18.2)	−	−	0.5〜1mm 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH34	埋土
201	37	−	弥生土器　甕	(15.7)	−	−	精緻	硬質	内面:浅黄2.5YR7/4 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SH34	埋土
202	37	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.1〜1mm 長石、雲母	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ	SH34	埋土
203	37	−	弥生土器　壺	(11.8)	−	−	0.5〜1mm 石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ	SH35	埋土
204	37	−	弥生土器　甕	(14.0)	−	−	1〜1.2mm多 石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8 未満	内面:マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH35	埋土
205	37	−	弥生土器　甕	(19.3)	−	−	精緻	普通	内面:にぶい黄2.5Y6/3 外面:淡黄2.5Y8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH35	埋土
206	37	−	弥生土器　壺	(16.0)	−	−	精緻	軟質	内面:褐灰7.5YR6/2 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ	SH36-P14	−
207	37	−	弥生土器　壺	(13.0)	−	−	0.2〜7mm多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部2/8	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SH36	埋土
208	37	−	弥生土器　壺	(18.6)	−	−	0.5〜2mm 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部2/8	内外面:マメツ	SH36	埋土
209	37	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.1〜2mm少 石英	軟質	内面:にぶい黄2.5Y6/3 外面:浅黄2.5Y7/4	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SH36	埋土
210	37	−	弥生土器　壺	(28.0)	−	−	精緻 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH36、 SH36-K01	埋土
211	37	−	弥生土器　甕	(15.0)	−	−	精緻	軟質	内面:褐灰10YR6/1 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH36	埋土
212	37	−	弥生土器　甕	(15.9)	−	−	精緻	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH36	埋土
213	37	−	弥生土器　甕	(16.9)	−	−	0.2〜1mm多 長石	硬質	内面:にぶい赤褐5YR5/3 外面:にぶい赤褐5YR4/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SH36	埋土

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
214	37	−	弥生土器　甕	(18.0)	−	−	0.3〜2mm 石英	普通	内外面:黄灰2.5Y4/1	口縁部1/8	内面:マメツ、ユビオサエ 外面:マメツ	SH36	埋土
215	37	−	弥生土器　甕	(19.0)	−	−	0.3〜1mm多 石英	軟質	内外面:橙2.5YR7/6	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:マメツ、ヨコナデ	SH36	埋土
216	37	−	弥生土器　甕	(18.0)	−	−	精緻　石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:灰黄褐10YR5/2	口縁部4/8	内面:ヨコナデ　ヘラケズリ 外面:ヨコナデ　ヘラミガキ	SH36	埋土
217	37	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.3〜2mm 石英	軟質	内外面:灰黄2.5Y6/2	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SH36	埋土
218	37	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.5〜2mm多 石英	軟質	内外面:黄灰2.5Y4/1	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SH36	埋土
219	37	−	弥生土器　甕	(28.3)	−	−	0.1〜3mm多 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヘラケズリ、マメツ 外面:マメツ	SH36	埋土
220	37	−	弥生土器　甕	(22.4)	−	−	0.7〜1.7mm多 長石、石英	普通	内面:明黄褐10YR6/6 外面:橙7.5YR6/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	SH36	埋土
221	37	−	弥生土器　甕	(24.0)	−	−	0.3〜1.5mm 長石、石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:マメツ、ユビオサエ、 板ナデ 外面:マメツ	SH36	埋土
222	37	−	弥生土器　甕	(24.0)	−	−	0.5〜1mm多 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙7.5YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、マメツ	SH36	埋土
223	37	31	弥生土器　甕	(22.0)	−	−	0.5〜1.5mm多 長石、石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、 ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SH36	埋土
224	37	−	弥生土器　鉢	(20.0)	−	−	1〜10mm多 長石、石英	普通	内面:橙7.5YR6/6 外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:板ナデ 外面:マメツ	SH36	埋土
225	37	−	弥生土器 高杯	(20.0)	−	−	0.8〜5mm 長石、石英	硬質	内面:明褐7.5YR5/6 外面:オリーブ黒5Y3/1	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SH36	埋土
226	37	−	弥生土器 高杯	−	4.3	(12.8)	0.7〜2mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	脚部1/8	内面:マメツ 外面:ユビオサエ	SH36−P17	−
227	37	−	弥生土器 高杯	−	5.1	(10.2)	0.3〜1mm多 長石	普通	内外面:にぶい橙5YR6/4	脚部2/8	内外面:マメツ	SH36	埋土
228	37	−	弥生土器 高杯	−	6.5	(16.0)	1〜3mm多 石英	硬質	内外面:橙2.5Y6/6	脚部3/8	内面:マメツ 外面:マメツ、ヨコナデ	SH36、 SH36−K01	埋土
291	48	−	弥生土器　壺	(13.2)	−	−	精緻	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、 ナデ	SK01	−
292	48	−	弥生土器　壺	(24.0)	−	−	0.2〜1mm 石英	普通	内面:褐灰10YR4/1 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内外面:ナデ	SK01	−
293	48	28	弥生土器　壺	(22.1)	−	−	0.1〜0.2mm少	硬質	内面:にぶい黄2.5Y6/4 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ 外面:ハケメ	SK01	−
294	48	−	弥生土器　壺	−	−	−	1〜2mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ 外面:ハケメ、ヨコナデ	SK01	−
295	48	−	弥生土器　甕	(17.1)	−	−	精緻	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:浅黄2.5Y7/3	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ 外面:ハケメ、ヨコナデ	SK01	−
296	48	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.2〜1mm少 長石	普通	内外面:浅黄2.5Y7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SK01	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
297	48	−	弥生土器　甕	(18.8)	−	−	1〜2mm少 石英	普通	内外面:明黄褐10YR7/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SK01	−
298	48	−	弥生土器　甕	(23.0)	−	−	精微　石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SK01	−
299	48	−	弥生土器　甕	(23.7)	−	−	0.5〜1.5mm 石英	硬質	内外面:浅黄2.5Y7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SK01	−
300	48	−	弥生土器　甕	−	5.6	(8.2)	0.5〜0.8mm多 長石	硬質	内面:橙7.5YR6/6 外面:赤褐5YR4/8	底部4/8	内面:ナデ、ユビオサエ 外面:ヘラミガキ	SK01	−
301	48	−	弥生土器　鉢	−	−	(8.4)	0.2〜1.5mm少 長石	普通	内外面:にぶい橙10YR7/4	脚部2/8	内面:シボリメ、マメツ 外面:マメツ	SK01	−
302	48	−	弥生土器　甑	−	3.3	6.5	0.5〜2mm多 長石、石英	硬質	内面:橙7.5YR7/6 外面:橙7.5YR6/6	底部8/8	内外面:ヘラケズリ	SK01	−
303	48	−	弥生土器　ミニチュア土器	(6.7)	−	−	0.1〜1mm少 石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部2/8	内面:板ナデ、ユビナデ、ハケメ、ヨコナデ 外面:ハケメ、ヨコナデ	SK01	−
304	48	−	弥生土器　壺	(21.0)	−	−	精緻	普通	内面:灰黄2.5Y7/2 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部2/8	内外面:ハケメ、ヨコナデ	SK02	−
305	48	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.5〜0.8mm少 石英	普通	内面:にぶい褐7.5YR5/3 外面:にぶい褐7.5YR6/3	頸部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SK02	−
306	48	−	弥生土器　甕	(14.6)	−	−	1〜5mm 長石、石英	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SK02	−
307	48	−	弥生土器　甕	(15.2)	−	−	精緻	軟質	内外面:橙2.5Y6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SK02	−
308	48	−	弥生土器　甕	(19.8)	−	−	0.1〜0.5mm少 長石、雲母	普通	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SK02	−
309	48	−	弥生土器　甕	(16.7)	−	−	0.5〜0.8mm少 石英	普通	内外面:にぶい橙5YR6/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SK02	−
310	48	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.3〜1.5mm少 長石、石英	軟質	内外面:浅黄2.5Y7/3	口縁部1/8 未満	内面:マメツ、ユビオサエ、ナデ 外面:マメツ	SK02	−
311	48	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.2〜0.3mm 長石	普通	内外面:橙5YR6/6	脚部3/8	内面:ヘラミガキ 外面:ヘラケズリ	SK02	−
312	48	−	弥生土器 高杯	−	7.0	(14.5)	0.3〜2mm少 石英	軟質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:にぶい橙5YR6/4	脚部1/8	内面:ヘラケズリ 外面:板ナデ、ヨコナデ	SK02	−
313	48	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	精緻　石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SK06	−
314	48	−	弥生土器　鉢	(16.8)	−	−	0.5〜1mm多 長石	軟質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SK06	−
315	48	−	弥生土器　鉢	(17.6)	−	−	1〜2mm 石英	軟質	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:マメツ、ユビオサエ 外面:マメツ	SK06	−
316	48	−	弥生土器　壺	(12.9)	−	−	0.2〜3mm少 長石	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ	SK12	−
317	48	−	弥生土器　壺	(16.6)	−	−	0.5〜2mm少 長石	普通	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部2/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ	SK12	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
318	48	−	弥生土器　壺	(17.0)	−	−	0.3〜2mm多 長石、石英	軟質	内面:にぶい赤褐5YR5/3 外面:黄灰2.5Y4/1	口縁部1/8	内外面:マメツ	SK12	−
319	48	24	弥生土器　壺	(18.4)	−	−	1〜5mm多 石英	軟質	内外面:明黄褐10YR7/6	口縁部3/8	内外面:ヨコナデ、ナデ、マメツ	SK12	−
320	48	−	弥生土器　壺	(8.8)	−	−	0.1〜1.5mm多 石英	軟質	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部2/8	内外面:マメツ	SK12	−
321	48	−	弥生土器　壺	(7.2)	−	−	精緻　石英	軟質	内面:にぶい橙5YR7/4 外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部5/8	内面:板ナデ、ナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SK12	−
322	48	−	弥生土器　壺	(14.0)	−	−	1〜3mm多 長石、石英	軟質	内面:赤橙10YR6/6 外面:橙7.5YR7/6	口縁部4/8	内外面:マメツ	SK12	−
323	48	27	弥生土器　壺	(12.0)	−	−	精緻　石英	軟質	内外面:橙5YR7/6	口縁部8/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、ハケメ	SK12	−
324	49	−	弥生土器　壺	9.6	(27.3)	6.6	0.5〜2mm 長石	軟質	内外面:橙2.5YR7/6	口縁部8/8、 体部6/8	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:マメツ、ハケメ	SK12	−
325	49	−	弥生土器　壺	(10.0)	−	−	0.4〜1mm 長石、石英	軟質	内外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ	SK12	−
326	49	−	弥生土器　壺	(15.4)	−	−	0.5〜2mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	頸部2/8	内面:ユビオサエ、板ナデ 外面:マメツ	SK12	−
327	49	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.5〜2mm多 長石、石英	普通	内外面:橙7.5YR6/6	頸部6/8	内外面:マメツ	SK12	−
328	49	26	弥生土器　壺	(9.6)	−	−	1〜5mm 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:橙5YR7/6	頸部6/8	内面:板ナデ、ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ	SK12	−
329	49	−	弥生土器　壺	−	13.8	6.5	0.3〜1mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい赤橙10R6/4	底部8/8	内面:ユビオサエ、ヘラミガキ、ナデ 外面:マメツ、ヘラミガキ	SK12	−
330	49	−	弥生土器　壺	−	−	(6.0)	1〜1.2mm 長石、石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:にぶい黄橙10YR7/4	底部4/8	内面:板ナデ 外面:マメツ、ヘラケズリ、ヨコナデ	SK12	−
331	49	29	弥生土器　壺	(7.6)	10.0	4.4	0.1〜0.5mm少 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	ほぼ完形品	内面:ハケメ、ユビオサエ、ナデ 外面:ハケメ、ナデ	SK12	−
332	49	−	弥生土器　甕	(11.5)	13.0	(5.0)	0.3〜2mm多 石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SK12	−
333	49	30	弥生土器　甕	(16.9)	−	−	1〜2mm多 石英	普通	内面:橙5YR7/6 外面:明黄褐10YR7/6	口縁部2/8	内面:ヘラケズリ、マメツ 外面:ヘラミガキ、マメツ	SK12	−
334	49	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	0.2〜0.5mm 石英	軟質	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SK12	−
335	49	−	弥生土器　甕	(15.7)	−	−	0.5〜1.5mm多 長石、石英	普通	内面:浅黄2.5Y7/3 外面:にぶい橙10YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:マメツ	SK12	−
336	49	30	弥生土器　甕	(12.4)	−	−	0.5〜1mm少 石英	普通	内面:にぶい赤褐5YR5/3 外面:にぶい褐7.5YR5/3	口縁部1/8	内面:ハケメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SK12	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
337	49	−	弥生土器　甕	(15.4)	−	−	0.5〜0.8㎜ 長石、雲母	普通	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、マメツ、ハケメ	SK12	−
338	49	−	弥生土器　甕	(18.0)	−	−	1〜2㎜多 長石、石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:橙5YR6/6	口縁部4/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SK12	−
339	49	−	弥生土器　甕	(21.6)	−	−	1〜2㎜多 石英	軟質	内外面:黄橙10YR8/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SK12	−
340	49	−	弥生土器　甕	(20.0)	−	−	1〜2㎜多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄褐10YR5/4 外面:橙2.5YR6/6	口縁部2/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ	SK12	−
341	49	−	弥生土器　甕	(25.2)	−	−	0.3〜2㎜ 石英	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SK12	−
342	49	−	弥生土器　甕	−	−	−	1〜2㎜多 石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ	SK12	−
343	50	−	弥生土器　甕	(21.3)	−	−	1〜2㎜多 石英	軟質	内面:にぶい橙5YR7/4 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SK12	−
344	50	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.5〜2㎜多 石英、雲母	軟質	内面:橙7.5YR7/6 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SK12	−
345	50	−	弥生土器　甕	(16.4)	−	−	1〜2㎜多 長石、石英	軟質	内外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部2/8	内面:ヘラケズリ、マメツ、ヨコナデ 外面:マメツ	SK12	−
346	50	−	弥生土器　甕	(15.0)	−	−	0.5〜3㎜多 長石、石英	普通	内面:にぶい橙10YR6/3 外面:にぶい橙10YR7/4	口縁部3/8	内面:ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SK12	−
347	50	−	弥生土器　甕	(7.4)	−	−	1〜4㎜ 石英	普通	内外面:黄灰4/1	口縁部3/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ナデ、ヘラミガキ	SK12	−
348	50	−	弥生土器　甕	−	7.1	9.0	0.1〜1㎜ 長石、石英	硬質	内面:灰褐7.5YR4/2 外面:橙5YR6/6	底部8/8	内面:ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:ヘラミガキ、ユビオサエ、ナデ	SK12	−
349	50	−	弥生土器　甕	−	4.4	(7.9)	0.1〜2㎜ 長石、石英	普通	内面:灰褐7.5YR5/2 外面:橙5YR7/6	底部8/8	内面:ユビオサエ、ナデ 外面:ヘラミガキ、ナデ	SK12	−
350	50	−	弥生土器　甕	−	−	5.9	0.5〜1.5㎜ 石英	軟質	内外面:橙2.5YR7/6	底部6/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ	SK12	−
351	50	33	弥生土器　鉢	(20.4)	−	−	0.2〜1㎜ 石英	軟質	内面:褐灰10YR4/1 外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SK12	−
352	50	−	弥生土器　鉢	(29.6)	−	−	0.1〜1㎜ 長石、石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ 外面:ヘラミガキ、ヨコナデ	SK12	−
353	50	−	弥生土器　鉢	(14.6)	−	−	0.5〜0.8㎜多 石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部2/8	内面:板ナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、マメツ	SK12	−
354	50	−	弥生土器　鉢	(14.4)	−	−	1〜1.5㎜少 長石	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SK12	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
355	50	−	弥生土器　鉢	(23.4)	−	−	0.5〜1㎜ 石英	軟質	内外面:橙5YR7/6	口縁部4/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SK12	−
356	50	31	弥生土器　鉢	(32.0)	−	−	0.5〜4㎜ 石英	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SK12	−
357	50	32	弥生土器 鉢か高杯	(8.4)	15.5	9.2	0.2〜1.5㎜多 長石、石英	軟質	内外面:橙2.5YR6/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ	SK12	−
358	50	35	弥生土器 鉢か高杯	−	7.8	(15.2)	0.1〜2㎜多 長石、石英	普通	内面:橙7.5YR6/6 外面:橙5YR6/6	底部2/8	内外面:マメツ、ナデ	SK12	−
359	50	31	弥生土器　鉢	23.4	−	−	0.2〜1㎜ 石英、雲母	普通	内外面:橙5YR6/6	口縁部7/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SK12	−
360	50	32	弥生土器　鉢	−	−	−	精緻　長石、 石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	体部7/8	内面:ヘラケズリ、ヘラミガキ 外面:ヘラミガキ	SK12	−
361	50	−	弥生土器　鉢	−	−	5.9	0.2〜2㎜ 長石、石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	脚部5/8	内面:ヘラケズリ、マメツ 外面:ハケメ、マメツ	SK12	−
362	50	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.3〜1㎜多 石英	普通	内外面:橙5YR6/6	−	内外面:マメツ	SK12	−
363	51	−	弥生土器 高杯	(31.6)	17.7	12.4	1〜2㎜ 石英	普通	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:橙2.5YR6/6	口縁部4/8、脚部完形品	内面:ヨコナデ、マメツ、ヘラミガキ、シボリメ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラミガキ	SK12	−
364	51	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.7〜1㎜ 長石、石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ヘラケズリ	SK12	−
365	51	−	弥生土器 高杯	(25.8)	−	−	0.1〜1㎜多 長石、石英	軟質	内外面:にぶい赤橙10YR6/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SK12	−
366	51	36	弥生土器　蓋	(6.0)	−	−	0.5〜1㎜ 石英	普通	内面:橙2.5YR6/6 外面:橙5YR6/6	つまみ部8/8	内面:ユビオサエ、ヨコナデ 外面:ヘラミガキ	SK12	−
367	51	36	弥生土器 器台	−	−	18.2	0.1〜2㎜ 長石、雲母	普通	内外面:にぶい黄橙10YR6/3	脚部6/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヨコナデ	SK12	−
368	51	29	弥生土器　壺	9.8	12.7	5.0	精緻	軟質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:浅黄橙7.5YR8/4	完形品	内面:ヨコナデ、板ナデ、ハケメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SK14	−
369	51	25	弥生土器　壺	15.2	25.4	6.7	0.2〜2㎜ 長石、石英	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	完形品	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ	SK14	−
370	51	28	弥生土器　壺	6.9	17.3	5.6	0.1〜1㎜ 長石、石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:浅黄橙10YR8/3	完形品	内面:ナデ 外面:ハケメ、ヘラミガキ	SK19	−
371	51	25	弥生土器　壺	14.4	22.1	6.7	0.2〜1㎜多 長石、石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	ほぼ完形品	内面:板ナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ、マメツ 外面:ヘラケズリ、マメツ	SK19	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
372	51	24	弥生土器　壺	15.6	26.5	7.1	0.3～7㎜多 長石、石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	ほぼ完形品	内面:ユビナデ、ユビオサエ、マメツ 外面:ヘラミガキ、マメツ	SK19	−
373	51	26	弥生土器　壺	−	−	6.0	精緻	軟質	内面:にぶい橙10YR7/4 外面:にぶい橙7.5YR7/4	底部8/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SK19	−
374	51	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.5～1㎜ 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SK19	−
375	51	30	弥生土器　甕	(15.6)	−	−	0.5～1㎜ 長石、石英	軟質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:橙7.5YR7/6	口縁部4/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SK19	−
376	51	29	弥生土器　甕	(14.0)	27.6	4.7	0.5～1㎜少 長石、石英、雲母	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:灰褐7.5YR4/2	ほぼ完形品	内外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラケズリ、マメツ	SK19	−
377	51	−	弥生土器　甕	(19.0)	−	−	0.5～2㎜多 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SK19	−
378	52	29	弥生土器　甕	14.3	22.4	5.2	1～2㎜多 長石、石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:橙5YR6/8	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SK19	−
379	52	−	弥生土器　甕	−	−	6.4	0.4～0.3㎜ 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:灰褐7.5YR5/2	体部4/8	内面:ヘラケズリ、ユビオサエ、マメツ 外面:ヘラミガキ、マメツ	SK19	−
380	52	−	弥生土器　壺	(18.9)	−	−	精緻	軟質	内面:にぶい橙5YR7/4 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、板ナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、板ナデ、ハケメ	SK21	−
381	52	−	弥生土器　壺	(16.8)	−	−	0.2～1㎜ 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:板ナデ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SK21	−
382	52	−	弥生土器　甕	−	−	−	1～2㎜多 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8 未満	内面:ハケメ、マメツ 外面:マメツ	SK21	−
383	52	−	弥生土器　鉢	(22.0)	−	−	1～5㎜多 石英	軟質	内外面:淡赤橙2.5YR7/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、板ナデ、マメツ	SK21	−
384	52	−	弥生土器　鉢	−	−	−	1～1.5㎜ 長石、石英	軟質	内面:黄灰2.5Y6/1 外面:黄灰2.5Y5/1	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ 外面:マメツ	SK21	−
385	52	−	弥生土器 器台	−	3.1	−	1～1.5㎜ 長石、石英	普通	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:にぶい黄橙10YR7/2	脚部1/8 未満	内面:ヘラケズリ 外面:ヨコナデ	SK21	−
386	52	−	弥生土器　壺	−	−	−	1～1.2㎜少 長石	軟質	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8 未満	内面:マメツ 外面:ヨコナデ	SK28	−
387	52	36	弥生土器　壺 (ミニチュア土器か)	6.7	9.5	3.1	0.5～1㎜ 長石、雲母	軟質	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:にぶい黄橙10YR7/3	ほぼ完形品	内面:ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SK30	−
388	52	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.3～1㎜ 石英	普通	内外面:橙5YR6/6	頸部1/8	内面:マメツ、剥離 外面:ハケメ	SK30	−
389	52	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.7～1㎜ 長石、石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/2	体部1/8	内面:マメツ 外面:ハケメ	SK30	−
390	52	−	弥生土器　鉢	(24.8)	−	−	精緻	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SK30	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
391	52	−	弥生土器 高杯	(35.8)	−	−	0.2〜2mm多 石英	硬質	内外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SK30	−
392	52	−	弥生土器　壺	(11.8)	−	−	1.2〜2mm多 石英	軟質	内外面:灰白2.5Y8/1	口縁部1/8	内外面:マメツ	SK31	−
393	52	−	弥生土器　壺	(15.9)	−	−	0.5〜1mm 長石、石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SK37	−
394	52	26	弥生土器　壺	(8.8)	−	−	精緻　長石	普通	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部4/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SK37	−
395	52	−	弥生土器　甕	(19.8)	−	−	0.5〜3mm 石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SK37	−
396	52	−	弥生土器　甕	(23.0)	−	−	0.3〜0.5mm 長石	硬質	内外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SK37	−
397	52	−	弥生土器　甕	(24.0)	−	−	0.1〜1mm 長石	軟質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SK37	−
398	52	−	弥生土器　甕	(11.0)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SK37	−
399	52	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.3〜0.7mm少 雲母	硬質	内外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヘラケズリ、マメツ 外面:ヘラミガキ	SK37	−
400	52	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	精緻0.1〜 0.2mm 長石	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SK37	−
401	52	−	弥生土器　甕	(29.6)	−	−	精緻	硬質	内面:橙5YR7/6 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SK37	−
402	53	−	弥生土器　甕	(17.7)	−	−	0.5〜1mm少 長石	普通	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SK37	−
403	53	−	弥生土器　甕	(21.0)	−	−	1〜3mm多 長石、石英	軟質	内面:灰5Y5/1 外面:灰5Y4/1	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:ユビオサエ、マメツ	SK37	−
404	53	−	弥生土器　甕	(20.9)	−	−	0.2〜4mm多 石英	普通	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SK37	−
405	53	−	弥生土器 高杯	−	4.8	(7.9)	精緻　長石	硬質	内外面:にぶい赤褐2.5YR5/4	脚部8/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:板ナデ、ヨコナデ	SK37	−
406	53	−	弥生土器 高杯	−	4.7	(11.6)	精緻	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	脚部1/8	内面:ユビオサエ 外面:マメツ	SK37	−
407	53	−	弥生土器　甕	(16.2)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SK38	−
408	53	−	弥生土器　甕	−	−	−	精緻	硬質	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SK38	−
409	53	−	弥生土器　甕	(15.4)	−	−	0.7〜1.2mm多 石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SK38	−
410	53	−	弥生土器　甕	(20.0)	−	−	0.5〜1mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ　ユビオサエ 外面:ヨコナデ　ハケメ	SK38	−
411	53	−	弥生土器　甕	(29.0)	−	−	精緻	普通	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ	SK38	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
412	53	−	弥生土器　鉢	(29.6)	−	−	0.5〜1mm多 長石、石英	普通	内面:灰褐7.5YR5/2 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ 外面:剥離	SK38	−
413	53	−	弥生土器　鉢	−	−	−	1〜2mm 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8 未満	内面:板ナデ 外面:ヨコナデ	SK38	−
414	53	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.2〜2mm 長石	硬質	内面:にぶい黄2.5Y6/4 外面:にぶい褐7.5YR5/3	口縁部1/8 未満	内面:マメツ 外面:ヨコナデ	SK38	−
425	56	−	弥生土器　壺	(14.4)	−	−	0.2〜0.5mm 長石	硬質	内面:にぶい赤褐5YR5/4 外面:にぶい褐7.5YR5/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD08	−
426	56	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.5〜1mm多 石英	軟質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SD09	−
427	56	−	弥生土器　壺	−	−	−	1〜1.2mm 石英	硬質	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD09	−
428	56	−	弥生土器　甕	(17.8)	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:にぶい褐7.5YR5/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SD09	−
429	56	−	弥生土器　甕	−	−	−	精緻　石英	軟質	内外面:橙5YR7/6	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ、ナデ	SD09	−
430	56	−	弥生土器 高杯	−	3.0	(15.4)	精緻	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	脚部1/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヨコナデ	SD09	−
431	56	−	弥生土器　壺	(12.0)	−	−	0.2〜1mm 石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:にぶい黄橙7.5YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SD11	−
432	56	−	弥生土器　壺	−	−	−	精緻	普通	内面:灰白2.5Y8/2 外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8 未満	内面:マメツ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD11	−
433	56	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内面:灰白10YR8/2 外面:明黄褐10YR7/6	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SD11	−
434	56	−	弥生土器　甕	(11.7)	−	−	0.7〜2mm 石英	軟質	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD11	−
435	56	−	弥生土器　甕	(14.4)	−	−	0.7〜1.5mm多 長石	硬質	内面:灰黄褐10YR4/2 外面:灰黄褐10YR5/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SD11	−
436	56	−	弥生土器　甕	(15.0)	−	−	0.5〜2mm多 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD11	−
437	56	−	弥生土器　甕	(15.0)	−	−	0.1〜1mm 石英	硬質	内面:にぶい褐7.5YR5/3 外面:にぶい橙7.5YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ	SD11	−
438	56	−	弥生土器　鉢	(17.3)	−	−	0.3〜1mm多 長石、石英	普通	内面:暗灰黄2.5Y4/2 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、マメツ	SD11	−
439	56	−	弥生土器 高杯	−	−	−	精緻	軟質	内外面:橙5YR6/6	−	内面:ナデ、ヘラケズリ、板ナデ 外面:ヘラミガキ	SD11	−
440	56	−	弥生土器 高杯	−	9.4	(10.6)	1〜2mm多 石英	普通	内外面:橙5YR7/6	脚部3/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SD11	−
441	56	−	弥生土器 高杯	−	5.7	(14.2)	0.2〜1mm多 長石、雲母	普通	内面:にぶい赤褐5YR5/3 外面:にぶい赤褐2.5YR5/4	脚部1/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ヘラミガキ、ヨコナデ	SD11	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
442	56	−	弥生土器 高杯	−	−	−	1〜1.2㎜ 長石、石英	軟質	内外面:褐灰10YR6/1	脚部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SD11	−
443	56	38	弥生土器 不明	最大長 7.2	最大幅 8.2	−	精緻	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	−	内外面:ユビオサエ	SD11	−
444	56	−	弥生土器　壺	(20.2)	−	−	精緻　石英	軟質	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ	SD12	−
445	56	−	弥生土器　壺	(25.1)	−	−	1〜2㎜ 石英	軟質	内外面:黄2.5Y8/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SD12	−
446	56	−	弥生土器　壺	(20.0)	−	−	精緻	軟質	内外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部2/8	内面:ユビオサエ、ヨコナデ 外面:ハケメ、ヨコナデ	SD12	−
447	56	−	弥生土器　壺	(14.7)	−	−	精緻	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:灰白10YR7/1	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:板ナデ	SD12	−
448	56	−	弥生土器　壺	(17.8)	−	−	0.1〜1.5㎜多 石英	軟質	内外面:浅黄10YR8/6	口縁部2/8	内外面:マメツ	SD12	−
449	56	−	弥生土器　壺	(14.0)	−	−	1〜1.5㎜ 石英	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ	SD12	−
450	56	−	弥生土器　壺	(18.6)	−	−	0.5〜2㎜ 石英	軟質	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD12	−
451	56	−	弥生土器　壺	(12.8)	−	−	0.2〜1㎜ 長石	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ナデ	SD12	−
452	56	−	弥生土器　壺	(19.8)	−	−	精緻　雲母	普通	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD12	−
453	56	−	弥生土器　壺	(10.5)	−	−	1〜2㎜多 石英	軟質	内面:黄褐2.5Y5/3 外面:灰黄褐10YR4/2	口縁部1/8	内面:ユビオサエ、マメツ 外面:マメツ	SD12	−
454	56	−	弥生土器　壺	(7.4)	−	−	精緻　長石、 石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD12	−
455	56	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.2〜1㎜ 長石	普通	内面:褐灰10YR4/1 外面:橙7.5YR7/6	体部2/8	内面:ハケメ、ユビオサエ 外面:ハケメ、ヘラミガキ	SD12	−
456	57	−	弥生土器　甕	(17.8)	−	−	0.3〜0.5㎜ 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD12	−
457	57	−	弥生土器　甕	(26.0)	−	−	0.2〜2㎜少 石英	軟質	内面:浅黄2.5Y7/4 外面:灰白2.5Y7/1	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SD12	−
458	57	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	0.7〜1㎜ 石英	軟質	内外面:明黄褐10YR7/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SD12	−
459	57	−	弥生土器　甕	(23.6)	−	−	1〜3㎜ 石英	軟質	内面:淡黄2.5Y8/4 外面:淡赤橙2.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ユビオサエ、マメツ 外面:ハケメ、マメツ	SD12	−
460	57	−	弥生土器　甕	(18.4)	−	−	精緻	硬質	内面:褐灰10YR6/1 外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、 板ナデ	SD12	−
461	57	−	弥生土器　甕	(29.6)	−	−	0.1〜1.5㎜ 長石	軟質	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:灰褐7.5YR5/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SD12	−
462	57	−	弥生土器　甕	(15.0)	−	−	精緻	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:褐灰10YR5/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SD12	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
463	57	−	弥生土器　甕	(12.0)	−	−	精緻　長石	軟質	内面:浅黄2.5Y7/3 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD12	−
464	57	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.1〜1mm 石英	普通	内面:灰白10YR8/2 外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SD12	−
465	57	−	弥生土器　甕	−	−	−	精緻	普通	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ	SD12	−
466	57	−	弥生土器　甕	−	9.2	(6.9)	0.1〜1mm少 石英	硬質	内外面:黒7.5YR2/1	底部2/8	内面:ヘラケズリ、ナデ 外面:ヘラミガキ	SD12	−
467	57	−	弥生土器　甕	−	8.9	(9.1)	0.5〜1mm 長石、石英	硬質	内面:黒褐10YR3/1 外面:橙5YR7/6	底部3/8	内面:マメツ、ハケメ 外面:ハケメ、ヨコナデ、マメツ	SD12	−
468	57	−	弥生土器　鉢	(31.6)	−	−	1.5〜2mm 石英	軟質	内面:灰白2.5Y8/2 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラミガキ	SD12	−
469	57	−	弥生土器　鉢	(38.6)	−	−	0.1〜1mm 長石	硬質	内外面:灰黄褐10YR5/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SD12	−
470	57	−	弥生土器　鉢	−	−	−	1〜2mm 石英、雲母	軟質	内面:褐灰10YR4/1 外面:褐灰10YR5/1	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、板ナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ	SD12	−
471	57	−	弥生土器　鉢	(21.6)	−	−	0.2〜1mm 長石、石英	軟質	内面:褐灰10YR5/1 外面:灰黄褐10YR5/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、マメツ	SD12	−
472	57	32	弥生土器　鉢	−	9.8	8.2	1〜3mm 石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	脚部8/8	内面:ヘラケズリ、ナデ 外面:ハケメ	SD12	−
473	57	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.1〜2mm 石英	硬質	内外面:明赤褐5YR5/6	杯部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ	SD12	−
474	57	−	弥生土器 高杯	−	−	−	1.2〜2mm多 石英	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:黄2.5Y8/6	−	内外面:マメツ、ヨコナデ	SD12	−
475	57	−	弥生土器 高杯	(31.0)	−	−	0.7〜2mm 石英	軟質	内面:橙5YR6/6 外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SD12	−
476	57	−	弥生土器 高杯	−	−	−	1〜1.2mm少 長石、石英	普通	内面:灰白2.5Y8/2 外面:浅黄橙7.5YR8/6	口縁部1/8 未満	内面:ヘラミガキ、マメツ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SD12	−
477	57	−	弥生土器 高杯	−	11.1	(10.8)	1〜2mm 石英	軟質	内外面:橙2.5YR7/6	脚部2/8	内外面:マメツ	SD12	−
478	57	35	弥生土器 高杯	−	7.0	(7.6)	精緻	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	脚部2/8	内面:ヘラケズリ 外面:マメツ	SD12	−
479	57	−	弥生土器 高杯	−	4.9	(11.0)	0.2〜1mm 長石	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	脚部2/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:マメツ、ヘラミガキ、ヨコナデ	SD12	−
480	57	−	弥生土器 高杯	−	4.4	(10.8)	精緻　石英	普通	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:灰白2.5Y7/1	脚部2/8	内面:ハケメ、板ナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD12	−
481	57	−	弥生土器 高杯	−	4.2	(11.6)	1.2〜1.5mm多 長石	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/2	脚部2/8	内面:ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SD12	−
482	57	−	弥生土器　ミニチュア土器	−	6.7	2.4	精緻　長石	普通	内面:黒褐10YR3/1 外面:褐灰10YR6/1	底部8/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヘラミガキ、ヘラケズリ	SD12	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
483	58	−	弥生土器　壺	(14.0)	−	−	0.2〜0.5mm少 長石	硬質	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ナデ、ヘラミガキ	SD15	−
484	58	−	弥生土器　壺	(16.9)	−	−	1〜3mm少 石英	普通	内外面:浅黄橙7.5YR8/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD15	−
485	58	−	弥生土器　壺	(13.0)	−	−	精緻	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD15	−
486	58	−	弥生土器　壺	(12.0)	−	−	1〜3mm多 長石、石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部2/8	内外面:マメツ	SD15	−
487	58	−	弥生土器　壺	(10.0)	−	−	0.5〜2mm少 長石	普通	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ	SD15	−
488	58	−	弥生土器　甕	(17.6)	−	−	精緻	軟質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:褐灰10YR5/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD15	−
489	58	−	弥生土器　壺	(15.0)	−	−	0.3〜1mm 石英	硬質	内面:明赤褐5YR5/6 外面:明褐7.5YR5/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD16	−
490	58	−	弥生土器　壺	(15.2)	−	−	0.5〜1.5mm 長石	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部4/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
491	58	−	弥生土器　壺	(18.0)	−	−	精緻	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SD16	−
492	58	−	弥生土器　壺	(17.0)	−	−	0.2〜1mm 石英	硬質	内面:灰白10YR8/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ	SD16	−
493	58	−	弥生土器　壺	(19.5)	−	−	精緻　石英	普通	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:橙7.5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
494	58	−	弥生土器　壺	(12.8)	−	−	精緻	硬質	内面:橙5YR7/6 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SD16	−
495	58	−	弥生土器　壺	(14.8)	−	−	0.5〜1.5mm多 長石、石英、雲母	軟質	内外面:浅黄2.5Y7/4	口縁部2/8	内外面:マメツ	SD16	−
496	58	−	弥生土器　壺	(21.8)	−	−	1〜2mm 石英	硬質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:明褐7.5YR5/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD16	−
497	58	−	弥生土器　壺	−	−	−	1〜2mm多 長石、石英	軟質	内外面:暗灰黄2.5Y5/2	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SD16	−
498	58	−	弥生土器　壺	(12.8)	−	−	0.1〜1mm 長石	普通	内面:橙5YR7/6 外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部6/4	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
499	58	−	弥生土器　壺	(19.0)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD16	−
500	58	−	弥生土器　壺	(11.2)	−	−	精緻	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:橙7.5YR6/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SD16	−
501	58	−	弥生土器　壺	(16.0)	−	−	1〜3mm 石英	軟質	内面:黄橙10YR8/6 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部2/8	内面:マメツ 外面:マメツ、ハケメ	SD16	−
502	58	−	弥生土器　壺	(17.8)	−	−	0.5〜2mm多 石英	硬質	内外面:橙7.5YR6/6	頸部4/8	内面:マメツ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ、ハケメ	SD16	−
503	58	−	弥生土器　壺	(18.8)	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内面:灰白10YR8/2 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SD16	−
504	58	−	弥生土器　壺	(16.9)	−	−	1〜1.5mm 石英	軟質	内外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD16	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
505	58	−	弥生土器　壺	(14.8)	−	−	0.2〜1mm少 長石	普通	内外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD16	−
506	58	−	弥生土器　壺	(28.0)	−	−	0.5〜3mm 長石、石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD16	−
507	58	−	弥生土器　壺	(12.6)	−	−	0.2〜5mm少 長石	軟質	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SD16	−
508	58	−	弥生土器　壺	(14.4)	−	−	精緻	硬質	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:黒褐2.5Y3/1	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SD16	−
509	58	−	弥生土器　壺	(10.8)	−	−	1〜5mm 長石、石英	硬質	内面:黄灰2.5Y5/1 外面:灰黄2.5Y7/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビナデ、 ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SD16	−
510	58	−	弥生土器　壺	(15.2)	−	−	0.3〜1.2mm 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD16	−
511	58	−	弥生土器　壺	(9.7)	−	−	精緻　石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SD16	−
512	58	−	弥生土器　壺	(10.7)	−	−	精緻	軟質	内面:灰白2.5Y8/2 外面:暗黄褐10YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:マメツ	SD16	−
513	58	−	弥生土器　壺	(12.0)	−	−	0.3〜1.5mm 石英	軟質	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD16	−
514	58	−	弥生土器　壺	(11.0)	−	−	精緻	普通	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部3/8	内外面:マメツ	SD16	−
515	58	−	弥生土器　壺	(19.7)	−	−	1.5〜2mm少 石英	軟質	内面:灰黄2.5Y7/2 外面:黄灰2.5Y4/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
516	58	−	弥生土器　壺	(14,6)	−	−	1〜3mm多 石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、 ハケメ	SD16	−
517	59	28	弥生土器　壺	(22.7)	−	−	精緻	普通	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部2/8	内外面:マメツ	SD16	−
518	59	−	弥生土器　壺	(17.3)	−	−	0.2〜1mm少 石英	軟質	内外面:浅黄2.5Y7/3	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:マメツ、ハケメ	SD16	−
519	59	−	弥生土器　甕	(22.4)	−	−	0.2〜1mm多 長石、石英	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
520	59	−	弥生土器　甕	(25.0)	−	−	精緻	軟質	内外面:黄橙10YR8/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SD16	−
521	59	−	弥生土器　甕	(29.8)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい橙5YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
522	59	−	弥生土器　甕	(13.5)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD16	−
523	59	−	弥生土器　甕	−	−	−	1〜1.2mm 石英	硬質	内面:橙7.5YR6/6 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SD16	−
524	59	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.2〜1mm	普通	内外面:にぶい褐7.5YR5/3	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ、マメツ	SD16	−
525	59	−	弥生土器　甕	(19.2)	−	−	精緻　石英、 雲母	硬質	内外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
526	59	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	0.5〜1mm少 石英	硬質	内面:灰白10YR8/2 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、 板ナデ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SD16	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
527	59	−	弥生土器　甕	(22.8)	−	−	1〜1.2㎜少 石英	硬質	内外面:褐灰10YR4/1	口縁部2/8	内外面:マメツ	SD16	−
528	59	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	0.2〜1㎜ 石英	軟質	内外面:にぶい橙5YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
529	59	−	弥生土器　甕	(25.9)	−	−	1〜3㎜多 長石、石英	普通	内外面:灰白10YR8/2	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SD16	−
530	59	−	弥生土器　甕	(22.7)	−	−	0.5〜1㎜ 長石	硬質	内外面:橙7.5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、マメツ	SD16	−
531	59	−	弥生土器　甕	(25.6)	−	−	0.2〜2㎜ 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
532	59	−	弥生土器　甕	(25.6)	−	−	0.2〜1㎜多 長石、石英	普通	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:灰5Y5/1	口縁部2/8	内外面:マメツ	SD16	−
533	59	−	弥生土器　甕	(20,6)	−	−	1〜2㎜多 長石、石英	普通	内外面:褐7.5YR4/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SD16	−
534	59	−	弥生土器　甕	(24.0)	−	−	精緻　長石	軟質	内面:にぶい褐7.5YR6/3 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ナデ	SD16	−
535	59	−	弥生土器　甕	(16.8)	−	−	精緻　長石、 石英	硬質	内外面:黒褐2.5Y3/1	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD16	−
536	59	−	弥生土器　甕	(26.0)	−	−	1〜1.2㎜ 石英	硬質	内面:黒褐10YR3/1 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
537	59	−	弥生土器　甕	(13.4)	−	−	精緻	軟質	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
538	60	−	弥生土器　甕	(27.0)	−	−	0.1〜0.5㎜少 長石	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:黄灰2.5Y4/1	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
539	60	−	弥生土器　甕	(15.8)	−	−	1〜1.2㎜多 石英	軟質	内外面:淡赤橙2.5YR7/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
540	60	−	弥生土器　甕	(15,7)	−	−	0.1〜1㎜ 長石、石英	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD16	−
541	60	−	弥生土器　甕	(15.2)	−	−	精緻	硬質	内外面:2.5YR7/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD16	−
542	60	−	弥生土器　甕	(14.6)	−	−	精緻	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
543	60	−	弥生土器　甕	(19.0)	−	−	精緻	硬質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ナデ、ヘラミガキ	SD16	−
544	60	−	弥生土器　甕	(14.1)	−	−	0.5〜1.5㎜多 長石、石英	硬質	内面:黒褐10YR3/1 外面:灰黄褐10YR4/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SD16	−
545	60	−	弥生土器　甕	(12.8)	−	−	0.3〜1㎜ 長石、石英	硬質	内外面:黒褐2.5Y3/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ	SD16	−
546	60	−	弥生土器　甕	(9.7)	−	−	精緻　長石	硬質	内面:暗灰黄2.5Y5/2 外面:にぶい橙5YR7/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
547	60	−	弥生土器　甕	(11.8)	−	−	0.7〜1.2㎜多 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SD16	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
548	60	−	弥生土器　甕	(19.0)	−	−	精緻	硬質	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:淡赤橙2.5YR7/3	口縁部2/8	内面:ヘラケズリ、剥離 外面:ユビオサエ、板ナデ、剥離	SD16	−
549	60	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.2〜0.5mm少 長石	硬質	内面:灰白2.5YR7/1 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8未満	内外面:マメツ	SD16	−
550	60	−	弥生土器　甕	(16.8)	−	−	0.7〜1mm 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部2/8	内面:マメツ 外面:板ナデ、マメツ	SD16	−
551	60	−	弥生土器　甕	(12.8)	−	−	精緻	硬質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ、ナデ、ヘラミガキ	SD16	−
552	60	−	弥生土器　甕	(14.3)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ、板ナデ	SD16	−
553	60	−	弥生土器　甕	(25.0)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
554	60	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.5〜1mm多 石英	軟質	内外面:浅黄橙7.5YR8/3	口縁部1/8未満	内外面:マメツ	SD16	−
555	60	−	弥生土器　甕	−	−	−	1〜5mm 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8未満	内外面:ヨコナデ、ナデ	SD16	−
556	60	−	弥生土器　甕	−	−	−	1〜3mm多 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8未満	内面:ハケメ、マメツ 外面:マメツ	SD16	−
557	60	−	弥生土器　甕	(39.0)	−	−	0.5〜0.8mm 長石	普通	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナテ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
558	60	−	弥生土器　甕	−	−	−	1〜2mm多 長石、石英	軟質	内外面:灰白2.5Y8/1	口縁部1/8未満	内外面:マメツ	SD16	−
559	60	−	弥生土器　甕	(28.8)	−	−	1〜5mm 長石、石英	軟質	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SD16	−
560	60	−	弥生土器　甕	(25.0)	−	−	1〜3mm 石英	硬質	内外面:明黄褐10YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
561	60	−	弥生土器　甕	(23,4)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい黄橙6/3	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD16	−
562	60	−	弥生土器　甕	(21.8)	−	−	精緻	硬質	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラミガキ	SD16	−
563	60	−	弥生土器　甕	−	−	−	精緻	普通	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:にぶい黄橙10YR7/3	体部3/8	内面:ユビオサエ、ナデ、ヘラケズリ 外面:ハケメ、マメツ	SD16	−
564	60	−	弥生土器　甕	−	10.2	8.0	0.1〜1.2mm多 長石、石英	硬質	内面:黒褐10YR3/2 外面:橙5YR6/6	底部4/8	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ、板ナデ	SD16	−
565	60	−	弥生土器　甕	−	5.3	(6.0)	0.2〜4mm多 石英	硬質	内面:黒褐10YR3/1 外面:橙2.5YR6/8	底部4/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ	SD16	−
566	61	−	弥生土器　鉢	(22.0)	−	−	1〜5mm少 長石	硬質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:褐7.5YR4/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ハケメ	SD16	−
567	61	−	弥生土器　鉢	(29.8)	−	−	1〜5mm多 石英	普通	内面:黒褐10YR3/1 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD16	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
568	61	−	弥生土器　鉢	(26.8)	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内面:灰黄褐10YR4/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ	SD16	−
569	61	−	弥生土器　鉢	(32.2)	−	−	精緻　石英	硬質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:にぶい橙7.5YR7/3	口縁部2/8	内面:ヘラミガキ、マメツ 外面:ヨコナデ	SD16	−
570	61	−	弥生土器　鉢	(21.0)	−	−	精緻	硬質	内面:灰黄褐10YR5/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部5/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラケズリ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SD16	−
571	61	−	弥生土器　鉢	(14.0)	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内面:灰白10YR8/2 外面:灰白10YR7/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ハケメ	SD16	−
572	61	32	弥生土器 高杯	(30.0)	−	−	0.2〜1.5mm多 石英	普通	内面:淡黄2.5YR8/4 外面:浅黄2.5Y7/3	口縁部4/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ	SD16	−
573	61	−	弥生土器 高杯	(24.4)	−	−	1〜1.2mm多 長石	硬質	内面:黒褐10YR3/1 外面:にぶい褐7.5YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SD16	−
574	61	−	弥生土器 高杯	(29.0)	−	−	0.5〜3mm多 長石	軟質	内外面:灰白2.5Y7/1	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:剥離	SD16	−
575	61	−	弥生土器 高杯	(28.0)	−	−	0.2〜0.8mm少 石英	硬質	内面:黒褐2.5Y3/1 外面:灰白2.5Y7/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ	SD16	−
576	61	−	弥生土器 高杯	−	−	−	精緻	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:黒褐2.5YR3/1	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SD16	−
577	61	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.3〜1mm 長石、石英	硬質	内外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ、ナデ	SD16	−
578	61	−	弥生土器 高杯	(24.0)	−	−	0.1〜0.5mm 石英	硬質	内外面:橙2.5YR6/6	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ	SD16	−
579	61	−	弥生土器 高杯	(18.4)	−	−	1〜2mm少 石英	軟質	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD16	−
580	61	−	弥生土器 高杯	(25.5)	−	−	精緻	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヘラミガキ、マメツ 外面:ユビオサエ、ハケメ、ヘラミガキ	SD16	−
581	61	−	弥生土器 高杯	−	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	杯部5/8	内面:マメツ 外面:ヘラミガキ、マメツ	SD16	−
582	61	33	弥生土器 高杯	−	−	(9.2)	1〜3mm 石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/3	脚部8/8	内面:シボリメ、ヘラケズリ、マメツ 外面:ハケメ、マメツ	SD16	−
583	61	−	弥生土器 高杯	−	−	(15.2)	0.3〜2mm 長石、石英	軟質	内外面:灰白10YR8/2	脚部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SD16	−
584	61	34	弥生土器 高杯	−	8.2	(11.0)	1〜1.5mm少 石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:浅黄橙10YR8/3	脚部4/8	内面:ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:マメツ	SD16	−
585	61	−	弥生土器 高杯	−	−	(13.5)	1〜3mm多 石英	軟質	内面:淡赤橙2.5YR7/3 外面:にぶい橙5YR7/3	脚部1/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ナデ、ヨコナデ	SD16	−
586	61	−	弥生土器 高杯	−	−	(10.6)	0.5〜1.5mm少 石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/4	脚部2/8	内面:ヘラケズリ、マメツ 外面:マメツ	SD16	−
587	61	−	弥生土器 高杯	−	7.3	(15.0)	0.5〜3mm 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/3	脚部1/8	内面:マメツ 外面:ヘラケズリ、マメツ	SD16	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
588	61	35	弥生土器 高杯	−	6.8	(8.1)	精緻　石英	硬質	内外面:明黄褐10YR7/6	脚部4/8	内面:マメツ、ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:マメツ、ヨコナデ	SD16	−
589	61	37	弥生土器　ミニチュア土器	4.5	6.3	2.9	精緻	普通	内外面:浅黄橙10YR8/3	完形品	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、マメツ、ヘラミガキ	SD16	−
590	61	36	弥生土器　蓋	(12.4)	3.2	−	精緻　長石	普通	内外面:灰白10YR7/1	4/8	内外面:ヘラミガキ	SD16	−
591	61	36	弥生土器 回転台形土器	(21.0)	−	−	1〜2mm 長石	硬質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:にぶい黄橙10YR7/3	2/8	内面:マメツ、ハケメ 外面:マメツ	SD16	−
592	62	24	弥生土器　壺	(17.6)	−	−	0.1〜2mm 長石	普通	内面:にぶい赤橙5YR5/4 外面:明赤褐5YR5/6	口縁部4/8	内面:ヨコナデ、ナデ、ユビオサエ 外面:ハケメ、ヘラミガキ	SD17	−
593	62	−	弥生土器　壺	(24.6)	−	−	0.3〜2mm多 長石、石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD17	−
594	62	−	弥生土器　壺	(23.0)	−	−	0.2〜2mm多 長石、石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD17	−
595	62	−	弥生土器　壺	(17.8)	−	−	0.7〜1.5mm 長石、石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD17	−
596	62	−	弥生土器　壺	(16.0)	−	−	0.2〜1.5mm多 石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:板ナデ 外面:ユビオサエ、板ナデ	SD17	−
597	62	−	弥生土器　甕	(14.0)	−	−	0.2〜1mm多 石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部2/8	内面:ユビオサエ 外面:マメツ	SD17	−
598	62	−	弥生土器　甕	(28.0)	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内面:灰褐7.5YR5/2 外面:灰褐7.5YR5/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ	SD17	−
599	62	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.3〜3mm 石英、雲母	硬質	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラミガキ	SD17	−
600	62	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.5〜2mm多 長石、石英	軟質	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8 未満	内面:マメツ 外面:マメツ、ヘラケズリ	SD17	−
601	62	−	弥生土器　甕	(27.2)	−	−	0.3〜2mm多 長石	普通	内面:明赤褐5YR5/6 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD17	−
602	62	−	弥生土器　甕	(17.1)	−	−	0.5〜2mm多 長石	普通	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD17	−
603	62	−	弥生土器　甕	(18.2)	−	−	0.5〜2mm少 長石、石英	硬質	内外面:橙2.5YR7/6	口縁部1/8	内面:マメツ、ヨコナデ 外面:ヨコナデ	SD17	−
604	62	−	弥生土器　甕	(19.0)	−	−	0.7〜2mm多 長石、石英	普通	内外面:明褐灰7.5YR7/2	口縁部2/8	内外面:マメツ	SD17	−
605	62	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.5〜3mm多 長石、石英	普通	内外面:明赤褐2.5YR5/8	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD17	−
606	62	−	弥生土器 高杯	(15.5)	−	−	1〜1.2mm 石英	軟質	内外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD17	−
607	62	−	弥生土器 高杯	−	2.6	−	0.3〜1mm 長石、石英	普通	内面:黒褐10YR3/1 外面:橙5YR7/6	脚部1/8 未満	内外面:マメツ	SD18	−
608	62	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.5〜1mm 長石、石英	硬質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SD20	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
609	62	−	弥生土器　甕	(18.1)	−	−	精緻	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:浅黄橙10YR8/3	頸部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD20	−
610	62	−	弥生土器　甕	(13.0)	−	−	0.3〜1mm 長石	硬質	内面:橙5YR7/6 外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD20	−
611	62	−	弥生土器　甕	(12.4)	−	−	精緻　長石	普通	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ	SD20	−
612	62	−	弥生土器 高杯	−	3.0	(7.6)	精緻　長石	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	脚部1/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヨコナデ	SD20	−
613	62	−	弥生土器　壺	(16.8)	−	−	精緻　雲母	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部3/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ヘラミガキ、ヨコナデ、マメツ	SD21	−
614	62	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.7〜1.2mm多 石英	普通	内面:灰黄2.5Y6/2 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SD21	−
615	62	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	0.2〜1mm 長石	硬質	内外面:にぶい褐7.5YR5/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD21	−
616	62	−	弥生土器　甕	(15.8)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD21	−
617	62	−	弥生土器　甕	(32.0)	−	−	1〜2mm 長石、石英	硬質	内外面:明褐7.5YR5/6	口縁部1/8	内面:マメツ、ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SD21	−
618	62	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.5〜5mm 石英	普通	内外面:灰5Y4/1	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SD21	−
619	62	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.7〜3mm多 石英	軟質	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SD21	−
620	62	−	弥生土器 高杯	−	−	−	1〜2mm 石英	普通	内外面:橙2.5YR6/6	−	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SD21	−
621	62	−	弥生土器 高杯	−	3.3	−	精緻	軟質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:黄橙10YR8/6	脚部1/8 未満	内面:板ナデ、ヨコナデ 外面:マメツ	SD21	−
622	63	−	弥生土器　壺	(19.4)	−	−	精緻	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ、板ナデ	SD22	−
623	63	−	弥生土器　壺	(13.0)	−	−	0.2〜0.5mm多 石英	硬質	内外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部4/8	内外面:マメツ	SD22	−
624	63	−	弥生土器　壺	(21.0)	−	−	0.5〜2mm多 長石、石英	普通	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:にぶい黄2.5Y6/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD22	−
625	63	−	弥生土器　壺	(16.6)	−	−	1〜5mm 石英	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD22	−
626	63	−	弥生土器　壺	(17.3)	−	−	1〜2mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD22	−
627	63	−	弥生土器　甕	(14.8)	−	−	0.1〜0.4mm 多　長石	硬質	内外面:にぶい褐7.5YR5/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SD22	−
628	63	−	弥生土器　甕	(25.0)	−	−	1.5〜3mm多 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SD22	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
629	63	－	弥生土器　甕	(17.8)	－	－	1～2mm多 長石、石英	軟質	内外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部1/8	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SD22	－
630	63	－	弥生土器　甕	(17.0)	－	－	0.3～1mm多 石英	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	SD22	－
631	63	－	弥生土器　甕	(12.0)	－	－	0.5～1mm 石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ユビオサエ、ヨコナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SD22	－
632	63	－	弥生土器　甕	(15.9)	－	－	0.1～1mm 長石	硬質	内面:灰白10YR8/2 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD22	－
633	63	－	弥生土器　甕	(16.0)	－	－	精緻	軟質	内面:浅黄2.5Y7/3 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD22	－
634	63	－	弥生土器　甕	(18.0)	－	－	1～2mm少 石英	軟質	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、ユビオサエ	SD22	－
635	63	－	弥生土器　甕	－	－	－	0.5～2mm 石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	体部3/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD22	－
636	63	－	弥生土器　甕	－	5.2	(3.4)	0.1～1mm多 石英	普通	内面:にぶい黄褐10YR5/3 外面:明黄褐10YR7/6	底部6/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ	SD22	－
637	63	－	弥生土器　甕	－	3.5	8.7	0.5～1.5mm少 石英	硬質	内面:明黄褐10YR7/6 外面:橙7.5YR6/6	底部8/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ハケメ、ナデ	SD22	－
638	63	－	弥生土器　鉢	－	－	－	0.5～2mm多 石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SD22	－
639	63	－	弥生土器　鉢	－	－	－	0.7～1.2mm多 石英	普通	内外面:黒褐2.5Y3/1	口縁部1/8 未満	内面:マメツ 外面:ハケメ	SD22	－
640	63	－	弥生土器　鉢	(27.5)	－	－	0.2～1mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SD22	－
641	63	－	弥生土器　鉢	－	－	－	精緻	普通	内外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8 未満	内面:板ナデ 外面:ハケメ	SD22	－
642	63	－	弥生土器　ミニチュア土器	(5.7)	－	－	1～2mm少 石英	軟質	内外面:黒褐2.5Y3/1	口縁部2/8	内面:ユビオサエ、ナデ 外面:ユビオサエ、ヘラケズリ	SD22	－
643	63	－	弥生土器　ミニチュア土器	－	－	(2.6)	0.5～2mm 長石、石英	軟質	内外面:黄灰2.5Y4/1	底部4/8	内面:ユビナデ、ユビオサエ 外面:マメツ	SD22	－
644	63	－	弥生土器　ミニチュア土器	－	－	－	0.3～1mm 石英	軟質	内外面:黒褐2.5Y3/1	体部3/8	内面:ユビオサエ 外面:マメツ	SD22	－
645	63	－	弥生土器 高杯	(17.6)	－	－	精緻　石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SD22	－
646	63	－	弥生土器 高杯	(27.8)	－	－	0.7～1mm少 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:マメツ	SD22	－
647	63	－	弥生土器 高杯	－	－	－	0.2～1mm 長石	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SD22	－
648	63	－	弥生土器 高杯	(20.0)	－	－	1～1.2mm 長石、石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8 未満	内面:ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、マメツ	SD22	－
682	67	－	弥生土器　甕	(28.4)	－	－	0.7～1mm多 石英	軟質	内外面:にぶい橙5YR7/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SP24	－

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
683	67	−	弥生土器　壺	(16.6)	−	−	0.5〜1㎜ 石英	普通	内面:橙5Y R7/6 外面:にぶい赤褐5Y R5/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	S P30	−
684	67	−	弥生土器　甕	(14.0)	−	−	精緻　石英	硬質	内面:浅黄橙10Y R8/3 外面:にぶい黄橙10Y R7/3	口縁部1/8	内面:ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	S P31	−
685	67	−	弥生土器　甕	−	−	−	1〜1.2㎜ 長石	軟質	内外面:黄橙10Y R8/6	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ、マメツ	S P84	−
686	67	−	弥生土器　鉢	(17.6)	−	−	1〜1.5㎜ 長石	硬質	内面:明赤褐2.5Y R5/6 外面:にぶい褐7.5Y R5/3	口縁部1/8	内面:板ナデ、ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ、ヘラミガキ	S P36	−
687	67	−	弥生土器　鉢	−	−	−	精緻	軟質	内面:にぶい黄橙10Y R7/4 外面:浅黄橙7.5Y R8/6	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	S P60	−
688	67	38	弥生土器　甕	−	−	−	0.2〜1㎜ 石英	軟質	内面:暗灰黄2.5Y5/2 外面:橙5Y R6/6	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ、剥離	S P77	−
689	67	−	弥生土器 高杯	−	−	(16.2)	0.5〜1㎜ 長石	軟質	内外面:灰白2.5Y8/2	脚部1/8	内面:マメツ、板ナデ 外面:ヘラミガキ、マメツ、ヨコナデ	S P87	−
690	67	−	弥生土器　鉢	(30.0)	−	−	1〜2㎜多 石英	軟質	内外面:灰白10Y R8/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ	S P43	−
691	67	−	弥生土器 高杯	−	12.6	(14.0)	0.2〜1.2㎜多 長石、石英	普通	内外面:にぶい橙7.5Y R7/4	脚部3/8	内面:シボリメ、マメツ 外面:ヘラミガキ	S P88	−
692	67	−	弥生土器　甕	(13.6)	−	−	0.7〜1㎜多 長石、石英	軟質	内外面:灰白10Y R8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ナデ	S P103	−
693	67	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.8〜2㎜多 石英	普通	内外面:暗灰黄2.5Y R4/2	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	S P100	−
694	67	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.3〜1㎜ 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10Y R7/2	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	S P101	−
695	67	−	弥生土器　鉢	(30.8)	−	−	1〜2㎜ 長石	軟質	内面:にぶい黄橙10Y R7/4 外面:にぶい黄橙10Y R6/4	口縁部2/8	内面:マメツ 外面:ハケメ、マメツ	S P54	−
696	67	−	弥生土器　壺	−	−	−	精緻	軟質	内面:灰黄2.5Y7/2 外面:浅黄橙10Y R8/3	体部1/8 未満	内面:マメツ 外面:ハケメ	S P100	−
697	67	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.7〜1㎜ 石英	普通	内外面:橙5Y R7/6	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	S P101	−
698	67	−	弥生土器 高杯	−	−	(11.0)	精緻	普通	内外面:橙5Y R6/6	脚部1/8	内面:ヘラケズリ 外面:マメツ	S P139	−
699	67	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.3〜1㎜ 長石	普通	内面:灰白10Y R8/2 外面:灰白2.5Y8/2	頸部1/8 未満	内外面:マメツ	S P152	−
700	67	−	弥生土器　甕	(28.4)	−	−	0.5〜1㎜多 長石、石英	普通	内外面:褐灰7.5Y R4/1	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	S P116	−
701	67	−	弥生土器　壺	(15.0)	−	−	0.1〜2㎜多 石英	硬質	内外面:灰黄褐10Y R4/2	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ	S P106	−
702	67	−	弥生土器　甕	(16.5)	−	−	1〜1.5㎜多 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙7.5Y R7/4 外面:橙5Y R6/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	S P160	−
703	67	−	弥生土器　甕	(15.5)	−	−	0.2〜1.3㎜ 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10Y R6/3	口縁部1/8	内外面:ユビオサエ	S X01	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
704	67	－	弥生土器　壺	－	－	－	0.2～1mm 長石、石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10ＹＲ7/3	口縁部1/8 未満	内面:ユビオサエ、マメツ 外面:マメツ	ＳＸ01-Ｐ08	－
705	67	－	弥生土器　壺	(17.0)	－	－	0.2～1mm多 石英	硬質	内外面:橙2.5ＹＲ6/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ナデ	ＳＸ02-Ｐ01	－
706	67	－	弥生土器　甕	－	－	－	0.5～1mm少 長石	軟質	内外面:浅黄橙10ＹＲ8/4	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	ＳＸ02	－
707	67	－	弥生土器　甕	－	－	－	1～1.2mm多 石英	軟質	内外面:浅黄橙10ＹＲ8/3	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	ＳＸ02	－
708	67	－	弥生土器　甕	－	5.9	7.3	精緻　石英	軟質	内外面:明黄褐10ＹＲ7/6	底部8/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ、マメツ	ＳＸ02	－
713	70	－	弥生土器　壺	(14.4)	－	－	1～1.5mm 長石	軟質	内面:にぶい橙7.5ＹＲ6/4 外面:橙5ＹＲ6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、マメツ	ＳＲ01	－
714	70	－	弥生土器　壺	(19.8)	－	－	0.7～1.5mm 長石、石英	硬質	内外面:橙7.5ＹＲ6/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	ＳＲ01	－
715	70	－	弥生土器　壺	(15.0)	－	－	0.2～3mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5ＹＲ6/4	口縁部1/8	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:マメツ	ＳＲ01	－
716	70	23	弥生土器　壺	(19.4)	－	－	精緻　石英	軟質	内面:にぶい黄橙10ＹＲ7/4 外面:灰白2.5Ｙ8/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、 ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＳＲ01	－
717	70	－	弥生土器　壺	(13.6)	－	－	精緻　長石	軟質	内外面:橙7.5ＹＲ7/6	口縁部1/8	内面:マメツ、ユビオサエ 外面:マメツ	ＳＲ01	－
718	70	－	弥生土器　壺	(15.2)	－	－	1～4mm少 石英	硬質	内外面:淡黄2.5Ｙ8/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ユビオサエ	ＳＲ01	－
719	70	－	弥生土器　壺	(25.8)	－	－	0.2～0.5mm 石英	普通	内外面:明赤褐2.5ＹＲ5/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	ＳＲ01	－
720	70	－	弥生土器　壺	(18.0)	－	－	0.5～2mm多 長石、石英	硬質	内外面:浅黄橙10ＹＲ8/3	口縁部2/8	内外面:ナデ	ＳＲ01	－
721	70	－	弥生土器　壺	13.6	－	－	0.5～1mm多 長石	普通	内面:にぶい褐7.5ＹＲ5/4 外面:明赤褐5ＹＲ5/6	口縁部8/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、 シボリメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＳＲ01	－
722	70	－	弥生土器　壺	(15.0)	－	－	0.5～1.2mm少 石英	軟質	内外面:灰白5ＹＲ8/2	口縁部1/8	内外面:マメツ	ＳＲ01	－
723	70	－	弥生土器　壺	(20.0)	－	－	精緻	軟質	内外面:橙5ＹＲ7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、板ナデ	ＳＲ01	－
724	70	－	弥生土器　壺	(16.4)	－	－	0.1～1mm少 長石	普通	内外面:にぶい黄橙10ＹＲ7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	ＳＲ01	－
725	70	－	弥生土器　壺	(18.0)	－	－	1～1.2mm多 長石、石英	普通	内面:淡黄2.5Ｙ8/3 外面:浅黄橙7.5ＹＲ8/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	ＳＲ01	－
726	70	－	弥生土器　壺	(20.0)	－	－	1～2mm多 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10ＹＲ8/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ、 マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ	ＳＲ01	－
727	70	－	弥生土器　壺	(19.0)	－	－	0.5～1mm 長石、石英	普通	内外面:橙7.5ＹＲ6/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	ＳＲ01	－
728	70	－	弥生土器　壺	(23.8)	－	－	0.5～1mm 石英	普通	内面:橙7.5ＹＲ6/6 外面:にぶい黄橙10ＹＲ7/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	ＳＲ01	－

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
729	70	26	弥生土器　壺	－	－	－	1.5～2mm多 石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:灰黄褐10YR5/2	口縁部1/8 未満	内面:ハケメ 外面:ヨコナデ	SR01	第2 層
730	70	－	弥生土器　壺	(19.0)	－	－	0.2～4mm 石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR01	－
731	70	－	弥生土器　壺	(14.8)	－	－	精緻	普通	内面:灰黄褐10YR5/2 外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、板ナデ	SR01	－
732	70	－	弥生土器　壺	(14.7)	－	－	1～3mm多 長石、石英	普通	内外面:橙5YR6/6	口縁部2/8	内面:ユビオサエ 外面:マメツ	SR01	－
733	70	－	弥生土器　壺	－	－	－	精緻	硬質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR01	－
734	70	27	弥生土器　壺	(12.2)	－	－	0.3～1.2mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR01	－
735	70	－	弥生土器　壺	(19.8)	－	－	0.5～4mm多 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:マメツ、ヘラケズリ、 外面:マメツ	SR01	－
736	70	－	弥生土器　壺	(10.6)	－	－	0.5～1mm 石英	普通	内外面::黒褐2.5Y3/1	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR01	－
737	70	－	弥生土器　壺	－	－	－	精緻	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR01	－
738	70	－	弥生土器　壺	－	－	－	0.5～2mm 石英	軟質	内外面:浅黄橙7.5YR8/3	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR01	－
739	71	－	弥生土器　甕	(16.0)	－	－	0.1～0.5mm 長石、雲母	硬質	内外面:7にぶい褐5YR6/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ	SR01	－
740	71	－	弥生土器　甕	(18.6)	－	－	0.7～1mm 石英	軟質	内外面:明赤褐2.5YR5/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:マメツ	SR01	第2 層
741	71	－	弥生土器　甕	(25.0)	－	－	0.5～1mm少 石英	硬質	内外面:褐灰7.5YR5/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR01	－
742	71	－	弥生土器　甕	(32.2)	－	－	精緻　長石、 石英	硬質	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ナデ	SR01	－
743	71	－	弥生土器　甕	(13.4)	－	－	1～2mm 石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR01	－
744	71	－	弥生土器　甕	(13.0)	－	－	0.3～2mm 長石、石英	軟質	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:灰白5Y7/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR01	－
745	71	－	弥生土器　甕	(18.0)	－	－	0.3～1.2mm多 石英	普通	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR01	－
746	71	－	弥生土器　甕	(14.0)	－	－	0.3～2mm少 石英	硬質	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR01	－
747	71	－	弥生土器　甕	(17.0)	－	－	0.3～3mm多 石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:にぶい褐7.5YR5/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR01	－
748	71	－	弥生土器　甕	(20.0)	－	－	1～2mm 長石、石英	普通	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:灰黄褐10YR4/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:マメツ	SR01	－
749	71	－	弥生土器　甕	(16.0)	－	－	精緻　長石	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:灰黄褐10YR5/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ	SR01	－

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
750	71	−	弥生土器　甕	(18.0)	−	−	0.5〜2mm 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SR01	−
751	71	−	弥生土器　甕	(15.0)	−	−	0.2〜2mm 石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:にぶい黄褐10YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR01	−
752	71	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.5〜3mm多 石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SR01	−
753	71	−	弥生土器　甕	(20.0)	−	−	1〜1.2mm多 長石、石英	軟質	内面:にぶい橙5YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR01	−
754	71	−	弥生土器　甕	−	−	−	2〜4mm 石英	硬質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ、板ナデ	SR01	−
755	71	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.5〜1.2mm 石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:にぶい黄褐10YR6/3	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR01	−
756	71	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.5〜1mm 長石、石英	軟質	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR01	−
757	71	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	0.7〜1mm 長石	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内外面:ハケメ、マメツ	SR01	−
758	71	−	弥生土器　甕	(19.6)	−	−	1〜4mm多 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SR01	−
759	71	−	弥生土器　甕	(19.2)	−	−	精緻	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR01	−
760	71	−	弥生土器　甕	(26.0)	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR01	−
761	71	−	弥生土器　甕	(29.0)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ	SR01	−
762	71	−	弥生土器　甕	−	−	−	1〜5mm多 長石、石英	普通	内外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR01	−
763	71	−	弥生土器　甕	(31.8)	−	−	1〜1.2mm多 長石、石英	普通	内面:浅黄2.5Y7/3 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR01	−
764	71	−	弥生土器　甕	(28.8)	−	−	0.4〜1mm少 石英	軟質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:浅黄橙10YR8/5	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SR01	−
765	71	−	弥生土器　甕	(32.2)	−	−	1〜1.2mm 長石	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR01	−
766	71	−	弥生土器　甕	(13.8)	−	−	0.3〜2mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ	SR01	−
767	71	−	弥生土器　甕	(13.0)	−	−	精緻　石英	軟質	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8	内面:ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:板ナデ	SR01	−
768	72	−	弥生土器　甕	−	5.5	7.0	0.1〜0.3mm少 長石	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR6/4	底部8/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヘラケズリ、ヨコナデ、ナデ	SR01	−
769	72	−	弥生土器　甕	−	5.5	9.5	0.1〜2mm 長石、石英	硬質	内外面:明赤褐2.5YR5/8	底部8/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ、ユビナデ、ナデ	SR01	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
770	72	−	弥生土器　甕	−	10.0	(10.8)	0.5～1.2㎜多 長石、石英	硬質	内外面:橙7.5YR7/6	底部4/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ハケメ	SR01	−
771	72	−	弥生土器　甕	−	5.8	7.1	0.2～1㎜ 石英	普通	内面:橙5YR6/8 外面:橙2.5YR6/8	底部4/8	内面:ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:ヘラミガキ	SR01	−
772	72	−	弥生土器　甕	−	3.9	10.3	0.2～1.2㎜ 長石、石英	普通	内外面:明黄褐10YR7/6	底部8/8	内面:マメツ 外面:ヘラミガキ、マメツ	SR01	−
773	72	−	弥生土器　甕	(31.0)	−	−	0.3～1.5㎜多 石英	普通	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ 外面:マメツ、ヘラケズリ、ユビオサエ、ヨコナデ	SR01	−
774	72	−	弥生土器　甕	(30.0)	−	−	精緻	軟質	内面:にぶい橙5YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、剥離	SR01	−
775	72	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.7～1.2㎜ 長石	普通	内面:橙7.5YR6/6 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8 未満	内面:ヘラミガキ、マメツ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ	SR01	−
776	72	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.7～1㎜多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:黄灰2.5Y4/1	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR01	−
777	72	−	弥生土器　鉢	−	−	−	1～2㎜少 石英	普通	内面:黄褐2.5Y5/3 外面:黒褐2.5Y3/2	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR01	−
778	72	−	弥生土器　鉢	(19.0)	−	−	0.5～2㎜多 石英	普通	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:マメツ	SR01	−
779	72	−	弥生土器　鉢	(23.2)	−	−	精緻	硬質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ	SR01	−
780	72	−	弥生土器　鉢	(21.6)	−	−	1～1.2㎜多 石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、マメツ、ヘラミガキ	SR01	−
781	72	−	弥生土器　鉢	(28.8)	−	−	精緻	硬質	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:マメツ	SR01	−
782	72	−	弥生土器　鉢	(29.6)	−	−	0.2～3㎜ 長石、石英	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:橙7.5YR6/6	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:マメツ、板ナデ	SR01	−
783	72	38	弥生土器 不明	−	−	−	1～2㎜ 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:橙7.5YR7/6	−	内面:ハケメ 外面:板ナデ	SR01	−
784	72	38	弥生土器 甕か鉢	−	−	−	0.2～4㎜ 長石、石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR01	−
785	72	−	弥生土器　鉢	−	−	−	精緻	硬質	内外面:橙5YR7/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR01	−
786	72	−	弥生土器　鉢	(11.8)	−	−	0.5～2㎜ 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ユビオサエ	SR01	−
787	72	−	弥生土器　鉢	(27.8)	−	−	0.3～3㎜多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR01	−
788	72	−	弥生土器　鉢	(31.8)	−	−	1～2㎜多 長石、石英	普通	内面:灰黄2.5Y6/2 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR01	−
789	72	−	弥生土器 高杯	(21.6)	−	−	0.5～1㎜少 長石	軟質	内面:浅黄橙7.5YR8/3 外面:にぶい橙7.5YR7/3	口縁部1/8	内面:ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR01	−
790	72	−	弥生土器 高杯	(26.4)	−	−	1～2㎜多 長石、石英	軟質	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR01	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
791	72	−	弥生土器 高杯	(30.0)	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内面:浅黄2.5Y7/4 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SR01	−
792	72	−	弥生土器 高杯	(31.9)	−	−	精緻　長石	硬質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:ヘラミガキ	SR01	−
793	72	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.5〜2mm 石英	硬質	内面:黒N2/ 外面:灰黄褐10YR5/2	杯部2/8	内面:板ナデ、ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ、ヘラケズリ	SR01	−
794	72	−	弥生土器 高杯	−	−	−	精緻　長石	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8 未満	内面:マメツ 外面:ヘラケズリ、ヘラミガキ、マメツ	SR01	−
795	73	33	弥生土器 高杯	(23.2)	−	−	0.5〜2mm 長石	硬質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:橙5YR6/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、ヘラケズリ、マメツ	SR01	−
796	73	−	弥生土器 高杯	−	8.4	(11.8)	0.3〜1.5mm多 長石、石英	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	脚部8/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:マメツ、ヨコナデ	SR01	−
797	73	34	弥生土器 高杯	−	11.7	13.4	0.3〜1mm 長石	普通	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:浅黄橙10YR8/4	脚部8/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ヘラケズリ、ヘラミガキ、ヨコナデ	SR01	−
798	73	34	弥生土器 高杯	−	−	14.7	1〜2mm多 石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:浅黄2.5Y7/3	脚部ほぼ 完形品	内面:マメツ、ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ヘラミガキ、マメツ、ヨコナデ	SR01	−
799	73	−	弥生土器 不明	−	−	−	0.3〜2mm多 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	−	内外面:マメツ	SR01	−
800	73	−	弥生土器　ミニチュア土器	−	4.1	3.5	0.3〜2mm 長石	普通	内外面:灰黄褐10YR5/2	底部8/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヘラケズリ、ナデ	SR01	−
817	76	−	弥生土器　壺	(19.0)	−	−	0.5〜1.2mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
818	76	−	弥生土器　壺	(19.0)	−	−	0.5〜1mm多 長石、石英	軟質	内面:浅黄2.5Y7/3 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ	SR02	−
819	76	−	弥生土器　壺	(20.0)	−	−	0.1〜0.3mm 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:橙7.5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラケズリ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	SR02	−
820	76	−	弥生土器　壺	(18.8)	−	−	0.3〜1.5mm 長石、石英	普通	内外面:赤褐2.5YR4/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
821	76	−	弥生土器　壺	(20.0)	−	−	0.5〜1mm少 長石	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい橙5YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ	SR02	−
822	76	−	弥生土器　壺	(21.0)	−	−	1〜2mm少 石英	普通	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
823	76	−	弥生土器　壺	(20.0)	−	−	1〜2mm多 石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ナデ 外面:マメツ、ハケメ	SR02	−
824	76	−	弥生土器　壺	(15.5)	−	−	精緻	軟質	内面:黒褐2.5Y3/1 外面:灰黄2.5Y7/2	口縁部1/8	内面:ハケメ、マメツ 外面:ヨコナデ	SR02	−
825	76	−	弥生土器　壺	(21.0)	−	−	精緻	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:マメツ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
826	76	−	弥生土器　壺	(23.0)	−	−	1〜4mm多 石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
827	76	−	弥生土器　壺	(19.6)	−	−	精緻　長石、 雲母	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:にぶい橙5YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、 板ナデ	SR02	−
828	76	−	弥生土器　壺	(20.9)	−	−	0.2〜1mm少 石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:マメツ、板ナデ 外面:マメツ、ハケメ	SR02	−
829	76	23	弥生土器　壺	(17.0)	−	−	0.5〜1.5mm 石英、雲母	軟質	内外面:橙7.5YR6/6	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、 ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ユ ビオサエ、ヘラミガキ	SR02	土器 溜り
830	76	−	弥生土器　壺	(14.4)	−	−	精緻　長石	軟質	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
831	76	−	弥生土器　壺	(14.0)	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内面:明赤褐2.5YR5/6 外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、 マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ナデ	SR02	−
832	76	−	弥生土器　壺	(17.0)	−	−	1〜1.5mm多 長石	硬質	内面:褐10YR4/4 外面:褐7.5YR4/4	口縁部4/8	内外面:マメツ、ユビオサエ	SR02	−
833	76	24	弥生土器　壺	(20.1)	−	−	0.3〜1mm 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、 シボリメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
834	76	−	弥生土器　壺	(14.0)	(27.0)	(5.0)	0.5〜1mm 長石	普通	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、マメツ、ヘ ラケズリ、ナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、マメツ、ハ ケメ	SR02	−
835	76	24	弥生土器　壺	(20.0)	−	−	0.5〜1mm少 長石	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部4/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、 マメツ 外面:マメツ、ヨコナデ、板 ナデ、ヘラミガキ、ハケメ	SR02	−
836	76	−	弥生土器　壺	(15.0)	−	−	精緻　石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
837	76	−	弥生土器　壺	(18.9)	−	−	0.5〜2mm 石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部2/8	内面:ユビオサエ、マメツ 外面:マメツ	SR02	−
838	76	−	弥生土器　壺	(15.0)	−	−	0.5〜1mm多 石英	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:マメツ、ヨコナデ、ハ ケメ	SR02	−
839	77	−	弥生土器　壺	(10.8)	−	−	0.1〜0.5mm 長石、石英	普通	内面:褐灰10YR5/1 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ユビオサエ 外面:ハケメ	SR02	−
840	77	−	弥生土器　壺	(15.0)	−	−	精緻	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:灰黄褐10YR5/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SR02	−
841	77	−	弥生土器　壺	(10.3)	−	−	精緻　石英	硬質	内面:にぶい褐7.5YR6/3 外面:褐灰10YR5/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユ ビオサエ 外面:ヨコナデ	SR02	−
842	77	−	弥生土器　壺	(11.4)	−	−	1〜1.5mm多 石英	軟質	内面:黄橙10YR8/6 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部2/8	内面:マメツ 外面:ハケメ	SR02	−
843	77	−	弥生土器　壺	(16.4)	−	−	精緻　石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部2/8	内面:マメツ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
844	77	−	弥生土器　壺	(13.8)	−	−	1〜2mm 石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部2/8	内面:マメツ、板ナデ 外面:マメツ、ヨコナデ	SR02	−
845	77	−	弥生土器　壺	(16.7)	−	−	0.5〜1mm 石英	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
846	77	−	弥生土器　壺	23.3	−	−	0.8〜1mm 石英	普通	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部5/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、シボリメ 外面:ヨコナデ、ヘラケズリ	SR02	−
847	77	−	弥生土器　壺	(14.0)	−	−	1〜2mm 石英	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:マメツ、シボリメ	SR02	−
848	77	23	弥生土器　壺	17.1	−	−	0.3〜3mm多 石英	普通	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部6/8	内面:マメツ、ユビオサエ 外面:マメツ、ハケメ	SR02	−
849	77	−	弥生土器　壺	(15.0)	−	−	0.5〜1mm 石英、雲母	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:剥離 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
850	77	−	弥生土器　壺	(18.2)	−	−	0.2〜1少 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
851	77	−	弥生土器　壺	(15.2)	−	−	0.5〜5mm 長石、石英	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
852	77	−	弥生土器　壺	(20.0)	−	−	1〜2mm 石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
853	77	23	弥生土器　壺	(19.4)	−	−	0.7〜1mm多 長石、石英	普通	内面:黄褐10YR5/6 外面:明黄褐10YR6/6	口縁部4/8	内外面:マメツ	SR02	−
854	77	−	弥生土器　壺	(14.4)	−	−	0.2〜1mm 長石、石英	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
855	77	−	弥生土器　壺	(16.0)	−	−	精緻	軟質	内面:浅黄2.5Y7/3 外面:灰黄2.5Y7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビナデ、板ナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
856	77	−	弥生土器　壺	(18.0)	−	−	0.3〜1mm多 石英	普通	内外面:橙2.5YR6/6	頸部8/8	内面:ナデ、マメツ 外面:マメツ	SR02	−
857	77	−	弥生土器　壺	(15.1)	−	−	0.2〜1mm 長石、石英	硬質	内外面:橙2.5YR6/6	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
858	77	24	弥生土器　壺	(16.0)	−	−	1〜2mm多 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
859	77	25	弥生土器　壺	(17.0)	−	−	精緻　石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR7/3 外面:にぶい橙7.5YR7/4	頸部8/8	内面:ハケメ、ユビオサエ 外面:ハケメ	SR02	−
860	78	−	弥生土器　壺	(28.2)	−	−	0.5〜1mm多 石英	軟質	内面:黄橙10YR8/6 外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	SR02	−
861	78	23	弥生土器　壺	(17.8)	−	−	0.5〜2mm多 石英	軟質	内外面:灰白10YR8/2	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ 外面:ヨコナデ、ナデ	SR02	−
862	78	23	弥生土器　壺	(21.4)	−	−	精緻	普通	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部2/8	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
863	78	−	弥生土器　壺	(23.8)	−	−	0.5〜1mm多 長石、石英	普通	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ	SR02	−
864	78	−	弥生土器　壺	−	−	−	精緻　石英	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8未満	内外面:ヨコナデ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
865	78	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.5〜1㎜ 長石	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:明黄褐10YR7/6	口縁部1/8未満	内外面:マメツ	SR02	−
866	78	−	弥生土器　壺	(15.6)	−	−	精緻	硬質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
867	78	23	弥生土器　壺	(22.8)	−	−	0.2〜0.5㎜ 長石、石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
868	78	25	弥生土器　壺	(18.6)	−	−	0.3〜2㎜多 長石	普通	内外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部6/8	内面:ヨコナデ、マメツ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ	SR02	−
869	78	−	弥生土器　壺	(15.4)	−	−	精緻	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:橙5YR7/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ	SR02	−
870	78	−	弥生土器　壺	(15.8)	−	−	0.2〜0.7㎜ 長石	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:明赤褐2.5YR5/6	口縁部1/8	内面:ハケメ、ユビオサエ、ナデ 外面:マメツ、ハケメ	SR02	−
871	78	25	弥生土器　壺	(14.4)	21.9	(5.8)	0.2〜3㎜多 長石	硬質	内面:褐7.5YR4/4 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部3/8	内面:剥離、ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:剥離、マメツ	SR02	−
872	78	−	弥生土器　壺	(14.4)	−	−	1〜2㎜ 石英	普通	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	SR02	−
873	78	−	弥生土器　壺	(15.0)	−	−	精緻 長石、石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:浅黄橙10YR7/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
874	78	−	弥生土器　壺	(18.8)	−	−	精緻	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
875	78	−	弥生土器　壺	(19.0)	−	−	精緻	軟質	内外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
876	78	−	弥生土器　壺	(15.0)	−	−	1〜3㎜多 長石、石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内外面:ユビオサエ	SR02	−
877	78	−	弥生土器　壺	(25.0)	−	−	精緻　長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
878	78	−	弥生土器　壺	(16.0)	−	−	1〜3㎜ 石英	軟質	内外面:淡黄2.5Y8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
879	78	−	弥生土器　壺	(12.6)	−	−	0.2〜1㎜ 長石、石英	普通	内面:灰褐7.5YR4/2 外面:にぶい橙7.5YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
880	78	−	弥生土器　壺	(16.0)	−	−	0.2〜1㎜ 長石	硬質	内外面:橙5YR6/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
881	79	26	弥生土器　壺	(25.0)	−	−	0.3〜4㎜多 長石、石英	軟質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:橙5YR7/6	口縁部6/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、板ナデ、マメツ、ヘラケズリ、ヘラミガキ	SR02	−
882	79	−	弥生土器　壺	(18.2)	−	−	0.3〜3㎜多 長石、石英	普通	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部3/8	内外面:マメツ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
883	79	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.7〜1㎜多 長石、石英	普通	内面:灰褐7.5YR5/2 外面:にぶい褐7.5YR6/3	頸部1/8	内面:マメツ、ハケメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
884	79	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.3〜1㎜多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:橙7.5YR6/6	体部2/8	内面:ユビオサエ 外面:マメツ	SR02	−
885	79	−	弥生土器　壺	−	−	−	1〜3㎜ 石英	軟質	内面:灰白2.5Y8/2 外面:灰白2.5Y7/1	体部8/8	内面:ハケメ、板ナデ、ユビオサエ 外面:ヘラミガキ	SR02	−
886	79	−	弥生土器　壺	(10.0)	−	−	0.5〜1㎜少 長石	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:灰白10YR7/1	口縁部1/8	内面:ユビオサエ、ナデ 外面:マメツ、ハケメ	SR02	−
887	79	−	弥生土器　壺	(10.6)	−	−	1〜2㎜ 長石	普通	内面:灰黄褐10YR5/2 外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	SR02	−
888	79	28	弥生土器　壺	(19.3)	−	−	0.5〜4㎜多 長石、石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
889	79	−	弥生土器　壺	(10.0)	−	−	0.7〜1.8㎜ 石英	普通	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SR02	−
890	79	−	弥生土器　壺	(13.2)	−	−	精緻　石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
891	79	−	弥生土器　壺	14.3	−	−	0.3〜1㎜多 石英	硬質	内面:明黄褐10YR6/6 外面:明褐7.5YR5/6	口縁部5/8	内外面:マメツ	SR02	−
892	79	−	弥生土器　壺	(13.7)	−	−	1〜2㎜ 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
893	79	27	弥生土器　壺	(12.7)	−	−	精緻　長石	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ハケメ	SR02	−
894	79	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.5〜1.5㎜ 長石	硬質	内外面:橙7.5YR7/6	頸部2/8	内面:マメツ、板ナデ 外面:ハケメ、マメツ	SR02	−
895	79	27	弥生土器　壺	(10.8)	−	−	1〜1.5㎜多 長石、石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
896	79	27	弥生土器　壺	8.0	−	−	0.1〜1㎜ 長石	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部6/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ、ヘラケズリ、シボリメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
897	79	27	弥生土器　壺	(8.6)	−	−	0.2〜0.5㎜少 長石	硬質	内外面:橙5YR7/6	口縁部4/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ナデ 外面:ヨコナデ	SR02	−
898	79	−	弥生土器　壺	(8.0)	−	−	1〜3㎜ 長石、石英	軟質	内面:灰白2.5Y8/2 外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ、シボリメ 外面:マメツ	SR02	−
899	79	−	弥生土器　壺	(9.0)	−	−	0.5〜1㎜ 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部4/8	内面:ナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ	SR02	−
900	79	−	弥生土器　壺	(7.6)	−	−	精緻　長石	軟質	内面:淡赤橙2.5YR7/4 外面:橙2.5YR7/6	口縁部1/8	内面:シボリメ 外面:ヨコナデ	SR02	−
901	79	−	弥生土器　壺	(9.9)	−	−	0.2〜2㎜多 石英	硬質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:淡赤橙2.5YR7/3	口縁部2/8	内外面:マメツ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
902	79	28	弥生土器　壺	(7.0)	−	−	0.5〜1mm 石英	軟質	内面:褐灰10YR4/1 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部4/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:マメツ、ヘラミガキ	SR02	−
903	79	−	弥生土器　壺	(11.0)	−	−	0.3〜1mm多 長石、石英	硬質	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:板ナデ、ハケメ	SR02	−
904	79	−	弥生土器　壺	(12.0)	−	−	0.5〜1mm多 石英	軟質	内外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ハケメ	SR02	−
905	79	−	弥生土器　壺	(10.0)	−	−	1〜4mm多 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
906	80	−	弥生土器　壺	(13.8)	−	−	1〜2mm少 石英	軟質	内外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ	SR02	−
907	80	−	弥生土器　壺	(14.6)	−	−	0.2〜1.5mm少 長石	硬質	内外面:橙5YR6/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ	SR02	−
908	80	−	弥生土器　壺	(11.0)	−	−	1〜3mm 長石、石英	軟質	内外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部4/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、マメツ	SR02	−
909	80	26	弥生土器　壺	18.0	−	−	1〜3mm多 長石、石英	軟質	内外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部5/8	内面:ユビオサエ、板ナデ 外面:ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
910	80	−	弥生土器　壺	(9.3)	−	−	1〜1.2mm多 長石	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部5/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ 外面:ヨコナデ	SR02	−
911	80	−	弥生土器　壺	(11.4)	−	−	0.2〜1mm 石英	硬質	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラケズリ、ヘラミガキ	SR02	−
912	80	−	弥生土器　壺	(12.6)	−	−	0.3〜0.5mm 長石	軟質	内面:にぶい橙10YR7/2 外面:にぶい橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ	SR02	−
913	80	−	弥生土器　壺	(14.6)	−	−	0.5〜3mm多 長石、石英	軟質	内面:暗灰黄2.5Y5/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部2/8	内外面:マメツ	SR02	−
914	80	−	弥生土器　壺	(11.4)	−	−	0.5〜1.5mm 長石	普通	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:浅黄橙7.5YR8/6	口縁部2/8	内外面:マメツ	SR02	−
915	80	−	弥生土器　壺	(13.4)	−	−	精緻　長石	軟質	内面:黒褐10YR3/1 外面:褐灰10YR4/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラケズリ	SR02	−
916	80	−	弥生土器　壺	(15.0)	−	−	精緻	普通	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:明赤褐5YR5/6	口縁部2/8	内面:ユビオサエ 外面:マメツ	SR02	−
917	80	−	弥生土器　壺	(13.4)	−	−	0.5〜1mm 石英	硬質	内面:暗灰N3/ 外面:黄橙10YR8/6	口縁部3/8	内面:マメツ、板ナデ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SR02	−
918	80	26	弥生土器　壺	12.4	−	−	1〜3mm 石英	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部4/8	内面:剥離、ヘラケズリ 外面:剥離、ハケメ	SR02	−
919	80	−	弥生土器　壺	−	−	−	1〜4mm多 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	頸部1/8	内面:ヘラケズリ 外面:マメツ	SR02	
920	80	−	弥生土器　壺	(28.0)	−	−	1〜2mm多 長石、石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:灰白10YR7/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
921	80	−	弥生土器　壺	(25.4)	−	−	1〜2㎜多 石英	硬質	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8	内面:ユビオサエ 外面:マメツ	SR02	−
922	80	28	弥生土器　壺	(32.1)	−	−	0.5〜1㎜ 石英	軟質	内外面:浅黄橙7.5YR8/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
923	80	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.3〜1.5㎜多 長石	硬質	内外面:灰黄2.5Y7/2	口縁部1/8 未満	内面:ハケメ、マメツ 外面:マメツ	SR02	−
924	80	−	弥生土器　壺	(36.8)	−	−	0.3〜3㎜多 長石、石英	普通	内面:灰白10YR8/2 外面:浅黄2.5Y7/4	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR02	−
925	80	−	弥生土器　壺	(20.8)	−	−	1〜2㎜ 石英	軟質	内面:灰黄2.5Y7/2 外面:淡黄2.5Y8/3	頸部1/8	内外面:マメツ	SR02	−
926	81	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.5〜1㎜ 長石、石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:にぶい黄橙10YR6/3	体部3/8	内面:ヘラケズリ、ハケメ、ヘラミガキ 外面:ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
927	81	−	弥生土器　壺	(9.6)	−	−	1〜4㎜ 石英	普通	内面:褐灰7.5YR4/1 外面:灰褐7.5YR5/2	口縁部1/8	内面:板ナデ、ユビオサエ 外面:板ナデ	SR02	−
928	81	29	弥生土器　壺	(11.8)	−	−	0.5〜2㎜ 石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
929	81	−	弥生土器　壺	(14.6)	−	−	0.1〜1㎜少 長石	普通	内面:灰黄褐10YR5/2 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
930	81	−	弥生土器　壺	−	−	−	1〜2㎜多 長石、石英	軟質	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8 未満	内面:ヘラケズリ 外面:ユビオサエ	SR02	−
931	81	28	弥生土器　壺	(6.0)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部4/8	内面:ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ナデ	SR02	−
932	81	−	弥生土器　壺 (ミニチュア土器か)	(8.0)	−	−	精緻　長石	軟質	内面:黒10YR2/1 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ナデ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SR02	−
933	81	36	弥生土器　壺 (ミニチュア土器か)	(6.6)	6.3	4.5	0.2〜1㎜ 長石、石英、雲母	軟質	内外面:褐灰10YR4/1	体部8/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:マメツ、ナデ	SR02	−
934	81	−	弥生土器　壺 (ミニチュア土器か)	(8.0)	−	−	0.2〜0.5㎜少 長石、石英	軟質	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:浅黄橙7.5YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ	SR02	−
935	81	−	弥生土器　壺 (ミニチュア土器か)	(9.0)	−	−	0.1〜0.5㎜ 長石	普通	内面:にぶい褐7.5YR6/3 外面:にぶい褐7.5YR5/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラケズリ	SR02	−
936	81	29	弥生土器　壺 (ミニチュア土器か)	−	7.0	4.2	0.5〜1㎜少 長石	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:浅黄2.5Y7/3	底部5/8	内面:ユビオサエ、板ナデ 外面:ヘラミガキ、ユビオサエ	SR02	−
937	81	−	弥生土器　壺 (ミニチュア土器か)	−	11.7	3.0	0.5〜1㎜ 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:橙5YR7/6	底部8/8	内面:ヘラケズリ、マメツ 外面:マメツ	SR02	−
938	81	37	弥生土器　壺 (ミニチュア土器か)	(8.4)	10.8	4.4	0.2〜1.2㎜ 長石、石英	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:にぶい黄橙10YR7/3	ほぼ完形品	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ、マメツ	SR02	−
939	81	−	弥生土器　壺	(7.0)	−	−	1〜3㎜多 長石、石英	普通	内面:にぶい褐7.5YR5/4 外面:にぶい橙7.5YR6/4	体部2/8	内外面:マメツ、ハケメ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
940	81	−	弥生土器　甕	(15.6)	−	−	0.2〜0.4mm 雲母	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:褐灰10YR6/1	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
941	81	−	弥生土器　甕	(27.5)	−	−	0.3〜2mm 長石、石英	硬質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ	SR02	−
942	81	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.5〜1mm 長石	硬質	内面:浅黄2.5Y7/3 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
943	81	−	弥生土器　甕	(25.0)	−	−	0.2〜0.5mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
944	81	−	弥生土器　甕	(13.0)	−	−	0.3〜1mm多 長石、石英	硬質	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
945	81	29	弥生土器　甕	(11.8)	(40.0)	(5.0)	1〜2mm多 長石、雲母	硬質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:橙5YR6/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、タタキ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
946	81	−	弥生土器　甕	(33.0)	−	−	1〜2mm多 石英	普通	内外面:にぶい黄橙7.5YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ、板ナデ	SR02	−
947	82	30	弥生土器　甕	(16.6)	−	−	0.5〜4mm多 石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部2/8	内面:ヘラケズリ、マメツ 外面:ヘラミガキ、マメツ	SR02	−
948	82	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.3〜1mm 長石、石英	硬質	内面:にぶい褐7.5YR5/3 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部4/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
949	82	−	弥生土器　甕	(25.0)	−	−	0.5〜1mm 長石、石英	軟質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ	SR02	−
950	82	−	弥生土器　甕	(25.0)	−	−	1〜1.5mm少 石英	軟質	内面:浅黄橙7.5YR8/6 外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
951	82	−	弥生土器　甕	(14.0)	−	−	0.5〜0.7mm少 長石	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい褐7.5YR5/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
952	82	−	弥生土器　甕	(14.0)	−	−	精緻	軟質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
953	82	−	弥生土器　甕	(14.6)	−	−	0.5〜2mm少 石英	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
954	82	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ	SR02	−
955	82	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	0.2〜1mm 長石、石英	硬質	内面:明赤褐2.5YR5/6 外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
956	82	−	弥生土器　甕	(15.6)	−	−	精緻　長石、 石英	普通	内面:灰白2.5Y8/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
957	82	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	精緻　石英	硬質	内外面:明赤褐2.5YR5/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ナデ	SR02	−
958	82	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	0.3〜2mm 石英	硬質	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
959	82	−	弥生土器　甕	(15.0)	−	−	1〜3mm 長石、石英	軟質	内外面:淡赤橙2.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
960	82	−	弥生土器　甕	−	−	−	精緻　長石	硬質	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8未満	内外面:ヨコナデ	SR02	−
961	82	−	弥生土器　甕	(17.2)	−	−	1〜2mm多 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:橙7.5YR6/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
962	82	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	精緻　雲母	硬質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:にぶい赤褐2.5YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
963	82	−	弥生土器　甕	(20.0)	−	−	精緻	軟質	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8未満	内外面:ヨコナデ	SR02	−
964	82	−	弥生土器　壺	(19.6)	−	−	0.3〜1.2mm 長石	普通	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
965	82	−	弥生土器　甕	(17.7)	−	−	1〜2mm 石英	普通	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、剥離 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
966	82	−	弥生土器　甕	(23.2)	−	−	0.2〜0.7mm 長石、石英、雲母	硬質	内面:にぶい赤褐5YR5/4 外面:灰褐7.5YR4/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SR02	−
967	82	−	弥生土器　甕	(23.0)	−	−	精緻　石英	軟質	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
968	82	−	弥生土器　甕	(23.3)	−	−	0.3〜2mm 石英	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ	SR02	−
969	82	−	弥生土器　甕	(24.0)	−	−	精緻　石英	軟質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
970	82	−	弥生土器　甕	(24.0)	−	−	0.2〜1mm少 長石	硬質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
971	83	−	弥生土器　甕	(14.8)	−	−	精緻	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
972	83	−	弥生土器　甕	(15.6)	−	−	精緻　長石	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:灰白10YR8/1	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
973	83	−	弥生土器　甕	(17.2)	−	−	精緻　石英	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
974	83	−	弥生土器　甕	(16.2)	−	−	1〜2mm少 長石	硬質	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
975	83	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.2〜1mm多 長石、石英、雲母	普通	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:黄褐10YR5/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
976	83	−	弥生土器　甕	(18.0)	−	−	0.2〜0.7mm 長石、石英	硬質	内面:にぶい赤褐5YR5/4 外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
977	83	−	弥生土器　甕	(18.0)	−	−	0.5〜1.5mm多 長石	普通	内面:橙7.5YR6/6 外面:灰黄褐10YR4/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
978	83	−	弥生土器　甕	(17.8)	−	−	0.2〜1mm少 長石	硬質	内面:橙5YR7/6 外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
979	83	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	0.3〜1mm 石英	硬質	内面:にぶい赤褐5YR5/4 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
980	83	−	弥生土器　甕	(18.9)	−	−	0.5〜1mm多 長石、石英	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	土器溜り
981	83	−	弥生土器　甕	−	−	−	精緻	硬質	内面:灰黄2.5Y6/2 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、板ナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
982	83	−	弥生土器　甕	(21.2)	−	−	1〜3mm多 石英	硬質	内外面:にぶい褐7.5YR5/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
983	83	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.2〜0.5mm少 石英	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
984	83	−	弥生土器　甕	(15.8)	−	−	0.2〜3mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ	SR02	−
985	83	−	弥生土器　甕	(25.0)	−	−	0.2〜2mm少 長石	軟質	内外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
986	83	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.3〜1mm 長石	普通	内面:明褐7.5YR5/6 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8未満	内外面:マメツ	SR02	−
987	83	−	弥生土器　甕	(13.0)	−	−	0.2〜0.5mm少 雲母	硬質	内外面:にぶい褐7.5YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ、剥離	SR02	−
988	83	−	弥生土器　甕	(26.2)	−	−	1〜8mm少 石英	硬質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ナデ	SR02	−
989	83	−	弥生土器　甕	(13.9)	−	−	1〜2mm少 石英	普通	内外面:淡赤橙2.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
990	83	−	弥生土器　甕	(33.2)	−	−	0.5〜2mm多 石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:暗灰黄2.5Y5/2	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR02	−
991	83	−	弥生土器　甕	(15.2)	−	−	0.3〜0.5mm少 長石	硬質	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SR02	−
992	83	−	弥生土器　甕	(15.9)	−	−	精緻	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
993	83	−	弥生土器　甕	(33.6)	−	−	0.3〜1mm少 石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
994	84	−	弥生土器　甕	(18.1)	−	−	0.2〜0.5mm少 長石	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
995	84	−	弥生土器　甕	(18.6)	−	−	1〜3mm多 石英	硬質	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ、剥離	SR02	−
996	84	−	弥生土器　甕	(20.1)	−	−	0.2〜0.5mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
997	84	−	弥生土器　甕	(19.6)	−	−	1〜1.5mm多 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部2/8	内外面:マメツ	SR02	−
998	84	−	弥生土器　甕	(20.0)	−	−	精緻	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
999	84	−	弥生土器　甕	(21.0)	−	−	0.2〜1mm 長石	普通	内外面:にぶい褐7.5YR6/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ	SR02	−
1000	84	−	弥生土器　甕	(20.2)	−	−	0.3〜1mm 石英	普通	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1001	84	−	弥生土器　甕	(21.0)	−	−	1〜2mm多 石英	軟質	内外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
1002	84	−	弥生土器　甕	(20.4)	−	−	0.5〜4mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1003	84	−	弥生土器　甕	(24.0)	−	−	精緻	普通	内面:橙7.5YR7/6 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
1004	84	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	精緻	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ナデ	SR02	−
1005	84	−	弥生土器　甕	(19.1)	−	−	0.5〜1mm 長石	普通	内外面:灰黄褐10YR5/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ	SR02	−
1006	84	−	弥生土器　甕	(20.0)	−	−	1〜1.2mm 石英	普通	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1007	84	−	弥生土器　甕	(21.0)	−	−	0.3〜3mm多 長石、石英	普通	内面:灰白2.5Y8/2 外面:淡黄2.5Y8/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、マメツ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1008	84	−	弥生土器　甕	(12.4)	−	−	0.2〜0.5mm少 石英	軟質	内面:灰白10YR8/2 外面:灰白10YR7/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ	SR02	−
1009	84	−	弥生土器　甕	(12.8)	−	−	0.1〜1mm 石英	硬質	内面:黒褐10YR3/1 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1010	84	−	弥生土器　甕	(14.0)	−	−	精緻	普通	内面:灰黄褐10YR5/2 外面:灰褐7.5YR5/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1011	84	−	弥生土器　甕	(13.8)	−	−	0.5〜1.5mm少 石英、雲母	硬質	内面:にぶい褐7.5YR5/4 外面:灰黄褐10YR4/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1012	84	−	弥生土器　甕	(14.4)	−	−	精緻　石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1013	84	−	弥生土器　甕	(14.6)	−	−	0.3〜1.2mm 石英	普通	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
1014	84	31	弥生土器　甕	(16.1)	−	−	精緻	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ、ユビオサエ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1015	84	－	弥生土器　甕	(16.6)	－	－	0.2～1mm少 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:マメツ、ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	－
1016	85	－	弥生土器　甕	(21.0)	－	－	0.7～1mm 石英	軟質	内面:褐灰10YR4/1 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SR02	－
1017	85	－	弥生土器　甕	(14.3)	－	－	0.5～1mm 長石	硬質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ナデ	SR02	－
1018	85	－	弥生土器　甕	(16.0)	－	－	0.5～1mm 石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	－
1019	85	－	弥生土器　甕	(18.2)	－	－	0.5～1mm 石英	軟質	内面:灰白2.5Y8/2 外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	－
1020	85	－	弥生土器　甕	(15.8)	－	－	0.2～1mm 長石、石英、雲母	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、マメツ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	－
1021	85	－	弥生土器　甕	(15.0)	－	－	1～5mm少 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ	SR02	－
1022	85	－	弥生土器　甕	(15.4)	－	－	0.5～2mm 長石、石英	硬質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ	SR02	－
1023	85	31	弥生土器　甕	(16.0)	－	－	精緻　長石	硬質	内面:にぶい橙5YR7/4 外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	－
1024	85	－	弥生土器　甕	(14.0)	－	－	0.2～0.4mm 長石	軟質	内外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	－
1025	85	－	弥生土器　甕	(16.5)	－	－	0.3～1.5mm 石英	普通	内外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナテ、ハケメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	－
1026	85	－	弥生土器　甕	(12.6)	－	－	0.2～0.9mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	－
1027	85	－	弥生土器　甕	(17.0)	－	－	0.2～1mm 長石、石英	硬質	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:黒褐10YR3/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SR02	－
1028	85	－	弥生土器　甕	－	－	－	0.2～0.5mm 長石	普通	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:黒褐2.5Y3/1	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	－
1029	85	－	弥生土器　甕	(13.4)	－	－	精緻	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ	SR02	－
1030	85	30	弥生土器　甕	(15.6)	－	－	0.2～2mm 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部7/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	－
1031	85	－	弥生土器　甕	(18.8)	－	－	0.2～3mm多 石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	－
1032	85	－	弥生土器　甕	(14.8)	－	－	精緻	普通	内面:浅黄橙7.5YR8/3 外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	－

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1033	85	−	弥生土器　甕	(15.0)	−	−	0.2〜2mm 石英	硬質	内外面:褐灰7.5YR4/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	SR02	−
1034	85	−	弥生土器　甕	(15.5)	−	−	1〜1.5mm多 長石	硬質	内外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:マメツ、ハケメ、ユビオサエ、ナデ 外面:マメツ、ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ、ヘラケズリ	SR02	−
1035	85	−	弥生土器　甕	(20.0)	−	−	0.5〜1.5mm 長石、石英	硬質	内面:褐灰10YR4/1 外面:灰白10YR7/1	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ	SR02	−
1036	85	−	弥生土器　甕	(15.2)	−	−	精緻　長石、 石英	軟質	内面:黄灰2.5Y5/1 外面:灰黄2.5Y7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ハケメ、マメツ	SR02	−
1037	85	−	弥生土器　甕	(17.5)	−	−	0.5〜2mm多 長石	普通	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1038	85	−	弥生土器　甕	(24.2)	−	−	0.7〜2mm多 長石、石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:浅黄2.5Y7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:マメツ	SR02	−
1039	85	−	弥生土器　甕	−	−	−	1〜1.2mm 石英	普通	内外面:明黄褐10YR7/6	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR02	−
1040	85	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.2〜1mm 長石	軟質	内面:褐灰10YR5/1 外面:灰白10YR7/1	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ナデ	SR02	−
1041	85	−	弥生土器　甕	(14.3)	−	−	精緻　石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ、マメツ	SR02	−
1042	85	−	弥生土器　甕	(15.0)	−	−	精緻　長石	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
1043	85	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.5〜1mm少 長石	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SR02	−
1044	85	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.2〜0.5mm 石英	軟質	内外面:にぶい橙5YR7/3	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ	SR02	−
1045	85	−	弥生土器　甕	(15.0)	−	−	精緻　石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8	内面:ハケメ、ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ユビオサエ、ハケメ、ヨコナデ	SR02	−
1046	85	−	弥生土器　甕	(16.9)	−	−	1〜2mm 長石、石英	硬質	内外面:灰褐7.5YR4/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SR02	−
1047	85	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.7〜1.5mm少 石英	軟質	内面:浅黄橙7.5YR8/4 外面:黄橙10YR8/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1048	86	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.5〜1mm少 石英	硬質	内面:灰白10YR8/2 外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1049	86	−	弥生土器　甕	(16.8)	−	−	1〜2mm多 石英	軟質	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:浅黄2.5Y7/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR02	−
1050	86	−	弥生土器　甕	(18.0)	−	−	0.3〜0.5mm 長石	硬質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1051	86	−	弥生土器　甕	(19.3)	−	−	精緻　長石、石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラミガキ	SR02	−
1052	86	−	弥生土器　甕	(19.8)	−	−	0.3~0.5mm少 長石	硬質	内面:にぶい赤褐2.5YR5/4 外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1053	86	30	弥生土器　甕	(16.8)	−	−	精緻　石英	硬質	内外面:橙2.5YR6/6	口縁部4/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラミガキ	SR02	−
1054	86	−	弥生土器　甕	(27.0)	−	−	精緻　石英	軟質	内外面:淡橙5YR8/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
1055	86	−	弥生土器　甕	(34.0)	−	−	1~2mm多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1056	86	−	弥生土器　甕	(30.4)	−	−	0.2~1mm 長石、石英	硬質	内面:にぶい赤褐5YR5/4 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1057	86	−	弥生土器　甕	(33.0)	−	−	0.2~0.7mm多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1058	86	−	弥生土器　甕	(28.0)	−	−	1~2mm少 石英	軟質	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1059	86	−	弥生土器　甕	(21.8)	−	−	0.3~4mm 石英	普通	内面:明黄褐10YR7/6 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内外面:ハケメ、マメツ	SR02	−
1060	86	−	弥生土器　甕	(24.6)	−	−	0.2~1mm 石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:にぶい橙7.5YR7/3	口縁部3/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1061	86	−	弥生土器　甕	(23.6)	−	−	0.2~0.5mm少 石英	軟質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:灰白10YR8/2	口縁部 1/8未満	内面:ヨコナテ、マメツ 外面:ハケメ	SR02	−
1062	86	−	弥生土器　甕	(16.1)	−	−	0.7~1mm 長石	硬質	内面:橙7.5YR7/6 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1063	86	−	弥生土器　甕	(16.0)	−	−	精緻　長石、石英	硬質	内面:にぶい赤褐2.5YR5/4 外面:にぶい赤褐5YR5/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
1064	86	−	弥生土器　甕	(22.0)	−	−	0.1~2mm 長石、石英、雲母	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
1065	86	−	弥生土器　甕	(20.0)	−	−	1~3mm多 石英	硬質	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、ハケメ、ヘラケズリ	SR02	−
1066	87	−	弥生土器　甕	(19.6)	−	−	1~4mm 長石、石英	軟質	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1067	87	−	弥生土器　甕	(26.0)	−	−	精緻　石英	硬質	内面:橙7.5YR7/6 外面:橙7.5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1068	87	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.5~1mm 長石	普通	内面:浅黄橙7.5YR8/6 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1069	87	−	弥生土器　甕	−	−	−	精緻　石英	普通	内面:褐灰7.5YR6/2 外面:灰褐7.5YR5/2	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SR02	−
1070	87	−	弥生土器　甕	(26.0)	−	−	0.3〜1mm長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1071	87	−	弥生土器　甕	(25.6)	−	−	1〜2mm多石英	普通	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:マメツ、ハケメ	SR02	−
1072	87	−	弥生土器　甕	(25.0)	−	−	0.7〜1.5mm多長石、石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1073	87	−	弥生土器　甕	(29.6)	−	−	0.3〜2mm多石英	軟質	内外面:淡黄2.5Y8/4	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1074	87	−	弥生土器　甕	(21.0)	−	−	0.5〜1mm少	普通	内外面:褐灰10YR6/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ハケメ	SR02	−
1075	87	−	弥生土器　甕	(30.0)	−	−	1〜1.5mm少石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:剥離	SR02	−
1076	87	−	弥生土器　甕	22.0	−	−	0.5〜1mm石英	普通	内面:橙5YR7/6 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8	内面:ハケメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1077	87	−	弥生土器　甕	(30.0)	−	−	0.7〜2mm少長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:黄橙10YR8/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1078	87	−	弥生土器　甕	(32.6)	−	−	0.2〜1.3mm石英	普通	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1079	87	−	弥生土器　甕	(12.4)	−	−	精緻　石英	普通	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:灰白2.5Y8/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ、ヘラケズリ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
1080	87	−	弥生土器　甕	(12.0)	−	−	精緻　石英	軟質	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:灰白2.5Y7/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
1081	87	−	弥生土器　甕	(14.4)	−	−	0.5〜1mm石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1082	87	−	弥生土器　甕	(10.2)	−	−	1〜2mm多石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1083	87	−	弥生土器　甕	(8.8)	−	−	1〜4mm石英	軟質	内面:褐灰10YR4/1 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:ユビオサエ、ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1084	87	−	弥生土器　甕	(19.6)	−	−	0.2〜3mm多長石、石英	普通	内面:にぶい橙5YR7/4 外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:マメツ、板ナデ	SR02	−
1085	87	−	弥生土器　甕	(15.4)	−	−	0.1〜0.3mm少	軟質	内外面:浅黄橙7.5YR8/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ	SR02	−
1086	87	−	弥生土器　甕	−	12.8	(10.4)	0.2〜2mm石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:にぶい黄橙10YR7/4	底部5/8	内面:マメツ 外面:ヘラミガキ、ハケメ	SR02	−
1087	87	−	弥生土器　甕	−	7.6	(9.8)	0.1〜1.5mm長石、石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	底部2/8	内面:ヘラケズリ 外面:ハケメ、ユビオサエ、ナデ	SR02	−
1088	87	−	弥生土器　甕	−	5.7	6.0	1〜2mm多石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:橙7.5YR7/6	底部8/8	内面:ユビオサエ 外面:ヘラミガキ、ナデ	SR02	−
1089	87	−	弥生土器　甕	−	6.0	7.2	1〜2mm多長石、石英	硬質	内外面:明黄褐10YR7/6	底部8/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1090	87	−	弥生土器　甕	−	9.6	(7.8)	精緻　石英	硬質	内外面:浅黄橙10YR8/4	底部2/8	内面:ユビオサエ、ナデ 外面:ヘラミガキ、ナデ	SR02	−
1091	87	−	弥生土器　甕	−	3.2	(11.2)	0.5〜2mm 長石、石英	普通	外面:灰黄褐10YR5/2	底部3/8	外面:ヨコナデ、ナデ	SR02	−
1092	88	−	弥生土器　鉢	(27.6)	−	−	1〜1.5mm 長石、石英	硬質	内面:灰白10YR8/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ	SR02	−
1093	88	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内面:にぶい褐7.5YR5/4 外面:にぶい橙7.5YR5/3	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1094	88	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.5〜1mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR02	−
1095	88	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.2〜2mm 長石	普通	内面:黒褐2.5Y3/1 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8 未満	内面:ナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ	SR02	−
1096	88	−	弥生土器　鉢	−	−	−	1〜2mm多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR02	−
1097	88	−	弥生土器　鉢	(41.8)	−	−	0.3〜0.7mm 長石、石英	硬質	内面:にぶい赤褐5YR5/4 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
1098	88	−	弥生土器　鉢	−	−	−	1〜2mm多 石英	軟質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:暗灰N3/	口縁部1/8 未満	内面:マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ、ヘラケズリ	SR02	−
1099	88	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.3〜2mm多 石英	普通	内面:にぶい黄2.5Y6/3 外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR02	−
1100	88	−	弥生土器　鉢	(28.0)	−	−	精緻　雲母	硬質	内面:にぶい褐7.5YR6/3 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ	SR02	−
1101	88	−	弥生土器　鉢	(42.6)	−	−	0.2〜2mm 石英	普通	内外面:褐灰10YR4/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラケズリ	SR02	−
1102	88	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.2〜3mm 長石、石英、雲母	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラミガキ 外面:ヘラミガキ	SR02	−
1103	88	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.2〜2mm 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
1104	88	−	弥生土器　鉢	(22.4)	−	−	精緻	軟質	内外面:にぶい赤橙10R6/4	口縁部1/8	内外面:剥離	SR02	−
1105	88	−	弥生土器　鉢	(27.2)	−	−	0.2〜0.5mm 石英	普通	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
1106	88	−	弥生土器　鉢	(27.2)	−	−	0.5〜1mm多 石英	普通	内外面:灰白2.5Y7/1	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1107	88	−	弥生土器　鉢	(41.0)	−	−	0.3〜2mm 長石、石英	硬質	内外面:灰褐7.5YR5/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1108	88	−	弥生土器　鉢	−	−	−	1〜1.5多 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:にぶい黄褐10YR5/3	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ	SR02	−
1109	88	−	弥生土器　鉢	(25.5)	−	−	0.5〜1mm 石英	普通	内外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ハケメ	SR02	−
1110	88	−	弥生土器　鉢	(13.5)	−	−	0.5〜1mm 長石、石英	普通	内面:灰白2.5Y8/2 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラケズリ、ヘラミガキ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1111	88	−	弥生土器　鉢	(15.8)	−	−	精緻	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1112	88	−	弥生土器　鉢	(16.8)	−	−	1〜2㎜多 石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1113	88	−	弥生土器　鉢	(16.9)	−	−	0.2〜3㎜ 石英	普通	内面:黄橙10YR8/6 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ、マメツ 外面:マメツ	SR02	−
1114	88	−	弥生土器　鉢	(20.6)	−	−	精緻	硬質	内面:浅黄橙7.5YR8/4 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1115	89	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.3〜1㎜ 長石、石英	硬質	内面:褐灰10YR6/1 外面:暗灰N3/	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ナデ	SR02	−
1116	89	−	弥生土器　鉢	(36.2)	−	−	0.5〜1㎜ 長石	軟質	内外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8	内面:ユビオサエ、ハケメ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	SR02	−
1117	89	−	弥生土器　鉢	(15.0)	−	−	0.2〜1㎜多 長石	普通	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1118	89	−	弥生土器　鉢	(34.0)	−	−	0.2〜0.5㎜少	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:明黄褐10YR7/6	口縁部1/8	内面:マメツ、ユビオサエ 外面:マメツ、板ナデ	SR02	−
1119	89	−	弥生土器　鉢	(18.0)	−	−	0.2〜2㎜多 長石	硬質	内面:黒10YR2/1 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:マメツ、ヘラミガキ 外面:マメツ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
1120	89	−	弥生土器　鉢	(31.0)	−	−	0.5〜1㎜ 石英	普通	内外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、板ナデ	SR02	−
1121	89	−	弥生土器　鉢	(23.0)	−	−	精緻	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:マメツ、ハケメ、ヘラミガキ	SR02	−
1122	89	−	弥生土器　鉢	(23.0)	−	−	1〜2㎜ 石英	軟質	内外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1123	89	31	弥生土器　鉢	(43.6)	−	−	1〜1.5㎜多 石英	硬質	内外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ	SR02	−
1124	89	−	弥生土器　鉢	(14.0)	−	−	0.3〜1㎜ 長石、石英	軟質	内外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8	内面:板ナデ 外面:ヘラケズリ	SR02	−
1125	89	−	弥生土器 高杯	(22.2)	−	−	精緻	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:マメツ	SR02	−
1126	89	−	弥生土器 高杯	(24.2)	−	−	0.2〜3㎜ 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	SR02	−
1127	89	33	弥生土器 高杯	(21.4)	−	−	0.5〜3㎜多 長石、石英	普通	内面:暗褐2.5YR4/6 外面:明赤褐2.5YR5/6	杯部4/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1128	89	−	弥生土器 高杯	−	−	−	精緻　石英	軟質	内外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR02	−
1129	89	32	弥生土器 高杯	(19.2)	−	−	0.3〜2㎜ 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙7.5YR8/4	口縁部2/8	内面:ヘラミガキ、ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ヘラケズリ、ヘラミガキ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1130	89	32	弥生土器 高杯	(20.0)	−	−	精緻	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部6/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、ナデ、シボリメ	SR02	−
1131	89	−	弥生土器 高杯	(19.4)	−	−	0.5〜1mm多 石英	硬質	内面:明赤褐2.5YR5/6 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ、ハケメ	SR02	−
1132	89	−	弥生土器 高杯	(26.6)	−	−	0.5〜1.5mm多 長石、石英	普通	内外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR02	−
1133	89	−	弥生土器 高杯	(26.4)	−	−	精緻	普通	内面:浅黄橙7.5YR8/3 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8	内面:剥離 外面:ヨコナデ	SR02	−
1134	89	−	弥生土器 高杯	(20.1)	−	−	1〜3mm多 長石、石英	普通	内面:にぶい赤褐5YR5/4 外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR02	−
1135	90	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.1〜1mm 長石	硬質	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、板ナデ	SR02	−
1136	90	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.2〜3mm 長石、石英	硬質	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1137	90	−	弥生土器 高杯	(29.2)	−	−	0.2〜1mm少 長石	普通	内面:灰白10YR7/1 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/8	内面:板ナデ、ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1138	90	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.3〜1mm多 石英	普通	内面:褐7.5YR4/4 外面:にぶい黄褐10YR4/3	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SR02	−
1139	90	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.7〜2mm多 長石、石英	普通	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	SR02	−
1140	90	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.5〜4mm多 石英	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:黄灰2.5Y6/1	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ	SR02	−
1141	90	−	弥生土器 高杯	(27.8)	−	−	0.5〜2mm少 石英	硬質	内面:にぶい褐7.5YR5/3 外面:にぶい褐7.5YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SR02	−
1142	90	−	弥生土器 高杯	(24.5)	−	−	0.3〜2mm多 長石、石英、 片岩	硬質	内面:黒褐10YR3/1 外面:灰黄褐10YR5/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1143	90	−	弥生土器 高杯	(19.2)	−	−	1〜2mm 長石	軟質	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:浅黄2.5Y7/3	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR02	−
1144	90	−	弥生土器 高杯	(24,6)	−	−	精緻　雲母	硬質	内外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
1145	90	−	弥生土器 高杯	(22.8)	−	−	0.2〜2mm 石英	硬質	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1146	90	−	弥生土器 高杯	(28.8)	−	−	0.3〜1mm多 石英	軟質	内面:淡黄2.5Y8/3 外面:灰白2.5Y8/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1147	90	−	弥生土器 高杯	(24.0)	−	−	0.5〜4mm 長石、石英、 雲母	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ 外面:ヘラミガキ	SR02	−
1148	90	−	弥生土器 高杯	(34.2)	−	−	0.3〜0.7mm 長石、石英	硬質	内面:明褐7.5YR5/6 外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1149	90	−	弥生土器 高杯	(21.4)	−	−	0.3〜1.2mm 石英	硬質	内面:橙7.5YR7/6 外面:にぶい橙5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1150	90	−	弥生土器 高杯	(41.0)	−	−	1〜2mm多 長石、石英	普通	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:浅黄2.5Y7/4	口縁部1/8	内外面:マメツ	SR02	−
1151	90	−	弥生土器 高杯	(27.0)	−	−	0.5〜1mm多 石英	軟質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:マメツ、ヘラミガキ	SR02	−
1152	90	−	弥生土器 高杯	(26.1)	−	−	0.2〜2mm 長石、石英	硬質	内面:褐7.5YR4/4 外面:にぶい褐7.5YR5/3	口縁部1/8	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:マメツ、ヘラケズリ、ヘラミガキ	SR02	−
1153	90	−	弥生土器 高杯	(22.6)	−	−	0.3〜1mm多 長石、石英	硬質	内面:明赤褐5YR5/8 外面:赤褐5YR4/8	口縁部1/8	内面:マメツ、ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ	SR02	−
1154	90	−	弥生土器 高杯	(22.0)	−	−	精緻　石英	軟質	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	SR02	−
1155	90	−	弥生土器 高杯	(15.0)	−	−	精緻	硬質	内外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1156	90	−	弥生土器 高杯	(13.0)	−	−	0.3〜1mm少 石英	軟質	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:にぶい褐7.5YR5/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ヘラケズリ	SR02	−
1157	90	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.5〜1.5mm 長石	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8 未満	内外面:ヘラミガキ、マメツ	SR02	−
1158	90	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.2〜2mm多 長石、石英	硬質	内面:灰黄褐10YR5/2 外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8 未満	内面:マメツ 外面:マメツ、ヘラミガキ	SR02	−
1159	90	−	弥生土器 高杯	(17.0)	−	−	0.3〜1mm 長石	硬質	内外面:明赤褐5YR5/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ	SR02	−
1160	90	−	弥生土器 高杯	(22.0)	−	−	0.5〜1mm 石英、雲母	普通	内面:黒褐10YR3/1 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ、マメツ、シボリメ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ	SR02	−
1161	91	−	弥生土器 高杯	(19.0)	−	−	0.5〜2mm 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ユビオサエ、マメツ 外面:マメツ、板ナデ	SR02	−
1162	91	−	弥生土器 高杯	(20.0)	−	−	1〜3mm 石英	軟質	内外面:橙2.5YR6/6	口縁部2/8	内外面:マメツ	SR02	−
1163	91	−	弥生土器 高杯	(19.8)	−	−	精緻　長石、 石英、雲母	硬質	内面:浅黄橙7.5YR8/4 外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1164	91	−	弥生土器 高杯	(24.4)	−	−	精緻　石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、板ナデ、ヘラミガキ、ユビオサエ	SR02	−
1165	91	−	弥生土器 高杯	27.6	−	−	0.2〜1.5mm 長石、石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	SR02	−
1166	91	−	弥生土器 高杯	(27.0)	−	−	0.2〜2mm 石英	硬質	内面:黄灰2.5Y6/1 外面:灰黄2.5Y6/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	SR02	−
1167	91	−	弥生土器 高杯	−	−	−	精緻	軟質	内外面:淡黄2.5Y8/3	脚部4/8	内面:ナデ、ヘラミガキ、シボリメ 外面:ナデ、ヘラミガキ、マメツ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1168	91	−	弥生土器 高杯	(14.7)	−	−	精緻	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、板ナデ	SR02	−
1169	91	33	弥生土器 高杯	(15.2)	−	−	0.1〜0.7㎜ 長石、雲母	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	口縁部5/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1170	91	−	弥生土器 高杯	(14.5)	−	−	0.2〜1㎜ 長石、石英	硬質	内外面:明黄褐10YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1171	91	33	弥生土器 高杯	15.7	−	−	精緻　石英	硬質	内外面:橙5YR7/6	口縁部7/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1172	91	34	弥生土器 高杯	−	14.0	9.8	精緻	軟質	内面:にぶい橙7.5YR7/3 外面:灰黄2.5Y6/2	脚部8/8	内面:シボリメ、ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:板ナデ	SR02	−
1173	91	−	弥生土器 高杯	−	5.0	(12.2)	0.2〜0.7㎜ 石英	普通	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	脚部1/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ヘラミガキ、ヨコナデ	SR02	−
1174	91	−	弥生土器 高杯	−	−	(11.5)	0.3〜1.5㎜ 石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/4	脚部1/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:マメツ、ヨコナデ	SR02	−
1175	91	−	弥生土器 高杯	−	7.4	(10.8)	0.2〜1.5㎜ 長石、石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:にぶい黄橙10YR7/4	脚部1/8	内面:シボリメ、ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ	SR02	−
1176	91	−	弥生土器 高杯	−	5.4	(13.0)	0.2〜2㎜ 石英	硬質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:にぶい橙7.5YR6/4	脚部2/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ユビオサエ、ヨコナデ	SR02	−
1177	91	−	弥生土器 高杯	−	−	(14.0)	0.5〜1㎜ 石英	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	脚部1/8	内面:ヘラケズリ 外面:マメツ	SR02	−
1178	91	33	弥生土器 高杯	−	10.3	7.5	精緻	軟質	内面:灰白2.5Y8/2 外面:にぶい橙7.5YR7/3	脚部4/8	内面:ユビオサエ、ヘラミガキ、ハケメ、ヘラケズリ 外面:ユビオサエ、ヘラミガキ	SR02	−
1179	91	−	弥生土器 高杯	−	6.8	10.0	0.5〜2㎜少 長石	普通	内外面:白灰2.5Y8/2	脚部8/8	内面:シボリメ、ヘラケズリ 外面:マメツ、ヨコナデ	SR02	−
1180	91	−	弥生土器 高杯	−	7.4	(11.0)	0.5〜1㎜少 長石	軟質	内面:黒褐10YR3/1 外面:にぶい黄橙10YR7/4	脚部1/8	内面:ヘラケズリ 外面:マメツ	SR02	−
1181	91	35	弥生土器 高杯	−	8.0	(15.6)	0.2〜1㎜ 長石、石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR6/3	脚部1/8	内面:板ナデ、ユビオサエ 外面:マメツ	SR02	−
1182	91	−	弥生土器 高杯	−	3.2	(18.0)	精緻	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	脚部1/8	内外面:マメツ、ヨコナデ	SR02	−
1183	91	34	弥生土器 高杯	−	13.7	(13.4)	0.2〜1㎜ 石英	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:明赤褐5YR5/6	脚部6/8	内面:ヘラミガキ、マメツ、ヨコナデ 外面:ナデ、ヘラケズリ、ユビオサエ、ヨコナデ	SR02	土器溜り
1184	91	34	弥生土器 高杯	−	10.3	(11.0)	精緻	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	脚部4/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヘラミガキ	SR02	−
1185	91	−	弥生土器 高杯	−	12.0	13.6	0.5〜3㎜多 石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:にぶい橙2.5YR6/4	脚部6/8	内面:ヘラケズリ、マメツ 外面:マメツ	SR02	−
1186	91	−	弥生土器 高杯	−	2.5	(14.7)	0.2〜5㎜ 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:橙5YR7/6	脚部1/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:マメツ、ヨコナデ	SR02	−
1187	91	−	弥生土器 高杯	−	6.6	(15.6)	0.5〜1㎜ 石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい橙7.5YR7/4	脚部1/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ヘラミガキ、ヨコナデ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1188	91	−	弥生土器 高杯	−	15.0	(14.8)	1〜2㎜多 石英	軟質	内外面:にぶい橙2.5YR6/3	脚部7/8	内面:シボリメ、マメツ 外面:マメツ	SR02	−
1189	91	−	弥生土器 高杯	−	15.5	(13.0)	1〜3㎜ 長石	普通	内外面:橙5YR6/6	脚部2/8	内外面:マメツ	SR02	−
1190	91	−	弥生土器 高杯	−	8.5	−	0.3〜2㎜ 石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/3	脚部1/8 未満	内外面:マメツ	SR02	−
1191	91	−	弥生土器 高杯	−	5.7	(15.3)	0.5〜2㎜多 長石、石英	普通	内面:橙5YR7/6 外面:橙5YR6/6	脚部2/8	内面:ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ナデ、ヨコナデ	SR02	−
1192	91	−	弥生土器 高杯	−	2.8	(16.2)	0.5〜1㎜多 石英	軟質	内面:浅黄2.5Y7/3 外面:浅黄橙10YR8/3	脚部2/8	内面:ヘラケズリ 外面:マメツ	SR02	−
1193	91	−	弥生土器 高杯	−	4.0	−	0.2〜1㎜ 石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:灰黄褐10YR6/2	脚部1/8 未満	内面:ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ	SR02	−
1194	92	−	弥生土器 高杯	−	4.9	(11.6)	0.5〜2㎜少 石英	硬質	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:橙5YR7/6	脚部1/8	内面:ユビオサエ、板ナデ、ヨコナデ 外面:ハケメ、ヨコナデ	SR02	−
1195	92	−	弥生土器 高杯	−	11.3	12.0	精緻	普通	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:赤橙10R6/6	脚部7/8	内面:ユビオサエ、シボリメ、ヨコナデ 外面:マメツ、ヘラミガキ、ヨコナデ	SR02	−
1196	92	33	弥生土器 高杯	−	13.1	11.6	精緻　長石	軟質	内面:灰白2.5Y8/2 外面:浅黄橙10YR8/3	脚部4/8	内面:ナデ、シボリメ、ヨコナデ 外面:ハケメ、マメツ、ヨコナデ	SR02	−
1197	92	−	弥生土器 高杯	−	9.3	(12.6)	0.2〜2㎜ 長石、石英	普通	内面:黒褐2.5Y3/1 外面:灰白2.5Y8/1	脚部2/8	内面:板ナデ、ヨコナデ 外面:ヘラミガキ、ヨコナデ、マメツ	SR02	−
1198	92	−	弥生土器 高杯	−	7.9	(10.8)	1〜2㎜少 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	脚部2/8	内面:ヘラケズリ、マメツ 外面:ハケメ、マメツ	SR02	−
1199	92	−	弥生土器 器台	−	−	(27.0)	0.3〜2㎜多 石英	普通	内外面:黒褐2.5Y3/1	脚部1/8	内外面:ヨコナデ	SR02	−
1200	92	−	弥生土器 器台	−	4.5	(32.0)	精緻　長石	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	脚部1/8	内面:ユビオサエ 外面:ヨコナデ	SR02	−
1201	92	−	弥生土器　蓋	つまみ部 3.0	−	−	0.1〜1㎜ 長石、石英	硬質	内面:褐灰10YR4/1 外面:褐灰10YR6/1	つまみ部 8/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	SR02	−
1202	92	35	弥生土器　皿	10.5	2.0	1.5	0.2〜1㎜多 長石、石英	普通	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:黄灰2.5Y4/1	完形品	内外面:マメツ	SR02	−
1203	92	−	弥生土器　甑	−	2.8	(5.7)	0.3〜2㎜ 長石、石英	硬質	内面:にぶい黄褐10YR5/3 外面:橙7.5YR6/6	底部5/8	内面:ナデ 外面:マメツ	SR02	−
1204	92	−	弥生土器　甑	−	2.6	5.2	0.3〜2㎜多 石英	硬質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:橙2.5YR6/6	底部8/8	内面:ユビオサエ 外面:ユビオサエ、ナデ	SR02	−
1205	92	−	弥生土器　甑	−	4.3	(7.8)	0.5〜1㎜ 長石、石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい黄橙10YR6/4	底部4/8	内面:ヘラケズリ 外面:マメツ、ユビオサエ、ナデ	SR02	−
1206	92	37	弥生土器　〃 ニチュア土器	3.2	4.6	1.3	0.2〜1㎜ 長石	硬質	内外面:褐7.5YR4/4	完形品	内外面:ユビオサエ、ナデ	SR02	−
1207	92	37	弥生土器　〃 ニチュア土器	2.6	4.4	0.8	0.2〜1㎜ 石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	完形品	内面:ナデ 外面:ユビオサエ	SR02	−

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1208	92	37	弥生土器　ミニチュア土器	3.8	－	－	精緻	軟質	内面:灰白10YR8/1 外面:にぶい黄橙10YR7/2	口縁部8/8	内面:ユビナデ 外面:ユビオサエ、ヘラケズリ、ヘラミガキ	SR02	－
1209	92	－	弥生土器　ミニチュア土器	4.0	6.0	2.5	0.1～1.5㎜ 長石	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	完形品	内面:ヨコナデ、ナデ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ	SR02	－
1210	92	－	弥生土器　ミニチュア土器	4.5	6.2	3.2	0.2～1㎜ 石英	普通	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:灰黄2.5Y7/2	完形品	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	SR02	－
1211	92	37	弥生土器　ミニチュア土器	(5.0)	－	－	0.5～1㎜ 長石、石英	普通	内外面:褐灰10YR5/1	体部8/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ユビオサエ、ナデ、ヘラケズリ	SR02	－
1212	92	－	弥生土器　ミニチュア土器	－	4.1	(1.5)	0.5～2㎜ 長石、石英	普通	内外面:黄灰2.5Y5/1	底部8/8	内面:ナデ 外面ユビオサエ	SR02	－
1213	92	－	弥生土器　ミニチュア土器	－	－	(3.2)	0.5～1㎜少 長石	普通	内面:橙5YR7/6 外面:にぶい褐7.5YR6/3	脚部8/8	内面:ヨコナデ 外面:ナデ、ユビオサエ	SR02	－
1214	92	－	弥生土器　ミニチュア土器	－	2.0	2.6	1～1.5㎜少 石英	普通	内面:にぶい褐7.5YR5/3 外面:黒褐7.5YR3/1	底部8/8	内面:ユビナデ 外面:ユビオサエ、ハケメ	SR02	－
1215	92	－	弥生土器　ミニチュア土器	(3.9)	－	－	精緻	軟質	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:灰白2.5Y7/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	SR02	－
1385	108	－	弥生土器　壺	(21.8)	－	－	精緻	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	IC区	第1層
1386	108	－	弥生土器　甕	－	3.7	3.8	0.5～1.2㎜ 長石	普通	内面:黒褐10YR3/1 外面:明黄褐10YR7/6	底部8/8	内面:ナデ、剥離 外面:タタキ	IB区	第1層
1387	108	－	弥生土器　壺	(15.8)	－	－	1～2㎜ 石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	IA区	第2層
1388	108	－	弥生土器　壺	(20.0)	－	－	0.7～2㎜多 長石、石英	硬質	内面:にぶい赤褐5YR5/4 外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ	IA区	第2層
1389	108	－	弥生土器　壺	(22.4)	－	－	0.5～1㎜多 長石、石英	普通	内外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	IC区	第2層
1390	108	25	弥生土器　壺	(23.2)	－	－	1～2㎜ 石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内面:ユビオサエ、ハケメ 外面:ハケメ	IC区	第2層
1391	108	－	弥生土器　壺	(22.0)	－	－	0.4～2㎜多 石英	普通	内外面:橙5YR6/8	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ユビオサエ	IC区	第2層
1392	108	－	弥生土器　壺	(20.8)	－	－	0.5～0.8㎜ 長石、石英	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:明褐7.5YR5/8	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	IC区	第2層
1393	108	25	弥生土器　壺	(24.0)	－	－	0.2～0.5㎜多 長石、石英	硬質	内面:明赤褐5YR5/6 外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	IA区	第2層
1394	108	－	弥生土器　壺	(18.0)	－	－	0.3～1㎜ 長石、石英	硬質	内外面:赤褐2.5YR4/8	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ	IC区	第2層
1395	108	－	弥生土器　壺	(12.2)	－	－	0.5～1.5㎜ 長石、石英	普通	内面:明黄褐10YR7/6 外面:橙5YR7/6	口縁部2/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	IA区	第2層
1396	108	－	弥生土器　壺	(18.6)	－	－	0.5～2㎜ 石英	普通	内面:橙7.5YR7/6 外面:橙5YR7/8	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	IC区	第2層

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1397	108	−	弥生土器　壺	(17.2)	−	−	0.5〜3mm多 石英	普通	内面:明赤褐2.5YR5/6 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:剥離 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩA区	第2層
1398	108	23	弥生土器　壺	17.8	−	−	精緻　石英	硬質	内面:橙7.5YR7/6 外面:橙5YR7/6	口縁部5/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩC区	第2層
1399	108	−	弥生土器　壺	(15.8)	−	−	精緻　石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:橙5YR　6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:板ナデ、ヨコナデ	ＩC区	第2層
1400	108	−	弥生土器　壺	(20.8)	−	−	0.5〜2mm 長石、石英	普通	内面:橙7.5YR7/6 外面:橙5YR7/6	口縁部2/8	内外面:マメツ	ＩC区	第2層
1401	108	−	弥生土器　壺	(16.8)	−	−	精緻	普通	内外面:橙2.5YR6/8	口縁部1/8	内外面:マメツ	ＩB区	第2層
1402	108	−	弥生土器　壺	(12.8)	−	−	0.2〜1mm少 石英	硬質	内外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩC区	第2層
1403	108	−	弥生土器　壺	(23.8)	−	−	0.2〜1mm多 長石	硬質	内面:橙2.5YR7/6 外面:淡赤橙2.5YR7/4	口縁部3/8	内面:ヨコナデ 外面:ヘラケズリ、ヨコナデ	ＩA区	第2層
1404	108	−	弥生土器　壺	(22.4)	−	−	0.1〜1mm 長石	硬質	内面:にぶい褐7.5YR5/3 外面:橙5YR6/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩA区	第2層
1405	109	−	弥生土器　壺	−	−	−	0.2〜3mm多 長石、石英	硬質	内面:にぶい黄橙10YR6/4 外面:にぶい橙5YR6/4	頸部1/8	内面:ユビオサエ、マメツ 外面:ナデ	ＩA区	第2層
1406	109	−	弥生土器　壺	(24.8)	−	−	精緻　長石	硬質	内外面:橙2.5YR7/8	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	ＩC区	第2層
1407	109	−	弥生土器　壺	(8.0)	−	−	0.4〜2mm多 長石、石英	硬質	内面:褐灰10YR4/1 外面:橙7.5YR7/6	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:板ナデ、ヨコナデ、ハケメ、マメツ	ＩA区	第2層
1408	109	−	弥生土器　壺	(7.6)	−	−	0.5〜3mm 長石、石英	硬質	内外面:灰黄褐10YR5/2	口縁部1/8	内面:ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩA区	第2層
1409	109	−	弥生土器　壺	(8.4)	−	−	0.1〜5mm少 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:橙5YR7/8	口縁部1/8	内面:板ナデ、ヨコナデ 外面:ヨコナデ	ＩC区	第2層
1410	109	−	弥生土器　壺	(7.2)	−	−	0.5〜1.2mm少 石英、雲母	軟質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:浅黄橙7.5YR8/3	口縁部1/8	内面:ハケメ、ヨコナデ 外面:ヨコナデ、剥離	ＩA区	第2層
1411	109	−	弥生土器　壺	(14.0)	−	−	0.3〜2mm 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙7.5YR6/4 外面:橙2.5YR6/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ	ＩA区	第2層
1412	109	−	弥生土器　壺	(17.0)	−	−	0.1〜2mm多 長石、石英	普通	内外面:明赤褐2.5YR5/8	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩC区	第2層
1413	109	−	弥生土器　壺	(12.0)	−	−	0.2〜1mm 長石、石英	軟質	内面:にぶい橙5YR6/4 外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	ＩA区	第2層
1414	109	−	弥生土器　壺	(12.0)	−	−	精緻　石英	普通	内面:橙5YR6/6 外面:橙7.5YR7/6	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ナデ、シボリメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	ＩC区	第2層
1415	109	27	弥生土器　壺	(12.4)	−	−	0.1〜1mm少 石英	硬質	内面:赤橙10R6/8 外面:橙2.5YR6/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩA区	第2層
1416	109	−	弥生土器　壺	(13.8)	−	−	0.2〜3mm多 長石、石英	硬質	内面:灰黄褐10YR5/2 外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ	ＩA区	第2層
1417	109	28	弥生土器　壺	(14.9)	−	−	0.2〜1mm多 長石、石英	硬質	内面:赤10R5/8 外面:赤橙10R6/8	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	ＩB区	第2層

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1418	109	−	弥生土器　壺	(11.2)	−	−	0.5〜3mm多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR6/3 外面:灰黄褐10YR6/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	IC区	第2層
1419	109	−	弥生土器　壺	(15.6)	−	−	0.2〜3mm 長石、石英	硬質	内外面:橙2.5YR6/8	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ 外面:ヨコナデ	IA区	第2層
1420	109	−	弥生土器　壺	9.8	−	−	0.2〜1.2mm多 長石	硬質	内面:赤褐5YR4/6 外面:明赤褐5YR5/6	口縁部3/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	IA区	第2層
1421	109	−	弥生土器　壺	14.1	−	−	0.1〜1mm多 長石、石英	普通	内面:褐灰10YR5/1 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部8/8	内外面:マメツ	IB区	第2層
1422	109	−	弥生土器　壺	−	11.0	5.4	1〜3mm多 長石、石英	硬質	内面:灰褐5YR6/2 外面:にぶい橙7.5YR7/4	底部8/8	内面:ユビオサエ、ヘラケズリ、ナデ 外面:マメツ、ヘラミガキ、板ナデ	IB区	第2層
1423	109	−	弥生土器　甕	(15.4)	−	−	精緻	軟質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	IB区	第2層
1424	109	−	弥生土器　甕	(24.0)	−	−	精緻	普通	内面:橙7.5YR7/4 外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	IA区	第2層
1425	109	−	弥生土器　甕	(21.8)	−	−	0.1〜0.3mm少 石英	普通	内面:橙7.5YR7/6 外面:橙2.5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、板ナデ	IC区	第2層
1426	109	−	弥生土器　甕	(23.0)	−	−	1〜1.5mm少 石英	普通	内外面:明黄褐10YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	IA区	第2層
1427	109	−	弥生土器　甕	(28.3)	−	−	0.5〜2mm多 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ	IA区	第2層
1428	109	−	弥生土器　甕	(22.6)	−	−	精緻　長石、 雲母	硬質	内外面:赤褐2.5YR4/8	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	IC区	第2層
1429	109	−	弥生土器　甕	(13.2)	−	−	0.2〜2mm少 石英	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	IA区	第2層
1430	109	−	弥生土器　甕	(30.0)	−	−	精緻　長石	硬質	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	IC区	第2層
1431	109	−	弥生土器　甕	−	−	−	1〜2mm少 石英	硬質	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:灰白10YR8/2	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ	IA区	第2層
1432	110	−	弥生土器　甕	(16.8)	−	−	0.2〜1mm少 長石、石英	硬質	内面:明赤褐2.5YR5/6 外面:赤10R5/8	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ 外面:ヨコナデ、板ナデ	IC区	第2層
1433	110	−	弥生土器　甕	(18.8)	−	−	0.7〜1mm 長石、石英	普通	内外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	IA区	第2層
1434	110	−	弥生土器　甕	(33.6)	−	−	精緻　長石	硬質	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:マメツ、ヨコナデ	IA区	第2層
1435	110	−	弥生土器　甕	(32.0)	−	−	0.1〜1mm 石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	IB区	第2層
1436	110	−	弥生土器　甕	(20.0)	−	−	精緻　石英	硬質	内面:浅黄橙10YR8/3 外面:黄橙10YR8/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	IA区	第2層
1437	110	−	弥生土器　甕	(26.0)	−	−	0.7〜1.2mm 長石	硬質	内面:橙5YR6/8 外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:マメツ	IA区	第2層

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1438	110	−	弥生土器　甕	(22.0)	−	−	精緻　石英	硬質	内外面:橙5YR7/8	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩＣ区	第2層
1439	110	−	弥生土器　甕	(13.4)	−	−	0.7〜5mm 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	ＩＡ区	第2層
1440	110	−	弥生土器　甕	(14.2)	−	−	0.3〜1.5mm 長石	普通	内面:橙5YR7/6 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩＡ区	第2層
1441	110	−	弥生土器　甕	(21.2)	−	−	精緻	硬質	内面:橙2.5YR6/8 外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩＡ区	第2層
1442	110	−	弥生土器　甕	(31.0)	−	−	0.5〜1mm多 石英	硬質	内外面:橙2.5YR6/8	口縁部1/8	内外面:マメツ	ＩＣ区	第2層
1443	110	−	弥生土器　甕	(24.7)	−	−	0.3〜1mm 長石、石英	硬質	内面:にぶい橙7.5YR7/4 外面:にぶい褐7.5YR6/3	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩＡ区	第2層
1444	110	−	弥生土器　甕	(32.0)	−	−	0.1〜1mm 長石、石英	普通	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩＣ区	第2層
1445	110	−	弥生土器　甕	(23.8)	−	−	0.8〜1mm少 長石、石英	硬質	内面:橙7.5YR6/6 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ	ＩＣ区	第2層
1446	110	−	弥生土器　甕	(21.3)	−	−	0.2〜3mm 長石、石英	普通	内外面:黄橙10YR8/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ナデ、板ナデ	ＩＡ区	第2層
1447	110	−	弥生土器　甕	(13.8)	−	−	精緻　長石	硬質	内外面:橙2.5YR6/8	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	ＩＡ区	第2層
1448	110	−	弥生土器　甕	(14.8)	−	−	0.8〜1mm 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、マメツ	ＩＣ区	第2層
1449	110	−	弥生土器　甕	(21.8)	−	−	1〜3mm多 長石、石英	普通	内面:灰黄褐10YR6/2 外面:灰黄褐10YR5/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ	ＩＣ区	第2層
1450	110	−	弥生土器　甕	(15.2)	−	−	1.5〜2mm 長石、石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩＡ区	第2層
1451	110	−	弥生土器　甕	(14.5)	−	−	0.5〜1mm 長石、石英	軟質	内外面:明黄褐10YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩＡ区	第2層
1452	110	−	弥生土器　甕	(14.0)	−	−	0.2〜1mm 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩＡ区	第2層
1453	110	−	弥生土器　甕	(18.6)	−	−	0.5〜3mm 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:にぶい橙7.5YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、板ナデ	ＩＡ区	第2層
1454	111	29	弥生土器　甕	(17.8)	28.8	(7.2)	0.5〜5mm 長石、石英	普通	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部4/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	ＩＡ区	第2層
1455	111	−	弥生土器　甕	(14.8)	−	−	1〜3mm多 長石、石英	硬質	内外面:明赤褐5YR5/8	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ、マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ、ユビオサエ、板ナデ	ＩＡ区	第2層

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1456	111	−	弥生土器　甕	(18.6)	−	−	0.3〜2mm多 長石、石英	普通	内面:黒褐7.5YR3/1 外面:にぶい褐7.5YR6/3	口縁部1/8	内面:マメツ、ヘラケズリ、ハケメ 外面:マメツ、ヨコナデ	ＩＣ区	第2層
1457	111	−	弥生土器　甕	(11.3)	−	−	0.2〜0.8mm 長石	軟質	内面:暗灰N3/ 外面:黄灰2.5YR5/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ	ＩＡ区	第2層
1458	111	−	弥生土器　甕	(15.8)	−	−	精緻　石英、雲母	普通	内外面:浅黄橙7.5YR8/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩＡ区	第2層
1459	111	−	弥生土器　甕	−	−	−	0.3〜5mm多 長石、石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	体部径1/8	内面:ナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヘラケズリ	ＩＡ区	第2層
1460	111	−	弥生土器　甕	−	3.5	5.7	0.2〜1mm 長石、石英	硬質	内外面:褐7.5YR4/4	底部8/8	内面:ユビオサエ、ヨコナデ 外面:ハケメ、ヨコナデ	ＩＣ区	第2層
1461	111	−	弥生土器　甕	−	10.5	5.8	1〜3mm 長石、石英	硬質	内面:赤褐5YR4/6 外面:明赤褐5YR5/4	底部8/8	内面:ナデ、板ナデ、ユビオサエ 外面:ヘラミガキ、ユビオサエ、ナデ	ＩＡ区	第2層
1462	111	−	弥生土器　鉢	(18.2)	−	−	0.7〜1mm多 長石	硬質	内外面:暗灰N3/	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、剥離 外面:ヨコナデ	ＩＡ区	第2層
1463	111	−	弥生土器　鉢	(16.3)	−	−	0.5〜1mm多 長石、石英、雲母	硬質	内面:黄灰2.5Y4/1 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ	ＩＡ区	第2層
1464	111	−	弥生土器　鉢	(29.1)	−	−	0.1〜0.3mm 長石	硬質	内面:暗灰黄2.5Y5/2	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	ＩＡ区	第2層
1465	111	−	弥生土器　鉢	(25.6)	−	−	0.5〜1mm 長石、石英	硬質	内面:橙2.5YR7/6 外面:赤橙10R6/8	口縁部1/8	内外面:マメツ	ＩＣ区	第2層
1466	111	−	弥生土器　鉢	(19.0)	−	−	0.1〜1mm多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:橙7.5YR7/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:マメツ	ＩＣ区	第2層
1467	111	−	弥生土器　鉢	(20.8)	−	−	0.2〜3mm 石英	硬質	内面:灰黄褐10YR4/2 外面:黒褐10YR3/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	ＩＡ区	第2層
1468	111	−	弥生土器　鉢	(20.8)	−	−	精緻	軟質	内外面:橙2.5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ 外面:マメツ	ＩＡ区	第2層
1469	111	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.2〜1mm 長石、石英	軟質	内外面:にぶい黄橙10YR6/3	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ナデ	ＩＡ区	第2層
1470	111	−	弥生土器　鉢	(37.4)	−	−	精緻　石英	軟質	内面:橙5YR7/6 外面:橙5YR7/8	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	ＩＡ区	第2層
1471	111	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.2〜1mm 長石、石英	硬質	内面:橙5YR7/6 外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8 未満	内外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	ＩＡ区	第2層
1472	112	−	弥生土器　鉢	(24.8)	−	−	精緻　長石	軟質	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:明黄褐10YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩＡ区	第2層
1473	112	−	弥生土器　鉢	(36.4)	−	−	1〜2mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ＩＡ区	第2層
1474	112	−	弥生土器　鉢	−	4.9	7.4	0.2〜0.5mm 石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR6/4	底部8/8	内面:マメツ 外面:マメツ、ナデ	ＩＡ区	第2層

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1475	112	−	弥生土器　鉢	−	8.2	12.0	0.2〜1mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR6/3	脚部7/8	内面:ナデ、ユビオサエ、シボリメ、ヨコナデ 外面:マメツ	ＩA区	第2層
1476	112	32	弥生土器　鉢	−	−	−	0.5〜1.2mm多 長石、石英	硬質	内面:灰褐5YR4/2 外面:褐灰5YR4/1	体部1/8	内外面:ユビオサエ、ヘラミガキ	ＩB区	第2層
1477	112	−	弥生土器 高杯	(24.0)	−	−	0.2〜1mm 長石、石英	普通	内外面:灰黄褐10YR5/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラミガキ 外面:ヘラミガキ、ユビオサエ	ＩB区	第2層
1478	112	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.2〜1.2mm 長石、石英	軟質	外面:橙7.5YR7/6	−	内外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	ＩA区	第2層
1479	112	−	弥生土器 高杯	(19.8)	−	−	精緻　雲母	軟質	内面:灰褐7.5YR5/2 外面:にぶい褐7.5YR6/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	ＩC区	第2層
1480	112	−	弥生土器 高杯	(24.4)	−	−	0.1〜0.3mm少 長石	普通	内外面:明赤褐2.5YR5/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	ＩA区	第2層
1481	112	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.1〜3mm 長石、石英	硬質	内外面:赤10R5/8	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	ＩC区	第2層
1482	112	−	弥生土器 高杯	(28.0)	−	−	0.5〜1mm少 石英	硬質	内面:橙2.5YR6/6 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	ＩC区	第2層
1483	112	−	弥生土器 高杯	(24.0)	−	−	0.5〜1.5mm 長石	普通	内面:明赤褐5YR5/6 外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	ＩC区	第2層
1484	112	−	弥生土器 高杯	(17.2)	−	−	0.1〜1mm 石英	硬質	内外面:赤10R5/8	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ヘラケズリ	ＩC区	第2層
1485	112	−	弥生土器 高杯	−	4.2	(12.6)	0.5〜1mm 石英	硬質	内外面:明赤褐2.5YR5/8	脚部1/8	内面:シボリメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ	ＩA区	第2層
1486	112	−	弥生土器 高杯	−	4.5	(13.6)	0.5〜3mm少 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:浅黄2.5Y7/3	脚部1/8	内面:ヘラケズリ 外面:マメツ	ＩA区	第2層
1487	112	−	弥生土器 高杯	−	5.3	(15.2)	0.1〜1mm 長石	硬質	内外面:褐灰10YR4/1	脚部2/8	内面:ヘラケズリ 外面:ヨコナデ	ＩC区	第2層
1488	112	−	弥生土器 高杯	−	−	−	0.3〜0.5mm 長石、石英	硬質	内面:橙2.5YR6/8 外面:橙5YR6/6	脚部4/8	内面:ヘラケズリ 外面:ナデ	ＩA区	第2層
1489	112	35	弥生土器 高杯	−	13.1	(11.0)	0.5〜1mm多 長石、石英	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	脚部4/8	内面:ナデ、シボリメ、ヨコナデ 外面:ヘラミガキ	ＩC区	第2層
1490	112	−	弥生土器 高杯	−	5.0	(14.0)	0.5〜1mm 長石	普通	内外面:にぶい黄2.5Y6/3	脚部1/8	内外面:ヨコナデ	ＩA区	第2層
1491	112	−	弥生土器 高杯	−	8.2	(10.2)	0.2〜0.5mm少 長石	普通	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	脚部1/8	内面:ハケメ、ヘラケズリ、ヨコナデ 外面:ヘラミガキ、ハケメ、ヨコナデ	ＩA区	第2層
1492	112	37	弥生土器　ミニチュア土器	3.2	6.7	2.3	0.3〜1mm 石英	普通	内外面:黒褐2.5Y3/1	完形品	内面:ヨコナデ 外面:ユビオサエ	ＩA区	第2層
1493	112	−	弥生土器　ミニチュア土器	−	3.0	1.8	精緻	軟質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	底部8/8	外面:ナデ	ＩA区	第2層

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1499	113	−	弥生土器 高杯	−	7.3	(14.4)	0.5〜3mm 長石、石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/4 外面:浅黄橙10YR8/4	脚部1/8	内面:ヘラケズリ、ハケメ、ヨコナデ 外面:ユビオサエ、ヘラケズリ、ヨコナデ	IC区	第3層
1500	113	−	弥生土器　壺	(14.0)	−	−	0.1〜2mm 長石、石英	硬質	内外面:にぶい赤褐5YR5/4	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	IC区	第4層
1501	113	−	弥生土器　壺	(16.8)	−	−	精緻　石英	硬質	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ、ヘラケズリ、ヘラミガキ	IC区	第4層
1502	113	−	弥生土器　壺	(16.0)	−	−	0.2〜4mm多 石英	普通	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ、板ナデ 外面:ヨコナデ	IC区	第4層
1503	113	−	弥生土器　甕	(32.8)	−	−	0.2〜4mm多 長石、石英	硬質	内外面:橙2.5YR6/8	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ナデ	IC区	第4層
1504	113	−	弥生土器　甕	(35.4)	−	−	0.5〜2mm 石英	硬質	内面:暗灰黄2.5Y5/2 外面:にぶい黄褐10YR5/3	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	IC区	第4層
1505	113	−	弥生土器　甕	(15.6)	−	−	1〜3mm多 石英	軟質	内面:にぶい黄橙10YR7/2 外面:橙2.5YR7/6	口縁部2/8	内外面:マメツ	IC区	第4層
1506	113	−	弥生土器　甕	(18.0)	−	−	0.5〜1.2mm多 石英	普通	内面:橙7.5YR7/6 外面:暗赤褐5YR3/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:マメツ、ハケメ	IC区	第4層
1507	113	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.5〜0.8mm 長石	硬質	内面:橙5YR6/6 外面:にぶい橙7.5YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	IC区	第4層
1508	113	−	弥生土器　甕	(11.0)	−	−	精緻　長石	硬質	内面:にぶい黄褐10YR5/3 外面:橙5YR6/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	IC区	第4層
1509	113	−	弥生土器 高杯	(19.3)	−	−	精緻　長石	硬質	内外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ユビナデ、ハケメ	IC区	第4層
1510	113	−	弥生土器 高杯	(22.4)	−	−	精緻	硬質	内外面:橙5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:剥離、ヘラミガキ	IC区	第4層
1511	113	−	弥生土器　ミニチュア土器	(5.6)	−	−	精緻	軟質	内外面:灰褐7.5YR5/2	口縁部2/8	内面:ヘラケズリ、ユビオサエ 外面:板ナデ、ユビオサエ	IC区	第4層
1512	113	36	弥生土器　ミニチュア土器	3.0	6.1	2.3	0.1〜0.5mm 石英	普通	内外面:黒褐2.5Y3/1	ほぼ完形品	内面:ナデ 外面:ユビオサエ	IC区	第4層
1570	120	−	弥生土器　甕	(15.0)	−	−	0.8〜1mm 長石、石英	普通	内面:浅黄橙10YR8/4 外面:橙2.5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	IIA区	第1層
1571	120	−	弥生土器　甕	(18.0)	−	−	0.1〜1mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR6/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ、マメツ、ハケメ	IIB区	第1層
1572	120	−	弥生土器　甕	(23.5)	−	−	0.2〜1mm少 石英	硬質	内外面:橙2.5YR6/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	IIB区	第1層
1573	120	−	弥生土器 高杯	−	12.1	11.2	0.3〜4mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄褐10YR5/3	脚部7/8	内面:ヨコナデ 外面:ヘラミガキ、ヨコナデ	IIA区	第1層
1574	120	−	弥生土器 高杯	−	7.5	6.9	0.3〜2mm 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/4	脚部8/8	内面:マメツ 外面:ハケメ、ヨコナデ、ヘラケズリ	IIA区	第1層

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1575	120	−	弥生土器　壺	(16.6)	−	−	0.2〜2mm多 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部2/8	内外面:マメツ	ⅡA区	第2層
1576	120	−	弥生土器　壺	(18.6)	−	−	0.5〜1mm 長石、石英	普通	内面:明黄褐10YR7/6 外面:灰黄褐10YR4/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ⅡA区	第2層
1577	120	−	弥生土器　壺	(19.8)	−	−	0.2〜1mm 石英	軟質	内外面:橙2.5YR7/6	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、板ナデ 外面:ヨコナデ	ⅡA区	第2層
1578	120	−	弥生土器　壺	(16.4)	−	−	精緻　石英	軟質	内外面:明黄褐10YR7/6	口縁部1/8	内面:マメツ、ヨコナデ、剥離 外面:ヨコナデ、ハケメ、マメツ	ⅡB区	第2層
1579	120	−	弥生土器　壺	(20.6)	−	−	0.3〜1mm多 長石、石英	軟質	内外面:赤橙10R6/6	口縁部1/8	内外面:マメツ、ヨコナデ	ⅡA区	第2層
1580	120	−	弥生土器　壺	(13.0)	−	−	0.1〜0.5mm 長石	硬質	内面:橙7.5YR7/6 外面:橙5YR7/6	口縁部2/8	内面:マメツ、板ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ⅡA区	第2層
1581	120	−	弥生土器　壺	(13.8)	−	−	0.2〜1mm 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ、ヘラケズリ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、	ⅡA区	第2層
1582	120	−	弥生土器　壺	(8.0)	−	−	0.5〜1mm多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10YR7/3 外面:黒褐10YR3/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、マメツ、剥離	ⅡA区	第2層
1583	120	−	弥生土器　壺	(16.6)	−	−	精緻	軟質	内外面:橙7.5YR7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ナデ 外面:ヨコナデ、ハケメ、	ⅡB区	第2層
1584	120	−	弥生土器　壺	−	12.1	12.4	0.3〜2mm多 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5YR7/4	底部8/8	内面:ハケメ、ユビオサエ 外面:ヘラケズリ	ⅡA区	第2層
1585	120	−	弥生土器　壺	(32.0)	−	−	0.5〜0.7mm多 長石、石英	硬質	内外面:明黄褐10YR7/6	頸部2/8	内面:ハケメ、板ナデ 外面:ハケメ	ⅡA区	第2層
1586	121	−	弥生土器　甕	(25.0)	−	−	0.5〜1.5mm 石英	硬質	内外面:橙5YR7/8	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ	ⅡA区	第2層
1587	121	−	弥生土器　甕	(23.8)	−	−	0.8〜1mm少 石英	軟質	内外面:浅黄橙7.5YR8/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ	ⅡA区	第2層
1588	121	−	弥生土器　甕	(28.4)	−	−	0.2〜0.8mm 長石、石英	硬質	内面:橙2.5YR6/6 外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ⅡA区	第2層
1589	121	−	弥生土器　甕	(17.0)	−	−	0.2〜1.2mm 長石	硬質	内外面:赤10R5/8	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ⅡA区	第2層
1590	121	−	弥生土器　甕	(29.1)	−	−	0.1〜3mm多 長石、石英	普通	内面:暗灰黄2.5Y5/2 外面:橙7.5YR6/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	ⅡA区	第2層
1591	121	−	弥生土器　甕	(18.9)	−	−	精緻　長石	軟質	内外面:橙5YR6/6	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ナデ	ⅡA区	第2層
1592	121	−	弥生土器　甕	(11.6)	−	−	0.8〜1mm少 石英	軟質	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:マメツ、ハケメ、剥離	ⅡA区	第2層
1593	121	−	弥生土器　甕	(18.8)	−	−	1〜2mm少 長石	普通	内面:褐灰10YR4/1 外面:にぶい黄橙10YR7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	ⅡA区	第2層
1594	121	−	弥生土器　甕	25.7	34.5	12.1	0.5〜5mm 石英	普通	内面:明黄褐10YR7/6 外面:橙2.5YR6/8	底部8/8	内面:マメツ 外面:マメツ、ヨコナデ、ハケメ、ナデ	ⅡB区	第2層

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1595	121	−	弥生土器　甕	(18.2)	−	−	1〜1.5㎜多 石英	普通	内外面:橙2.5Y R6/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、マメツ	Ⅱ A区	第2層
1596	121	−	弥生土器　甕	(34.0)	−	−	0.3〜4㎜多 長石、石英	硬質	内外面:橙7.5Y R7/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:マメツ、ヨコナデ、ハケメ	Ⅱ A区	第2層
1597	121	−	弥生土器　甕	−	13.0	(18.4)	0.2〜1.5㎜多 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10Y R8/4	底部1/8	内面:ユビオサエ 外面:ヘラミガキ、マメツ	Ⅱ A区	第2層
1598	121	−	弥生土器　甕	(12.6)	−	−	精緻	普通	内面:橙7.5Y R7/6 外面:橙5Y R7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ、板ナデ 外面:ヨコナデ、マメツ	Ⅱ A区	第2層
1599	121	−	弥生土器　甕	(12.8)	−	−	0.3〜1㎜ 長石、石英	普通	内外面:にぶい黄橙10Y R7/4	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ユビオサエ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	Ⅱ A区	第2層
1600	121	−	弥生土器　甕	(15.2)	−	−	0.2〜1㎜多 石英	軟質	内面:灰黄褐10Y R6/2 外面:灰黄褐10Y R5/2	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ、マメツ、ハケメ	Ⅱ A区	第2層
1601	122	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.2〜1㎜多 石英	普通	内外面:橙7.5Y R7/6	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、板ナデ、ユビオサエ 外面:ヨコナデ、ハケメ	Ⅱ B区	第2層
1602	122	−	弥生土器　鉢	(17.2)	−	−	0.2〜1㎜ 石英	硬質	内面:褐灰10Y R4/1 外面:黒褐2.5Y3/1	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ハケメ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	Ⅱ A区	第2層
1603	122	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.1〜0.7㎜ 長石、石英	硬質	内面:橙5Y R6/6 外面:にぶい橙7.5Y R6/4	口縁部1/8 未満	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ 外面:ヨコナデ	Ⅱ A区	第2層
1604	122	−	弥生土器　鉢	(18.6)	−	−	0.2〜0.5㎜多 石英	普通	内外面:橙7.5Y R7/6	口縁部1/8	内外面:マメツ	Ⅱ A区	第2層
1605	122	−	弥生土器　鉢	(31.0)	−	−	0.5〜1.5㎜ 石英	軟質	内外面:橙7.5Y R7/6	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:ヨコナデ、ハケメ、ヘラミガキ、マメツ	Ⅱ A区	第2層
1606	122	−	弥生土器　鉢	(23.4)	−	−	0.5〜3㎜ 長石、石英	硬質	内外面:にぶい橙7.5Y R6/4	口縁部1/8	内面:ハケメ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	Ⅱ B区	第2層
1607	122	−	弥生土器　鉢	−	−	−	0.5〜1㎜ 長石、石英	普通	内面:褐灰10Y R4/1 外面:橙2.5Y R6/8	口縁部1/8 未満	内外面:マメツ	Ⅱ A区	第2層
1608	122	−	弥生土器　鉢	8.7	5.1	3.7	0.2〜2㎜多 長石、石英	普通	内面:にぶい黄橙10Y R7/4 外面:にぶい黄橙10Y R7/3	ほぼ完形品	内面:マメツ、ヘラケズリ 外面:マメツ、ヘラケズリ、ユビオサエ、ヨコナデ	Ⅱ A区	第2層
1609	122	−	弥生土器　鉢	(29.4)	−	−	1〜3㎜多 長石、石英	硬質	内外面:橙5Y R7/6	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラケズリ 外面:ヨコナデ、ハケメ	Ⅱ A区	第2層
1610	122	−	弥生土器 高杯	(14.0)	−	−	0.5〜1.2㎜ 石英	普通	内外面:橙7.5Y R7/6	口縁部2/8	内面:マメツ、ハケメ 外面:マメツ、ユビオサエ、ハケメ	Ⅱ A区	第2層
1611	122	−	弥生土器 高杯	(29.6)	−	−	0.3〜1.7㎜多 長石、石英	普通	内外面:橙2.5Y R6/6	口縁部1/8	内面:マメツ 外面:マメツ、ユビオサエ	Ⅱ A区	第2層
1612	122	−	弥生土器 高杯	(13.4)	−	−	精緻　雲母	硬質	内面:明赤褐2.5Y R5/6 外面:明赤褐2.5Y R5/8	口縁部1/8	内外面:ヨコナデ、ヘラケズリ	Ⅱ A区	第2層
1613	122	−	弥生土器 高杯	(22.8)	−	−	0.8〜1㎜多 長石、石英	硬質	内面:橙7.5Y R6/6 外面:橙2.5Y R6/8	口縁部1/8	内面:ヨコナデ、ヘラミガキ、マメツ 外面:ヨコナデ、ヘラミガキ	Ⅱ A区	第2層

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	口(頸)径(cm)	器高(cm)	底(脚)径(cm)	胎土の特徴	焼成の程度	色調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層位
1614	122	−	弥生土器 高杯	(23.0)	−	−	0.2〜2mm 長石、石英	普通	内外面:赤橙10R6/8	口縁部1/8	内外面:マメツ	ⅡA区	第2層
1615	122	−	弥生土器 高杯	−	14.5	(10.8)	0.5〜1.5mm少 長石	普通	内面:黄橙10YR8/6 外面:橙7.5YR7/6	脚部3/8	内面:シボリメ、ヘラミガキ、マメツ 外面:ヘラミガキ	ⅡB区	第2層
1616	122	−	弥生土器 高杯	−	3.7	(17.0)	精緻	軟質	内外面:橙5YR7/6	脚部2/8	内面:ヘラケズリ、マメツ 外面:マメツ	ⅡA区	第2層
1648	127	38	東播磨系須恵器　こね鉢	(15.0)	−	−	0.2〜0.5mm 長石	軟質	内外面:灰白5Y7/2	口縁部2/8	内面:ヨコナデ、マメツ 外面:ヨコナデ	SK39	埋土
1649	127	−	土師器　杯	−	0.7	5.9	精緻	軟質	内外面:浅黄橙7.5YR8/4	底部8/8	内面:回転ナデ 外面:回転ナデ、回転糸切り	SP09	−
1650	127	38	須恵器　壺	−	9.8	(7.0)	0.3〜0.5mm 長石	普通	内外面:灰10Y4/1	高台部4/8	内面:ユビオサエ、回転ナデ 外面:回転ナデ、ヘラケズリ、ナデ	SR01	−
1651	127	−	土師器　羽釜	(28.0)	−	−	0.2〜0.5mm多 長石、石英	普通	内外面:浅黄橙10YR8/3	口縁部1/8	内面:ハケメ 外面:ユビオサエ	SR01	−
1652	127	38	土師器　杯	12.8	3.6	8.3	精緻	硬質	内外面:橙5YR7/6	ほぼ完形品	内外面:回転ナデ	IC区	第2層
1653	127	−	土師器　土鍋	−	−	−	0.3〜1mm 長石、石英	硬質	内外面:橙5YR6/8	口縁部1/8未満	内面:ヨコナデ 外面:ヨコナデ、ユビオサエ	ⅡB区	第2層

第19表　池の奥遺跡紡錘車・土製品等一覧表

表の記述方法は以下のとおりである。
・紡錘車のうち縁辺部に研磨等の再加工を施していないものについては、原形が失われていなければ残存量は「完形品」とする

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ・幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	胎土の特徴	焼成の程度	色　調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層　位
9	31	39	紡錘車	3.2	0.5	5.0	1～2mm多　石英	普通	表:にぶい赤褐5YR5/3 裏:にぶい黄橙10YR7/4	完形品	表面:ナデ 裏面:マメツ	SH07-P01	－
66	33	39	紡錘車	(5.0)	0.5	(12.4)	精緻　雲母	硬質	表裏面:にぶい赤褐5YR5/4	完形品	表裏面:ヘラミガキ	SH12	埋土
109	34	39	紡錘車	(3.8)	0.4	(8.8)	1～1.5mm 少　石英	軟質	表面:浅黄橙10YR8/3 裏面:浅黄橙7.5YR8/6	完形品	表裏面:ナデ	SH21	埋土
126	34	39	紡錘車	(4.0)	0.5	(11.3)	0.2～1.5mm 石英、雲母	普通	表面:灰黄褐10YR6/2 裏面:灰黄褐10YR5/2	完形品	表面:マメツ 裏面:ヘラミガキ	SH25-P03	－
174	36	39	紡錘車	5.5	0.7	24.5	精緻　長石	軟質	表面:浅黄橙10YR8/4 裏面:灰白2.5Y8/1	完形品	表面:ハケメ、マメツ 裏面:マメツ	SH29-D01	－
175	36	39	紡錘車	4.5	0.8	14.0	0.5～3mm 石英	軟質	表面:灰白10YR8/2 裏面:褐灰10YR5/1	完形品	表裏面:マメツ	SH29	埋土
176	36	39	紡錘車	4.4	0.6	9.4	0.3～1mm 少	軟質	表裏面:灰白2.5Y7/1	完型品	表裏面:マメツ	SH29	埋土
177	36	39	紡錘車	2.8	0.4	3.2	精緻	硬質	表裏面:黒褐10YR3/1	完形品	表面:マメツ 裏面:ナデ	SH29	埋土
229	37	39	紡錘車	3.1	0.5	5.8	精緻	軟質	表面:にぶい橙7.5YR7/3 裏面:にぶい橙5YR7/4	完形品	表面:マメツ 裏面:ハケメ	SH36	埋土
801	73	39	紡錘車	(5.3)	0.8	(28.9)	精緻	硬質	表面:黄灰2.5Y7/2 裏面:にぶい黄橙10YR7/3	完形品	表面:ヘラミガキ 裏面:ヘラケズリ	SR01	－
1216	92	39	紡錘車	(3.8)	0.7	(8.2)	1～1.2mm 少　石英	軟質	表裏面:灰白10YR8/2	完形品	表裏面:マメツ	SR02	－
1217	92	39	紡錘車	4.0	0.4	5.9	精緻	普通	表面:灰黄褐10YR5/2 裏面:浅黄橙10YR8/3	完形品	表面:マメツ 裏面:ハケメ	SR02	－
1218	92	40	紡錘車	(4.0)	0.8	(10.8)	0.2～1.5mm 多　長石、石英	普通	表裏面:黒褐10YR3/1	完形品	表裏面:マメツ	SR02	－
1219	92	40	紡錘車	4.1	0.6	7.1	0.8～1mm 多　長石	普通	表面:にぶい橙5YR6/4 裏面:橙5YR7/8	ほぼ完形品	表裏面:マメツ	SR02	－
1220	92	40	紡錘車	4.3	0.6	6.3	0.1～1mm 長石	軟質	表面:橙5YR7/6 裏面:にぶい橙7.5YR7/4	完形品	表裏面:マメツ	SR02	－
1221	92	40	紡錘車	3.9	0.8	11.4	0.2～1mm 少　石英	軟質	表面:浅黄橙10YR8/4 裏面:黄灰2.5Y5/1	完形品	表裏面:マメツ	SR02	－
1222	92	40	紡錘車	4.2	0.4	7.1	0.2～1.3mm 長石	普通	表裏面:にぶい黄橙10YR7/4	完形品	表裏面:マメツ	SR02	－
1223	92	38	不明土製品	6.4	1.8	－	0.5～1mm 少　長石、石英	軟質	灰白2.5Y8/2	－	－	SR02	－
1224	92	－	不明土製品	(6.5)	2.3	－	0.5～1mm 少　石英	軟質	褐灰10YR5/1	－	ナデ	SR02	－
1225	92	－	不明土製品	(3.7)	(5.4)	－	0.2～0.5mm 少　長石	普通	内面:褐灰10YR6/1 外面:にぶい黄橙10YR7/3	－	内面:ヘラケズリ 外面:ユビオサエ、ナデ	SR02	－

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ・幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	胎土の特徴	焼成の程度	色　調	残存量	整形・調整の特徴	遺構名	層　位
1494	113	40	紡錘車	5.8	0.6	7.0	精緻　石英	硬質	表面:にぶい橙7.5YR6/4 裏面:橙2.5YR6/6	完形品	表面:ナデ 裏面:ヘラミガキ	ＩＢ区	第2層
1495	113	40	紡錘車	4.5	0.5	12.4	0.1～1.5㎜ 多　石英	普通	表裏面:褐7.5YR4/3	完形品	表裏面:マメツ	ＩＡ区	第2層
1496	113	40	紡錘車	3.8	0.6	8.7	精緻	硬質	表面:明赤褐2.5YR7/6 裏面:にぶい赤褐2.5YR4/4	完形品	表裏面:ヘラミガキ	ＩＡ区	第2層 土器溜り
1497	113	40	紡錘車	4.4	0.9	20.0	精緻	硬質	表裏面:橙7.5YR6/6	ほぼ完形品	表裏面:ヘラミガキ、マメツ	ＩＡ区	第2層
1498	113	40	紡錘車	5.3	0.8	26.2	0.7～2㎜ 多　石英	硬質	表裏面:にぶい橙7.5YR7/4	完形品	表面:ナデ、板状圧痕 裏面:ハケメ	ＩＣ区	第2層

第20表　池の奥遺跡石器・石製品一覧表

表の記述方法は以下のとおりとする。
・石錐の長さ、幅、厚さのうち／の前がつまみ部、後が針部の大きさを表す
・(　)は破損したものの現存値を表す

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
230	38	131	磨石	7.0	4.6	4.0	180.4	安山岩質斑岩	SH04	埋土	
231	38	71	太型蛤刃石斧	(12.6)	6.3	5.1	(688.9)	輝緑岩	SH09－K01	－	
232	38	41	石鏃	(2.7)	1.6	0.5	(1.8)	サヌカイト	SH10	埋土	
233	38	41	石鏃	2.7	2.5	0.5	2.1	サヌカイト	SH10	埋土	
234	38	41	石鏃	3.0	1.9	0.5	1.8	サヌカイト	SH10	埋土	
235	38	42	石鏃	3.8	1.8	0.5	3.0	サヌカイト	SH10－P05	－	
236	38	42	石鏃	3.7	2.3	0.9	5.0	サヌカイト	SH10－K01	－	
237	38	42	石鏃	(4.4)	2.1	0.5	(4.4)	サヌカイト	SH10	埋土	
238	38	42	石鏃	(4.9)	2.3	0.5	(3.8)	サヌカイト	SH10	埋土	
239	38	42	石鏃	(5.4)	2.1	0.6	(4.8)	サヌカイト	SH10－K01	－	
240	38	42	石鏃	4.3	1.5	0.6	3.0	サヌカイト	SH10－K01	－	
241	38	101	石錐	1.4／1.6	1.2／0.5	0.3／0.3	1.4	サヌカイト	SH10	埋土	
242	38	101	石錐	1.5／1.7	1.2／0.7	0.4／0.3	1.3	サヌカイト	SH10	埋土	
243	38	102	石錐	2.5／1.8	2.6／0.9	0.4／0.3	2.6	サヌカイト	SH10	埋土	
244	38	101	石錐	1.9／3.5	1.6／1.0	0.4／0.3	2.9	サヌカイト	SH10	埋土	
245	38	71	柱状片刃石斧	(16.6)	(1.5)	4.2	(200.7)	緑色片岩	SH10－D01	－	
246	38	71	柱状片刃石斧	21.0	2.8	4.3	(492.5)	緑色片岩	SH10	埋土	
247	39	71	扁平片刃石斧	(7.8)	3.7	1.7	(93.3)	緑色片岩	SH10－P14	－	
248	39	173	叩石	9.9	6.9	4.6	478.8	安山岩質斑岩	SH10－K01	－	
249	39	174	叩石	10.3	6.8	5.8	620.0	安山岩質斑岩	SH10	埋土	
250	39	42	石鏃	(4.5)	1.3	0.6	(3.0)	サヌカイト	SH12	埋土	
251	39	101	石錐	2.0／(1.6)	2.0／1.0	0.5／0.4	(2.6)	サヌカイト	SH12	埋土	
252	39	71	柱状片刃石斧	(14.7)	3.5	3.5	(359.9)	緑色片岩	SH12	埋土	
253	39	175	叩石	11.4	6.4	5.3	537.8	安山岩質斑岩	SH12	埋土	
254	39	174	叩石	10.0	6.1	5.6	524.6	砂岩	SH12	埋土	
255	40	174	叩石	8.2	6.7	6.0	485.0	安山岩質斑岩	SH12	埋土	
256	40	174	叩石	10.1	6.7	5.0	535.9	安山岩質斑岩	SH12	埋土	
257	40	41	石鏃	4.6	2.1	7.5	5.1	サヌカイト	SH17	埋土	
258	40	41	石鏃	(4.4)	1.1	0.4	3.3	サヌカイト	SH19－P10	－	
259	40	42	石鏃	(4.3)	2.7	0.6	(5.8)	サヌカイト	SH19	埋土	
260	40	42	石鏃	5.3	3.1	0.9	10.5	サヌカイト	SH21	埋土	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
261	40	42	石鏃	2.9	2.2	0.6	2.6	サヌカイト	SH21	埋土	
262	40	42	石鏃	(3.9)	1.3	0.5	(2.4)	サヌカイト	SH21	埋土	
263	40	72	柱状片刃石斧	11.8	(2.8)	2.1	(110.3)	緑色片岩	SH21	埋土	
264	40	71	柱状片刃石斧	(3.9)	(0.6)	3.0	(14.6)	緑色片岩	SH21	埋土	
265	40	71	柱状片刃石斧	(5.4)	2.8	2.5	(73.7)	緑色片岩	SH21	埋土	
266	40	72	太型蛤刃石斧	(14.9)	8.6	4.5	(866.7)	輝緑色	SH21	埋土	
267	41	72	太型蛤刃石斧	(6.7)	6.2	4.1	249.8	緑色片岩	SH21	埋土	
268	41	131	磨石	5.1	5.6	4.7	166.1	砂岩	SH21－K01	－	
269	41	194	砥石(台石)	(29.6)	(21.4)	14.4	(8620.0)	砂岩	SH21	埋土	
270	41	42	石鏃	4.6	1.9	0.6	5.0	サヌカイト	SH23	埋土	
271	41	42	石鏃	3.3	1.7	0.4	1.6	サヌカイト	SH26	埋土	
272	41	185	ハンマーか石器材料	13.7	5.7	4.4	551.9	砂岩	SH26	埋土	
273	41	41	石鏃	(6.5)	1.9	0.5	(4.9)	サヌカイト	SH29	埋土	
274	41	101	石錐	1.9／(1.3)	3.2／1.0	0.2／0.4	(2.8)	サヌカイト	SH29	埋土	
275	41	132	磨石	5.7	4.3	4.1	130.2	砂岩	SH29－P40	－	
276	41	197	石錘	5.2	3.3	4.3	101.3	安山岩質斑岩	SH29	埋土	
277	41	131	磨石	4.3	3.5	3.2	68.6	安山岩質斑岩	SH30－K01	－	
278	41	42	石鏃	5.4	2.8	0.7	8.6	サヌカイト	SH31	埋土	
279	41	101	石錐	1.0／2.0	1.8／0.9	0.5／0.3	1.5	サヌカイト	SH31	埋土	
280	41	41	石鏃	(4.7)	1.4	0.6	(3.7)	サヌカイト	SH35	埋土	
281	41	42	石鏃	3.0	1.5	0.4	1.6	サヌカイト	SH36	埋土	
282	41	42	石鏃	3.9	1.6	0.7	4.1	サヌカイト	SH36	埋土	
283	41	42	石鏃	3.1	1.4	0.6	1.9	サヌカイト	SH36	埋土	
284	41	41	石鏃	(4.9)	2.0	0.7	(4.7)	サヌカイト	SH36	埋土	
285	41	66	石槍	6.5	2.3	0.5	5.7	サヌカイト	SH36－P13	－	
286	42	104	不定形刃器	8.1	4.1	0.8	27.5	サヌカイト	SH36	埋土	
287	42	131	磨石か叩石	9.4	6.6	5.0	423.5	安山岩質斑岩	SH36	埋土	
288	42	175	叩石	(8.5)	5.7	3.7	(283.6)	安山岩質斑岩	SH36	埋土	
289	42	197	石錘	4.4	4.2	4.4	112.0	花崗岩質斑岩	SH36	埋土	
290	42	197	石錘	5.5	3.8	3.4	79.9	アプライト	SH36	埋土	
415	54	41	石鏃	3.0	1.3	0.3	1.4	サヌカイト	SK08	－	
416	54	191	砥石	(11.6)	(12.0)	2.8	(500.4)	砂岩	SK12	－	
417	54	72	小型方柱状石斧	7.2	(0.7)	1.7	(13.3)	緑色片岩	SK12	－	
418	54	127	刃器か石庖丁	(5.9)	6.5	0.7	(30.8)	サヌカイト	SK14	－	
419	54	41	石鏃	4.2	1.8	0.7	3.8	サヌカイト	SK21	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
420	54	132	磨石	9.2	8.3	7.7	773.8	砂岩	SK35	－	
421	54	90	石庖丁	8.2	(3.7)	0.6	(26.8)	緑色片岩	SK37	－	
422	54	42	石鏃	3.1	1.8	0.5	1.9	サヌカイト	SK37	－	
423	54	132	磨石	5.8	4.9	3.7	146.3	砂岩	SK37	－	
424	54	169・171	石皿	19.0	11.4	4.1	(1108.2)	砂岩	SK37	－	
649	64	131	磨石	5.6	5.3	4.2	195.5	閃緑岩	SD11	－	
650	64	41	石鏃	2.7	1.6	0.3	1.7	サヌカイト	SD12	－	
651	64	41	石鏃	2.8	2.3	0.5	1.6	サヌカイト	SD12	－	
652	64	41	石鏃	4.3	1.8	0.5	3.3	サヌカイト	SD12	－	
653	64	41	石鏃	5.4	1.5	0.7	4.2	サヌカイト	SD12	－	
654	64	41	石鏃	(4.2)	1.5	0.6	(3.3)	サヌカイト	SD12	－	
655	64	101	石錐	4.5／1.0	2.6／0.8	1.1／0.5	12.6	サヌカイト	SD12	－	
656	64	114	楔形石器	(2.8)	2.9	1.0	(10.5)	サヌカイト	SD12	－	
657	64	114	楔形石器	5.4	2.7	0.7	12.2	サヌカイト	SD12	－	
658	64	70	柱状片刃石斧	17.2	3.0	3.1	353.5	緑色片岩	SD12	－	
659	64	70	柱状石斧	(10.9)	3.6	(3.0)	(210.0)	緑色片岩	SD12	－	
660	64	41	石鏃	(5.2)	1.7	0.5	(4.5)	サヌカイト	SD13	－	
661	64	41	石鏃	3.7	1.9	0.5	2.5	サヌカイト	SD16	－	
662	64	41	石鏃	4.5	1.4	0.4	2.2	サヌカイト	SD16	－	
663	64	137	磨石	6.4	5.5	4.9	204.0	砂岩	SD16	－	
664	64	131	磨石	5.5	3.8	3.6	105.4	安山岩質斑岩	SD16	－	
665	64	137	磨石	6.9	5.6	4.5	233.0	砂岩	SD16	－	
666	64	90	石庖丁	10.4	5.1	1.1	80.1	サヌカイト	SD16	－	
667	65	70	柱状石斧	5.9	2.6	1.6	52.3	緑色片岩	SD16	－	
668	65	70	柱状石斧	(11.0)	4.4	2.8	(229.2)	緑色片岩	SD16	－	
669	65	90	磨製石庖丁	(5.3)	(2.7)	0.8	(17.1)	安山岩	SD17	－	
670	65	41	石鏃	4.7	1.0	0.4	3.0	サヌカイト	SD17	－	
671	65	70	柱状片刃石斧	(10.8)	3.8	3.3	(250.7)	緑色片岩	SD21	－	
672	65	70	柱状石斧	(10.8)	7.4	3.6	(493.4)	砂岩がゆるく変成したもの	SD21	－	
673	65	104	不定形刃器	10.3	6.4	2.0	91.6	サヌカイト	SD21	－	
674	66	41	石鏃	2.6	1.9	0.4	1.5	サヌカイト	SD22	－	
675	66	70	扁平片刃石斧	8.1	3.4	1.9	(103.0)	緑色片岩	SD22	－	
676	66	70	柱状石斧	12.3	(3.4)	2.3	(101.4)	緑色片岩	SD22	－	
677	66	173	叩石	12.6	8.1	5.3	(758.0)	安山岩質斑岩	SD22	－	
678	66	131	磨石	5.5	4.4	4.1	133.6	安山岩質斑岩	SD22	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
679	66	137	磨石	6.1	4.9	4.2	172.0	砂岩	SD22	－	
680	66	131	磨石	6.0	4.9	4.2	147.1	砂岩	SD22	－	
681	66	137	磨石	6.5	5.0	3.9	165.1	砂岩	SD22	－	
709	68	136	磨石	5.4	4.4	3.6	117.7	花崗岩質斑岩	SP126	－	
710	68	45	石鏃	3.3	0.8	0.2	0.6	サヌカイト	SP143	－	
711	68	77	柱状石斧	(11.6)	(2.1)	4.0	(125.6)	緑色片岩	SX01	－	
712	68	199	不明	4.3	2.4	0.9	10.5	凝灰石	SX02	－	
802	74	43	石鏃	3.6	1.7	0.6	2.9	サヌカイト	SR01	－	
803	74	43	石鏃	(4.4)	2.9	0.5	(6.0)	サヌカイト	SR01	－	
804	74	43	石鏃	4.1	2.4	0.6	4.0	サヌカイト	SR01	－	
805	74	43	石鏃	3.1	1.7	0.3	1.7	サヌカイト	SR01	－	
806	74	43	石鏃	(3.4)	2.2	0.5	(3.0)	サヌカイト	SR01	－	
807	74	43	石鏃	3.3	1.6	0.5	1.9	サヌカイト	SR01	－	
808	74	43	石鏃	4.3	1.5	0.5	2.0	サヌカイト	SR01	－	
809	74	91	石庖丁	(11.4)	5.5	1.5	(80.8)	サヌカイト	SR01	－	
810	74	91	石庖丁	10.2	5.6	1.4	95.0	サヌカイト	SR01	－	
811	74	127	刃器か石庖丁	8.2	4.9	1.1	40.5	サヌカイト	SR01	－	
812	74	132	磨石	5.5	5.1	3.9	146.6	安山岩質斑岩	SR01	－	
813	74	130	両極打撃の石核に転用した石庖丁	(3.2)	3.8	0.9	(13.6)	サヌカイト	SR01	－	
814	75	72	太型蛤刃石斧	18.1	8.2	4.8	(1128.3)	輝緑岩	SR01	－	
815	75	132	磨石か叩石	11.2	6.7	6.7	733.4	安山岩質斑岩	SR01	－	
816	75	175	叩石	13.0	7.7	7.0	977.2	安山岩質斑岩	SR01	－	
1227	93	43	石鏃	(3.2)	1.3	0.3	(1.2)	サヌカイト	SR02	－	
1228	93	43	石鏃	(2.6)	1.7	0.3	(1.4)	サヌカイト	SR02	－	
1229	93	44	石鏃	3.8	2.1	0.5	3.0	サヌカイト	SR02	－	
1230	93	43	石鏃	3.9	2.3	0.4	3.6	サヌカイト	SR02	－	
1231	93	45	石鏃	4.3	2.5	0.7	5.7	サヌカイト	SR02	－	
1232	93	44	石鏃	4.5	2.0	0.4	2.6	サヌカイト	SR02	土器溜り	
1233	93	44	石鏃	(5.0)	2.1	0.7	(5.6)	サヌカイト	SR02	－	
1234	93	43	石鏃	5.6	2.1	0.5	3.8	サヌカイト	SR02	－	
1235	93	43	石鏃	4.7	2.3	0.4	3.4	サヌカイト	SR02	－	
1236	93	43	石鏃	4.4	2.1	0.5	3.1	サヌカイト	SR02	－	
1237	93	45	石鏃	(4.3)	2.1	0.8	(7.6)	サヌカイト	SR02	－	
1238	93	44	石鏃	(4.1)	1.9	0.4	(2.7)	サヌカイト	SR02	－	
1239	93	44	石鏃	3.8	2.7	0.6	4.6	サヌカイト	SR02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1240	93	43	石鏃	(3.9)	2.6	0.5	(3.9)	サヌカイト	SR02	－	
1241	93	44	石鏃	(3.8)	2.4	0.5	(2.4)	サヌカイト	SR02	－	
1242	93	44	石鏃	3.6	1.9	0.4	3.0	サヌカイト	SR02	－	
1243	93	45	石鏃	3.6	1.6	0.5	1.8	サヌカイト	SR02	－	
1244	93	45	石鏃	3.5	2.1	0.4	2.4	サヌカイト	SR02	－	
1245	93	44	石鏃	3.8	1.5	0.5	2.3	サヌカイト	SR02	－	
1246	93	43	石鏃	3.7	1.6	0.5	2.5	サヌカイト	SR02	－	
1247	93	43	石鏃	(2.2)	2.5	0.4	(2.3)	サヌカイト	SR02	－	
1248	93	44	石鏃	3.3	2.1	0.5	2.2	サヌカイト	SR02	土器溜り	
1249	93	43	石鏃	(3.2)	1.8	0.4	1.9	サヌカイト	SR02	－	
1250	93	44	石鏃	3.3	1.9	0.5	2.3	サヌカイト	SR02	－	
1251	93	44	石鏃	3.2	2.0	0.4	1.9	サヌカイト	SR02	－	
1252	93	43	石鏃	3.5	2.3	0.5	2.9	サヌカイト	SR02	－	
1253	93	42	石鏃	3.4	1.6	0.5	2.4	サヌカイト	SR02	－	
1254	93	44	石鏃	3.1	1.6	0.5	1.8	サヌカイト	SR02	－	
1255	93	44	石鏃	3.2	2.2	0.4	2.0	サヌカイト	SR02	－	
1256	93	44	石鏃	1.9	2.1	0.6	2.7	サヌカイト	SR02	－	
1257	93	44	石鏃	3.0	(1.8)	0.3	(1.3)	サヌカイト	SR02	土器溜り	
1258	93	44	石鏃	(3.4)	1.7	0.4	(2.1)	サヌカイト	SR02	－	
1259	93	44	石鏃	3.5	1.3	0.6	2.2	サヌカイト	SR02	－	
1260	93	45	石鏃	3.9	1.3	0.5	2.1	サヌカイト	SR02	－	
1261	93	43	石鏃	3.6	1.4	0.6	2.1	サヌカイト	SR02	－	
1262	93	44	石鏃	4.1	1.4	0.4	2.2	サヌカイト	SR02	－	
1263	93	43	石鏃	4.0	1.1	0.5	1.9	サヌカイト	SR02	－	
1264	93	44	石鏃	4.4	1.3	0.4	1.9	サヌカイト	SR02	－	
1265	93	42	石鏃	5.4	1.8	0.8	6.2	サヌカイト	SR02	－	
1266	93	43	石鏃	5.4	1.8	0.4	3.4	サヌカイト	SR02	－	
1267	93	66・67	石槍	(12.3)	3.1	0.9	(38.9)	サヌカイト	SR02	－	
1268	93	66	石槍	(10.1)	3.0	0.8	(54.4)	サヌカイト	SR02	－	
1269	93	66	石槍	(6.6)	2.6	1.2	(23.3)	サヌカイト	SR02	－	
1270	93	66	石槍	3.6	2.9	0.7	8.2	サヌカイト	SR02	－	
1271	94	91	石庖丁	14.0	8.3	1.5	165.2	サヌカイト	SR02	－	
1272	94	92	石庖丁	14.7	5.9	1.3	148.0	サヌカイト	SR02	－	
1273	94	92	石庖丁	17.2	13.0	2.0	269.9	サヌカイト	SR02	－	
1274	94	91	石庖丁	(4.8)	4.9	1.2	(32.1)	サヌカイト	SR02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1275	94	91	石庖丁	(4.3)	4.7	0.8	(20.4)	結晶片岩	SR02	－	
1276	95	91	石庖丁	10.6	4.8	0.8	(58.7)	結晶片岩	SR02	－	
1277	95	92	石庖丁	12.2	4.9	1.0	(104.1)	緑色片岩	SR02	－	
1278	95	102	石錐	3.0／(0.9)	3.2／1.0	1.0／0.4	(9.9)	サヌカイト	SR02	－	
1279	95	101	石錐	3.4／(0.5)	2.8／0.8	0.7／0.4	(6.6)	サヌカイト	SR02	－	
1280	95	102	石錐	2.6／(1.1)	2.6／0.8	0.5／0.3	(4.1)	サヌカイト	SR02	－	
1281	95	102	石錐	1.7／2.2	1.8／0.9	0.5／0.3	1.9	サヌカイト	SR02	－	
1282	95	102	石錐	3.0／1.4	2.0／0.8	0.6／0.3	4.8	サヌカイト	SR02	－	
1283	95	102	石錐	(3.3)／2.3	1.1／0.7	0.6／0.3	(3.6)	サヌカイト	SR02	－	
1284	95	105	不定形刃器	(3.7)	9.6	1.0	(44.6)	サヌカイト	SR02	－	
1285	95	105	不定形刃器	8.6	5.2	1.0	27.1	サヌカイト	SR02	－	
1286	95	105	不定形刃器	8.2	3.5	0.9	34.2	サヌカイト	SR02	－	
1287	95	104	不定形刃器	3.0	6.6	0.5	(14.3)	サヌカイト	SR02	－	
1288	95	114	楔形石器	4.0	3.4	0.7	13.6	サヌカイト	SR02	－	
1289	95	114	楔形石器	4.6	2.8	0.8	12.3	サヌカイト	SR02	－	
1290	95	114	楔形石器	6.4	3.7	1.3	29.7	サヌカイト	SR02	－	
1291	96	115	楔形石器	4.4	3.8	0.9	24.5	サヌカイト	SR02	－	
1292	96	115	楔形石器	4.1	3.7	1.9	35.5	サヌカイト	SR02	－	
1293	96	124	横長剥片を利用した石庖丁	13.6	7.7	2.1	165.7	サヌカイト	SR02	－	
1294	96	124	横長剥片を利用した石庖丁	16.8	11.3	1.8	307.1	サヌカイト	SR02	－	
1295	96	124	横長剥片を利用した石庖丁	9.1	17.6	1.8	297.5	サヌカイト	SR02	－	
1296	97	127	刃器か石庖丁	(8.4)	5.1	0.8	(41.3)	サヌカイト	SR02	－	
1297	97	127	刃器か石庖丁	9.0	4.8	0.9	(29.7)	サヌカイト	SR02	－	
1298	97	130	両極打撃の石核に転用した石庖丁	(11.6)	(3.6)	1.4	(72.6)	サヌカイト	SR02	－	
1299	97	130	両極打撃の石核に転用した石庖丁	(3.8)	5.0	1.1	(26.4)	サヌカイト	SR02	－	
1300	97	74	小型方柱状片刃石斧	(7.0)	1.9	1.2	(24.7)	緑色片岩	SR02	－	
1301	97	74	小型方柱状片刃石斧	6.3	0.9	1.5	(18.8)	緑色片岩	SR02	－	
1302	97	73	柱状片刃石斧	(10.7)	1.7	2.1	(68.7)	緑色片岩	SR02	－	
1303	97	74	柱状片刃石斧	(7.5)	(2.3)	3.0	(91.1)	緑色片岩	SR02	－	
1304	97	74	小型方柱状片刃石斧	5.6	(1.5)	0.8	(13.5)	緑色片岩	SR02	－	
1305	97	74	柱状片刃石斧	(6.0)	1.4	2.1	(17.8)	緑色片岩	SR02	－	
1306	97	77	柱状片刃石斧	(6.1)	3.0	(2.1)	(80.0)	緑色片岩	SR02	－	
1307	98	76	柱状石斧	(10.9)	2.6	4.3	(205.5)	緑色片岩	SR02	－	
1308	98	76	柱状石斧	11.2	3.8	(10.4)	(170.6)	緑色片岩	SR02	－	
1309	98	75	柱状石斧	(11.6)	(3.4)	3.9	(337.6)	緑色片岩	SR02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1310	98	73	柱状片刃石斧	10.9	3.1	2.8	211.5	緑色片岩	SR02	－	
1311	98	74	柱状片刃石斧	9.4	2.5	2.6	(127.3)	緑色片岩	SR02	－	
1312	98	77	柱状片刃石斧	(9.2)	(2.8)	2.9	(111.7)	緑色片岩	SR02	－	
1313	98	74	柱状片刃石斧	(4.8)	(1.1)	1.9	(14.4)	緑色片岩	SR02	－	
1314	99	73	柱状石斧	(14.5)	(3.1)	(3.3)	(199.4)	緑色片岩	SR02	－	
1315	99	72	柱状片刃石斧	(15.2)	(4.5)	(1.5)	(198.6)	緑色片岩	SR02	－	
1316	99	74	柱状石斧	(21.1)	1.6	3.6	(211.1)	緑色片岩	SR02	－	
1317	99	74	柱状片刃石斧	(8.8)	3.4	2.5	(135.5)	緑色片岩	SR02	－	
1318	99	74	柱状片刃石斧	(7.4)	0.8	3.1	(29.3)	緑色片岩	SR02	－	
1319	99	73	柱状片刃石斧	(5.2)	2.7	2.4	(42.2)	緑色片岩	SR02	－	
1320	99	73	柱状片刃石斧	(6.5)	(0.9)	2.8	(22.7)	緑色片岩	SR02	－	
1321	99	76	柱状石斧	(8.6)	(2.1)	4.0	(147.9)	緑色片岩	SR02	－	
1322	100	76	柱状石斧	(11.3)	2.6	4.1	(280.9)	緑色片岩	SR02	－	
1323	100	77	柱状片刃石斧	(11.9)	2.3	(3.2)	(148.6)	緑色片岩	SR02	－	
1324	100	76	柱状片刃石斧	(13.3)	4.1	(2.5)	(239.3)	緑色片岩	SR02	－	
1325	100	76	柱状石斧	(14.2)	2.3	4.0	(345.8)	緑色片岩	SR02	－	
1326	100	77	柱状片刃石斧	(4.2)	(1.0)	3.0	(19.8)	緑色片岩	SR02	－	
1327	100	74	柱状石斧	(7.7)	(1.5)	2.2	(43.8)	緑色片岩	SR02	－	
1328	100	76	柱状石斧	(9.7)	(2.4)	(3.1)	(99.6)	緑色片岩	SR02	－	
1329	101	75	柱状片刃石斧	(12.0)	(3.0)	3.5	(265.3)	緑色片岩	SR02	－	
1330	101	72	柱状片刃石斧	(15.6)	3.6	4.0	(549.6)	緑色片岩	SR02	－	
1331	101	77	柱状石斧	(13.2)	(2.8)	(4.5)	(257.2)	緑色片岩	SR02	－	
1332	101	73	柱状片刃石斧	19.2	(2.8)	4.1	(293.7)	緑色片岩	SR02	－	
1333	101	73	扁平片刃石斧	10.6	2.7	0.9	(27.9)	緑色片岩	SR02	－	
1334	102	75	太型蛤刃石斧	(10.8)	6.8	4.5	(649.4)	輝緑岩	SR02	－	
1335	102	75	太型蛤刃石斧	(13.5)	7.4	4.3	(552.7)	流紋岩	SR02	－	
1336	102	73	太型蛤刃石斧	12.1	5.9	3.9	467.6	輝緑岩	SR02	－	
1337	102	76	蛤刃石斧	(12.6)	6.4	3.6	(450.2)	安山岩質斑岩	SR02	－	
1338	103	135	磨石	4.8	4.1	3.9	94.9	砂岩	SR02	－	
1339	103	133	磨石	4.9	4.0	3.5	95.9	安山岩質斑岩	SR02	－	
1340	103	133	磨石	4.7	4.6	3.6	103.1	砂岩	SR02	－	
1341	103	135	磨石	5.4	4.2	3.2	102.3	砂岩	SR02	－	
1342	103	133	磨石	5.3	4.8	4.0	138.7	花崗岩質斑岩	SR02	－	
1343	103	133	磨石	6.0	6.1	4.5	200.0	砂岩	SR02	－	
1344	103	135	磨石	6.2	5.0	3.5	152.9	砂岩	SR02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1345	103	134	磨石	5.7	4.9	3.3	126.6	花崗岩	SR02	－	
1346	103	134	磨石	5.2	4.1	4.0	(112.2)	安山岩質斑岩	SR02	－	
1347	103	133	磨石	5.1	4.4	3.4	103.1	砂岩	SR02	－	
1348	103	134	磨石	6.0	3.8	3.3	106.6	砂岩	SR02	－	
1349	103	134	磨石	5.8	5.0	4.4	172.6	砂岩	SR02	－	
1350	103	133	磨石	6.2	4.6	3.9	160.2	安山岩質斑岩	SR02	－	
1351	103	133	磨石	6.2	5.3	4.2	186.3	砂岩	SR02	－	
1352	103	134	磨石	7.3	4.9	4.1	206.1	砂岩	SR02	－	
1353	103	135	磨石	(9.6)	5.6	(4.5)	(308.4)	安山岩質斑岩	SR02	－	
1354	103	134	磨石	7.9	4.3	4.0	235.3	安山岩質斑岩	SR02	－	
1355	103	135	磨石	6.5	5.5	5.5	266.7	安山岩質斑岩	SR02	－	
1356	103	133	磨石	6.7	4.6	3.7	156.6	安山岩質斑岩	SR02	－	
1357	103	135	磨石	6.1	4.1	3.9	136.0	安山岩質斑岩	SR02	－	
1358	104	132	磨石	14.0	8.5	(7.6)	(1092.8)	安山岩質斑岩	SR02	－	
1359	104	169	石皿	(16.0)	(8.6)	4.5	(535.2)	砂岩	SR02	－	
1360	104	169	凹石	(12.9)	(7.2)	7.2	(873.5)	砂岩	SR02	－	
1361	104	175	叩石	(9.3)	6.8	4.7	(425.5)	安山岩質斑岩	SR02	－	
1362	104	134	磨石か叩石	6.3	5.4	4.5	205.1	砂岩	SR02	－	
1363	104	134	磨石か叩石	6.6	5.5	4.2	209.4	砂岩	SR02	－	
1364	104	169	凹石	9.6	5.8	4.1	217.2	砂岩	SR02	－	
1365	104	199	不明	5.8	4.0	3.0	68.2	凝灰岩	SR02	－	
1366	105	185	ハンマーか石器材料	11.1	4.4	2.8	223.3	砂岩	SR02	－	
1367	105	185	ハンマーか石器材料	6.0	2.9	3.5	164.0	安山岩質斑岩	SR02	－	
1368	105	186	ハンマーか石器材料	10.7	2.6	3.8	162.2	砂岩	SR02	－	
1369	105	186	ハンマーか石器材料	11.3	3.5	4.5	231.5	安山岩	SR02	－	
1370	105	191	砥石	(22.1)	(6.4)	5.3	(1050.7)	安山岩質斑岩	SR02	－	
1371	105	192	砥石	(19.4)	(21.6)	9.0	(4860.0)	砂岩	SR02	－	
1372	106	193	砥石	(19.3)	15.4	7.5	(2888.0)	砂岩	SR02	－	
1373	106	192	砥石	(16.7)	16.2	8.2	(2510.0)	砂岩	SR02	－	
1374	106	195	砥石(台石)	32.2	(22.2)	6.1	(5630.0)	砂岩	SR02	－	
1375	107	196	砥石(台石)	(30.1)	34.4	17.4	(2500.0)	砂岩	SR02	－	
1376	107	196	砥石(台石)	(26.0)	23.2	12.3	(13000.0)	砂岩	SR02	－	
1377	107	195	砥石(台石)	(27.1)	19.6	12.4	(9250.0)	砂岩	SR02	－	
1378	107	198	石錘	4.2	2.7	3.2	41.9	砂岩	SR02	－	
1379	107	198	石錘	6.4	3.7	4.3	135.0	砂岩	SR02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1380	107	197	石錘	6.6	4.3	5.9	210.0	安山岩質斑岩	SR02	－	
1381	107	197	石錘	7.0	4.6	4.9	217.7	砂岩	SR02	－	
1382	107	198	石錘	7.7	5.7	6.2	381.8	流紋岩	SR02	－	
1383	107	197	石錘	6.7	4.8	5.2	239.5	アプライト	SR02	－	
1384	107	198	石錘	7.8	4.3	2.1	95.9	砂岩	SR02	－	
1513	114	45	石鏃	3.2	1.7	0.3	2.1	サヌカイト	IA区	第2層	
1514	114	45	石鏃	2.9	1.8	0.4	(1.8)	サヌカイト	IA区	第2層	
1515	114	45	石鏃	4.0	1.8	0.3	2.1	サヌカイト	IA区	第2層	
1516	114	45	石鏃	3.5	1.3	0.5	1.6	サヌカイト	IB区	第2層	
1517	114	45	石鏃	(3.7)	1.5	0.5	(2.6)	サヌカイト	IA区	第2層	
1518	114	45	石鏃	(4.9)	1.7	0.5	(4.6)	サヌカイト	IC区	第2層	
1519	114	45	石鏃	2.7	1.8	0.5	2.0	サヌカイト	IC区	第2層	
1520	114	45	石鏃	2.7	1.9	0.4	1.5	サヌカイト	IC区	第2層	
1521	114	46	石鏃	4.3	1.9	0.5	3.5	サヌカイト	IC区	第2層	
1522	114	45	石鏃	(4.5)	2.6	0.4	(3.5)	サヌカイト	IC区	第2層	
1523	114	46	石鏃	(4.4)	2.0	0.6	(3.6)	サヌカイト	IC区	第2層	
1524	114	45	石鏃	(3.8)	(1.6)	0.4	(1.8)	サヌカイト	IA区	第2層	
1525	114	45	石鏃	(3.8)	1.4	0.6	(2.3)	サヌカイト	IA区	第2層	
1526	114	45	石鏃	(3.3)	1.4	0.5	(2.1)	サヌカイト	IC区	第2層	
1527	114	66・68	石槍	7.2	2.8	1.4	34.4	サヌカイト	IA区	第2層(土器溜り)	
1528	114	67	石槍	6.7	1.1	0.8	9.6	サヌカイト	IA区	第2層	
1529	114	67	石槍	(6.5)	2.4	0.7	(9.8)	サヌカイト	IB区	第2層	
1530	114	93	石庖丁	14.0	4.8	1.0	110.3	サヌカイト	IA区	第2層	
1531	114	93	石庖丁	11.8	4.2	1.1	65.5	サヌカイト	IA区	第2層	
1532	114	94	石庖丁	5.6	10.9	0.8	79.0	サヌカイト	IB区	第2層	
1533	114	94	石庖丁	4.9	10.4	10.5	68.3	サヌカイト	IB区	第2層	
1534	115	94	石庖丁	9.0	5.1	0.9	55.5	サヌカイト	IB区	第2層	
1535	115	93	石庖丁	(7.1)	6.2	1.1	(44.7)	サヌカイト	IA区	第2層	
1536	115	102	石錐	4.5／1.5	1.9／0.8	0.6／0.4	7.1	緑色片岩	IA区	第2層	
1537	115	102	石錐	1.5／1.6	1.6／0.7	0.5／0.4	1.7	サヌカイト	IC区	第4層	
1538	115	115	楔形石器	3.0	3.1	0.6	7.3	サヌカイト	IC区	第2層	
1539	115	125	横長剥片を利用した石庖丁	12.1	7.0	1.8	139.4	サヌカイト	IB区	第2層	
1540	115	125	横長剥片を利用した石庖丁	6.9	12.4	1.2	105.8	サヌカイト	IB区	第2層	
1541	115	125	横長剥片を利用した石庖丁	9.4	14.1	1.7	153.6	サヌカイト	IB区	第2層	
1542	116	124	横長剥片を利用した石庖丁	16.3	7.2	1.8	162.5	サヌカイト	IB区	第2層	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1543	116	125	横長剥片を利用した石庖丁	13.6	7.9	1.9	161.5	サヌカイト	ⅠB区	第2層	
1544	116	128	刃器か石庖丁	(4.5)	8.1	0.8	(34.6)	サヌカイト	ⅠB区	第2層	
1545	116	128	刃器か石庖丁	(7.8)	6.2	0.9	(48.4)	サヌカイト	ⅠA区	第2層	
1546	116	78	柱状片刃石斧	(6.3)	(1.6)	4.0	(49.3)	緑色片岩	ⅠA区	第2層	
1547	116	77	柱状片刃石斧	14.5	2.0	3.6	243.4	緑色片岩	ⅠA区	第2層	
1548	117	77	柱状片刃石斧	21.9	2.3	4.1	412.9	緑色片岩	ⅠB区	第2層	
1549	117	78	柱状片刃石斧	14.5	2.9	3.3	(297.0)	緑色片岩	ⅠA区	第2層	
1550	117	78	扁平片刃石斧	11.0	5.1	1.5	171.1	緑色片岩	ⅠA区	第2層	
1551	117	77	扁平片刃石斧	12.1	3.1	1.1	(86.5)	緑色片岩	ⅠC区	第2層	
1552	117	78	扁平石斧	(4.8)	3.1	0.7	(21.1)	緑色片岩	ⅠB区	第2層	
1553	118	75	太型蛤刃石斧	(21.4)	6.1	4.5	(1051.0)	輝緑岩	ⅠA区	第2層	
1554	118	136	磨石	7.4	4.9	4.7	247.3	花崗岩質斑岩	ⅠA区	第2層	
1555	118	136	磨石	6.6	4.9	4.1	192.2	花崗岩質斑岩	ⅠC区	第2層	
1556	118	136	磨石	5.4	4.2	3.3	100.6	砂岩	ⅠA区	第2層	
1557	118	170	石皿	(10.5)	(6.1)	4.9	(335.2)	安山岩質斑岩	ⅠC区	第2層	
1558	118	78	蛤刃石斧	(5.5)	5.2	3.4	(144.3)	緑色片岩	ⅠA区	第2層	
1559	118	198	石錘	6.5	8.3	1.0	74.8	流紋岩	ⅠA区	第2層	
1560	118	199	石錘	6.5	5.0	3.9	177.9	アプライト	ⅠC区	第2層	
1561	118	186	ハンマーか石器材料	11.4	3.6	2.3	141.0	砂岩	ⅠA区	第2層(土器溜り)	
1562	119	46	石鏃	4.1	2.2	0.6	3.9	サヌカイト	ⅠC区	第4層	
1563	119	46	石鏃	(4.4)	1.6	0.5	(3.3)	サヌカイト	ⅠC区	第4層	
1564	119	46	石鏃	3.6	2.0	0.4	2.1	サヌカイト	ⅠC区	第4層	
1565	119	136	磨石	6.0	4.9	4.3	161.2	砂岩	ⅠC区	第4層	
1566	119	136	磨石	6.8	6.4	4.2	237.6	砂岩	ⅠC区	第4層	
1567	119	135	磨石	7.0	6.3	5.2	311.0	砂岩	ⅠC区	第4層	
1568	119	67・68	石槍	15.7	3.0	1.5	85.7	サヌカイト	ⅠC区	第4層	
1569	119	94	石庖丁	11.3	5.4	1.8	112.1	サヌカイト	ⅠC区	第4層	
1617	123	79	蛤刃石斧	10.5	5.4	4.0	562.5	輝緑岩	ⅡB区	第1層	
1618	123	176	叩石	(8.3)	7.4	6.0	(546.4)	安山岩質斑岩	ⅡA区	第1層	
1619	123	46	石鏃	3.1	2.0	0.5	2.9	サヌカイト	ⅡA区	第2層	
1620	123	46	石鏃	3.3	1.3	0.4	1.3	サヌカイト	ⅡA区	第2層	
1621	123	45	石鏃	4.5	1.3	1.0	4.4	サヌカイト	ⅡB区	第2層	
1622	123	46	石鏃	3.1	1.7	0.6	2.4	サヌカイト	ⅡB区	第2層	
1623	123	46	石鏃	3.4	2.2	0.3	1.9	サヌカイト	ⅡA区	第2層	
1624	123	95	石庖丁	12.5	5.2	1.1	79.0	サヌカイト	ⅡA区	第2層	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1625	123	95	石庖丁	10.5	5.5	0.9	63.9	サヌカイト	ⅡB区	第2層	
1626	123	93	石庖丁	8.7	(4.8)	0.6	(42.4)	緑色片岩	ⅡA区	第2層	
1627	123	115	楔形石器	3.6	4.5	1.1	23.9	サヌカイト	ⅡA区	第2層	
1628	123	115	楔形石器	3.2	2.9	0.7	10.4	サヌカイト	ⅡA区	第2層	
1629	123	128	刃器か石庖丁	5.0	7.7	1.0	43.2	サヌカイト	ⅡA区	第2層	
1630	124	79	柱状石斧	(10.7)	2.2	4.3	(212.7)	緑色片岩	ⅡA区	第2層	
1631	124	78	柱状石斧	(6.0)	(1.3)	(3.9)	(55.5)	緑色片岩	ⅡA区	第2層	
1632	124	79	柱状石斧	11.0	(2.0)	2.2	(78.1)	緑色片岩	ⅡA区	第2層	
1633	124	79	柱状片刃石斧	(4.9)	(2.0)	2.8	(47.5)	緑色片岩	ⅡA区	第2層	
1634	124	78	扁平片刃石斧	13.9	3.8	2.3	217.1	緑色片岩	ⅡA区	第2層	
1635	124	79	扁平片刃石斧	(12.2)	5.7	0.7	(111.6)	緑色片岩	ⅡA区	第2層	
1636	124	79	扁平片刃石斧	(4.8)	(3.0)	1.7	(45.8)	緑色片岩	ⅡA区	第2層	
1637	124	78	扁平片刃石斧	6.5	3.2	1.6	65.0	緑色片岩	ⅡA区	第2層	
1638	124	199	石錘	5.0	4.0	4.6	127.5	砂岩	ⅡA区	第2層	
1639	124	199	石錘	6.6	4.3	4.3	124.8	流紋岩	ⅡA区	第2層	
1640	125	135	磨石	8.2	4.9	4.4	240.9	安山岩質斑岩	ⅡB区	第2層	
1641	125	137	磨石	9.3	5.4	4.9	365.4	安山岩質斑岩	ⅡA区	第2層	
1642	125	136	磨石	7.6	5.0	4.1	213.1	花崗岩質斑岩	ⅡA区	第2層	
1643	125	137	磨石	5.8	4.3	3.9	132.9	砂岩	ⅡB区	第2層	
1644	125	137	磨石	6.8	6.0	3.6	210.9	花崗岩質斑岩	ⅡA区	第2層	
1645	125	176	叩石	11.0	6.2	5.5	560.5	安山岩質斑岩	ⅡA区	第2層	
1646	125	170	凹石	15.0	13.2	7.9	2116.7	砂岩	ⅡA区	第2層	
1647	125	193	砥石	(20.5)	(14.0)	4.1	(1090.3)	砂岩	ⅡA区	第2層	
1654		46	石鏃	(4.7)	1.0	0.4	(1.7)	サヌカイト	SR02	−	
1655		46	石鏃	3.1	2.2	0.5	3.7	サヌカイト	SD11	−	
1656		46	石鏃	(3.5)	1.6	0.4	(2.4)	サヌカイト	SD11	−	
1657		46	石鏃	3.4	1.4	0.3	1.5	サヌカイト	SD12	−	
1658		46	石鏃	3.1	2.2	0.4	1.9	サヌカイト	SD16	−	
1659		46	石鏃	(2.8)	1.4	0.3	(1.1)	サヌカイト	SD16	−	
1660		46	石鏃	(3.4)	2.2	0.4	(2.7)	サヌカイト	SD21	−	
1661		47	石鏃	(2.5)	(1.4)	0.3	(0.9)	サヌカイト	SD22	−	
1662		46	石鏃	(4.0)	(2.1)	0.3	(2.4)	サヌカイト	SD22	−	
1663		47	石鏃	(3.3)	(2.4)	0.5	(4.4)	サヌカイト	SD22	−	
1664		47	石鏃	(2.5)	1.8	0.4	(1.7)	サヌカイト	SD22	−	
1665		47	石鏃	(2.5)	1.9	0.5	(2.3)	サヌカイト	SH10	埋土	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1666		47	石鏃	(1.4)	(1.0)	0.2	(0.2)	サヌカイト	SH10	埋土	
1667		47	石鏃	2.2	2.1	0.3	1.8	サヌカイト	SH10	埋土	未製品
1668		47	石鏃	(2.1)	1.7	0.4	(1.8)	サヌカイト	SH10	埋土	
1669		48	石鏃	3.1	1.3	0.3	1.7	サヌカイト	SH10	埋土	
1670		48	石鏃	2.9	1.8	0.4	2.3	サヌカイト	SH10	埋土	
1671		48	石鏃	2.2	1.0	0.5	1.0	サヌカイト	SH10	埋土	
1672		48	石鏃	(2.1)	1.1	0.3	(0.7)	サヌカイト	SH10	埋土	
1673		48	石鏃	(2.1)	3.2	0.4	(3.1)	サヌカイト	SH10	埋土	未製品
1674		48	石鏃	3.0	1.3	0.4	1.4	サヌカイト	SH10	埋土	
1675		48	石鏃	(2.6)	2.3	0.5	(2.8)	サヌカイト	SH10	埋土	
1676		48	石鏃	(2.9)	1.7	0.5	(2.7)	サヌカイト	SH10	埋土	
1677		48	石鏃	(3.2)	2.2	0.4	(3.8)	サヌカイト	SH10	埋土	
1678		48	石鏃	(2.6)	(2.3)	0.3	(1.7)	サヌカイト	SH10	埋土	
1679		48	石鏃	(3.1)	1.6	0.5	(2.7)	サヌカイト	SH10	埋土	
1680		48	石鏃	(2.7)	2.3	0.5	(2.7)	サヌカイト	SH10	埋土	未製品
1681		48	石鏃	2.8	2.0	4.8	2.8	サヌカイト	SH10	埋土	未製品
1682		48	石鏃	(2.1)	1.8	0.4	(1.7)	サヌカイト	SH10	埋土	未製品
1683		48	石鏃	2.8	1.7	0.6	3.1	サヌカイト	SH10	埋土	未製品
1684		48	石鏃	2.5	1.5	0.2	0.9	サヌカイト	SH10	埋土	
1685		48	石鏃	(2.9)	(2.2)	0.5	(3.1)	サヌカイト	SH10	埋土	
1686		48	石鏃	2.1	1.5	0.3	1.1	サヌカイト	SH10	埋土	
1687		48	石鏃	3.4	(2.5)	0.4	(2.7)	サヌカイト	SH10	埋土	
1688		49	石鏃	(4.3)	2.4	0.5	(7.0)	サヌカイト	SH10	埋土	未製品
1689		49	石鏃	4.1	3.0	0.6	5.6	サヌカイト	SH10	埋土	未製品
1690		49	石鏃	(2.5)	1.7	0.5	(1.8)	サヌカイト	SH10	埋土	
1691		49	石鏃	3.0	1.6	0.4	2.5	サヌカイト	SH10－K01	－	未製品
1692		49	石鏃	(3.1)	2.1	0.5	(2.5)	サヌカイト	SH10－K01	－	未製品
1693		49	石鏃	(2.0)	(1.9)	0.4	(1.7)	サヌカイト	SH10－P05	－	未製品
1694		49	石鏃	2.7	1.2	0.4	1.3	サヌカイト	SH10－P10	－	
1695		49	石鏃	(1.9)	2.2	0.3	(1.6)	サヌカイト	SH10－P11	－	
1696		49	石鏃	(3.4)	(2.6)	0.3	(3.0)	サヌカイト	SH12	埋土	
1697		49	石鏃	(3.1)	(2.1)	0.4	(2.6)	サヌカイト	SH12	埋土	
1698		49	石鏃	(3.4)	(1.6)	0.5	(2.8)	サヌカイト	SH19	埋土	
1699		49	石鏃	(2.3)	(1.7)	0.4	(1.2)	サヌカイト	SH19－P09	－	
1700		49	石鏃	(3.1)	2.1	0.4	(3.6)	サヌカイト	SH21	埋土	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1701		49	石鏃	(2.1)	2.3	0.4	(1.7)	サヌカイト	SH21	埋土	未製品
1702		49	石鏃	2.9	1.7	0.4	1.8	サヌカイト	SH21	埋土	
1703		49	石鏃	(4.1)	2.4	0.4	(5.1)	サヌカイト	SH21	埋土	未製品
1704		49	石鏃	2.5	1.6	0.5	1.8	サヌカイト	SH21	埋土	
1705		49	石鏃	(3.6)	(2.6)	0.4	(2.3)	サヌカイト	SH21－K01	－	
1706		49	石鏃	2.7	1.8	0.5	1.9	サヌカイト	SH23	埋土	
1707		50	石鏃	2.7	1.7	0.4	1.6	サヌカイト	SH23	埋土	
1708		50	石鏃	(3.4)	1.6	0.5	(2.6)	サヌカイト	SH23－P07	－	
1709		50	石鏃	(3.9)	(1.6)	0.3	2.1	サヌカイト	SH23－P07	－	
1710		50	石鏃	3.1	1.8	0.6	3.9	サヌカイト	SH26	埋土	未製品
1711		50	石鏃	(3.1)	(1.3)	0.3	(1.5)	サヌカイト	SH26	埋土	
1712		50	石鏃	(3.3)	(2.5)	0.5	(2.9)	サヌカイト	SH26	埋土	
1713		50	石鏃	(1.3)	1.4	0.2	(0.5)	サヌカイト	SH27－P03	－	
1714		50	石鏃	(3.4)	2.1	0.7	(4.3)	サヌカイト	SH31	埋土	
1715		50	石鏃	3.5	1.2	0.6	2.4	サヌカイト	SH31	埋土	
1716		50	石鏃	2.2	1.1	0.3	1.0	サヌカイト	SH31－D01	－	未製品
1717		50	石鏃	3.2	1.5	0.4	1.6	サヌカイト	SH31－D01	－	
1718		50	石鏃	(3.2)	1.6	0.7	(2.6)	サヌカイト	SH36	埋土	未製品
1719		50	石鏃	2.9	1.7	0.5	2.5	サヌカイト	SH36	埋土	未製品
1720		50	石鏃	5.4	2.0	0.6	7.6	サヌカイト	SH36	埋土	
1721		50	石鏃	(2.9)	1.8	0.5	(3.8)	サヌカイト	SH36	埋土	
1722		50	石鏃	2.6	1.7	0.6	2.8	サヌカイト	SH36	埋土	未製品
1723		50	石鏃	(3.6)	1.5	0.5	(2.9)	サヌカイト	SH36	埋土	
1724		50	石鏃	(1.7)	1.6	0.4	(1.3)	サヌカイト	SH36	埋土	
1725		50	石鏃	(2.8)	2.1	0.4	(2.2)	サヌカイト	SH36	埋土	
1726		50	石鏃	(3.7)	(2.5)	0.4	(3.3)	サヌカイト	SH36	埋土	
1727		51	石鏃	(2.3)	1.4	0.4	(1.6)	サヌカイト	SH36－K01	－	
1728		51	石鏃	(1.9)	(1.7)	0.4	(1.5)	サヌカイト	SH36－K01	－	
1729		51	石鏃	2.4	1.4	0.4	1.5	サヌカイト	SH36－K01	－	
1730		51	石鏃	3.0	1.5	0.4	1.4	サヌカイト	SP68	－	
1731		51	石鏃	(3.3)	1.7	(0.3)	(1.8)	サヌカイト	SP94	－	
1732		51	石鏃	2.9	(1.8)	0.5	(2.3)	サヌカイト	SR01	－	
1733		51	石鏃	(2.1)	(1.3)	0.4	(1.1)	サヌカイト	SR01	－	
1734		51	石鏃	(2.3)	(1.7)	0.4	(1.0)	サヌカイト	SR01	－	
1735		51	石鏃	(2.4)	1.9	0.5	(2.4)	サヌカイト	SR01	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1736		51	石鏃	2.3	1.1	0.3	1.0	サヌカイト	SR01	－	
1737		52	石鏃	(3.0)	1.7	0.4	(2.3)	サヌカイト	SR01	－	
1738		52	石鏃	(3.3)	2.7	0.5	(4.6)	サヌカイト	SR01	－	未製品
1739		52	石鏃	(2.5)	(1.7)	0.4	(1.6)	サヌカイト	SR01	－	
1740		52	石鏃	(2.1)	(1.4)	0.3	(0.8)	サヌカイト	SR01	－	
1741		52	石鏃	(3.5)	2.7	0.8	(5.6)	サヌカイト	SR01	－	
1742		52	石鏃	(1.9)	1.5	0.3	(1.1)	サヌカイト	SR01	－	
1743		52	石鏃	3.3	1.8	0.4	2.8	サヌカイト	SR01	－	未製品
1744		52	石鏃	(2.7)	2.0	0.4	(2.4)	サヌカイト	SR01	－	
1745		52	石鏃	2.7	1.9	0.4	2.0	サヌカイト	SR01	－	
1746		52	石鏃	(4.3)	1.6	0.5	(4.4)	サヌカイト	SR01	－	
1747		52	石鏃	(3.2)	2.2	0.3	(3.0)	サヌカイト	SR01	－	未製品
1748		52	石鏃	(2.4)	1.5	0.6	(1.9)	サヌカイト	SR01	－	
1749		52	石鏃	(2.3)	2.1	0.5	(2.9)	サヌカイト	SR01	－	
1750		52	石鏃	(2.6)	(2.7)	0.5	(3.6)	サヌカイト	SR01	－	未製品
1751		52	石鏃	(1.9)	(1.5)	0.4	(1.4)	サヌカイト	SR01	－	
1752		52	石鏃	(2.7)	(2.1)	0.6	(3.8)	サヌカイト	SR01	－	未製品
1753		52	石鏃	4.8	1.4	0.5	2.6	サヌカイト	SR01	－	
1754		52	石鏃	2.7	1.9	0.3	1.4	サヌカイト	SR01	－	
1755		52	石鏃	(4.7)	(1.5)	0.4	(2.0)	サヌカイト	SR01	－	
1756		52	石鏃	(2.7)	(1.7)	0.6	(3.1)	サヌカイト	SR01	－	未製品
1757		53	石鏃	(1.8)	(1.2)	0.4	(0.9)	サヌカイト	SR01	－	
1758		53	石鏃	3.5	1.6	0.5	3.7	サヌカイト	SR02	－	
1759		53	石鏃	(3.6)	(1.8)	0.4	(2.0)	サヌカイト	SR02	－	
1760		53	石鏃	(3.6)	2.4	0.5	(3.5)	サヌカイト	SR02	－	
1761		53	石鏃	3.6	2.0	0.3	2.6	サヌカイト	SR02	－	
1762		53	石鏃	(3.4)	(2.1)	0.3	(2.0)	サヌカイト	SR02	－	
1763		53	石鏃	(2.9)	(1.4)	0.4	(1.7)	サヌカイト	SR02	－	
1764		53	石鏃	3.4	1.6	0.5	2.3	サヌカイト	SR02	－	
1765		53	石鏃	(2.7)	1.9	0.6	(2.6)	サヌカイト	SR02	－	
1766		53	石鏃	5.4	3.0	0.7	13.4	サヌカイト	SR02	－	未製品
1767		53	石鏃	2.6	2.2	0.4	1.9	サヌカイト	SR02	－	
1768		53	石鏃	(3.7)	(1.4)	0.5	(2.5)	サヌカイト	SR02	－	
1769		53	石鏃	3.7	1.4	0.5	2.8	サヌカイト	SR02	－	
1770		53	石鏃	(4.6)	1.6	0.6	(3.9)	サヌカイト	SR02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1771		53	石鏃	(3.0)	1.6	0.4	(2.2)	サヌカイト	SR02	−	
1772		53	石鏃	(4.8)	(2.9)	0.5	(5.8)	サヌカイト	SR02	−	
1773		53	石鏃	(3.4)	(2.6)	0.5	(3.7)	サヌカイト	SR02	−	未製品
1774		53	石鏃	(3.7)	2.3	0.4	(3.8)	サヌカイト	SR02	−	
1775		53	石鏃	(2.0)	(1.9)	0.6	(2.2)	サヌカイト	SR02	−	未製品
1776		53	石鏃	4.2	1.6	0.7	4.4	サヌカイト	SR02	−	
1777		54	石鏃	(3.5)	1.7	0.5	(3.6)	サヌカイト	SR02	−	
1778		54	石鏃	(1.9)	(2.8)	0.5	(2.0)	サヌカイト	SR02	−	
1779		54	石鏃	3.5	2.2	0.3	3.1	サヌカイト	SR02	−	
1780		54	石鏃	(5.0)	2.6	0.6	(7.7)	サヌカイト	SR02	−	
1781		54	石鏃	5.3	3.1	1.0	13.3	サヌカイト	SR02	−	
1782		54	石鏃	2.9	1.3	0.2	1.3	サヌカイト	SR02	−	
1783		54	石鏃	(5.8)	2.2	0.8	(9.2)	サヌカイト	SR02	−	未製品
1784		54	石鏃	3.2	2.0	0.5	2.8	サヌカイト	SR02	−	
1785		54	石鏃	3.3	2.2	0.4	2.5	サヌカイト	SR02	−	未製品
1786		54	石鏃	3.2	1.4	0.4	1.8	サヌカイト	SR02	−	
1787		54	石鏃	2.8	2.1	0.3	1.6	サヌカイト	SR02	−	
1788		54	石鏃	4.9	2.6	0.6	7.2	サヌカイト	SR02	−	未製品
1789		54	石鏃	3.4	1.4	0.5	2.0	サヌカイト	SR02	−	
1790		54	石鏃	4.2	1.9	0.4	2.9	サヌカイト	SR02	−	未製品
1791		54	石鏃	2.5	2.0	0.3	1.8	サヌカイト	SR02	−	未製品
1792		54	石鏃	(2.5)	2.2	0.4	(2.0)	サヌカイト	SR02	−	未製品
1793		54	石鏃	4.2	1.5	0.5	2.8	サヌカイト	SR02	−	
1794		54	石鏃	3.2	1.9	0.5	2.7	サヌカイト	SR02	−	
1795		54	石鏃	(3.2)	1.7	0.3	(1.9)	サヌカイト	SR02	−	
1796		55	石鏃	(3.2)	1.9	0.5	(3.0)	サヌカイト	SR02	−	
1797		55	石鏃	3.1	1.9	0.5	2.3	サヌカイト	SR02	−	
1798		55	石鏃	(5.3)	2.3	0.5	(8.2)	サヌカイト	SR02	−	未製品
1799		55	石鏃	2.8	1.6	0.4	1.5	サヌカイト	SR02	−	
1800		55	石鏃	3.0	1.8	0.4	2.0	サヌカイト	SR02	−	
1801		55	石鏃	2.4	1.7	0.4	1.7	サヌカイト	SR02	−	未製品
1802		55	石鏃	(3.2)	(2.1)	0.4	(2.3)	サヌカイト	SR02	−	
1803		55	石鏃	(4.0)	2.3	0.4	(3.3)	サヌカイト	SR02	−	未製品
1804		55	石鏃	(2.4)	2.1	0.6	(2.7)	サヌカイト	SR02	−	
1805		55	石鏃	(3.0)	1.8	0.5	(3.0)	サヌカイト	SR02	−	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1806		55	石鏃	3.4	1.9	0.4	2.9	サヌカイト	SR02	土器溜り	
1807		55	石鏃	2.2	1.1	0.4	1.1	サヌカイト	SR02	土器溜り	
1808		55	石鏃	(3.2)	2.0	0.4	(2.7)	サヌカイト	SR02	土器溜り	
1809		55	石鏃	(1.9)	2.2	0.3	(1.3)	サヌカイト	SR02	土器溜り	
1810		55	石鏃	(3.3)	1.9	0.6	(3.3)	サヌカイト	SR02	土器溜り	
1811		55	石鏃	(2.7)	1.6	0.5	(1.7)	サヌカイト	SR02	土器溜り	
1812		55	石鏃	(3.0)	1.6	0.5	(1.7)	サヌカイト	SR02	土器溜り	
1813		55	石鏃	(4.6)	3.1	0.9	(11.3)	サヌカイト	SR02	土器溜り	未製品
1814		55	石鏃	3.1	1.6	0.4	1.8	サヌカイト	SR02	土器溜り	
1815		56	石鏃	(2.4)	2.9	0.4	(3.5)	サヌカイト	SR02	土器溜り	未製品
1816		56	石鏃	(3.2)	1.8	0.3	(1.7)	サヌカイト	SR02	土器溜り	
1817		56	石鏃	(3.1)	2.4	0.4	(3.1)	サヌカイト	SR02	－	
1818		56	石鏃	2.9	1.3	0.4	1.5	サヌカイト	SR02	－	
1819		56	石鏃	(3.8)	2.0	0.6	(3.1)	サヌカイト	SR02	－	
1820		56	石鏃	(3.6)	2.2	0.7	(5.7)	サヌカイト	SR02	－	
1821		56	石鏃	(4.1)	1.9	0.3	(3.9)	サヌカイト	SR02	－	
1822		56	石鏃	(2.0)	2.1	0.3	(1.4)	サヌカイト	SR02	－	
1823		56	石鏃	(3.2)	2.0	0.3	(2.0)	サヌカイト	SR02	－	
1824		56	石鏃	4.3	2.4	0.5	6.1	サヌカイト	SR02	－	未製品
1825		56	石鏃	2.9	1.4	0.5	1.9	サヌカイト	SR02	－	
1826		56	石鏃	3.5	1.8	0.4	3.0	サヌカイト	SR02	－	未製品
1827		56	石鏃	(2.2)	(1.5)	0.4	(1.3)	サヌカイト	SR02	－	
1828		56	石鏃	(3.9)	2.0	0.6	(4.3)	サヌカイト	SR02	－	
1829		56	石鏃	(3.2)	1.9	0.4	(2.6)	サヌカイト	SR02	－	
1830		56	石鏃	(2.8)	1.9	0.3	(1.6)	サヌカイト	SR02	－	
1831		56	石鏃	4.1	1.9	0.2	2.4	サヌカイト	SR02	－	未製品
1832		56	石鏃	(3.0)	(2.4)	0.2	(2.3)	サヌカイト	SR02	－	
1833		56	石鏃	3.5	1.6	0.3	1.9	サヌカイト	SR02	－	
1834		56	石鏃	2.5	2.3	0.3	2.6	サヌカイト	SR02	－	
1835		57	石鏃	3.0	1.5	0.4	2.0	サヌカイト	SR02	－	
1836		57	石鏃	(4.6)	(2.7)	0.3	(4.4)	サヌカイト	SR02	－	
1837		57	石鏃	2.8	2.2	0.5	2.5	サヌカイト	SR02	－	
1838		57	石鏃	4.1	1.4	0.5	3.0	サヌカイト	SR02	－	
1839		57	石鏃	(3.2)	1.8	0.5	(3.5)	サヌカイト	SR02	－	
1840		57	石鏃	2.5	2.0	0.3	1.9	サヌカイト	SR02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1841		57	石鏃	2.9	2.2	0.5	3.3	サヌカイト	SR02	－	
1842		57	石鏃	4.0	2.3	0.6	5.4	サヌカイト	SR02	－	未製品
1843		57	石鏃	(2.0)	1.6	0.3	(1.1)	サヌカイト	SR02	－	
1844		57	石鏃	(2.8)	(2.0)	0.3	(1.4)	サヌカイト	SR02	－	未製品
1845		57	石鏃	(2.5)	(1.4)	0.5	(1.6)	サヌカイト	SR02	－	
1846		57	石鏃	4.1	1.9	0.4	3.5	サヌカイト	SR02	－	
1847		57	石鏃	(2.0)	(1.4)	0.3	(0.7)	サヌカイト	SR02	－	
1848		57	石鏃	(2.9)	(2.2)	0.3	(2.8)	サヌカイト	SR02	－	未製品
1849		57	石鏃	2.2	1.4	0.2	0.9	サヌカイト	SR02	－	
1850		57	石鏃	(2.3)	(2.0)	0.5	(2.4)	サヌカイト	SR02	－	
1851		57	石鏃	(2.7)	(1.3)	0.3	(0.9)	サヌカイト	SR02	－	
1852		57	石鏃	2.9	1.7	0.3	1.5	サヌカイト	SR02	－	
1853		57	石鏃	5.0	1.8	0.8	7.8	サヌカイト	SR02	－	
1854		57	石鏃	2.9	1.8	0.5	2.3	サヌカイト	SR02	－	
1855		58	石鏃	4.5	2.4	0.5	4.4	サヌカイト	SR02	－	未製品
1856		58	石鏃	(3.1)	(2.4)	0.4	(3.3)	サヌカイト	SR02	－	未製品
1857		58	石鏃	(3.1)	2.1	0.4	2.6	サヌカイト	SR02	－	
1858		58	石鏃	3.0	1.9	0.4	2.3	サヌカイト	SR02	－	
1859		58	石鏃	(4.1)	1.9	0.6	(4.7)	サヌカイト	SR02	－	
1860		58	石鏃	(3.1)	(1.7)	0.3	(1.0)	サヌカイト	SR02	－	
1861		58	石鏃	(3.9)	3.0	0.6	(5.9)	サヌカイト	SR02	－	
1862		58	石鏃	(2.6)	(1.9)	0.4	(2.7)	サヌカイト	SR02	－	
1863		58	石鏃	4.0	1.3	0.6	2.6	サヌカイト	SR02	－	
1864		58	石鏃	(2.4)	2.1	0.2	(1.1)	サヌカイト	SR02	－	
1865		58	石鏃	(2.8)	1.4	0.4	(1.6)	サヌカイト	SR02	－	
1866		58	石鏃	(3.1)	2.3	0.5	(2.8)	サヌカイト	SR02	－	
1867		58	石鏃	3.3	1.7	0.4	2.1	サヌカイト	SR02	－	
1868		59	石鏃	3.7	2.5	0.4	3.2	サヌカイト	SH20	埋土	
1869		59	石鏃	(2.3)	1.1	0.4	(1.1)	サヌカイト	SH20	埋土	
1870		59	石鏃	(1.9)	2.0	0.5	(1.7)	サヌカイト	SH20	埋土	
1871		59	石鏃	(3.5)	2.2	0.8	(5.7)	サヌカイト	SH20	埋土	未製品
1872		59	石鏃	4.5	2.3	0.8	6.1	サヌカイト	SH20	埋土	
1873		59	石鏃	(3.7)	2.0	0.7	(4.7)	サヌカイト	SH20－D01	－	
1874		59	石鏃	(1.8)	(0.8)	0.3	(0.4)	サヌカイト	SX02	－	
1875		59	石鏃	(2.0)	(1.2)	0.3	(0.7)	サヌカイト	SX02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1876		59	石鏃	3.0	1.5	0.4	1.9	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1877		59	石鏃	(1.4)	(1.4)	0.4	(0.9)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1878		60	石鏃	(3.1)	1.4	0.6	(3.0)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1879		60	石鏃	3.7	2.6	0.6	4.8	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1880		60	石鏃	(1.5)	(1.3)	0.3	(0.7)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1881		60	石鏃	(2.4)	2.1	0.4	(2.2)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1882		60	石鏃	2.8	1.5	0.4	1.9	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1883		60	石鏃	2.5	1.8	0.3	1.9	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1884		60	石鏃	3.2	1.7	0.5	3.1	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	未製品
1885		60	石鏃	2.4	1.3	0.3	1.6	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1886		60	石鏃	(1.6)	(2.6)	0.4	(2.1)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1887		60	石鏃	(2.0)	1.8	0.3	1.4	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1888		60	石鏃	(1.8)	1.3	0.2	0.5	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1889		60	石鏃	(2.7)	(2.1)	0.6	(2.5)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1890		60	石鏃	2.8	2.6	0.4	2.9	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	未製品
1891		60	石鏃	3.0	2.2	0.4	3.0	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1892		60	石鏃	(2.3)	1.4	0.3	(1.3)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1893		60	石鏃	(2.5)	2.1	0.3	(2.5)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1894		60	石鏃	(2.9)	2.8	0.5	(4.6)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1895		60	石鏃	4.4	2.1	0.5	5.5	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	未製品
1896		60	石鏃	2.9	1.4	0.3	1.4	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1897		61	石鏃	3.0	2.2	0.5	3.1	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	未製品
1898		61	石鏃	2.7	1.2	0.5	1.5	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1899		61	石鏃	2.8	1.5	0.4	1.6	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1900		61	石鏃	3.2	1.3	0.3	1.6	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1901		61	石鏃	2.4	(1.8)	0.3	(1.2)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1902		61	石鏃	3.2	2.1	0.4	3.0	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	未製品
1903		61	石鏃	2.2	1.3	0.3	0.9	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1904		61	石鏃	2.9	1.5	0.4	1.8	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1905		61	石鏃	2.5	1.5	0.5	2.0	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1906		61	石鏃	(2.2)	1.7	0.4	(1.4)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1907		61	石鏃	2.5	1.7	0.3	1.6	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1908		61	石鏃	(2.5)	(2.2)	0.5	(2.6)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1909		61	石鏃	2.2	(1.8)	0.4	(1.3)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1910		61	石鏃	4.0	2.3	0.4	3.9	サヌカイト	ＩＢ区	第１層	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1911		61	石鏃	3.0	1.6	0.3	1.7	サヌカイト	ＩＢ区	第２層	
1912		61	石鏃	(2.4)	1.7	0.6	(1.9)	サヌカイト	ＩＢ区	第２層	
1913		61	石鏃	3.2	1.6	0.4	2.1	サヌカイト	ＩＢ区	第２層	
1914		61	石鏃	3.9	1.7	0.6	3.5	サヌカイト	ＩＢ区	第２層	
1915		61	石鏃	(2.8)	1.8	0.3	(1.6)	サヌカイト	ＩＢ区	第２層	
1916		62	石鏃	3.8	1.4	0.4	2.5	サヌカイト	ＩＣ区	第１層	
1917		62	石鏃	(3.5)	2.0	0.4	(2.9)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
1918		62	石鏃	(2.9)	1.8	0.4	(2.5)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
1919		62	石鏃	3.1	1.3	0.3	1.5	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
1920		62	石鏃	(3.7)	(2.0)	0.5	(3.4)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
1921		62	石鏃	3.3	1.4	0.3	1.9	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
1922		62	石鏃	(2.5)	1.7	0.4	(1.3)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
1923		62	石鏃	2.5	1.4	0.4	1.6	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
1924		62	石鏃	2.8	1.3	0.3	1.5	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
1925		62	石鏃	(3.2)	1.7	0.5	(2.9)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	未製品
1926		62	石鏃	2.2	1.7	0.4	1.4	サヌカイト	ＩＣ区	第１層	
1927		62	石鏃	(2.9)	(2.3)	0.5	(3.9)	サヌカイト	ＩＣ区	第１層	未製品
1928		62	石鏃	3.7	1.8	0.5	3.3	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
1929		62	石鏃	(2.9)	2.0	0.4	(2.4)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
1930		62	石鏃	(2.4)	1.2	0.3	(1.3)	サヌカイト	ＩＡ区	第１層	
1931		62	石鏃	2.9	1.4	0.3	1.2	サヌカイト	ＩＡ区	第１層	
1932		62	石鏃	(3.7)	1.5	0.4	(3.1)	サヌカイト	ＩＡ区	第１層	
1933		62	石鏃	3.1	1.6	0.4	2.2	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
1934		62	石鏃	(1.6)	(1.4)	0.3	(0.8)	サヌカイト	ＩＡ区	第１層	
1935		62	石鏃	2.2	1.1	0.2	0.7	サヌカイト	ＩＡ区	第１層	
1936		63	石鏃	2.6	1.7	0.4	1.6	サヌカイト	ＩＡ区	第１層	
1937		63	石鏃	(2.3)	1.2	0.3	(1.0)	サヌカイト	ＩＡ区	第１層	
1938		63	石鏃	3.6	2.0	0.5	4.5	サヌカイト	ＩＡ区	第１層	
1939		63	石鏃	2.5	1.3	0.2	0.9	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
1940		63	石鏃	2.8	1.9	0.3	2.4	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
1941		63	石鏃	2.4	1.5	0.5	1.7	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
1942		63	石鏃	2.6	1.4	0.3	1.1	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
1943		63	石鏃	2.4	1.5	0.3	1.6	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
1944		63	石鏃	2.9	1.8	0.3	1.5	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
1945		63	石鏃	(1.6)	(1.9)	0.3	(1.2)	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1946		63	石鏃	4.2	(2.2)	0.3	(4.0)	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
1947		63	石鏃	2.9	1.8	0.3	1.6	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
1948		63	石鏃	2.6	1.7	0.3	1.5	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
1949		63	石鏃	4.1	1.8	0.4	2.7	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
1950		63	石鏃	(2.8)	1.6	0.3	(1.4)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
1951		63	石鏃	(3.0)	1.2	0.5	(1.7)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
1952		63	石鏃	(3.2)	1.7	0.5	(3.4)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	未製品
1953		63	石鏃	(3.0)	(1.7)	0.2	(1.2)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
1954		63	石鏃	(1.9)	(1.3)	0.4	(0.9)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
1955		63	石鏃	3.8	2.0	0.4	3.8	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	未製品
1956		64	石鏃	3.2	2.3	0.3	2.6	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
1957		64	石鏃	4.5	3.2	0.6	8.6	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
1958		64	石鏃	4.4	1.6	0.9	5.3	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
1959		64	石鏃	(2.3)	(1.5)	0.2	(0.9)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
1960		64	石鏃	2.5	1.8	0.4	1.5	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
1961		64	石鏃	(3.2)	2.1	0.5	(3.6)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
1962		64	石鏃	3.0	1.4	0.4	1.9	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
1963		64	石鏃	2.9	1.6	0.3	1.3	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
1964		64	石鏃	(2.6)	1.7	0.6	(3.1)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
1965		64	石鏃	(2.8)	(1.3)	0.2	(0.8)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
1966		64	石鏃	(2.9)	(2.3)	0.5	(3.4)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
1967		64	石鏃	(3.1)	1.8	0.5	(2.6)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
1968		64	石鏃	2.3	1.6	0.4	1.4	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
1969		64	石鏃	3.5	1.9	0.5	3.5	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
1970		64	石鏃	(2.6)	2.1	0.4	(2.4)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
1971		64	石鏃	2.3	1.6	0.2	1.1	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
1972		55	石鏃	3.6	2.0	0.4	3.1	サヌカイト	ＳＲ02	－	
1973		49	石鏃	(4.2)	2.1	0.6	(6.5)	サヌカイト	ＳＨ19	埋土	
1974		54	石鏃	(3.0)	2.2	0.5	(4.6)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
1975		60	石鏃	4.4	2.3	0.7	8.9	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1976		61	石鏃	(3.2)	(1.5)	0.6	2.5	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
1977		48	石鏃	(4.2)	(1.8)	0.4	(2.6)	サヌカイト	ＳＨ10	埋土	未製品
1978		65	石鏃	(3.8)	1.5	0.4	(2.7)	サヌカイト	ＳＤ16	－	
1979		65	石鏃	3.5	2.1	0.5	4.0	サヌカイト	ＳＤ16	－	未製品
1980		65	石鏃	3.0	2.1	0.5	2.4	サヌカイト	ＳＤ16	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
1981		65	石鏃	(1.9)	(1.1)	0.3	(0.5)	サヌカイト	SD16	－	
1982		65	石鏃	(4.4)	(2.9)	0.6	(7.6)	サヌカイト	SD16	－	
1983		46	石鏃	(3.8)	2.1	0.5	(3.5)	サヌカイト	SD20	－	
1984		65	石鏃	4.2	1.7	0.5	3.3	サヌカイト	SD17	－	
1985		65	石鏃	2.4	(1.5)	0.4	(1.1)	サヌカイト	SD18	－	
1986		46	石鏃	5.2	2.7	0.6	8.9	サヌカイト	SD20	－	未製品
1987		46	石鏃	4.2	2.6	0.6	5.6	サヌカイト	SD22	－	未製品
1988		47	石鏃	2.9	(2.0)	0.3	(1.2)	サヌカイト	SH12－P07	－	
1989		47	石鏃	(2.7)	1.4	0.3	(1.4)	サヌカイト	SH14－P37	－	
1990		47	石鏃	3.0	1.8	0.4	1.8	サヌカイト	SH21	埋土	
1991		47	石鏃	(2.9)	(2.3)	0.4	(3.3)	サヌカイト	SH24－K01	－	
1992		47	石鏃	(2.5)	1.6	0.4	(1.6)	サヌカイト	SH29－K01	－	
1993		47	石鏃	3.0	1.6	0.4	1.8	サヌカイト	SH29－K01	－	未製品
1994		47	石鏃	(4.3)	1.5	0.4	(2.8)	サヌカイト	SH31	埋土	
1995		65	石鏃	(2.9)	2.2	0.4	(2.5)	サヌカイト	SH34	埋土	
1996		65	石鏃	3.5	2.5	0.4	3.6	サヌカイト	SH35	埋土	未製品
1997		65	石鏃	(3.8)	(1.9)	0.6	(3.2)	サヌカイト	SH35	埋土	
1998		65	石鏃	3.8	1.8	0.4	3.1	サヌカイト	SH35	埋土	
1999		65	石鏃	(2.9)	1.7	0.4	(2.3)	サヌカイト	SH36	埋土	
2000		65	石鏃	3.4	1.1	0.5	1.8	サヌカイト	SK37	－	
2001		65	石鏃	2.9	1.4	0.2	1.6	サヌカイト	SH36－K03	－	未製品
2002		65	石鏃	3.2	1.2	0.3	1.5	サヌカイト	SH36－K03	－	
2003		65	石鏃	(4.1)	1.8	0.5	(3.2)	サヌカイト	SH36－P23	－	
2004		65	石鏃	(3.7)	1.6	0.9	(4.2)	サヌカイト	SH36	埋土	未製品
2005		47	石鏃	(1.9)	2.1	2.9	(2.9)	サヌカイト	SH36	埋土	
2006		47	石鏃	(2.7)	1.4	0.4	(1.6)	サヌカイト	SH29	埋土	
2007		47	石鏃	2.7	1.2	0.2	1.2	サヌカイト	SH29	埋土	未製品
2008		47	石鏃	3.2	1.9	0.4	2.6	サヌカイト	SH29	埋土	
2009		47	石鏃	(2.4)	1.5	0.3	(1.2)	サヌカイト	SH29	埋土	
2010		47	石鏃	(3.6)	1.9	0.5	(3.0)	サヌカイト	SH29	埋土	
2011		65	石鏃	4.0	1.6	0.4	2.8	サヌカイト	SK30	－	未製品
2012		65	石鏃	2.7	1.7	0.6	2.3	サヌカイト	SK30	－	
2013		65	石鏃	3.2	2.0	0.5	2.9	サヌカイト	SK35	－	
2014		51	石鏃	(3.4)	1.9	0.6	(3.1)	サヌカイト	SK20	－	
2015		51	石鏃	(3.2)	(2.2)	0.5	(5.0)	サヌカイト	SP82	－	未製品

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2016		51	石鏃	3.4	1.9	0.4	2.6	サヌカイト	ＳＰ101	－	
2017		51	石鏃	(2.8)	1.6	0.3	(1.8)	サヌカイト	ＳＰ130	－	未製品
2018		51	石鏃	3.7	1.6	0.4	2.9	サヌカイト	ＳＲ01	－	未製品
2019		58	石鏃	3.5	1.8	0.4	2.5	サヌカイト	ＳＲ01	－	
2020		58	石鏃	3.0	1.5	0.3	1.7	サヌカイト	ＳＲ01	－	未製品
2021		58	石鏃	2.3	1.8	0.4	1.6	サヌカイト	ＳＲ01	－	
2022		58	石鏃	2.6	2.0	0.4	1.8	サヌカイト	ＳＲ01	－	
2023		58	石鏃	(2.0)	2.3	0.5	(2.5)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2024		58	石鏃	(2.2)	(1.5)	0.3	(0.8)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2025		58	石鏃	(4.2)	2.3	0.4	(4.1)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2026		58	石鏃	3.7	2.6	0.5	4.3	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2027		58	石鏃	4.4	2.9	0.4	7.8	サヌカイト	ＳＲ02	－	未製品
2028		51	石鏃	2.4	2.0	0.3	1.2	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2029		51	石鏃	(3.8)	2.0	0.4	(2.4)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2030		51	石鏃	3.4	1.6	0.4	1.9	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2031		51	石鏃	2.9	0.9	0.3	0.9	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2032		51	石鏃	(3.0)	1.9	0.4	(2.7)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2033		59	石鏃	(3.2)	2.5	0.6	(4.0)	サヌカイト	ＳＸ01－Ｐ05	－	
2034		59	石鏃	2.2	1.3	0.3	0.8	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2035		59	石鏃	1.8	1.5	0.2	0.7	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	未製品
2036		59	石鏃	(3.4)	1.3	0.6	(2.2)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2037		59	石鏃	4.2	1.4	0.5	2.8	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2038		59	石鏃	(3.1)	1.6	0.6	(3.1)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2039		59	石鏃	2.9	1.9	0.2	1.2	サヌカイト	ⅡＢ区	第１層	
2040		59	石鏃	(3.3)	2.5	0.5	(5.3)	サヌカイト	ⅡＢ区	第１層	未製品
2041		59	石鏃	(2.4)	1.9	0.5	(1.8)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
2042		59	石鏃	(1.9)	1.5	0.3	(1.0)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
2043		69	石槍	(5.6)	2.2	0.7	(10.9)	サヌカイト	ＳＲ02	－	未製品
2044		69	石槍	(3.6)	2.5	0.8	(7.0)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2045		69	石槍	(6.3)	3.0	0.9	(17.1)	サヌカイト	ＳＲ02	－	未製品
2046		69	石槍	(3.1)	(2.4)	1.2	(8.8)	サヌカイト	ＳＨ10	埋土	
2047		69	石槍	(3.0)	3.0	0.7	(8.1)	サヌカイト	ＳＨ21	埋土	
2048		69	石槍	(2.9)	(2.1)	0.7	(6.2)	サヌカイト	ＳＨ36	埋土	
2049		69	石槍	(2.6)	2.1	0.7	(5.7)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
2050		69	石槍	(3.2)	3.0	0.8	(9.2)	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2051		69	石槍	(3.3)	2.9	0.6	(8.1)	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
2052		95	石庖丁	(4.1)	3.6	0.5	(9.9)	サヌカイト	ＳＤ12	－	
2053		95	石庖丁	(2.2)	(4.6)	0.9	(9.8)	サヌカイト	ＳＤ11	－	
2054		95	石庖丁	(5.9)	(5.1)	0.6	(27.0)	サヌカイト	ＳＤ22	－	
2055		96	石庖丁	7.9	4.8	0.8	34.8	サヌカイト	ＳＨ04	埋土	
2056		96	石庖丁	5.2	5.6	0.6	35.7	結晶片岩	ＳＨ04－Ｐ01	－	
2057		96	石庖丁	9.3	4.2	1.6	62.6	サヌカイト	ＳＨ21	埋土	
2058		96	石庖丁	(8.1)	(4.1)	(0.9)	(38.6)	結晶片岩	ＳＫ37	－	
2059		97	石庖丁	(5.4)	3.5	0.8	(18.5)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2060		97	石庖丁	(4.8)	5.1	0.8	(30.8)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2061		97	石庖丁	(10.7)	(4.5)	(0.8)	(45.8)	結晶片岩	ＳＲ02	－	
2062		97	石庖丁	(6.5)	3.8	0.6	(20.0)	結晶片岩	ＳＲ02	－	
2063		97	石庖丁	(6.5)	(4.5)	(0.4)	(10.9)	結晶片岩	ＳＲ02	－	
2064		98	石庖丁	(4.2)	3.6	0.9	(15.0)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2065		98	石庖丁	(6.9)	3.5	1.0	(27.7)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2066		98	石庖丁	4.1	4.1	0.9	15.2	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2067		98	石庖丁	(4.7)	4.5	0.6	(20.7)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2068		98	石庖丁	4.7	3.9	0.7	14.6	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2069		98	石庖丁	(6.6)	(3.8)	0.9	(27.6)	結晶片岩	ＳＲ02	－	
2070		98	石庖丁	(5.3)	5.6	1.1	(38.7)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2071		98	石庖丁	(6.1)	(2.7)	0.9	(16.4)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2072		99	石庖丁	(6.5)	(2.4)	0.7	(10.8)	結晶片岩	ＳＲ02	－	
2073		99	石庖丁	(3.3)	(3.5)	0.7	(9.1)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2074		99	石庖丁	6.0	3.6	0.9	19.1	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2075		99	石庖丁	6.0	5.6	1.1	40.0	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2076		99	石庖丁	(3.3)	4.9	0.6	(11.5)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2077		99	石庖丁	(3.6)	(4.2)	0.7	(10.3)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2078		100	石庖丁	(7.8)	6.3	(0.9)	(46.9)	結晶片岩	ⅡＢ区	第２層	
2079		100	石庖丁	(6.1)	(4.3)	(0.5)	(21.7)	結晶片岩	ⅡＡ区	第２層	
2080		100	石庖丁	(4.8)	3.5	0.9	(28.1)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2081		100	石庖丁	(4.7)	(4.7)	0.8	(17.8)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2082		97	石庖丁	98	(3.8)	0.8	(13.3)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2083		101	石庖丁	(5.0)	5.2	1.1	(39.2)	サヌカイト	ＳＤ15	－	
2084		101	石庖丁	(6.2)	6.0	1.0	(53.4)	サヌカイト	ＳＤ16	－	
2085		101	石庖丁	7.5	6.1	0.7	41.1	サヌカイト	ＳＤ17	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2086		101	石庖丁	(9.5)	(4.7)	(0.7)	(43.6)	結晶片岩	ＳＤ22	－	
2087		95	石庖丁	(3.7)	(6.5)	0.8	(18.4)	サヌカイト	ＳＤ22	－	
2088		96	石庖丁	(4.7)	(4.5)	0.9	(24.5)	サヌカイト	ＳＨ32	埋土	
2089		96	石庖丁	(5.0)	(4.4)	(0.9)	(30.8)	結晶片岩	ＳＲ01	－	
2090		96	石庖丁	(4.0)	(3.1)	(0.6)	(12.4)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2091		97	石庖丁	(4.5)	4.0	0.8	(18.4)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2092		96	石庖丁	(2.8)	(2.7)	0.8	(5.2)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2093		97	石庖丁	(6.7)	3.6	1.0	(34.7)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2094		99	石庖丁	(6.4)	(4.2)	0.8	(27.6)	結晶片岩	ＩＡ区	第２層	
2095		99	石庖丁	(3.1)	(3.0)	(0.4)	(0.6)	結晶片岩	ＩＡ区	第２層	
2096		100	石庖丁	(4.0)	(3.1)	1.1	(20.4)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2097		100	石庖丁	(4.2)	(4.2)	0.7	(19.7)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
2098		100	石庖丁	(4.8)	4.7	1.0	(31.9)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2099		102	石　錐	(2.0)／(0.4)	2.3／(0.6)	0.3／0.2	(2.0)	サヌカイト	ＳＨ10	埋土	
2100		102	石　錐	／(1.8)	／0.8	／0.4	(0.6)	サヌカイト	ＳＨ10	埋土	
2101		102	石　錐	／(1.8)	／0.6	／0.3	(0.5)	サヌカイト	ＳＨ10－Ｋ01	－	
2102		102	石　錐	(1.0)／1.2	2.1／0.7	0.4／0.2	(1.4)	サヌカイト	ＳＨ10－Ｋ01	－	
2103		102	石　錐	2.7／0.5	1.9／0.6	0.6／0.3	2.7	サヌカイト	ＳＨ12	埋土	
2104		102	石　錐	1.6／2.0	1.8／0.9	0.4／0.5	3.0	サヌカイト	ＳＨ21	埋土	未製品
2105		103	石　錐	2.5／1.1	3.4／0.9	0.9／0.2	7.1	サヌカイト	ＳＨ36	埋土	
2106		103	石　錐	1.9／1.0	1.7／0.9	0.4／0.2	2.0	サヌカイト	ＳＫ37	－	
2107		103	石　錐	1.9／1.1	1.8／0.5	0.5／0.3	2.1	サヌカイト	ＳＲ02	－	未製品
2108		103	石　錐	1.5／(0.9)	2.2／0.7	0.4／0.4	(1.6)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2109		103	石　錐	1.2／1.6	1.8／0.8	0.4／0.5	2.2	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2110		103	石　錐	／(2.7)	／1.0	／0.5	(1.7)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2111		103	石　錐	3.1／1.5	2.2／1.1	0.6／0.4	6.4	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2112		103	石　錐	1.9／(0.7)	1.8／0.7	0.3／0.2	(1.7)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2113		103	石　錐	2.0／1.9	(2.0)／(0.5)	0.2／0.3	(1.7)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2114		103	石　錐	2.5／(1.2)	2.2／1.0	0.5／0.3	(3.6)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2115		103	石　錐	3.8／(0.8)	3.0／1.4	0.7／0.3	(9.7)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2116		103	石　錐	1.8／(0.5)	0.9／0.4	0.4／0.2	(0.8)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2117		103	石　錐	2.0／	2.1／	0.4／	2.2	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2118		104	石　錐	3.2／1.1	1.6／0.9	0.6／0.4	3.8	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	未製品
2119		104	石　錐	2.8／1.5	2.0／1.4	0.5／0.6	6.2	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	未製品
2120		104	石　錐	2.3／(1.4)	1.9／1.2	0.5／0.4	(3.9)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2121		104	石錐	2.4／0.5	2.5／0.7	0.5／0.2	4.1	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
2122		104	石錐	／2.5	／1.2	／0.3	1.1	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
2123		104	石錐	1.9／1.5	2.7／2.1	0.7／0.8	9.5	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2124		104	石錐	(1.2)／0.4	2.5／1.1	0.8／0.4	(5.2)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	未製品
2125		104	石錐	2.5／0.8	2.0／0.7	0.6／0.3	3.4	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2126		104	石錐	(1.3)／1.2	2.6／0.7	0.4／0.3	(1.3)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
2127		104	石錐	2.4／1.1	1.1／0.7	0.4／0.3	1.3	サヌカイト	ＳＨ10	埋土	
2128		104	石錐	1.8／0.6	1.7／0.7	0.3／0.2	1.4	サヌカイト	ＳＨ10	埋土	
2129		104	石錐	1.7／1.0	1.2／0.7	0.3／0.3	1.2	サヌカイト	ＳＨ10	埋土	
2130		103	石錐	1.9／0.7	2.1／0.8	0.5／0.4	2.2	サヌカイト	ＳＲ02	土器溜り	
2131		102	石錐	3.1／0.3	1.7／0.3	0.6／0.3	2.9	サヌカイト	ＳＨ14－Ｐ37	－	
2132		102	石錐	／(2.3)	／0.9	／0.3	(0.9)	サヌカイト	ＳＨ14	埋土	
2133		102	石錐	3.8／1.1	2.2／0.9	0.5／0.3	5.0	サヌカイト	ＳＨ14	埋土	
2134		102	石錐	7.9／(0.6)	3.8／0.9	0.9／0.4	(15.3)	サヌカイト	ＳＨ14	埋土	未製品
2135		103	石錐	1.9／0.7	2.0／0.7	0.6／0.2	3.4	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2136		103	石錐	2.0／(0.6)	1.8／0.7	0.4／0.3	(1.9)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2137		103	石錐	2.0／1.3	2.3／1.0	0.4／0.3	3.2	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2138		103	石錐	3.2／(0.8)	2.5／0.6	0.5／0.4	(5.6)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2139		103	石錐	2.2／	1.7／	0.4／	1.8	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2140		103	石錐	3.1／(0.9)	2.8／0.7	0.7／0.4	(7.2)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2141		105	不定形刃器	(3.6)	(3.0)	(0.9)	(12.4)	サヌカイト	ＳＤ12	－	
2142		105	不定形刃器	(4.3)	3.0	0.6	(7.2)	サヌカイト	ＳＤ16	－	
2143		106	不定形刃器	(1.9)	2.0	0.6	(3.7)	サヌカイト	ＳＨ07－Ｐ37	－	
2144		106	不定形刃器	(2.7)	(2.1)	(0.7)	(3.5)	サヌカイト	ＳＨ10	埋土	
2145		106	不定形刃器	(6.7)	3.9	1.4	(36.9)	サヌカイト	ＳＨ12	埋土	
2146		106	不定形刃器	4.3	2.8	0.7	8.9	サヌカイト	ＳＨ19	埋土	
2147		106	不定形刃器	(3.5)	(2.8)	(0.5)	(2.6)	サヌカイト	ＳＨ19	埋土	
2148		106	不定形刃器	(4.3)	6.4	1.3	(31.5)	サヌカイト	ＳＨ19	埋土	
2149		106	不定形刃器	(3.0)	3.1	0.7	(8.4)	サヌカイト	ＳＨ19	埋土	
2150		106	不定形刃器	(6.4)	3.8	0.9	(26.6)	サヌカイト	ＳＨ19	埋土	
2151		106	不定形刃器	(4.1)	(7.7)	(1.3)	(41.7)	サヌカイト	ＳＨ19	埋土	
2152		106	不定形刃器	(2.5)	(3.0)	(0.8)	(7.1)	サヌカイト	ＳＨ19	埋土	
2153		107	不定形刃器	(1.7)	(2.2)	(0.8)	(3.2)	サヌカイト	ＳＨ21－Ｋ01	－	
2154		107	不定形刃器	(4.2)	(2.5)	(1.0)	(8.1)	サヌカイト	ＳＨ23	埋土	
2155		107	不定形刃器	4.1	2.7	0.8	13.0	サヌカイト	ＳＨ26	床面	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2156		107	不定形刃器	(4.7)	(3.2)	(0.8)	(11.1)	サヌカイト	SH36	埋土	
2157		107	不定形刃器	(3.2)	3.9	1.0	(17.4)	サヌカイト	SH36	埋土	
2158		107	不定形刃器	(3.4)	3.9	0.9	(14.2)	サヌカイト	SH36	埋土	
2159		107	不定形刃器	(5.5)	3.1	0.7	(11.7)	サヌカイト	SH36	埋土	
2160		107	不定形刃器	(1.9)	(4.0)	(0.9)	(7.3)	サヌカイト	SH36	埋土	
2161		107	不定形刃器	(4.3)	3.1	0.9	(13.2)	サヌカイト	SH36	埋土	
2162		107	不定形刃器	6.4	4.3	1.1	22.5	サヌカイト	SH36	埋土	
2163		107	不定形刃器	(3.1)	2.8	0.7	(7.9)	サヌカイト	SH36	埋土	
2164		107	不定形刃器	7.6	(2.1)	(1.6)	(32.2)	サヌカイト	SK37	－	
2165		105	不定形刃器	(5.2)	2.8	0.4	(8.0)	サヌカイト	SK12	－	
2166		108	不定形刃器	(4.4)	(3.2)	(0.7)	(8.1)	サヌカイト	SR01	－	
2167		108	不定形刃器	7.7	3.0	0.5	11.7	サヌカイト	SR01	－	
2168		108	不定形刃器	(2.4)	(3.7)	(0.6)	(6.3)	サヌカイト	SR01	－	
2169		108	不定形刃器	5.1	2.4	0.8	13.4	サヌカイト	SR01	－	
2170		108	不定形刃器	5.3	2.6	1.5	14.8	サヌカイト	SR01	－	
2171		108	不定形刃器	5.8	4.3	1.7	24.6	サヌカイト	SR02	－	
2172		108	不定形刃器	5.8	4.1	1.1	25.3	サヌカイト	SR02	－	
2173		108	不定形刃器	5.6	4.0	1.7	(31.8)	サヌカイト	SR02	－	
2174		108	不定形刃器	4.9	3.3	1.2	24.3	サヌカイト	SR02	－	
2175		108	不定形刃器	(4.9)	(4.5)	(0.9)	(18.2)	サヌカイト	SR02	－	
2176		108	不定形刃器	(4.9)	(3.0)	(0.8)	(12.2)	サヌカイト	SR02	－	
2177		109	不定形刃器	3.4	2.7	0.8	7.9	サヌカイト	SR02	－	
2178		109	不定形刃器	6.1	4.0	0.6	17.2	サヌカイト	SR02	－	
2179		109	不定形刃器	4.1	3.3	0.6	8.3	サヌカイト	SR02	－	
2180		109	不定形刃器	5.5	3.9	1.0	23.5	サヌカイト	SR02	－	
2181		109	不定形刃器	6.1	3.0	1.1	16.3	サヌカイト	SR02	－	
2182		109	不定形刃器	4.1	3.4	0.7	12.5	サヌカイト	SR02	－	
2183		109	不定形刃器	(3.8)	(5.0)	(1.0)	(15.6)	サヌカイト	SR02	－	
2184		109	不定形刃器	(4.7)	(4.1)	(1.0)	(25.1)	サヌカイト	SR02	－	
2185		109	不定形刃器	5.0	4.5	1.1	21.9	サヌカイト	SR02	－	
2186		109	不定形刃器	6.2	2.6	0.6	12.9	サヌカイト	SR02	－	
2187		109	不定形刃器	5.6	5.2	0.8	30.9	サヌカイト	SR02	土器溜り	
2188		109	不定形刃器	5.6	4.7	0.8	11.1	サヌカイト	SR02	土器溜り	
2189		110	不定形刃器	(4.3)	(2.7)	(0.8)	(9.0)	サヌカイト	SR02	－	
2190		110	不定形刃器	(2.8)	(3.9)	(0.8)	(10.3)	サヌカイト	SR02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2191		110	不定形刃器	(2.2)	(4.6)	(0.4)	(3.7)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2192		110	不定形刃器	3.7	3.8	1.0	15.9	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2193		110	不定形刃器	10.0	4.7	2.3	105.7	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2194		110	不定形刃器	4.7	3.0	0.7	9.9	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2195		110	不定形刃器	5.9	3.7	1.1	26.8	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2196		110	不定形刃器	5.4	4.1	0.5	11.6	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2197		110	不定形刃器	(5.8)	(4.1)	(0.6)	(7.0)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2198		110	不定形刃器	3.8	2.1	0.6	5.4	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2199		110	不定形刃器	3.8	3.0	0.6	8.4	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2200		110	不定形刃器	7.3	5.4	0.5	19.2	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2201		111	不定形刃器	3.5	4.3	0.8	14.8	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2202		111	不定形刃器	5.0	3.2	1.0	17.8	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2203		111	不定形刃器	5.2	3.0	0.4	8.4	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2204		111	不定形刃器	3.4	4.7	0.8	8.5	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2205		111	不定形刃器	(6.3)	(4.7)	(2.2)	(71.9)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2206		111	不定形刃器	(3.5)	(4.4)	(0.8)	(13.2)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2207		111	不定形刃器	6.0	3.8	1.6	35.8	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2208		111	不定形刃器	3.4	2.6	1.2	8.5	サヌカイト	ＳＨ20	埋土	
2209		111	不定形刃器	(3.3)	(2.9)	(1.0)	(11.5)	サヌカイト	ＳＨ20－Ｐ02	－	
2210		112	不定形刃器	(3.1)	(3.0)	(0.5)	(5.9)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2211		112	不定形刃器	(2.2)	(2.9)	(0.9)	(6.8)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2212		112	不定形刃器	(2.9)	(3.0)	(0.7)	(8.7)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2213		112	不定形刃器	(3.6)	(2.6)	(0.6)	(9.0)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2214		112	不定形刃器	7.6	3.7	1.2	35.2	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2215		112	不定形刃器	8.4	4.2	0.7	20.4	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2216		112	不定形刃器	5.7	2.0	0.7	9.0	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2217		112	不定形刃器	4.3	4.4	0.6	11.2	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2218		112	不定形刃器	(5.0)	(5.6)	(1.0)	(29.6)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2219		112	不定形刃器	3.8	2.5	0.4	(5.1)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2220		112	不定形刃器	3.0	2.2	0.6	5.6	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2221		112	不定形刃器	(4.3)	2.7	0.8	(10.1)	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
2222		113	不定形刃器	(4.1)	(3.7)	(0.8)	(11.3)	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
2223		113	不定形刃器	5.4	2.5	0.4	5.9	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2224		113	不定形刃器	4.0	2.3	0.7	6.8	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2225		113	不定形刃器	(3.0)	(3.9)	(0.8)	(11.8)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2226		113	不定形刃器	4.9	3.6	0.6	14.4	サヌカイト	ⅡA区	第2層	
2227		113	不定形刃器	(5.1)	2.8	0.7	(11.4)	サヌカイト	ⅡA区	第2層	
2228		113	不定形刃器	2.9	2.7	0.4	3.4	サヌカイト	ⅡB区	第2層	
2229		113	不定形刃器	4.6	2.1	0.6	9.0	サヌカイト	ⅡB区	第2層	
2230		113	不定形刃器	3.9	2.6	0.8	7.1	サヌカイト	ⅡB区	第2層	
2231		113	不定形刃器	(4.9)	(4.5)	1.4	(37.3)	サヌカイト	ⅡA区	第2層	
2232		114	不定形刃器	(3.5)	3.0	1.0	(14.7)	サヌカイト	SD16	－	
2233		114	不定形刃器	(4.6)	4.9	1.8	(40.8)	サヌカイト	SD16	－	
2234		114	不定形刃器	(3.2)	(3.7)	1.1	(11.0)	サヌカイト	SD16	－	
2235		114	不定形刃器	(3.1)	2.4	0.7	(6.4)	サヌカイト	SD16	－	
2236		105	不定形刃器	(3.4)	(3.3)	1.1	(14.7)	サヌカイト	SD20	－	
2237		114	不定形刃器	(3.6)	3.7	0.9	(14.3)	サヌカイト	SD16	－	
2238		114	不定形刃器	(4.2)	3.1	0.8	(11.4)	サヌカイト	SD16	－	
2239		105	不定形刃器	(3.3)	(3.1)	0.9	(6.9)	サヌカイト	SD16	－	
2240		105	不定形刃器	5.7	3.3	0.9	16.9	サヌカイト	SD17	－	
2241		106	不定形刃器	(5.6)	(2.5)	0.8	(10.9)	サヌカイト	SH29－K01	－	
2242		106	不定形刃器	(2.6)	3.2	0.8	(10.7)	サヌカイト	SH31－P40	－	
2243		108	不定形刃器	4.7	3.8	0.6	11.2	サヌカイト	SR01	－	
2244		111	不定形刃器	(3.1)	3.9	0.7	(12.3)	サヌカイト	IC区	第2層	
2245		111	不定形刃器	(7.6)	5.6	1.3	(51.9)	サヌカイト	ⅡA区	第2層	
2246		111	不定形刃器	(3.7)	3.5	0.8	(14.6)	サヌカイト	ⅡB区	第1層	
2247		115	楔形石器	(3.4)	2.7	0.5	(6.8)	サヌカイト	SD12	－	
2248		115	楔形石器	(4.1)	3.3	1.1	(1.1)	サヌカイト	SD12	－	
2249		115	楔形石器	(5.2)	3.5	1.1	(21.0)	サヌカイト	SD12	－	
2250		115	楔形石器	4.7	(1.2)	0.6	(5.4)	サヌカイト	SD12	－	
2251		115	楔形石器	5.1	2.7	0.7	9.3	サヌカイト	SH10	埋土	
2252		115	楔形石器	5.0	4.1	0.9	19.9	サヌカイト	SH10	埋土	
2253		116	楔形石器	(3.3)	(2.9)	0.5	(5.7)	サヌカイト	SH10	埋土	
2254		116	楔形石器	4.0	3.5	1.1	8.7	サヌカイト	SH10	埋土	
2255		116	楔形石器	4.3	3.1	0.6	8.2	サヌカイト	SH10	埋土	
2256		116	楔形石器	(2.8)	2.9	1.0	(9.9)	サヌカイト	SH10－K01	－	
2257		116	楔形石器	(3.0)	4.2	0.7	(13.5)	サヌカイト	SH19	埋土	
2258		116	楔形石器	6.4	4.7	1.3	36.3	サヌカイト	SH19	埋土	
2259		116	楔形石器	(2.1)	5.4	1.2	(13.1)	サヌカイト	SH19	埋土	
2260		116	楔形石器	4.1	3.1	0.7	11.6	サヌカイト	SH31－D01	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2261		116	楔形石器	(3.0)	4.2	1.0	(11.8)	サヌカイト	SH36	埋土	
2262		116	楔形石器	3.3	2.9	0.9	11.1	サヌカイト	SH36	埋土	
2263		116	楔形石器	(4.5)	3.3	1.0	(14.9)	サヌカイト	SH36	埋土	
2264		116	楔形石器	(2.4)	2.6	0.8	(6.4)	サヌカイト	SR01	−	
2265		117	楔形石器	3.3	(1.6)	0.8	(6.6)	サヌカイト	SR01	−	
2266		117	楔形石器	(2.5)	3.1	0.7	(7.9)	サヌカイト	SR01	−	
2267		117	楔形石器	(2.9)	(2.3)	0.6	(3.9)	サヌカイト	SR01	−	
2268		117	楔形石器	(4.1)	5.1	1.6	(22.2)	サヌカイト	SR01	−	
2269		117	楔形石器	(2.2)	3.8	0.7	(7.1)	サヌカイト	SR01	−	
2270		117	楔形石器	(3.5)	3.7	0.7	(11.4)	サヌカイト	SR01	−	
2271		117	楔形石器	5.0	2.9	1.3	17.4	サヌカイト	SR02	−	
2272		117	楔形石器	4.7	4.0	1.2	25.8	サヌカイト	SR02	−	
2273		117	楔形石器	(3.4)	(2.2)	0.7	(5.0)	サヌカイト	SR02	−	
2274		117	楔形石器	4.0	3.1	0.9	11.8	サヌカイト	SR02	−	
2275		117	楔形石器	3.4	2.5	0.9	6.5	サヌカイト	SR02	−	
2276		117	楔形石器	4.4	3.6	0.8	15.3	サヌカイト	SR02	−	
2277		118	楔形石器	(2.1)	3.6	1.2	(9.0)	サヌカイト	SR02	−	
2278		118	楔形石器	2.4	3.4	0.6	12.3	サヌカイト	SR02	−	
2279		118	楔形石器	4.0	2.9	0.7	7.5	サヌカイト	SR02	−	
2280		118	楔形石器	2.2	3.7	0.8	8.1	サヌカイト	SR02	−	
2281		118	楔形石器	(2.5)	2.6	0.6	(5.1)	サヌカイト	SR02	−	
2282		118	楔形石器	3.7	2.9	0.9	10.6	サヌカイト	SR02	−	
2283		118	楔形石器	4.2	5.1	1.0	30.4	サヌカイト	SR02	−	
2284		118	楔形石器	3.0	4.6	0.7	11.7	サヌカイト	SR02	−	
2285		118	楔形石器	3.7	4.1	0.7	15.2	サヌカイト	SR02	−	
2286		118	楔形石器	(30.4)	(40.4)	(0.9)	(15.1)	サヌカイト	SR02	−	
2287		118	楔形石器	5.9	4.0	1.0	30.1	サヌカイト	SR02	−	
2288		118	楔形石器	(2.1)	3.5	1.0	(10.5)	サヌカイト	SR02	−	
2289		119	楔形石器	3.1	5.5	0.9	24.4	サヌカイト	SR02	−	
2290		119	楔形石器	4.7	3.7	0.7	16.0	サヌカイト	SR02	−	
2291		119	楔形石器	4.4	3.7	1.1	29.5	サヌカイト	SR02	−	
2292		119	楔形石器	4.6	4.4	0.6	21.7	サヌカイト	SR02	−	
2293		119	楔形石器	3.5	4.6	0.5	11.8	サヌカイト	SR02	−	
2294		119	楔形石器	3.7	3.0	0.7	9.8	サヌカイト	SR02	−	
2295		119	楔形石器	3.0	(2.7)	1.2	(10.2)	サヌカイト	SR02	−	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2296		119	楔形石器	3.7	3.5	0.9	12.7	サヌカイト	ＳＲ02	土器溜り	
2297		119	楔形石器	2.5	2.7	0.8	6.4	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2298		119	楔形石器	2.5	3.1	0.9	7.8	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2299		119	楔形石器	(3.0)	3.5	0.7	(11.5)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2300		119	楔形石器	(2.9)	(2.1)	(1.6)	(4.1)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2301		120	楔形石器	3.1	3.7	0.7	12.8	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2302		120	楔形石器	3.3	3.1	0.7	7.7	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2303		120	楔形石器	2.2	3.2	0.5	4.9	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2304		120	楔形石器	5.1	4.5	1.1	39.0	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2305		120	楔形石器	(5.2)	(3.5)	1.0	(20.2)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2306		120	楔形石器	3.2	2.7	0.5	6.2	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2307		120	楔形石器	3.9	3.4	0.7	13.1	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2308		120	楔形石器	3.4	3.0	1.1	14.2	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2309		120	楔形石器	2.9	3.9	0.8	10.2	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2310		120	楔形石器	3.5	3.0	0.5	6.6	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2311		120	楔形石器	3.9	3.4	1.0	14.3	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2312		120	楔形石器	3.7	2.9	0.6	7.2	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2313		121	楔形石器	4.6	3.6	0.7	15.7	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2314		121	楔形石器	(3.7)	4.4	1.3	(20.7)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2315		121	楔形石器	4.8	5.4	2.0	41.2	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2316		121	楔形石器	3.4	3.3	1.1	11.3	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2317		121	楔形石器	3.3	3.2	1.0	12.3	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2318		121	楔形石器	5.4	3.8	0.9	19.9	サヌカイト	ＩＢ区	第２層	
2319		121	楔形石器	2.6	3.7	0.8	9.6	サヌカイト	ＩＢ区	第２層	
2320		121	楔形石器	2.2	4.2	0.6	7.1	サヌカイト	ＩＢ区	第２層	
2321		121	楔形石器	2.8	3.3	1.2	1.8	サヌカイト	ＩＢ区	第２層	
2322		121	楔形石器	(2.3)	3.7	0.5	(3.8)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2323		121	楔形石器	3.5	4.2	1.0	17.2	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2324		121	楔形石器	3.4	3.8	0.8	12.0	サヌカイト	ＩＣ区	第１層	
2325		122	楔形石器	1.9	3.1	0.5	3.4	サヌカイト	ＩＣ区	第１層	
2326		122	楔形石器	3.1	3.8	0.9	15.9	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2327		122	楔形石器	3.9	4.1	0.9	19.2	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2328		122	楔形石器	4.6	3.6	0.9	18.7	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2329		122	楔形石器	4.7	3.5	1.4	20.8	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2330		122	楔形石器	5.0	3.9	1.1	13.9	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2331		122	楔形石器	4.0	4.3	1.0	17.3	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2332		122	楔形石器	(3.8)	4.4	0.9	(21.1)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2333		122	楔形石器	5.4	3.2	0.9	15.9	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
2334		122	楔形石器	4.9	5.1	0.8	24.5	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
2335		122	楔形石器	2.6	5.5	1.4	37.6	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2336		122	楔形石器	5.0	3.6	1.6	28.3	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2337		123	楔形石器	(4.4)	(3.7)	0.8	(14.8)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2338		123	楔形石器	(3.9)	(3.3)	0.9	(13.4)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2339		123	楔形石器	(2.9)	(2.9)	0.8	(5.1)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2340		123	楔形石器	(2.8)	2.7	0.6	(6.2)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2341		123	楔形石器	6.9	3.8	0.9	19.1	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2342		123	楔形石器	(3.6)	4.1	0.9	(14.9)	サヌカイト	ⅡＡ区	第２層	
2343		123	楔形石器	(1.6)	(2.5)	0.6	(3.2)	サヌカイト	ⅡＢ区	第１層	
2344		123	楔形石器	(2.4)	(2.5)	0.5	(4.0)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
2345		123	楔形石器	(2.9)	(4.0)	0.7	(8.7)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
2346		123	楔形石器	(3.3)	(2.2)	0.7	(5.9)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
2347		123	楔形石器	3.9	2.8	0.6	6.6	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
2348		123	楔形石器	(3.9)	(3.8)	0.9	(9.1)	サヌカイト	ⅡＢ区	第２層	
2349		125	横長剥片を利用した刃器	(6.8)	5.1	0.9	(42.8)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2350		126	横長剥片を利用した刃器	(10.6)	(9.1)	2.1	(156.2)	サヌカイト	ＩＢ区	第２層	
2351		126	横長剥片を利用した刃器	(12.1)	6.7	1.3	(106.9)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2352		126	横長剥片を利用した刃器	(5.1)	7.0	1.4	(46.5)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2353		126	横長剥片を利用した刃器	10.4	8.9	1.0	88.5	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
2354		128	刃器か石庖丁	(6.6)	4.3	0.7	(17.2)	サヌカイト	ＳＤ13	－	
2355		128	刃器か石庖丁	(2.7)	4.8	1.0	(14.9)	サヌカイト	ＳＲ01	－	
2356		128	刃器か石庖丁	(6.4)	4.8	0.9	(23.4)	サヌカイト	ＳＲ01	－	
2357		128	刃器か石庖丁	6.5	4.1	1.2	30.1	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2358		129	刃器か石庖丁	6.1	4.2	0.9	27.1	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2359		129	刃器か石庖丁	(3.9)	(3.2)	0.5	(8.2)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2360		129	刃器か石庖丁	(5.4)	(3.4)	0.6	10.8	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2361		129	刃器か石庖丁	(6.0)	(4.1)	0.9	(20.2)	サヌカイト	ＩＡ区	第２層	
2362		129	刃器か石庖丁	(4.0)	4.0	0.6	(12.0)	サヌカイト	ＩＣ区	第２層	
2363		129	刃器か石庖丁	(4.6)	5.4	1.3	(28.1)	サヌカイト	ＩＣ区	第４層	
2364		130	両極打撃の石核に転用した石庖丁	(3.8)	2.9	0.4	(6.1)	サヌカイト	ＳＨ10	埋土	
2365		130	両極打撃の石核に転用した石庖丁	(3.8)	(2.6)	0.6	(3.7)	サヌカイト	ＳＲ01	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2366		130	両極打撃の石核に転用した石庖丁	(4.6)	(4.7)	0.5	(13.8)	サヌカイト	SR02	－	
2367		130	両極打撃の石核に転用した石庖丁	(2.5)	3.6	0.8	(4.7)	サヌカイト	SR02	－	
2368		130	両極打撃の石核に転用した石庖丁	(4.7)	(3.5)	0.8	(13.3)	サヌカイト	IC区	第4層	
2369		80	柱状石斧	(12.5)	(1.0)	(3.9)	(68.5)	緑色片岩	IIA区	第2層	
2370		80	柱状片刃石斧	(4.1)	(3.3)	(0.9)	(15.2)	緑色片岩	SD16	－	
2371		80	柱状石斧	(9.3)	(1.9)	(2.5)	(53.3)	緑色片岩	SD16	－	
2372		80	柱状石斧	(7.1)	(0.9)	(3.6)	(35.1)	緑色片岩	SD16	－	
2373		80	柱状片刃石斧	(2.7)	(2.3)	(1.2)	(13.1)	緑色片岩	SD22	－	
2374		82	扁平片刃石斧	(3.8)	(3.2)	(0.7)	(13.1)	緑色片岩	SH10	埋土	
2375		82	柱状石斧	(7.4)	(1.7)	(3.5)	(84.9)	緑色片岩	SH10	埋土	
2376		82	柱状石斧	(2.9)	(1.6)	(0.2)	(2.0)	緑色片岩	SH10	埋土	
2377		82	柱状石斧	(4.4)	(1.8)	(0.7)	(11.2)	緑色片岩	SH10	埋土	
2378		82	柱状石斧	(3.5)	(3.1)	(0.5)	(6.1)	緑色片岩	SH10	－	
2379		82	柱状片刃石斧	(2.3)	(1.7)	(0.4)	(2.6)	緑色片岩	SH21	埋土	
2380		82	柱状石斧	(8.3)	(1.6)	(2.1)	(65.3)	緑色片岩	SH21	埋土	
2381		82	柱状石斧	(10.6)	(2.1)	(2.7)	(109.1)	緑色片岩	SH36	埋土	
2382		82	柱状片刃石斧	(5.5)	(0.6)	(1.6)	(8.1)	緑色片岩	SK37	－	
2383		82	柱状石斧	(2.4)	(1.7)	(0.3)	(1.8)	緑色片岩	SK37	－	
2384		84	柱状石斧	(8.2)	(1.1)	(3.4)	(46.6)	緑色片岩	SR01	－	
2385		84	扁平片刃石斧	7.0	3.7	0.7	(31.0)	緑色片岩	SR01	－	
2386		84	柱状石斧	(5.1)	(0.7)	(1.8)	(13.3)	緑色片岩	SR01	－	
2387		84	扁平片刃石斧	(4.8)	(2.9)	(0.7)	(15.9)	緑色片岩	SR02	－	
2388		84	柱状石斧	(11.5)	(5.2)	(1.6)	(96.6)	緑色片岩	SR02	－	
2389		84	柱状石斧	(10.0)	(0.5)	(2.9)	(25.8)	緑色片岩	SR02	－	
2390		84	柱状石斧	(9.7)	(0.9)	(2.7)	(43.5)	緑色片岩	SR02	－	
2391		84	柱状石斧	(4.0)	(1.1)	(0.4)	(3.1)	緑色片岩	SR02	－	
2392		84	柱状片刃石斧	(5.6)	(0.4)	(2.7)	(9.2)	緑色片岩	SR02	－	
2393		84	柱状石斧	(5.1)	(1.7)	(2.5)	(43.1)	緑色片岩	SR02	－	
2394		85	柱状石斧	(5.1)	(0.9)	(2.9)	(27.7)	緑色片岩	SR02	－	
2395		85	柱状石斧	(4.9)	(2.0)	(2.0)	(41.0)	緑色片岩	SR02	－	
2396		85	柱状石斧	(8.6)	(1.6)	(2.2)	(46.0)	緑色片岩	SR02	－	
2397		85	太型蛤刃石斧	(5.5)	(5.0)	(0.8)	(30.1)	緑色片岩	SR02	－	
2398		85	柱状石斧	(4.7)	(1.3)	(1.5)	(18.9)	緑色片岩	SR02	－	
2399		85	柱状石斧	(4.4)	(0.6)	(1.8)	(7.3)	緑色片岩	SR02	－	
2400		85	柱状石斧	(6.6)	3.0	3.1	(136.7)	緑色片岩	SR02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2401		85	柱状石斧	(4.4)	(0.6)	(2.9)	(11.0)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2402		85	柱状石斧	(7.2)	(1.6)	(3.5)	(91.3)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2403		85	柱状石斧	(2.6)	(1.9)	(0.6)	(3.8)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2404		86	柱状石斧	(2.5)	(1.9)	(1.5)	(6.9)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2405		86	柱状石斧	(11.4)	(2.7)	(4.0)	(315.6)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2406		86	柱状石斧	(6.5)	(0.7)	(3.9)	(25.2)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2407		86	柱状石斧	(6.9)	(2.0)	(2.7)	(79.6)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2408		86	柱状石斧	(7.0)	(3.9)	(3.2)	(196.3)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2409		86	柱状石斧	(10.5)	(1.3)	(4.2)	(122.9)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2410		86	柱状石斧	(9.9)	(1.2)	(1.5)	(25.3)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2411		86	柱状石斧	(7.0)	(1.5)	(1.9)	(33.8)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2412		87	太型蛤刃石斧	(10.5)	(2.5)	(5.3)	(195.6)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2413		87	柱状石斧	(5.1)	(1.4)	(2.2)	(26.7)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2414		87	柱状石斧	(7.0)	(1.4)	(3.6)	(73.3)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2415		87	柱状石斧	(6.6)	(2.2)	(4.7)	(131.4)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2416		87	柱状石斧	(6.7)	(1.5)	(2.2)	(3.9)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2417		87	柱状石斧	(8.3)	(5.5)	(2.6)	(187.2)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2418		87	柱状石斧	(7.0)	(0.6)	(3.2)	(27.8)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2419		87	柱状石斧	(4.0)	(0.8)	(2.5)	(12.3)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2420		87	柱状石斧	(4.0)	(3.2)	(1.3)	(26.6)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2421		88	柱状石斧	(8.2)	(0.7)	(3.7)	(48.3)	緑色片岩	ＩＡ区	第２層	
2422		88	柱状石斧	(12.4)	(1.0)	(4.0)	(76.4)	緑色片岩	ＩＡ区	第２層	
2423		88	柱状片刃石斧	(2.0)	(2.2)	(0.3)	(1.8)	緑色片岩	ＩＡ区	第２層	
2424		89	柱状石斧	(6.3)	(3.7)	(1.2)	(42.2)	緑色片岩	ＩＢ区	第２層	
2425		89	柱状石斧	(7.8)	(0.6)	(2.2)	(21.9)	緑色片岩	ＩＢ区	第２層	
2426		89	柱状石斧	(10.0)	(3.7)	(2.5)	(146.6)	緑色片岩	ＩＣ区	第２層	
2427		89	柱状石斧	(7.8)	(0.5)	(4.7)	(35.3)	緑色片岩	ＩＣ区	第４層	
2428		89	太型蛤刃石斧	(9.2)	(1.2)	(5.4)	(73.4)	緑色片岩	ＩＣ区	第４層	
2429		89	柱状石斧	(6.1)	(5.1)	(1.1)	(34.9)	緑色片岩	ⅡＡ区	第２層	
2430		90	柱状石斧	(8.2)	1.6	2.6	(55.7)	緑色片岩	ⅡＡ区	第２層	
2431		90	柱状石斧	(8.9)	(1.0)	(0.9)	(19.9)	緑色片岩	ⅡＡ区	第２層	
2432		90	柱状石斧	(5.6)	(0.6)	(1.2)	(8.1)	緑色片岩	ⅡＡ区	第２層	
2433		90	柱状石斧	(2.5)	(1.5)	(0.3)	(1.5)	緑色片岩	ⅡＢ区	第１層	
2434		89	柱状石斧	(4.7)	(4.1)	(0.6)	(10.3)	緑色片岩	ＩＣ区	第４層	
2435		89	扁平片刃石斧	(5.1)	(4.0)	(0.6)	(18.6)	緑色片岩	ＩＣ区	第４層	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2436		87	柱状石斧	(4.8)	(1.0)	5.7	(50.1)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2437		88	柱状石斧	(8.6)	(1.4)	(5.2)	(106.4)	緑色片岩	ＩＡ区	第２層	
2438		81	扁平片刃石斧	6.7	3.5	0.7	33.1	緑色片岩	ＳＤ16	－	
2439		81	柱状石斧	(5.9)	(1.2)	(0.4)	(5.6)	緑色片岩	ＳＤ22	－	
2440		81	柱状石斧	(4.6)	(2.0)	(0.4)	(6.6)	緑色片岩	ＳＨ04	埋土	
2441		81	柱状石斧	(9.8)	2.8	3.9	(220.3)	緑色片岩	ＳＨ22	埋土	
2442		81	小型方柱状石斧	(8.1)	1.5	0.9	(27.0)	緑色片岩	ＳＨ29	埋土	
2443		81	小型方柱状片刃石斧	6.0	1.2	1.0	9.9	緑色片岩	ＳＨ29－Ｋ01	－	
2444		81	柱状石斧	(7.0)	2.6	(1.2)	(50.7)	緑色片岩	ＳＨ32	埋土	
2445		81	扁平片刃石斧	(7.5)	7.3	(0.7)	(88.2)	緑色片岩	ＳＨ29	埋土	
2446		83	柱状石斧	(3.8)	(3.4)	(0.2)	(5.0)	緑色片岩	ＳＰ51	－	
2447		83	柱状石斧	(11.2)	(2.2)	4.5	(261.1)	緑色片岩	ＳＲ01	－	
2448		83	柱状石斧	(7.7)	(2.1)	2.2	(73.1)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2449		83	柱状片刃石斧	(5.2)	(1.6)	2.9	(30.9)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2450		83	太型蛤刃石斧	(7.1)	(5.4)	2.4	(151.8)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2451		83	柱状片刃石斧	(5.1)	(2.0)	(0.9)	(17.4)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2452		83	柱状片刃石斧	(11.1)	(2.9)	(1.6)	(69.3)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2453		83	柱状片刃石斧	(3.4)	(1.3)	(3.1)	(20.8)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2454		88	太型蛤刃石斧	(6.9)	(4.6)	(2.8)	(95.2)	緑色片岩	ＩＡ区	第２層	
2455		88	柱状石斧	(2.9)	(2.0)	(0.7)	(4.7)	緑色片岩	ＩＡ区	第２層	
2456		88	柱状石斧	(9.1)	(4.4)	(0.7)	(45.0)	緑色片岩	ＩＢ区	第２層	
2457		88	柱状片刃石斧	(5.8)	(2.9)	(0.9)	(23.5)	緑色片岩	ＩＢ区	第２層	
2458		88	柱状石斧	(2.3)	(4.7)	(1.7)	(19.3)	緑色片岩	ＩＣ区	第３層	
2459		83	柱状石斧	(3.5)	(1.4)	(0.3)	(2.1)	緑色片岩	ＳＲ02	－	
2460		138	磨石	13.3	8.4	5.9	821.6	安山岩質斑岩	ＳＤ11	－	
2461		138	磨石	5.8	3.5	2.7	72.9	安山岩質斑岩	ＳＤ11	－	
2462		138	磨石	(5.6)	(2.4)	(5.0)	(76.4)	安山岩質斑岩	ＳＤ12	－	
2463		138	磨石	(7.6)	(1.6)	(4.6)	(66.3)	安山岩質斑岩	ＳＤ12	－	
2464		138	磨石	4.5	3.6	3.2	65.7	砂岩	ＳＤ12	－	
2465		138	磨石	(8.2)	(7.2)	(4.9)	(492.5)	安山岩質斑岩	ＳＤ12	－	
2466		139	磨石	4.2	3.2	2.9	58.2	花崗岩質斑岩	ＳＤ22	－	
2467		139	磨石	3.5	2.7	2.5	31.4	砂岩	ＳＤ22	－	
2468		139	磨石	6.7	4.2	2.6	98.7	砂岩	ＳＤ22	－	
2469		139	磨石	4.1	2.9	2.9	45.2	安山岩質斑岩	ＳＤ22	－	
2470		139	磨石	7.1	4.7	2.8	129.0	砂岩	ＳＤ22	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2471		139	磨石	5.6	4.9	2.7	106.9	砂岩	SD22	－	
2472		139	磨石	6.2	4.1	2.4	90.0	砂岩	SD22	－	
2473		139	磨石	7.2	4.8	3.3	161.6	安山岩質斑岩	SD22	－	
2474		140	磨石	(4.4)	(1.8)	(3.7)	(32.0)	花崗岩質斑岩	SD22	－	
2475		140	磨石	5.6	4.0	3.1	102.1	安山岩質斑岩	SD22	－	
2476		140	磨石	4.4	3.4	2.5	47.8	砂岩	SD22	－	
2477		140	磨石	5.2	4.4	2.5	79.9	砂岩	SD22	－	
2478		140	磨石	5.3	4.4	3.5	100.5	砂岩	IA区	第2層	
2479		140	磨石	(6.4)	(8.6)	(7.6)	(662.0)	安山岩質斑岩	IA区	第2層	
2480		141	磨石	14.2	7.2	6.3	973.2	安山岩質斑岩	IC区	第3層	
2481		141	磨石	(2.4)	(2.7)	(1.0)	(8.2)	安山岩質斑岩	SH21	埋土	
2482		141	磨石	(6.1)	(4.4)	(1.1)	(34.9)	安山岩質斑岩	SH21	埋土	
2483		141	磨石	6.2	5.1	3.0	124.2	砂岩	SH21	埋土	
2484		141	磨石	4.4	3.1	2.8	510.0	砂岩	SH21	埋土	
2485		141	磨石	4.9	4.5	2.4	75.1	安山岩質斑岩	SH21	埋土	
2486		141	磨石	5.9	4.5	4.8	161.0	砂岩	SH24－P16	－	
2487		142	磨石	(5.6)	(3.8)	(0.7)	(13.1)	安山岩質斑岩	SH31－D01	－	
2488		142	磨石	4.6	4.5	3.2	85.0	砂岩	SH36	埋土	
2489		142	磨石	4.0	3.6	2.9	54.9	砂岩	SH36	埋土	
2490		142	磨石	(6.5)	(3.4)	(3.5)	(107.6)	花崗岩質斑岩	SH36	埋土	
2491		142	磨石	(5.1)	(4.2)	(3.0)	(69.3)	砂岩	SH36	埋土	
2492		142	磨石	(4.2)	(3.8)	(1.6)	(28.0)	花崗岩質斑岩	SH36	埋土	
2493		142	磨石	6.2	4.2	2.5	93.0	砂岩	SH36	埋土	
2494		142	磨石	(4.3)	(3.8)	(4.3)	(101.8)	安山岩質斑岩	SK37	－	
2495		143	磨石	(9.6)	(6.9)	(3.9)	(336.7)	安山岩質斑岩	SK37	－	
2496		143	磨石	(5.5)	(4.6)	(3.8)	(121.2)	花崗岩質斑岩	SK37	－	
2497		143	磨石	5.1	3.3	3.1	70.4	砂岩	SK37	－	
2498		143	磨石	4.5	3.0	2.4	44.6	安山岩質斑岩	SH29－P40	－	
2499		143	磨石	(3.3)	(2.2)	(0.5)	(4.1)	安山岩質斑岩	SR01	－	
2500		143	磨石	12.4	8.4	6.5	957.5	安山岩質斑岩	SR01	－	
2501		144	磨石	6.6	5.7	4.2	230.1	砂岩	SR01	－	
2502		144	磨石	9.0	5.0	3.6	246.0	安山岩質斑岩	SR01	－	
2503		144	磨石	9.6	5.3	4.1	301.3	安山岩質斑岩	SR01	－	
2504		144	磨石	4.5	3.8	1.9	48.2	砂岩	SR01	－	
2505		144	磨石	(5.3)	(2.3)	(4.8)	(68.2)	安山岩質斑岩	SR01	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2506		144	磨石	(5.1)	(6.0)	(4.0)	(185.2)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2507		144	磨石	(3.7)	(3.8)	(2.0)	(22.7)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2508		144	磨石	8.9	4.5	3.8	215.6	砂岩	SR02	－	
2509		144	磨石	(5.1)	(2.0)	(4.5)	(46.1)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2510		145	磨石	(4.6)	(5.7)	(2.8)	(56.2)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2511		145	磨石	4.6	3.6	3.6	79.2	花崗岩質斑岩	SR02	－	
2512		145	磨石	(1.9)	(4.3)	(1.0)	(5.9)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2513		145	磨石	(6.0)	(4.1)	(4.9)	(192.7)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2514		145	磨石	5.9	4.3	3.1	102.1	砂岩	SR02	－	
2515		145	磨石	5.1	4.2	3.4	97.3	安山岩質斑岩	SR02	－	
2516		145	磨石	5.3	4.0	2.9	80.9	砂岩	SR02	－	
2517		145	磨石	(4.1)	(2.9)	(0.5)	(6.1)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2518		146	磨石	(2.9)	(3.4)	(4.1)	(73.0)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2519		145	磨石	(3.6)	(3.3)	(2.9)	(47.0)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2520		146	磨石	(5.7)	(4.0)	(5.7)	(79.9)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2521		146	磨石	(3.9)	(3.3)	(2.8)	(32.6)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2522		146	磨石	(8.1)	(2.7)	(5.5)	(102.9)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2523		146	磨石	5.5	3.9	1.7	52.1	砂岩	SR02	－	
2524		146	磨石	(6.2)	(5.9)	(4.7)	(167.8)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2525		146	磨石	6.2	4.8	3.8	143.0	砂岩	SR02	－	
2526		147	磨石	4.9	4.1	2.4	65.3	砂岩	SR02	－	
2527		147	磨石	(5.6)	(5.4)	(3.8)	(149.6)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2528		147	磨石	(11.0)	(6.1)	(6.6)	(622.2)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2529		147	磨石	5.8	4.7	4.1	150.2	安山岩質斑岩	SR02	－	
2530		147	磨石	3.5	3.2	2.9	43.9	花崗岩質斑岩	SR02	－	
2531		147	磨石	(4.3)	(3.1)	(4.4)	(92.0)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2532		147	磨石	(1.9)	(3.3)	(1.4)	(16.6)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2533		148	磨石	12.4	9.0	6.6	1166.9	安山岩質斑岩	SR02	－	
2534		148	磨石	7.4	5.1	3.2	186.7	安山岩質斑岩	SR02	－	
2535		148	磨石	7.8	3.9	2.8	124.1	砂岩	SR02	－	
2536		148	磨石	(3.7)	(3.8)	(3.8)	(85.3)	砂岩	SR02	－	
2537		148	磨石	(4.5)	(4.0)	(1.0)	(17.2)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2538		148	磨石	4.9	4.3	2.8	78.9	砂岩	SR02	－	
2539		148	磨石	6.3	4.8	4.0	155.9	砂岩	SR02	－	
2540		149	磨石	7.3	4.9	3.7	189.0	安山岩質斑岩	SR02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2541		149	磨石	5.1	3.2	2.5	63.3	砂岩	SR02	－	
2542		149	磨石	(4.8)	(6.8)	(3.8)	(131.3)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2543		149	磨石	5.7	4.1	2.2	66.0	砂岩	SR02	－	
2544		149	磨石	5.5	4.0	2.6	76.6	砂岩	SR02	－	
2545		149	磨石	7.2	3.6	2.7	105.6	砂岩	SR02	－	
2546		149	磨石	5.2	4.3	3.9	117.4	砂岩	SR02	－	
2547		149	磨石	8.9	4.9	3.6	233.5	安山岩質斑岩	SR02	－	
2548		150	磨石	4.1	3.2	2.8	50.8	砂岩	SR02	－	
2549		150	磨石	(4.1)	(5.2)	(1.6)	(43.6)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2550		150	磨石	(4.6)	(4.3)	(4.5)	(156.6)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2551		150	磨石	(10.0)	(4.1)	(1.0)	(45.1)	砂岩	SR02	－	
2552		150	磨石	(5.4)	(5.4)	(2.9)	(115.0)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2553		150	磨石	(7.1)	(7.9)	(5.6)	(372.5)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2554		150	磨石	7.4	5.2	4.4	220.2	砂岩	SR02	－	
2555		151	磨石	4.4	4.5	2.0	60.3	砂岩	SR02	－	
2556		151	磨石	(3.3)	(5.1)	(4.1)	(127.1)	砂岩	SR02	－	
2557		151	磨石	(6.6)	(2.7)	(4.1)	(102.6)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2558		151	磨石	(8.8)	(8.2)	(4.5)	(420.0)	砂岩	SR02	－	
2559		151	磨石	6.2	4.3	3.9	152.1	砂岩	SR02	－	
2560		151	磨石	6.6	4.6	3.4	142.2	砂岩	SR02	－	
2561		151	磨石	5.3	3.2	2.6	59.8	砂岩	SR02	－	
2562		151	磨石	5.2	4.1	3.7	109.5	安山岩質斑岩	SR02	－	
2563		152	磨石	(7.4)	(3.1)	(4.5)	(140.6)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2564		152	磨石	5.3	4.1	2.8	82.2	砂岩	SR02	－	
2565		152	磨石	4.4	3.8	3.5	80.6	砂岩	SR02	－	
2566		152	磨石	5.1	3.6	3.3	79.4	砂岩	SR02	－	
2567		152	磨石	(4.4)	(5.2)	(3.5)	(137.7)	砂岩	SR02	－	
2568		152	磨石	(3.3)	(5.2)	(3.8)	(94.4)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2569		152	磨石	(5.8)	(5.3)	(3.2)	(136.3)	花崗岩質(斑岩)半深成岩	SR02	－	
2570		152	磨石	5.4	3.8	3.1	92.9	安山岩質斑岩	SR02	－	
2571		153	磨石	(5.5)	(4.9)	(4.2)	(149.0)	砂岩	SR02	－	
2572		153	磨石	5.9	3.6	3.0	98.8	砂岩	SR02	－	
2573		153	磨石	4.8	4.0	3.2	89.3	砂岩	SR02	－	
2574		153	磨石	(5.7)	(3.6)	(4.0)	(109.3)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2575		153	磨石	5.5	3.9	4.3	128.0	砂岩	SR02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2576		153	磨石	7.0	4.0	4.3	145.3	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2577		153	磨石	5.6	3.3	2.4	61.3	砂岩	ＳＲ02	－	
2578		153	磨石	(12.7)	(3.8)	(6.6)	(423.3)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2579		154	磨石	(10.7)	(6.5)	(5.2)	(482.5)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2580		154	磨石	5.5	5.1	3.6	134.5	砂岩	ＳＲ02	－	
2581		154	磨石	5.2	3.7	2.5	67.8	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2582		154	磨石	4.2	3.3	2.5	44.9	砂岩	ＳＲ02	－	
2583		154	磨石	6.6	4.2	2.5	94.1	砂岩	ＳＲ02	－	
2584		154	磨石	5.6	4.0	3.7	117.5	砂岩	ＳＲ02	－	
2585		154	磨石	5.5	4.1	2.8	85.5	砂岩	ＳＲ02	－	
2586		154	磨石	5.5	4.2	3.3	107.9	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2587		155	磨石	(2.9)	(3.7)	(2.3)	(26.0)	花崗岩質(斑岩)半深成岩	ＳＲ02	－	
2588		155	磨石	(6.1)	(7.8)	(7.2)	(459.4)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2589		155	磨石	12.3	6.5	3.7	479.5	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2590		155	磨石	6.0	4.7	4.0	149.0	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2591		155	磨石	(10.3)	(7.3)	(5.7)	(646.8)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2592		155	磨石	5.2	4.5	3.5	117.5	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2593		156	磨石	6.6	3.2	2.6	76.5	砂岩	ＳＲ02	－	
2594		156	磨石	4.4	4.0	1.6	39.7	砂岩	ＳＲ02	－	
2595		156	磨石	5.6	3.2	2.1	49.6	砂岩	ＳＲ02	－	
2596		156	磨石	(8.3)	(7.1)	(4.1)	(426.6)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2597		156	磨石	(4.2)	(4.5)	(4.2)	(58.2)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2598		156	磨石	4.3	6.2	5.8	348.0	砂岩	ＳＲ02	－	
2599		156	磨石	(2.7)	(6.3)	(1.5)	(52.2)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2600		156	磨石	(4.5)	(6.2)	(3.3)	(62.5)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2601		157	磨石	(6.7)	(4.1)	(3.5)	(72.8)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2602		157	磨石	4.0	3.3	2.4	44.4	砂岩	ＳＲ02	－	
2603		157	磨石	6.5	4.9	4.0	168.8	砂岩	ＳＲ02	－	
2604		168	磨石	5.5	4.5	4.3	145.6	砂岩	ＩＡ区	第２層	
2605		157	磨石	5.3	4.8	2.7	103.9	砂岩	ＩＡ区	第２層	
2606		157	磨石	5.2	4.9	3.6	125.3	砂岩	ＩＡ区	第２層	
2607		157	磨石	(3.2)	(2.2)	(0.8)	(7.8)	安山岩	ＩＡ区	第２層	
2608		157	磨石	5.4	5.9	4.9	204.6	砂岩	ＩＡ区	第２層	
2609		157	磨石	5.1	3.4	3.1	70.4	砂岩	ＩＡ区	第２層	
2610		158	磨石	5.5	4.6	3.7	124.7	砂岩	ＩＡ区	第２層	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2611		158	磨石	(5.9)	(5.0)	(4.5)	(175.0)	砂岩	ＩＡ区	第２層	
2612		158	磨石	6.4	4.2	2.6	91.2	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2613		158	磨石	(6.4)	(5.5)	(1.2)	(51.8)	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2614		158	磨石	(3.2)	(4.1)	(3.3)	(29.9)	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2615		158	磨石	7.7	5.3	4.2	232.3	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2616		158	磨石	(6.8)	(8.4)	(5.9)	(461.8)	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2617		158	磨石	4.9	4.6	4.1	129.2	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2618		159	磨石	7.3	6.3	5.0	321.7	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2619		159	磨石	7.1	6.7	3.5	245.9	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2620		159	磨石	14.3	8.4	5.9	1117.2	安山岩質斑岩	ＩＣ区	第２層	
2621		159	磨石	(7.7)	(5.0)	(5.0)	(264.9)	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2622		159	磨石	(6.6)	(3.3)	(1.3)	(36.0)	安山岩質斑岩	ＩＣ区	第２層	
2623		159	磨石	6.1	5.1	4.1	181.9	花崗岩質(斑岩)半深成岩	ＩＣ区	第２層	
2624		159	磨石	5.0	3.4	2.6	58.6	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2625		160	磨石	(6.3)	(6.1)	(2.2)	(111.4)	安山岩質斑岩	ＩＣ区	第２層	
2626		160	磨石	(8.6)	(4.7)	(5.3)	(314.9)	安山岩質斑岩	ＩＣ区	第４層	
2627		160	磨石	5.2	4.1	3.2	85.2	砂岩	ＩＣ区	第４層	
2628		160	磨石	5.1	4.1	3.8	105.4	砂岩	ⅡＡ区	第２層	
2629		160	磨石	5.5	4.3	3.9	122.5	砂岩	ⅡＡ区	第２層	
2630		160	磨石	4.8	2.5	2.2	42.4	安山岩質斑岩	ⅡＡ区	第２層	
2631		160	磨石	(3.6)	(6.1)	(3.1)	(96.5)	安山岩質斑岩	ⅡＡ区	第２層	
2632		160	磨石	4.9	5.9	4.2	174.9	花崗岩質斑岩	ⅡＡ区	第２層	
2633		161	磨石	5.0	3.6	2.8	65.8	砂岩	ⅡＢ区	第２層	
2634		161	磨石	4.9	4.0	3.1	92.3	砂岩	ⅡＢ区	第２層	
2635		161	磨石	10.1	6.0	4.0	327.7	花崗岩質(斑岩)半深成岩	ⅡＢ区	第２層	
2636		161	磨石	5.7	4.0	2.2	72.8	砂岩	ⅡＢ区	第２層	
2637		161	磨石	(2.8)	(3.1)	(3.0)	(18.9)	サヌカイト	ＳＲ02	－	
2638		160	磨石	(3.2)	(2.6)	(1.5)	(12.3)	安山岩	ＩＣ区	第２層	
2639		161	磨石	4.1	3.7	2.9	78.4	安山岩質斑岩	ＳＤ09	－	
2640		161	磨石	(8.3)	(4.6)	(3.5)	(178.0)	安山岩質斑岩	ＳＤ16	－	
2641		161	磨石	5.1	3.8	3.4	106.1	砂岩	ＳＤ16	－	
2642		162	磨石	5.3	3.5	2.2	66.3	安山岩質斑岩	ＳＤ16	－	
2643		162	磨石	5.6	4.2	3.7	130.9	安山岩質斑岩	ＳＤ16	－	
2644		162	磨石	(3.7)	(3.6)	(0.6)	(15.5)	安山岩質斑岩	ＳＤ16	－	
2645		162	磨石	8.0	4.9	3.5	235.7	安山岩質斑岩	ＳＤ16	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2646		162	磨石	5.8	5.0	2.8	122.5	砂岩	SD16	－	
2647		162	磨石	5.9	(3.7)	3.2	(126.9)	安山岩質斑岩	SD16	－	
2648		162	磨石	4.6	4.0	1.7	55.6	砂岩	SD16	－	
2649		162	磨石	(5.0)	4.1	3.4	(103.6)	砂岩	SD16	－	
2650		163	磨石	(6.5)	(5.6)	(2.7)	(99.8)	安山岩質斑岩	SD17	－	
2651		163	磨石	(4.9)	3.6	1.8	(54.5)	砂岩	SD22	－	
2652		163	磨石	5.5	5.1	2.7	130.4	安山岩質斑岩	SD22	－	
2653		163	磨石	4.8	4.0	2.6	79.4	花崗岩質斑岩	SD22	－	
2654		163	磨石	14.1	9.9	7.5	1633.5	安山岩質斑岩	SD22	－	
2655		163	磨石	14.4	11.6	5.7	(1477.8)	安山岩質斑岩	SD22	－	
2656		138	磨石	(5.6)	(4.9)	(3.5)	(104.0)	安山岩質斑岩	SD11	－	
2657		164	磨石	5.5	3.9	2.8	101.8	砂岩	SH09－K01	－	
2658		164	磨石	5.4	4.8	3.6	147.4	花崗岩質斑岩	SH09－K01	－	
2659		164	磨石	4.6	4.3	3.6	114.1	安山岩質斑岩	SH09－K01	－	
2660		164	磨石	(6.3)	8.3	7.1	(531.5)	安山岩質斑岩	SH10	埋土	
2661		164	磨石	3.6	3.4	1.9	32.3	流紋岩	SH10－K01	－	
2662		164	磨石	6.8	4.7	2.3	130.9	安山岩質斑岩	SH10－K01	－	
2663		164	磨石	5.1	4.0	3.5	104.7	砂岩	SH29－P40	－	
2664		164	磨石	4.6	4.0	2.3	72.1	安山岩質斑岩	SH29－K01	－	
2665		165	磨石	4.4	3.4	2.3	54.2	砂岩	SH30	埋土	
2666		165	磨石	5.5	3.3	2.9	96.2	花崗岩質斑岩	SH32	埋土	
2667		165	磨石	12.4	6.6	4.4	587.4	安山岩質斑岩	SK37	－	
2668		165	磨石	(6.7)	(3.2)	(1.2)	(46.1)	安山岩質斑岩	SH36	埋土	
2669		140	磨石	6.5	3.3	2.5	86.0	砂岩	SH29	埋土	
2670		140	磨石	4.4	2.5	2.1	39.9	安山岩質斑岩	SH29	埋土	
2671		165	磨石	(9.1)	(4.2)	(1.9)	(100.3)	安山岩質斑岩	SK29	－	
2672		165	磨石	4.8	3.6	2.6	61.3	砂岩	SK30	－	
2673		165	磨石	(2.0)	3.4	2.4	(28.6)	花崗岩質斑岩	SH02－P10	－	
2674		165	磨石	8.2	7.5	3.8	361.2	安山岩質斑岩	SP47	－	
2675		166	磨石	4.1	3.5	2.8	60.7	砂岩	SR01	－	
2676		166	磨石	4.1	4.0	2.8	77.3	安山岩質斑岩	SR01	－	
2677		166	磨石	4.4	3.5	2.5	63.3	砂岩	SR01	－	
2678		166	磨石	4.3	4.2	3.7	101.4	砂岩	SR01	－	
2679		166	磨石	(3.7)	(3.4)	(3.7)	(81.1)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2680		166	磨石	(3.2)	(5.3)	(0.9)	(22.9)	安山岩質斑岩	SR02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2681		166	磨石	7.4	4.5	3.0	179.8	花崗岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2682		166	磨石	12.5	8.0	6.6	998.8	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2683		143	磨石	(2.1)	(4.4)	(1.5)	(19.4)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2684		143	磨石	(5.0)	(3.4)	(0.3)	(14.7)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2685		143	磨石	3.5	3.3	2.8	47.1	砂岩	ＳＲ02	－	
2686		157	磨石	4.4	4.0	3.8	102.3	花崗岩	ＳＨ20	埋土	
2687		167	磨石	4.6	4.2	3.7	113.3	砂岩	ＩＡ区	第２層	
2688		167	磨石	(5.1)	(5.6)	(2.1)	(79.1)	砂岩	ＩＢ区	第１層	
2689		167	磨石	5.1	3.5	3.0	84.3	砂岩	ＩＢ区	第１層	
2690		167	磨石	(3.3)	(4.0)	(0.6)	(10.1)	安山岩質斑岩	ＩＢ区	第１層	
2691		167	磨石	5.8	4.7	4.3	197.0	安山岩質斑岩	ＩＢ区	第２層	
2692		167	磨石	(5.1)	4.0	2.7	(99.5)	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2693		167	磨石	6.1	4.6	2.9	133.6	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2694		167	磨石	3.8	2.9	2.1	41.2	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2695		167	磨石	7.2	5.4	4.1	224.0	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2696		168	磨石	6.9	4.5	4.0	189.0	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2697		168	磨石	(5.8)	(6.0)	(2.4)	(103.0)	砂岩	ＩＣ区	第２層	
2698		168	磨石	5.9	4.2	3.1	127.0	花崗岩質(斑岩)半深成岩	ＩＣ区	第２層	
2699		168	磨石	13.9	7.1	5.5	884.6	安山岩質斑岩	ＩＣ区	第３層	
2700		168	磨石	7.0	5.4	3.7	219.0	砂岩	ⅡＡ区	第２層	
2701		168	磨石	(3.3)	(4.5)	(2.8)	(68.6)	砂岩	ＩＡ区	第２層	
2702		168	磨石	(5.2)	6.5	(2.9)	(188.7)	安山岩質斑岩	ＩＡ区	第２層	
2703		160	磨石	(6.7)	(2.3)	(0.8)	(19.9)	砂岩	ⅡＡ区	第２層	
2704		144	磨石	(4.0)	(3.2)	(0.8)	(6.6)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2705		170	石皿か凹石	17.1	13.0	5.3	1917.1	安山岩質斑岩	ＳＤ12	－	
2706		170	石皿か凹石	(11.3)	(9.9)	(3.9)	(423.7)	安山岩質斑岩	ＳＤ22	－	
2707		170	石皿か凹石	(8.8)	(7.0)	(5.0)	(480.7)	安山岩質斑岩	ＳＤ22	－	
2708		171	石皿か凹石	(10.0)	(7.8)	(3.5)	(374.2)	砂岩	ＳＨ21	埋土	
2709		171	石皿か凹石	17.1	15.2	10.1	?	安山岩質斑岩	ＳＨ25－Ｐ19	－	
2710		171	石皿か凹石	(10.3)	(9.2)	(3.9)	(502.0)	砂岩	ＳＲ02	－	
2711		171	石皿か凹石	13.0	10.2	3.8	649.9	砂岩	ＳＲ02	－	
2712		172	石皿か凹石	(9.9)	(10.0)	(3.2)	(508.5)	砂岩	ＳＲ02	－	
2713		172	石皿か凹石	10.8	8.8	3.2	533.9	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2714		172	石皿か凹石	11.6	11.0	3.3	641.0	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2715		172	石皿か凹石	30.8	20.1	5.3	?	砂岩	ＳＲ02	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2716		173	石皿か凹石	11.6	10.2	5.2	939.2	安山岩質斑岩	SR02	－	
2717		173	石皿か凹石	7.0	6.3	2.0	128.9	砂岩	ⅡB区	第2層	
2718		171	石皿か凹石	14.4	18.0	5.3	2063.5	砂岩	SR02	－	
2719		173	石皿か凹石	14.2	10.2	3.6	669.0	砂岩	IA区	第1層	
2720		173	石皿か凹石	(10.0)	(8.0)	(5.8)	(675.8)	砂岩	ⅡA区	第2層	
2721		176	叩石	11.5	6.2	3.7	465.0	安山岩質斑岩	SD12	－	
2722		177	叩石	7.8	5.6	4.1	298.1	安山岩質斑岩	SH12	埋土	
2723		177	叩石	7.9	6.1	4.7	354.1	安山岩質斑岩	SH19	埋土	
2724		177	叩石	9.5	7.7	6.4	699.3	安山岩質斑岩	SH21	埋土	
2725		177	叩石	7.9	4.5	3.1	156.4	砂岩	SH21	埋土	
2726		178	叩石	12.2	5.7	4.3	439.3	安山岩質斑岩	SH26－D01	－	
2727		178	叩石	(6.9)	4.3	(3.2)	(136.0)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2728		179	叩石	(6.2)	3.3	3.1	(108.7)	半深成岩	SR02	－	
2729		179	叩石	(9.0)	(3.7)	6.2	(353.4)	安山岩質斑岩	SR02	－	
2730		179	叩石	7.9	5.3	5.0	307.4	砂岩	SR02	－	
2731		179	叩石	5.1	4.2	4.0	121.7	砂岩	SR02	－	
2732		179	叩石	13.9	7.5	5.0	767.7	安山岩質斑岩	SR02	－	
2733		179	叩石	7.4	5.2	4.6	278.1	安山岩質斑岩	SR02	－	
2734		180	叩石	7.3	5.2	4.3	256.5	安山岩質斑岩	SR02	－	
2735		180	叩石	7.2	5.5	4.5	275.9	安山岩質斑岩	SR02	－	
2736		180	叩石	11.9	5.0	3.4	352.3	安山岩質斑岩	SR02	－	
2737		180	叩石	15.2	9.6	6.4	1411.1	花崗岩	SR02	－	
2738		180	叩石	15.2	7.6	6.0	1135.5	安山岩質斑岩	SR02	－	
2739		181	叩石	5.9	3.7	3.3	120.9	半深成岩	SR02	－	
2740		181	叩石	12.0	7.2	5.9	780.4	花崗岩	SR02	－	
2741		181	叩石	5.1	4.0	2.6	84.9	砂岩	SR02	－	
2742		182	叩石	11.3	4.8	4.3	390.9	半深成岩	IA区	第2層	
2743		182	叩石	6.4	4.0	2.9	134.6	砂岩	IA区	第2層	
2744		182	叩石	10.8	6.1	5.5	579.1	安山岩質斑岩	IA区	第2層	
2745		182	叩石	(9.0)	5.6	(4.0)	(336.6)	安山岩質斑岩	IC区	第1層	
2746		183	叩石	9.4	5.7	4.8	410.2	安山岩質斑岩	ⅡA区	第2層	
2747		183	叩石	11.8	5.9	3.7	417.7	砂岩	SK12	－	
2748		183	叩石	(12.5)	5.8	(6.0)	(646.9)	安山岩質斑岩	SK12	－	
2749		176	叩石	4.8	4.4	3.8	127.7	安山岩質斑岩	SD12	－	
2750		184	叩石	(7.5)	(5.1)	(6.2)	(283.7)	安山岩	SD22	－	

遺物番号	挿図番号	図版番号	遺物種類	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	材質	遺構名	層位	特記事項
2751		184	叩石	(7.5)	7.6	5.9	(499.0)	安山岩質斑岩	ＳＤ22	－	
2752		184	叩石	3.9	3.5	2.8	58.4	半深成岩	ＳＤ22	－	
2753		178	叩石	14.4	9.7	8.0	1905.0	半深成岩	ＳＨ29－Ｐ40	－	
2754		179	叩石	12.4	4.2	3.7	349.3	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2755		180	叩石	9.5	3.2	2.8	138.8	砂岩	ＳＲ02	－	
2756		181	叩石	11.7	10.1	4.3	772.5	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2757		181	叩石	(10.8)	(10.6)	(5.9)	(947.6)	花崗岩	ＳＲ02	－	
2758		181	叩石	(11.5)	(6.6)	6.4	(847.9)	安山岩質斑岩	ＳＲ02	－	
2759		183	叩石	9.1	9.0	7.2	858.8	半深成岩	ＩＣ区	第２層	
2760		176	叩石	7.5	6.5	5.0	246.0	砂岩	ＳＤ16	－	
2761		177	叩石	8.6	5.3	4.3	199.9	安山岩質斑岩	ＳＨ09	埋土	
2762		177	叩石	6.4	5.0	3.6	166.6	安山岩質斑岩	ＳＨ36	埋土	
2763		184	叩石	10.2	6.3	5.4	542.9	安山岩質斑岩	ＳＰ130	－	
2764		178	叩石	12.9	8.0	5.2	788.9	安山岩質斑岩	ＳＲ01	－	
2765		185	叩石	(6.5)	(5.4)	6.1	(293.4)	安山岩質斑岩	ＩＣ区	第２層	
2766		185	叩石	9.7	6.8	4.7	444.3	半深成岩	ⅡＡ区	第２層	
2767		182	叩石	13.2	6.5	4.8	637.9	安山岩質斑岩	ⅡＢ区	第１層	
2768		185	叩石	7.8	(4.5)	5.9	(327.8)	半深成岩	ⅡＢ区	第１層	
2769		184	叩石	12.9	3.5	3.0	190.5	砂岩	ＳＰ132	－	
2770		178	叩石	12.5	5.1	2.8	272.1	砂岩	ＳＲ02	－	
2771		186	ハンマーか石器材料	7.2	3.3	1.4	67.5	砂岩	ＳＨ19	埋土	
2772		187	ハンマーか石器材料	15.7	5.6	3.2	(456.2)	砂岩	ＳＨ21	埋土	
2773		187	ハンマーか石器材料	8.3	4.5	3.2	186.0	安山岩質斑岩	ＳＨ36	埋土	
2774		187	ハンマーか石器材料	(6.6)	2.7	2.7	(103.1)	砂岩	ＳＨ36	埋土	
2775		187	ハンマーか石器材料	8.4	3.1	2.9	129.8	花崗岩質斑岩	ＳＨ36	埋土	
2776		187	ハンマーか石器材料	9.3	4.4	2.1	143.8	砂岩	ＳＲ01	－	
2777		187	ハンマーか石器材料	13.1	5.2	4.3	479.6	砂岩	ＳＲ02	－	
2778		187	ハンマーか石器材料	15.9	3.7	2.7	218.1	砂岩	ＳＲ02	－	
2779		187	ハンマーか石器材料	11.1	5.2	2.3	224.7	砂岩	ＳＲ02	－	
2780		188	ハンマーか石器材料	9.3	4.4	2.0	122.4	砂岩	ＳＲ02	－	
2781		188	ハンマーか石器材料	(10.2)	(3.3)	2.9	(157.0)	砂岩	ＳＲ02	－	
2782		188	ハンマーか石器材料	9.7	3.1	2.6	130.5	砂岩	ＳＲ02	－	
2783		188	ハンマーか石器材料	10.1	2.7	2.5	113.4	砂岩	ＳＲ02	－	
2784		188	ハンマーか石器材料	13.4	5.8	1.9	254.6	砂岩	ＳＲ02	－	
2785		188	ハンマーか石器材料	11.1	3.6	2.2	130.0	砂岩	ＳＲ02	－	